

最上紅花史料

I

1192074282

中央圖書館

紅花送手板
紅花送手板

紅花送手板

今日紅花送手板

因金 因金

因金 因金

因金 因金

因金 因金

因金 因金

因金 因金

因金 因金

因金 因金

因金 因金

因金 因金

因金 因金

因金 因金

因金 因金

「紅花送手板」 (15)

仕切

一人... 仕切

一人... 仕切

一人... 仕切

一人... 仕切

一人... 仕切

一人... 仕切

一人... 仕切

一人... 仕切

一人... 仕切

一人... 仕切

一人... 仕切

一人... 仕切

一人... 仕切

一人... 仕切

一人... 仕切

一人... 仕切

一人... 仕切

「紅花仕切」 (38)

紅花為替金請取置証文之事

一人... 仕切

仕切

一人... 仕切

一人... 仕切

一人... 仕切

一人... 仕切

一人... 仕切

一人... 仕切

一人... 仕切

一人... 仕切

一人... 仕切

一人... 仕切

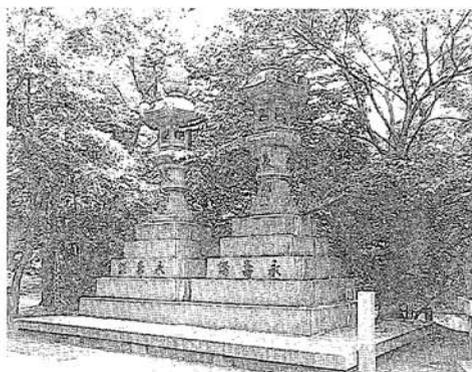
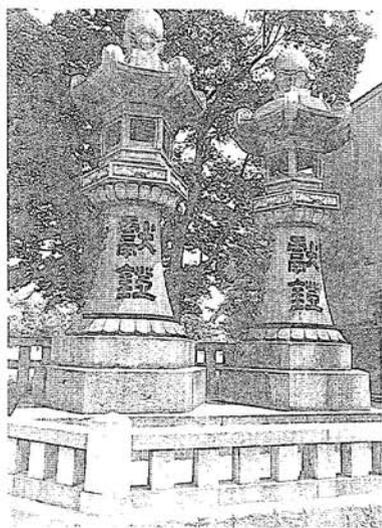
一人... 仕切

一人... 仕切

「紅花為替金請取置証文之事」 (39)



宝暦六年福島治助外奉納紅花灯籠(北野天満宮) (10)



天保七年・文久二年佐藤利兵衛奉納長明灯(住吉神社) (105)

庚 子 年
 新 燈 元 年
 上方諸用扣覚帳
 甲 八 月 十 日

Table with multiple columns of handwritten Japanese text, likely a ledger or account book.

「上方諸用扣覚帳」表紙・内容(65)

序

河北町長

松田禮一郎

河北町では昭和三十七年に『河北町の歴史上巻』を上梓したのを皮切りに、その後引き続いて中・下巻・年表を發行し、そのほか平成三年三月には『大町念仏講帳』を河北町誌編纂史料として発刊し、この度引き続いて『最上紅花史料I』を發行することにしました。

河北地区は近世初期から特産物としての紅花を多量に生産し、地元の商人は近郷から生花を集荷して干花をつくり、それを京都に出荷してきました。紅花はこの地方の有力な産物であり、その売上代金は生産者の生計をうるおすとともに、その交易はこの地方の文化水準の向上をもたらししてきました。

河北町は平成二年十月、自治省から伝統文化を重んじた特色ある町おこしの先導的自治体として、全国一五カ所のリーディング・プロジェクト地区の一つに指定され、「べに花の里づくり事業」に取りくんできました。べに花を中核として地域間の交流をはかるのがねらいで、昨年六月には具体的な「推進計画書」をつくり、着々とその計画を進めております。

そのねらいを達成するためには、紅花についての研究が先決です。河北町にはこれまでに今田信一前町誌編纂委員長のすぐれた研究業績があります。この度、とりあえず前委員長から町に寄贈された「藻鯨亭文庫」の中にある紅花関係の全史料を、「最上紅花史料I」として発刊することにいたしました。この史料集が紅花の研究に利用され、さらにそれをとおして地域間の交流がはかれるよう、期待するものであります。

発刊にあたって

河北町誌編纂委員長

楨 清 哉

今田信一前町誌編纂委員長はすぐれた郷土史研究家であり、紅花研究の第一人者でありました。前委員長は大正十五年三月谷地尋常高等小学校に赴任以来、長い間町内の学校に勤務され、その間旧家に残っている古文書を丹念に収集調査されました。そうした実績をもとにして、昭和三十七年三月発行の『河北町の歴史上巻』（古代から近世まで）と、昭和四十一年九月発行の中巻（明治から太平洋戦争終戦まで）を、編集委員会の依頼をうけて一人で執筆されました。

紅花関係の研究では早くも昭和十七年八月に、最上紅花についての研究成果を、「最上紅花史料」（日本常民文化研究所彙報第五七）として、日本常民文化研究所から発行し、紅花研究の道をひろげました。戦後になってからは昭和四十七年九月、それまでの研究を「最上紅花史の研究」として東京の井場書店から刊行（昭和五十四年九月山形高陽堂から改訂版発行）し、大きな反響を呼びました。

前委員長の蔵書と収集史料はまことに貴重な資料であり、その大半は昭和六十一年ご遺族から河北町に寄贈され、今「藻鯨亭（そうげんてい）（前委員長の書齋名）文庫」として河北町立中央図書館に保管されております。寄贈された蔵書と史料は多方面にわたっておりますが、藻鯨亭文庫の特色のひとつは「紅花関係史料」であると考え、「藻鯨亭文庫目録」では「紅花」の分類項目を特設し、その内容を更に「一耕種法」（一〇点）と「二流通」（二〇五点）の二つに分け、それ

それ年代順に一連番号をつけました。

河北町は平成二年十月、自治省からリーディング・プロジェクト地区の指定を受け、今「べに花の里づくり事業」に取りくんでおります。「べに花の研究」をとおして地域間の交流をはかることがねらいなので、紅花関係の史料を公刊して研究に資することは、極めて重要なことであります。町誌編纂委員会といたしましては、その関係史料集の発刊を計画し、この度その第一集として藻鯨亭文庫の紅花関係の全史料を印刷にすることにいたしました。

藻鯨亭文庫の目録を作成する時に、紅花の生産に関するものを一応「一耕種法」、交易に関するものを「二流通」と区分しました。本史料集の配列はすべて「藻鯨亭文庫目録」によることにしました。

史料の内容は最上紅花に関するものが大部分ですが、それ以外のものもあります。「四八 御触書之写外京都府総合資料館史料」は、昭和四十六年今田前委員長が京都の研究集會に参加した時入手したものです。紅花研究上貴重な史料なので、その全部を掲載いたしました。

当地方の紅商人は紅花だけでなく、青芋や大豆・小豆などの他の産物も取り扱っており、その売上代金で京都や大坂・姫路などの商人から、古着・太物・茶・その他の生活必需品を購入しました。冊子綴りの帳簿には紅花関係だけでなく、他の品目の仕入れ・荷送り・支払い・入金など、多様な内容が記録されておりますが、これらは当地方の商人の経営形態を知るうえで貴重な史料であると考え、諸帳簿の記載内容はそのまま全部掲載することにいたしました。

資料の中には文書以外に「諸国産物見立相撲」の番付表、紅花灯籠の写真などもあります。これらの文書以外のものは口写真として掲載いたしました。

この度はとりあえず藻鯨亭文庫の紅花関係史料を公刊したのですが、今後引続いて史料集を発刊したいと考えておりますので、関係者のご協力をお願いする次第であります。

凡 例

一、本書は最上紅花の研究者・故今田信一氏が生前収集した紅花関係史料一五点を収録した。

一、これらの史料は現在、遺族から河北町に寄贈され、町立中央図書館に「藻鯨亭文庫」として整理、保存されている。したがって、史料の配列は同館発行『藻鯨亭文庫目録』（六六〜七〇頁）に拠り、一耕種法、二流通に大別し、それぞれ編年体とした。

なお、『目録』と本書を可能な限り一致させるために、『目録』の番号と標題をそのまま生かし、本書に収録しなかつた史料についてはその理由を注記した。

一、史料の収録にあたってはできるだけ原文の形にしようようにしてあるが、読者の便宜を考え次の諸点に留意した。

(一) 漢字の字体は、当用漢字を原則としたが、メ(貫)などはそのまま用いた。

(二) 変体かなは、小活字を使いそのまま用いた。

(三) 平出・闕字並びに本文途中の割印・認印などは省略した。

(四) 破損・虫喰いなどのため判読不能な箇所は、□□・□□・□□などで示し、(虫)・(切レ)などと注記した。

(五) 表紙・貼紙・朱書は「」によって示し、それぞれ()に注記した。

(六) 文意の通じない箇所や宛字には(ママ)、疑問の箇所には(カ)と注記した。

一、収録した史料には、収集者による筆写史料、謄写・複写史料も含まれている。原文書とこれらを区別するために、標題の下に(筆写)・(謄写)などと注記した。

目次

一 耕種法

- 一 郡中青芋真綿紅花疋納帳(享保十五年)
- 二 紅花売買覚帳(文化元年)
- 三 微量骨算(天保八年)
- 四 西鄉村紅花生産資料(天保十年)
- 五 北目村紅花關係資料(安政二年)
- 六 石川村産物産業書上帳(安政四年)
- 七 石川村産出品書上帳(慶応元年)
- 八 柴橋村去寅産物取調書上帳(慶応三年)
- 九 石川村年中産物取調書上帳(明治五年)
- 一〇 (紅花畑貸付二付) 乍恐以書附奉願上候(卯年)

一 三五
二 三九
三 六〇
四 六一
五 六七
六 六八
七 七〇
八 七四
九 七四
一〇 七七

二 流通

- 一 紅花買上ケ目録(元禄十一年) 七九
- 二 預り申金子之事(元禄十五年) 八〇
- 三 鈴木清風紅花焼却一件關係記録(省略) 八〇
- 四 紅花青芋帳(享保二十年) 八一
- 五 紅花品質改善策二付願書(元文三年) 一〇六
- 六 (紅花問屋取扱手数料引下げ二付) 一札之事(元文五年) 一一三
- 七 一札之事(省略) 一一四
- 八 覚(紅花買請代金請取書)(寛保二年) 一一四
- 九 (紅花代金滞二付) 乍恐書付を以御訴訟奉申上候(宝曆二年) 一一五
- 一〇 紅花灯笼写真(口絵) 一三五
- 一一 (京都・大坂紅花売買会所取立二付) 乍恐以書付

奉御願上候 (宝曆七年) 一三五 二六 (紅花問屋口錢取極二付) 差出申一札之事 (寛政六年) 二四〇

一 紅花仕切 (宝曆十一年) 一三八 二七 辰年諸品物歩判留帳 (寛政八年) 二四二

二 紅花仕切 (宝曆十二年) 一四〇 二八 紅花御仕入目録 (寛政十二年) 二四四

三 紅花代金請払簿 (宝曆十二年) 一四一 二九 紅花壳代金年賦借用證文之事 (享和二年) 二四八

四 紅花代金請払簿 (宝曆十二年) 一四一 三〇 (紅花仕入金不足二付) 借用申金字之事 (享和三

五 へ久・紅花送手板 (宝曆十三年) 二二〇 年) 二四九

六 紅花送り手板 (宝曆十三年) 二二二 三一 紅花荷物壳代金借用證文之事 (文化二年) 二五〇

七 紅花送り手板 (宝曆十三年) 二二三

八 紅花印附根牒 (明和元年) 二二五

九 紅花仕切 (省略) 二二九

一〇 紅花仕切 (天明元年) 二二九 三二 紅花代金借用出世證文之事 (文化二年) 二五〇

一一 覚 (紅花代金精算書) (天明二年) 二二〇 三三 一札之事 (元文五年) 二五三

一二 目早仲間申合規約 (天明二年) 二二二 三四 (京都紅花壳買二付) 一札之事 (元文五年) 二五三

政四年) 二二五 三五 紅花通行切手 (亥年) 二五三

二四 (紅花会所取立二付) 乍恐以書付奉願上候 (寛政 三二 紅花仕切 (天明元年) 二五四

四年) 二二八 三三、三四 紅花代金借用出世証文之事 (省略) 二五五

二五 江戸傳馬町大黒屋九左衛門紅花世話所願一件書 物 (寛政五年) 二三〇

- 三五―一 紅花売買覚帳 (文化四年) 二五五 (一) 口舐 (結徒党禁止之事) (万治二年) 二八三
- 三五―二 紅花売買覚帳 (文化五年) 二六〇 (二) 紅花衆中一統被申出候趣 (寛政十二年)
- 三五―三 紅花売買覚帳 (文化五年) 二六六 二八四
- 三六 紅花仕切覚 (文化五年) 二六九 (三) 乍恐奉願上候口上之覚 (残銀返済之事) (享和
- 三七 (紅花問屋經費承認二付) 内仲間取極書 (文化八 二六九 (四) 大坂より来状之写 (紅屋取引仲間之事) (五年)
- 年) 二七〇
- 三八 紅花仕切 (文化十四年) 二七一 (五) 御請書 (諸色仕入値段差上候事) (文化八年)
- 三九 紅花為替金請取置證文之事 (文政元年) 二七二 (六) 紅花値段 (文化九年) 二八八
- 四〇 紅花荷為替金請取證文之事 (文政元年) 二七三 (七) 一札之事 (撰方と馴合致す間敷事) (文化十四
- 四一 紅花荷為替金請取置證文之事 (文政元年) 二七四 (八) 奉拝借候銀子之事 (正銀貳百貳拾目) (文政二
- 年) 二七五
- 四二 紅花仕切 (文政三年) 二七六 (九) 御請書 (紅花値段引下之事) (文政二年) 二九〇
- 四三 紅花仕切 (文政三年) 二七七
- 四四 紅華為替金請取置證文之事 (文政八年) 二七八 (一〇) 以書付御届ケ申上候 (紅花商売之事) (文政三
- 四五 紅花荷物送り手板 (文政十年) 二八二 年) 二九二
- 四六 紅花仕切書控 (天保二年) 二八三
- 四七 江戸渡紅花買請手形之事 (天保八年) 二八三
- 四八 京都府総合資料館史料

- (一一) 以書付御届申上候(紅屋商売之事)(文政七年) 三〇九
- (一二) 一札(紅花荷主株讓渡之事)(文政八年) 二九四
- (一三) 定(紅花分散積入之事)(文政十一年) 二九八
- (一四) 為取替一札(紅花代金滯取引之事)(文政十二年) 三〇二
- (一五) 下職紅花染屋名前書(天保四年) 三〇二
- (一六) 尚々返答三輪方江可被申出候(紅花買締之事) 三〇三
- (一七) 乍恐以書付奉申上候(紅花直段之事)(天保四年) 三〇四
- (一八) 差入申規定一札之事(素人へ売渡さざる事)(天保七年) 三〇五
- (一九) 口上書(塩津へ荷送之事)(天保七年) 三〇七
- (二〇) 規定書之事(紅花仲間)(天保八年) 三〇七
- (二一) 御触書之写(紅花絞方染之事)(天保八年) 三〇七
- (二二) 口上覚(寺領取調図面之事)(天保八年) 三二〇
- (二三) 新規荷主名(嘉永六年) 三二一
- (二四) 入申証札之事(紅花仲間加入之事)(嘉永七年) 三二二
- (二五) 書簡(御門主様御参向ニ付) 三二三
- (二六) 廻状(拝借銀返納之事) 三二三
- (二七) 御口状覚(御拝受候山林之事) 三二四
- (二八) 一札之事(仲間再興之事) 三二四
- 四九 仕切目録書(天保十六年) 三一五
- 五〇 上方諸用帳(弘化二年) 三一五
- 五一 午之紅花引当金借用申証文之事(弘化二年) 三二九
- 五二 京都大坂諸用帳(弘化三年) 三二九
- 五三 紅花等仕入帳(弘化四年) 三三三
- 五四 紅花等仕入帳(弘化五年) 三八六
- 五五 生花仕入日記帳(嘉永四年) 四四二

- 五六 紅花仕送帳 (嘉永六年) 四六二 七三 紅花仕切 (文久二年) 七二六
- 五七 諸用帳 (嘉永六年) 四九六 七四 紅花仕切 (文久二年) 七二七
- 五八 (紅花仕入金借用二付) 差入申証文之事 (嘉永七年) 五三四 七五 万覺帳 (慶応元年) 七二八
- 年) 七六 紅花仕切 (慶応元年) 七五八
- 五九 紅花仕切 (嘉永七年) 五三五 七七 紅花仕切 (慶応二年) 七五九
- 六〇 紅花仕切 (嘉永七年) 五三六 七八 萬覺帳 (慶応二年) 七六一
- 六一 京坂萬覺帳 (安政二年) 五三六 七九 松橋村産物去寅出高凡調小前帳 (慶応三年) 七六一
- 六二 上方諸用扣帳 (安政二年) 五七四 八〇 <力>紅花荷造帳 (明治三年) 七七七
- 六三 紅芋扣覺帳 (安政二年) 六一五 八一 <平>丑春一番積目録 (五年) 七八三
- 六四 京坂萬覺帳 (安政三年) 六三四 八二 覚 (水花仕入金借用書) (五年) 七九〇
- 六五 上方諸用扣覺帳 (万延元年) 六五六 八三 (紅花売買会所取立二付) 乍恐奉願上候口上 (卯年) 七九一
- 六六 紅花送手板 (万延元年) 六九七 八四 紅花売買会所世話料取極覚 (辰年) 七九一
- 六七 紅花御注文仕切目録 (文久二年) 六九七 八五 紅花売買会所二付郡中願案 (辰年) 七九二
- 六八 万覺帳 (文久二年) 六九八 八六 諸荷物御役覚 (辰年) 七九四
- 六九 紅花仕切 (文久二年) 七二三 八七 紅花売買会所取極書 (辰年) 七九五
- 七〇 紅花仕切 (文久二年) 七二四 八八 覚 (最上紅花蔵入二付) (辰年) 七九五
- 七一 紅花仕切 (文久二年) 七二四
- 七二 紅花仕切 (文久二年) 七二五

- 八九 紅花仕切覚 (辰年) 七九八
- 九〇 紅花通行切手 (辰年) 八〇〇
- 九一 (京都紅花屋) 口上書 (丙申年) 八〇〇
- 九二 書簡 (貸金催促状) (戌年) 八〇一
- 九三 覚 (紅花荷物蔵入通知書) (亥年) 八〇二
- 九四 覚 (紅花集荷) (亥年) 八〇二
- 九五 紅花通行切手 (亥年) 八〇二
- 九六 紅花通行切手 (亥年) 八〇三
- 九七 書簡 (改年挨拶、紅花相場) (二月) 八〇三
- 九八 書簡 (改年挨拶、紅花相場) (二月) 八〇四
- 九九 書簡 (紅花相場景況案内) (六月) 八〇五
- 一〇〇 書簡 (紅花相場景況案内) (六月) 八〇六
- 一〇一 (紅花輸送路二付) 乍恐以書付御内意奉申上候
(九月) 八〇六
- 一〇二 諸国産物見立相撲 八〇七
- 一〇三 古文書解読講座資料 八〇七
- 一〇四 覚 (北口町外ニケ村々柄) 八〇九
- 一〇五 長明灯 八〇九

一 耕種法

一 郡中青苧真綿紅花定納帳 (小横帳)

(表紙)
一 享保十庚戌五年卯月吉日

郡中青苧真綿紅花定納帳

加藤八右衛門

花壬月懸め

一 百巴二付卷刃六分八厘二当り

大瀬村

一 式百八拾貳貫三百拾文 畝苧

一 式百八拾貫五百四拾文 相

一 式拾九貫六百貳拾文 切そ

一 百五拾文 真綿

一 式百三拾六文

紅花

一 なし

代米

一 四百文

二月買子渡

一 壹貫貳百文

四月前渡

一 四百文

十月買子渡

一 六百元

同月前渡

一 三拾表

代米 四月中

一 貳貫六百元

御借、四斗三升壹合表ニ

佐野原村

一 七拾貳貫六拾文 畝

一 百四拾貳貫七百拾文 相

一 拾壹貫三百文 切そ

一 百五拾文 真わた

一 百拾八文 はな

一 なし 代米

ノ

一 貳百五拾文

二月買子渡

一 五百文

四月前渡

一 貳百文

十月買子渡

一 三百文

同月前渡

一 拾五俵

代米四月中御借

ノ 壹貫貳百五拾文

下山村

一 九拾八貫六百廿文

畝

一 百九拾貳貫五拾文

相

一 拾五貫三百文

切ぞ

一 三百文

わた

一 貳百九拾五文

花

一 なし

代米

ノ 貳百文

二月買子渡

一 八百文

四月前渡

一 貳百文

十月買子渡

一 四百文

同月前渡

一 拾九表

代米御借四月中

ノ 壹×六百文

深山村

一 貳百六貫八百三拾文

畝

一 三百六拾四貫六百八拾文

相

一 三拾貫八拾文

切ぞ

一 三百文

わた

一 七百八拾文

花

一 拾九石

代米水戸へ

ノ 一 六百文

二月買子渡

一 壹×貳百五拾文

四月御借

一 六百文

十月買子渡

一 六百文

同月御借

一 三拾六俵

代米御借四月中

〆三貫五拾文

箕和田村

一 四拾五貫六百五拾文

畝

一 七拾七貫五百八拾文

相

一 百九拾文

綿

一 八拾三文

花

一 四石

代米

一 六メ四百八拾文

水戸へ納
きりそ

〆

一 百文

二月御借

一 三百文

四月御借

一 百文

十月御借

一 百五拾文

同月前渡

一 九俵

代米御借四月中

〆六百五拾文

正部村

一 五拾四貫貳百七拾文

畝

一 百拾九貫三百五拾文

相

一 九貫百四拾文

切そ

一 なし

綿

一 四百七拾貳文

花

一 なし

代米

〆 一 百五拾文

二月御借

一 四百文

四月御借

一 百五拾文

十月御借

一 貳百文

同 前渡

一 拾俵

代米御借四月中

〆九百文

萩野村

一 四百三拾九貫四百六拾文

畝

一 五百四拾三貫七百六拾文

相

一 五拾壹貫八百文

切そ

一 三百文

一 四百七拾貳文

綿 花

一 四百五拾文

二月御借

一 貳貫四百文

四月前渡

一 四百五拾文

十月御借

一 壹貫貳百文

同 前渡

一 六拾壹俵

代米御借

水戸へ

四貫五百文

横越村

一 九拾五貫四百九拾文

畝

一 百八拾五貫六百元

相

一 拾四貫七百九拾文

切ぞ

一 七百六拾九文

綿

一 八貫三百七拾文

花

一 九石

代米水戸へ

一 三百文

一 六百廿文

二月御借

一 三百文

四月前渡

一 三百八拾文

十月御借

一 拾五俵

十月前渡

一 壹貫六百元

代米御借

水戸へ

石那田村

石那田村

一 百九拾八貫貳百四拾文

畝

一 三百八拾八貫貳拾文

相

一 三拾貫八百五拾文

切ぞ

一 三百五拾文

綿

一 貳貫三百六拾文

花

一 四百文

二月買子渡

一 壹々貳百五拾文

四月前渡

一 六百五拾文

十月御借

一 三拾八俵四斗 代米御借

右ハかし付過不足有

ノ貳貫九百文

大石村

一 百九拾四貫貳百九拾文 畝

一 四百拾八貫四百六拾文 相

一 三拾貳貫貳百五拾文 切ぞ

一 四百五拾三文 綿

一 貳貫九拾五文 花

一 拾九石七斗 宮村へ
代米代

ノ

一 七百文 二月買子渡

一 壹メ三百七拾五文 四月前渡

一 七百五拾文 十月買子渡

一 八百五拾文 同 前渡

一 三拾八俵 御米借付

宮村へ

ノ三貫六百七十五文

上伊佐沢村

一 貳百四拾四貫五百八拾文 畝

一 五百貳拾九貫五百五拾文 相

一 四拾貫七百四拾文 切ぞ

一 七百五拾九文 綿

一 三貫五百拾八文 花

一 貳拾四石八斗 宮村へ代米

ノ

一 六百五拾文 二月御借

一 貳貫四百九拾文 四月前渡

一 三百五拾文 十月御借

一 壹貫貳百九拾文 同 前渡

一 五拾貳表 宮村へ代米御借

ノ四貫七百八拾文

栃窪村

一 貳百貳拾四貫四百三拾文 畝
 一 三百六拾四貫貳百廿文 相
 一 三拾貫九百八拾文 切そ
 一 三百文 綿
 一 貳百九拾九文 花
 一 四百五拾文 二月買子渡
 一 壹メ三百文 四月前渡
 一 四百五拾文 十月買子渡
 一 七拾文 十月前渡
 一 三拾六表 宮村_と代米御借付
 〆 貳貫九百文

九野本村

一 四貫五百八拾文
 一 三貫百八拾文
 一 四百拾文
 〆 三メ五百九拾文

畝 相 切そ

一 九百八文 綿
 一 壹メ三拾八文 花
 〆
 平山村
 一 八百五拾文 畝
 (消)「壹メ八拾文」
 一 九百九拾文 相
 一 九拾文 切そ
 〆 壹メ八拾文
 一 六百四拾五文 綿
 一 六百八拾六文 花
 〆
 川井村
 一 拾貫八百文 畝
 一 拾九貫五百文 相
 一 壹メ五百九拾文 切そ
 一 壹メ三拾八文 花

一	貳百八拾七文	綿	一	貳拾貳俵半	水戸江代米御借	
一	壹石	宮村へ代米	↗	老貫八百三拾三文		
↘						
一	百文	四月前渡	北十王村	一	四百拾三貫九百文	畝
一	貳表	宮村江代米御借付	一	九百六拾貫貳拾文	相	
	南十王村		一	七拾貳貫三百拾文	切そ	
一	百四貫六百元	畝	一	五貫五百九拾三文	花	
一	貳百四拾貳貫七百九十文	相	一	壹×三百九文	綿	
一	拾八貫貳百八拾文	切そ	一	四拾五石三斗五升	水戸 _方 代米	
一	壹×四百八拾七文	花	↘			
一	三百四拾八文	綿	一	八百貳拾五文	二月御借	
一	拾壹石八斗五升	水戸へ代米	↗			
↘			一	八百四拾文	四月前渡	
一	三百九拾文	二月御借	一	壹×五百拾七文	同 前渡	
一	七百九拾文	四月御借	一	八拾四俵半	水戸 _方 代米御借	
一	貳百七拾文	十月御借	↘			
一	三百八十三文	十月前渡				
			勸進代村			

一 四拾九貫四百八拾文 畝
 一 貳拾三貫五百五拾文 相
 一 三ノ八百四拾文 切そ
 一 七百八拾五文 花
 一 四百五拾四文 綿
 一 貳石四斗 宮村へ代米
 一 貳百文 四月前渡
 一 四俵 宮村へ代米御借付
 東五十川ノ内
 一 生僧村
 一 六拾貳貫八百六拾文 畝
 一 百拾四貫七八五拾文 相
 一 九貫三百五拾文 切そ
 一 五石七斗 宮村へ代米
 一 百五拾文 二月御借
 一 四百文 四月前渡

一 百五拾文 十月御借
 一 貳百文 十月前渡
 一 拾貳俵 宮村へ代米御借
 一 九百文
 畔藤村傳四郎下
 一 百九拾八貫三百廿文 畝
 一 四百貳拾六貫百八拾文 相
 一 三拾貳貫八百七拾文 切そ
 一 三百六拾貳文三分 綿
 一 三貫八百五拾八文 花
 一 拾九石貳斗三升六合 水戸へ代米
 一 三百拾文 二月買子渡
 一 壹ノ三百貳拾壹文 四月前渡
 一 三百廿文 十月買子渡
 一 六百文 同 前渡
 一 三拾九表貳斗 水戸へ代米御借

ノ 貳貫五百五十卷文

畔藤村源十郎下

一 百七拾九貫五百文

畝

一 三百三拾四貫八百廿文

相

一 貳拾七貫七拾文

切々

一 三百八拾卷文三分

綿

一 四貫百廿式文

花

一 拾七石六斗貳升六合

水戸へ代米

ノ

一 貳百四拾文

二月買子渡

一 卷ノ貳百貳拾三文四分

四月前渡

一 貳百三拾文

十月買子

一 六百八拾文

同 前渡

一 三拾五俵式斗

水戸へ代米御借

ノ 貳貫三百七十三文四分

畔藤村加兵衛下

一 貳百七拾貫九百五拾文

畝

一 五百貳拾九貫百八拾文

相

一 四拾貳貫百拾文

切々

一 四百五拾六文四分

綿

一 五貫文

花

一 貳拾五石三斗三升八合

水戸へ代米

ノ

一 三百五拾文

二月買子渡

一 卷ノ七百五文六分

四月前渡

一 五百五拾文

十月買子

一 八百七拾文

同 前渡

一 五拾俵五升

水戸へ代米御借

ノ 三貫四百七拾五文六分

高玉村

一 百貳拾六貫百九拾文

畝

一 百七拾三貫八百六拾文

相

一 拾五貫七百九拾文

切々

一 九貫三百六拾七文

花

一 八百文

綿

一 三百文

二月賈子渡

一 九石九斗

宮村へ代米

一 四百文

四月前渡

一 貳百文

二月御借

一 貳百文

同 前渡

一 八百五文

四月前渡

一 拾四俵

宮村へ代米御借

一 貳百文

十月御借

一 拾四俵

宮村へ代米御借

一 四百四拾文

十月前渡

一 壹貫百五拾文

一 拾八俵

宮村へ代米御借

馬場村前より下

同 前渡

一 壹貫六百四拾五文

宮村へ代米御借

一 九拾五貫九百六拾文

畝

一 五十川村

宮村へ代米御借

一 百八拾三貫四百六拾文

相

一 七拾九貫七百萬

畝

一 拾四貫七百拾文

切そ

一 一百五拾六貫貳百六拾文

相

一 貳貫六百五拾五文

花

一 拾貳貫四百貳拾文

切そ

一 貳百五拾六文

わた

一 七貫四拾五文

花

一 貳百四拾文

二月御借

一 壹×七拾六文七分

わた

一 六百貳拾文

四月前渡

一 七石六斗

宮村へ代米

一 貳百六拾文

十月御借

一 七石六斗

宮村へ代米

一 三百三拾文

同 前渡

一 拾八俵半

水戸へ代米御借

一 拾八俵半

水戸へ代米御借

老貫四百五拾文

馬場村 安右衛門下

一 百三拾七貫三百八拾文 畝

一 貳百五拾七貫四百九拾文 相

一 貳拾貫七百八拾文 切ぞ

一 五貫貳百拾六文 花

一 五百壱文 綿

一 拾三石貳斗七升五合 水戸へ代米

一 貳百四拾文 二月御借

一 五百九拾文 四月前渡

一 貳百四拾文 十月御借

一 三百貳拾文 同 前渡

一 拾七俵半 水戸へ代米御借

一 老貫三百九拾文

中伊佐沢村

一 四拾三貫六百五拾文 畝

一 百七貫三拾文 相

一 七貫九百三拾文 切ぞ

一 八百七拾六文 花

一 百九拾文 わた

一 四石八斗五升 宮村へ代米

一 百五拾文 二月御借

一 三百三拾文 四月前渡

一 貳百文 十月御借

一 百八拾文 同 前渡

一 九表 宮村へ代米御借

一 八百六拾文

一 四百三拾九貫貳百拾文 畝

一 五百六拾三貫九拾文 相

一 五拾貳貫七百五拾文 切ぞ

一 三百文 綿

一 三百文

一 三百文

一 三百文

一 三百文

一 卷ノ百八拾文

花

一 三拾貳石壹斗

水戸へ代米

一 六百文

二月買子

一 貳貫四百文

四月前渡

一 七百五拾文

十月買子

一

同 前渡

一 六拾貳俵

水戸へ代米御借

宮村

一 貳拾八貫六百七拾文

畝

一 五拾貳貫五百七拾文

相

一 四貫貳百八拾文

切ぞ

一 貳百文

綿

一 五貫九百文

花

一 貳石七斗

代米渡

外二三拾三石七斗五升

一 一百五拾文

二月買子渡

一 一百五拾文

四月前渡

一 一百八拾文

十月買子

一 拾俵

代米御借

貸付之節過不足有り

一 四百八拾文

鮎貝村

一 一百六拾九貫六百拾文

畝

一 三百七貫八百五拾文

相

一 貳拾五貫百三拾文

切ぞ

一 七貫八百七拾文

花

一 壹貫五百拾三文

綿

一 六百六拾文

二月御借

一 壹貫五拾文

四月前渡

一 五百六拾文

十月御借

一 五百五拾文

同月前渡

一 貳拾七俵 宮村_ら代米御借

一 貳貫八百貳拾文

一 貳百文 四月前渡

一 貳俵 宮村_ら代米御借

漆山村

一 拾三貫貳百五拾文

一 四拾四貫貳百貳拾文

畝

一 拾七貫貳百文

一 七拾貳貫貳百六拾文

相

一 壹貫六百元

一 六貫百八拾文

切そ

一 三貫貳百九拾貳文

一 壹貫三百六拾六文

花

一 六百元

一 貳百八拾文

綿

一 百文

四月前渡

一 百五拾文

二月御借

一 貳俵

宮村_ら代米御借

一 四百文

四月前渡

太郎村

一 貳拾三貫七百七拾文

畝

一 七俵

四月中水戸_ら代米御借

一 貳拾七貫六百拾文

相

一 七百文

一 貳貫七百元

切そ

上蔵村

一 六百四拾壹文

花

一 六拾四貫七百九拾文

畝

一 百六拾文

綿

一 百拾四貫貳百八拾文

相

一 九貫四百貳拾文 切そ

一 壹貫七百五拾六文 花

一 三百六拾文 綿

一 百五拾文 二月御借

一 四百文 四月前渡

一 百五拾文 十月買子

一 拾考表 水戸^と代米御借

↗七百文

小瀧村

一 百六拾貳貫四百四拾文 畝

一 貳百拾四貫九百六拾文 相

一 拾九貫六百五拾文 切そ

一 六百元 わた

↗

一 三百文 二月買子渡

一 八百文 四月前渡

一 三百文 十月買子渡

一 貳拾貳俵 代米御借水戸^と

浅立村

一 三百七貫七百三拾文 畝

一 五百八拾七貫八百六拾文 相

一 四拾七貫百四拾文 切そ

一 五貫四百八拾七文 花

一 五百七拾七文 わた

一 貳十四石八斗五升 宮村へ代米

↗

一 七百五拾文 二月御借

一 壹^々九百五拾文 四月御借

一 八百五拾文 十月御借

一 壹貫文 同 前渡

一 五拾四俵 宮村^と代米御借

↗四貫五百五拾文

廣野村

一 百貳拾貳貫五拾文 畝

一 貳百文 四月前渡
 一 百文 十月前渡
 一 八俵 宮村^五代米御借
 一 三百文 宮村^五代米御借

大塚村

一 貳拾貳貫貳百四拾文 畝
 一 三拾卷×六百七拾文 相
 一 貳貫八百四拾文 切そ
 一 壹貫七百貳拾六文 花
 一 四百文 綿
 一 壹石七斗五升 宮村^八代米
 一 百文 十月買子渡
 右渡不便、十年二改^而御借申候

梨郷村

一 拾五貫三百七拾文 畝

一 拾八貫五百拾文 相
 一 壹貫七百八拾文 切そ
 一 七百四拾九文 花
 一 四百九拾九文 綿

一 五拾文 四月前渡

白菟村

一 五拾三貫九百六拾文 畝
 一 六拾壹貫六百四拾文 相
 一 六貫八拾文 切そ
 一 五貫拾五文 花
 一 八百文 綿
 一 三石九斗 宮村^八代米

一 百文 二月御借
 一 貳百五拾文 四月前渡
 一 百文 十月御借

一 百文 同 前渡
一 七俵 宮村へ代米御借

〆五百五拾文

李ノ沢村

一 四拾八貫百貳拾文 畝
一 六拾貳貫五百三拾文 相
一 五貫八百貳拾文 切そ

一 貳百五拾文 四月前渡し

一 貳百六拾文 十月買子渡

一 六俵 宮村へ代米御借

〆五百拾文

金山村

一 拾五貫貳百八拾文 畝
一 拾八貫貳百六拾文 相
一 壹貫七百六拾文 切そ

一 三貫七百六拾貳文 花
一 四百文 綿

〆

蒲生田村

一 七百三拾文 畝
一 六百七拾文 相
一 七拾文 綿

〆

五十川村

一 七拾九貫七百文 畝
一 百五拾六貫貳百六拾文 相
一 拾貳貫四百貳拾文 切そ
一 七貫四拾五文 花
一 壹貫七拾六文七分 綿
一 七石六斗 宮村へ代米

一 三百文 二月御借

一 四百文 四月前渡

一 貳百五拾文 十月御借

一 貳百文 十月前渡

一 拾四俵 宮村_と代米御借

↗ 壹貫百五拾文

萩野中山村

一 五百八拾六貫九百三拾文 畝

一 貳百九拾七貫八百四拾文 相

一 四拾六貫五百七拾文 切ぞ

一 五百九拾文 花

一 六百文 綿

↗

一 貳百六拾文 二月御借

一 貳貫貳百文 四月前渡

一 貳百四拾文 十月御借

一 壹貫百五拾五文 同 前渡

一 五拾八俵 宮村_と代米御借

↗ 三貫八百五拾五文

黒鴨村

一 貳百六拾三貫四百四拾文 畝

一 四百六拾六貫八百三拾文 相

一 三拾八貫四百三拾文 切ぞ

一 貳百九拾五文 花

一 三百文 綿

↗

一 三百七拾文 二月御借

一 壹貫六百文 四月前渡

一 三百七拾文 十月御借

一 壹_と三百七拾文 同 前渡

一 四拾五俵 宮村_と代米御借

↗ 三貫七百拾文

高岡村

一	百九拾九貫六百三拾文	畝	一	三貫六百五拾文	花
一	三百七拾貳貫百六拾文	相	一	三百拾六文	綿
一	三拾貫九拾文	切そ	一	三石	水戸へ代米
一	九百四拾四文	花	〆		
一	三百文	綿	一	百文	二月買子
一	拾八石三斗	水戸へ代米	一	貳百貳拾三文	四月前渡
〆			一	百文	十月買子
一	五百文	二月買子渡	一	百五拾文	同 前渡
一	壹貫貳百五拾文	四月前渡	一	五俵	水戸江代米御借
一	四百文	十月買子渡	〆	五百七拾三文	
一	六百五拾文	同 前渡			
一	三拾四表	水戸江代米御借			
〆	貳貫八百文				
	田尻村吉郎左衛門下			田尻村与四郎下	
一	三拾貳貫五百五拾文	畝	一	六拾四貫百九拾文	畝
一	六拾貫五拾文	相	一	百貳拾貫八百文	相
一	四貫八百七拾文	切そ	一	九貫七百四拾文	切そ
			一	四貫百九拾六文	花
			一	三百六拾四文	綿
			一	五石九斗	水戸へ代米

一 一百五拾文
 一 三百七拾七文
 一 貳百五拾文
 一 一百五拾文
 一 拾壹俵
 九百貳拾七文

二月御借
 四月前渡
 十月御借
 同 前渡
 水戸へ代米御借

和泉村

一 四貫七百元
 一 七貫七百九拾文
 一 六百六拾文
 一 貳百貳拾貳文
 一 貳百貳拾九文
 一 五斗
 畝
 相
 切そ
 花
 綿
 宮村へ代米

一 壹貫貳拾文
 一 壹貫貳百九拾文
 一 三ノ五百文
 一 貳百三拾文
 一 壹貫六拾貳文
 一 八百文
 畝
 相
 切そ
 花
 綿

下伊佐沢村

一 貳拾五貫三百九拾文
 一 七拾貫百拾文
 一 五貫三拾文
 一 壹貫三百四拾九文
 一 貳百九拾壹文
 一 三石壹斗
 畝
 相
 切そ
 花
 綿
 宮村へ代米
 中 村
 一 百文
 一 貳百文
 二月御借
 四月前渡

一 百文

十月買子

一 六俵

宮村^と代米御借

〆 四百文

芦沢村^勘左衛門下

一 貳拾七貫四百五拾文

敬

一 六拾貫貳百五拾文

相

一 四貫六百拾文

切^そ

一 九拾九文

綿

一 四百七拾五文

花

一 貳石七斗八升

宮村^へ代米

芦沢 二左衛門下

一 四拾貳貫三百九拾文

敬

一 九拾三貫八百七拾文

相

一 七貫百七拾文

切^そ

一 壹貫百拾七文

花

一 貳百四拾叁文

綿

一 四石四斗貳升

宮村^へ代米

一 貳百四拾七文

四月前渡

一 百貳拾八文

十月前渡

一 五俵

宮村^と代米御借

〆 三百七拾五文

二月御借

一 三百三拾三文

四月前渡

一 百貳拾文

十月御借

一 百七拾貳文

同 前渡

一 八俵

宮村^と代米御借

川原沢村

一 貳拾貳貫四百五拾文

敬

一 貳拾四貫九百九拾文

相

一 貳貫五百文

切^そ

〆 七百貳拾五文

一 四百五拾四文

綿

一 五百式拾四文

花

一 五拾式石式斗

宮村へ代米

一 百文

四月前渡

一 三俵

宮村へ代米御借

草師村

一 三拾五貫三百廿文

畝

一 式拾六貫拾文

相

一 三貫式百三拾文

切そ

一 壹又百七文

花

一 七百式拾五文七分

わた

一 式石

宮村へ代米

一 百五拾文

四月前渡

一 五俵

宮村へ代米御借

成田村

一 式拾四貫八百八拾文

畝

一 三拾四貫八百廿文

相

一 三貫百四拾文

切そ

一 四貫六百拾四文

花

一 五百廿文

わた

一 六石六斗

宮村へ代米

一 百文

十月前渡

一 三俵

宮村へ代米御借

小出村

一 九貫五百四拾文

畝

一 拾四貫六百五拾文

相

一 壹貫式百七拾文

切そ

一 式貫三百六拾文

花

一 四百式拾壹文

わた

一 八斗

宮村へ代米

ノ

一 五拾文

一 壹俵

四月前渡

宮村ノ代米御借

池黒村

一 七貫七百六拾文

一 四貫九百九拾文

一 六百四拾文

一 壹貫八百八拾壹文

一 四百文

畝

相

切そ

花

綿

ノ

一 壹貫貳拾貳文

一 八百七文

花

わた

今泉村

一 五貫四百七拾文

一 八貫九百七拾文

一 七百六拾文

一 貳百六拾七

一 三百五十七文

畝

相

切そ

花

わた

黒沢村

一 六拾文

一 百八拾文

一 壹貫拾九文

一 壹貫七文

畝

相

綿

花

ノ

三間通村

一 七百八拾文

畝

一 七百元
一 三拾五文

綿 相

時田村

一 三百四拾文
一 五百五拾文
一 壹貫四百貳文
一 四百七拾文

畝 相 花 綿

寺泉村

一 六貫三百文
一 六貫五百貳拾文
一 六百七拾文
一 壹貫七百八文
一 五百貳拾三文

畝 相 切そ わた 花

松原村

一 五貫四百貳拾文
一 三百三拾文
一 三百文
一 八拾五文
一 貳百四文

畝 相 切そ わた 花

鍋田村

一 貳貫七百九拾文
一 貳貫三百貳拾文
一 貳百六拾文
一 八拾文
一 貳貫八百貳十壹文

畝 相 切そ 綿 花

懸入石中山村

一 壹メ三百六十弍文 花 一 壹メ八百八十弍文 花

和田村

一 三百七十五文 わた 角扱下上小松村 一 五百五十文 わた

一 壹メ四百三十三文 花 砂塚村 一 壹メ六百三十弍文 花

砂塚村

一 五百六十四文四分 わた 中小松村 一 三百四十七文 わた

一 五百弍十七文 花 羽付村 一 壹メ三十三文 花

羽付村

一 弍百文 わた 下小松村 一 百七十弍文 わた

一 九百四十文 花 小岩沢村 一 五百十三文 花

小岩沢村

一 百文 わた 上小菅村 一 弍百五十七文 わた

一 壹メ八百八拾弍文 花 糠野目村 一 七百四十三文 花

糠野目村

一 弍百六十八文 わた 下小菅村 一 百十文 わた

一 七百九十九文 花 夏苜村 一 三百三十文 花

夏苜村

一 四十文 わた 轟村

一	四十文	わた	一	百五十三文	わた
一	百貳十四文	花	一	四百五十四文	花
	矢野目村			上尾長嶋村	
一	百七十文	わた	一	貳百貳十七文貳分	わた
一	四百九十六文	花	一	六百七十文	花
	西江俣村			下尾長嶋村	
一	百五十文	わた	一	百六文八分	わた
一	四百五十四文	花	一	三百貳十文	花
	下平柳村			小其塚村	
一	七十文	わた	一	九十七文	わた
一	貳百七文	花	一	貳百八十九文	花
	大舟村			蛇口村	
一	三百四十貳文	わた	一	三十七文	わた
一	五百五十七文	花	一	百十壹文	花
	成嶋村			吉田村	
一	百六十七文	わた	一	三百六十文	わた
一	四百九十六文六分	花	一	壹×百八十文	花
	小山田村				

安部扱下吹屋敷村

一 百五十文

わた

一 貳百貳文

花

上堀金村

一 貳百四十九文七分

わた

一 三百四十六文

花

下堀金村

一 三百十文三分

わた

一 四百三十卷文

花

入田沢村

一 貳百貳十七文

わた

一 四百八十七文

花

菰及村

一 六十九文

わた

一 貳百文

花

赤柴村

一 百五十文

わた

一 三百貳十貳文

花

玉庭村

一 四百五十四文

わた

一 壹又貳百十文

花

口田沢村

一 三百七十六文

わた

一 七百貳十五文

花

小野川村

一 三百文

わた

一 八百七文

花

立石村

一 五十文

わた

一 百貳十四文

花

関村

一 三百五十文

わた

一 百貳十四文

花

内町方

一 貳百文

わた

一 四百九十六文

花

笹野村

一 四百五十四文

わた

一 百四十九文

わた

一 八百八十七文

花

一 百七十七文

花

綱木村

一 五百文

わた

一 三百式十四文

わた

一 五百三十七文

花

一 五百七十四文

花

李山村

一 四百式十七文

わた

一 三十文

わた

一 七百八十四文

花

一 百三十式文

花

東山上村

一 六百六十三文壹分

わた

一 百六十七文

わた

一 壹メ百六十八文

花

一 四百九十六文

花

大小屋村

一 四十壹文九分

わた

一 式百文

わた

一 七十六文

花

一 壹メ六十式文

花

西山上村

一 壹メ百式十四文

わた

一 百三十五文

わた

一 七百六十六文

花

一 式百三十壹文

花

桑山村

黒川村

一 百五十文

わた

一 六十文

〃

長瀬村

一 貳百三十六文

花

一 百六十文

〃

赤湯村

小嶋扱竹原村

一 四百三十卷文六分

わた

一 三十文

〃

西落合村

一 九百六十四文

花

一 五十五文

〃

露橋村

綿斗之村

一 百文 わた

郡山村

一 六十文

〃

大橋村

一 貳十文

〃

嶋貫村

一 五百文

〃

宮内村

一 四十文

〃

中野村

一 百三十文

〃

柄嶋町

一 五十文

〃

俎柳村

角扱下

一 五十文

〃

長岡村

一 貳百文

〃

朴沢村

一 六十五文

〃

柵塚村

一 三十五文

〃

長橋村

一 貳十六文

〃

法師柳

安部扱下

一 貳十六文

〃

若狭小屋

一 四百八十文

〃

築沢村

一 六十文

〃

中落合村

一 貳百文

〃

塩野村

一	百文	〃	中田村
一	紅花斗之村		
一	七百八十五文	花	遠山村
一	六百三十八文	〃	東藤泉
一	五百三十九文	〃	西藤泉
一	百三十文	〃	館山村
一	九百十六文	〃	花沢村
一	七百或十文	〃	福田村
一	四百五十八文	〃	相原村
一	卷メ五百六十九文	〃	奥田村
一	百九十六文	〃	小瀬村
一	百九十七文	〃	東江又
一	卷メ五十文	〃	上平柳
一	三百九十卷文	〃	一漆村
一	四百七十或文	〃 二重	正部村
一	五貫百十九文	〃	小国中

- 一 卷メ七百文 小国谷中 綿
- 一 卷メ七百文 内中津川
- 一 卷メ三百五或文分 同
- 一 卷メ或百十七文八分 外内中津川 同
- 一 或十卷人 懸分人足
- 一 右ハ一日ニ四斗或百宛ツ、懸出し申候
- 一 四十人 こそ巻人足
- 一 右ハ一日ニ四斗宛ツ、こそ拔仕申候
- 一 十八人 落も人足
- 一 右ハ一日ニ六十五箇ツ、も出し申候
- 一 十或人 荷作り人足
- 一 右ハ一日ニ六十五箇ツ、作り出し申候
- 一 或メ六百文 切そ 泊詰分

右ハ人足耆人分千筋ツ、当ル

正徳四年四月十五日

重野半右衛門

一 六百文 下そ 細引分

隠居被仰付加番へ入

右ハ耆人前百尋ツ、ノ当リ、都合六千四百尋ほと入申

正徳二ノ隠居加番へ入

門間庄右衛門

候

正徳二ノ六月廿耆日死去

窪田七右衛門

一 千百俵 青芋代米

享保七、十一月御役

長岡長兵衛

右八年々十一月中下役人耆ツ、下リ、在郷も兩人出取

正徳二、正月廿一日成

桜井弥右衛門

立し代米之駄賃錢、耆儀ニ付七分五厘ツ、是亦取立候筈

同年七月

青柳市兵衛

右代米之儀、翌春三、四月中ニ仰付候、其節役頭耆人下

同年八月十一日成ル

斎藤庄左衛門

り申筈ニ候

正徳四年五月も

窪田清八

青芋役方

享保四、五月十七日隠居 香坂利左衛門

なわこも役

加藤寛右衛門

享十四春隠居 柳町太兵衛

代米 役

菅字左衛門

享保四、五月廿二日 宮坂宇右衛門

青芋普請奉行江戸渡

柳町替り被仰付 梨本盛右衛門

役処付御使役方之内も

享十四夏中も 嶋善五左衛門

懸分ケ奉行 坂市郎右衛門

宮坂替り被仰付 開藤傳左衛門

佐藤勸兵衛

梨本替り

田井地作兵衛

こき巻奉行

江田善左衛門

同年

田井地作之丞

玉川佐右衛門

舟山権右衛門替り

舟山権右衛門

延元七年中も相勤加藤八右衛門

荷作り奉行

江田長兵衛

相田伊兵衛

隠居

舟岡源左衛門

坂 名兵衛

役所役人二

香坂七郎左衛門

御城代

鉄 孫左衛門

上

遠藤孫兵衛

三俣五左衛門

下

関戸甚左衛門

安田庄平衛

下

門間庄左衛門

志田

下

市野藤蔵

相川

宝六秋 上

斎藤作右衛門

窪田常蔵

こき巻

新田九右衛門

同八月

長岡権左衛門

懸分ヶ

舟山権右衛門

長岡替り

菅六郎左衛門

荷 作

佐藤三左衛門

買戸跡役

遠藤庄左衛門

延式秋

相田源右衛門

遠藤跡役

石栗彦右衛門

新田九右衛門替り

安永三方

上 遠藤跡

惣黒藤兵衛

石栗跡

角屋市三郎

ノ宝六 八月替り

宝六秋よ

小林宗右衛門

市野跡

下 門間跡

内山傳兵衛

上 窪田替り

佐藤清蔵

上 天明五、二月よ

惣黒殿替り役頭

佐藤利左衛門

宝六、八月替り

下役

山口清左衛門

天七、八

宝三ノ夏休ミ被仰付候

同七年十一月よ

小山喜右衛門

上 同年十二月よ

堀尾伊右衛門

佐藤替り

上 宝五八月

町田八之丞

角屋替り

同佐藤替り

佐藤長兵衛

同七年隠居

上 町田八之丞

奥山孝右衛門

代り

上 堀尾伊右衛門

吉池長左衛門

替り

一 内山傳兵衛

田村次兵衛

代り

一

小山市左衛門

下

一 佐藤清蔵代り

武藤祐右衛門

上

一 吉池代り

中村織右衛門

下

一 武藤代り

酒井次右衛門

上

一 中村織右衛門代り

今井藤左衛門

下 一 酒井次右衛門代り 鈴木武左衛門

上

一 奥山孝右衛門代り 竹津友蔵

上

一 今井藤左衛門代り 羽鳥平左衛門

上

一 竹津友蔵代り 今井藤右衛門

下

一 小山六左衛門代り 塩川弥兵衛

(以下、一葉欠)

明三まで

二 紅花売買覚帳 (写)

(表紙)
未六月五日

紅花売買覚帳

(表紙裏)
「手花」

六月五日

四百め

代百六十文

口百七十め

代百三十六

八日

五百六十文

壹メ四百め

九日

四百め

代式百四十文

十日

九百八十め

代六百十文

八百六十め

代四百六十文

〇三目
壹メめ

代六百五十文

廿二日

一 百五十匁

代六拾文

貳於_も

廿三日四日

(以下断片)

〇九メ貳百九十文

代六百九十文

代六百五十文

十メ八十匁

五メ五百九十三文

代三百六十文

十六日

代三百廿四文

十七日

代貳百七十文

一 四百文

小うり物

十八日

代百九十文

一 貳分

屏風とく
花のとく

十九日

代八十壹文

〆金四兩貳分

壹メ四百文

廿日

代九十文

利息ハ壹兩貳朱

出入なし

廿一日

代廿八文

(断片)

五月廿五日かんざし銀

一 七十匁

一 式朱

船 守

たはこ□相濟

紅花濟切

五月三日

一 式朱

□きく

午三月

……………(切)……………

花たね 壱升

同人

(断片)

花_二而濟

壱分かして米代勘定してのこり

(断片)

三月二日濟

一 百文

左中村 新藏

午二月廿五日

天保十二丑

一 式朱ハ

是ハ壬正月式朱百之實

是ハ粧坂払出口

請□利足ハ九十文式朱九十文所

受取□右百文ハかし戌 猪^(カ)實

三月廿二日

午三月

一 三拾五文

るんこん丹

同人

一 竹式本

おなつ

午三月

午六月廿五日

一 五十文

新藏

□□出式つ

たはこ買ニかし

同正月

おたつ

一 十式文

同人

ふり出巻ッ

(断片)

用村

一 金貳分

新藏

此金左沢十助ち貳兩

受取之内貳金柿買ニかし不濟

午壬正月廿日

一 金壹分ハ

同人

此金左中山買□申て頼付かし

十二月と正月の六百ハ濟

一 金貳兩壹メ貳百七十文

木実

一 金壹分五百文

はき

百九十七把

一 金七兩貳分七百文

青 苧

一 金貳分

花

一 金貳メ八百六十文

米

メ金十壹兩六百文

合金於五兩三分總六百文

子十一月廿七日

勘定

文化元年

(以上は、大江町深沢菊地權次郎家襖下張資料断片)

三 微量骨算

(表紙)
「微量骨算」

微量可笑記 全

おこなる哉、予勤たらす、生れお路かにして、神仏の御恵を志らす、王法を疎ソッソカに、身の時むを不弁故也、是みな士農工商其家にあつて其身を志らず、曰外を求めず、独ひとりをつゝしむの義心なきゆへなり

男子ハ若年の時、善悪の分別極大切の事なり、三十才前後の時ニ、一生のわからなければハ、人中ニ耻はずをさらすよりなきもの也、夫故に其家を失ひ、一身の育はぐもなく、大恩の両親のかたミの身体はつふへ、人前に恥をあらわす者多きなり、よつて、三十才位まてに是悲比分別可笑もの也

其分別付んとするにハ、如何すべきや、是ハ自身にみがぐ氣無キゆへ、身分くゝの勤に在る事あたわず、あたらず月日を投なげすて、やすくゝと行末身のつまるも不顧かへりみず居るもの多し、是びんぼう鬼の支配にならんとするゆへなり、身をせめ勤める心あらハ、いかなる辺土一ツ家而も、功なり名とけるものいくばくあり、隨而は、諸道にも入るべし、三都のちまたに生いたち候ても、諸教の道を好まず、身をみかぐ心のあらされハ、なとて身より志らミの涌わよふに出る事なきハ、三才の子も知りながら、真実に其道に我家の業を努つと度おもへ共、先ツ其道々をまなふ程の貯たくわかない、道具か

ない、人を抱度共人かないと、日々天八道びきたまへ、六ツより六ツまでつとめておしゑ給う、夫を不恐、次二八一といき／＼に志におどろへるもわざまへずに、少しの貯たくらでもある者ハ、いつかたにも、乍恐上ハ聖尊せいそんにたいは、又聖徳太子様江もり屋のことくきまたげありて、下ハ夫相應のがいをなすもの出、予も是か為に身をすて、五志ゆんに及て泣てかゑらず、我あやまちを以人に志らしめながらしめ度、他見を不計書残すもの也

夫大小の臣に不限、其はん中に諸道の師あれ共、愚子如き者ハ是によらず、其家中の師にまさる程に出志つせいし、他の稽古修行仕度心あれハ、其段国君、次二ハ其主人々江願候へハ、其入料共御手當有て、他の稽古迄もいたされるものなれと、心のみかぎ、身を努つとめ起おこし氣なき者多き故に、よぎ分ぶんにて、つたわりの諸具を失ひ、又ハ悪敷事ハおしゑなくとも、上手習得、おがけて身を外道げいどうの底へおとしつけ、扱百姓にても、冬の中にこやしを配り、種物其節々を無油断取斗、猶雪中に農具を拵こしら置い、次二ハこやしもほうぎ五百がりと申事あり、いかなる家にもはきため並ぞうすある物なれハ、是を配り、又氣をつけ候へハ、燃物もえものも作方も沢山出るもの也、夏は作所へ草をたてぬ様、秋ハ取納を早く致ス、扱万事氣を配る時ハ、塩魚の外銭出候買物も無御座、夫も身のつかれぬよふ、若シ召遣ひの者あらハ、是も作事の助力故ニ能いたわり、不便を加え、実情ニ愛し、家内むつましく、心おち合不申ハ、大義に損益有ル物なり、此外年々の氣こう青雨をさとり、作事に懸引可有之事第一なり

扱商人ハ、千両万両所持仕ル連、金持にあらず、今時のハ、聊百両の金を持と大顔をはり、家の内にて、はりの下夕の天下顔をする者ハ上を知らず、下をモ不弁、我程を知らず、其内に己か持まへの本ふんを失のふ者多し、夫ハ⊙沓文なくとも、己々か今日の家業大切に致、外を求ず、借財等無クハ、かぎりなきふんけんらんか、夫を其家々の親々ハ、大小家にかぎらず、家業を残し世を去ルなれと、孫々の者ハ金銭に遣われ、金銭に奉公したる覚なき故に、家の業わざのうどぐ、おこりと申物か、情弱と言、身に榮耀えいよう放埒ほうちやうをおしへこみ、先主方の油あせ腹わだを絞しぼり、子孫の為に見

ず喰すも、世に言、世けんを○わたれハ愛相もよし、よわミもくいかしてくれといわれてハ、貸して催促もせぬよふなれハ、善人じゃといはれてハならんと、鬼にも蛇にも、子孫のためにハめんをかぶり、丸い角を比△おとし、恥かく事かく義理かくと、三角の方をおこない、孫々へふびんとはたらく、夫に引かへ、跡の人ハ商ひか仕とふても、親か教おしへぬゆえならぬ、何かしとふても人かない、人か有ても金がないと、無利計いふて、どうそ情弱に引込の方ニおとし度と、貧乏鬼かひつばるにハ、何より大切に年月を、うがくおくり申候ハ予か身の上なり、今老分となり、若年の者にどふそ今の後恨を發得致、□恥をいとわず筆を取りぬ

抑唐の人の詞にも、国をおさめんとするには、先ツ其身を慎ミおさめ、家内ふくして町内をおさめ、町内熟して国入ふぐす、其場其ばのこととく身の勤あり、是ハ大切之義御座候、功なるを孝のはじめとす、凡男子の好所ならずや、乍法一々其道利そなわらされハ、大難を身に請、是ハ大知諸事兼備わる人のなす事ならんか、其上是等の儀にて悪名をはつし申候ハバ、実に人にたわい無き者に見さけを請候間、大切の義なり、恐るべしく、依而ハ、わずかに粉ぬか買ため、商ひ仕候共、見せに焼もち拵、売候共、毎日何成り共ぼてにいれ、ふれ売しても其利分を知り、我か身をしり、一ケ年の入料を詳に知るならハ、百万の分限者にもまさらんか、斯心躰熟せし上ハ、又手におよぶ程の商せまじきにもあらず、其商に金銭出すにも大切に取扱ゆへ、相手方にもおろそかにいたさず、随而ハ段々名將の評判出、元手小なりとても恐るべからずハ、楠ハ三百騎にて数万の勢に相對し、いつもはいを取らぬハ、時むと彼を知り己を知るかいたすゆへんならんか、夫にうがく日をおくるハ、勤はげミ、道に志とふ心なく、一心にくゑつぎ□ならん義、おろそかなるゆへなり、たとわバ外の諸芸を習迎も、一心真事に至ぬ内者、其場に入りかねるなり、いわんや是ハ長者の稽古なれハ、実ハ六ヶ敷也

抑商家に忠有り、義有り、仁有り、三徹を知り、比三てつハ、上ハ其年の青雨順不熟を志り、中の仁ハ諸人の入用

の時節、其望所を計知り、並過不及さぐり知り、陰にうけ陽に出、さゆわいを得るの法也、地ハ諸品の有無過不足を承知、豊凶を早く見付、仁のよるとよらざるを勘弁可致もの也、是ハ熟れん大切之義也

但し

其年の天気吉凶を見申候ニハ、色々書候内ニ、天時卜占と申書物三都之内ニ有り、今頃運氣季こうの身代持か稽古もならず、此書、予数十年ためし見候に、一片もたかわず、是を求めし、懸引に加、善事うたかないし、愚子持来之所、右書無余儀事ニ而、仙台の大臣高役方江ゆつり、持合不申候也

右様の儀ハ、至極勘弁の有る事にて、其身其場其術の程を考專一也、今一身臚志本の三界故、己か持合の錢五百文ても老貫文ても、及物を、町在によらす商ひ致す心あらハ、人めも恥もいらぬ事、股を括りし心にて、ぼでぶごても、風呂敷包みても苦しからず、其日くくの利を取得る程の物、是を考へ売廻り、其道中筋、農家ハ雜穀反物迄も、町へ持出売故是等買出し、町其遠近其向宜鋪を知り、利徳を取り、又諸品及程仕入売捌、一心むがにするなれハ、年月をへる内に、夫が株となり、第一天か能忠孝義の道におる者、かけ日なたなしに御らん被成、段々御力添、天御世話被下^{（世）}は、淨實の者と知れわたりて、あたりより三介かもてはやされ、男ふりかよくなり、随而自然と積善の家となり、世上か自由か成出シ、左様なると、家内顔心か直り、はけみて、夫からが元手ハ鼠算と成りきたり、おつけも肴もいらすに、めしはうまし、家内も出入る人もにこにこ顔ばかり、是か福者の始り

扱、前談に申候道具かない、人かない、金かない、家の大事をわすれ、身を惰楽に持なかし、過るハ、肝心のあるじさまの心か、義心なきゆへなり、今の如く上に見ならい、下々も内室も和らかなる如才なきこさんとなり、召遣の小奴紋介すけも旦那に見習へ、一ツ角の手代になり、出入のよこれおや志も、旦那を富ミさせんと、はしまぎしてかる、続てめしたぎのおさんまでか、ぬかりなくなりて、同気相もとむると、朋友ハ力になるか出て、名鳥ハ木を

撰えらんですをかける、其道みちに知勇ちゆうゆうの者、幸福こうふくを持ち来きたり、益々しやくやく積善せきぜんの家となるへし、悪夫あくふハおろかにして是をさとらず、乍去しばしば当御主人とうごしゆじん幼若ちゆうじやくの為に、商道しやうだうの大意たいいあらましを、仕来しらい商道の算術さんじゆつ共に記しあたへたと、無餘むよ儀御談合ぎごだんがう、他の者に書かすにあらざれば、いなみ難なく筆ひつを取ぬ、只ただに幼若ちゆうじやくの人の為に記しする所なれば、万よろ一いち他の人見るとも、高まん利口りくちぶりを、必かならず々にぐみ給たまふな、また此こゝおろさと笑わらひ給たまふ事もなけれ、是ハ幼年ちゆうねんの人々を取立との為、家を大事だいじとおもひ、少も利根りこんになれかしと、実義心じつぎしん一盞書置いっさんしよおきものなれば、外ほかの人か見てわらうとも、予よハ屁へともおもわぬ、併ひら噂うわさにかけ、影かげて笑給わらふ事ハ、深切しんせつに書か与あたしことに免あはれ可べ下候げこう、是も算術

紅花の術

一 紅花諸方こゝろ江差向えさむかひニ付、仕入場しにりやうより申事

一 近國共ちかこニ紅花買口べにばな作り、口錢くちせん重荷おも老太らうだいニ付金二步宛きんにふたあひ也、外ほかに止り費つひの分ハ、茶代ちやだいとして其料そのりやうはたこ共ニ、見当差置可申事

一 羽州はぶしうニ而紅花宜鋪所御存知べにばなニ而も、其大略

山形やまがたハ北口きたぐちニ付、山形やまがたより宝沢たから・高湯たかゆ・上野うの・上平うへひら・五めう辺ごめうへより、長崎ながさき・谷地やち・小松沢こまつざわ・長どろ、此外これほか天童てんどう近辺ちかへ、山形大略やまがた夫々それぞれなり、尤其年々の出来不出来できなハ何方どなたにもあり、是を早く見付可申事

一 米沢こめざわハ

天領てんりやうの分也、其外これほかハ蔵花くらばな也、右高畑みぎたかへ辺へハ□かたす、山崎やまざき・新田にんた・鳥井町とりい、此辺こゝ一ばんよし

一 以連いづな江えハ郡山ぐんやま東西とうざい五ヶ村ごがむら、悪津辺あくつよし

一 仙台せんだい

奥

薄絹町・藤沢町・岩谷堂町・水沢町・前沢町・ほろわ村、この辺よし

南部

花巻町よし

南仙台

坂下近辺・富田・富沢・ざる川・中田よし

是

憑原・丸森・角田・清水・三みう・大川原・玉崎よし

右之通外紅花出候所ハ、秋田・庄内・江戸近辺・記州ニ御座候

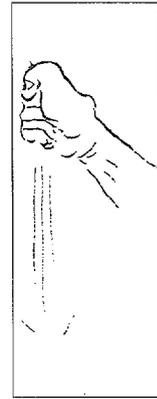
是当國

水花製法左ニ

一 生花大雨中雨小雨、風吹夜、雲りて露(虫)き青(虫)而、夜はれ、露沢(虫)ち(虫)夜の花、又沢辺・川辺・大沼辺、是
 ハ霧ふかくして、水目方になり、花ハ宜鋪候へ共、揚高直ニ成り候間、心得可申事
 右一々心得無御座候ならぬ物に御座候

是ハ三介がうてなり

是ハ水耆太の積り



右之如水花を握詰て見、手よざアざアと水出るならハ六百メ宛る余、手よたらたらとおちるならハ三百五拾貫目位、ほたほたと手より出るならハ三百貫目前後、ほたりほたりと手よおちるならハ貳百五拾メ目位、能握りほたりとハ凡貳百貫目位、露気あるハ百五拾貫目位、右を以、跡ハ勤弁懸引之事

一 雨降り、其夜半過より雨はれなハ、人ハ雨花と心得、下直ニ買心の事あり、左様の時、早ク花を握り見べし、思ひの外、風にて雨水を吹貫、花ち、れ、生花目形いらすに干揚可申、握の塩梅ハ前にあり

一 तरी花ハ、九拾貫目より百二三拾貫目迄ニ有り、能前の傳にて勤弁可被成候

右其あらましを書す、是へ其時々の生花直段を乗ズ、耆太の上りを知ル、懸引見込之計事有べし

一 ねせ方ハ、生花買集候節、ほとらぬよう筵へひろけ置、兼而の通りふみて、きけをあらぬき、よくほこし、平のとごへねせ、翌朝能ほごし、ねせ返し、水を打、生水ハ 川 川水の上物、左なくハ、生水ならハくんで置、ぬるめて打水に遣ひ可申候、又干場へ出す時、誠にさらりと水を打、桶へ取、手にて能ねり合 川 し可申候、手返之時、其時刻を見、無油断返し不申候へハ、うら表出るもの也

一 干花目利ハ大麥に有り、筆にも口にも申兼候事なり、なれ共、大略の大握の所ハ、能とごに置、干花薄クさりさりとさげ、さぎ口の光り有のよし、其外、粉な入り花ハさけぬ也、もちあづく目方引ク、其粉すな大すな入れ申候

ハさし、是を能考見べし

此外、善悪上、中、下、下々の位付、一駄一駄ひらぎの義ハ追々見覚可被成候、中々今丸薬の如書置可申様無御座候、誠段大きに数々の品也、なれ共、上手の目利ハ、金考歩とも違不申ぬ物也

但し、羽州ニハ無御座候霖雨の節、生花干兼、段々とこにてくさる也、左様之時ハ、井戸江つるし、壁江付杯いたす、夫よりハもみとうし籠をあつめ、是に花もちを拵いれ、つるし置、下夕にけし炭をおこし、ぬかをかけ、火ほんのりとあたるよふにいたし、火干に可被成候、けし炭なくハ、かた炭にても、ぬか多くかけて、火勢を和らかにしてほすへし、籠数多なくハ、すだれ□り迄いたしたるにほしてもよし

一 蠟之儀ハ、一日分□之目形五拾メ目の積り、木のみ粉な九メ目宛懸り申候を、二叭打を一日前とするか大ほうと見へ申候、木の実買方ハ、相場割ニ有故略ス、但し二番共ニうつなり

此一日前仕立勘定左ニ

此ちん共ハ、所ニもより可申候、是ハ山形のふうなり

一 打ちん、一日前考入り百文

メ式百文也

一 木の実揉ちん、一叭十六文、五はいれにて七叭一日分、此ちん百十式文

一 竹袋ニツ宛毎日すたりと見て、高直ニシテ百文

一 蠟打はん料、兩人にて百文

一 油一日分に三升さしに致し、此油金考歩に五升替にし、三升分九百九拾文

一 木の実一日分貫高五拾貫目、歩ニ九貫目替ニシテ、代金壹兩壹歩ト九拾文

一 たぎ物ハ、メからも出申候

右惣メ金壹兩壹歩式朱ト

壹メ五百九拾式文

此直し金壹兩ト永六百拾六匁式分壹厘

右之通りニ仕、此一日前より蠟式舟宛出申候、壹舟四貫五百匁ト見、二舟ニ九貫目、此分前メ高金高ニ而除メ、元揚

兩ニ

五貫五百卅匁余ニ上リ

但し右メ高より、あぐかすニ而也□錢出候間、夫丈安ク上リ可申候、心得迄ニ記ス

右之通り故、木の实ハ仕入候節、二百、三百目高直に相当り申候共、上物相調申候方徳なり、第一手間懸り不申、メ蠟のたり前多分にして、色よく出る物也、少々の事ハ高直の方よし、但し長舟も重箱よし

一 番蠟の生の見様大略

先ツ爪のつぶりとたち入るならハ、四升も油余さし也、油壹升、壹升五合のさしハ生メと申候、外にハ尤見てもかたし、其ふり合を以勤弁、油さし高生合目がん可然、次ニハ少々和らかの色、山吹白色の蠟と、少しくすミ、右よりハかたぎ蠟ならべ置、何れを取と申候ハ、少々のやはらぎ、色能キ方取申候、少し生かたぐも、色あしきハ相手不足也、別けいはくの此節、少しかためても、蠟そく色あしきは売不申と申、相手不足也、是ハ心の咄しなり

一 青芋之儀ハ、金拾歩也□也て直段付の様相見得申候なれと、是ヲ十にわかち見申候へハ、金壹歩に何程ト成り申候、

夫心得算用可被成候

但し沓簡正ミ甘メ刃入り、沓太式箇附なり

右為登方、其外代品物善悪の義ハ、手作もする事なれハ、略仕候事

一 米沢御蔵芋之儀ハ、三拾六メ刃沓太ト御申出しにて、其節の諸方直段引合を以、米沢公御蔵へ入札、落札之上手取申候事也

一 仙台へ当地より差向商ひ可仕品物左ニ

一 蠟 太ちん山辺を仙台之城下迄、沓メ刃六拾文懸り

但し問屋入

一 綿 太ちん山辺より城下迄

沓本式朱ト式百文也

綿問屋入

一 下苧 右同断、ちんハ沓貫刃六拾文懸ケ

小間物問屋入

○むぎくるみ ○蕨粉のり ○地おりのかたびら ○たばこ ○うちわた木綿 ○からはぎないの細びき 此分

ハ太ちん六拾文かけ也

右之通り故、算用御懸引可被成候事

一 仙台を仕入帰り利分可有物

肴 紅花 白石紙 紅花 川芎 いせぶのり ゆずのり ふご 此外小手之物略ス、何れも出役懸り申候事

一 以^(伊)達江ハ差向分 蠟 綿 砂唐 木綿 相拂申候事

一 米沢へハむぎ物なし 肴斗

同仕入物 御葎花 御葎蠟 御芋 小間物 紬 しま 絹糸 右之通り利分有物也

酒田の部

一 酒田の儀ハ、羽州の咽首^{のど}、羽州荷の舟付にて、古来諸國の舟共入込、御諸家の物成りを差下し、大行おごりの場所也、今ハ世上せ志からしく成り、おごりの事、士商共にあらね共、大古仕来にて、自然と其姿今ニ有り、いん酒自在の所なれハ、格別心を附不申ハ相成り不申所也、扱同所も春ハ三月初考番舟^ニ而、秋ハ八九月迄に上下の舟段々に入津致ス也、此内に買物にハ下り可申候事

一 塩仕入算術左ニ

一 塩考太 貳俵附

但し考俵八斗五升入

考太の升メ考石七斗也

兩ニ式石五斗替の見当^ニ而

代金永六拾八匁

但し塩之儀ハ、直段青雨の年^ニ而、大義に高下有物也、天氣の見込大切之仕入物、大義に懸引、生死^{いきて}損徳有品也、此大意ハ前文言^{せんもんごん}ニ而ざどり給へかし

○錢両替ハ、六メ六百文の積リニ而致置、惣体見当相場故、時々の変有ル事察し給へ

右懸り物

一 九拾六文 塩老俵

一 六文 藏入分 四十八文懸リニ而式俵分也

一 式文半 仲

一 永老匁 合力分

一 式り 問屋口錢

一 永式拾老匁 金六兩ニ付金老兩式分懸り半

一 八分四り 酒田^も山辺上かし迄の運ちん

一 永八分五り 問屋 藏しき

一 永老匁式分ト 同所出御役

一 八り 金百兩ニ付金三兩三步を売買人式ツ割ニ而半分一八七五懸り申候事

一 右を^ル高算用着元直段何の苦なく候へ共、只一見にてハ、乍失礼腹に入り不申候間、拵置不申候、能考懸引共心附、

一 一算の上御知り、腹にいり置度奉存候

一 はせ、砂唐相調申候時の、大略懸り物老箇ニ付左ニ

一 永三匁三分 御役口銭

七厘五毛 三三七五懸ヶ

一 永八匁七分 寺津舟町迄の運ちん

三り

一 永壹匁五分 丁持ちん

船方合力見当共二

右之通りニ相見得申候、乍去酒田江行買物何成り共致時、懸り物早ク知らんと思候ハ、寺津・舟町へ買元へ割懸りと見候へハ、大略の早算、併格別下直の物、目方引物ハ、左様ニ而斗行不申候、是大略の所也

一 はせ之儀、鉄等之儀ハ、両々の直段也、是へ懸り物加え、算用着直を知らん

一 綿ハ同所ハ壹本六メ目入ニなり居候、是を式拾本にての直段也、作り懸り等入用仕候間、夫等ハ商ひ仕候程の人ハ、勤弁可有事也

一 同所江差下し物、大豆、小豆、小麦、たはこ共ニ、道中懸り、売口銭、御役、右之通り懸り申候

一 同所より仕入可申物、木綿、五十集、砂唐、志ちど、巻紙、半紙、此外ハ目がん並見込の事、器量次第也

一 越後新潟ハ相調申候と、酒田ニ上候所ニ而、諸品へ一八七五の役懸り申候、此勤弁算用無御産候而ハ不宜候事

一 京都紅花売方之儀、以前ハ懸引能キ事も候へ共、只今ハかけ引不宜、問屋中寄合入札ニ而相調申候様ニ相成申候、誠ニせぢからしき事也、其上ニ京者の事故、猶々からしき事に御座候

同所ニ買物は ○かな物 ○絹もみ ○雛 ○さんとめ ○形付上物 ○びろふど ○錦織物 此外前の如也

一 大阪仕入物左二

一 はせ式匁五分又ハ匁八分のと相場書ニ御座候ハ、此目百六拾匁也 壹斤ニ付直段ニ御座候、尤壹箇ハ大阪ハ百斤宛隨ニ相入居、舟手の仕入ト積込申候、右算用左二

一 壹箇正ミ百斤入、生はせ晒共ニ、壹斤匁八分ト加へに見つもり

代金百八匁なり

但し虎の巻にも御座候通り、大阪ハ時々刻々ニ金直段代り、銀相庭くるい候へ共、大略見積りを以かり勘定仕

立見るニ付、六拾四匁かへの見立、都而五畿内ハ右銀なり、尤仕入物する故ニ式三分のおし引ハ有べし

一 大阪より酒田迄の運ちん、大略ニ而壹箇八匁位

一 酒田より内迄ハ廿匁位也、誠ニ酒田より通行ニも何ニも入用仕候所ニ而候

右三口

メ式百〇八匁也

此銀六拾四匁替ニ而割

金三兩壹歩也

右はせ壹箇百斤入

正ミ十六メ目也

此目方を右金三兩壹歩ニ而除メ着元直段を知ル

着元直

兩ニ四貫九百廿匁余也

金五兩ト永三百五拾匁匁也

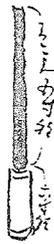
右之通りニ仕立、山形山辺迄丁銀廿五匁加へ算用候ハ、着元直段ニ相成申候

一 砂唐之儀ハ、大阪ニ而仕入申候ニハ、出羽之方扱なれ申候、大阪之間屋ニ而ハ、風代四貫目ニ致、壹斤貳百目ニ取斗申候へ共、夫ニ而ハ出京出坂ニ而働も薄ク御座候間、大阪堺筋ニ平のや惣兵衛、平野屋五郎兵衛杯申大問屋共候間、是江直々参り相調申候へハ、風代ハ唐目拾斤宛より外引不申候、尤同所ニ而ハはだが樽なり、夫ニ而唐目十斤ト申候へハ、壹匁六百匁ニ御座候、樽に焼印有り、○印ハ宜鋪、□ハ不宜、則此如ニ焼印有り、○之方買取可被成候

一 砂唐之見様ハ、砂唐突ツツニてつくなり、左ニ、

壹尺五寸程 六寸程

此道具十日町ニも有り



是ハ砂唐突也、是をづうと砂唐へ突込、黒キ所ハ鉄ニ而拵候物ニ而みそ有り、是をつき込候節、ねちりぬけハ、砂唐の中までとれて出る也、夫を親指と人さしゆびニてひねり見、ざらざらと申ハあらめニて不宜、小めの方よし、夫も余り小めなれハぎ（マヤ）てうと申有、夫ニ底ニいしばい入り有事あり、氣をつけ可申候、大阪ニてなめてなど見る人ハなし、併やほニなり、なめて見るかたよし

右買方算術ハ、前之はせ之如、壹斤ニ付何程と申直段なり、尤入目貳拾貫目前後相入り申候物故ニ、正ミ貳拾貫目と見立、壹斤出羽奥州の通用ハ貳百目斤也、なれと大阪の堺筋より相調申候ニハ、大目だいめと申、壹斤貳百三拾目宛也、是より貳拾貫目見立ニて買方算用左ニ

右

式拾貫目を、式百三拾目にて除シテ斤数を得、夫江斤直段を乗シテ、銀高を知なり

右二三兩割廿メ分

八拾六斤九分六り

斤ニ銀式匁かへして

此代百七拾三匁九分式り

六拾四匁替ニシテ

此金式兩ト永七百拾七匁五分

右へ大阪より山辺山形迄之懸り物丁銀式拾匁と見、此分永銀ハ三百三拾三匁三分余也、是を砂唐代とハ合せ、金三兩ト○永五拾匁○ハリ、右を以、砂唐壹樽の斤数を除メ知也、併今、堺筋買ハ式三斤の數故、式百目斤ニ直し、壹樽の斤数を、夫を除メ当方着直段を知也、尤大阪堺筋ハはだが樽にて、唐目拾斤外、風代目引不申候間、是をむしろ繩を以、作り直し、風代四貫目に相成候様、大阪にて作らせ不申候へハ、羽奥州の通用ニ成り不申候、是を心得作らせ不申候へハ、風代のかわりニ、砂唐にて風代目ニ引かれ申候間、損ニ相成申候、依而風代四貫匁ニ相成候様ニ、大阪ニ取斗可申候事、扱今の式拾貫目、式百目斤ニ直してハ、則百斤也、是を前のメ高金三兩ト永○五拾匁○入りにて除シテ、着元直段を知ル、左ニ

兩二三拾式斤七分七り余ト見ゆ

○又曰、大阪唐目十斤ト申ハ、壹斤百六拾匁ツ、也、左様なれハ、はだが樽目壹メ六百匁外ひけ不申候間、筵繩にて式メ四百匁風代へたし目不致候へハ、田舎持參損出申候、随分むしろなわにて、左様な出来候物ニ御座候、猶樽

ハ都すべ而か櫃び也、其内あが櫃ハ木の目形ありと、人きらい申候間、是をとらぬ様二見ぬぎナサルベクソロ

一 白砂唐ハ風代ニわけなし、是も堺ハ式百廿斤也、是ハ櫃又ハ箱ニいれ有り、田物の事ハ、何分さらさらかわき候而よし、少し志めり有と、大阪酒田等ニて見候と、国元江持參すると、大志めりとなり候間、少しも志つとりとなつたと見ハ、志めりニてよからず、尤今ハ和製わせい斗はやり申候、和せいとハ、さつまニて拵候白砂唐、此辺当時唐砂唐ハ氷より外ハなし、勘定引着算術ハ、前のはせ砂唐の算用同様なれハ、是を以着元直を知へし、但し風代ニ白砂唐ハ究なし

一 砂唐つけハ、てんもんとうニても、とうくわつけ、茄つけ、いろいろのもの、大阪の八百屋ニ有り

一 かみすりハ、老丁三拾文より五六八九拾文迄ニ仕入掃り申候外、大工道具、都かな物類仕入而利有り

一 大阪手拭絞並安嶋虫形付、夜着、夜具、古手、からかさ、ちよちん仕入徳有り

一 大阪堺ニて真田まなだおり、木綿びろふと、安しま相調利有

一 都すべ而京大阪ニハ、色々調物氣を付申候と、利徳之物有り、是ハ其身の器量次第外、手出し成り不申候、是も其身のすぎ斗ニて、仕入候も売場相手不足の時々有、是ハ勘弁、何ニよからず仕入可被成、尤夫二目のつかぬハ、世けんニうどく、商下手なり、能勘弁可成候

一 江戸ハ為登物も有り、仕入物も沢山也、是ハ此辺ニても少しもこび申候所、江戸物故、草紙、綿絵始とし、是をさどり可被成候、併三都ニいろいろの古道具、紙入物の古物あれ共、是ハ商売の外なれハ、必々御調御無用、注文物等ハ別段知らぬ、何ニ商とやら、大義錢ばかりくずみ申候、決而御無用也

右之通り、商ひの大略書シ申候、此外ハ畑はたけの中ニ水れん稽古ニてハあじか知れぬ、少々宛さわらすよらず、ほんの

事をして見ろ志や、片遣(形)ひの劔術ハ用ニ立ぬ、扱も此書を御一見候ハ、諸事胸(心)に御勘弁、其他其時の弁利宜鋪を
さとらん、此位の事を手本とする位の人ハ、実のうそい人ニあらず、たとへ二も、師の半学(はんがく)と言故(いふゆゑ)、ろくな出勢(しつせ)ハ
出ぬ、乍併、赤あか子(こ)より諸道(しよたう)を知る人もなし、夫故、御主人の御咄(うた)ニなずみ、ゑい氣ニなり、老もうの語人の氣
ニさわり、不知たらぬ愚慮(ぐりよ)ハ取てなげ、用立所あらハ御用(ごよう)ひ可被下候、夫商人寅の巻(まき)ニも有る通り、小富(こふ)ハ氣根二
あり、大富(おほふ)ハ運ニ有りとかや、一刻も□すべからず、尺虫(せちむし)のちぢむハ、是伸びんとする故也、愚僕(ぐぼく)今聊筆(りやうひつ)を費(つと)と
いへ共、喰(く)共あちわいを不知、聞共(き)不用、空數筆(くわすく)のあとハ、末代(まくだい)ニ大そうな恥(はぢ)を残(のこ)さんかと、今さらあんじ候而
已、たとへ用る不用ハ御勝手、家業(かぎ)ニおこたりなく、身のおごりを除(のぞ)く、なす事(こと)約(やく)ニし、相続(さうじゆく)の余力(よりき)を以、外を
慈(いづくしみ)、寛(ゆる)るからず、ひどからず、人に寛急(かんきゆう)を見られぬ様(よう)、久来(きうらい)の家行(かぎやう)相続(さうじゆく)、無事(ぶじ)を祈(いの)る義(ぎ)なり、此旨返(こゝろ)ス返スも神
にちかへ申義ニ御座候

夫、人ひとりニ米何程食(し)ぐ可仕哉、御上等より扶持被下所ハ、耆人前米四俵也、是を耆ケ年三百六拾日休なしニ分
算、一日貳合宛也、是にて取続可申哉、能察し可被成候、併当時凶年の折からなれハ、此代金大握(つゝかみ)ニ金四兩なり、
是か五兩ニなる迎も、此分(ぶん)ニ而ハ不足也、是を稼(かせ)人ハ粮(い)を入れ申候而も、米五合ならしハ、たべ可申事ハ我咽(のど)をさぐ
り知り給へ、左候ハ、耆ケ年分四俵七分三厘七毛位、米の分斗か、此節(ふし)な□金五兩ハ入用可仕候、いかニ幼若の
公達も痛入御勘弁なぐハ、皆々一そこの舟ニおしりして、おもぐし、水中ニ手をつなぎ志(こころ)ずめるニひとし、返ス
返さかしこぐさどり給へかし、是より常の中上(ちゆうじよ)の作(みな)の年に見立(めしだ)、召遣(めしよ)一人前(まへ)一ケ年の所、衣食住御心(おほへ)覚(おぼ)ニ、是程
の事知らぬ人、なけれど、是も若男の為、此事早ク心ニ覚居(おぼ)不申上ハ、す、んてなす事不能(あたはず)、志(こころ)□(忠)ぎ守(まも)る道なく、
無道不義(むたうふぎ)出(い)る故、正直長命丸(せうじちやうめいぐわん)之為一々(い)ニ

老人前五合見積

一 三八入四俵七分三厘七毛也

此分壹俵金壹歩二見、左二

○金壹兩貳朱ト三百七拾九文余

一 味噌十人扶持 壹ヶ年二三俵煮と見立

糲、塩、豆、手間、焼物共二、壹表金貳歩懸りと仕、金壹兩貳歩、老人分左二

○九百六拾文

一 煙草 下相思草吞 一ヶ年金壹歩分と見、一日四文四分四厘、年

○金壹歩

一 鬢つけ油 茶二て一日貳文ならしと見左二

○七百貳拾文

一 肴 月の内二何二ても五度、一度分五文宛して、一ヶ年分左二

但し足のあかをおとすより、ふんどしはだこをあらへ、齒かすをとり、何をするも、一家の内たをれない所二ハ、何も無い物也

○三百文

一 つがみ鼻ハよけれど、わら筵のはがまではばかり、せつちん行もなるまいから、塵紙はぎ物、常々のめしの菜、何にても、仏さんの様にもならぬ故、彼是合せ一日三文宛懸り、此分一ヶ年分左二

○壹貫〇八拾文

右○印分六ツあわせ 高左二

金巻兩三步式朱ト貳百三拾九文

此分ハ口斗ニて、世けんの諸義利合もなし、着物もなし、あれ是を捨る事もなし、又榮耀な事ハ少し無く、是から奉公人の給金、一ヶ年の内ニハ病氣も有べし、少ハ藥も吞ずハなるまい、其上ニ銘々の身ニシテハ、口はおこりておる、着物ハ上物なり、夫ニ付、世けんの義利の任用、扱此節ハ凶年中ニて、格別の任用、格外のすたり、取物ハ取らず、何程か身代の御大病ならん、是ハ何國ニても、大小ニ不限、金持と名の有る人ニ、隣國共ニ疲ぬ人ハなし、是も世けん一統の人々、是丈のおごりの世の中を、天のお志かりなれと、夫も因果の身にて、かかる所江生れ合、無是非と恐入べし

一 当家御先代々様

御靈公方御威得の頭れ、近かくハ親々の威光御仁恵を戴ながら、此節目も不覚、元日や又うかうかのはじめかなてハ濟ぬ所也、如此の時に、身代ニ忠義を深切につぐし不申ハ不叶所を御覚し給へ、其身のくさぎを知ぬ、能もいへはるど思ひ給へな、家々の大事の時節、ほぞをかむともかへらずと、思ひ切て申也、夫かうそなら、何程取分が有り、何程拂口か有り、内外をよくして、安平の御ふん別が聞たへ、サ、是ハかけだく、壹朱而來るが、鳥の物への入用も志るまいハット、是ハ余り申過し升、真平御免、壹首差上升あらそわぬ

柳の枝の糸をもて

かんにん袋

ぬうべかりけり

扱も此節柄か、極陰といわんか、是より世のたで代りとなり、当麦作見るより、陽にむかへ、夫に随而、人氣次第二次第二直り来る、サ、そこを図をはつさず、此凶年の身心持にて、家族一致して、三ヶ年大切ニ計ルなら、何をしても利有り、是か元となりて、惣くたびれかぬけんと思意仕る、扱愚者も、千の内ニハ善事者ツ位ハ有りと聞く咄しか御ざり升から、知者一失の用ニも達ると、腹わたの底より、知る袋をはらつて書スなれハ、必々、若公方おどけと笑らわす、真実ニすることに察し給へ、いつまでも大下手の長談ぎ、たれも聞く人かナイ、ヨセ、書物ハ捨て置ても、後世の大赤はち残す、いやなものなれと、せめてハ御代々御明靈公方のなかれの未をくんでおる御恩を恐考仕、若衆の御心得ニも、一ヶ條も相成候ハ、当御主人の下知に随い、愚意如此、他見を不願、筆をおさめぬ、以上

村居新六郎

書之

天保八丁酉二月 日

四 西鄉村紅花生産資料(筆写)

一 千紅花 一駄金壹分 但三十メめ入 壹貫目三拾式

文

但御領分にて千候に付、千花百目に生花一メ
め之役銭掛出候様に享保酉より改り候

(天保十年之
小物成)

一 生紅花 一メ目に付廿文つゝ

紅花役所

一 町江納方一人、徒目付一人、斤是取老取込候節

至增人出 中間老取人 右役判監年々問屋江遣候

一 金屋江納方老取人

一 小倉江小頭持品等之内一人 津留立候節村々へ

小物成

一 錢貳百五拾メ文内外 紅花役年々不同

役錢物

一 干紅花 一駄金壹分 (以下前出)

一 生紅花 一メ目に付廿文つゝ、(前出)

一 真綿 一駄に金貳分つゝ、但三十七メ目入 一メ目百

文

一 青苧 三十八メ目ニ付金壹分 老メ目に付廿六文

九百目迄は百目に貳文

右四口 二日町 新丁之内 年に役所定後人出役錢取

納 右役所印にて手形出候

右之外 口錢当所ニ而役錢取納候 少分之物不能別紙
有

御巡視に付御案内之者江相渡覺

(享保丁酉五月十一日) (羽島利一氏藏)

一 生紅花老メ目に付 貳拾文

一 干紅花老駄 金壹歩

但端老メ目 三十貳文

(阿弥陀地嘉藤庄三郎所藏文書『西郷村誌』所収)

五 北目村紅花關係資料(筆写)

(一) 御役所ニ而為読聞御領内村々一統江

一 此度宇都宮様御家老問頼和三郎世話を以、江戸大伝
馬町住居諸色問屋頭取馬込勘ヶ由引請ニ而、御国産之紅
花被差登せ御引合相場、右紅花御登之儀は御身帶向御

基相立、御勝手道御引直しニ相成り、永年之御為筋此一事ニ限り候事ニ候間、御領内一統深ク御為ヲ存、全ク出情取計候様被御付候、此段小前之百姓迄能々承伏候様ニ可為申聞、況合は別紙に申達候

一 駒込勘ヶ由御国産之紅花、年々御引請御約定ニ相成、当年は初年之儀故、右紅花荷物江戸表江着候上、代料引替ニ受取候事ニ而、右代金は早々此表ニ差出シ、一統江被成御座候、来年よりハ先方より金子為差出、前金御貸可被下候

一 御国産之紅花為御登ニ相成候得は、駒込勘ヶ由口入ヲ以、多分金子御借用ニ相成候御約定ニ候、右様ニ相成候上ハ、御勝手道御印直ニ永年之御登筋無此上事ニ候、左候得ハ御領内一統並添役共、惣御用達共此度之儀ハ格別ニ令粉骨候様被御付候、右之通ニ候間、小前之百姓迄詛合能々申論、心得違無之様入念シ可申聞候、尤大庄屋共添役用掛り之者共出村いたし、忝人宛申聞、承知之印形有之候様可致候、此度御国産之紅花為御登之儀、別紙之通取領内江被仰付ニ就而ハ、其方共格別令粉

骨取計可申候、且小前之者迄承伏候様、申論候様被仰付候儀、自然之潤益ニ相成候儀莫大事ニ候

一 生花干花共ニ聊ニ而も他領江売払候儀ハ、堅停止被仰付候、若又隠し候而、他領之もの江少したりとも売払候儀有之候ハ、当人ハ殿科ニ被仰付、其村之三役組合迄吃度御咎被仰付候

一 御国産紅花之御用係り工藤六兵エ・仲野真子七江被仰付候

一 大庄屋佐藤弥三郎並添役共ニ、惣御用達共此度儀ハ、格別ニ令粉骨候様被仰付候

右之通りニ候間、小前百姓共江詛合能々申論、心得違無之様念入申聞せべく候、尤大庄屋並添役御用掛り之もの共致出村、忝人宛申聞承知之印形取之候様可致候
前書被仰出之趣、小前一同逸々承伏奉畏候、依之御請印形奉差上候処、仍而如件

安政二卯年四月

御領分

北目村

(二) 紅花蒔附書上帳

(表紙)

「安政二年

北目村

紅花蒔附書上帳

四月 日

名主 市右衛門

小前一同不残印形差出シ

外ニ御役所ニ書付御下ケ、大庄屋添役御用達江廻村被

仰付、小前一同江為読書、申合是ニも印形

- 一 壹俵場 大性院
- 一 壹斗場 弥惣次
- 一 蒔不申候 角 助
- 一 壹俵場 五郎右衛門
- 一 蒔不申候 孫四郎
- 一 壹斗場 勘兵衛
- 一 蒔不申候 太兵衛

- 一 壹俵五升場 源次郎
- 一 蒔不申候 幾太郎
- 一 同断 小 助
- 一 壹俵場 市 蔵
- 一 壹俵場 栄 七
- 一 式斗 七兵衛
- 一 蒔不申候 幸 七
- 一 同断 平次郎
- 一 同断 隆 元
- 一 同断 長 松
- 一 同断 次郎吉
- 一 式俵場 市右衛門
- 一 式俵場 藤 内
- 一 蒔不申候 卯左衛門
- 一 同断 佐 内
- 一 壹斗五升場 源右衛門
- 一 蒔不申候 弥 吉
- 一 壹斗場 七郎平

- 一 吉斗五升場 吉右衛門
- 一 蒔不申候 又右衛門
- 一 四俵場 吉重郎
- 一 式俵場 源次郎
- 一 蒔不申候 文七
- 一 老俵場 藤九郎
- 一 老斗五升場 万七
- 一 老斗五升場 弥平次
- 一 六俵場 与四郎
- 一 式俵場 孫助
- 一 老俵場 四平衛
- 一 蒔不申候 藤七
- 一 同断 孫内
- 一 三俵場 九兵衛
- 一 蒔不申候 権兵衛
- 一 同断 三十郎
- 一 同断 卯八
- 一 同断 三郎兵衛

- 一 同断 弁藏
 - 一 同断 久兵衛
- 立付ノ三拾老俵式斗五升場

(三)

織田兵部少輔家来

長谷部 肇

兵部少輔領分羽州天童産物紅花荷物、今般致直廻通町組小間物問屋之内、丸合組紅花取扱候もの共ニ限相渡、商法之通為売別候得は、領内百姓共農間助成ニも相成候ニ付、此段御聞濟被成下候様奉願上候、以上

五月晦日

織田兵部少輔家来 長谷部 肇

附札案

書面之趣、通町組小間物問屋之内、丸合組紅花取扱候もの共ニ限、仕法相立、荷物相渡為売捌候儀ニ候ハ、差支之筋無之候

ヒン附

別紙織田兵部少輔家来申立候趣、当時武州並奥州筋紅花商人共、上方為登荷物取締之儀、丸合組惣代も願出、御吟味中之儀ニ付、右ニ拘り候儀ニも可有之哉と、諸色掛り名主共江申付、為取調候処、前書之一件ニ携候筋ニは無之、為書面之通申立候ニ付、右渡世筋之もの呼出相約候処、是又別紙之通申立候、最早内対談も行届居候由ニ而、差支之筋も相聞不申、然ル上は諸家国産之振合ヲ以、別紙附札案之通御達相成可然哉ニ存候

織田兵部少輔様御領分羽州村山郡天童産紅花荷物、今般御領主産物ニ而、御当地直廻之上、通町組小間物問屋之内、丸合組之もの共迄市中商法之通、拂方御仕法立之儀、御家来衆も被申立候処、右は此節関東地廻奥州筋紅花荷主共も、京都伏見商人江直送いたし候荷物を差押、右丸合組之者共、御当地打越通荷物御取締、奉願御吟味中ニ付、

羽州天童紅花荷物国産相立、御当地問屋共荷元窮屈ニいたし候内、目論見ニは無之哉、其筋事実之訳密々御尋ニ付探索候趣左ニ奉申上候

一 羽州天童同州山形同州最上、此三場ハ紅花買次商ハ致手広、荷元格別手厚之ものも有之処、例年彼岸前迄者京都総而上筋江直廻いたし、彼岸後ハ御当地江相廻し候彼地商人共之商風ニ御産候処、諸商売手広以来、都江出店いたし候奥州商人手付のもの共、奥州江出買いたし、相場買荒候ニ付、從來彼地住居手広之商人共、國中買集直段相場を上方出買商人ニ被纏上、自然元買値段江差響、且作方之人氣も不宣様相成候間、御領主御家来江申立、国産仕法相立候得ハ、不同之直段穩ニ買集方行届御領主御益筋ニも相成、農家風儀も質朴ニ古復可致と之主意ヲ以、今般御申立相来候由、全当時御吟味中之荷元筋江、相拘候意味合ニは相聞不申候、尤外御家々様御国産ニは、御出入町人江御渡相成、問屋共江売捌方相成候分有之、天童領国産屋敷江紅花取扱候問屋共、最初分出入いたし下々爾諸行届候而、御申立相成候由ニ付、商

法ニ相振候儀ハ無御座様奉存候、右密々承探候趣奉申上候、以上

卯六月

諸色懸

堀江町名主 熊井理左衛門

村松町名主 源 六

(四) 乍恐以書付奉願申上候

一 通町組小間物問屋之内、丸合組通式丁目庄次郎地借

五郎三郎領ニ付、嘉兵衛外四人奉申上候、織田兵部少輔様御領分、羽州村山郡天童産紅花荷物、御当地江御直廻し、市中江御拂相成候ニ付、私共仲間引請方差障等之有無、御尋ニ付左ニ申立候

一 紅花産物参着次第、五郎三郎外四人のもの江御達次第、御蔵元江罷出見本受取、銘々直相立候積

一 紅花沓袋目方、正味四百七拾五匁袋、式拾五匁右ニ

沓袋五百匁ニ相定、六拾四袋を以沓駄と相定、相場相立

取引致候事

但御品渡之節、御立合之上荷物切解目方相改、種目有之候ハ、欠引可被下候事

一 紅花見本分品劣候か、濡痛等有之候ハ、相当之直引相成候事

一 紅花荷物御拂之節、御当地景氣弱ニ而、上方表立為積登相成候節ハ、沓個ニ付銀沓匁六分ツツ問屋口錢申請候事

一 引受紅花代金之儀ハ、当日も六十日目相納可申候事但車力實ハ買請直段見込之事

右之通仕法相立、紅花荷物御当地御直廻、私共仲間江引受方之儀、一切差障候儀無御座御尋ニ付此段奉申上候、以上
通町組小間物問屋之内丸合組
通式丁目庄次郎地借 五郎三郎
煩ニ付

煩ニ付

代 嘉兵衛

本町式丁目嘉兵工地借 善太郎

勢州住宅ニ付

店預り人 弥兵衛

通旅籠町治助地借 久蔵

京都住宅ニ付

店預り人 彦七

馬喰町三丁目半蔵地借 金蔵

堀留町貳町目家持 吟次郎

郷州住宅ニ付

店預り人 徳兵衛

煩ニ付

代 仁兵衛

右組行事 通油町半兵衛地借

太郎兵衛

諸色懸 長谷川町名主

鈴木市郎右衛門

坂本町名主

新助後見

新右衛門

新乗物町名主

御番所様

三郎右衛門

六 石川村産物産業書上帳

(表紙) 安政四年

産物産業書上帳

巳正月 羽州村山郡 石川村控

覚

年々平均凡積

一 紅花貳駄位 但壹駄三拾式メ目の積

右者当村産物他国売出高、書面之通御座候、尤作付地所之義者、他村入会ニ付、百姓共軒別作高を以取調、如斯ニ御座候外、他郡他国売出し産物産業之品、無御座候、以上

石川村百姓代

巳正月

訴吉

組頭

長三郎

名主

吉右衛門

松永善之助様

寒河江御役所

七 石川村産出品書上帳

(表紙)
慶応元年

産出品書上帳

丑十二月

羽州村山郡

石川村

覚

巻ケ年出高

一 紅花 四拾八貫目程

但年々産出不同ニ者候得共、平年ニ而者大略増減無御

座候、尤壳捌方之儀、当部最寄商人、或者山形商

人共江壳渡申候

一 木綿

但年々少々宛産出御座候得共、銘々家内遣ひ用ニも

引足不申、却而他国入品等相求相続仕候

一 織物

但無地并縞木綿等少々織出候得共、銘々家内着用ニ

も引足不申、他国入品相求相続仕候

一 荏并菜種

但少々作付候得共、銘々日用之灯油卜引替候丈ニ御

座候

右之外産出之品者勿論、農間相稼候品無御座候

右之通御座候、以上

御支配所

羽州村山郡石川村

候、売捌方之儀者最寄商人共江相払申候

慶応元年十二月

百姓代 市蔵

壹ヶ年出高

組頭 庄太郎

一炭 貳万千貫目程

名主 三治郎

但山附之村方故、作物取入之上、年々十月二日より翌

寒河江

年三月二日迄相稼申候、尤売捌之儀者当郡最

御役所

寄村々市場等江持出売払申候

同

同

一 煙草 三千百貫目程

一 薪 千駄程

但右同断売捌方之儀者、最寄商人共江売渡申候

但山附之村方故農間相稼、最寄天童市江持出売捌申候

同

一 蚕まひ 拾五石程

一 楮 貳百貫目程

但先年者蚕養ひ候もの一切無之処、近年生糸相場

但右同断最寄商人共江売捌申候

追々高直ニ随ひ、農間相稼候得共、生まひニ而当郡

一 漆木

上ノ山、或者置賜郡米沢商人共江売捌申候、尤右

但少々者有之候得共、年毎売払候儀ニ者無之、三ヶ年

拾五石生糸ニ製候得者、拾式メ目程ニ相成候由ニ御

置或者五ヶ年置、越国漆掻共江売払申候

座候

一 漆木之実

右之外産出之品者勿論、農間相稼候品無御座候

但年々産出不致、壹ヶ年置又者三ヶ年置位出来申

右之通御座候、以上

慶応元丑年十二月

石川村百姓代

二月

羽州村山郡

柴橋村 扣

市藏 印

組頭

長三郎 印

名主

三治郎 印

寒河江

御役所

羽州村山郡

山口村差上写

一 生花凡拾耆メ百目

市兵衛

此干上り八百八拾八匁

但生花百目ニ付八匁上り

一 〃八貫四百五拾目

三之亟

此干上り五百九拾貳匁

但生花百目ニ付七匁上り

一 〃拾四貫六百目

長兵衛

此干上り八百三匁

但生花百目ニ付五匁五分

上り

一 〃耆メ八百五拾目

林藏

此干上り百拾耆匁

但生花百目ニ付六匁上り

一 生花拾耆メ貳百目

権四郎

此干上り六百拾六匁

但生花百目ニ付五匁五分

上り

一 〃拾耆メ貳百目

金兵衛

此干上り七百八拾四匁

但生花百目ニ付七匁上り

一 〃三百五拾目

長藏

八 柴橋村去寅産物取調書上帳

(表紙)
慶応三卯年

去寅産物取調書上帳

一	此千上り八百八拾匁	但生花百目二付八匁五分	一	〃五貫貳百目	林之助
一	〃貳メ目	上り	一	此千上り三百拾貳匁	但生花百目二付六匁上り
一	此千上り百四拾匁	彦兵衛	一	〃壹メ百目	利右衛門
一	〃九メ八百五拾目	但生花百目二付七匁上り	一	此千上り七拾貳匁	但生花百目二付六匁五分
一	此千上り六百四拾匁	千藏	一	上り	上り
一	〃六メ五百目	但生花百目二付六匁五分	一	〃七メ百目	又市
一	〃六メ五百目	善兵衛	一	此千上り五百六拾八匁	但生花百目二付八匁上り
一	此千上り四百貳拾三匁	上り	一	〃三メ目	八百門
一	〃六メ八百目	但生花百目二付六匁五分	一	此千上り百六拾五匁	但生花百目二付五匁五分
一	此千上り四百七拾六匁	五助	一	上り	上り
一	〃八メ貳百目	但生花百目二付七匁上り	一	〃四メ貳百目	善太郎
一	此千上り六百拾五匁	藤作	一	此千上り貳百拾匁	但生花百目二付五匁上り
一	生花五メ三百目	但生花百目二付七匁五分	一	〃三メ六百目	嘉兵衛
一	此千上り貳百九拾貳匁	上り	一	此千上り貳百七拾匁	但生花百目二付七匁五分
		文助	一	上り	上り
		但生花百目二付五匁五分	一	〃五百目	義右衛門
		上り	一	此千上り三百三拾貳匁	但し生花百目二付六匁五分
					分上り

一 〇六メ式百目

儀平治

一 〇拾毫メ目

清助

此千上り三百四拾毫匁

但生花百目ニ付五匁五分

此千上り六拾五匁

但生花百目ニ付五匁五分

上り

上り

一 生花八メ三百目

喜助

一 〇八百式拾目

源太郎

此千上り六百式拾三匁

但生花百目ニ付七匁五分

此千上り六拾五匁

但生花百目ニ付七匁五分

上り

上り

一 〇六メ式百目

源次郎

一 〇式メ百目

与作

此千上り三百四拾毫匁

但生花百目ニ付五匁五分

此千上り三百六匁

但生花百目ニ付六匁上り

上り

重治郎

一 〇三メ目

新助

一 〇三メ式百目

但生花百目ニ付五匁上り

此千上り式百拾匁

但生花百目ニ付七匁上り

此千上り百六拾匁

但生花百目ニ付七匁上り

一 〇式メ百目

平兵衛

一 生花五メ式百目

但生花百目ニ付七匁上り

此千上り百四拾三匁

但生花百目ニ付六匁五分

一 〇三メ三百目

与治兵衛

上り

此千上り式百拾五匁

但生花百目ニ付六匁五分

一 〇三メ目

惣吉

一 生花式メ七百目

上り

此千上り百八拾匁

但生花百目ニ付六匁上り

此千上り百八拾九匁

惣七

一 〇七實式百目

惣左衛門

此千上り百八拾九匁

但生花百目ニ付七匁上り

此千上り五百四匁

但生花百目ニ付七匁上り

一 〇三メ六百目

惣治郎

此干上り百九拾八匁

但生花百目ニ付五匁五分

此干上り式百式拾八匁

但生花百目ニ付六匁五分

上り

上り

一 〱三メ五百目

善兵衛

一 生花式メ三百目

伝十郎

此干上り式百式拾八匁

但生花百目ニ付六匁五分

此干上り百五拾壹匁

但生花百目ニ付七匁上り

上り

一 〱三メ式百目

喜兵衛

一 〱三メ六百目

市五郎

此干上り百拾式匁

但生花百目ニ付六匁上り

此干上り式百八拾八匁

但生花百目ニ付八匁上り

一 〱五メ目

藤七

一 〱三メ百目

丹次

此干上り式百五十匁

但生花百目ニ付五匁上り

此干上り式百三十三匁

一 〱三メ目

勘助

但し生花百目ニ付七匁五分

此干上り式百拾匁

但生花百目ニ付七匁上り

上り

一 〱三メ目

勘次郎

一 〱式メ百目

市太郎

此干上り百九拾五匁

但生花百目ニ付六匁五分

此干上り百拾六匁

但生花百目ニ付五匁五分

一 〱六メ百目

上り

上り

一 〱六メ百目

庄三郎

一 〱四メ百目

忠助

此干上り三百三拾六匁

但生花百目ニ付五匁五分

此干上り三百八匁

但生花百目ニ付七匁五分

一 〱七メ百目

上り

上り

一 〱七メ百目

伊兵衛

一 〱三メ五百目

勘兵衛

一 〱七メ百目

伊兵衛

此千上り五百三拾三匁

但生花百目二付七匁五分

上り

藤吉

一 〇五メ百目

此千上り三百五拾七匁

但生花百目二付七匁上り

合千紅花拾八貫弍百五拾匁

外

一 蠟

無御座候

一 生漆

右同断

一 葉煙草

右同断

一 青菜

右同断

柴橋

右者当村産物類取調候所、年ニ寄増減御座候得共、去寅

御役所

年ニ書面之通ニ御座候、以上

当御支配所

柴橋村

百姓代

九 石川村年中産物取調書上帳

孫七

嘉助

源治郎

組頭 長助

〃 七兵衛

〃 佐兵衛

〃 伊兵衛

〃 安孫子伝十郎

〃 見習 銀太郎

〃 名主 藤右衛門

〃 弥兵衛

山田佐金二様

(表紙)
年中産物取調書上帳

第十九区

五番 石川村

村山郡第拾九区五番石川村年中産物取調書

一	菜種	拾三石四斗五升	拾九石八斗
一	胡麻	五斗八升	四斗
一	蘿蔔	四百五拾駄	但百本 ^二 而 ^一 尅束
一	午莠	七拾五束	但百本 ^二 而 ^一 尅束
一	胡蘿蔔	五拾三束	但右同断
一	大和芋	九貫五百目	
一	四国芋	三石尅斗	
一	葉芋	拾八石五斗	
一	瓜	五拾駄	
一	西瓜	拾尅駄	
一	茄子	貳百貳拾三駄	
一	犬	拾五疋	
一	猫	三拾六疋	
一	馬	貳拾三疋	
一	鶏	拾尅番	
一	梨子	三百三拾五本	但隔年 ^二 実 ^一 る
一	蕎麥	貳石八斗五升	
一	粟	尅石七斗	
一	稗	三斗五升 入用	
一	小豆	拾六石四斗	
一	大豆	八拾九石貳升	
一	大麥	五拾尅石貳斗	
一	大麥	五拾尅石貳斗	申 五拾三石
一	大麥	五拾尅石貳斗	四拾八石
一	大麥	五拾尅石貳斗	八拾七石
一	大麥	五拾尅石貳斗	八拾七石五斗
一	大麥	五拾尅石貳斗	拾五合
一	大麥	五拾尅石貳斗	拾七石
一	大麥	五拾尅石貳斗	尅石
一	大麥	五拾尅石貳斗	尅石五斗
一	大麥	五拾尅石貳斗	三石
一	大麥	五拾尅石貳斗	尅石五升

一 桃 拾八本 但右同断

一 梅 九拾七本 但右同断

一 林檎 三本 但右同断

一 柿 拾五本 但右同断

一 蒲萄 老メ目 但右同断

一 榎櫨 四拾本 但右同断

一 桑 四百五拾貫目 五百メ匁

五百五拾メ匁

一 楮 七拾貫目

一 漆 七拾本

一 漆美 三拾五貫目 但隔年ニ実る

一 藍 三拾貫目 申 四拾メ目

酉 八拾メ匁

一 紅花 貳拾七貫目 貳拾老メ匁

十八メ匁

一 綿 四百五拾五貫目 五百五拾メ匁

五百三拾五メ匁

一 茶 五拾三斤 七拾斤

八拾五斤

一 繭 三石

一 生糸 貳貫百目

一 紙 三拾状

一 酒玄米 百貳拾石造

一 濁酒玄米 七石造

一 糶玄米 三百拾四石五斗

一 醉玄米 七斗四升造

一 味噌 三千貳百五拾貫目

一 種水油 三拾壹石 (貼紙) 金老分ニ付老升貳合

一 油粕 貳百三拾貳貫目 (貼紙) 金老分ニ付四メ

勿

一 煙草 八拾斤

一 蘭蔞 千八百八拾五枚

一 表草履 三百足

右之外無御座候

右之通当村老々年産物大凡積書上申候、以上

石川村

壬申五月

組頭 大沼 市藏 印

名主 安達市兵衛 印

山形県

御役所

桁 前二卷間下家

後三尺 下家

御用地畑

一 六畝拾分之内

式畝三厘余 但巾 長寸式拾間五尺 長右衛門持高

九間 壹尺 八斗代

一〇 (紅花畑貸付二付) 乍恐以書附奉願上候

此取米五斗六合六夕六才

梁 式間 長右工門地借

桁 五間三尺 茂八建家

三尺下家

御用地畑

乍恐以書附奉願上候

外二九尺四方物置

壹反八畝五分之内 但長寸式拾式間半 清右衛門持高

巾 拾壹間

一 八畝七分五厘余

此取米六斗六升 八斗代

右者私所持之御用地跡紅花畑地、右之者共建家いたし
度候間、貸與候様申候ニ付、貸遣申度奉存候、何卒御憐愍
ヲ以御見分被成下置、右之通被仰付下置候ハ、難有仕
合奉存候、以上

此取米壹石四斗五升三合三夕

梁 見世式間梁 巾五間 清右衛門地借

横町願主

勝手式間梁 奥行五間 清次郎建家 印

卯十一月 清右衛門 印

同

長右衛門
印

前書之通願出候ニ付、
奥印形仕候、以上

横町組頭 專右衛門
印

同 妹尾 嘉兵衛
印

検断 佐藤伝右衛門
印

同 浜村 権太郎
印

御代官様

御役所

二 流 通

一 紅花買上ケ目録

(表紙)
「寅ノ紅花勘定目録」

紅花買上ケ目録

一 貳千五百四拾貳貫目 但し水花

代七百三貫三百八拾文

兩かへ九百十文かへ

此金百九拾三兩拾三匁七分

一 千花八駄七分 但し壹駄ニ貳百斤入

此掛り物

一 兩かへ九百廿文ツ、
金拾八兩貳分七匁貳分

御役金 細筵
飯米 小遣
人足賃
花粉臺柴
袋かミ次賃
方々礼共

二口合テ

金貳百拾壹兩三分五匁三分

壹駄ニ付金貳拾四兩壹分五匁九分六リンツ、

内訳

一 壹駄 竹屋長左エ門 殿

代金貳拾四兩壹分五匁九步六厘

一 貳駄百四拾斤 逸見庄左エ門 殿

代金六拾五兩貳分十四匁六分

一 五駄 西田七兵衛 殿

代金百貳拾壹兩貳分十四匁八分

合八駄百四拾斤

代金貳百拾壹兩三分五匁三分六厘

外ニ金壹兩壹分六匁運賃金ニ相添御渡分也

右之通御座候、若勘定相違御座候ハ、重而可被仰付候、

荷物之義ハ京都若山屋勘右衛門方へ、一所為登申候、殊
ニ入用掛物長西庄五郎殿ニ御座候、為後日紅花買上ケ目
録仍而如件

西田七兵衛㊦

同 次郎兵衛

秋場 庄五郎

元禄十一年

寅ノ七月五日

逸見庄左衛門殿

二 預り申金子之事

預り申金子之事

一 金巻両式分

但シ卷分判也

右署当年ノ御年貢不足申ニ付色々御断致、右之金槌ニ請
取預り申所実止ニ御座候、返濟之儀ハ来未ノ六月、紅花

時分三分返濟可申候、残テ三分ハ同未ノ十月廿日以前急
度返濟可申候、但シ卷月ニ付金拾兩ニ卷分宛之積リニ利
足加へ、元利共ニ相濟シ可申候、若シ仲ケ間之内遅々致
候者御座候ハ、相残ル者弁出シ、申合ノ通月限ニ急度
埒明可申候、為後日仍而如件

塩渕村金預リ主

彦右衛門㊦

白山堂同断

平右衛門㊦

元禄拾五年午ノ十二月十三日

同断

久兵衛㊦

逸見庄左衛門 殿

三 鈴木清風紅花焼却一件關係記録 (筆写・省略)

四 紅花青芋帳 (横帳)

(表紙)

「乙 享保二十年

紅花・青芋帳

卯 正月吉祥日」

卯之紅花覚

一 金百拾七兩三分貳百廿八文

生花貳千廿メ八百目代

ならし廿八文七分上り

兩かへ四メ九百廿文

一 同三拾兩三分

老貫百四十三文

諸事かかり物 酒田迄運賃共二

老駄二付

金五兩壹分程宛

二口ノ金百四拾八兩三分

百四拾老文

老駄付金貳拾五兩壹分

酒田着也

但五駄片馬廿五袋二作り也

右寒河江かい 六郎兵衛殿方ニ送ル

金老兩壹分五匁過

一 金五拾兩貳分

九百七十文

谷地作り 腹松印 貳駄

老駄二付貳拾五兩壹分

四百八十五文

酒田着也

金四兩貳分過

一 腹竹印老駄 山形作り

代金拾九兩ト三匁六分五厘

但水花三匁七分貳厘貳毛上り

兩かへ四貫九百六十文

右之かり物

一 金四兩卜三匁七分五厘

右ハ御役金御用諸事入用也

ノ金貳拾三兩

七匁四分

老太ニ付壹分四匁貳分

酒田も大津迄 大石田着也

ノ廿三兩壹分

十一匁六分

三口合

金貳百貳拾貳兩貳分卜

五百文也

外ニ

一 金壹兩壹分拾貳匁貳分

酒田も敦賀迄入用

一 同壹兩壹分拾匁五分

敦賀も大津迄入用

合金貳百貳拾五兩

拾三匁七分

卯之青葺買口覚

惣兵衛買

七月四日

一 貳百拾貳巴六分

代金九兩三分七百八十五文

間沢

五三四

一 百六拾九巴三分

大平

代金八兩三百廿五文

五貳三

一 貳百八拾巴七分

間沢

代金拾四兩壹分

四拾三文

四九

一 貳百拾三巴四分

葛沢

代金拾兩壹分

五二 九百四十三文

一 百拾壹巴二分

岩根沢

代金五兩八百九文

五三六
一 四拾貳巴九分 沼平

代貳兩九百三十一文

四九
一 百廿七巴四分 つるべ

代金六兩三分

四六三 六百二十三文
一 三拾三巴六分 間沢

代老兩貳分

一四九四上り 九百八拾三文
八口 七月十四日ニ付ル

ノ五百九拾貳巴九分

代金五拾七兩貳分

五貫四百四十九文

金合五拾八兩貳分

四百八拾九文

ならし 五拾抱八分 上り

両かへ老貫貳百拾文

同日
一 貳百五把八 雨池亭

惣兵衛かい

代金拾兩壹分

老貫百七拾貳文

四九上り
七月十五日

一 五拾四抱七分 土橋 惣兵衛

代金三兩八百九拾貳文

同日渡し 濟

同月五日 間沢

一 四拾四抱 孫左衛門

受取

代

内二十二巴 四五かい四匁三分

代三兩老貫百貳文

内貳分七月晦日、左五郎薬物にて渡ス

内貳分八月六日長五郎へ渡ス

五一 内拾四巴壹分 次郎左衛門

代貳分九百四十八文

内貳分七月晦日ニ左五郎薬代内にて渡シ

より 入ル

五一 内七巴九分 長五郎

代貳分六百八十文

内壹分八月六日渡し 直ニ

内六百八十文 壹月廿五日さし引入ル

ノ老兩三分貳貫七百三十文

此金二兩壹分貳百五十文

實見平兵衛買

四五

一 百三把五分

片生

代金五兩三分

一四

一 五十九巴八分

十郎畑

代金三兩三分

一

一 拾巴三分

早坂

代貳分五百文

四三七

一 百八拾三巴七分 小清

代金拾匁老分

老貫百八十文

四五六

一 貳拾三巴八分

同村

代老兩壹分

貳百八十六文

一 六拾巴五分

田代村

代金四兩

四二五上リ

六口ノ四百四拾巴九分

代金貳拾五兩貳分

老貫九百六十六文

此金貳拾五兩三分

七百十六文

一 金拾兩

七月四日ニ

夫役の折ニ渡し

一 同貳拾兩

七月六日

夫同人へ渡し

一 同六兩 八月廿四日

夫六郎兵衛ニ渡し

ノ三拾六兩

内拾兩ハ里衛門殿へ御渡し被成候由

残テ貳拾六兩渡し也

七月一日 五百廿四文の

かしにて

七月七日 出久

八月九日付ル

一 千五百九拾六抱四分

代金八拾四兩貳分ト

沢口 中沢口 壹貫貳百拾九文

小清 立木 西町

六郎兵衛かい

上り四七貳

内金八拾兩 四度渡し

内金四兩三分八月廿四日渡し

ノ

江戸廻り六郎兵衛買

一 六卷 貳百拾七巴九分

代金八兩三分

八百六十九文

一 六三 百九拾抱 小山吉兵衛等

代金七兩貳分貳百文

ノ四百七巴九分

代金拾六兩壹分

卷メ六十九文

六卷八

内

一 金拾兩 九月九日ニ渡ス

一 金六兩壹分 九月十四日渡ス

ノ

残テ

代考費六十九文

書出し

九月十七日

六く町

一 百五抱

七之助

代金三兩貳分八百文

十九日ニ渡し済

同廿九日左沢にて

一 廿九巴

同人

六七五位

代考兩四百三十文

内考兩ノ渡し

入メテ四百三十文 かり

着かし所々出ス

六郎兵衛買

五五三

一 九百三拾六巴 △長井芋

代金四拾貳兩考分

百九十文

但し 左沢着也

六考考

一 六百三拾三巴六分 太郎芋

代金貳拾五兩三分

七百分

同着也

六七

一 貳百廿三巴 西田芋

代金八兩

八百九十六文

同着也

一 八抱 かり芋

代考分 なし

△八百六十四抱六分

三口△三十四兩考分

三百四十六文

惣ならし四十八巴四分五厘上り

惣△七千五百五拾

八抱九分

代金三百八拾八兩卷分

八貫三百七拾卷文

金直シ

三百八拾九兩三分

八百七拾卷文

外ニ

一 金壹分積り

惣兵衛

千四百五十三巴四分ノ礼

一 同三分積り

利兵衛

千六百八十壹巴七分ノ礼

一 同壹分と先付置

平兵衛

四百四十巴九分ノ礼

一 同三分積り

六郎兵衛

三千七百九十六巴九分ノ礼

一 同壹兩積り

仁左衛門殿

五千七百廿巴ノ礼

一 壹貫五百十文

惣兵衛かいの太賀

一 四貫貳百五十九文

深沢、左沢よさかえ迄

太賀

一 八貫貳百四拾五文

七間と

左沢迄
太ちん

一 金三兩ト

廿七駄

□□と

八百三十文

酒田迄

一 壹分壹貫四文

寒河江料

通判

一 貳分三百廿文

廿六駄

東根領

通判

一 金四兩三分

卯為登

壹貫八十七文

廿七駄

酒田と敦賀迄

かとり物

一 同三分

ゆい字代

十一月五日遣ス

新町

一 金參兩貳分

庄兵衛殿

鱒老本代貳百文

前々ハ五兩積り 仕候得共四駄片馬ハ

庄兵衛殿にてわけ申候間、拾貳兩五分ノ通シ

礼仕候

一 同七兩ト老貫十貳文 同人へ払

但三十九駄半 諸事御用

小さく入用

一 同四百と四百文 次ニは物

着の

御用

一 三兩積

手本わけ

雑用

一 七兩五百文 手前買 なわむしろ

ともノ代

新町もかかり外也

十一兩積り

一 金四兩三分拾貳巴 廿七駄

九兩五分つゝ入ル 敦賀も大津迄入用

正四兩壹分 老奴一分

一 同六兩三分 辰ノ春為登

拾貳駄片馬さかへ

大津迄入用積り

一 同貳分五百五文 惣兵衛かい

山内駄賃

雑用

一 五百文 白岩

七左衛門へ

酒文有

一 壹分老貫ト 實見

三百老斤 利兵衛かい

山内所々礼

青苧

但百巴三付百四十三文ニ当ル

一 金貳分老貫貳百文 六郎兵衛買

外二五百文買見庄兵衛へ山内所々礼積り

老分五百文遣ス

紅芋代

一 六百文

平兵衛

金六百五拾三兩壹分程

弥三郎かい

内

山内ノ礼積り

三月より前

小以ノ金三拾八兩

一 金貳百兩

井筒屋

三拾四貫四百五十式文

善助かり

兩壹貫貳百五十文

一 同百兩

南部

金直四拾四兩三分

善衛門

壹太ニ付

七百式文

冬かり

壹太ニ付

七百式文

二月廿六日かり

三月前

同人

金壹兩ト八匁式分づゝ

同

三月前

同人

二口合

一 歩前五拾兩

三月前

同人

金四百三拾四兩三分

三月十七日

京

長衛門

三百廿三文

一 金拾兩

なら

善衛門

内金六兩三分辰ノ春為登ノ入用也

四月十一日

次兵衛殿

残テ金四百式拾八兩ト

一 同五兩

次兵衛殿

三百廿三文也

一 同三兩

市十郎かり

一 同拾兩 京 長衛門殿

一 同五兩 なら 善衛門殿

一 三兩 京 長衛門殿

居買
一 十兩 同人ら

源衛門殿

一 八兩 同人 渡り

一 廿五兩 さし引受取分

ならいせへ

一 三十六兩三分程 ならも大阪へ

〆五百六十五兩三分

〆残り 金八十七兩式分 己ノ有物ニ立ル

卯青亭元直附

覚

⊕腹飛印 四駄

沓駄ニ付十三兩式分替

代金五拾四兩也 大津着

八百四十巴

同腹飛印 沓駄

代金拾三兩 同着

七百七十兩かへ

は亦印 式駄

沓駄ニ付拾式兩替

代金貳拾四兩

〆七駄沓分也

代金九拾沓兩

二 番 立

七間上之路也

沓貫かへ

⊕腹大印

〆三代金拾七兩式分

沓駄

大津着

同ニ上

は腹清印

式駄

三五 沓駄ニ付拾五兩替 同着

代金三拾兩□□八百廿匁かへ

同三

日丸印

貳駄

く四 壹駄二付十三兩貳分かい同着

代金貳拾七兩

ノ五駄

代金七拾四兩貳分

實見利兵衛買

四二

一 百拾八巴九分

黒森

代金七兩貳百十五文

三八

一 五百拾四巴

實見
沢口
黒森
徳沢

代金三拾三兩貳分

壹貫百廿八文

三七五六

一 百四拾巴六分

十郎畑

代金九兩壹分五百廿一文

外二

一 七匁 十郎畑も實見迄

彌三郎かい青芋太實弘

三七七

一 貳百六拾八巴九分

又七田
小清

代金拾七兩三分百廿九文

三九四

一 七十貳巴壹分

七夕

代金四兩三分

七百九十四文

四十四巴四分

一 百九拾巴八分

徳沢

代金拾壹兩三分

貳百七文

四二

一 三百八把七分

大沼

代金拾八兩壹分六百六十文

内 七百六十九文 寿覚院分

十四巴貳分四二かへ

代三分四百七十一文也

此代老兩と十匁五分也

三四

一 廿七匁分

田代

代金貳兩

四八七

一 四拾把五分

徳沢

代金老兩貳分

代金貳兩貳貫八百三文

三百貳拾三文

三九式五上り

九口ノ千六百八拾壹把七分

代金百七兩ト三百廿七文

内七百六十九文 大沼通過也

引申候 兩かへ老貫貳百四十文

残テ金百六兩三分七百九拾八文

内金渡し方

一 金拾兩 七月七日渡し

一 同拾兩 同九日 弥三郎

平兵衛渡し

一 同貳拾兩 同十一日

父 与之助殿

一 同五拾兩 七月廿五日

一 同拾兩 平兵衛殿ら

渡し候由

一 同五兩 八月十四日ニ

惣衛門逃越申候

ノ百五兩申渡し申候

一 六百元 七月廿五日渡し

ノ百五兩六百元ノ渡し

引残テ

金老兩三分ト百九十八文

右之通今日忠兵衛ニ逃平兵衛殿逃給候様申遣候間

御受取可被成候 若勘定違候ハ、かい帳御持參被成

御出可被成候 以上

老兩三分九月十四日ニ忠兵衛ニ逃越し百九十八

文忠兵衛取替給候様ニ申遣候

卯ノ 九月十四日

見村里衛門殿

参

三番立

⊕腹丸印

老太二付十三両貳分

代金六兩三分

老メ刃かい

同薄小印

六代金拾八兩

同腹實印

三五位

老太二付十五両貳分

代金貳拾三両壹分

同腹深印

四位

代金拾三両貳分

今頃七百八十巴かへ

七百三十刃

同腹上印

代金拾壹兩壹分替

ノ五駄

代金七拾貳兩貳分

四番立

⊕腹世印

代金拾六兩三分替

七間上し

老駄

大津着

同二

四駄

同腹青印

老二付拾四兩壹分替

代金五十七兩

初直付八百八十刃二付うり申候十八日付申候

老太うれ申候由

壹太八百五十匁替

内壹駄巴ノ初市ニ八百め替ニ極候由

同和印

同三式駄

八百匁かへにうり申候由

壹太ニ付十一両式分替

壹月十八日之状に申參候

代金貳拾三両

右状辰正月廿四日着仕候

メ七駄

代金九拾六兩三分

四口メ廿四駄南都出し

代金三百三拾四兩三分

京出し之直

⊕腹上印

代金拾兩式分替 大津着

壹駄

同腹上用印

代金拾兩替

同腹極印

代金拾兩也

六百六十兩ニうれ申候由

三月廿一日次兵衛申来候

入メ三駄 京都盛知川屋出し

代金三拾兩式分

辰之春為登元直

覚

⊕腹沢印

壹太ニ付十式兩式分替

代金五拾兩

片馬八百四十兩かへ今頃

五同腹岩印

同次 壹駄

壹駄

同着

壹駄

同着

長井亭 四駄

代金拾両式分替

七百拾匁二己ノ初市ニ売候由

五同腹^用印

壹駄片馬

壹太ニ付十一両三分替

代金十七両式分式朱

七百四十兩替二己ノ初市ニ売候由

五同腹^海印

片馬

壹駄に付十一兩替

代金五兩式分

五同腹^宮印

式太

壹駄ニ付十一兩壹分替

代金廿貳兩式分

同腹^白印

式駄

五八 壹太ニ付十五兩替

代金廿兩

内壹駄 京文字七百五十匁かへ

内壹駄なら己ノ初市ニ売候由

ノ拾壹駄 南都出し

代金百貳拾六兩式朱

辰春京出し

⊕腹^戸印

壹駄

なら出ス

代金八兩替

新文六百八十匁がへ

同腹^白

片馬

京 壹太ニ付八兩かへ

代金四兩新文六百七十匁かへ

ノ壹駄片馬京都出し也

代金拾貳兩

辰春作り

同腹^白印

片馬

京 代金壹太ニ付十兩かへニ付ル

正 元金三兩壹分九百八十文也

惣ノ三拾九駄

片馬

代金五百三兩壹分貳朱

内

金四百三拾四兩三分

三百廿三文之金也

引残テ

金六拾八兩貳分

三匁六步過也

壹駄ニ付

金壹兩貳分拾四匁宛過

辰ノ紅花仕入

覚

七月三日ニ大石田出し山形作り

⊕腹印

三駄

内壹分參宮金上ル残テ四兩貳分七百文也

代金七拾四兩三分

代八十一兩にうれ内壹兩ハかゝり物ニ引

六兩八分五文

残テ八十兩はしり

老太ニ付、左ノ五百文ノ利也

金貳拾四兩三分拾貳匁四文 上り

老太ニ付現金手取

廿七兩ニうれ申候

七月壹日ニ高セ舟積 谷地作り

一 同腹^極方印

壹駄

代金貳拾兩

大津着

七月壹日ニ高セ舟積寒河江作り

一 腹^方印

貳駄片馬

壹駄ニ付廿六兩卜貳匁三分

代金六拾五兩貳分

十三匁

△腹龜印

同片馬

代金拾兩壹分

金七拾五兩三分

十三匁

外二

一金貳兩 六郎兵衛へ

口セム

金七拾七兩三分

十三匁

外二壹兩貳分 大津迄入用

外二辰

十三駄

代金三百廿四兩貳分

十一匁七分

此弘口 三百壹兩貳分

八匁貳分六厘

さし引残テ

金廿三兩 三匁四分四厘

うり積

外二十兩貳分

十匁四分三厘

利足払

未六月右仕切下り申候

未六月二日改

午ノ紅花

一 千上り廿壹匁貳百め 七之介買

代文金貳拾八兩壹分

七四三上り 四百十文

一 同ちり花 同人かい

代貳分三百文ニうり取

山形小林喜左衛門殿へうり九月十二日

一 正ミ廿壹匁實四百五匁ニ成

五五かへ

代三十八兩三分十匁

二口ノ三拾九兩貳分百文 　　うり立

九月十五日遣ス

内老両七之助へれ買ちん

同月遣ス

内三百文かへ内わくくれ而

残テ三拾八兩壹分五百文

元金引 　　うり立也

残テ金拾兩

内壹両參宮金上ル

残テ九兩

未正月改里出也

午ノ谷地花

一 干花正ミ三十二貫匁

代金五十七兩四百文

内貳両五匁 壹貫百匁 　　うり取

残テ壹駄ニ作り 　　上方登セ

代金五拾五兩貳百文

外二

一 壹分貳百文 　　代取紙代

一 三百文 　　なわむしろ作ちん

一 壹兩 　　さかへと京迄

　　かかり物

ノ壹兩壹分五百文

二口ノ五拾六兩貳分程也

未正月改有納也

来春京拂

金六十九兩貳分 　　六兩八分うり立

内五十六兩貳分 　　元金引

内三分六兩八分 　　かかり物わり合

利三郎舟

内貳分利三郎礼

ノ五十七兩三分 　　六兩八歩

残テ金拾壹兩三分

内三分參宮金上ル

残テ 十一兩申ノ正月改利也

一 金四拾五兩 山形紅花代也

久兵衛かい

此うり立

金五十兩

内巻兩久兵衛ニ口セン

内巻分 中買

残テ 四十八兩三分

元金引而

残テ

金三兩三分

未ノ正月改里取也

未ノ紅花 寒河江ニテ

一 生花千五百九拾壹貫七百目

代金貳百拾八兩三分

八十六貫三百四十四文也

外二

一 錢八拾貳貫百十七文

生花百匁ニ
五人づゝ

諸事かかり物

御役銀 大津迄駄運賃共ニ

二口ノ貳百拾八兩三分

百六十八貫四百六十一文

金合貳百八拾五兩貳分

申正月改十月物貳百五十壹文

兩かへ貳貫五百廿文

一 千花四駄十一袋出ル

一 質印壹駄五拾三袋

壹太ニ付八十四兩大津着

代金百五拾三兩貳分

百五十七文

一 松印 貳駄拾八袋

壹太ニ付五拾六兩

大津着

代金百貳拾七兩貳分

貳百十四文

一 飛印四袋 むり無手黒花

代金四兩壹分五百十文

壹太ニ付七十一兩十二匁大津着也

惣ならし六拾八兩貳分ニ当ル

右うり立金高

合金貳百兩三分拾匁

右ハ申ノ者京都ニ而払代金也

差引残テ

金八拾四兩貳分五百文

うり損也

元文五年申六月廿五日改

申紅花

一 生花四百三十九貫め

代金貳拾九兩

廿七貫五百文

外ニ

一 拾六貫八百十五文

かり物

壹貫匁ニ四文つゝ

二口ノ金廿九兩

兩七百十文かへ

合金四拾四兩貳分

四百七十五文

干花壹駄廿五袋出ル

壹袋ニ付貳分壹分（五）六厘

壹駄ニ付三十貳兩ト十一匁上り也

外ニ

壹兩貳分 京迄 諸入用

二口ノ四拾六兩四百七十五文

一 金六拾兩 京都ニ而

手取うり代

さし引残テ

金拾三兩三分、三厘

内巻分參宮金ニ上ル

一 残テ十三兩式分 戌正月改利也

戌改へ出ス

酉ノ紅花

一 生花千百三十四貫百め

代金六十九兩巻分

四十四貫五十六文

金四兩

四十三貫式百六十五文

万人用

元

金七十三兩巻分

八十七貫三百廿一文

金合百兩式分

式百五十文

外二

一 金式兩一分五百五十文

さかへよ大津迄

入用

合金百三兩

戌改へ出ス

右干花正五百匁入

式百拾袋出ル

内

⊕腹天印龜

式駄

但式固付

⊕腹天印龜

壹駄

組壹太二四固附

壹固二十六袋入

同印

⊕天印龜

小荷壹つ

内十八袋天印入龜

内粉花式袋五百匁入

内きり花三袋六百匁入

ノ廿三袋入也

耆駄ニ付

金三十一両壹分

六匁六分

戌改へ出ス

大津着

一 此うり代金耆駄付

極り廿九両替

正金九拾壹両三分

手取也

指引

八金十一両壹分

損金也

戌ノ紅花

一 生花四百五貫九百め

代金四十六両壹分

外二

金三両壹分

八百廿三文

かゝり物

二口ノ

金四拾九兩貳分

八百廿三文

干花七十七袋出ル

外二壹分百五十文袋代

ノ金五拾兩上り

耆太ニ付ニ四十壹兩貳分三匁三歩

上り

十月十三日

一 金五十五兩二

山部山口へ拂

内五十兩元金引

ノテ金五兩ノ里也

内壹分參宮金

残ノテ四兩三分

亥正月改里也

子七百九貫六百匁

代金七十一兩三分

十八貫貳百文

子紅花仕入

六月八日

一 生花貳百貫め

代金貳拾兩四百廿文

長崎

四三四上り

此干花三拾貳貫九百匁

同 十四日

一 生花百三十六貫匁

長崎

六月九日

一 生花九拾貫匁

代金五兩壹分

長崎

九貫四百文

三五六四上り

此干花十四貫貳百匁

同 十日

一 生花六十三貫匁

長崎

代金五兩壹分

五貫七百文

四五上り

此干花十五貫四百匁

同 十一日

一 生花百廿三貫匁

長崎

代金拾貳兩壹分八百文

四三六上り

此干花廿八貫百匁

同

一 生花四十八貫匁

谷地

代金六兩貳百十文

五四上り
此干花

二口干花廿九貫匁

六月十六日

一 生花四拾九貫六百匁

代金六兩

老貫六百七十文

五五六上ル

此干花

同 十七日

一 生花三拾貳貫匁

代金四兩卜貳百廿文

五五上り
此干花

二口干花拾五貫五百匁

惣ノ七百四拾老貫六百匁

代金七拾五兩三分

十八貫四百廿文

金合八拾兩卜

五百七十文

外二

一 金三兩貳分

四拾九貫貳百六十式文

諸入用

此金合拾五兩五百式文

兩老貫六十文かへ

二口合金九拾五兩

老貫七十式文

外二

一 金三兩 庄兵衛殿へ

口せん

一 同老分 小内方へ

一 同老分 六郎兵衛へ

一 同老分 七郎兵衛へ

ノ三兩三分

九月三日ニ酒田出船

九月廿三日ニ京着仕候由

拾月十一日ニ状ニ九郎兵衛殿申參候

右田駄ニ作り 上方京へ

為登ス近屋九郎兵衛殿へ

壹駄ニ付

二口合金百両

壹貫六百六十七文

(裏表紙)
伊勢太神宮

中村七兵衛

金三拾五兩大津着と

申遣し候

五大力菩薩

子ノ八月十二日

一 金三分袋紙廿貳状代

六百九十五文

一 貳貫 作りちん

四駄なわむしろ

こさく代

三口ノ六兩貳分

貳貫六百九十五文

一 此金五両五百九十五文

五 紅花品質改善策二付願書（筆写）

〔表紙〕
元文三年

紅花品質改善策二付願書

山形町場紅花仕入宿並検断

乍恐以口上書奉願上候御事

〔虫〕当國紅花之儀、根元土地相應之產物ニ御座候得而、於京都〔虫〕直立宜敷捌来候処、近年ニ至リ出来不宜仙台花等ニ劣リ〔虫〕、次ニ直立不捌ニ罷成候ニ付、畢竟花之摘様悪敷罷成候故と、去ル卯六月中御訴申上則花熟候得而、古来之通摘甸を〔虫〕摘取候様こと、御領内被為仰付難有奉存候、御威光〔虫〕甸直リ、其年尤翠年紅花出来も宜罷成候様子ニ申唱候処、近年ニ至リ又候不出来ニ御座候由、隨而当月京都紅花問屋中も御当所荷主仲間共方に書状到来仕候ハ、当所紅花之儀古来隨一之出来ニ御座候へ而御召類染来直段宣御座候処、近年ニ至出来不宜直段仙台花等ニ劣申候得而、其上駄数も年々減少仕候由、如何様之品ニ出来不宜、駄数不足仕候哉と、問屋中評議御座候所、近年花之摘様甸をまたす未熟成を摘逸テ、無理摘ニ仕候故花ニ紅薄ク、縦雨花ニ御座候共相仕立候得而紅薄ク、尤未熟ニ摘候種ニ御座候得而其悪鋪種を蒔入候間、花之草生不出来仕、輪掛リ無数咲出前ニ掛リ或ハ曲リ虫付候癖出申候得而、摘出不足仕駄数減少候哉と遠察仕候得而、自今摘様古来之通熟花ニ至候得而摘取、未熟之花摘入不申様ニ申合、其上御上之御威光を以相直候様ニ相願可然趣申越候、隨而紅花問屋中も今般差越候細書、去ル□奉入御披見候產物紅花之儀を以、乍恐御当国御町在諸

人相賑ひ後世も仕候処、近年直段も下直仕駄数減少之段申越候趣、難有儀至極奉存候、依之花之摘旬古来之通熟花相摘、未熟之花堅不相摘、花之ほうし決而摘入不申様ニ、以御慈悲御町在御百姓手前江被為仰付被下置、御威光を以摘旬相直り駄数多出来宜罷成候様ニ奉願上候、依之摘旬或ハ紅花宿仕入等之品箇候を以乍恐申上候

一 紅花摘旬之儀、往古ハ朝露之内英ニ紅を持疾と熟候を摘候故、日数十二三日或ハ十四五日も摘取申候へ而、尤畑之内熟花無御座候得ハ、一朝相除相休メ候と申儀御座候へ而熟花計摘取申候処、近年ニ至花之熟候ニかまハす無理摘ニ仕未熟成を摘候ゆへ、白根引出し或ハほうし引き摘入候得而、紅之有無ニ不構昼過或ハ八ツ時迄摘取候ゆへ、朝露を乾し自然と未熟成花を摘取一日之摘高多、近年ニ至候得而ハ八日七日或ハ十朝位ニ摘切候得而、其上花之摘旬ニかゝハラす其日直段之宜キニ見合候得而摘候か、或ハ手廻しニ御座候とて宵摘ニ仕候か御座候と奉存候、隨而花之出来追年不宜出来仕候様ニ奉存候、依之古来之通熟花計摘取未熟成花堅摘取不申、尤ほうし等決而摘入不申候様ニ被為仰付被下置、朝露之内四ツ時限ニ摘取候様ニ被為仰付被下置度奉存候、尤近年ニ至候得而花之蒔畑数減少も不仕、還而追年時相増申候所ニ、御百姓手前ニ而紅花売高も不足仕、年々駄数も減少仕候ハ如何様之儀と奉存候処、此度從京都申越候趣を以勤弁仕候得ハ、近年紅花未熟成を摘取、其熟せざる種を以蒔付候ゆへ草生不出来仕、花ニ輪数すくなく咲出勢ひよハく御座候ゆへ、摘高不足仕自御百姓之困窮ニ罷成候、且ハ駄数も不足仕乍恐氣之毒ニ奉存候、依之摘旬宜熟種時入候ハ、分過ニ摘取直段も宜罷成、御町在御百姓並商人相潤、尤駄数追年相増可申奉存候

一 近年花市場ニおいて、花相調候宿共見世出遅く七ツ時或ハ暮ニ掛り、買出し夜ニ入四ツ九ツ時迄も買入申候、畢竟近年ニ至京都も買人も下着不仕相□ニ無御座候ニ付、自見合ニ罷成候得而見世出延引仕候、併買出し遅ク御座候得而ハ、御町在さんへ共売仕廻遅ク指問ニ罷成、其上遠方も罷越候さんへ共仕廻遅ク御座候得ハ罷帰兼候族も有之、尤取仕廻ニかきらす諸商人或ハ日雇取迄ニ難儀仕候儀ニ奉存候、勿論紅花相調候者も昼之内買入相仕廻候得ハ、花之仕入取

仕廻も勝手能、麁抹二も不仕自出来も宜罷成可申候処、夜中夜更迄買人取仕廻候上ハ諸事麁抹に罷成、自然と不出来之基ひと奉存候、尤往昔ハ昼之内より暮時迄買仕廻仕入、麁抹二も不仕候故自然と出来も宜可有御座哉と奉存候、勿論近年ニ至候得而ハ、紅花取仕舞手廻シ専一之様ニ仕、花之相仕立麁抹之儀も可有御座、右之趣吾人毎二も相直りかたく奉存候、当年も買出昼九ツ時ハ八ツ時或ハ七ツ暮を限ニ買仕舞、暮過候得而ハ商売不仕様ニ被為仰付被下置度奉存候、然上ハ御百姓手前二も彌御制禁相守、四ツ時を限ニ摘切九ツ時ハ市場へ持出し商売可仕哉と奉存候、尤右之通昼九ツ時より暮時限ニ売買被為仰付被下置候ハ、御百姓手前二も直売或ハさんべ共ニ相払候も刻限早御座候得而、相仕舞早く外農業之相勤二も罷成、勿論さんべ共仕廻早く手廻勝手ニ成、或は市場遅ク御座候得而遠方も罷越兼候族売場早く御座候上ハ猶繁多二も罷成、諸事御所賑之基と奉存候、依之昼九ツ時ハ暮時限り、堅夜ニ入候得而売買不仕候様ニ被為仰付被下置度奉存候

附、紅花市場中口過ハ上山在或ハ天童山奥ハ持參仕候ニ付、暮時限ニ候得而ハ差間二も可罷成、依之其節ハ夜ニ入五ツ時迄も相調申度奉存候、山花ニ罷成候節御注進可申上候、併此度被仰付二而市場早く相立暮時迄ニ買仕廻候段、近領二而も及承可申候間、花之摘出も早くさんべ共買出シも早罷成、山花ニ懸り候得而も差間申儀二も有之間敷哉と奉存候、畢竟当所市場早く買仕廻暮限ト及承候ハ、近領二而も朝之内摘入候得而、自然と御当所之風儀ニ準し熟花摘取ならハしも相直り可申哉と奉存候

一 紅花水花玉ニ致商売仕候ニ、させ花と申花之能キを撰玉之上へ着せかけ申候得而商売仕候儀ニ御座候、畢竟花悪敷ほうし沢山ニ御座候を相隠候手段ニ御座候、尤雨花或ハ摘之能花ハさせ花相掛不申候得而も商売仕候、然上ハさんべ共させ花掛不申生得之花二而商売仕候様ニ仕度奉存候、此度御当領之儀ハ被仰付御威光を以花之摘様も相直り可申候得ハ、御百姓手前しめ出し玉花させ花致候得而も不苦候、畢竟御他領ハ入込候花摘悪敷ほうし多御座候得而、させ花かけ

紛敷売出候得而ハ不出来之基ひニも罷成可申、勿論花之善悪ニ隨ひ直付仕候様仕度奉存候、他所も持參並他領も買入候花相直り不申一統ニ商売仕候儀難儀奉存候、依之花玉ニきせ懸不申様ニ御町在さんべ共並他所之儀ハ、当町さんべ宿ニ而此段堅申聞候様ニ被為仰付被下度奉存候

一 紅花買人共生花ニ而相調候儀、去ル子之年御停止ニ被為仰付候、猶以生花ニ而堅相調不申様ニ被為仰付被下度奉存候、畢竟紅花之儀ハ拵仕入ニ而紅之多少も御座候所、生花花屋ニ而沢山ニ相調候而ハ自然と手当も無數、花之採こなしも薄御座候得而不出来罷成候、百姓手前もさんべ買出し水ニ付採こなし玉ニ仕売出し、買入舟ニ溜置こなし手数当り候故花之こなれも能御座候得而出来宜御座候得共、此度被仰付ニ而花之善悪をも分ヶ相調候上ハ、水花ニ而相調仕入候儀出来之宜專一ニ御座候、尤生花ニ而花屋共直ニ相調候得而ハ、商之賑ひも少ク罷成さんべ宿渡世之者も賑ひ薄ク罷成申候間、弥以生花ニ而相調不申候様堅被為仰付、若生花相調候者有之候ハ、十日町七日町市場より吟味仕候様ニ被為仰付被下度奉存候

一 兼而被仰付置候さんべ共、置花囲ひ候儀弥以御停止被為仰付候様ニ仕度奉存候、先年申上候通雨降出候日ハ、生花ニ而一夜かこひ置翌日売出し申儀御座候、生花ニ而一夜囲ひ置候得而ハ、花腐りおろし粕同前ニ成候得而、其上性能キ花迄供すれニ成花之不出来第一之基ひニ御座候、依之置花決而不仕候様ニさんべ共並さんべ宿へ被為仰付、其上十日町七日町之者共吟味仕候様ニ被為仰付被下置度奉存候

右、巨細之趣奉願上候段恐多奉存候得共、紅花之儀ハ御当所産物之第一御座候得而、御町在御百姓並商人相潤渡世之專一御座候所、近年出来不宣候由ニ而、京都紅花問屋中拾四軒評議之上書状指下シ申候間、乍恐難儀氣之毒ニ奉存候〇以御慈悲御百姓手前花摘匂相直り四ツ時限摘取、尤紅花仕入宿商人共花之仕向麁抹ニ不仕、昼九ツ時暮時を限ニ相調、並さんべ共正路ニ商売仕候様被為仰付被下度奉願上候、右願之通被為仰付被下置候上ハ、京都拾四問問屋中江被仰

付候趣隨而當紅花も出来相直り可申旨申越置、隨分出情仕出来宜荷作仕り為指登、往昔之通仙台福島之出来ニ勝レ宣相
捌申候様ニ仕度奉存候、依之以御慈悲右願之通被為仰付被下置候ハ、難有可奉存候、以上

十日町紅花仕入宿願主

与次兵工

同 弥五兵工

元文三年午五月

同 嘉右工門

同 治兵工

同 平右工門

同 留兵工

同 久左工門

同 次郎兵工

同 左次兵工

同 与兵工

同 茂左工門

同 半左工門

同 甚八

同 傳七

同 庄右工門

同 忠兵工

七日町紅花仕入宿願主

傳兵工

同 勘七

同 勘藏

同 弥治右工門

同 十次郎

同 弥太郎

同 与三郎

同 源兵工

横町紅花仕入宿願主

清右工門

同 六左工門

八日町紅花仕入宿願主

儀左工門

同 善太郎

同 作兵工

旅籠町紅花仕入宿願主

清次郎

同 玄 瑞

同 喜左工門

同 忠次郎

十日町檢断

青山善三郎

同 新海仙右工門

七日町檢断

江口傳右工門

同 五十嵐太右工門

横町檢断

上 六右工門

同 齋藤 久兵工

八日町檢断

森谷長治右工門

同 荒井市左工門

旅籠町檢断

江口与右工門

同 工藤武右工門

右願之趣、大小之百姓並名子水吞寺社門前之者迄今被披見、前書之通相心得可罷有者也

五月廿三日

代官役所 印

六 (紅花問屋取扱手数料引下げ二付) 一札之事

一札之事

一 於京都紅花売買之儀、近年問屋十四軒ニ相究、荷物心之儘ニ引請、其上年々順番之様ニ潰申出、商人方江大分損失相掛ケ申候得者、殊之外商人百姓共及困窮迷惑仕候故、我々発端ニ而罷登リ、先年之通被為仰付被下候様ニ奉願上候ニ付、各方頼入印形申請候、然上者唯今之間屋共、銀高三歩口錢相立置候所も、貳歩口錢ニ為致可申候、右之通御願筋成就致し候ハ、殘老歩之所者願人方江可申請候、万一願成就不致候ハ、願之筋入用惣雜用損毛致し、右願之儀ニ付、如何様ニ被為仰付候共、各方江御苦勞御損一切掛ケ申間鋪候、尤各方ニ被相渡候定書之外余願曾而仕間鋪候、勿論新庄御領、東根御領、山形御領其外村々諸商人衆印形同意ニ相揃候ハ、掛御目可申候、若シ相揃不申候ハ、右願書之筋相止メ、各方江御印形相返し可申候、為其一札仍而如件

鈴木忠助 印

元文五年申ノ閏七月

中村 六郎兵衛 印

柘屋 甚右工門 印

大田 藤四郎 ④
柘屋 新次郎 ④
證人 青柳 喜惣次

土屋 勘右衛門殿
堂ミヤ 五右エ門殿
伊藤 左兵衛殿
堂ミヤ 忠右衛門殿
細谷 太郎左衛門殿

七 一札之事 (同前六の筆写につき除く)

八 覚 (紅花買請代金請取書)

覚

一 金貳百両ハ 但シ小判也

右着紅花御調金髓ニ請取申候、御指図被遊候通相調、御荷物為相登可申候、此内如何様之儀共出来仕候共、少茂相違仕

間鋪候、為後日之仍而如件

阿部 久右衛門 ⑨

寛保二年 同 久左衛門 ⑨

戌六月十二日 同 藤兵衛 ⑨

同 同 太四郎 ⑨

稻村 七郎 治 様

同 七郎左衛門 様

御使

傳内殿

九 (紅花代金滯二付) 乍恐書付を以御訴訟奉申上候

(表紙)

宝曆貳年申五月

長瀨村庄七北口町庄右衛門前小路村金右衛門、紅花代金其外差引出入三付、御裏御判并返答書之写

附、御評定所御尋之趣并濟口迄之覚書

申 九月中旬

乍恐書付を以御訴詔奉申上候

岩佐郷藏御代官所

出羽国村山郡長瀨村

訴詔人 庄七

一 紅花代金滯出入

戸沢上総介様御領分

同國同郡北口村

相手 庄右衛門

乍恐長瀨村庄七奉御訴詔候者、私儀前々も少々宛之商等を以渡世仕来り申候ニ付、去ル巳年七月中紅花仕入、干花荷物、物駄式固、小荷巻丸右庄右衛門すく相渡、京都江為指登代金之儀、於京都売拂候上^三而相渡申答ニ相究申候、然所ニ当四ヶ年以前巳年之儀者、上方紅花直段格別下直^二而損金相立候由、庄右衛門方も申越午年二月中ニ至り、庄右衛門下代為指登相拂申候由ニ御座候へ共、右之訳一向無沙汰ニ仕罷在候故、私方も度々催促仕候得共、上方へ為登候もの不罷帰候由、挨拶仕候ニ付、私方も又候申遣候者、預り荷物之儀、不埒ニ被致候^而者、仲間荷物之儀ニ候得^者、我等商売之指障

罷成候由、度々催促仕候得共、不埒成ル挨拶斗仕、殊之外難儀奉存候ニ付、無是非私村方名主方へ申達、北口村名主中江付届ケ仕候得者、漸其節ニ至り、上方へ為後日登候者罷帰候と申儀ニ而、京都ノ問屋仕切證文私方へ指越申候、勿論金子者相渡不申候、殊仕切表ニ甚難相心得義御座候ニ付、早速庄右衛門方へ罷越仕切表不埒之段相尋、其上代金之儀者指支給兼罷在候間、早々被相渡候様ニ申し候所、庄右衛門申候者、金子の儀者下代金右衛門と相對之上請取可被申候、仕切表相違之儀者、我等方ニ而急度相糺可申などと以之外不埒成ル挨拶仕候ニ付、私申候者挨拶之趣難相心得存候、金右衛門義者、御自分之下代ニ候得者、此方も相構可申筋無之候、荷物之儀者、貴殿江預ケ候故、預り證文ニも細矢庄右衛門と被相記、其上仕切表ニも其許之当名ニ御座候、金右衛門方江我等相構可申筋無之候儀と申し候得共、曾而承引不仕弥我俣相募り申候ニ付、去ル午之年七月元御支配柴村藤右衛門様御代官所之旨奉願御添簡被成下、右庄右衛門、御地頭戸沢上総介様御役所迄相願候所ニ、段々之御吟味被申候得共、相濟不申延引ニ罷成申候、然所ニ同年八月藤右衛門様御場所替ニ付、跡御支配當時岩佐郷藏御代官所ニ被仰付候、依之又候郷藏添状を以上総介様御役所江奉願候得共、一向相片付不申候、其上去冬中も□□□人有之、色々取扱仕候得共、相濟不申候ニ付、不及是非此度御訴詔奉申上候、私義金子他借を以仕入仕、預り候荷物之代金^下相滞、去年中も仕入者不罷成、仲間江對シ候而茂相立不申、商売相続ニ指障り、身上茂難相立必至と難儀仕候、右申上候通預ケ候荷物代金之儀ニ御座候得者、何とそ御慈悲を以右庄右衛門被為召出、御吟味之上仕切表之金高五拾兩壹分銀拾壹兩五分弍厘、不残相渡候様ニ被為仰付被下置候者、私身上相続仕相助り難有仕合奉存候、委細之義者御尋之上乍恐口上ニ可奉申上候、以上

岩佐郷藏御代官所

出羽国村山郡長瀬村

宝曆二申四月

訴訟人

庄七

御奉行所 様

是より御裏書

如斯日毎指上候間、其他ニ而埒明事ニ候ハ、可相濟、滞儀有之者致返答書、来ル六月四日評定所、
□□^(金)出可対処罷於
不参者曲事可為者也

申

四月廿九日

豊後判

丹羽判

御用方無加印

河内

御用方無加印

若狭

伊豆判

肥後判

長門判

伊賀判
因幡判

出羽国村山郡

北口村

庄右衛門

五人組

組頭

名主

右之通り紙之末二

少しく有之也

乍恐返答書を以奉申上候

一 羽州村山郡北口村庄右衛門奉申上候、岩佐郷藏様御代官所、同国同郡長瀬村庄七申上候者、紅花仕切金私方も不相渡、其上仕切状之表難心得旨御訴申上、御裏御判頂載仕相附候得共、偽二御座候二付、乍恐返答書を以奉申上候

一 私儀者御廻米津出シ最上川筋船持三而、御廻米後者諸商人荷物引請商売仕来候所、四ヶ年已前巳七月、私方へ庄七申聞候者、紅花志駄式箇小荷卷丸、売支配人辻六郎左衛門様御代官所同国同郡前小路村金右衛門と申者相願、京都江積為登度旨、然共川船ニ差支候間、世話致され候様ニ相願申候二付、則荷物私船江積下請取書遣申候、尤手板之儀庄七

直々為登二仕、庄七方ニ相認候手板ニ而京都江積為登申候、則手板才料方も請取所持仕候、尤庄七指図之通上方へ紅花無相違相届申上考、私荷請取之表相濟可申と奉存候

一 右紅花上方迄庄七手板ニ而為相登申候間、私方ニ而相構申義無御座候、先達而右之段庄七方ニ而心得違ニ御座候由、長瀬御役所へ申上候所ニ、庄七返答ニ庄右衛門送り手板ニ而上方迄相為登、庄七送り手板遣不申二付、庄七相認候手板之訳委細申上候処ニ、又候庄七返答ニ壹枚者認候得共、跡老箇之壹枚ハ有之間敷由、尤（申）式枚共□候ハ、庄七直為登ニ茂紛無之由返答仕候間、才料方承候処、式枚共庄七手板ニ而上方へ持參仕候由申義ニ御座候間、其段又々庄七方へ申被聞候

一 右紅花之儀直相對仕、売支配人金右衛門相願、上方へ為相登候義紛無御座候、其證據ニ者上方ニ而金右衛門売払候仕切、金右衛門方も庄七方へ直々相渡申候、尤右仕切之儀庄七方ニ而何方も仕切請取候哉、御吟味被遊被下度旨長瀬御役所ニ申上候所ニ、紅花仕切状金右衛門方吟味仕候處ニ、金右衛門方ニ而者仕切状之義一向存不申候、定而京都も庄右衛門方へ直々相下り可申由庄七方吟味之所、仕切者庄右衛門方も請取候由、右兩人者共申儀之由、長瀬御役所より被仰遣候二付、京都問屋伊勢屋源助方に飛札ニ而庄七紅花之儀承合候所ニ、已極月三日庄七紅花代金不殘仕切状共金右衛門方へ相渡候由、右源助方も申來候、依之仕切代金共ニ金右衛門方も庄七方へ直々相渡相濟可申与奉存候所ニ、庄七方も御裏御判頂載奉驚入候

一 諸商人共仕切勘定之儀考、仕切状之表ニ而金子取引候義ニ御座候、然所ニ仕切状斗請取金子請取不申候段申上候義、難心得奉存候、其上仕切状之表難心得儀有之候与申上候段、畢竟金右衛門庄七馴合候而、私を申掠候と乍恐奉存候

一 庄七方へ私方も請取可申金子ニ御座候ハ、午六月迄相閑ニ致可申筋無御座候、扱又巳七月金子拾五兩私方も庄七

方へ用立遣申候、右金子打なくなりニ可申候、又々庄七金右衛門馴合謀計申上候儀と奉存候、右金子拾五両之為替證
文庄七方も請取所持仕候、

右之通少も相違不申上候、以御慈悲庄七金右衛門相對ニ被仰付被成下候ハ、難有奉存候、御尋之儀者乍恐口上ニ可申上
候、以上

申六月

羽州村山都北口町

庄右衛門

御奉行所 様

乍恐書付を以御訴訟申上候

辻六郎左衛門御代官所

羽州村山郡前小路村

訴訟人 金右衛門

為替并預金滞出入

戸沢上総介様御領分

同国同郡北口町

箱
手 庄右衛門

三郎兵衛

右同所

同国同郡工藤小路村

同 弥次右衛門

辻六郎左衛門御代官所

同国同郡羽入村

同 傳兵衛

右同所

同国同郡楯北村

同 金右衛門

右同所

同国同郡松橋村

一 羽州村山郡小路村金右衛門申上候、岩佐郷藏様御支配所同国同郡長瀨村庄七方と右金右衛門方へ巳年紅花荷物相送り候所、右代金庄右衛門相滞候二付、同午之年庄七方と長瀨御役所江御願申上候、則御添翰を以新庄御役人様御願申上候二付、庄右衛門被召出御吟味被遊候所二、右紅花荷物私方へ相渡置候所、相滞付私を相手取返答書差上申候、其節私義柴村藤衛門様御支配二而、長瀨御役所江私被召出右之段委細書付を以申上候趣、左之通二御座候御事

一 私義庄右衛門方と被相頼、紅花荷物年々京都江持參仕、相払代金其度毎二庄右衛門方へ渡し、既去巳之年も庄右衛門紅花荷物京都へ持參仕、代金九拾貳兩三分、錢九百六文相払申上候所二、右荷物売払不申内問屋方と金子八拾五兩先借り仕、庄右衛門從弟久四郎と下代二相渡申候、其外金拾兩座頭間金を為替立替駄賃諸入用共二百拾貳兩余之外二、藏敷口錢金五拾六兩三余無尽預ケ金貳拾兩、都合九拾六兩余預ケ都而過金御座候間、御吟味之上相濟候様二願上奉候御事

一 先御代官芝村藤右衛門様御吟味之旨庄右衛門申上候者、京都二而久四郎方へ相渡し候金八拾五兩之儀者、会津石津屋八久四郎方ニ金右衛門方と為替金有之候二付、右為替金庄右衛門請取候由申上候、此義大キ成偽二御座候、此段乍恐三御役所様御付吟味之上、為替金二而無之紅花代金相渡候儀相違無御座候、為替金と申義御吟味奉願上候所、御場所替之段被仰渡、蔭山外記様寒河江御役所江御引渡罷成、其後新庄御役人様方へ御文通被成下候御通翰、私共へ御読被為聞奉承知候所、庄右衛門方と三御役所様へ差上置候書付共、甚相違謀計之書付指上置候二付、御吟味御願無是非御訴訟申上候御事

一 蔭山外記様御支配之節、寒河江御役所様羽入村傳兵衛御願申上候者、右庄右衛門とハ近キ親類御座候間、内々ニ而立会吟味仕相済申度段、楯北村金右衛門兩人ニ而違御願申上候二付、私共被召出右兩人立合吟味之趣承候様ニ被仰渡畏罷有候所ニ、去ル午ノ十月晦日、兩人共松橋村九郎右衛門宅江罷越、翌朔日私并ニ名主共ニ九郎右衛門宅へ被招呼私吟味被致、同三日右金右衛門伝兵衛并松橋村九郎右衛門北口村三郎兵衛工藤小路村弥右衛門右五人当村名主宅へ罷越、双方被招呼吟味之上楯北村金右衛門申候者、先達而段々吟味之節金右衛門方差上ケ入御覽候庄右衛門直筆之送手板之儀、いか様成物ニ御座候哉、見立候様ニ当村名主方へ被申候故、右送り手板差出見セ候様ニ可仕と私名主へ被申候所ニ、遠慮ニも存候得共、御役所被仰渡も有之吟味被致候儀、其上私名主被申候二付、無扨右送り手板名主江相渡、当村金右衛門請取致披見申聞候者、我々了簡も有之候間、先休足致候様ニ被申候二付、勝手ニ罷立候、跡ニ而送り手板印形之处五人之者共引捌申候二付、奉驚早速其趣寒河江御役所様江御左右申上候、其上長瀬役所様へも御左右申上候、右送手板奉入御覽候御事

右之通少も相違不申上候、前條申上候通、巳年以來御支配様御替り被遊候度事御引渡罷成書物御吟味被成下候ハ、明白ニ相訳り可申と乍恐奉存候、私義紅花代金相滯候義曾而無御座候、却而庄右衛門方へ過金預ケ置候所、以之外相違成義申上候、其上送り手板印形引捌候儀、右五人之者共庄右衛門と馴合、私を相加すめ我儘功成義致掛候と乍恐奉存候、以御慈悲右之者共被召出送手板印形引捌候段御吟味被成下、庄右衛門方へ預過金之分早速相済候様ニ被仰付被下し置候ハ、難有奉存候、委細之儀者、御尋之上口上ニ可申上候、以上

申

五月

羽州村山郡前小路村
訴訟人 金右衛門

御奉行所 様

如斯目安差上候間致返答書、来月四日評定所へ罷出可対決、若於不参者可為曲事者也

申

五月十一日

丹波判

豊後判

御用方無加印

河内

御用方無加印

若狹

伊豆判

肥後判

長門判

伊賀判

因幡判

乍恐返答書を以奉申上候

一 羽州村山郡北口村庄右衛門奉申上候、辻六郎左衛門様御代官所同国同郡前小路村金右衛門申上候者、長瀨村庄七紅花代私方義相滯、其上私方へ取替御座候様御訴訟申上、御裏御判頂載相付候得共、偽ニ御座候ニ付乍恐返答書を以奉申上候

一 長瀨紅花壹駄貳箇小荷壹丸之儀者、庄七方ニ而金右衛門売支配ニ相頼、則京都ニ而金右衛門引取売払候義、相違無御座候処、段々偽を申上、庄七紅花金右衛門儀不申由申二付、右紅花金右衛門売払京都問屋伊勢屋源助方承申候処ニ、長瀨庄七紅花代已極月三日売払代金不残仕切状共ニ金右衛門方に相渡候由、源助方申来候、然処金右衛門偽を申上、庄七紅花存不申抔と申上候義難心得奉存候、右源助方代金仕切状共ニ請取申上候者、庄七方へ仕切状代金共相渡候成と奉存候所、御裏御判頂載奉驚入候

一 金右衛門申上候者、庄右衛門紅花貳駄余之売払代金九拾貳両三分九百六文ニ相払候様ニ申上候得共、私紅花ハ壹駄斗支配代四拾貳両ニ売払差引仕候、扱又先達而長瀨御役所江金右衛門申上候ニも、庄右衛門已年分紅花壹駄支配ニ仕四拾貳両ニ売払候段申上候而、御評定所へ偽を申上候儀難心得奉存候、如何様之巧ニ御座候哉無心元奉存候

一 右荷物売払不申内問屋方も八拾五両先キ借り、久四郎方へ相渡候由、金右衛門申上候得共、此金子者私方へ引取可申金子ニ而長瀨紅花義障り無御座候、其外座頭間金之儀此方ニ而取替其代りニ京都ニ而請取申候

一 藏敷口錢と申事一向存不申候、此儀金右衛門心得違ニ奉存候

一 最上表之儀者、六月紅花仕入之節ニ而金錢入用多ク御座候ニ付、手寄次第才覚仕候、私方ニ而者会津石津屋善四郎相頼金子才覚、京都為替ニ仕私同村之商人共ニ取替京都ニ而取集金主方へも用立申候、紅花本手金外私紅花代

取合百兩余借シ金之内八拾五兩京都ニ而久四郎引取申候、為替取揃前年善四郎宿元へ相渡申義ニ御座候、ケ様之事手立ニ仕候義難、心得奉存候

一 手板之儀荷船世話仕候節、私手板ニ致送り呉候様ニ庄七申候ニ付、相認庄七方へ遣候所、其後又庄七直手板ニ認直シ荷物ニ相添遣し申候、然所右私直筆手板所持致金右衛門證拠立申儀ニ御座候得共、私認遣候手板用立申儀ニ者無御座候、尤荷物相添遣候庄七直手板之儀、荷才料方も請取此度持參仕候、乍恐御尋之上可、奉入御覽候私手板之儀、反故同前之儀ニ奉存候、猶又御尋之上乍恐口上ニ可申上候、以上

羽州村山郡北口町

反答人 庄右衛門

宝曆貳年申六月

御奉行所 様

乍恐書付を以御答奉申上候

一 羽州村山郡長瀬村庄七北口村庄右衛門紅花代金出入ニ付、前小路村金右衛門并庄右衛門方へ差引勘定出入出来仕候ニ付、羽入村傳兵衛楯北村金右衛門寒河江御役所江御願申上、立会勘定之旨紅花荷物送り手板引きさき候杯心得違申上候ニ付、左ニ御答申上候

此儀伝兵衛金右衛門寒河江御役所御願申上立会候儀ハ無御座候、去ル午之十月廿七日寒河江御役所江右両

人被召出被仰付候ハ、北口村庄右衛門前小路村金右衛門差引勘定之儀、双方御役所と御立会勘定表御見届ケ被下度段、前小路村金右衛門達而相願候処、左候得者出入之もの共双方難儀之儀も難斗候間、羽入村伝兵衛楯北村金右衛門御召出内々ニ而立合勘定相分り候ハ、双方江意見差加へ内濟致候様被仰付候ニ付立会申候、全以兩人之者共御願申上立会申候儀ハ無御座、達而遲滞申上候得共再応被仰付候間無扨立会申候

一 私共立会申候節、双方書物私共了簡ニ何レ共相分り不申様ニ奉存候、其節庄右衛門方と紅花荷物送り手板差出候得者、金右衛門方ニ茂庄右衛門直筆之送り手板所持致候由申候間、私共披見仕候処、名印捌ケ相見へ申候間、直ニ其段金右衛門方へ申達候、然ル所私共五人ニ而引捌キ候段御訴書申上奉驚入候、引さき候儀ニ者曾而無御座候、勿論出入之儀如何様ニ相濟候共、私共ニ相障り可申儀無御座候処、引さき可申謂無御座候、訴訟人金右衛門申上候儀難心得奉存候

右御答申上候通、少も相違之儀不申上候、御尋之儀茂御座候ハ、乍恐口上ニ可申上候、以上

羽州村山郡北口村庄屋

三郎兵衛

同国同郡工藤小路村庄屋

弥次右衛門

宝曆貳年申六月

同国同郡羽入村名主

傳兵衛

同国同郡楯北村名主

金右衛門

同国同郡松橋村名主

九郎右衛門

御奉役所 様

右之通庄右衛門返答書并名主共返答書相認、六月四日御評定ニ罷出候処ニ、江戸兩嶺三崎屋藤兵衛神田明神旅籠町上州屋市左衛門猿屋町伊勢屋左兵衛殿申落し、十三日迄取扱申候度、日延御願相叶取扱ニ及候処ニ、一向金右衛門得心不仕候ニ付、又々双方不得心之段申上候、十三日ニ御吟味無之、廿一日罷出候様ニ被仰付候所ニ、廿日大御所様御法事上野ニ而千部之御法事ニ而、廿一日ハ大小名上野へ御參詣被遊候ニ付相延申候、依之七月四日被仰付候、右之内三人共ニ取扱致度、色々取扱有之候得共不相濟、依之庄七願い尤流ニ被成候得共、一事兩用之願ニ付、金右衛門庄衛門双方片付申候ハ、願出候様ニ被仰付、又々庄七願候間、兩人斗取扱相濟可然と申事ニ候、殊ニ右出入之紅花代金ニ御座候間、庄七庄右衛門間ニかり内濟申候ハ、金右衛門願出相立申間敷と相談相決、七月三日迄相濟申候、同四日罷出候処ニ、兩人口上御聞被遊候得共、何連共訳り可申候間、追寄合ニ吟味可致之間罷立候様ニ被仰付、永井丹波守様御役所へ同六日罷出候

一 御留役人佐間忠兵衛様御吟味訴訟人金右衛門方御尋被遊候得共、京都ニ而八拾五兩外拾兩相渡候内、紅花代金も有之様ニ申上候得共、證拠立申義無之候間、何れ共相訳不申候、忠兵衛様其方願不埒千万ニ候と御何に致し候而も、證拠無之候而ハ不相立段被仰候、藏敷口錢貸金有之由申候得共印形之無之候間、一向相立不申候、庄

右衛門藏敷口錢預リ義と被仰候間、庄右衛門申上候者口錢藏敷与申義預リ金一切無御座候段申上候事、又手板被取引捌候段金右衛門申上候得者、手板はいかゝ致し而引さき候哉と御尋御座候、卯助宅ニ而立合吟味之節引さき候段申上候得者、何故五人之者共引さき候哉と被仰候間、私共立会吟味之儀御役所も可仰付相訳候ハ、早速埒明不申候間、立会勘定可訳と被仰付ニ而罷立候処、何連共双方相訳不申候間、其段申上候而立退キ申候所、右手板引捌可申謂無御座左様之儀曾而仕不申段申上候

一 曲淵豊後守様永井丹波守様御同座ニ而又々御召出御吟味被遊候、金右衛門申方何共難心得金子之筋相訳り不申候間、證拠斗出候様ニ達而被仰候得共、帳面など斗持參致候而證文ニ而も無之候間、庄右衛門方にも證拠有之筈ニ候間、帳面成共取寄可申段被仰付候、依之差引書二冊有之候、差出申候、此方ニ而吟味可致候間、罷立候様ニ被仰付候、御留役人右兵衛様双方勘定両宿共立会勘定可致様ニ被仰付候、右差引書御渡罷帰候

一 七月九日両宿申合、神田上州屋市左衛門宅ニ而、庄右衛門金右衛門立会勘定仕候得共相訳不申候、尤江戸宿藤兵衛三郎兵衛庄右衛門三人罷越候、依之其段十一日ニ御披露仕候得者、左候ハ、同十八日御内寄合へ罷出候様ニ可仰付候事

一 同十八日丹波守様御役所江罷出候、留御役人忠兵衛様御吟味ニ両宿共立会ニ而いかか致候而濟シ不申段被仰候得者、庄右衛門方も差引書写ニて差出候間、相濟し不申候段金右衛門申上候、庄右衛門何故二写しニて差遣哉と御呵被成候、庄右衛門申上候ハ、大切之書物ニて御座候間、右本紙無相違写シ候而、持參申候由申上候得共、此方も申付立合勘定致上者直差引書出不申段不届千万被仰御呵被成候、依之此方ニて勘定致段ニて金右衛門帳面取被成、指引書何か違ひ候哉と御尋被成候得者、金右衛門申上候者、私遣候帳面ニ直筆印形相違無御座候、然ら者違ひ候所者何連ニ哉と被仰候得者、又迄ハ相違無御座候、其外ハ白紙ニて遣申候所ニ末書名印ハ不仕段申上

候、印形違ひ無之見え申候を書不申と申候義、難心得存候と被仰候、私書不申候所へ印形致候儀無之候と申候得者、忠兵衛様扱々其方不屈者手跡ハ違ひ候而も印形ハ違ひ無之候所、左様之申方謀判之申掛と相見へ申候、其分二不罷成弥其方印形^ニ而者無之候哉と押返シ御聞被成候得共、印形不申と申上候、庄右衛門義もケ様之事被申掛と而ハ吟味之内ハ同罪^ニ而吟味致候間、左様二可心得段被仰候、依之又丹波守様豊後守様御兩人様之御吟味二罷成被召出候、忠兵衛様被仰上候者、右指引書勘定致候所二押切共無相違相見へ申候得共、末書名印不仕段金右衛門申候由被仰上候、依之殊之外御呵被成、金右衛門不屈者と相見へ申候由^ニ而度々御呵被成候、又々庄右衛門先達而立会申付候節、差引書不差出写^ニて遣候段不埒者二候、殊ニケ様二切繼月日之上切レ候坏、甚不埒成者二候間、兩人繩掛被成候而手錠^ニ而兩宿預ケ二罷成候

一 七月廿一日も取扱之扱佐汰有之候得共、双方も手遣し不罷成候処、利性院被參候而取扱可成候得共、双方不得心二候間、廿九日迄相延罷有候、然処ニ廿八日御差紙參候、弥廿九日丹羽守様御役所へ罷出候様二被仰付間、廿九日ニ申お路し日延致取扱申度段^ニて、利性院被參兩宿共申下ケ日延相叶申候、八月六日迄御日延願申候、兩宿取扱仕度申上候間相叶申候、双方心得違申上候と申上候、同六日ニ御訴申上候、双方和談得心之上内濟仕度申上候得共、手錠御免被仰付候、依之十一日濟證文差上候様二被仰付候

一 出入者庄右衛門利運二相見へ申候所、金右衛門者身命捨て共二籠捨与相極罷在候間、庄右衛門二達而名主とも意見様加へ乍心外金子差遣相濟流申候

差上申濟口證文之事

一 羽州村山郡前小路村金右衛門儀、同国同郡北口村庄右衛門外五人を相手取、為替并預ケ金滯出入之儀、当六月

四日双方御評定所江被召出段々及御吟味候処、江戸宿御申下シ奉願上取扱を以双方和談得心之上、金高九拾六兩余之内庄右衛門方も金六拾七兩一分余差出、金右衛門方へ請取之金貳拾八兩三分余致不足相濟申候、并手板之儀者此度取扱之上双方申分無御座候、右一件ニ付重而御訴訟ケ間敷儀曾而申上間敷候、為後日之連判濟口證文奉差上候、以上

宝曆貳年申八月

辻六郎左衛門御代官所

羽州村山郡前小路村

訴訟人 金右衛門

戸沢上総介殿方

同国同郡北口村

相手 庄右衛門

三郎兵衛

右同所

同国同郡工藤小路村

同 弥次右衛門

辻六郎左衛門御代官所

同国同郡羽入村

同 伝兵衛

右同所

同国同郡楯北村

同 金右衛門

右同所

同国同郡松橋村

同 九郎右衛門

神田旅籠町老丁目

扱人 上州屋市左衛門

小伝馬町三丁目三崎屋

同 藤兵衛

同所 木屋

同 権左衛門

御奉行所 様

右之通之證文八月十一日御評定所へ差上相濟申候也、同十二日御判消シ金右衛門相廻申候、依之十三日御暇ニ罷上り申候所、一兩日之内罷上り候様被仰付、右差上置書付後可申との儀故、十四日罷上書付請取御暇申上、十九日八つ時江戸出立申候而、同廿八日夜四つ過ニ無事着申候、以上

此時濟口御聞届ニ御評定所へ御出被成候御老中

西尾隱岐守様 遠州横須賀

三万五千石

寺社御奉行

五万石 青山因幡守様

三万石 島居伊賀守様

壹万石 本多長門守様

御勘定奉行

七白石 松浦河内守様

千石 神尾若狭守様

貳千五百石 曲淵豊後守様

三千三拾石 永井丹波守様

町御奉行

六百石 能勢肥後守様

貳千石 山田伊豆守様

一〇 紅花灯笼写真（口絵参照）

一一（京都・大坂紅花売買会所取立二付）乍恐以書付奉御願上候

乍恐以書付奉御願上候

一 去丑春中、私共惣百姓為名代京都・大阪江紅花売場所御願申上候処、慥成證據無之不束之義二付、御取用二難成段被仰聞候間、帰国之上惣百姓共と熟談仕候処、先（左）前（右）問屋共不法成仕形之儀、其時々京都町御奉行様江御届申上候目早書入御覽申上度候、猶又其外之證拠聊承知罷在候得共、至（而）此義ハ難申上御義二御座候間、御慈悲之御賢察御願申上候（外）無御座候御事

一 京都ニ而紅花問屋之義、先年者国元もも相建候時節も御座候処、新問屋拾四軒ニ相定り候已後、百姓一統難義ニ付町御奉行様江數度御願申上候得共、田舎もの申上方行届不申哉、昨今ニ而は御願之筋新規之様ニも御聞不被成下哉と迷惑仕候、新問屋正道之取斗ハニ而口錢指出し候義ハ不苦候、口錢之外直違ヒ夥敷引取候様相見得申候、既二末ノ五月御奉行所江御届申上直違ヒ請取候御事

一 先願申上候ハ、京都・大坂ニ而紅花売場所被為仰付候ハ、御冥加米千俵ツ、年々差上紅花荷と相對直担仕候段て、国々紅花善悪相応之代金ニ売渡し、百姓一統之御救ニ相成可申段、先達而御願申上候得共、新問屋御漬シ難被成之御旨、依之私共御願奉申上候趣、左ニ申上候

一 新問屋拾四軒之内數年間屋職相休ミ居り候もの御座候間、近頃恐多御義ニ御座候得共、右休ミ株彦軒御貰ヒ被遊私共方江被為仰付被下置度奉願上候、左候ハ、右場所ニおゐて新問屋是迄之仕癖相止、紅染や誰方江何印之花代金何程ニ請取口錢何程引候段、明白之仕切書指出し候様仕度、金子相頼売買仕候得ハ、羽州之百姓甚潤ヒニ相成申御事ニ御座候、聊餘国も出荷仕候紅花江ハ散而貧着不仕候義ニ御座候得ハ、残り問屋江之指障リニモ相成申間數様ニ奉存候、依之連年之内紅花悪作ニ而駄荷無數年ハ、右場所諸雜用まけ仕候義御座候間、大坂ニ而も売買場所彦軒被為仰付被下置度御願申上候、然ル上ハ羽州表ニ而悪作仕候而も西国表も出荷在之候得ハ、兩持合取統永々相勤惣百姓之諸役錢金納等の手續り宜敷相成候様仕度奉存候御事

一 京都・大坂兩処之紅花売買場所御免被為成下候ハ、為冥加と紅花彦駄ニ付米壹俵ツ之積り其毎年駄數二応し御上納仕度候、紅屋と直相對ニ付明白之取斗ハ国々江も相聞へ、荷主百姓附添罷在候ニも及不申、前年紅屋も国々江金子持參仕相調候時節、同分ニ潤ヒ可申与奉存御事

但シ羽州納米壹俵ニ付三斗七升入相場拾ヶ年之以平均ヲ金納御定奉願上候御事

右申上候問屋株京大坂ニ而式軒御許容之義何分奉願上候、被仰付被下置候上、右式ヶ所売買場所紅染屋共江御触流之義追而御願申上度候、私共義又々願出候義、国元ニ而も願人ニ相成候儀辭退仕候得共、惣百姓之内当村飢渴ニおよひ候程之ものハ今日之渡世ニ已而抱り、願主も無御座永久国之衰微ニ貧着仕候、猶又京都新問屋共之仕法不埒之義、遂一承知之ものも無数ゆへ、無拋愚盲不弁之私共再願御出訴仕候、先年ハ九十月ニハ紅花荷物不残売拂罷下り、其金子ヲ以雜穀たはこ之類商人買入候ニ付、諸色金子之通用能小物金納等ニ手問無之候処、近年ハ問屋方仕癖之不宜敷ニおの津から不捌ニ相成、翌春夏迄も持越シ、一国之金子不足ゆへ売もの下直ニ而金子手配り指問、御支配所御代官様方江金納諸役錢御手問ニ相成り甚難渋仕候、元來紅花之義ハ土地ニ応じ候産物、殊ニ麦作と稻作之間ニ取入、夏役錢金納夫食迄ニ相成り、右荷物ニ仕立テ候迄ハ人歩多分相懸リ候ゆへ、紅花作不仕諸人迄友稼キニ相成申候、御憐愍之上願之通被為仰付被下置候ハ、生々世々惣百姓広太之御救ニ相成候段、何程欵御慈悲難存可奉存候、以上

御代官辻六郎左衛門様御支配

宝曆七年辰三月

羽州村山郡荒町村百姓

仁兵衛

御奉行所様

一二 紅花仕切(複写)

仕切

現金三拾五兩替

一金八兩三步

大正 古花拾六袋

押込現金五十七兩替

一金百四拾五兩

銀老刃

大^{与土} 紅花貳駄

大上 同花拾九袋

大雨 同花拾六袋

貳駄片馬三袋

現金四拾四兩替

一金四拾壹兩壹步

大^{極初} 片馬貳拾八袋

現金八拾五兩替

一金貳百三拾六兩壹步

銀九匁九分五厘

仙舟 貳駄片馬拾八袋

一金四拾貳兩

大^{極初} 壹駄也

現金五十兩替

一金三拾七兩二分

大雨 片馬拾六袋

同金八十兩替

一金四拾七兩貳步

仙角 片馬六袋

一金四拾七兩

大極 壹駄也

現金拾六兩替

一金拾貳兩

大行 藝（り）花片馬拾六袋

同金五十八兩替

一金六拾五兩壹步

仙村 壹駄八袋

一金三拾貳兩

大里印 壹駄也

現金四拾三兩替

一金貳拾壹兩貳步

大本 片馬也

現金六十四兩替

一金拾八兩

大角仙 拾八袋

同金三十兩替

一金五拾六兩

銀五匁

大民 壹駄片馬壹袋

押込現金三拾貳兩替

一金百四拾四兩貳步

高 壹駄片馬拾貳袋

飛 壹駄片馬拾貳袋

根 片馬六袋

飛 拾五袋

丸 貳拾袋

ノ四駄片馬老袋

西川久左衛門殿

同 源 介殿

極月晦日

一金五拾貳兩

若山屋喜右衛門殿と江印老駄代ニ而請取

ノ金千六兩貳步

銀拾五匁九分五厘

右之通紅花代金別紙差引書之通不殘相渡、此表無出入相
濟申候、為其仕切状仍而如件

山形屋

宝曆十一年

八郎右衛門印

巳五月

会田六郎兵衛殿

一三 紅花仕切 (複写)

仕切

巳ノ十月廿日

一金五拾兩三步ト

ノ大印

但シ五拾兩カヘ

最上紅花老駄老袋

銀老匁九分五厘

但シ五拾貳兩カヘ

一金百四兩

ノ大仙印仙台紅花貳駄

ノ金百五拾四兩三步ト

銀老匁九分五厘

右之通以相對を売買仕、代金不殘西川源助殿相渡し、

此表無出入相濟申上候、若拔袋算用違等御座候ハ、再
指引可仕候、以上

宝曆十二年壬午年五月十八日

松任屋徳兵衛印

会田六兵衛殿

西川源助殿

一四 紅花代金請払簿 (小横帳)

(表紙)

「紅花」

(宝曆十二年)

午秋金銀請拂口

八月十五日

一 金壹両

国元ニ而受取

一 金貳両貳分 同断 見せ^ら

一 金貳分 帷子代愛知長殿行

一 金壹分貳朱 福嶋近三 駄賃不足

ノ 金四両貳分貳朱

内金壹分貳朱 八月十七日近江屋三十郎殿^{江渡}

残而金四両改

一 金五両三分 利印入ル

ノ 金九両三分也

内金壹両貳分 郡内壹足

青梅四反

壹メ百四十貳文生絹一反

貳百六十四文 足袋貳足

六十四文 たは粉入^ッ

四百七十八文 地黄丸百丸

金壹両壹分 銚儀殿かし

竹内買物代

金壹両三分 木綿貳駄

貳文 たちん金

金壹分 乗下紅花

七百七十文 式簡たちん

金三分 鑑儀殿

五百八十文 道中遣かし

五百文 同人かし

金貳兩壹分 登道中遣

三百三十文

金壹分 北条長右エ門殿かし

四百四十九文

右著江戸ニ而書物代取かへ

拂メ金八兩 四メ五百八十九文

引取テ金貳分五百貳十文 京着改

一 金貳兩貳分 鑑屋儀兵衛殿

壹メ八十文 かし取

有高

メ金三兩壹分 六百三拾壹文

九月十七日改

同廿五日

一 拾貳匁九分 愛知長殿もかり

内百文 九月十六日福寿院へ持参

十月七日 一 金百兩 日野屋治郎八殿も預り

但六十壹匁貳分かへ

内金百兩 大坂いせ屋へ直クニ渡ル

十月十六日

一 貳百九文 儀兵衛殿も絹紬たちん外

同十七日

一 金五拾兩 近江屋九郎兵衛殿も当座かり入

十月十八日

内金三拾兩 大日寺様為替渡ス

同日 金拾貳兩 蓮花院同断

十月廿五日 一 金百兩 いせ屋利右衛門殿も預り

右受取者手形帳ニ致候故、別紙遣不申候

同日

内金百兩 西谷善九郎殿へ為替金内渡

九匁六分 四人して彦右衛門殿悔遣ス

同廿八日

一 金貳分 万品割之内鑑儀も入ル

同日

貳百七文

金四十兩切ちん同人渡ス

同廿九日

百七十貳文

西川伊八殿白切代拂

同日

四十八文

殊数代玉屋へ拂

同日

百文

象牙ヤ清兵衛江拂

直しちん

入高ノ貳百五拾三兩三分

拾貳匁九分

八百四十文

内拂ノ

金貳百四拾貳兩

九匁六分

六百三十壹文

引残テ金拾壹兩三分

貳匁四分

不足貳百九文小遣ニ成ル

十月廿九日

内金貳分

錢調

同日

一 貳貫文

右錢貳分分

同日

内八百九十貳文

近江拂、鎰儀ニ渡ス

同日

五百五十文

当座かり 愛知長へ渡

但貳百文遣シ

同日

一 三百十文

鎰屋小林彦右衛門殿悔取かへかし分

十一月朔日

内金貳分

富田屋拂

十一月朔日

一 銀三貫匁

近江屋善右衛門殿へ加り入

同日

一 銀六貫匁

細や喜七郎殿へ加り入

二口銀ノ九貫匁

内六匁壹分

かん出引

残テ

此金百四拾六兩壹分

六匁四八 貳匁四分五厘

惣ノ百五十八兩

四匁八分五厘

貳×三百十文

内拂金方

十一月二日

金百兩

西谷善九郎殿為替を百兩残り渡ス

金壹兩下九百四十貳文 小拂の高

引残而金五拾七兩

四匁八分五厘

壹×三百六十四文

十一月三日

内金五拾兩

近江屋九郎兵衛殿返濟相渡ス

同日

一 金壹分

青芋三箇

六匁五分

升田保入

同日

一 五匁八分

下シ手拔残り錢そへ入

同日

内廿六匁八分六厘

青芋八駄片濡割金出ス

同日

壹匁四分六厘 田ほへ却入壹箇掛り渡

十一月十七日

一 金貳拾兩

近九屋も当座かり

惣×金七拾七兩壹分

拾七匁分五厘

壹×三百六十四文

内拂

金五拾兩

近九殿へ返金、ツルカ渡ス

廿八匁三分壹厘

十一月十七日

又金貳拾五兩

愛染院様為替金渡ス

五十文

右之切ちん

十一月十七日改

引残而金貳兩

四匁八分五厘

壹×貳百三十九文

十一月十七日

一 三百六十文

小遣二拂ニ致違出し入ル

同廿五日

一 金六兩

松任や徳兵衛殿も丸紅壹丸代

同日

一 金七兩

同人も粉花代之内

十一月晦日
一 金百兩 若山屋喜右エ門殿ら加り入

惣メ金百拾五兩

四匁八分五厘

壹メ六百三文

内拂

十二月廿九日

金拾三兩

近九屋へ廿兩之内へ返ス

十一月晦日

金百兩

西谷善九郎殿為替金渡ス

七拾貳文

大坂ニテはさみ壹丁

十二月六日改
残而金貳兩

壹メ八百三拾九文

同七日

一 金五兩

小林惣左エ門殿ら加り

二口メ金七兩

壹メ八百三拾九文

同日

内金七兩

夫喜八殿也
近九殿へ廿兩之残り返濟

十二月七日改

残壹メ八百三拾九文有

同廿三日

一 金三拾兩

山形や八郎右エ門殿ら清紅壹駄代

極月廿三日

内金三拾兩

いせや利右エ門殿へ返濟

残而壹メ八百三拾九文

廿八日

内六百元

髮結治郎殿遣ス

百五十文

同人砥石代

同廿七日

一 金壹兩

鎰屋ら加り

内金壹兩

近津拂

同日

一 金壹分

愛知長らかり

内金壹分

内庵見料と藥札

同廿八日

一 金三兩

若山屋喜右エ門殿ら取

同日

一 金壹兩

鎰儀ら人ら手拔残取

内金壹兩

同人昨日かり濟

金壹分

愛知川や歳末祝儀

七十貳文

そは切代尾張や拂

〆金五両壹分

壹メ八百三拾九文

内拂金貳兩貳分 〆高

八百廿六文 同断

六百文 小林かし

残テ金貳兩三分

四百十三文

同廿九日

一 金拾兩 いせ源吉も受取

同日

一 四〆文 金壹兩分かい

〆金拾貳兩三分

四メ四百十文

内百文 いせや清兵衛殿たは粉代拂

壹メ四百文 此かし

貳メ文 小林二渡ス

極月廿九日

一 壹テ三百六文 かきや儀兵衛殿かし取

同日 一 貳百五十文 同人も講ノ割取

内金壹兩 錢かひ

金壹兩三分 木津や与左エ門殿ニ直々拂

三百六拾壹文

金三分 白銀や陸助殿拂

貳百八拾八文

同廿九日

一 金六拾三兩 いせ屋源助殿も紅花代受取

又金五拾兩 袴屋仁右エ門殿江下ス

金拾四兩貳分 いせ利殿へ返済

同日

一 壹メ四百文 此かし取

金壹兩貳分 此拂川口弥藏取かへかし

十四匁七分

金壹兩三分 川口弥藏殿拂

壹匁貳分壹厘五毛

入方

〆金七拾五兩三分

七メ三百六拾五文

内拂方

メ金七拾壹兩壹分

銀拾五匁九分壹厘五毛

四貫百五拾三文

又三貫文

愛知長殿へかし

廿九日改

残而金四兩壹分

式百三拾四文

同日昼分付落

一 六百文

小林かし入

内三十文

西川伊八殿へ白切壹人書方代

貳口合金四兩壹分

八百三十四文

内三十文

西川拂引

又四十壹文

拂欠出ル

引残テ金四兩壹分

七百五拾九文

廿九日残荷高

内拂

大晦日

金四兩

此かし 鈴木佐殿へ渡ス

貳百廿四文

内礼代

八百三拾壹文

仲合寄合入用割

大晦日

一 壹メ文

愛知長方かし内取

八百三十壹文

此長治郎殿仲間入用取かへかし

三百文

大晦日

西川殿ニ仲真入用取かへ

三百文

小遣ニ成ル

入メ金四兩壹分

壹メ七百五拾九文

内拂メ金四兩ト

貳メ四百八十六文

残而貳百六拾九文

正月二日

改正月四日

一 金五兩

愛知長殿方かり

正月六日

内金四兩

返信代いせ長殿へ渡

同十一日

一 金貳拾兩

松任屋徳兵衛殿と

四百五十文

山口利八殿二道中かし

同日夕

内金五兩

愛知長殿へ返済

拂の金壹兩貳分

卷メ三十貳文

正月十一日

一 金壹兩

此長治郎殿かし内取

又三百文

大坂下り遣

内金四兩

小林惣左エ門殿へ返済

引残而金拾壹兩壹分

二月八日改

入の金貳拾六兩

貳百六拾九文

内拂の金拾三兩也

引残テ金拾三兩ト貳百六拾九文

貳百三拾七文

二月八日

二月八日

若山屋喜右衛門殿と受取

二月八日

内金八拾五兩三分 近江屋九郎兵衛殿へ返済

正月十二日

内金貳分

小林惣左エ門殿へ返済

同九日

金四兩

愛知長殿書出表渡ス

都合五兩渡済

八十六文

同日

又三十貳文

塩津林忠左エ門殿拂

正月十九日分

一 五百文

同人とかり入

一 三百文

小遣ニ出シ大晦日入ル

右書出表へ入返済

内金壹分

伊せ初尾

二月十日

一 百文

当座入ル

又金壹分

白子同断

金貳分

参宮道中遣入用

内金壹兩壹分

二月十日

越後や善兵衛分拵代渡ス

五百五十文

七百四拾貳文

二月十七日
金貳分 なら三而ひの屋渡

拾三匁三厘

拾三匁三厘 同所鍵茂かし

金壹分 此長かし

入ノ金百拾壹兩壹分

八百三十七文

内拂ノ

金九拾壹兩三分

銀廿六匁六厘

八百三拾貳文

二月十二日

又五匁五分九厘 なら行道中遣

引残金拾九兩ト錢五文

二月廿二日改

二月廿五日

一 金四拾壹兩 因④分らう代入ル

入ノ金六拾兩 五文

二月廿五日夕

内金六拾兩 伊勢屋七郎右エ門殿へ下ス

三月朔日

一 金拾壹兩 愛知長殿と青字代之内

一 百文 当座入ル

内百文 黒谷持参

三月二日

一 六百七十文 大十治兵衛殿生割かし取

内貳百文 当座入済ス

七十五文 江戸登状ちん

七十五文 たは粉百匁

三月二日付出ス

一 壹ノ百文 愛長殿と加り入ル

三月二日

内三百四十貳文 越後や善兵衛殿拂

五百十八文 納屋六右エ門殿拂、④此二取かへ

三月二日

金拾兩 伊勢屋七郎右衛門殿へ渡

金壹分 同人節句祝儀

入ノ金七拾壹兩

壹ノ八百七拾五文

内拂ノ金七拾兩壹分

壹ノ三百拾五文

三月四日改
残而金三分ト五百五拾三文

三月二日分
内百三十九文 大坂下り小遣 舟ちん

一 金壹分 此薄黄壹足代受取

三月廿日
一 五百十八文 納書取かえ 此㊦受取

三月廿三日
一 百九十文 三井平兵衛殿かしの内

同日
一 金壹兩壹分 鈴木甚藏殿買物代入ル

六百文

同日
一 金壹兩壹分 直藏殿同断

百廿文

同日
一 金貳分 金左エ門殿仏具代入ル

六拾九文

同日
一 四百八拾七文 同人ふる敷代

一 拾壹匁 直藏殿近源拂入ル

一 六百七十八文 たまこ代入ル

ノ金四兩 拾壹匁 参貫貳百三十一文

内拾五匁貳分五厘 甚藏様分旨紐廿組代

貳匁 高台寺座敷案内

七匁貳分ト 小遣二拂

三百四十四文

ノ廿四匁四分五厘

四百八十壹文

引残而金四兩壹分

壹匁八分五厘

七百拾七文 三月廿三日改

四月五日
内金貳分 晒壹足代ひのや拂

拾匁三分五厘

同日
六匁八分 田原や同断

同月四日
金三分 川内や吉郎兵工渡

四月朔日分
三百文 なら行も大坂へ廻り小遣

メ金壹両壹分

十七匁壹分五厘 三百文

四月十九日改
残而金貳兩貳分

拾四匁五分 五百三十五文

四月十九日

一 金拾六兩 松任屋徳兵衛殿も皆紅三丸代之内

同日

一 六匁文 小遣之内入ル

但七匁貳分

三百四十貳文之内へ

同廿日

内金拾五兩 竹内彦市殿木綿代下ス

但大黒や庄治郎殿飛脚

四月朔日付落

一 金拾兩 愛知川屋長右エ門殿も青芋代之内

四月朔日

内金拾兩 いせ屋七郎右衛門殿直ク二下ル

五月朔日

一 三百文 西川伊助殿かし取

メ金貳拾八兩貳分

拾四匁五分

壹メ四百三拾五文

内拂メ金貳拾五兩拂也

又四百三拾五文 越前やかし

五月二日改

残而金三兩貳分

拾四匁五分

壹メ文

五月二日

一 金三拾兩 愛知長殿もかり

同日

内金三拾兩 いせ屋七郎右エ門殿へ下ス

五月三日

金貳分四百文 象牙や清兵衛殿拂

三百六十六文 坂本や利助殿拂

三日

一 三メ文 西川伊八殿もかり

五百六十文 川内屋吉郎兵衛殿羽銭残拂

五月二日

一 金九拾五兩 ひのや治郎八殿も預り

右金九拾五兩 大坂いせ屋七郎右エ門殿へ渡ル

ノ金百貳拾八兩貳分

十四匁五分

四メ文

拂ノ金百廿五兩貳分

卷ノ三百廿六文

五月三日夕改
引残而金三兩

十四匁五分

貳メ六百七十文

五月四日

一 金三拾四兩 若山屋喜右工門殿天飛卷駄代

一 七メ文 西川ノ兩度入ル

内金貳兩 堺や孫兵衛殿拂

七百九十三文

金三分 大和や治郎殿拂

八百八十八文

金壹分 帯屋平兵衛殿拂

百六十六文

金壹兩 越前や五郎右工門殿拂

五百十式文

金五兩貳分 菱や善兵衛殿拂

五百九文

金三分 いせ屋藤兵衛殿拂

六百七十式文

金貳分 三宅や弥兵衛殿拂

五百六十文

金貳兩貳分 菱や平兵衛殿拂

五十壹文

金三兩壹分 水口や作治右衛門殿拂

八百四十八文

三百文 いせ藤殿剃刃代

貳百文 大井沢分 皮籠代ミのや基六

百三十文大井沢分 人見和泉鏡代拂

同日

一 金壹分 錢掛合入越前や

金五兩ト 堺や七兵衛殿拂

九百六十六文

五百四十五文 北村治三郎殿茶代拂

貳百九文 納書へ拂

九百六十六文 萬や喜兵衛殿拂

大井沢分

金貳兩 近伊拂

金貳分 鈴木十兵衛殿拂

三百六十三文

金壹分 鈴木文鋒子拂

三百五十五文

金壹兩 錢調下ノ町も

金壹兩 鎰屋彦兵衛殿拂

貳メ百四十文

五月四日 一 金三兩 松任屋徳兵衛殿も皆紅印代受取

五百三拾八文 近江屋藤八江拂

大井沢分

一 四貫八十文 金壹兩分入ル

一 四百三十五文 越前やかし取

入メ金四拾兩壹分

拾四匁五分

拾四メ百八拾九文

内拂方メ

金貳拾六兩壹分

錢拾壹メ七百三拾九文

又百貳拾文 いせ屋清兵衛殿たは粉代

壹メ十五文 金壹分ト錢ウリ拂

金六兩 萬屋忠兵衛殿差引利印渡ス

五月四日改

引残而金八兩ト

拾四匁五分

壹メ貳百九十文 貳十壹文不足

内貳百九十文 玉子割カキ後渡ス

五月四日

金三兩 大坂仲真蠟代利分①渡ス

同日

一 百七十四文 仲真蠟掛り受取

五月四日

一 金貳分

カキや儀兵衛殿かし取

貳百九十四文

一 百文

柴崎かし取

内貳百文

喜八返ス

メ金八兩貳分

拾四匁五分

耆メ七百六十四文

内拂金三兩

拂

貳百九十文

金廿兩

四十四文

大坂下スたちん

五月四日晚改
残而金五兩貳分

拾四匁五分

耆メ四百廿六文

内金耆分

五月節句祝儀愛長へ遣ス

五月九日
一 金貳兩

鎰屋儀兵衛殿も当座かり

五月九日

内金七兩耆分

△形屋勘介拂

同日
金六拾五兩

市村弥兵衛殿も為替金受取

内金六拾五兩

いせ七殿へ渡ス

又六匁六分

錢調

同十一日

一 四百廿六文

銀六匁分代入ル

同十五日

一 五匁耆分五厘

三井平兵衛様かし取

五十六文

同十五日

一 金三拾五兩

市村弥兵衛殿も為替金受取

都合百兩受取也

同十五日

内三匁五分

木津や礼遣ス

金貳分

ひのや治郎八殿へ礼遣ス

十六日朝

金貳兩

鎰屋儀兵衛殿返済直々渡ス

同

金七兩

大坂へいせ七殿へ昨晚下ス

入

ノ金百七兩貳分

拾九匁六分五厘

壹メ九百十貳文

内

拂ノ金八拾貳兩

拂金ノ高

銀拾匁壹分 同断

又百三十文

たは粉一斤

百文

御番所江筆書遣

五月十一日

三百文

大坂下り廻り舟ちん共

五月十二日改

引残而金貳拾五兩貳分

銀九匁五分五厘

錢八百六十五文

五百十三文不足

内

百十六文

松任屋徳兵衛殿仕切過銀返ス

十六日

金壹分

八百四十九文

大井沢分

同日

金貳分

七百六十文

同断

五月十六日

一 百廿六文

小林惣左工門殿掛替代^④/₆取

同日

九百六十壹文

△屋勘助殿羽錢拂

同日

金八兩卜

いせ屋利右工門殿差引残り渡ス

十壹匁三分

同日

百七十貳文

朱くし貳枚參請拂

同日

金四兩壹分

竹内彦尚殿へ大黒屋飛脚二下ス

七匁五分八厘

同月十六日

一 五百文

カキヤ儀兵衛殿かし取

金貳拾五兩貳分

九匁五分五厘

老メ四百九十老文

内拂

金拾三兩

拾八匁八分八厘

式メ八百六十六文

引

残而金拾貳兩ト五十五文

十七日
内金三兩

松本長次郎殿かし

但丸久行取かへかし

一 六百廿八文 銀九匁七分五厘、万忠より節季萬差

引過上入レ

金八兩老分 万忠差引不足相渡濟

七百五十老文

六百九十四文 きせる十一本近江屋治助殿へ

十七日

金老分 近伊渡

五月十八日

一 金五拾兩

いせ屋利右エ門殿と預り入

同日

内金三拾兩

袴仁殿へ当月晦日渡ル管

同日

又金八兩三分

愛知川ヤ長右エ門殿札

愛長へ渡ス

同日

金貳分

木津や 木綿十五箇掛り

七百廿八文

同日

金貳兩貳分

西川伊八殿錢代相拂

三百七十六文

西川源助殿へ平新着代

道者衆へ遣物

西川源助殿かし取

十八日

金老兩老分

帯屋四郎右エ門殿帯三筋代

五百八十文

百三十文

西川源助殿へ状ちん割

金三兩

手板金 川口弥蔵江渡

一 三百七十九文 諸方かし取

内 四百文 髪結治兵衛遣ス

一 金巻分 なら晒巻反代 カキ屋分愛長と取

三百三十三文

内 金巻分 愛長惣差引 残り渡ス

貳百廿八文

入金

六拾貳兩巻分

貳メ七十六文

内 拂高

金五拾七兩三分

三メ九百三文

又 四十八文 切ちん旁不足出ル

引 残而金三兩三分

巻メ百五十五文

一 拾匁八分 愛長殿も巻メ三百五十文たちん

一 四百五十文 山口利八殿かし取

内 百文 かみ結江遣ス

百廿文 たは粉代

残而金四兩巻分

三十六文 道中持出ス

内 金貳兩 向傳左工門様紅花代渡

四百九十六文

一 貳分 切ちん貳兩分受取

一 四匁五分 へ吉貳駄たちん取

一 貳百三十文 ひとへ物代之内入

一 五百文 いせや左兵衛殿市村も受取

金四兩巻分

四匁七分

七百六十六文

内 金貳兩 傳左工門様渡ス

四百九十六文

金三分 見せへかし

六月十一日

金巻兩巻分 道中金市村渡ス

拂_レ金四兩ト四百九十六文

又三十六文

道中持出し小遣ニ也

六月十一日改
引残テ金壹分

五百五十三文

同十二日
一金三分

見せかし取

一金貳兩

清七殿_も受取

_レ金三兩

五百五十三文

内金三兩

六月十二日

五十嵐庄兵衛殿紅花代之内

六月十三日
一金三兩貳分

見せ_も受取

内金三兩貳分

五十嵐庄兵衛渡ス

同十七日

一 貳百文

お雪との帶物かし取

一 三百廿文

柳郷利彥ツ拂

一 貳百廿四文

岡荷たちん 小林炭_か小_よ

七月十四日
一 金壹分

仁兵衛殿_も頼印入_レ

四百七十文

一同
一金壹分

右頼母子出金見せ_も入_レ

_レ金七兩

壹メ七百六十七文

内拂六兩貳分引

残_而金三分

七百拾五文

登り節持參

未九月十日立登り

一 銀五匁

浄月院様_も預り

一 同三拾七匁九分

大聖院様買物代内

一 拾貳匁

権十五代大坂行受取

一 金貳兩

利印入_ル

一 金三兩

道中遣金受取

_レ金五兩

五拾四匁九分

此金銀五兩壹分

三十七匁九分

此金貳分四百卅壹文

百十文

内払三十文

たうふ切調

又金壹兩貳分

上り道中遣

八百四十文

百文

髪油代

百四文

たは粉入

八百文

ふ呂數代

金壹兩壹分

善兵衛様道中遣かし

五百文

百三十四文

丸屋へ乗下去年分掛物拂

七百文

関_ら京迄道中遣

〆金貳兩三分

朔日着 三メ貳百十貳文

十月四日改

残_り金貳兩壹分 三百拾九文 京着改

内六文

大津状ちん

十四文

あたこ様初尾

十月四日

一 七十七文

善兵衛様かし内

同 七日

一 金壹兩壹分

同人かし取

四百九文

同 七日

一 金五拾兩

近江屋九郎兵衛殿

〆金五拾三兩貳分

天紅老駄代之内

八百拾九文

十月七日

内金五拾兩

袴屋仁右エ門殿へ

又十八文引

竹内四郎兵衛殿分爲替金渡

十月八日改

残_り金三兩貳分

八百壹文

十月十日

一 金貳拾兩

西川源助殿_ら当座預り

同 八日

一 銀五匁

愛知川屋らかり

メ金六拾五兩壹分

内五匁

同日若王子様へ論月院様ら届遣ス

五匁

同十一日
一 金拾貳兩

近江屋九郎兵衛殿紅花代之内

壹メ壹文

十月十一日
内金拾七兩

以音坊様為替金渡ス

内

金四拾四兩

拂メ高

同日
金拾三兩

一音坊様為替金内渡ス

五匁

同断

同日
一 金貳兩

愛長殿ら当座かり

四十四文

切ちん

同日
金七兩

松徳殿へ替金遣し

十月十五日
又金貳拾兩

西川源助殿へ返済

貳百文

かきやかし

十月十二日
一 金三分貳百文

若山孫兵衛殿油代取

残而金壹兩壹分

七百五拾五文

同十三日
一 金拾兩

西川源助殿ら当座かり

十月十六日改

同
一 金拾兩

松徳殿ら長紅花代取

十月十六日
一 金九兩

西川源助殿ら当座かり

十月十三日
内金七兩

一音坊為替金之内渡し

同 十七日
一 金五拾兩

近江屋九郎兵衛殿ら受取

四十四文

右切ちん

内金四十貳兩

十月十七日
国許へ下ス

同十五日
一 金七兩

松任や徳兵衛殿替金受取

又金拾八兩

佐藤傳左衛門様へ下ス

十月十八日
一 金八両貳分 松徳入西川源助殿も当座かり

同廿日
内八十九文 郡内切巻尺巻寸

同廿五日
一 金五拾兩 伊勢屋源助殿も紅花代之内

同日
内金貳拾兩 近江屋九郎兵衛へ渡ス

同日
又金貳拾七両貳分 西川源助殿へ返済

〆金百拾八両三分 七百五拾五文

内金百七両貳分 拂〆高

三百文 いせ善七殿かし

八十九文 拂引

十月廿六日改
引残テ金拾壹両壹分 三百六十貳文

十月廿八日
内金壹兩 いせ屋七郎右衛門殿へ買物代内渡

晦日
百廿文 いせ店たは粉代拂

同廿九日
一 五百文 愛長もかり入

十一月三日
一 金拾五両三分 近江屋九郎兵衛殿も紅花代取

同四日
内十四匁五分 俵や藤兵衛殿けさ代仕立拂

同日
百十四文 色々代

同四日
一 金六拾三両貳分 いせ屋源助殿も紅花代分

同四日
内金貳兩 一音坊様へ為替内渡ス

同日
金三分六匁文 帯屋四郎右エ門殿帯代拂直ニ

同日
三百十四文 帯屋新兵衛殿ちりめん切代

同五日
一 金三兩壹分 松任や徳兵衛殿ちり花代

七匁五分四厘 五文
内金貳分 近伊渡ス

〆金九拾三兩三分
七匁五分四厘

八百六十四文

内拂

金四両壹分

十四匁五分

壹×百四十六文

引残而金八拾九両

八匁四分九厘

七百十四文

内六百廿四文 小遣ニ成ル

十一月六日改
引残而金八拾九両

七匁五分

百四十八文

内 十一月六日

金貳両 受知長殿へ返済

又 金三拾壹両貳分 同人五月二日加り利足ニ返ス

十一月六日
一 金貳拾貳両三歩 愛知長殿青字仕切

貳匁七分

金壹分 貳百文 丸や久兵衛殿拂

三十文 半紙貳折

金壹分 ひしや善兵衛拂

四百八十五文

金壹両貳分 千切や藤兵衛拂

百五十四文

金壹分 玉や宇兵衛拂

貳百廿七文

同六日
一 金五拾四両貳分 三井平次衛殿へ受取

五百四十七文

右村川九郎兵衛殿行

同日
一 金壹分 同人と右之たちん

入金合百六拾六両貳分 拾匁貳分
六百九十五文

内
金三拾五両三分拂の高

壹×百四文

式匁七分 愛長かし

十一月八日改
引残テ金百三拾兩貳分

七匁五分

五百八拾七文

内

五十八文

伊原弥右衛門拂

貳百廿八文

同人(長)分拂

七十文

させる老本

ノ四口愛長へ渡ス

八十四文

守袋仕立ちん

十一月八日

一金三拾四兩

近九へ久。金紅壹駄代

同日

一金五捨兩

愛知川屋長右衛門殿へ預り

入金ノ貳百拾四兩貳分

七匁五分

五百八拾七文

前四口分

内四百四十八文拂ノ高引

一 式匁七分 愛長かし取

一 壹匁九分四厘 同人へ飛脚屋かし取

一 金壹分 同人へふる敷代

同九日

一 拾式匁分貳厘 カキ義兵衛様差引過上取

ノ金壹分

十六匁七分四厘

入金ノ金貳百拾四兩三分

廿四匁貳分四厘

五百八十七文

内拂

六一六金貳兩

小取かへ
愛長仕切表拂

廿八匁五分

十一月九日

金三分

カキヤ
義兵衛殿へ諸方拂頼渡ス

九百八十文

百八十文

柳合利壹ツ

貳百文

打ちん壹ツ

拂 金貳兩三分

廿八匁五分

卷メ八百十六文

引残而金貳百拾壹兩貳分

四百八拾九文 九日七ツ時改

十一月十一日 内

金五拾貳兩貳分 いせ屋利右衛門殿へ返済

七匁六分 五百文 錢二直ス

金八兩 妙智院様為替金愛長へ頼渡置ク

金貳兩 倉屋松右衛門船割合引当テ愛知長へ

相渡

金貳分 川口弥藏殿掛物同人へ渡

金貳分 △形屋拂当渡同人渡愛知長殿へ渡ス

金拾壹兩

金貳兩貳分 愛知川屋へ諸入用

五百文

金六十六兩

卷メ文

十一月十一日改 残而金百四拾五兩壹分

五百文

内百文 たは粉半斤 かかみ覆一ツ代

一 五百文 取立入

金百四拾五兩壹分

卷メ文

内百文 拂引

百五十文 かみ結治兵エ遣ス

残而金百四拾五兩壹分

七百五十文 十一月十一日朝改立

此内金五拾四兩貳分 村川九郎兵衛殿行

五百四十七文

十一月廿四日 江戸二兩

又金拾兩 竹内四郎兵衛殿太物代内渡

金貳兩貳分 利印返ス

金四兩壹分 道中遣

三百文

十二月四日夕改
残而金七拾四兩

四百五十文

一 貳百文

見せらかり

内金拾五兩

極月六日肴や清七殿へ渡ス

十二月六日

金三分

佐藤満左エ門様紅花代残渡ス

三十八文

同七日

金拾兩

栗原伊兵衛殿押切米代渡ス

五百廿七文

村川九郎兵衛殿渡ス

七十文

平助小遣

金貳十五兩三分

六百三十五文

残而金四拾八兩壹分

十五文

一 金壹分

山口も寿梅廿反たちん取

金四十八兩貳分

十五文

内金四拾七兩貳分

内上

又金貳分

大聖院様分預り見せへ渡ス、すミ

四百三拾壹文

引残而金壹分

五百文

右無出入落

申四月廿七日

一 金七兩貳分

国許^二而受取

内金四兩貳分

はつし金十八匁貳分

三百文

又金壹兩壹分

上り道中入用

五百十三文

五月廿一日改

残而金壹兩貳分

百八拾七文

京着荷

六月廿七日

一 六百五拾文

愛知川ヤ彦右衛門殿も預り

七月二日

一 金四両三分

十六五かへ
はつし金代

五匁七分五厘

天満三木屋 拂

六月廿七日
一 金貳両

愛知川屋も預り

金八両壹分

五匁七分五厘

八百四十匁文

七月四日

内金三分

いせや七郎右衛門殿去冬差引惣残

貳匁

り相渡ス

又壹匁五分

嶋布京行 せ話たちん共へ拂

六匁五分

衾り薬代

百十匁文

大坂下り舟ちん小遣

貳百文

大坂逗留皮籠代ともニ小遣半紙代共

二

七十貳文

たは粉代

五百文

ゆかた嶋一反

七月十一日

金貳分

いせ七殿造用礼

四匁五分

貳百六文

上り舟ちん

六十文

ゆかた仕立ちん大坂義兵衛殿へ

八十五文

大坂髪結ちん

三匁三分

スリ一度結三度代

十九文

ふとん丸久殿調ル

十貳文

舟中小遣

七月二十一日

金貳両

愛知川屋長右衛門殿へ返済

七月九日

金壹両

愛知川屋長右衛門殿取替かし

七匁

いせ七殿へ渡ス

拂口

金四両壹分

十二匁六

貳拾八匁八分

壹メ貳百七拾三文

此金貳分

九匁四分

七月十二日改
引残テ金三兩卷分

六匁貳分

七百五拾五文

百八拾五文不足 京着後小遣

内

六匁貳分

七月十四日
川口弥藏殿へ一宿礼遣ス

金卷分四十文

同日
鱗形や勘介殿拂

五十文

同日
草物仕立ちん

四十五文

同日
西川伊八殿切代拂

百六十文

同日
帯や平兵衛殿拂

三百五拾五文

同日
守山や着代拂

十三文

本や善兵衛殿拂

十五文

筆巻本

十文

小豆代

式百六拾七文

ノ卷分六匁四分

七百文

残而金三兩ト五拾五文

七月廿四日改

七月廿六日
一 百文

愛長よりかり

七月廿六日
一 金巻兩

同にかし内取

八月二日
一 百文

同人よりかり

同日
内金四兩

ひのや治郎八殿代庄兵衛殿へ渡

七十三文

盃台巻ツ

八月十四日
一 巻メ文

愛知川や長衛門殿よりかり

入ノ金四兩ト巻メ式百五拾五文

内拂

前々付出ス

金四兩

ひのや治郎八殿差引拂渡ス

七十三文

盃代

八月十二日

七拾貳文

伝治郎
あんま代

貳百文

五和さん四冊

八月十三日
七十八文

北野參詣小遣

四十八文

酒袋巻ツ

拂ノ金四兩ト四百七拾九文

外三百十文

小遣ニ成ル 状ちんニ取

残而六百六拾四文改置

八月十四日

八月十四日
内六十文

えちこや
長右衛門殿差引 惣残かり済ス

四百九十巻文

直拂、升や利兵衛殿盃代拂

受取帳ニ付置

八月十七日

一 金六兩巻分

愛知川屋長工門殿刻たは粉代

拾三匁分九リン

一 貳百文

同人もかり

八月晦日

内金貳分

三角了察等へ礼遣ス

九月朔日

金貳分

水口屋左治右衛門殿拂

九月十三日
一 金百兩

愛知川屋長衛門殿入ル

入金ノ金百六兩巻分

拾三匁分九厘

八百六拾貳文

内金巻兩ト

五百五拾五文 拂引

九月四日

引残而金百五兩巻分

拾三匁分九リン

貳百文改

百七文小遣

九月三日渡ス

内金巻分

文鋒子拂

拾六匁貳厘

九月四日

金三分

堺屋七兵衛へ拂

巻匁六分七厘

同日

百八十四文 益風湯代 香具や長兵衛拂

愛長へ渡ス

四百六十文 柳合利式ツ

拂ノ金拾四兩式分

金三兩

土屋吉衛門殿拂

四十三匁式分

九百廿五文

三又式百廿七文

九百十四文

愛知川屋たは粉九斤代

九月四日立付改

金三兩式分

ひし谷拂

引残而金八拾九兩式分

三百五十四文

六拾文

同日

金四兩式分

愛長造用礼

(宝曆十二年)

未秋分

式百文

紅花壳代金請取口

同日

六匁壹分五厘

治兵衛かみ結ちん

同日

七匁

納屋龜拂

一金三拾三兩

近九

同日

金三分

愛長拂 書式表也

久・天印紅花壳駄代

拾匁三分六厘

一金貳拾三兩

同人

同日

金壹兩三分

△形屋勘助拂

同紅○印 壳駄代

五百八十四文

一金三拾兩

同人

同清印 壹駄代

一金拾六兩

同人

同皆印 貳丸代

一金三拾六兩

千源

同善 壹駄

一金七拾七兩貳步

同人

へ久・飛天 貳丸

同清 壹駄

同紅 壹駄

へ貳太片馬

去秋仕入九月廻り

ひのや

一 銀三貫三百拾四匁 へ久・本

三分九厘

六駄代

同断

愛知長

一金貳拾貳兩三步

へ久・本 壹駄

貳匁七分

同天 壹駄
飛片馬

一金三步

花種油

三匁八厘

壹斗

一金四兩

真綿壹×六百匁

拾貳匁六分三厘

近九

へ久・金印 紅花壹駄

紅花へ八駄

青芋八駄片馬

代金へ貳百七拾七兩

三×三百三拾貳匁八分

十一月八日

一金五拾兩

愛知川屋長右エ門殿より

一 四拾八匁三分三厘

大坂七郎右エ門殿より

請取へ

金三百貳拾七兩

一 銀三ノ三百八拾壹匁分三厘

一 錢三兩

國許ニ而道中金受取

受取ノ

金三百三拾兩

三ノ三百八拾壹匁分三厘

金銀拂渡口

九月九日

一 百三拾四文

壹

丸屋甚左エ門殿へ

十月七日此銀貳匁分去年分乘下掛物

一 金五拾兩

山口甚右エ門殿為替金竹内へ

渡シ

(追筆)

右大坂袴屋仁右エ門殿渡し、依手形不参候

同十一日

一 金拾七兩

以音坊様為替金渡ス

一 金三拾兩

妙智院様同断

一 三匁

貳口ニ而切ちん

一 金四拾貳兩

十月十七日大黒屋飛脚ニ下金

一 六匁三分

右切實

一 拾三匁貳分三厘

同太實

九月分

一 銀三貫三百拾四匁

ひのや治郎八殿へ借用之内へ

三分九厘

渡

一 金三拾兩

愛知川ヤ長右エ門殿へ返済

一 金壹兩貳分

同人五月と九月迄利足

一 貳拾四匁四分

川口弥藏殿紅花八駄掛り別紙

仕切有

一 金四兩

竹内四郎兵衛殿木綿代内渡

拾貳匁六分三厘

一 壹匁壹分

伊原弥右エ門殿紅花掛り物渡

一 五分

磯野源兵衛殿へ嶋布入掛り物

一 三匁五分

久・紅印壹駄油壹斗入たちん

手板不足同人渡

一 壹匁五分五厘

山口為替金五拾兩大坂へ下ス

たちん

一 七匁

金五拾兩切ちん

拂ノ金貳百七拾兩

春中分

三ノ四百拾九匁五分四厘

一 貳匁

木津屋与左衛門拂

一 金四拾七兩三分 内上

一 拾匁七分四厘

去秋乘下紅花貳丸江戸も運ち

惣ノ金三百拾七兩三分

ん掛り物

三ノ四百十九匁五分四厘

一 金五拾兩

いせや利右衛門殿返済

引残而金拾壹兩壹分

一 金貳兩貳歩 七匁六分

右利足

廿三匁

一 金六兩 拾匁七分

買物書上 別紙ノ高

此内貳兩

弥印下り遣

ノ金貳百三拾三兩

上下小遣詣入用

銀三ノ四百拾九匁五分四厘

利兵衛

未十二月九日

一 金貳兩

倉屋松右衛門船難船歩一割九

引当、愛知長へ渡置く

右内上金四十七貳分之内

十一月廿四日

竹内四郎兵衛殿太物代内渡

拂方控

極月十八日内方へ渡

十二月六日

着や清七殿紅花代残り渡ス

一 金貳拾兩

安藤伊平太様御拂米代上納

十二月七日

栗原伊兵衛殿押切米代渡ス

極月廿一日

竹内四郎兵衛殿渡ス

十二月七日

同廿二日

同廿二日

一 金拾兩

一 金壹両壹分 見せへ渡ス花町米代不足ニ成ル

同廿二日夕

一 金五両 京ノ弥兵衛殿御登り渡ス

ノ四拾七両二分

濟

六貳三三

但受取書不取 先達而之六貫匁之手形返り濟

此所拾五步廻りニ而濟ス

申七月
ならひのや差引控

一 三メ百四拾八匁 未九月仕切之節差引残りかり

五分四厘

又

百八拾八匁九分 九十一正二迄
ノ六ヶ月利足

ノ三メ三百 各七匁四分四リ

内 各 沢 飛青芋五駄渡ス

代銀正味貳貫八百五拾貳匁七分九厘

差引残り而四百八拾四匁六分五厘 かり

六貳三三

此金七両三分壹匁六分

申七月廿六日
内金四両

手代庄兵衛殿へ京都ニ而渡ス

市村弥兵衛殿へ為替金渡ス

一 金三拾兩

六月廿日 夫清治郎

右出所金廿五兩

太平衛殿

又金貳兩

内方

又金壹兩貳分

掛屋

又金壹兩貳分

見せ

一 金七拾兩

同廿三日渡 夫利兵衛

右金所六拾兩

内 受取

又金拾兩

へ大 かり

ノ合百兩為替渡ス 濟

為替金證文之事

一 金百兩者

但文字尅步判也

六月廿三日相渡又

右之金子者京都池田屋五兵衛殿と羽州米沢萩村川合忠兵衛殿へ御下金為替ニ取組、於京都隨ニ受取申所実正明白也、此代金於山形手形着次第二、市村清工門殿取次ニ而、右川合忠兵衛殿御受取可被成候条、無相違急度御渡し可被成候、若本人及遲滞候ハハ、加判之者弁急度相渡可申候、為後日為替證文仍而如件

受取主 佐藤利兵衛

宝曆十三年末五月九日

加判

西川源助

佐藤長工門殿

(後筆) 右手形返り

為替置證文之事

一 金百兩者

但格上小判也

手形返り

右之金子者貴殿と羽州米沢萩村川合忠兵衛殿へ御下金

為替ニ取組、於此元隨ニ受申所実正明白也、此代金於羽州山形市村清右工門殿取次ニ而、右川合忠兵衛殿へ佐藤長工門方と相渡候旨、本紙證文尅通相渡候得共、万一道中ニ而手形紛失致候欵、又者金子相渡り不申候ハハ、以此手形於此元ニ急度返済可致候、若本人及遲滞候ハハ、加判之者弁急度返済逐可仕候、為後日為替置證文仍而如件

佐藤長工門代

為替受取主
羽州山形

利兵衛

加判 西川源介

宝曆十三年

未五月九日

池田屋五兵衛殿

十一月二日 手形返り

大阪蠟仲真差引書控

一 金六拾兩 長州^{ツキ}印廿九 正味貳百六拾壹メ

五百六拾匁

但口錢掛り物^メ高

此売立金六拾三兩

此利三兩也

① 因^メ久・三ツ割にして金壹兩ツツ也

右出金四拾壹兩 ①^メ出ス 但因分共ニ

又錢貳兩 貳印利分

メ金四十三兩 ①^メへ渡ス分

此内四十兩 大坂ニテイセ七殿へ渡

残而金三兩 五月四日カキギへ渡ス

残而貳拾兩^メ久・へ受取

此内^メ久・元金拾九兩遣ス

依金壹兩利分也

此掛り物

一 六百廿文 因^メ久・^メ出ス

一 四百文 登舟ちん

壹メ廿文

三ツ割三百四拾文ツツ

内三百貳文 因出シ

又百五十九文 五月四日渡ス

メ四百六十壹文

各 出シ三百十八文

又百七十四文 五月四日入

五月四日西川かき立会濟

近善書出表さし引

一 六十八匁六分 三月前^メ高

内四匁三分 カキ様^メ渡ス

残而六十四匁三分

正ミ五十七匁八分七厘

一 三十三匁九分 五月前^メ高 世話西源

大井沢貳人分共ニ

正月分

一 四十七匁八分 いせ七殿分

同日

一 貳十貳匁八分 船橋屋儀兵衛分

〆百四十四匁五分

正ミ百三拾匁

貳口〆八拾七匁八分七厘

内金壹両 三月五治郎殿も渡ス

六三五

又金貳両 五月三日渡ス

残而貳匁六分三厘かし

内正ミ拾八匁四分五厘 紙市殿分いせ七殿も取

高廿匁五分也

残而拾五匁八分貳厘

此金壹五月十七日直ニ渡ス

八匁六分 同日かり

かきやへ渡済

十月廿一日

一 八匁六分 寄

一 六匁六分 入用花割

同四日

一 四匁三分 瀧

一 拾貳匁九分 甲

同

一 三匁 入用

〆

内金貳分 十一月五日相渡ス

同六日

一 八匁六分 豊ノ

一 三匁 入用

一 四匁五分 らうそく代

一 拾八匁六分五厘 三井平兵衛様分

〆六拾六匁壹分

正ミ九拾九匁四分九厘

内三拾壹匁五分 内渡貳分引

残而廿七匁九分九厘

此金壹分 十貳匁四分四厘

五月十六日出シニ

内金壹分 三井も渡ル、かきやへ頼

壹匁三分

大坂行仲間買物掛り

引残テ銀十匁貳分壹厘

正月廿一日

一 三百拾八文

へ久・出ス 京も舟ちん小遣

此せに七百文 十一月九日義兵衛殿へ頼置く

此外百廿四文

因出し 銀三而

外二酢湯

竹内彦市殿

一 金拾五兩也

四月廿日下ス、六黒屋飛脚

一 百七十四文

因出し 大坂ニ而拂フ

四月廿六日相届由申来候

二月廿五日

一 金拾九兩

谷出し

内金拾九兩壹分

仕切表ノ高

同日

一 金四拾壹兩

①も出し

七匁五分八厘

残而金四兩壹分 五月十六日大黒屋飛脚二下ス

七匁五分八厘

買仕切

五月十三日出書状、去春残金七兩三分七匁三分七厘御

一 貳百八拾七メ七百匁 ワキ長州⑤廿丸

座候様申參候、返書ニ存不申由申遣候、去夏中松本長

内拾八メ七百六拾匁 風袋引

治郎殿へ不残相渡候間、長治郎殿へ御尋可被下候与申

又五メ三百八拾匁 入用

遣候

残テ正味貳百六拾三メ五百六拾匁

正月廿二日かい

代銀三メ六百六拾匁五分五厘

但三メ六百匁かへ

右利分へ久へ預り置

右差引配分六丁目前二印置ス

卅日切

一 七拾三匁貳分壹厘 右貳部口せん

一 三匁 右掛ケ入レちん

一 三メ七百卅六匁七分六厘 かけ

右売付三メ三百五拾匁

二月廿六日うり付

三十日限御売分仕切

三月廿六日 受取付

一 三貫九百卅三匁七分三厘 ①長州蠟廿丸、正味貳百

六拾三メ五百六羽

残而百九拾六匁九分七厘 利分

右三人二割

六拾五匁六分五厘 ツ、

右金四拾匁 ②へ渡ル

残而金貳拾三匁 へ久へ入ル、イセ七渡ル

伊勢屋七郎右エ門殿買物代之内金子渡口

一 金四兩 正月七日渡、返信代内

一 金拾兩 三月三日渡ス

一 貳拾三兩 同廿六日らう売代之内入渡し

一 金拾兩 四月朔日愛長と下ル

一 金三拾兩 五月二日同断

一 金九拾五兩 同日ひのや治郎八殿より渡し

五月七日 一 七百十六匁九分四厘細屋喜七郎殿

一 金六拾五兩 五月十日持参渡

一 金貳百三拾七兩

六二六 七百十六匁九分四厘

此金拾壹兩壹分

十式匁六分九厘

合金貳百四十八兩壹分

拾貳匁六分九厘

内受取口

一 金貳百九兩 大坂仕切表ノ高

貳匁壹分

四月十二日 一 銀七百四十九匁九分 八尾壹匁代

六三毫

此金拾壹兩三分、八匁四分八厘

五月七日

一 壹メ七百六拾七匁貳分 なら屋権兵衛殿木綿貳匁代

六二七貳

此金貳拾八兩、十毫匁四厘

三口ノ金貳百四拾八兩三分

廿毫匁六分四厘

差別残而金貳分ト八匁九分三厘不足

五月十五日下午ス 不残無出入

当秋註文覚

六毫七かえ

一 金壹兩 十月廿八日渡

十月廿七日

内毫匁四分 はしかんな台共二毫丁

十貳匁 柳合利貳ツ

七匁 杭十五

壹匁五分 道乱毫ツ

三匁八厘 上り舟ちん

四匁四分 篩かな毫ツ

貳匁三分 同七寸毫ツ

壹匁貳分 同六寸五分毫ツ

四分 きそひ丸道乱上たちん

五拾毫匁三分 きそひ丸百廿包

廿五匁六分五厘 春分同六十包

ノ百拾匁三分

残而四拾八匁三分三厘かり

此金三分貳匁

外

五分

正榮方京行たちん

壹匁

油紙包江戸登り、京へ為登たちん

申七月四日拂

百廿四匁九分三厘

内貳貫百文

二月六日御店へ渡置

此他三十匁五分

金三分

佐兵衛殿かし引

拾五匁

武兵衛殿かし引

拾五匁五分

平野や弥兵衛殿却反代

伊せ七殿家差引渡口

金三分 六十貳匁

五月十五日渡ス

残而金三分

一 七拾貳匁五分八厘

六十貳匁九分三厘

茶印差引残りかり

高七十八匁貳分五厘

此金壹兩三分也

一 金壹兩卜

小買帳ノ高

一 金貳兩壹分

御礼之祝儀

十五匁貳分五厘

ノ

五月十一日改

金差引引残りかり

一 金三兩

持³⁾州行

八匁九分三厘

但麻谷茶代也

高三十匁三分也

惣ノ金七兩

五月十五日下ス

一 廿八匁七分七厘

長作拂かり

五月十五日明石や飛脚下ス

ノ金壹兩貳分

佐藤伝左衛門様

四十六匁かへ

一 金七両ト四分 粉花九メ三百四拾目

廿五匁かへ

一 金拾両ト五匁七分 カケ取合 五拾袋

一 壹匁貳分 手板過上預り

ノ金拾七両ト七匁三分

内拂

正月十一日

金拾五両 松本長次郎殿へ為替金渡ス

残而金貳両ト七匁三分

過上預り

六月八日相渡済

十月十三日

松徳

一 金拾両 紅留 貳丸

近九

一 金五両三步 同紅留 壹丸

松徳

一 金三兩壹分 同千 壹丸

七匁五分四厘

ノ金拾九兩

七匁五分四厘

内金拾八兩 十月十七日下ス

貳匁七分 右切實たちん

川口

七匁貳分 大津ち上りたちん

三匁五分六厘 山中伊原弥右工門掛り物渡ス

三匁貳分 海津磯野源へ舟ちん

ノ金拾八兩

十六匁六分六厘

残而金三分 六匁貳分八厘

内五匁七分 下シ金たちん割

引残テ金三分 五分八厘

極月六日渡ス

へ久・紅芋耆附扣

愛知長

へ久・上青芋

耆駄片馬

但五百六拾匁かへ

三月節句限り

細喜

同正白 同

耆駄

但六百六拾匁かへ

同人

同天日 同

耆駄

但七百廿匁かへ

イリ

同紅上 乗下紅花

貳丸

十二月廿日迄

現金但三拾耆兩かへ

松徳

同紅丸 同

耆丸

現金但金貳拾四兩かへ

山八

同紅清 同

耆駄

現金

代金三拾兩かへ

極月廿三日

十二月廿三日

へ久・紅運

紅花

耆駄合

同紅稀 同

貳駄合

同飛紅金 同

耆駄合

同紅大 同

耆駄合

同紅留 同

耆駄合

同紅多 同

耆駄合

へ七駄 若喜殿ニ而ならし金廿九兩かへ

代金貳百三兩

内 百兩 十二月朔日取
同 廿八日受取

残而金百兩 二月晦日延

二月八日受取済

天

各 善 紅花 老駄

同 紅光 同 老駄

ノ 貳駄 伊勢源殿ニ而

現金

代金七拾三兩也

極月廿六日売付

愛知長

久・天 青苧 片馬

六百匁かへ

三月晦日廻り、正月八日売付

同人

同 白沢 老駄

六百匁かへ

同日廻り、正月十八日うり

二月廿八日 細喜

同 本白 三駄

三月節句限

四月六日 細喜

同 飛 青苧 七駄片馬

七百匁かへ

五月節句廻り

四月朔日 近善

同 飛 青苧 老駄

七百三拾匁かへ

同人

同 神天 老駄

八百目かへ

同人

同同 貳駄

七百八拾匁かへ

近善

へ久・沢 飛 片馬

三百四十貳匁五分

四駄片馬五月節句廻り

二月十六日 ひのや

谷天 三駄

代八百三拾匁かへ

同日 同人

同飛 貳駄片馬

七百八拾匁かへ

三月節句廻り

四月六日 同人

同本 四駄片馬

六百七拾匁かへ

四月五日 松徳

へ久・皆 紅花 三丸

但貳拾五兩かへ

四月廿一日 イリ

同善 老駄

但金三拾五兩貳分かへ

申ノ年

愛知川屋長衛門取替

一金老兩三分 六月廿七日仕切過上かし

拾老匁貳分七厘

一金老兩 七月九日大坂いせ屋へ取かへか

し

七匁

六月二日分

一 貳匁五分 着代二重にてかし

さし引済

書付取置候

申八月

明和貳酉九月書狀差引書控

愛知川屋長工門殿

③久印様御頼七月十八日為登候

一 壹メ四百文 鳴布貳反

一 代去秋中彦エ門様より受取済 白才丈布一反

一 百八十文 古はんかひ壹ツ

但升利殿へ春中御拂分かし市兵衛様申参候、差引ニ落如此申上候

ノ 壹メ五百八十文

此金壹分 六百五十文

内金壹分 紺差不る敷返り壹枚受取

又八分五厘 着替掛り物かんなへ不足

残而六百文 かし、日新帳付

右之通御座候、尤嶋布も下直ニ成物故調遣し候、御

買分ニ被成、此所差引御済可被下候、残り銭之儀ハ

親方へ布代ト被成、差引追而御加へ可被下様奉願上

候

九月十日認 カキヤ頼置

外ニ

八分五厘 愛長殿ニかし

右着替かんなへさし引、鍵義殿留主中ニ見せし拂二重

ニ而かし

未十二月廿五日分 カキヤ義殿ニ

一 九百四十文 芝居割かし

右拾五匁壹分四厘

申六月廿七日

愛長殿へ相渡候所酉八月五日カキヤへ又々相拂、二重

ニ相成候而かし

明和三戌五月九日

二口ノ 壹メ四百七十五文、且那下リニ相届

此金直し

金壹分

四百三十文 差引書参候

鎰屋儀兵衛殿

十月廿八日

一 拾匁七分

万忠割かし

一 貳匁四分

庄右エ門様悔ミ割合

此錢百五十三文十月廿九日取

去年分

一 金壹兩

へ〇手板掛り

五百四十九文

極月

一 百七十四文

なら行かし

同廿八日

一 金壹分

愛知川や祝儀

ノ金壹兩

拾匁七分

七百廿七文

内金壹兩

極月廿七日取

残而拾匁七分

七百廿七文

九月十九日分
一 拾三匁

富田や拂

一 壹匁九分五厘

半切百 半紙百

ノ貳拾五匁六分五厘

七百廿七文

内金壹分

講ノ節受取

又五十文

状ちん取

残而拾匁壹分五厘

六百七十七文

此せに壹メ三百十四文 極廿九日受取

外ニ貳百五十文 講ノ割取

二月八日

帶束

一 壹匁九分

珠数袋壹ツ

二月十七日なら

一 拾三匁三分

俵屋入用取かへ

九月十九日分

一 五匁三分五厘

生ず割、愛長へ取かへ

一 金壹分

金かし

ノ金壹分

廿匁貳分八厘

六貳八

此金貳分 四匁五分八厘

五月四日受取済

一 金貳分

古单物壹枚代

内八匁

琉球屋乗下

壹匁九分

江戸と運ちん右伏見と上りたちん

八分四厘

濱出し

七匁七分四厘

近伊拂

残而十貳匁壹分貳厘

内金壹分 取十一月九日

残而貳百十四文 返ス

十一月九日下り頼置控

一 金壹分

近伊拂

十貳匁貳分四厘

内金壹分

三井平兵衛殿と渡ル

壹匁三分

残而十壹匁貳分壹厘

此せに七百文

一 四十四匁三分

米や

一 三匁七分五厘

同人荏子割

一 壹匁五分

長衛門様入用割

四十九匁五分五厘

正ミ四十四匁五分九厘五

此金貳分

十貳匁五分九厘五毛

此せに七百八十文

一 八匁

納六匁

此せに五百文

西川兩人割

金貳分

壹メ九百八十文

此金三分

九百八十文

十一月九日義兵衛様頼置相渡申候

松本長治郎殿

一 金壹分 金子ニ而取かへ

但参宮衆取かへ之節

一 貳匁四分 彦右工門殿悔割

一 金貳分 目録表残りかし

極月廿九日 一 四百文 当座かし

銀百七拾四匁貳分壹厘

六貳六

同日 一 壹メ文 同断

此金貳兩三分 貳匁六厘

同日 一 貳百五十文 講割合かし

内金壹兩 三月二日近源拂受取

同日 一 金壹兩貳分 川口拂かし

午冬分 一 金壹分 目録表壳代、金ノ違かし

十四匁七分

三十貳匁四分六厘

大晦日 一 金貳兩 鈴木十兵衛殿へ取替かし

四百五十文

同日 一 金貳兩 佐藤与四郎殿渡シかし

内金貳兩 兩度受取有

大晦日 一 拾三匁三分 仲間入用割取かへかし

貳百文 大坂ニ而受取

去冬分 一 貳百文 札代かし

金壹兩壹分 刀拵代

内金壹兩 正月十一日取

残而金六兩卜

三拾壹匁三分六厘

二月廿一日 但小林も受取

貳百五十文

又金拾四兩貳分同廿九日渡ス

五月十七日

一 金三兩

丸屋久兵衛殿渡之節取かへ

十一月朔日

一 銀參貫匁

近江屋善右工門殿を預り

〆貳口見せ掛帳へ写

此利百八拾匁十一月も四月迄六カ月利足

手形なし、認候得共遣不申

五月六日済

金銀預り覚

同日

一 銀六貫匁

細屋喜七郎殿を加里

十月七日

一 金百兩也

日野屋治郎八殿を加里

但六十老匁貳分かへ

同断

此利貳百九十五匁五分六厘

手形遣ス 五月三日返リ

五月六日差引書参済

同十七日

一 五拾兩也

近江屋九郎兵衛殿同断

十一月十七日

一 金貳拾兩

近九殿を当座かり

十一月三日返ス手形遣ス

内十三兩廿九日

同廿五日

一 金百兩也

いせ屋利右工門殿同断

七兩十二月七日返ス

五月十二日

此り三兩貳分十老匁三分

同晦日

一 金百兩 済

若山屋喜右工門殿を

手形なし、帳面ニ印形致候

内金三拾兩十二月廿三日返ス

手形遣ス

二月八日手形返リ

十二月七日
一 金五兩 濟 小林惣左エ門殿の借用

内金貳分 錢貳メ文

又四兩正月十一日返ス

又金貳分極廿九日渡ス

又金貳分正月十二日渡ス

正月四日
一 金五兩 濟 愛知長殿の加リ

正月十一日返濟

同十二日
一 金拾三兩 濟 同人預ケ置候

内金貳兩 同日小粒取

又金十壹兩二月八日入

大晦日
一 貳貫文 同人

同日
一 壹メ文 同人かし

メ三メ文 書出表ニ渡ニ成ル、二月九日差引

濟

未五月二日
一 金三拾兩也 愛知川ヤ長右エ門殿の

手形遣ス

此利壹兩貳分九月晦日迄

十一月六日濟

五月二日
一 金九拾五兩也 日野屋治郎八殿の預リ

但大坂いせ屋七郎右エ門殿へ渡ル

金六拾三匁壹分六厘

代銀六貫目 手形認遣ス

此利貳百四拾匁 五六七八メ四カ月利足

又貳匁八分五厘 右大坂へたちん

五月朔日
一 貳百貳拾目 同人の

八リン

金差引書表不足預リ

メ六貫四百六十貳匁九分三厘

内三貫三百十四匁三分九厘

申七月差引濟 九月廻リ渡ス

同十八日
一 金五拾兩 イセヤ利右エ門殿の預

内金貳拾兩早速受取

又金三拾兩五月晦日大坂袴仁殿へ渡ル筈

此利貳兩貳分

又壹匁五分 大坂下したちん

〆五拾貳兩貳分

七匁六分

十一月十一日返済

手形返り

十一月八日
一金五拾兩

愛知川ヤ長右工門殿と

手形遣ス 申六月廿七返り

此利金三兩十一十二正二三四〆六カ月

〆五拾三兩 申六月廿七日返済

利印覚

未春

一 銀△又

ならや権兵衛殿為覚付置

午五月

一 銀△

ひのや治郎八殿

一 金大

近江や九郎兵衛殿

一 金又

いせや利右工門殿

一 金入

法林寺様

一 金△

松や傳十郎殿

五十嵐庄兵衛殿紅花覚

一 金七兩貳分

去年分片馬代

十一月十一日二大津と申来候、此支配受取

一 金壹兩ト

右手板添金過上カキヤへ入ル

五百四拾九文

一 金拾兩ト

へ〇紅花 貳丸四袋

七匁七分四厘

〆金拾八兩貳分

七匁七分四厘

五百四十九文此銀八匁四分

貳口合金拾八兩貳分

十六匁壹分四厘

一 五匁八分

細壹反相飛紋片はみ付

一 壹匁 右登り江戸と飛脚たちん

五百六十文

一 三匁七分 へ〇紅花貳箇大津とたちん

残而金三兩貳分

一 三匁 剃刀壹挺

九匁六分四厘

ノ十三匁五分

此錢六百六十五文

差引残而金拾八兩貳分

右見せかしニ而渡し

貳匁六分四厘

八月廿五日差引済

右之内

金七兩貳分 為替ニ而国許ニ而旦那渡ル筈

紅花青字元直附

惣引残テ金拾壹兩

天

貳匁六分四厘

谷印 紅花 老駄 近九

渡不足預リ

元金四拾壹兩貳分

内

天 飛 同 老駄

金三兩 六月十二日渡ス 使源六

金四拾貳兩三分 イ源

金三兩貳分 同十三日直ニ渡ス

仙 善 同 老駄

金貳分 平治頼母子寄合渡ス

金三拾八兩三分 イリ

老メ六百五文

清 紅 同 老駄 山八

ノ金七兩 老メ六百五文

金三拾四兩

此金七兩老分

同 紅留 同 壹駄

金三拾六兩三分

同 紅里 同 壹駄

金貳拾六兩三分

飛 同 壹駄

久・金 紅花 壹駄

元金三拾八兩

同 紅皆 同 三箇

金拾八兩貳分

左

同 紅丸 同 壹箇

金六兩壹分

百八拾壹文

同 紅大 同 壹駄

金貳拾八兩壹分

同 紅稀 同 貳駄

金五拾九兩貳分

同 紅光 同 壹駄

金三拾壹兩貳分

久・兩 紅花 壹駄

金貳拾七兩貳分

同 乘下 十六入 貳個

同 金拾三兩壹分

貳百五十文

紅芋壳立

金銀請取覚

道中金

一 金三兩貳分 国許ニ而受取

十二月六日

一 金壹分

本飛 天竜 父ノ三箇濱弁ツルカも受取

六匁五分

同日

一 五匁八分

下シ手板 残銭入ル同人と

極月廿三日
一金三拾兩

山八

久。清紅花老駄

同廿九日
一 四匁

去己極月川口掛物書出違受取

イ源

久。光紅同善紅印受取、貳駄

同日
一金七拾三兩

若喜

十一月晦日入

久。金紅紅花一駄

二月八日入
一金貳百三兩

同 稀紅 貳駄

同 紅兩 老駄

同 紅苗 老駄

同 紅大 老駄

久。七駄代 同 紅里 老駄

五月四日

一 金三拾四兩 若喜 久。天飛紅花老駄代

同日

一 銀六メ貳百五拾六匁九分厘 日野屋仕切表

久。天飛印 貳駄片馬

同 天神 三駄

同 本極 四駄片馬

久。拾駄

同日
一 銀貳貫九百 近善殿仕切表

貳匁壹分三厘

久。沢飛青苧 老駄片馬

同 天神 三駄

久。四駄片馬

同日
一 銀七貫百九拾 細屋仕切表

五匁四分七厘

久。蛸正白 老駄 久。沢飛七駄片馬

同 同天白 老駄

同 同本白 三駄 久。十貳駄片馬

一 金貳拾四兩三分 松徳久。丸紅 皆紅取合老駄代

一 金五拾壹兩 イリ
へ久・乗下片馬

同仙善紅花壹駄

一 金貳拾三兩三步 愛知川屋仕切

拾四匁壹分貳厘

父本白壹駄片馬

同 天吉 片馬

同 沢白 壹駄

父三駄代也

一 貳百四拾匁五分七厘 嶋布取合廿反代

五月二日

一 金三拾兩

愛知川屋借用長工門殿も

同日

一 銀六メ匁

日野屋治郎八殿同断

五月朔日

一 貳百貳拾匁八厘

ひのや治郎八殿差引不足預り

一 金七兩貳分

いがらし庄兵衛殿為替金受取

受取ニ不及

一 金三兩貳分

同人分預り

五月九日・十五日兩度ニ

一 金百兩

市村弥兵衛殿も為替金受取

五月十八日

一 金五拾兩

伊勢屋利右工門殿も預り

惣も金六百貳拾六兩三分

六貳五

銀貳拾貳メ九百四拾五匁五分五厘

此金三百六拾七兩

八匁九厘

貳口合金九百九拾三兩三步

八匁九厘

金銀拂渡覚

九月十五日

一 金壹兩三分

福嶋迄江戸木綿貳駄たちん金

同日

一 金壹分

乗下紅花貳丸たちん掛江戸迄

拾六匁五分

一 七匁

地黄丸百目

十月十八日

一 金三拾兩

大日寺様為替渡ス

同日
一 金拾貳兩

蓮花院様同断

同廿八日
一 三匁貳分

右四捨兩切ちん

同廿五日
十一月二日

一 金貳百兩

西谷善九郎殿為替日野五殿へ渡ス

同十八日

一 金貳拾五兩

愛染院様為替渡ス

一 銀八分

右切ちん

十一月晦日

一 金百兩

西谷善九郎殿為替金渡ス

十一月六日

一 壹匁四分六厘

嶋布入壹緋ツルカ掛渡

同日

一 貳拾六匁八分六厘

青芋八駄、片馬濱割合

壹駄三匁壹分六厘

田保殿へ渡ス

極月廿九日

一 金壹兩三分

川口弥藏殿紅芋掛リ

六匁四分壹厘五毛

同日

一 金壹兩三分

三匁四分ツツ

木津屋青芋三十三大掛リ

三匁七分

同日
一 貳匁

乗下紅花貳丸伏見登リ

一 金三分

白銀や青芋廿壹駄片馬掛

九分

同廿九日

一 金五拾兩

竹内四郎兵衛殿へ太物代金之内へ

一 壹匁五分五厘

渡、但大坂袴屋仁右エ門殿へ下ス

一 五分三厘

右下シたちん

一 金壹分

布入小荷掛リ林忠左エ門殿

正月十六日

一 金壹分

伊勢御初尾

同日

一 金壹分

白子観音様御初尾

二月八日

一 金八拾兩

近江屋九郎兵衛殿へ返濟

拾三匁貳分壹厘

同日

一 金五兩貳分

右六七八九十十一十二メ七カ月利

六匁貳分

足渡

一 九匁貳分

子共上下地晒壹反

一 三匁三分 右小紋染ちん

一 九匁 刀柄糸巻筋

豊二遣候

二月十日

一 金壹両壹分 右刀拵代別紙書付有

拾壹匁九分

午十月七日分

一 金八拾壹兩貳分 松本長治郎殿買物代不足渡ス

拾三匁五分九厘

右者日野屋治郎八殿も百兩預りいせ屋殿へ渡し、此目

録二入ル、仍而渡し付出し

一 貳匁五分 剃刀巻挺

五月四日

一 三百五拾七匁 日野屋治郎八殿

銀たちん共二 六メ百廿匁十月と四月迄利息拂

右者十月中借用仕大坂イセ七殿へ渡し

一 銀百八拾目 近江屋善右エ門殿銀三メ匁利足

右者十一月借用仕へ大為替之内へ渡し

一 銀貳匁四分 右銀三メ匁・京へたちん

一 銀三百目三分六厘 細屋喜士郎殿へ六メ匁利足

右者十一月借用六貫匁仕候而為替之方へ渡候利足

如此。

一 金三兩貳分 伊勢屋利右エ門殿

拾壹匁三分

右者十一月中百兩借用へ大為替渡し利足如此

一 五匁五分 大小引はた巻組

一 六匁四分 朱軸筆十対

当春下ス脇差之節

一 金貳百九兩ト 大坂仕切表メ高

貳匁壹分

六三巻

高七百四十九匁九分

一 金拾壹兩三分 八尾巻筒代

八匁四分八厘

高壹メ七百六十七匁貳分

一 金貳拾八兩 ならや木綿貳筒代

拾壹匁四分

拾壹匁四分

一 金三兩

麻谷茶壺筒代

一 金三兩

手板金

一 金拾九兩壹分

竹内彦市殿壺筒仕切表

久△区大

七匁五分八厘

銀大○久へ大メ又

一 四匁五分

右金下スたちん

一 金九兩貳分

松本長治郎殿へ取替かし差引残り

一 金三拾六兩壹分

京仕切ノ高

一 金三兩三分

諸方小取替書上

七匁

四匁八分

一 金壺兩壹分

脇差拵代・此へ渡ス

ノ金九百五拾壺兩貳分

壺匁壹分

銀壺メ九拾六匁九分四厘五毛

一 壹匁九分

右箱代

六貳五

一 三匁五厘

金六拾兩大坂下シたちん

此金十七兩貳分

ノ二入

三匁壹分九厘五毛

一 四拾貳匁七分五厘

伏見木津屋木綿十五箇たちん

二口合金九百六拾九兩ト

五月晦日

袴屋仁右エ門殿へ渡ス

三匁壹分九厘五毛

但江戸竹内へ濟金也

惣引残りテ金貳拾四兩三步

四匁八分九厘五毛

五月十八日

一 金壺兩壹分

帶屋四郎右エ門帶三筋代

右者上方逗留中道中上下諸入用遺金也

九匁三分七厘

利兵衛

同日

未六月九日

残青芋覚

五月十一日

父 本白

五百四拾目かへ

七月廻り

愛知川屋

壹駄

同人蔵入

壹駄片馬

同天飛

売付さし引

秋濟

ひのや蔵入

六駄

父 本飛

父 八駄片馬

同断

難船積合覚

父 沢飛 青芋

拾六箇

同 沢白 同

四箇

内 沢飛壹丸

ぬれ荷

一 沢飛六箇

小口一丁立改作り

越前敦賀壹屋太兵衛殿船

父 兩紅印 紅花

壹駄

能州福浦倉屋松右エ門船

上乘星野嘉兵衛殿

九月三日荒二福浦へ濱へ乗上ケ廿分一願

右分算割廿分一紅花壹駄三拾五兩元金之割也

一 百九匁六分七厘 歩一当り銀

一 拾貳匁八厘 掛物濡捨り銀当り

メ百廿壹匁七分五厘 出之銀

一 拾六匁四分 来春能州_ろツルカ迄運ちん並能

州 蔵敷入用

父

一 七拾三匁六分 父 青芋拾駄当り

内六拾六匁五分 沢飛壹箇濡弁銀割引

残而七匁壹分 出銀

諸方小取替覚

九月中

一 貳拾貳匁分 北条 長左衛門殿

右書物代辻村五兵衛殿へ取かへ渡ス

一 壹匁口へ入 五十嵐 庄兵衛殿

細巻反登たちん

九月廿七日

一 い 返り 越前屋 甚兵衛殿

二月十九日

いノ四最上晒巻反 大△△

同

一 い 返り 同人

二十四

十月廿八日 同巻反 大△△

竹内四郎兵衛殿差引覚

未十月廿二日出申来候

午ノ年末春分

一 金三拾五匁分 太物代

十貳匁九分貳厘

内金四兩卜 真綿巻メ六百目

十貳匁六分三厘

残而金三拾壹匁分 貳分九厘

内金拾兩 十一月廿四日渡ス

差引

残金貳拾壹匁分卜

貳分九厘

右之通慥請取不残相济候以上

藪屋四郎兵衛

代 伝兵衛◎

未ノ

十二月廿一日

一 貳匁四分

小林
惣左衛門殿

十月廿九日取

彦右エ門殿悔割

同廿九日

入一匁六分

佐治

金右エ門殿

象牙くし直しちん

十一月朔日
一 貳匁老分

近江屋

善右エ門殿

五月十六日取

銀三メ匁欠かし

十一月朔日
一 四匁

細谷

喜七郎殿

銀六メ匁欠かし

極月廿九日

一 三匁七分口へ入ル

五十嵐

庄兵衛殿

へ。紅花貳丸登白銀やへたちん

大晦日
一 三百文

西川源助殿かし

五月朔日取

仲間入用市兵衛殿へ礼遣ス

正月十九日
一 四百五十文

山口利八殿

いせ屋かし

午十月六日改

入一四拾七匁六分

佐竹

長十郎殿

右青亭十四駄自伏見木津迄運ちん取かへ

右内方之金也

二月八日

入一四拾貳匁

佐治

金右エ門殿

栖糸取合七筋

入一六拾八匁五分

同人

縮羽折地老反

四月十五日

一 拾五匁五分

大阪平野屋

弥兵衛殿

イセ七殿へ差引二入遣ス、晒壹反五月十五日

五月三日

堤

入一 拾八匁 勘太郎殿

亀甲かうかひ巻本

同日 入一 拾匁 同人

同巻本

入一 三拾六匁 同人

鎮中佛具巻組イセ屋

入一 七匁五分 同人

玉子盃貳組巻箱

同日 入一 拾八匁 同人

羅沙三徳巻ツ

鈴木

五月四日 入一 三匁貳分 甚蔵殿

皮籠巻ツ

蒔田

入一 巻匁三分三厘 儀右工門殿

絵筆貳対

入一 貳匁 同人

はり貳本

入一 三匁三分 梅本坊様

期升代

入一 七匁六分

調子箱貳ツ

鈴木 甚蔵殿

ノ貳百四拾巻匁分三厘

六三 此金三両三分

四匁八分八厘 書上

右不殘見せへ渡ス、院内へ上ケニ成ル、見せニ而取集候

六月七日 一 巻匁六分八厘 小右衛門殿

染物入紙包たちん

同日 一 巻匁七分六厘 小林 五兵衛殿

碩石巻包たちん

一 金三分 貳百文 若山や 孫兵衛殿

種油壱年代

七匁八分八厘

愛知川へ取かへかし

十月二日受取

十月十二日 一 貳百文 かきや 義兵衛殿

せにかし

逗留中諸入用覚

同日 一 貳百文 取 へ才

午八月

一 金貳兩壱分 登り道中遣

十一月四日 一 見せへ付かへ 片倉 作市兵衛殿

三百三十文

一 金貳分 郡内壱反

一 金三分 青梅一反

一 貳百六十四文 才絹一反

一 百六十文 足袋貳足

一 貳百文 たは粉入四ツ

一 百文 江戸旨之代

一 百文 黒善持参

同日 一 百文 京二而小遣

九月四日 一 金壱分 松本 四郎治様

申八月十四日 一 貳匁八分 写 印役村 伝八殿

玄冬分浅き縮緬細物代取かへかし、泉仁殿へ

八月三日 一 八匁 写 岩倉 太兵衛殿

小厚盃貳ツ組壱箱①三之助様へ下ス

申年上方取かへ

黒縹子帯壱筋

黒縹子帯壱筋

黒縹子帯壱筋

黒縹子帯壱筋

黒縹子帯壱筋

黒縹子帯壱筋

一 老笏九分五厘 半切百枚、半紙百

一 拾九匁五分 蛇かた老反

一 拾五匁 同郡内半反

一 貳匁七分 殊数袋、しゆす共二

十月廿九日 西川 白切八尺五寸代

九月十七日お十月晦日迄

一 三百六十文 小遣拂

十月廿九日 一 八百九十貳文 近伊拂

一 老笏貳分 はさみ一丁

一 貳匁九分 半切貳百枚

極月廿七日 一 金老両 近伊拂

同廿八日 一 金老分 内藤見利様薬札

極月廿八日 一 六匁文 治兵衛殿ニかみ拾遣ス

同日 一 百五十文 たう石代同人渡

同廿八日 一 金老分 宿へ歳暮之祝儀

同廿九日 一 百文 たは粉代

同日 一 貳百五十文 講ノ割合ニ

一 八百三十老文 仲間寄合入用割

一 三十文 白切老尺六寸

正月十二日 一 四十八文 手掛老筋

一 六十文 たは粉代

同月十六日 一 金貳分 藤五遣

五百五十文

同廿六日 一 六十文 ちり紙貳百枚

二月八日 一 七匁五分 皮足袋老足

一 拾老匁分 蛇形羽織仕立中わた

一 九匁五分 仕切判老ツ

一 廿六匁 せんたく仕立愛知長

五分五厘

一 八匁五分 諸方状ちん

一 拾貳匁五厘

江戸と帳合利たちん

一 三百四十二文

脇さしみときちん

一 拾七匁

生す遺物入用ノ高

一 貳十壹匁

なら晒壹反

又(ハ)

一 六匁八分

田倉や拂

ギン百卅五匁四分五厘、惣ノ金ニ直シ久大廿四五メハ

四月朔日と十四日迄

なら行大坂行遣

百三文

一 三百文

十月廿九日小遣付落

一 貳匁四分

愛知川屋彦右エ門殿悔ニ遣ス

一 貳百九文

大坂下小遣

冬分

三月二日

同日

一 金貳分

俵屋左七入用

一 百三十九文

近岩拂

十三匁三厘

同日

同日

二月十一日

なら行道中遣

五月四日

たは粉代いせ清拂

一 五匁五分九厘

一 二百文

同日

二月廿三日

黒谷年始、江戸と登遣ス

同日

同日

一 百文

一 貳百九文

納書拂

正月

状ちん

一 金壹歩

五月節句祝儀、愛長へ

一 七十五文

たは粉代

一 四十貳匁八分五厘

大坂状ちん舟ふん小遣入用イセ

一 金壹分

三月節句祝儀

五月十五日

拂

一 貳匁

高台寺座敷入用

一 金貳両壹分

いせ七殿へ礼

一 七匁貳分

三月二日と廿三日迄小遣

同日

ひのや治郎八殿礼遣

一 七匁貳分

同日

同日

四百八十一文

一 金貳分

同日

同日
一 百三十文

たばこ大坂三冊

一 四百文

消し返ス

同十八日
一 三百文

大坂上下舟ちん遣

一 金九兩

愛長殿へ遣ス

一 金壹兩

大坂入用

一 金壹分

紙市分近伊拂

一 九匁八分七厘

愛長へ
国元上下状ちん

一 金壹兩壹分

下道中遣

一 十八匁四分

子共帯地貳筋

未秋登入用覚

一 三十八匁

單羽織壹反

十月朔日京着
一 金壹兩三分

上り道中遣金

一 十三匁壹分五厘

京染ちん入用

五百四十文

一 六匁五分貳厘

京も大坂なら状ちん

一 三十貳文

筆壹対

金又△

百八十六匁七分貳厘

一 三十文

たうふ切

貳×四百九十三文

西川取次平折

一 百文

油代

五月十八日
一 六匁八分

大井沢見舞着代

一 八十九文

才布切代拂

同日
一 百三十文

西川源助殿へ状ちん割渡使吉兵衛様

十一月四日
一 百十四文

くし代

但貳匁壹分也

同四日
一 三百十貳文

ちり緬小切帯料拂

一 六百廿四文

小遣

申四月廿七日出立登り

一 金貳分

近伊

五月十三日着
一 金壹兩壹分

道中入用

七百文

米や品方

五百十三文

一 金貳分

納書拂

一 六匁五分

大坂
ねり薬代

七百八十文

一 五百文

柳合利壹ツ

一 一百十壹文

大坂
下り舟ちん

九日

一 百八十文

打かへ代

一 七十貳文

同所
たは粉代

一 貳百文

治兵衛遣ス

一 五百文

同所
ゆかた一反

一 百五十文

たは粉、かゝみ覆

一 一百十文

同所
きせる筆壹本

一 金貳兩貳分

愛長礼

一 廿五文

同所
半紙ちり紙

五百文

△形や

一 五十六文

同所
そは切 竹内

羽織地一反

きせる壹本

いせ店たは粉代

同所

一 七十七文

一 五十六文

同所

一 金貳分

きせる壹本

一 五十六文

同所

一 七十文

いせ店たは粉代

一 五十六文

同所

一 百廿文

いせ店たは粉代

一 五十六文

同所

ノ

- 一 四文 天満宮参詣
- 七月十日 上り
- 一 十九文 舟中小遣
- 一 十貳文 ひやうたん貳
- 一 三匁三分 小ひん巻ツ
- 大坂
- 一 八拾五文 かみ結ちん
- 同所
- 一 六十文 浴衣仕立ちん
- 一 貳百六文 上り舟ちん
- 一 金貳分 大坂いせ七殿送用
- 四匁五分
- 一 百八拾五文 京都五月十三日及七月十二日迄
- 小遣
- 川口弥藏殿へ
- 七月十四日拂方 一 泊り□□□席礼
- 一 金巻分 四十文 △形屋單物鳴巻反
- 同断
- 一 五十文 同仕立ちん
- 同断
- 一 四拾五文 西川伊八殿
- 同断
- 一 三百五拾五文 腹巻切貳尺四寸
- 同断
- 一 十三文 守山吉兵衛
- 一 七匁六分四厘 西川正印様へ薬代、羈代とも二
- 七月廿日 本屋吉兵衛
- 一 十六文 古かり愛長へ拂
- 同廿四日 松坂状巻通ちん
- 一 十五文 筆巻本
- 同日 小麦
- 一 十文 三角了察さま十八服薬礼
- 一 金巻分 西川了安さま同断
- 一 八匁六分 石川正印さま四十五服同断
- 一 四十三匁 多田立陳あんま礼
- 一 貳匁六分五厘 人參巻同代
- 一 拾八匁 大坂状ちん
- 一 貳分

一 五分七厘 ちり紙五折

七月廿六日 傳治郎遣スあんま

一 七十貳文

一 七十貳文 盃台一ツ

一 貳百文 五和讚四冊

八月十三日 北野参詣小遣

一 七十八文

同日 酒袋巻ツ

一 四十八文

一 五十文但廿三文半紙 七月廿四日と八月十四日迄小遣

十四文松坂

十四文松坂

十文□ま

十四文もくき

五月十三日出ス

一 三匁 国元へ早状 江戸迄巻通

△金入大

六貳二

オン百四匁巻分六厘 此金直し×八

貳×九百七十八文 六百七十八文

一 三十五文 めかね巻ツ

一 十七匁貳分 佛具一領

一 壹匁九分 銅なへ一

一 九分五厘 打きん一

一 九匁七分 輪唐巻

一 貳匁五分 佛き巻ツ

△三十匁匁八分 九月朔日拂

使市兵衛

八月晦日

一 金貳歩 三角了察さま六十三服礼

九月四日

一 金四兩貳分 愛知川や送用札

貳匁

九月十四日

一 百七文 八月十四日と九月四日迄小遣

同四日

一 七匁 生す 彦次同道

一 四百文 たは粉代

一五 久。紅花送手板

(袋状表書) 羽州山形

久。紅花送手板

荷主

佐藤長右衛門

紅花送手板

符印鑑印

久。天紅印 紅花老駄

但四箇附 老箇江五百匁袋拾六宛入

同 金紅印 同 老駄

同断

同 善印 同 老駄

同断

三駄

此駄運賃金貳兩貳步五百文

大石田左為添

右之荷物送り致為差登申候、濡攪等能々御吟味之上、片時も早く先々江御送り為登可被下候奉頼候、以上

羽州山形荷主

佐藤長右衛門

宝曆十三年

未七月六日

大石田

村岡六右衛門殿

金貳兩五百文受取

内老步下五百四拾貳文大石田江引

殘金貳兩下九百六拾八文

七月八日酒田江下ス

酒田

本間弥兵衛殿

一金貳両九百六拾八文受取

内老両老分替五分引

残金三步八百六拾八文差登

敦賀

田保孫右衛門殿 印

右之内金壹分六百貳文ツルカニテ引

残而金貳分丁貳百六十六文登ス

山中

伊原弥右衛門殿 印

右之内拾貳匁分山中ニテ引

残り金壹歩丁四百廿文

かいつへ登ス

海津

磯野源兵衛殿 印

内拾匁八分かり切舟ちん引

大津

残テ七百三十四文大津へ上ス

川口弥藏殿 印

右御問屋衆中

印 御船守御祈禱入

封

道中安全

御祈禱之札 法主 敬白

海上無難

(裏書)
「田中伊兵衛」

宝曆十三年

一六 紅花送り手板

未七月十八日

紅花送り手板

符印鑑 印

船町

羽角仁右衛門殿 印

へ久・〇紅印 紅花耆駄

但四箇附耆箇五五百匁袋拾六宛入

同花種油耆樽

但耆斗入

大石田

印

村岡六右衛門殿

酒田

本間弥兵衛殿

此駄運賃金三歩下五百文

舟町を為添

右之荷物送渡為登申候、濡捌等能々御吟味之上、片時も

早々為御登可被下候奉頼候、以上

羽州山形荷主

佐藤長右衛門 印

前書之通り手板金三分下五百文

右之内八百貳拾文舟町を酒田迄

運賃掛り物引取ル

残テ金貳分下七百拾文送り出ス

一貳分七百十文受取

内銀 四匁五分引

残錢九百三拾三文為登

敦賀

田保孫右衛門殿 印

内丁六百廿壹文ハツルカニ而引

残丁三百貳文山中ニ登ス

山中

伊原弥右衛門殿 印

一丁三百廿文山中かかり物

残り十八文渡かへ

海津

磯野源兵衛 印

海津舟吉渡かへ

大津

川口弥蔵殿 印

蔵入

右御問屋衆中

一七 紅花送り手板

紅花送手板

符印鑑 印

へ久・飛印 紅花片馬

但貳箇 壹箇江五百匁袋拾六入

同 紅印 同 片馬

右同断

ノ 壹駄

此駄運賃金三步五百文

大石田 為添

右之荷物送ニ致為差登申候、濡攪等能々御吟味之上、片
時も早々先々江為御登可被下候、以上

羽州山形荷主

佐藤長右エ門 印

宝曆十三年

未七月十六日

山中

内丁五百卅六文ツルカニ而引
残丁七百四十三文登ス

大石田

村岡六右エ門殿

金三歩ト五百文受取

内五百拾七文大石田ニ而引

残金貳分九百九十三文

七月十九日酒田へ下ス

海津

磯野源兵衛殿 ㊦

内丁百九十八文舟ちん引

残丁貳百七拾文大津へ上ス

酒田

本間弥兵衛殿

一金貳分九百九十三文受取

内四十九匁ト五分引

残金壹分四百八十式文為登

大津

川口弥藏殿 ㊦

蔵入

右御問屋衆中

敦賀

田保孫右エ門殿 印

一八 紅花印附根牒 (写)

(表紙) 「明和元甲歳

紅花印附根牒

会田六郎右衛門

覚

十六入 本荷巻駄二付

・井
△大 式駄巻丸 金四拾巻両式步着

内式丸四式かへ代式拾巻両 若孫

四九かへ式丸代廿四両式分 若孫

四式かへ式駄巻丸代五拾式両式分 若喜

△九十八両也

十六入 右同断

・谷
△大 式駄巻丸 金四拾四両着

四五かへ此代五拾六両着分 いせ利

十六入 右同断

・本
△大 式駄三丸 金四拾五両着

五一かへ代百四拾両着分 若孫

十六入 本荷巻駄二付

・久
△大 巻丸 金四拾巻両着

五一かへ代拾式両三分 若孫

十六入 右同断

・和
△大 巻丸 金三拾丸両着

四かへ売代拾両 若喜

ノ

十六入 右同断

与・大 四駄沓丸 金四拾沓両式分着
二土与印拾袋

内沓丸合印・千印六袋 十六入有

五かへ

右之内式駄十袋仕切参ル代百七両三分

三匁八分

い源

四かへ内式駄代八拾両

若勤

又沓駄代四拾両式分

同

百廿両式分

十六入 右同断

与・大 沓駄 金三拾六両着

代四拾五両

若孫

ノ

十六入 右同断

千・大 式丸 金四拾沓両着

四式かへ

片馬六袋壳代廿四両三分

銀十沓匁八分 いせ源

ノ

十六入 右同断

与・大 沓丸 金三拾八両着

木・大 三駄 金四拾貳両着

十六入 右同断

四かへ

壳代拾両

若孫

ノ

十六入 本荷巻駄二付

羽
大 巻駄 金三拾五両着

内巻駄代三十三両

若喜

又巻駄代三十三両

いせ源

ノ 六十六両也

十六入 右同断

金
大 巻駄 金四拾巻両着

代三拾五両

いせ源

ノ

十六入 右同断

サ
大 巻駄 金三拾巻両着

代三拾九両

山八

ノ

ノ 三拾巻駄巻丸也

干花分

十六入 本荷巻駄二付

天
大 巻駄三丸 金四拾三両着

四三かへ内巻駄代四拾三両

近九

五三かへ又三丸代三拾九両三分

若孫

ノ 八十式両三分也

十六入 右同断

信
大 巻駄 金四拾三両着

代三拾九両式分

若勘

ノ

十六入 右同断

雨
大 巻駄 金四拾両着

代四拾兩

いせ利

ノ

十六入 右同断

光
大 三駄 金三拾九兩着

三七かへ代百拾老兩

いせ源

ノ

十六入 本荷老駄二付

明
大 式駄 金三拾七兩着

三五かへ内式丸代拾七兩式分 近九

三六かへ

又六丸代五拾四兩

若喜

ノ七十老兩式分也

十六入 右同断

里
大 老駄 金三拾五兩着

代 三拾五兩

いせ源

ノ

十六入 右同断

本
大 老駄 金式拾七兩着

代廿九兩

山八

ノ

ノ拾駄三丸也

仙台

拾六入

仙
舟大 三駄

内式駄百拾兩

山八

老駄六十兩

山八

ノ百七十兩也

拾六入

角・仙大 貳駄

五三かへ貳駄代百六両 いせ源

又

拾六入

紫・仙大 三駄三丸

五四かへ三駄三丸代貳百貳両貳分 いせ源

拾六入

富・仙大 貳駄壹丸

四七かへ

内貳駄十袋代百壹両壹分 山八

五匁九分

たし花六袋代四両 山八

又百五両壹分五匁九分也

又拾壹駄也

右仙台本荷壹駄ニ付ならし金五拾壹両着、尤高下有之

候間、印御見訳御売付可被下候、以上

都合四拾三駄也

右之通御座候、以上

会田六郎右衛門

明和元歲甲八月

西川久左衛門殿

同 源 助殿

一九 紅花仕切 (二〇と同じにつき略)

二〇 紅花仕切

仕切

現金四拾五兩也

一金五拾兩貳步貳朱 へや仕入最上花芎駄八袋

右之内

一 銀芎芎分七厘 御手板添金

不足つるか清吉払

一 銀五匁八分四厘 塩津運賃

中村へ拂

一 銀七匁貳分 大津駄ちん

白銀屋へ拂

一 銀拾五匁 二朱判打

同判切ちん

一 銀拾貳匁 福寫迄金子

下し駄ちん

銀四拾芎芎分一厘

此金貳步貳朱ト

四匁三分三厘

⑩ 差引残テ

歩判金四拾九兩三步

銀拾匁四分貳厘

右之通壳附紅花代金不残差下シ

此表無出入相済申候、尤端銀拾匁四分貳厘者

私方預り置キ申候、重而御差引可仕候、以上

天明元丑年

若山屋喜右衛門⑩

霜月十六日

柴田弥右衛門殿

二一 覚 (紅花代金精算書)

覚

一 金三拾兩卜
 銀拾四匁六厘
 同印
 九袋

片馬拾三袋
 現金四拾三兩替

一 金七拾八兩卜
 貳匁八分壹厘
 同印
 拾壹袋

女川印 庄内紅花拾八入
 同印 拾八入
 同印 四丸
 同印○附 拾袋

老駄片馬拾五袋
 現金四拾五兩替

一 金拾壹兩三步
 銀七匁五分
 同印
 拾九入

金百拾九兩三步卜
 銀貳拾四匁三分七厘

若算用違或者荷物拔袋等御座候ハ、互二重而差引可仕候、已上

天明貳年 近江屋
 寅五月十六日 九郎兵衛印

柴田弥之助殿

二二 目早仲間申合規約(筆写)(冊子)

(表紙)

天明歳中
 目早仲間 申合規約

右之通相對を以買請、代金不殘相渡此表無出入相濟申候

天明歳中御役方も目早渡世之訳合御尋二付
 古代目早仲間ニ而取調置候事共書上候控左二

乍恐以書付奉申上候

一 目早渡世之儀者、元和八歲鳥居左京亮様同親子貳拾
四万石^ニ而御入国被遊、村山郡一円御領地被遊、寛永歲
中御普請被為思召直ニ御繩張相濟

一 御本丸 東西壹町拾九間壹尺
南北壹町拾三間貳尺

一 御二丸 東西四町三間
南北四町貳拾壹間

一 御三丸 東西拾四町五拾四間貳尺
南北(記入なし)

一 兵糧米 四千七百六拾八石壹斗七合五夕

一 大豆 百八拾八石七斗九升三合

一 荏油 五拾九石貳斗壹升

右御城附と相定、惣町^者城外江替地被仰出、寛永年中正
月十日地之利を見立右ヲ居町割繩張被遊、十日町^と割
始八日町横町七日町旅籠町六日町、夫^と諸職人裏町割
納ニ相成候上市場始之町故三拾三町要石ニ付、市神者
南之方ヲ表ト唱ひ初市商ひ賑々數、其後御礼^と南は神
前成り故ニ生花市場ニ被仰付、歲増ニ繁昌ニ相成、国

産之紅花蠟漆油青苧を始、商人手元ニ相成取次渡世之

者百有余人近在郷ニ走廻、諸品之高下ヲ見分売買口目
早見出シ候者五拾人、商人中目早^とと名付ケしより、

仲間渡世之者ヲ目早と唱ひ来り候、此頃鳥居伊賀守様
御国替寛永十一丙子年、其後保科肥前守様貳拾万石^ニ

御入部被遊十九年迄御領知被遊、奥州会津若松江御所
替ハ其後寛永二十年癸未ニ至り御蔵領ニ相成此節

一 御本丸御城番 戸田右京亮様

一 御二丸御城番 六郷伊賀守様

一 御三丸御城番 岩城但馬守様

一 町方者御公領 松平清右エ門様

一 此後正保元甲申歲四月^と松平大和守様十萬石^ニ而
御領知被遊、同五戊子年松平下總守様十萬石^ニ而御入国
被遊、寛文八丙申歲奥平太膳太夫様九萬石^ニ而御入部被
遊、奥平美作守様御二代御領知、貞享二丑年堀田下總
守様拾萬石^ニ而御領知被遊、同丙寅年松平大和守様拾五
萬石御入部被遊、元祿二壬申年松平下總守様十萬石^ニ而
御入国被遊、同十三辰年堀田伊豆守様十萬石^ニ而御入部

御二代目相模守様御代ニ相成、享保十六亥年商人目早共御呼出シ之上、国産之紅花御当地始諸国出高御尋ニ

付、調之上左之通御答奉申上候

- 一 紅花為登荷五駄 宮町
- 一 同 貳駄 六日町
- 一 同 四拾四駄 旅籠町
- 一 同 六拾六駄 七日町
- 一 同 貳拾七駄 横町
- 一 同 拾貳駄 八日町
- 一 同 百三拾四駄 十日町
- 〆 貳百九拾駄 七月二日昼改
- 一 残花 貳拾七駄程 惣町
- 一 同 六拾五駄 谷地
- 一 同 四拾駄程 天童
- 〆 四百拾五駄程
- 外ニ他国出高
- 一 百貳拾駄程 奥州福島
- 一 三拾駄程 奥州三春

一 貳百五拾駄程 同 仙台
一 百駄程 西国肥後国

但し西国紅花ニ而大坂遣ニ相成

- 一 拾駄程 尾張
- 一 拾駄程 遠州
- 一 拾五駄程 相模
- 〆 他国出高六百五拾駄程
- 最上 惣〆千貳拾駄程
- 右之通り享保十六亥年十月上旬諸国紅花出駄数相調奉差上候処、被為在御称美御頂戴被仰付、其後目早仲真(同)相定御届ケ奉申上候処、売買口錢之儀御尋ニ付、是迄何程之口錢と申定も無御座候得共、売買向働次第太儀料申請渡世仕候段申上候処、紅花初諸商ひ向、口錢無之候而は目早ニ而渡世も難相成筈ニ付、口錢之儀相定申立候趣被仰付候ニ付、一同難有奉存候、左之通り奉書上候
- 一 紅花六拾四袋壹駄ニ付 口錢但シ錢相場金分ニ
壹メ文前後

付

一金考分

売人^カ

一金考分

買人^カ

一 淡紙 壹圓

一金考兩分ニ付

五拾文

但シ紅花直段拾ヶ歳平均壹駄ニ付六拾兩程

一 蠟 壹メ目ニ付

口錢

一 貳拾文

売人^カ

一 拾三文

買人^カ

一 水油 壹樽ニ付

口錢

一 百文

売人^カ

一 百文

買人^カ

一 青芋 壹駄ニ付

口錢

(注 記入なし、この間壹枚落丁か)

此菜種砂糖類諸色口錢取究メ候ニ付、別紙ニ認メ御届

奉申上候、以上

右之通り目早株式古来有之候処、先年吉田利八殿江綿

塩問屋御免被仰付候処、仲真一同問屋附ニ相成仕来之

口錢之四分御上様江御冥加奉上納渡世致候処、近年綿

塩商ニ付故障出来、御上様之御苦勞ニ相成恐入候御事

ニ付、今般仲真申合左之通り議定相立候

定

一 御公儀様御法度之趣堅相守而申事

一 目早渡世之儀者、商人衆中之致仲立大前之金子等

被相任候商売ニ付、心底相慎ミ鈍忽無之様正直第一

ニ可心掛事

一 国産之紅花商は、六月中も相始候ニ付、其已前に惣

致寄合、其節万端鹿末無之様申合せ可致事

附り、紅花買子ニ罷出候節ハ、大金受取大

事之渡世ニ付、無懈怠出情可致事

一 博奕掛之諸勝負ハ兼而御制禁ニは候得共、仲真之者

右様之場所江決而立寄申間敷候事

一 商取組之手附金並取引金等一金たり共自由いたし商

人衆も断ヲ請候ハ、仲真相除可申事

一 商向ニ付故障等出来候ハ、早速仲間寄合右懸り合

之家江罷越、不引取片付可申事

寄合入用ハ其者も為差出可申事

寄合之儀遅刻之者仲間相除キ可申事

附、無拠訳合有之出席相成兼候者候者ハ、世

話致方迄急度相届可申事

一定宿無之客仕綿塩売出度段相頼候ハ、買手形預り置

売出し可申事

一 売買之商人衆江乗合商之儀ハ可為法度候間、御触も

有之候得共、心得違無之様急度相守可申事

附、取引之節売買共ニ客仁江最寄候者於有之

内乗ニ無紛候得は不及評議仲真相除キ可申事

一 敬老若輩ニ致添心礼儀相糺商引等可致事

附り、名前之手形利拂損拂等ニ而、外客江人手

ニ而紛廻候共、消シ印無之内は名前掛り掛相違

不申ニ付、深く致穿鑿請取可申事

一 綿塩其外諸国共ニ口銭ハ現金ニ貰請可申事

一 商取組之節、其家々江先々参り候仲真有之は、先々之

用済聞立候上諸相場等咄出し可申事

一 仲間寄合之節用談已前ハ可為祭酒事

附り、喧嘩口論堅相慎可申事

一 株式譲渡之儀ハ仲間内ニ而不承知之者老人有之候共

不相成旨申かため候事

附り、休株之者俾ヲ渡世ニ差出シ度候節ハ世

話方江願出し、差図可相任事

一 年々世話方江筆墨紙料差出可申事

一 御呼出し之節は不及申、問屋元寄合入用相掛り候

ハ、世話役之分相除キ残り仲真も早速差出可申事

右之条々堅ク相守可申候、万一於相背ハ仲真被相除候共

一言之儀申問敷候、其連印致置候、仍而如件

二三 (紅花世話所取立ニ付) 乍恐以書付奉願上候

乍恐以書付奉願上候

当国村上郡一円も作出し候紅花之儀、往古も京都江為差登
売捌来候処、先年同所ニ問屋拾四軒有之節者、右荷物問屋

ニ而売捌、且売兼候節ハ、其荷物相応之引当金相渡具候ニ付、国中金錢通用能、弁利御座候処、其後問屋共不埒之取計仕、不殘御取放ニ罷成、夫より取締候世話人と申も無之候間、當時ニ而著旅籠屋江着仕、右宿屋の世話を以売捌、不案内ニ売渡候事故、代金相滞又者捌兼帰国も延引仕候得ハ、多分之雑用相懸り、其内御年貢金御上納之間ニ合兼、必至与差詰り、無是非捨売同前ニ仕、或者高利之金子を借間を合候様成行年々荷物捌方手挾ニ相成、百姓方迄一統不益ニ而自然と相痛候之趣、国中之取沙汰ニ付、先年ハ当国江入込紅花買出し仕候江戸南傳馬町貳丁目治兵衛店大黒屋九左衛門と申もの、京都并上方勝手筋之ものニ而、私義年来懇意合ニ付、当国紅花荷物捌方手廣く取締有之、第一百姓方潤ひニ相成候手段可有之哉と咄合仕候処、此儀者先年奉願上候義も有之、既ニ明和七寅年御料御三方様御支配之内、村々ハ紅花世話所相立候様致度段奉願上度旨ニ而議定書連印を以被相頼候成共、御三方様御支配村々一円之筋ニも無之ニ付、強而不奉願上候処、又候去ル西年寒河江附漆山附之者共出府仕奉願候処、当郡中

ニも限り申間數旨御吟味有之、則御支配様ハ柴橋柏倉兩御陣屋江御懸ケ合被下置候間、村々御糺御座候処、世話所老軒ニ而ハ手挾く相成可申哉之旨申上同意不仕候、併元買之儀者自在ニ為致、手暗儀も為無之会所を建置候義ニ御座候得ハ、聯以差支之筋無之弁利ニ候間、外々江不相構兩郡中ニ而奉願上候処、同郡之内益不益と両様ニ相成候儀不得其意之旨、御理解被仰間候条、右願書御願下ケ帰村仕候義之由、九左衛門申聞承知仕候得与勘弁仕候処、敢而障之筋も相聞不申、真ニ国益金錢融通之基ニ而、小百姓迄も相潤ひ、紅花作り出し等相進之候義眼前ニ付、先年之議定書、此度大小百姓小作商人迄、勝手ニ可被成仕法書取調右九左衛門江掛合頼候処得心仕候、依之郡中申合紅花世話会所老軒京都江相建荷主と買人直相對ニ仕候得ハ、手暗儀も無之候間、右之趣ニ仕度奉願上候、尤去ル卯年以來凶作ニ而郡中一統衰微困窮仕、御年貢米御皆濟差支候ニ付、不納潰百姓夥敷出来仕御不益之御儀と乍恐奉存候、此上凶作仕危急之難義御座候共、他国ハ米不通用之國柄ニ付、立所ニ餓死仕候ハ外無御座、尤申年格別之御賢慮

御慈悲を以、困方被為仰付候得共、其日々之相続二斗相抱り居候二付、貯方手薄く難義至極仕候、併右紅花捌方宜敷御座候得ハ、御年貢米金納差支無之上納相成候二付、前書之通相願置候、右九左衛門并江戸本銀町四丁目善兵衛店庄兵衛、右兩人江商向二者不相抱荷迄、買人直相對二取引為致、口錢之儀者是迄仕來之通、売方も金百兩二付三兩ツ、取集候金高之内金二百五拾兩惣郡中江勿取御料所村々江年々為差出、右金子年々御役所江御伺申上、蒙御差図新穀出来秋下直之時分見計ひ相求メ右穀數之儀者、郡中身元慥成者へ願置候共、又者御陣屋元□□^(郷)同前二建置候而困置候共、御下知次第二仕、右困米拾ケ年も相立候ハ、凡三千石余二も相高可申、右之趣ニ御座候得ハ縱飢難之義御座候共、御公儀様江奉願上候而ハ遠国之義問二合兼候故右困米を以飢難を相凌候ハ、廣太之助ケニ相成、万一御料金所村々御年貢上納方差支候之節者、右世話所引請人方ハ紅花引当安利を以金子貸附呉候之様ニ及相談、旁以国益有之郡中一統安心仕奉存候、右之外諸事仕法

書之趣を以御分二二様限郡中之惣代方□□廻り可申談と(見之)も奉存候得共、左候而者彼是差跨申候間、何卒外御役所様

江御掛合被成下、郡中差支無御座候ハ、其上江戸表江御添翰之儀奉願度奉存候、依之仕法書相添奉願上候、以上

寛政四年十月

村山郡白岩町

願人

次兵衛 印

柴橋

御役所

前書之通奉願上度候、御奥書印形仕候、以上

右町名主

右藏 印

二四 (紅花会所取立二付) 乍恐以書付奉願上候

(冊子)

(表紙)
御奉行様江

願書下」

乍恐以書付奉願上候

池田仙九郎御代官所

羽州村山郡白岩村

一 国益二付紅花会所取立願

百姓

願人 次兵衛

右者当国村山郡一円より作出し候紅花之儀、往古より京都江為差登売捌来候処、先年同所二問屋拾四軒有之節ハ、右荷物問屋^三而売捌、且売兼候節者其荷物相応之引当金相渡呉候二付、国中金錢通用能弁利ニ御座候処、其後問屋共不埒之取計仕、不殘御取放ニ罷成、夫より取締候世話人と申茂無之間、当時^二而ハ旅籠屋江着仕右宿屋之世話を以売捌不案内ニ売渡候事故、代金相滞又

者捌兼帰国茂延引仕候得者、多分之雜用相掛り、其内御年貢金御上納之間合兼、必至与差詰り無是非捨売同前二仕或ハ高利之金子を借間を合せ候様成行、年々荷物捌方手挾ニ相成、百姓方迄一統不益^二而自然与相痛候趣、国中之取沙汰ニ付、先年^も当国江入込紅花賣出し仕候江戸南傳馬町貳丁目治兵衛店大黒屋九左エ門と申もの京都并上方勝手筋之もの^ニ而私義年来懇意合ニ付、当国紅花荷物捌方有之手廣く取締在之第一百姓方潤ニ相成候手段可有之哉与咄合仕候処、此儀ハ先年奉願候儀も有之、既ニ明和七寅年御料御三分様御支配之内村々^ハ紅花世話所相立候様致度段奉願上度旨^ニ而議定書連印を以被相頼候得共、御三分様御支配村々一円之筋^ニ茂無之ニ付、強而不奉願上候処、又候去ル西年寒河江附漆山附之者共、出府仕奉願上候、両郡中^ニ茂限申間數旨御吟味有之、則御支配様^ハ柴橋柏倉両御陣屋江御掛合被下置候間、村々御糺御座候処、世話所老軒^ニ而者、手挾く相成可申哉之旨申上、同意不仕候、併売買之儀ハ自在ニ為致、手暗儀も為無之会所を建立候儀ニ御座候得

考、聊以差支之筋無之弁利ニ候間、外々江不相構兩郡中ニ而奉願上候処、同郡之内益不益与両様ニ相成候儀不得其意之旨、御了解被仰聞候条、右願書御願下ケ帰村仕候儀之由、九左エ門申聞承知仕候、依之得与勘弁仕候処、敢而障り之筋も相聞不申、真ニ国益金錢融通之基等小百姓迄茂相潤ひ、紅花作り出し等相進ミ候儀眼前ニ付、先年之儀定書江此度大小百姓小作商人迄勝手ニ可相成仕法書取調、右九左衛門江掛合頼候処得心仕候、依之郡中申合紅花世話会所彦軒京都江相建、荷主と買人直相對ニ仕候得者手暗儀も無之候間、右之趣ニ仕度奉願上候、尤去ル卯年以來凶作ニ而、郡中一統衰微困窮仕、御年貢米御皆濟差支候ニ付、不納潰百姓夥致出来仕御不益之御儀と乍恐奉存候、此上凶作危急之難義御座候共、他国も入米不通用之困柄ニ付、立所ニ餓死仕候より外無御座、尤申年格別之御賢慮御慈悲を以、困方被為仰付候得共、其日々之相統ニ計相抱り居候ニ付、貯方手薄く難義至極仕候、併右紅花捌方宣敷御座候得

ハ、御年貢米金納差支無之上納相成候ニ付、前書之通相頼置候右九左衛門并江戸本銀町四丁目善兵衛店庄兵衛右兩人江商向ニ不相抱、荷主買人直相對へも引為致口錢之儀考是迄仕來之通、売方も金百両ニ付三兩ツ、取集候金高之内金百五拾兩惣郡中江刻取、御料所村々江年々為差出、右金子年に御役所江御伺申上蒙御差凶、新穀出来秋下直之時分見計む相求、右穀數之儀ハ郡中身元慥成者江預置候共、又考御陣屋元江郷藏同前ニ建置候而困置候共御下知次第仕、右困米拾ケ年茂相立候ハ、凡三千石余ニ茂相嵩可申、右之趣ニ御座候得者、考緞飢難之儀御座候共、御公儀様江奉願上候而ハ、遠国之儀間ニ合兼候故、右困米を以飢難を相凌候ハ、廣大之助ニ相成、万一御料所村々御年貢上納方差支候節ハ、右世話所引請人方も紅花引当安利を以、金子貸付呉候様ニ及相談、旁以国益有之郡中一統安心仕候間、右御願として江戸表江御指出被下候様柴橋御役所へ奉願候ニ付、外貳分様江御懸合御座候処、尾花沢・寒河江・漆山御役附郡中村々御糺之上、差障り無之様被御渡候、

依之御当地ニ罷有候右大黒屋九左衛門日野屋庄兵衛御
召出仕法書之通諸向取極紅花世話会所取立候様、被為
仰付被下置候ハ、莫太の御慈悲国中之御救^与拳而難有
仕合奉存候、以上

池田仙九郎御代官所

寛政四年子十二月

羽州村山郡白岩村

百姓

願人 治兵衛

名主

右 蔵

御奉行所様

一 御国益奉言上候二付、於京都紅花売唄所被相願候二

付被仰付候節、難有奉存相障儀^者奉恐入候、以上

寛政五^丑年何月

惣代

誰

誰

九左衛門殿

右著江戸傳馬町大黒屋九左衛門悱弥兵衛代又兵衛持

参仕候書付写奉差上候、以上

丑十二月廿六日

長瀬村

名主

吉左衛門

権 蔵

二五 江戸傳馬町大黒屋九左衛門紅花世話所願一

件書物(冊子)

鈴木喜左衛門様

長瀬

御役所

(表紙) 江戸傳馬町大黒屋九左衛門紅花世話所願一件書物

貳番

乍恐以書付奉申上候御事

江戸傳馬町大黒屋九左衛門忰弥兵衛代又兵衛と申者、
今廿六日罷越申聞候者、御国益之儀奉申上京都紅花売
捌所奉願候ニ付、差障有無承札可申上旨、右著佐橋長門
守様御下知之由、別紙書付案文差出、尤九左衛門忰弥
兵衛者奥州白坂辺ニ而病氣之由ニ而、代又兵衛儀罷越候
由、私共も右書付差出候様申之、勿論差障有之趣申立候
ハ、品ニも江戸表へ被召出候儀も可有御座旨申之候得
共、去子年中紅花世話所願人有之、障有無当御役所ニ而
御糺之砌、当春中郡中一同以書付差障之儀奉申上置候
儀ニ付、不及挨拶旨又兵衛へ申聞相返し申候、依之又
兵衛持参任候書付之案文写相添、此段御届奉申上候、
以上

丑十二月廿六日

権藏

長瀬

吉左エ門

御役所

寅

四月五日

羽州も作出候紅花、京都江持登候ものも当時迄旅籠屋江
止宿いたし、右宿等之世話を以売捌いたし候ニ付、売
捌方不抄取、其上代金請取方等も延引ニ相成候趣、尤
是迄も口銭無之世話仕來候得共、大金之品口銭無之取
引いたし候儀夥數候ニ付、今般京都江紅花売捌会所売
所相建、売買直段者是迄之通相對ニ而時相場を以、勝手
次第ニ取捌買入候もの羽州へ下り候分同様之積、荷物
者京都会所江差登セ荷高相改、夫々之送状宛所之ものへ
差送羽州之もの仕入いたし京都江登せ候荷物も右会所江
差登せ荷高相改相對ニ志捌、何れも金百両ニ付三両宛
之積を以、口銭会所江請取、右口銭之内を以羽州御料所
江困米之手当いたし、京都会所江郡中も惣代之もの売
人為差出荷物取捌立会、右入用者会所も為差出候様致度
願人有之候、右之通相成候而も村々差障等之筋ハ無之
哉、相糺障有無之儀者早々可被申聞候

御尋ニ付申上候御事

江戸傳馬町大黒屋九左衛門儀御国益之儀申上、京都ニ
おゐて紅花売捌所相願候ニ付、差障有無可申聞旨、同
人悴弥兵衛代又兵衛と申もの去丑十二月廿六日罷越候
節、差障之儀ニ付否難及挨拶旨申聞相返シ候処、右者何
故差障候哉可申上旨御尋ニ御座候

此段当国最上郡中紅花捌方之儀、先年ハ京都ニ問屋
拾四軒有之売買取引仕候処、手暗ニ取計有之御吟味
之上御濱ニ相成、其後紅花を直売直買に被仰付、尤
百姓方之儀者、紅花時節ニ寄直段之高下者有之候得
共、右者一統之儀ニ而摘花干立売渡候もの共も、商人
共も直々代金手取候而、餘時之諸懸りも無之、当時紅
花売買ニ付差支之筋ハ不及申、百姓方不残手之筋無
御座候、然処此度九左衛門申上候御国益之儀者何様
之訳ニ御座候哉、仕法書も不見請唯差障有無可申聞
旨、九左衛門悴弥兵衛代又兵衛も長瀬村名立共江申聞
候得共、郡中江抱り候儀を一存を以差障有無之儀挨
拶仕候儀者難相成、殊ニ去々子年中右九左衛門儀池

田仙九郎様御支配所村山郡白岩村之ものと取組、於
京都紅花世話所耆軒相建、紅花売代金百兩ニ付金三
兩宛口錢として世話所引受人方江取之、右口錢高之
内を以、毎年金五拾兩宛穀物相調、凶年之手当ニ仕
度由、左候得共御国益ニ相成、其外利安之金子貸渡
紅花作付相増候様可仕旨申立差障有無之儀、去丑春
中御糺有之右仕法書見届候処、直売直買ニ而者、口錢
等之懸り物者無御座候処、右仕法通被仰付口錢取立
候様相成候而者、小前百姓共も売出候紅花直段之内右
口錢丈を見込下直ニ買取候者治定之儀、又者利安之金
子借受候而又利分之金子迄他国差出候者、國中融通之
取遣キハ別段之儀と奉存、口錢高之内引請人徳用之分
共、全最上郡中之不益ニ相当り、尤九左衛門儀者安永
年中も、右仕法ニ似寄候趣を以、紅花捌所之儀申立
障有無御糺之上、九左衛門願不相立、畢竟御国益等
之儀を申立、内実者口錢之餘分を以願人共成功を見
込候儀ニ相当り候間、去丑春中障有無御糺之砌、新

規之儀者御免被下置度旨村々連印を以申立置候儀、
此度九左衛門申上候御国益之儀者、前書之振合とハ
別段之子細も御座候哉、仕法書見届不申候間不奉存
候得共、口錢等之見込を以、御国益等申上候而者、前
書之通郡中不勝手之筋御座候間、差障無之与之儀者挨
拶難仕御座候間、差障有無之儀、否難申聞旨九左衛
門忝弥兵衛代又兵衛江申聞候儀ニ御座候
右御尋ニ付奉申上候通少も相違無御座候、以上

寅二月

長滯

長滯附村々

御役所

三判

前書之通書付を以申上候処、紅花売捌所願ニ付、口錢
相懸リ候而者差障候趣ニ相聞候得共、口錢不相懸候而者
差障無御座候哉、治定無之旨被仰渡、右書付御下被成
候間、尚又郡中評儀之上左ニ奉申上候

一 紅花売捌所相建御国益之儀九左衛門申立、右仕法ハ

何様之儀ニ御座候哉不奉存候処、願人共方ニ而口錢等之
見込無之候ハ、仕当ニ引合申間敷、然候共口錢取立
候而者、差障之趣申立候儀ニ付、左候ハ、無口錢ニ而売捌
所可奉願も難計奉存候得共、願人共儀無口錢ニ而売捌所
奉願候而も、当国産物之紅花右売捌所之外者、京都ニ而之
売買并当郡ニ而右手先之もの之外、売捌相成間敷、左候
得者捌方至而手挟ニ相成、勝手次第之相場を相立、買
同然之事ニ可相成、既ニ先年紅花問屋京都拾四軒有之
節さへ手暗取計有之御取放ニ相成、當時ニ而者、直売直
買ニ候処、最上郡中も京都江差登候紅花、直ニ京都紅屋
共方江附込候而者、直段を踏下直ニ買取候間、功者成も
の共者、大津問屋ニ荷物を差置手本花を持参いたし、京
都ニ而何ヶ所共なく直段を聞合相当之方江相拂、手廣く
捌方ニ御座候間、百姓方勝手ニ罷成候処、売捌所卷軒
ニ相成候而者、自余之売捌難相成、勝手次第之直段を相
立可申、左候而者売方之もの難儀仕、尤時々之相場を其
向々江申立置、勝手次第之相場者難相立旨、願人共申立
候半も難計候得共、是以手暗ニ取計有之節者、何様之相

場を可申立も難計、右等之趣者、最上郡中一統心得罷有候儀ニ御座候得共九左衛門願二付、内仲間加談仕候族

花捌方ニ抱り候儀ニ付、新規之儀者差障御座候間、是迄之仕法ニ被仰付被下置度奉存候、

も御座候哉ニ相聞へ、外郡中ニ而差障不申立趣心得私共村々ニ限、強而差障申立候段、御聞請も恐入候得共、百姓方不益之筋ニ相当り候儀者、たとい諸雜用相懸り候

右之通郡中一同評儀之上継添を以奉申上候通相違無御座、紅花売捌方ニ付、新規之仕法を以奉願上候ものも有之、

共、差障無之と之儀ハ申立候儀難相成、先年最上御料御私領村々之内ニ而加談仕紅花捌方願二付、郡中御糺之儀者、度々之儀ニ御座候得共願相立候儀無御座、何連も

以來御糺御座候共、前書之通差障御座候間、此上私共村々御糺之儀者、御免被下置、尤右一件ニ付、万一江戸表へ御

山師共之仕業ニ而、他国之物へ加談仕一己之利欲ニ而巳抱り、願人を相立彼是仕法を替可申立儀ニことをか

呼出ニ相成諸雜用相懸り候共、郡中不益を救ひ候儀ニ付、一厭ひ候儀者無御座候得共、困窮之百姓共御憐愍も御座候

き、御国益杯と申立候得共、直売直買之外、最上郡中之潤益ニ相成候儀無御座、紅花売捌方差障御糺ニ付、

ハ、右躰之願ニ付、私共村々江戸表へ御呼出之儀者、御免被下置候様奉願候、依之村々連印を以此段奉申上候、

村々寄合、又者品々ニ寄江戸表へ御呼出ニ相成候儀も難計、其度々之諸矢墜者則郡中之不益ニ而、当国出産之

真四月 郡中村々

紅花者他国稀之産物ニ而、京都売捌方格別之儀有之ニ付、願人共助成を見込申立候儀与相聞歎敷奉存、紅花捌

名主 組頭

方之儀、直売直買之外極り候問屋又者売捌所世話所等之名目を附、何様之仕法を以申立候もの御座候共、紅

長瀬

御役所

百姓代

於京都紅花売捌会所尅ケ所相建口錢取立、羽州御料所江困米之儀申立候もの有之、願之通相成候而茂、
村々差障等之筋無御座候哉、障有無御糺ニ付、左ニ
奉申上候

一 羽州も作出候紅花京都江持登候ものも、当時ハ旅籠屋江止宿いたし、右宿等之世話を以売捌いたし候ニ付、売捌方不抄取、其上代金請取方等も延引ニ相成候趣、是迄も口錢無之世話仕来候得共、大金之品口錢無之取引致候儀疑敷候ニ付、

此段羽州も作出候紅花之儀、先年者京都ニ問屋拾四軒有之売買取引一式取計候処、品々手暗キ取計有之村方不勝手ニ御座候間、当国谷地前小路村金右衛門と申もの郡中惣代として、江戸表へ致出訴御吟味之上、右問屋者御潰ニ相成、夫も紅花者直売直買相対次第被仰付候間、京都も賣出之もの罷越直買ニ仕、当郡之内重立候商人共、仕入之分者京都荷物仕入店等知音之手筋を以、荷物差向、又者大津問屋ニ荷物を差置、手本花持参いたし紅屋共方之買入直段を承合直段宜敷

方江相拂、其年々時宜ニ随ひ勝手次第取捌候間、代金差引之遅速も無御座、京都ニ売拂候節之仕切を以、諸勘定仕候間、大金取引ニ者候得共、百姓方頗惑之筋無御座、当時手廣之捌方ニ相成、不勝手之筋無御座、勿論当国之内ニも紅花を仕入、伊勢参宮者京都寺院参詣を心懸、自分ニ荷物を持参仕、京都旅宿ニ荷物を差置、宿之世話を以売捌候族も有之、全体田舎もの之候間、彼是被見掠拂方も不抄取、代金請取方等も延引ニ相成候方も有之由粗及承候得共、是等者稀之儀ニ而、一樣之取計ニ者無御座、尤当郡中者畑勝ニ而、重ニ紅花作付仕候得共、重立候商人者無御座、百姓方之儀者紅花時節摘花ニ而毎日之買出之ものへ売渡、直々代錢取引いたし、晴雨之時節ニ寄直段之高下者有之候得共、右者一統之儀ニ而摘花干立売渡候もの共も、是又買出之者共も直ニ代金手取候而、臨時之諸懸りも無御座、京都売買ニ不抱年来右之通仕馴候事故小前百姓共迄頗惑之筋毛頭無御座候

今般京都江紅花売捌会所尅ケ所相建、売買直段者是迄之

通相對^二而時相場を以、勝手次第取捌買入候もの羽州江下り候分も同様之積、荷物ハ京都会所江為差登、荷高相改夫々送状宛所之もの江差送り、羽州之もの仕入いたし京都江登せ荷物も、右会所江差登せ、荷高相改相對^二而壳捌何連も金百兩ニ付三兩宛之積を以口錢会所江請取此段紅花壳捌之儀、是迄之通相對^二而時相場を以勝手次第二取計候儀ニ候得者、是迄之仕法ニ振込候儀も無御座候処、新規壳捌会所壳ケ所相建、紅花荷物者右会所江差登せ荷高相改、夫々送状宛所之もの江差送り、当国之もの仕入候分も会所^二而荷高相改候儀ハ、畢竟口錢を見込候而之仕法と奉存、前段奉申上候通紅花捌方ニ付、当郡中^二而是迄不勝手之儀者不及申頻惑之筋無御座、直壳直買ニ相成候而者、捌方手廣ニ御座候処、新規会所江荷物差遣改請候様相成候而者勝手次第之取捌^二者無之、尤捌方ハ相對^二而時相場を以勝手次第之積、願人共も申上候得共、壳買勝手次第之取計ニ候ハ、会所^二而荷高之改^二者及間敷処、会所江荷物を取集荷高を改候儀者、金百兩ニ付三兩之口錢

を可取立手法之肝要と相聞へ、先年京都ニ拾四軒之間屋有之節さへ、口錢等別段差出候儀無御座、直壳直買ニ相成候而者、勿論之儀ニ御座候処、新規会所相建、荷高を改金百兩ニ付三兩之口錢取立候様相成候而者、商人并買出之もの共、口錢丈之余計を見込、小前百姓共も買取候直段引下可申者眼前之儀^二而、差当百姓方不勝手之筋有之、右口錢相懸候迎京都紅屋共方^二而紅花買入之直段を引上可申筋^二も有御座間敷、然上者会所^二而荷高を改口錢取立候迎、何^二而も百姓方^二而紅花捌方之勝手ニ相成候筋無御座候

右口錢之内を以羽州御料所江困米之手当致し、京都会所江者、郡中も惣代之もの壳人為差登荷物取捌立会、右入用者会所^二差出候積

此段、口錢之内を以、羽州御料所江困米手当致度段者願人共肝要之見込と奉存、一通ニ御聞請被為成候而者、結構成手法無此上儀ニ御座候得共、紅花代金百兩ニ付三兩之口錢者当郡百姓共も壳拂候直段之内^二而取立候上者百姓方手取金無數相成候間、何程之困米手当

仕候^二迎、当郡中之潤益と申筋^二ハ有御座間敷、勿論見越し申立与、御察当可有御座哉^二候得共、是迄之手法^三而、縦令手取金百両^二候処、口錢相懸り候様相成候ハ、九拾七両之手取金^二相当可申、尤願人共実意を以、御国益之儀申立候事^二御座候ハ、國中産物之交易^二不抱、自己之差働を以困米等仕候ハ、誠^二御国益与奉存候得共、百姓共手元^三売出候価之内口錢を取、畢竟自己之渡世^二不抱、無故口錢取立候儀も不相成候間、困米手当等之儀を申立、京都会所^江者、当郡中^ハ惣代之もの^ハ老人為差登荷物取捌立会、右入用者会所^者差出候様申立候得共、右入用^内口錢之内を以差出候上^者、願人共差出候筋^二者無御座、前段奉申上候通、紅花壳捌方^二付、何^三而も百姓不勝手之筋無御座、煩惑毛頭無御座候処、捌方^二付何ヶ不勝手之筋有之、大金之取引無口錢^三而ハ歎敷候間口錢取立、右之内を以困米手当等之儀奉申上候得共、他国^ノもの共何故右体貧着仕候哉、一向難心得儀^二奉存候、諸国一統逐年夫食之備へとして貯穀等被仰付、

百姓共作徳之多少^二随ひ、毎年村々^二穀物貯置、連々貯高も相嵩候儀^二付、凶年之備へ有之、右^者御仁恵之御仕法^二御座候処、此度願人共申立候困米々儀ハ、羽州郡中^ハ売出候紅花代金と口錢之内を以困米調置候儀^二付、矢張村々申合調置候も同様之趣意^二相当り候様奉存、別段郡中潤益^二可相成筋与^ハ不奉存、願人共徳用之分^ハ全羽州郡中^ノ不益^二相当、百姓方衰微之基^三与奉存、扱又惣代之儀^者、株式有之実体^三而取締^二も可相成程之ものを不為差登候^而者安心不仕候処、身上相成^三而取締^二も可相成程之もの相頼候迎、老ヶ年越京都江詰合候もの、私共村々^三者老人も無御座候、紅花壳捌所願^二一件^二付、村山郡村々之内^三者願人^二加談仕罷有候もの共も有之由、右躰之手筋を以、惣代^二為差登候様^二も相成候^而者、私欲^二抱り馴合、如何様之手暗取計可仕哉も難計御座候間、惣代之もの会所^江立立会候迎、百姓方^三而煩惑無之^与申筋^三者無御座候、

右之通差障有無御糺^二付奉申上候処、相違無御座候、

新規売捌会所相建口錢取候儀者百姓方衰微之基与奉存候間、先年被仰付候通、直売直買之外者新規之儀御免被下置候様仕度奉存候、依之村々連印を以、此段奉申上候、以上

賈五月

長瀬附

長瀬

村々三判

御役所

前書之通奉申上候処、紅花売捌会所相建、金百兩二付三兩之口錢相懸候而者、商人并買出之者共、右口錢丈を見込、小前百姓共買上之直段引下可申者眼前之旨申上候得共、右者推量而已而治定も無之、右口錢之内を以、羽州御料所江困米手当致候得者全郡中不益之筋無之、願人共一己之利欲二抱り申立候筋とも不相聞、然ル上者壹兩年も相様候上、実ニ不勝手之筋見当候ハ、其節御差止之儀可申立ハ、格別推察を以見越之差障申立候段、御信用難被成旨御吟味二付、尚又左ニ奉申上候

此段当国紅花直段之儀者、毎年京都問屋共当国手先ものへ取組、紅花草生之節も出来形之様子承合、其年々豊凶晴雨之様子ニ随ひ、摘花百匁何程ニ買入一丁立老駄何程之仕上ニ可相成者、前廣ニ直段を積り置買入候間、口錢相懸り候様相成候得者右直段之内ニ口錢丈を引下直段を相建可申、尤三兩之口錢者錢百文ニ付凡三文程ニ相当り、村々買出之もの共、右立相場を目当ニいたし買入候節ハ、又候口錢丈引下ケ買出候様相成候而者、一躰之地値段下直ニ相成、商人共儀者何程之諸懸り有之候共、右之通直段ニ見込買入候間、捐益ニ抱り候儀無御座、全百姓方之捐毛ニ相成、此度障有無御糺ニ付、商人共存慮之趣も承合候処、緞何程之諸懸り相増候共、商人共方ニ而、直段ニ見込売買いたし候間、差障ニ相成候筋無之、弥三兩之口錢相懸候様相成候ハ、口錢丈下直ニ買入候儀之旨、及承候間、全百姓方不益ニ相当、然上ハ推量を以見越之儀奉申上候筋者無御座、困米手当之儀

も口錢之内を以、困米仕候儀ニ付、百姓方救之筋^二者不相当候間、願人共右口錢之内を以困米仕候連、百姓共勝手ニ相成候筋無御座候、扱又当国紅花売捌方問屋世話所等之儀ニ付、度々願入有之、明和九辰年下総国岩井町忠左衛門江戸石町大黒屋伊右衛門儀、於京都紅花世話所相建、奥羽両国之紅花引受、願人共著売買ニ不抱売捌方世話計仕、金百兩ニ付三兩宛請取、右之内冥加金上納致度由申立当国之内高嶺村佐五兵衛、五平次願人加談仕、村山郡之内百カ村余連判證文相渡、其節差障有無兩度迄御糺之上、江戸表へ被召出御吟味ニ付、差障申立候處、御聞濟被成下世話所願ハ不相立、一同安心仕罷有候處、去々子十月中江戸伝馬町大黒屋九左衛門儀、池田仙九郎様御支配所村山郡白岩村次兵衛と申者ニ取組、右願ニ付次兵衛江戸表へ御差出ニ付、障有無御糺御座候處、其節之仕法^考金百兩ニ付三兩之口錢請取、右之内金百五拾兩分年々困米いたし、其外品々申立候處、新規之儀^考御免被下度段申立置候處、去丑十二月中、右

大黒屋九左衛門忰弥兵衛代之由又兵衛と申もの罷越、差障無之旨書付ニ印形可致旨案文相渡候得共、否難及挨拶旨申聞相返候處、右^考何故差障哉御糺ニ付、当三月中以書付委細奉申上、其度々願人共申立候趣意ニ振れ候儀も無御座、御糺之度々先年^考差障申立願不相立段^考最上郡中一統心得罷有候儀ニ御座候得共、右願ニ付当郡之内ニも内仲間ニ加リ、手を尽し品を替時節相応え仕法を取拵他国之ものニ加法仕、一己之利欲ニ抱り百姓方之及難儀候儀をも不願、差障無之旨申立候、村々存慮之程難計歎敷儀ニ奉存候、前書奉申上候通、口錢相懸候^而者、百姓方売出し直段下直ニ相成一統難儀仕困米之儀^茂、右口錢之内を以困置候儀ニ候得共、百姓方潤益ニハ不相成、願人共徳用之分ハ、全百姓方捐金ニ相成、連々衰微之基ニ御座候間、先年被仰付候通直売直買之外新規之儀^考御免被成下、此上何様之手法を以奉願候もの御座候共、右之外可申立品無御座候

右御糺二付一同相違不申上候、以上

寅五月九日

長瀨領

郡中三判

鈴木喜左衛門様

長瀨

御役所

乍恐以書付奉願上候御事

一 先達而御吟味御座候、於京都紅花売捌所願人有之、差障之儀二付、此度江戸表へ御呼出御座候処、尾花沢附村々之内、楯岡村外三ヶ村之儀、先達而差障御吟味之御四ヶ村ニ而強而差障申立、万一惣代之もの御呼出等ニ相成候而者難儀仕候間、長瀨附郡中御吟味之趣を以、同組ニ被仰付度旨、御答申上置候趣、村々及承候、然所此度御奉行所様江惣代之もの罷出御答之節、右四ヶ村之儀も差障同然ニ御答可申哉、左候ハ、当郡中並入用等差出可申哉、又者右四ヶ村之儀、当郡中惣代共者不相構

不存旨御答可致哉、惣代之もの御奉行所様江罷出御尋

之節者差障無之旨申立候、村方御呼出之上、対決之儀奉

願候心得ニ御座候而、右兩様之内何率御糺被下置度、差

掛候儀ニ無契、乍恐以書付奉願上候、以上

寅六月

長瀨領

吉左衛門

長瀨

権蔵

御役所

二六 (紅花問屋口錢取極二付) 差出申一札之事

(冊子)

〔表紙〕

寛政六年

差出申一札

寅六月

藤助新田

惣百姓

差出申一札之事

京都江紅花問屋老軒相立、金百兩二付三兩宛口錢として
取立、右金高を以百五拾兩御圍穀貯申候由、願人有之候
趣、被仰渡候旨被申聞致承知候、此段商人共之儀者、諸事
掛物等取込勘定を以買入申物故、全百姓不益之筋二御座
候間、新規願之儀ハ御免被下、是迄之通り被仰付候様、
何方迄^淺御願可被下候、右為御願村中惣百姓連印仕、一札
差出申所如件

藤助新田惣百姓

庄助 ㊦

惣助 ㊦

忠蔵 ㊦

庄之助 ㊦

弥吉 ㊦

三四郎 ㊦

清六 ㊦

清蔵 ㊦

幸右工門 ㊦

久兵衛 ㊦

半兵衛 ㊦

藤兵衛 ㊦

吉十郎 ㊦

与蔵 ㊦

和蔵 ㊦

久助 ㊦

六蔵 ㊦

五郎助 ㊦

善吉 ㊦

権四郎 ㊦

兵右衛門 ㊦

専右衛門 ㊦

卯助 ㊦

甚右衛門 ㊦

傳蔵 ㊦

甚七 ㊦

御名主

組頭中

百姓代

二七 辰年諸品物歩判留帳（襖の下張り、断簡）

〔表紙〕

寛政八丙年

辰年諸品物歩判留帳

三月十六日

松平山城守内

今田弥五兵衛

一

覚

一 最上干紅花四箇

但考駄也

荷主溝延



覚

荷主溝延村

一 最上干紅花八箇

但駄二四箇附

与七

〔 〕上山領内ニ而相調申候干紅花荷物此度〔 〕江為差登
申候間、所々御改御番所無相違□通可被下候、以上

寛政八丙辰年六月

〔 〕御関所

松平山城守内

今田弥五兵衛

覚

一 最上干紅花六箇

但駄二四箇附也

荷主溝延村

和助

一 最上干紅花拾四箇

荷主大町村

間之助

役錢請取覚

溝延村

溝延村

一 貳百文 与七 一百文 和助

六月廿五日

一 四百文 大町 間之助 百五十文不足

一 最上干紅花四箇 荷主 同人

一 一百文 溝延 利兵衛 一 七百元 大町村 間之助

一 老駄

一 最上干紅花五箇

一 最上干紅花九箇 荷主 同人

一 老駄片馬

一 但駄四箇附也

覚

一 老駄老箇 七月朔日

一 最上干紅花六箇



覚

一 老駄片馬

一 最上干紅花拾六箇 大町 間之助 二渡 荷主 天童 八兵衛

六月廿五日

一 最上干紅花拾六箇 但駄四箇附也、四枚二出ス

覚

七月四日

一 最上干紅花拾貳箇 荷主



但駄三四箇付

覚

一 三駄

一 最上干紅花四箇 荷主 溝延村 利兵衛

七月

右著上山領内ニ而相調申候紅花荷物、此度上方江為差登申

候間、所々御改御番所無相違御通可被下候、以上

寛政八辰年七月四日

所々御改御関所

松平山城守内

今田弥五兵衛

覚

一 最上干紅花四箇

但老駄也

荷主溝延



七月十二日十五枚遣ス

漆山村
久次郎

二八 〆二紅花御仕入目録 (横帳)

(表紙)

寛政十二年

高橋村

同喜七

〆二紅花御仕入目録

申六月

大蔵村
稻村七郎左衛門様

覚

生花九メ九百六拾匁

一 金巻兩下

五月廿二日

壹貫七百九拾文

拾四メ百五拾匁

一 金巻兩貳分貳朱

廿三日

壹メ四百貳拾文

貳拾八メ七百七拾匁

一 金三兩三步

廿四日

貳×貳百壹文

五拾文

百六×四百五十匁

壹×百五拾匁

一 金拾六兩貳朱

廿五日

一 八百五拾文

二日

貳×八百八拾文

九拾貳×六百三拾匁

六拾四×六百匁

一 金拾三兩壹步貳朱

廿六日

一 金七兩壹步

三日

六×六百七拾五文

三百拾九×百匁

三拾壹×七百匁

四日

一 金三拾五兩貳步貳朱

廿七日

一 金四兩貳朱卜

四日

六×百六拾壹文

百貳拾九×匁

四拾×貳百匁

五日

一 金拾四兩卜

廿八日

一 金五兩壹分

五日

五×七百七拾文

貳百五拾五×五百匁

百八拾五×百匁

六日

一 金拾八兩貳朱

晦日

一 金貳拾兩貳朱

六日

六×五百九拾文

貳拾五×百匁

七拾×七百拾匁

七日

一 金三兩壹步卜

七月朔日

一 金八兩貳朱

五月廿一日
六月六日迄
手花

七メ三百四拾壹文

千三百七拾四メ百貳拾匁

メ金百七拾壹兩三步ト

四拾九メ八百六拾貳文

此金三兩ト三拾壹メ貳拾貳文

金ニメ金百七拾四兩三步

三拾壹メ貳拾貳文

但差引兩替 壹メ六百文

売買兩かへ壹メ五百七拾文

此掛り物

一 四百八拾文

文吉買 算違イ

一 拾四メ三百六拾四文

蓮數貳千五拾貳枚仕賃嶋手返

一 金貳歩貳朱

文吉方へ買口銭

一 貳朱ト五百四拾文

如三郎方へ右同断

一 貳メ百貳拾文

治兵衛・甚内方へ右同断

一 壹メ四百文

女共日雇代拾四人分

一 三百五拾文

彦兵衛方へ酒代拂

一 九百三拾七文

孫太郎方へ右同断

一 壹メ文

門太郎方へそば切廿

一 貳百六拾文

淡紙貳枚調代

一 壹メ三百廿文

間之助日雇十一日分

一 金貳歩

弥四郎日雇十七日分

一 金貳歩

与助右同断十九日分

一 貳メ百七拾文

仁八十五日半

一 壹メ五百六拾文

おきよ日雇

一 貳百文

彦兵衛娘日雇

一 三百六拾文

七兵衛へ酒代そば切之節

一 五メ五百五十四文

干同撰せん

一 貳メ八百文

柴代

一 五百八拾五文

ふご代

一 五百文

ほばふり壹ツ

- 一 三百三拾文
- 一 壹メ九百文
- 一 金壹兩三歩貳メ百文
- 一 貳百文
- 一 三百文
- 一 二百文
- 一 八百五拾文
- 一 三百八拾文
- 一 壹メ四百文
- 一 貳百文
- 一 四百拾六文
- 一 百九拾貳文
- 一 八拾文
- 一 七拾文
- 一 金壹兩壹歩六百分
- 一 八拾文
- 一 四百文
- 一 六拾文

- てんひん三本
- はんぎり貳ツ
- 花筵七百枚
- 彦兵衛へ干場礼
- 作左衛門へ小屋干場礼
- 甚三郎・六兵衛へ礼
- らうそく代
- 繩代店からかき
- 若衆へ酒代
- 袋詰ノ衆酒代
- 荷筵十六枚
- 同こも三拾貳枚
- 品荷十六枚
- 袋繼いと代
- 袋数貳百四十三代
- 荷送よりなわ百六十尋
- 荷繩六百尋
- 荷送酒代

- 一 六百四拾文
- 一 四百八拾文
- 一 四メ文
- 一 壹メ六拾文
- 一 金貳歩
- 小以メ 金五兩壹歩ト
- 五拾貳メ三百三拾八文
- 合 金百八拾兩ト
- 八拾三メ三百六拾文
- 此金拾三兩壹歩ト
- 百五拾文
- 印 金ニメ金百九拾三兩壹歩ト
- 百五拾文
- 錢相場壹メ五百七拾かへ
- 荷造同用
- 船町迄四駄駄賃
- 大石田迄舟せん
- 御役銀四駄分
- 日雇衆飯米代

造方

一 貳百四拾貳袋

高生 仕入

一 貳拾五袋

古北作分

〆 貳百六拾七袋

此訳

〆 高生拾七袋入

拾老丸

同 拾六袋入

三丸

同山 拾六袋入

老丸

同送高生六袋〇印老袋
合山兩八袋〽印老袋

老丸

〆 拾六袋入

〆 拾六丸 但四箇附 四駄也

五十四兩貳分着与申遣候

右者当申紅花御仕入目録書面之通御座候、以上

申六月

同喜七回

稻村七郎左衛門様

申

〆 二兩拾七入

四丸

右着五拾老兩老步上方へ申遣候

久太郎于

〆 二代小 拾六入

八丸

右着五拾兩貳步上方へ申遣候

弥八于

二九 紅花壳代金年賦借用證文之事

紅花壳代金年賦借用證文之事

一 金九拾兩三步

〆 印紅花貳駄片馬拾袋

亥七月壳代金目録表

此濟方当子之暮る来ル寅之暮迄

每年金九兩銀四匁八步宛十ヶ年賦

右者去々戌之秋、私宅紅御差為登被下候紅花、去ル亥七月

限り壳附代金早速御国元へ差下可申管之処、無拠私勝手
ニ遣込大ニ不埒仕候段恐入候、右紅花之儀、御差荷之事
故、代金取込同様之致方ニ候得者、是非才覚仕御渡可申与
存候得共、私正年内々不操合ニ而、当分何共致方無之、依
之十ヶ年賦ニ御願申上候処、早速御聞濟被成下、千万難
有存候、然ル上ハ書面之通、当子之暮方一ヶ年ニ金九両銀
四匁八分ツ、十ヶ年之内年々無相違返済可仕候、為後日
年賦金借用證文仍而如件

紅花代金借用人

京東洞院六角下ル

近江屋九郎兵衛

享和二年子正月

最上谷地

和泉屋藤左衛門殿

三〇 (紅花仕入金不足二付) 借用申金子之事

借用申金子之事

一 金貳拾兩也

但歩判金ニ而

右著当亥之紅花仕入金不足申二付、其段違々御頼申入右
金廿兩只今儘ニ請取借用申処実正ニ御座候、利足之義ハ
金拾兩ニ付壹ヶ月ニ銀九匁宛之勘定を以、七月晦日限り
元利急度返済可申候、万一返金差滞り候ハ者、請人引請弁
金仕急度相済、貴殿江御苦勞御捐毛之筋、少も相懸申間敷
候、為後日金預り請人加判仍而如件

湯野沢村金預り主

久 蔵

同村 請人

善左衛門

取次

文 六

享和三年

亥六月

三二 紅花荷物売代金借用證文之事

紅花荷物売代金借用證文之事

御両印紅花込荷五駄

一 正金百九拾六兩貳分 去々亥十二月限売附代

銀八匁六分四厘 金目録表也

此処

同金五拾兩 当時御渡申相濟候分

又金貳拾兩 当丑五月卅日限御渡可申事

又金三拾兩 当暮十二月卅日限御渡可申事

残金九拾六兩貳分 別紙出世證文ニ而相濟候分

銀八匁六分四厘

右者去々亥秋大津蔵入之紅花荷物藤左衛門殿御上京被成、御最眞御差図を以、私宅江送込ニ相成候処、其冬

十二月限ニ売附、代金売先^b日限相渡リ候故、翌早春右金目録表不殘御国元江無相違御下可申筈之処、私近年身上不如意ニ付、無扨右金私勝手ニ遣込不埒之段恐入候、尤紅花荷之儀^者、御差荷之事故、売代金取込同様之致方ニ付、去冬^b夫而已御支配御兩人御登リ被下段々預御催促、既ニ御公訴ニも可相成処、左様相成候^而者私家名相統難出来甚当惑仕恐入候、依之大黒屋久右衛門殿取扱を以、段々御歎御詫申上候処、格別之御了簡を以、正金百九拾六兩貳分銀八匁六分四厘之内、当時金百兩差入、殘金ハ我等出世可致迄、御待被下候段忝仕合ニ存候、然ル処于今渡世も相休ミ居候程之事故、当金百兩之才覚出来兼候ニ付、又々御願申前書之通右百兩之内当金五拾兩御渡申、又金貳拾兩来ル五月卅日限可差上、又金三拾兩当暮十二月卅日限ニ御取被下、当年中都合金百兩可相濟義、訳ケ而御願申上候処、御聞濟も不相成趣ニ候得共、厚キ御慈悲を以御承知被成下重々難有奉存候、然ル上ハ書面之通少も無相違限月毎ニ急度相濟可申候、若及遲滯候ハ、取扱人加判之者

引請急度弁済可仕候、尚又殘金九拾六兩貳分銀八匁六分四厘ハ私相續出世仕迄、仕合證文別紙差上置候、右者当金百兩割濟相濟候迄、為後證加判證文仍而如件

三二一 紅花代金借用出世證文之事

文化二年丑二月

紅花壳代金借用人

京東洞院六角下ル

近江屋九郎兵衛

右取扱人

同所烏丸通

大黒屋久左衛門

最上谷地

和泉屋藤左衛門殿

同寒河江

安達屋又三郎殿

御支配衆中

紅花代金借用出世證文之事

一 金九拾六兩貳分 但シ元金百九拾六兩貳分

銀八匁六分四厘

銀八匁六分四厘

内金五拾兩 此度正金御渡申

候

又金五拾兩 当丑五月十二月

兩度ニ御渡し可

申筈、別紙證文

表

ノ差引残り也

右者去ル秋大津蔵入之紅花荷物、藤左衛門殿御上京被成御鼻負御差図を以、私宅へ送り込ニ相成候処、去ル亥之極月限壳代金壳先を請取、且同翌早春目録表不殘御国元江早速差下し可申金子ニ御座候処、私近年身上不如意ニ付、無筋勝手成方江遣込ニ延引ニ相成、御国元も度々預御催促

候得共、其後調達も出来兼当惑致居候処、去冬中為御催
促御支配御兩人御上京被下御面談御申訳可仕様も無之、
尚又皆済可仕手段も無之、甚不埒之段恐入候得共、已に
渡世も相休ミ居候程故、身上躰も日々行詰り、一向金子
出方も無之、殊更去ル戌年御差荷紅花代金も格別御憐愍
を以、十ヶ年賦ニ御取立御願申上置候上ニ而、重々不屈成
ル致方故、一通之挨拶ニ而ハ御聞済も無之筈と可申上御言
葉ニも行当り申、当時如何様ニも致方無之趣思ひ日数
延々相成候処、無謂取込候金子故町役方江御願被成、既ニ
御公訴ニも可相成段、則御旅宿扇屋正七殿も御内意有之
驚人奉存候、若ヤ江戸御出訴ニも相成候而ハ、私家名ハ勿
論町内迄も及難渋候義不輕事、甚以恐入歎ケ敷被存候、
依之ひたすら御歎き申上、書面之通り本金之内金百兩都
合当年中ニ差入、別紙證文表ニ而御請取被下、殘金九拾六
兩貳分八匁六分四厘ハ、我等出世致候まで御延引御用捨
被下、仕合證文ニ而御聞済被成下候様、大黒屋久左工門殿
御取扱并扇屋正七殿御添言を以御詫御願申上候処、御承
知難被成趣之所、厚キ御恩召を以、前書之通殘金ハ我等

家名出世迄御待被下候様御聞済被成下、重々難有存候、
誠ニ右殘金之義ハ格別之御慈愛を以、私出世迄御延引被
成下候上ハ、此已来何卒御陰を以渡世相働キ私家名相統
仕、不致等閑ニ紅花問屋ニ而身上行立次第可相成丈ケ追々
ニも返納可仕候、為後日年延金借用證文仍而如件

文化二年丑三月

京東洞院六角下ル町

紅花代借用人

近江屋九郎兵衛 卍

羽州最上谷地

和泉屋藤左衛門殿

同 同 寒河江

安達屋又三郎殿

御支配衆中

三二一二(京都紅花売買二付)一札之事(謄写)

一 札 之 事

一 於京都紅花売買之義、近年問屋十四軒ニ相究荷物心之俟ニ引請、其上年々順番之様ニ潰由、出商人方大分損失相掛申候得者、殊之外商人百姓共及困窮迷惑仕候故、我々兇端ニ而罷登り、先年之通被為仰付被下候様ニ奉願上候ニ付、各方頼入印形申請候、然上ハ唯今迄問屋共銀高二三步口錢相立置候所も式歩口錢ニ為致可申候

右之通御願之筋成就致し候ハ、殘老步之所者願人方江可申請候、万一願成就不致ハ、願之筋入用惣雜用損毛致し、右願之義ニ付如何様ニ被為仰付候共、各方江御苦勞御損一切掛ケ申間敷候、尤各方被仰渡候定書之外余願曾而仕間敷候、勿論新庄御領東根御領山形御領其外村々諸商人衆印形同意ニ相揃候ハ、掛御目可申候、若し相揃不申候ハ、右願書之筋相止メ、各方江御印形

相返し可申候、為其一札仍而如件

元文五年申ノ閏七月

鈴木忠助 (印)

中村六郎兵衛 (印)

柘屋甚右衛門 (印)

太田藤四郎 (印)

柘屋新次郎 (印)

証人 青柳喜惣次

土屋勘右衛門殿

たみや五右衛門殿

伊藤左兵衛殿

たみや忠右衛門殿

細矢 左衛門殿

三二一三 紅花通行切手 (謄写)

紅花片馬但四箇附、荷主北口村与左衛門、当領ニ而相

調、北国通上方江為差登候条、御改所無相違御通可被下

候、以上

亥八月廿八日

戸沢上総介内

時田宗助（印）

大石田

御役所

一 銀拾五匁

二朱判打
分判切ちん

一 銀拾貳匁

福島迄金子
下し駄ちん

銀四拾壹匁式分壹厘

此金貳步式朱卜四匁三分三厘

差引残テ

步判金四拾九兩三步

銀拾匁四分貳厘

三二一四 紅花仕切（贍写）

仕 切

現金四拾五兩也

一 金五拾兩貳步貳朱 へ仕入最上花壹駄八袋

右之内

一 銀壹匁壹分七厘 御手板添金不足つるか清水へ払

一 銀五匁八分四厘

塩津運賃
中村へ払

一 銀七匁貳分

大津駄ちん
白銀屋へ払

右之通、売附紅花代金不残差下シ、此表無出入相濟申候、
尤端銀拾匁四分貳厘者、私方預り置キ申候、重而差引可
仕候、以上

天明元丑年

霜月拾六日

若山屋喜右衛門（印）

柴田弥右衛門殿

三三、三四 紅花代金借用出世証文之寫

(三三—一の複写につき除く)

一同 十七日
五百目

代百六拾三文

内四拾八文手花

一同 十八日
壹貫六百目

代四百九十文

内貳百七十五文手花

三五—一 紅花売買覚帳(横帳、コピー)(注、以下三
点は大江町三郷渡辺家の襖の下張りである。)

三口ノ貳貫七百五十匁

代八百五十三文

(表紙)

「文化四年

紅花賣買覚帳

〇正ミ百五十目
五ツ四分

卯六月十六日」

十九日
一 三メ五百五十目

代卷メ貳百九拾六文

内五百三十文手花

覚

六月十六日
一 六百五拾目

一同
卷メ三百七十目 和合

卷メ四百七十目 小用

代貳百文

内百文手花

ノ貳貫八百四十目

代巻メ百三十五文

四百十七文

万太郎

小以メ六メ三百九十め

三百かり

三次郎

代貳メ四百三十巻文

六百文手花

廿日
一 五メ三百五十目

六メ七百目

松三郎

代巻メ九百三十五文

代貳分貳朱ト八拾文

内巻メ文手花

廿貳文

おふち

百五十七文

万太郎

巻實四百七十目

松之助

一 三メ貳百十目

新蔵

代貳朱百文

代巻メ三百五十文

メ拾實百九拾目

一 五百目

新蔵

代金巻両ト巻メ三百三十文

代貳百十文

巻メ四百七十め

小以メ九貫百目

一 貳朱三十文返り

代三メ四百九拾五文

メ十巻メ六百六十め

二口メ十五貫五百目

金巻両四百五十三文

代五メ九百廿六文

外百め

○正味六百め 三つ八分

○正ミ四百め

廿日
一 六メ九百七十目

六ツ八分

与蔵

代巻メ百十八文

..... (以下切レ)

六月廿二日
一 八百目

代三百廿文

内貳百立

同
一 卷メ百四十め

三次郎

代四百六十文

内

一同
一 四百五十め

万太郎

代百八拾文

一同
一 百七十め

七兵衛

代六十文

一同
一 貳メ七百五十め

久四郎

代壹メ百三十文

一同
一 貳メ七百め

手華

代壹メ八拾文

八貫目

代三メ貳百八拾文

○ 正メ四百三十目

三百四十文

六月廿三日
一 貳百七十め

四ツ貳分

万太郎

代百三十五文

一同
一 四十文かし

四百六十目

三次郎

代貳百六十五文

一同
一 卷メ六百三十目

久四郎

代八百五十文

一同
一 内三百立

卷メ四百目

手花

代七百分

八三メ七百六十め

代壹メ九百五十文

○ 正味貳百七十め

七ツ卷分

五十三メ七百四十め

此正味三ツめ 五ツ半

六月廿八日

一 巻×貳百め

内百四十五文手花

代五百六十四文

内百文かし

与蔵

五十文同

長太郎

○正ミ百め

八ツ三分

六月廿九日

一 八十文

与蔵

一 百□□□

久四郎

一 四十□□

手花

×八百め

代貳百七十貳文

百十文

源次

三十四文

七兵衛

×巻貳百目

他四百廿文

○正ミ九十め

七ツ半

七月一日

×巻貳百三拾目

代四百十六文

六百五十め

一 百六十文

与蔵

六百□□め

一 三百文

久四郎

□百貳□之内貳百 立

××廿め

一 五百文

手花

×貳×七百八十め

代×三百三十三文

廿七日 一 巻貳七百七十め

代六百八十巻文

内三百五十文手花

三百

久四郎

二口×四×四百八十文

代貳×十貳文

○正ミ三百め 六ツ七分

代百三十五文

一 卷メ四百六十目

久四郎

代八百十七文

内金卷分渡し

一 卷メ六百目

手花

代八百八拾文

一 三百八十目

与藏

代百九十文

内九十文立

一 百め

万藏

代五十文

一 七百四十め

勘次郎

代三百七十文

一 百四十文

三助

代六十七文

四メ五百九十目

代貳メ五百九文

十四メ九百七十三文 卷兩分

廿五日

一 百五十め

万太郎

代八拾貳文

一同 五百廿め

清吉

代貳百八拾文

一同 内百八拾文立

一 四百六十め

左之助

代貳百七十文

塩引代二成

一 廿貳文

□□良

一 卷メめ

手花

代五百五十文

一 九百十匆

久四郎

代五百十六文

三メ五十め

卷メ七百廿文

二日ノ分七ツ貳

○此正五百五十め

.....(以下切レ).....

一 百六十め

三五

万太郎

代五十六文

同
九十め

五

手花

代四十五文

三五一二 紅花売買覚帳(横帳、コピー)(注、同前)

○十五匁あがり六

納かし

(表紙)

「文化五年

六月十九日
正味四百五十目

一 金匁分四百四拾六文 長太郎

紅花売買覚帳

代金五兩匁分貳朱

六月二日
一 六拾目 万太郎

辰閏六月一日 内老両手附二取

代三十文

四兩匁分廿日二

○五匁あがり

大寺村

買人 源七

六月三日
同 百め

才工兩人権平

一 三十文

手花

同人 栄蔵

同

一 五百九十め内貳百四十め 万太郎分
代八十文

覚

團六月朔日

代百九十文

ノ六百九十め 代貳百貳十文

○四十貳匁 六ツ

六月四日
一 百六十め 五 手花

代八十文

同
一 卷ノ四十め 四五

代四百六十文

ノ卷ノ貳百目

代五百四十文 四五かへ

○正ミ百三十め 十一

一 貳

九拾五文 五卷

五文 手花

○貳百四十め

同六日
一 三貫六百目 五七かへ

代卷ノ九百四拾文 五□

内三百五十文 手花

○正ミ三百三十め

六月七日
一 三ノ九百八拾目

代貳ノ百廿三文

内三百五十三文 手花

六月八日
一 四百六十め 万太郎

代貳百七十六文

ノ四ノ三百五十め 六かへ

代貳ノ五百八拾文

内四百三十貳文 手花

二口ノ八貫三百三拾め

代四ノ七百五文

○正ミ七百三拾目

六月九日
一 四ノ三百八拾目

代貳メ五百廿貳文

内三百五十文

手花

正ミ〇四百十尙

ノ十貫貳百五十め

五メ八百六文

二口ノ十四メ三百め

代八匁百五十文

六月十日

一 五メ八百八拾目

代三貫貳百七拾文

五八

内三百七十文

手花

正ミ〇四百四十め

六月十三日

一 貳メ七百貳拾文

〇卷メ貳百五十め正ミ

外六十文なしちん

六月十一日

一 四メ五拾目

代二貫三百四拾文

内貳百六拾文

手花

六月十二日

一 四メ八百五十文

松之助

代老分貳朱四百五十文

一 五メ四拾目

代貳メ八百六文

内百九十文

手花

六月十四日

一 貳貫百め

〇正ミ貳百廿め

代老メ三百四十文

代老メ八拾文

内口百十文

手花

六月十五日

一 六百め

貳百五十貳文

一 老メ八百四十め

代貳朱

ノ貳メ四百四拾め

代貳朱ト貳百五十貳文

ノ四メ五百四十め

貳メ百八十文

○正ミ三百六十め

一 貳朱ト貳拾五メ六百五文

此金十五切貳朱 百五文

内巻分五百六拾文 手花

此正ミ四メ百七十め

六月十九日賣五兩巻分貳朱

老阿 手花

四兩巻分受取

六月十六日
一 四百め

代百五十文

○正ミ五十文

六月十八日
一 貳百四拾め

九十六文

○三十め

六月十九日

六十文 百五十め

○正ミ十五文

三口

ノ九十目

代 三百十文 二成
六百文

惣合五兩巻歩貳朱六百十五切四百十文本

巻兩貳分貳朱とく

外二七百十四め

三百廿五文

(下に別紙で)

「五兩考分式朱源七

六百元 権八

三百廿五文惣次

〆五兩式分七十文

内六切五百とく

一同 六百元

内真さ遣ハし渡

久四郎

一同 同 六百九十

三次郎

考分渡

六月十日 六月十五日済
一 四百八十め

万太郎

代貳百八十三文

一同 八百七十文

長太郎

内百七十文立

一同 三百七十文

権太郎

一同 五百五十文

文助

但考分渡式朱万歳と受取

六月九日
一 百文 十二日済 与蔵

一同 貳百六十文

新五郎

〆四メ百七十め

ふりめ

百五十め二成

六月九日
一 九百六十文

長太郎

内貳朱立

外考分米代受取

内六十文立

六月十一日
一三百七十め

万太郎

代貳百三文

一同
一貳百

久四郎

貳百三次郎

十二日渡

一同
一五百

庄松

内三百鯨代引

一同
一 百

万太郎

同

一 六百

長太郎

文助

(上切)

三次郎

権太郎

(上切)

十三文 長太郎

万蔵

三次郎

文助

濟 半蔵

百五十文 長太郎

日

万蔵

六文 長太郎

濟 半四郎

十五文半

十文新

内九十五文立

長六

三次郎

百五十六文

五百八十文

内四百三拾貳文 手花

万太郎

(以下切レ)

八日

五百六十文

卷メ四百め

九日

四百め

代貳百四十文

十日

九百五十め

代六百十文

三五―三 紅花売買覚帳(横帳、コピー)(注、同前)

八百口十め

代四百六十文

卷メめ

代六百五十文

三日

卷メ六十め

代六百九十文

(表紙)
〔文化五年〕
未六月五日

四日

卷メめ

代六百五十文

紅花賣買覚帳

手花

十五日

六百文め

代三百六十文

二十五日
十め

代廿文

十六日

五百四十め

代三百廿四文

二十六日
百め

代百六十文

十七日

四百五十め

代貳百七十文

口百六十め

代百三十文

十八日
三百九拾め
代百九十文

十九日
貳百七十め
十九日
代八十壹文

十八日
二百め
代九十文

廿一日
七拾匁
代廿八文

廿二日
百五十匁
代六十文

貳拾文
廿三日四匁

ノ九メ貳百九十め
十メ八十め

五メ五百九十三文

一 六百三十文 小うり物

一 四百文 屏風とく

一 貳分 花のとく

ノ金四兩貳分

壹メ四百文

利足ハ壹兩貳朱出入なし

一 金貳兩壹メ貳百七十文 木実

一 金壹分五百文 はき

百九十七わ

一 金七兩貳分七百文 青芋

一 金貳分 花

一 金貳メ八百六十文 米

ノ金十壹兩六百文

合金拾五兩三分 總四百文

子十一月廿七日勘定

文化辰年

..... (以下切れ)

..... (前切れ)

..... (斷簡、前切レ)

此金左沢十助と貳両受取之内、貳金柿買ニかし、不濟

一 百文 左中村 新藏

午壬正月廿日
一 金壹分ハ 同人

是ハ閏正月式朱百之質請て、利足ハ九十文、貳朱九

此金左中山買と申て頼付かし

十文ニ付受取て、右百文ハかし成、楮質

十二月と正月の六百ハ濟

午二月

..... (以下切レ)

一 竹貳本 おなつ

午二月廿六日

..... (前切レ)

一 廿四文 おなつ

五月廿五日かんざし銀

一 貳朱 船守

ふり出巻つ

同三月

紅花塀切 (塚カ)

一 十貳文 同人

..... (以下切レ)

ふり出巻つ

三月廿二日

一 三十八文 なんこん卅 同人

午三月
五十文 新藏

たはこ買ニかし、たはこで相濟

一 金貳分 用村 新藏

花にて濟

午三月
花たね巻升 同人

..... (以下切レ)

午二月廿五日
一 貳朱ハ

同人

是ハ粧坂指出

..... (以下切レ)

文化五年

辰十二月晦日

柴田弥之助殿

三六 紅花仕切覚

紅花仕切覚

一 金貳拾三兩ト

◇ 最上紅花

三匁七分の

十八入貳丸

四拾壹兩かへ

メ片馬ト四袋

右之通、慥ニ買請此代金不殘相渡無出入相濟申候、若不
足違等御座候ハ、重而差引可仕候、以上

鳴屋清兵衛印

三七 (紅花問屋經費承認二付) 内仲間取極書(冊子)

(表紙)

「内仲間取極書」

今般紅花問屋願之議御申合、郡中向々惣代名主中より印形
申請、小前為惣代西里村新九郎、東根村庄右工門出府致
候ニ付而者、郡中諸入用之儀、内仲間一同出金致し無差支
様取計可申候、尤江戸牛込若五町林右工門・徳兵衛合願
ニ対談致候事ニ付、是又雜用無高下出金之積取極申候、
且願首尾之上、向々問屋詰之儀者、其節致対談候積、依之

一同取極印形致置候処、仍如件

文化八末年九月

東兵衛[㊦]

善右衛門

伊三郎

茂八

藤右衛門

庄右衛門[㊦]

新九郎

庄六

林右衛門

徳兵衛

十月晦日限

金五拾三兩かへ

一金五拾九兩貳分貳朱 [㊦]緋桃御印 壹駄八袋

此り金壹分貳朱 壹ヶ月分八朱ツ、

六匁壹分貳厘

一 金百六拾五兩壹分 日限金五拾四兩壹分かへ 同大紅御印 貳駄三袋

貳匁五分七厘 同孔雀御印 壹駄

〆三駄三袋 おし込

此利金壹兩壹分 壹ヶ月分八朱ツ、

四匁三分貳厘

日限金四拾九兩壹分かへ

一金三分 同大紅印 サシ壹袋

壹匁壹分七厘 〆

此り銀三分六厘 壹ヶ月分八朱ツ、

現金五拾貳兩かへ

一 金三拾九兩三步 同吉紅御印 片馬拾七袋

三匁七分五厘 〆

三八 紅花仕切

仕切

一 金百拾貳兩貳分 同金五拾兩かへ 同金時御印 貳駄拾六袋

金三百七拾九兩貳分

銀拾八匁貳分九厘

右之内

一 金老兩三分貳朱 ⑩緋桃四丸 同雨飛六丸

銀拾三匁三分 同雨天貳丸 同吉紅三丸

同金時八丸

右之荷物駄運ちん拂

指引

金三百七拾七兩貳步貳朱

銀四匁九分九厘

右之通御相對を以買請申紅花代金、書面之通不殘相渡し、此表無出入相濟申候、万一披袋違花有之候ハ、重而御指引可被下候、為其仍而如件

文化十四年

丑十一月晦日

若山屋喜右衛門^⑪

榎藤左衛門殿

三九 紅花為替金請取置證文之事

紅花為替金請取置證文之事

一 金三拾九兩也 但步判金也

此引当紅花

⑫仕入印紅花七拾袋

外二梅印五袋

⑬七拾五袋 但拾八入老丸、拾九入三丸

右之通、京都伊勢屋理右衛門殿江紅花荷為替取組、本紙證文相渡、右荷物着次第、右金十月晦日限り本紙引替二相

渡可申候、若右荷物海上積船難風ニ逢、荷物濡^(ぬ)攔^(ら)亦者打荷致不足出来候とも、聊無相違殘荷物引請、積船物仲間割合、掛物伊勢屋理右衛門殿^右為相渡可申候、若京都^二而売損出来不足金御座候ハ、此手形を以於爰許^二無相違急度相渡可申候、万^一破船^二而荷物皆無流失致候ハ、而損^二而直々出入無御座候、為後日置證文仍^而如件

為荷替主
溝延村

文政元年八月

谷地

丹野善治郎^印

榎藤左衛門殿

一 步判金拾八兩三步也

但拾九袋入老丸
拾八袋入老丸

此引当^印印仕入紅花

貳 丸

右者私仕入紅花為替^二相渡、於当地榎藤左衛門殿^右金髓^二請取申所実正也、依之右為替金於京都^二榎藤左衛門殿十月晦日限り、此手形を以請取向可被成条、右紅花荷物引受、書面之金子無相違早速御渡可被下候、為後日紅花荷物引当金請取手形仍^而如件

羽州最上大町村

武田才兵衛^印

文政元年八月

京都烏丸通錦上ル所

若山屋喜右衛門殿

四〇 紅花荷為替金請取證文之亭

紅花荷為替金請取證文之事

四一 紅花荷為替金請取置證文之事

紅花荷為替金請取置證文之事

一 金百五拾毫兩ハ 但歩判金也

此引当紅花荷物

ハや吉 但十七袋入五箇
雨印

内谷雨三袋入

ハや雨 但十八入四箇
錦印

ハや仕 但十七入四箇
入印

内天雨式袋入

ハや最 但十八入式丸 四箇
上印 十九入式丸

右之通、京都若山屋喜右衛門殿紅花荷為替取組、本紙證文相渡、右荷物着次第、右金十月晦日限本紙引替二相渡

可申候、若右荷物海上積船難風逢荷物濡攪、又者打荷致不足出来候共、聊無相違殘荷物引取、積船惣仲間割合、懸り物若山屋喜右衛門殿を為相渡可申候、若京都ニ而壳損出来不足金御座候ハ、此手形を以於爰許無相違急度相渡可申候、万一破船ニ而荷物皆無流失いたし候ハ、兩損ニ而互ニ出入無御座候、為後日置證文、仍而如件

大町村荷為替主

文政元年寅八月

柴田弥右衛門印

新町村

真木藤左衛門殿

四二 紅花仕切

仕切

三月晦日限金三拾九兩かへ

一 金四拾七兩貳步 (⊕)極天御印 壹駄拾四袋

壹匁八分七厘

右之内

一 金壹步貳朱 御相對を以壹分引

六匁壹厘

一 金壹步貳朱 右殘金壹ヶ月分

五匁七分

利足引

金三步
銀拾壹匁七分壹厘

此金貳朱卜四匁貳分壹厘

合金三步貳朱

銀四匁貳分壹厘

差引

金四拾六兩貳步

銀五匁壹分六厘

右之通、御相對を以買請申紅花代金、書面之通不殘相渡、此表無出入相濟申候、万一拔袋違花等有之候ハ、重而御差引可被下候、為其仍而如件

文政三年

若山屋喜右衛門 (⊕)

辰三月二日

榎藤左衛門殿

宇野 忠藏殿

四三 紅花仕切

仕切

極月晦日限

金三拾壹兩かへ

一 金三拾五兩三步 ②金時御印 壹駄拾袋

五匁六分貳厘

右之内

一 金壹歩 御相對を以

六匁五分 壹分通割引

指引

金三拾五兩壹歩貳朱

銀六匁六分貳厘

右之通、御相對を以買請申紅花代金、書面之通不殘相渡し、此表無出入相濟申候、万一拔袋違花等有之候ハ、重而御指引可被下候、為其依而如件

若山屋喜右衛門⑩

文政三年

辰極月晦日

榎藤左衛門殿

御支配人

宇野 忠藏殿

四四 紅華為替金請取置證文之事

紅華為替金請取置證文之事

一 金拾八兩也 但歩判金也

為此引当⑩⑪仕入紅華 拾八袋入 三箇

右之通、京都伊勢屋理右衛門殿江紅華荷為替取組、本紙證文相渡、右荷物着次第右金九月晦日限り、本紙引替ニ相渡可候、若荷物海上積船難風ニ逢、荷物濡攪又者打荷致不足出来候共、聊無相違荷物引取、積船惣仲間割合、掛り物伊勢屋理右衛門殿より為相渡可申候、若京都ニ而壳損出来不足金御座候ハ、此手形を以於寔元ニ無相違急度相渡可申候、萬一破船ニ而荷物皆無流失致候ハ、兩損ニ而互

二出入無御座候、為後日置證文、依而如件

樽石村

文政八年西七月

為荷替主

齋藤久右衛門

新町村

槇藤左衛門殿

封印

金式分也

大石田先添金

御出判

壱通相添

右者北国通京都江為指登申候間、其着濡摺貫目封印等能々御改御請取、早々先々江送り届可被下候、尤駄運賃之儀ハ、右添金之内御引取可被成候、若過不足之儀者、京都伊勢屋理右衛門殿江御差引可被成候、為其紅花荷物送り手形、仍而如件

最上谷地

四五 紅花荷物送り手板 (折紙)

文政十亥年

細矢与左衛門

七月

(包紙上書)

最上谷地荷主 細矢与左衛門

紅花荷物送り手板 壱通

大石田

設楽治郎右衛門殿

紅花荷物送利手板

酒田

越後屋長治郎殿

一八 極拾八袋入 壱丸
上式拾袋入 壱丸

敦賀

田保孫右衛門殿

塩津

仲村佐右衛門殿

大津

川口 弥藏殿

京都

伊勢屋理右衛門殿

行

赤 九拾四袋

四拾七両かへ

染 代金六拾九両

永三拾壹文三分

外二

端花半袋

代金壹歩ト永百拾七文貳分

雨 六拾五袋

四拾六両貳歩

紅 代金四拾七両貳朱ト

かへ

永百壹文五分

四六 紅花仕切書控 (横帳)

雨 七拾四袋

五拾両貳歩

頭 代金六拾兩貳朱ト也

かへ

外二

端花貳百五匁

代金壹歩ト永百五文三分

紅花仕切書

卯七月 控

(表紙)
「天保二年

周 七拾八袋

五拾壹兩貳歩

防 代金六拾貳兩三步卜

かへ

永拾五文六分

上 代金四拾五兩貳步

かへ

小部式

六拾八袋

五拾兩

代金五拾三兩貳朱

かへ

内

金壹步貳朱卜

自へり(減)

花 六拾七袋

五拾兩貳步

山 代金五拾貳兩三步卜

かへ

永百拾七文貳分

永六拾文

貳百六拾壹匁壹分代引

金貳步也

袋置目分引

紅 六拾六袋

五拾壹兩

泉 代金五拾三兩壹步貳朱卜

八六九かへ

永百拾四文九分

侍 代金貳拾壹兩

かへ

内 貳拾七袋

五拾兩

永九拾三文八分

外二

端花半袋

代金壹步貳朱卜永三拾文貳分

最 五拾六袋

五拾貳兩

伊 九拾八袋 五拾三兩

勢 代金八拾壹兩貳朱卜 かへ

永三拾壹文三分

代金四兩卜永六文

外二

端花取集壹袋入

七袋二成ル

皇 九拾三袋 五拾壹兩

嘉 代金七拾四兩卜 かへ

永百九文四分

讚 七拾九袋 五拾三兩貳歩

岐 代金六拾六兩卜 かへ

永三拾九文

泉 拾六袋卜 四拾八兩貳歩

式 端花百六拾匁 かへ

部 代金拾貳兩壹歩貳朱卜

永拾六文七分

大 七拾七袋 四拾九兩かへ

輔 代金五拾八兩三歩貳朱卜

永七拾八文壹分

外二

端花取集貳袋入

拾八袋二成ル

外二

差花四袋

代金貳匁壹歩

古 六袋卜 四拾兩かへ

花 端花百九拾貳匁

八拾壹袋

代金合六拾壹兩貳朱卜

永七拾八文壹分

小 七拾五袋

衛 七拾貳袋

柳 代金五拾貳兩三步卜

門 代金五拾貳兩三步三朱卜

永百貳拾八文七分

永百六拾壹文四分

兩 百八拾三袋

露 代金百四拾六兩壹步卜

右 百九袋

永四拾三文九分

近 代金八拾七兩貳步貳朱卜

永拾九文八分

合袋數

千八百貳拾七袋

金 百三拾七袋

此分貳拾八駄五步四厘余

花 代金百八兩貳步貳朱卜

代金合

永六拾文九分

千四百拾八兩三步三朱卜

永壹×五百三拾八文

天 貳百拾九袋

飛 代金百六拾兩三步卜

諸懸り

永九拾七文六分

貳拾五駄壹分貳厘五毛
一 金貳兩卜

御役永

永貳拾毫文三分 御口永

手板貳拾貳通

一 金拾三兩三步

手板 添 金

一 金五兩壹歩

長崎方

錢毫メ貳百文

大石田迄

諸懸リ駄賃

袋千八百貳拾七袋

一 錢七メ三百八文

四文懸リ 荷造賃

(貼紙)

一 金四兩貳朱ト

式駄 袋拾貳駄

永百八文九分

片馬ト

拾三袋代

壹駄 貳拾匁宛

一 錢三メ貳百貳拾四文

荷造繩代

一 同四メ貳百拾貳文

荷造薙代

一 同毫メ四百九拾文

荷造こも代

一 同九百九拾文

荷造下薙代

壹駄ニ付五匁宛割三駄分

一 金壹歩也

為替取組口銭

一 金六兩貳歩

六月渡し差替金

永七拾貳文七分

五百貳拾五兩三步一朱

分利足

一 金壹歩也

中の目宿へ

茶代

一 錢毫メ六百文

中の目方

花持運

駄賃

一 同七百文

袋詰メ之節

女雇賃七人分

一 同六百文

為替取組ニ付

山形行雇賃

外ニ貳百文

小遣入用

一 同五百四拾五文

永三拾貳文九分

山形へ兩度

天童山辺行

雇賃外駄賃小遣共二

右、書面之金子槌ニ請取、右之通、此表無出入相濟申候、
若算用違等之義も有之候ハ、重而御差引可被下候、為念

一 同六百文

岡の花

持運駄賃

如此ニ御座候、以上

天保二年

羽州最上長崎

一 金壹分也

色々立替分

卯七月廿二日

柏倉文藏

嘉兵衛

一 金五兩貳歩

目早口錢

京都錦小路烏丸西へ入ル所

市村屋弥三郎殿

× 金三拾七兩三步貳朱ト

宗 助殿

鏢貳拾貳メ六百六拾九文

此金直し

四拾壹兩貳分ト

永百拾九文九分

四七 江戸渡紅花買請手形之事

兩替六メ四百文

合金千四百六拾貳兩一朱ト

江戸渡紅花買請手形之事

一 紅花貳拾袋 但し此造り天印壹丸

老駄ニ付金五拾貳兩替 天秤合附、当所にて

代金拾六兩壹分也 相濟

内 貳兩也 手附金渡

殘金拾四兩壹分也

右之通、買請申処実正ニ御座候、江戸表荷着次第横山丁
近江屋源七殿江、書面之金子引替急度取引可仕候、万一相
定之日限取引延引仕り候ハ、貴殿方にて御自由ニ御売
払可被下候、其節何之違乱申間敷候、為後日紅花買請手
形依而如件

取次證人

小嶋屋十右衛門殿印

天保八年

酉三月十四日 買主

同 七右衛門殿印

佐藤利兵衛様

高田為治郎殿

四八 京都府総合資料館史料（コピー）

（一）口触（結徒党禁止之事）

口触

於京都諸商売ニ付、座を取立申事、朱銀兩座之外法を立
多勢をくミし、結徒党座を立申事、従前々堅ク御制禁た
るに依て、先規板倉周防其旨を書出し、令触知之処ニ、
近年ニ至て私ニ寄合をいたし、座をくみ候而諸商売仕族
有之旨有共聞候条、自今以後先規之制禁を違背し、私に
座を組申輩於有之考、急度曲事ニ可申付条、早速奉行所江
可申来、縦同類たりといふ共、其科をゆるし、品より御
褒美可被下之旨、京都町中此旨を令触知、町々年寄共方
方一札取之可指上者也

万治貳年

佐渡御在判

亥七月廿三日

下京 町代

寛政十二年

御用紅花行事

申二月

吉野屋六郎兵衛殿 印

紅花御荷主

(二) 紅屋衆中一統被申出候趣

御衆中

紅屋衆中一統被申出候趣

一 筆啓上仕候、向暑ニ相成候処、各様被遊御揃、益々御
壯健ニ可被遊御座奉珍重候、随而当方私共無異儀罷在申
候、乍御休意可被下候

一 此度紅屋衆中一統も頼被申出候趣写、左ニ入御覽ニ

申候

一 紅花目入之儀、前々も正味五百目之定ニ候而、御取

引政来候処、五百目有之候者、近年少り甚く不同ニ而

迷惑仕候、且袋紙も追々重ク相成困り入申候、依之

当新花も定々通五百目宛無相違有之候様被成、袋目茂

式拾目迄ニ相成候様、国方江御通達可被下候、万一目

欠有之候ハ、直段之内ニ而欠引いたし可申候間、此

儀御承知被成置可被下候、以上

前文之通正月廿四日紅屋中ち花屋衆并ニ私共へ被申候、

依之私者紅屋衆中江及返答ニ候者、前々より欠引と申事無

之候得共、此段出来不申、併目方五百目入之儀、不同無

之様ニ者、御国方江情々通達可仕段、返答可仕候得共、是

悲共右之趣相心得候様、又候二月十五日押而被申出候ニ

付、無扨御在京御荷主中様私共二月廿六日打寄、右一件

及相談ニ候処、御荷主中様被仰聞候ニ者、国方荷造之節、

五百目ツ、掛廻し致為差登候得共、遠路海路登り候儀、

道中ニ而目減等出来候事者無扨候間、欠引等致候儀者難相

成候、併花干揚々善悪ニ而、当地江着之上格別目輕之品茂有

之候ハ、其花ニ対し直段ニ込メ売買可致段被仰聞候ニ

付、此旨紅屋衆中江懸合、種々心配仕及応対申候処、漸々

得心被致、左候ハ、欠引之儀者一卜先御延引可致、併当新

花_ら弥五百目入袋目_茂、右二准し相改候様、御国方江致通達候様、紅屋衆中_ら被申候、此趣二候得_考、御在京御荷主方_{二茂}、御納得被成下候儀二付、右御国方通達可仕旨、三月十四日紅屋衆中江私共返答仕候

右之趣二御座候得_考、是迄_茂御女才者無御座候得共、当新花_ら袋詰之節、被為入御念目方等御改メ可被下候、奉頼上候、売庭之儀ハ随分出情可仕候、無御替御出荷之程偏二奉希上候、猶又御近辺紅花為御登被遊候御方_{江茂}、右之趣宜敷御通達可被下候様、是亦奉頼上候、右可得貴意如斯二御座候、恐惶謹言

四月十四日 十五日書状

藤屋 忠兵衛

(寛政十二年)

最上屋 喜八

市村屋弥三郎

羽州最上 紅花御荷主中様
奥州仙台 同

(三) 乍恐奉願上候口上之覚 (殘銀返濟之事)

乍恐奉願上候口上之覚

一 此度惣藏算當之儀、於当御殿御調被為仰付、引負銀明廿八日上納可被仕候旨、被為仰付奉畏候、右引負銀壹貫貳百貳拾七匁之内、六百三拾匁は先達而藏表_二而借用銀二御座候_而、右返濟之儀_考月別募方銀を以返濟可申旨、示談仕置候処、其後旁銀漸年二壹ケ度か二ケ度に御座候二付、無扨返濟及遲滞候、此以後_考壹ケ度_二而も請取候節_考、募方銀半銀匁差入可申候間、此段御聞届被成下候様二奉願上候、殘而五百九拾七匁之所、上納之儀此間_ら色々_と才覚仕候得共、兼而達御聞候通之難涉御座候て、不都合二御座候、明日之処金五両_考漸調達仕候得共、其余之処難相調、奉恐入候得共、五百九拾七匁之都合金、来ル六月晦日迄之処、御延引被為仰付被成下候着、此上之御憐愍と難有奉存候、此段宜敷御沙汰奉願上候、以上

享和二年五月廿七日

願主 今西三位 印

鷹司閔白様

奥 三位 印

御諸太夫中

(四) 大坂より来状之写 (紅屋取引仲間之享)

大坂より来状之写

一筆啓上仕候、寒冷之節ニ御座候處、先以各様益御安康被遊御座奉珍重候、然者当地紅屋中取締申堅メ、紅花取引之分、左之名前拾軒之外一切取引不仕候

堺屋庄兵衛

近江屋安治郎

嶋屋清兵衛

福田屋太右衛門

肥前屋藤兵衛

紅屋卯兵衛

大和屋儀助

大塚屋嘉兵衛

伊勢屋喜兵衛

肥前屋武兵衛

拾軒

右之通御座候、依之其御地紅花商内之儀、右名前之内取次を以紅花取引仕候間、已来紅屋中直御取引被下間鋪候、右之段御頼可得貴意如此御座候、尚又当地紅屋名前書相調追而可申上候、以上

丑十一月

次第不同

如斯判

村山屋七兵衛様

市村屋弥三郎様

最上屋 喜八様

大紅屋仲
松栄講
坂行司

藤屋 忠兵衛様

右書面早々御願被下度、此段奉頼上候、已上

但、以来仲ケ間惣代年行事之内兩人并ニ仲ケ間無之候ハ、同商売人之内申合兩人ツ、印形仕書上候様可仕事

此書面年番村七方へ、来ル十一月五日最上屋へ送り申候

文化八年未十一月

村山屋七兵衛 印

(京都府総合資料館所蔵、「文化八年、撰方糸方

蛸薬師富小路西へ入ル町

市村屋弥三郎 印

紅花惣仲間帳」複写による。)

右之通、未十一月廿八日不破伊左衛門様御公事方部屋三而

御掛り

(五) 御請書 (諸色仕入値段差上候事)

柏原治部右衛門様

御 請 書

一 私共仲ケ間同商売之者共より諸売出し直段之儀、向

(京都府立総合資料館所蔵「文化八年 大御輿御用紅花売直段書上帳」による。)

後毎年七月十二月兩度、此外売物等仕候節、夫々上中

下売直段書付諸色仕入元直段御糺、御掛り御役所江七

月十二月共廿三日廿四日之内無相違差上可申候、尤不

時ニ格別高直等御座候節者、臨時ニ書上候様可仕旨被

仰渡奉畏候、依之一同連印仕奉指上候、已上

(六) 紅花値段

文化九年申七月廿四日

市村屋弥三郎

村山屋七兵衛

一 武州 上六拾八兩
中六拾貳兩

一 下総 中六拾貳兩

下五拾七兩

不五拾七兩

上七拾兩

上六拾兩

一 常州 中六拾貳兩

一 郡山 中五拾五兩

下五拾四兩

不五拾兩

上六拾兩

上五拾兩

一 仙台 中五拾三兩

一 最上 中四拾三兩

下四拾八兩

下三拾六兩

上四拾五兩

一 庄内 中四拾兩

下三拾五兩

(京都府立総合資料館所蔵、「文化八年 大御奥御用紅花売直段書上帳」による。)

(七) 一札之事 (撰方と馴合致す間敷事)

一 札之事

一 私共儀、御広舗御召御用御呉服師方も、各様方に被仰付候御紅染紅花、年来御取引被仰付、難有仕合ニ奉存候、然ル処此度紅屋久左衛門殿紅花散在申立取締之儀、被相願候ニ付、去ル子年九月廿四日、西御役所様江弥三郎・七兵衛兩人被召出、差支之有無就御尋、已前天明四辰年御触書之通御趣意ニ候ハ、私共ニおひて指支之筋無之候、尤御用向之儀者、相互之儀ニ候得者、自然紅花払底之節者、互ニ御用向之差支ニ不相成候様ニ可仕旨、撰方之者共私方江申談候、右之通熟談仕候上者、已来取締ニも相成候儀ニ付、久左衛門願之通被仰付候

共、於私共指差之儀無御座候段、同廿八日御請書奉指上候、糸問屋衆中已前も同様ニ有之候処、前以乍存弥三郎・七兵衛兩人計ニ御請書仕候故、久左衛門手先撰方々者共と馴合、俱ニ取可仕所存と御不審被思召候上、糸問屋之内一文字屋庄左衛門中相手取、久左衛門被相願候ニ付、弥私共撰方之者と馴合、御疑被成下候段申分も無之仕合ニ御座候、依而此旨御呉服師方江御届可被成旨被仰聞驚入候、全馴合候存心者毛頭無之、只不行届心得違之事ニ候得者、幾重ニも御用捨可被成下候、此度各様御仲ケ間より、御呉服師方へ御申立御相談、御手先御除被下候儀等有之候而者、渡世ニ相離れ難ケ舗奉存候間、格別之隣愼を以、御用捨可被成下候様奉願上候処、御明メ被成下難有仕合ニ奉存候、此末諸事正路ニ候様仕、撰方之者と馴合候而、買等之儀者勿論、企ケ間敷儀等決而仕間敷候、且蔵私共儀者撰方とハ筋之違ひ候儀ニ被仰付奉畏候、然ル上者統ひ現銀たり共、御仲ケ間中外江ハ、取引堅ク仕間敷候、其後忠兵衛・喜八義茂御頼申上候而、一同連印奉差上置候得者、右一

札之趣此後同様相心得、近国近在共同様取引仕間敷、万一右一札ニ相背候儀御座候ハ、御呉服師方江御申立、各様御仲ケ間之思召次第、如何様ニ被仰付候共、其時一言之違背申間敷候、為後日之一札依而如何

御本丸御広舗呉服師方

文化十四年丁亥年

紅花荷主

七月十三日

三条通鳥丸東江入ル町

村山屋 七兵衛

蝟薬師柳馬場東に入ル町

市村屋 弥三郎

鳥丸御池上ル町

藤屋 忠兵衛

富小路姉小路上ル町

最上屋 喜八

御本丸御広舗御呉服師御出入

紅屋三拾四軒

御行事中

(八) 奉拝借候銀子之事 (正銀貳百貳拾目)

奉拝借候銀子之事

正銀貳百貳拾目也 但利足月壹歩三厘定

右者当御殿様御納戸御用御手当銀之内、御願申上奉拝借候処実正也、来ル辰四月廿日限、元利銀都合無相違返上納可仕候、尤御太切之御用銀御座候得者、銀高相応之引当引受人共分江請取置申候、万一限月日限ニ到リ、本人江返上納遲滞仕候ハ、右引当不相拘引受人共々元利銀調達仕、少し茂無違々急速元利銀返上納仕、聊茂御用御手支させ毛頭仕間敷候、為後日拝借連印之証文奉差上候処、仍而如件

御銀拝借人

文政貳卯年十一月

普下郡竹ノ内村

伝 兵 衛 印

同引受人

同郡同村

大乗院御門主様

御役人中様

同	同	同	清 治 郎
同	同	喜 兵 衛	
同	同	源 兵 衛	
同	同	長 兵 衛	

(九) 御請書 (紅花値段引下之事)

御 請 書

一 近来米値段下直ニ御座候処、諸品直段者高直ニ付、此已後米直段ニ准シ可成尤諸品引下ケ可申、尤直段引下ケ候而茂、品柄劣リ候様ニ而者無詮事ニ付、諸事正路ニ売買可仕旨御触書之趣弥相守、夫々商売筋之者共互ニ申合、何品ニ而も直段可成尤引下ケ、是迄何程之直段ニ売出候得共、此度何程ニ直段引下ケ候段、直段書指上候様被仰渡奉畏候、然ル上者同商売人共ハ勿論、夫々商売筋之者とも互ニ情々申合、諸品直段成尤早々引下ケ、当直段書差上

候様可仕候、若直段不引下不正之義御座候ハ、如何様
二も可被為仰付候、依之御請書奉差上候、已上

大御奥御廣鋪紅華荷主

文政二年卯八月廿六日

蛸薬師富小路西江入ル

年行事 市村屋弥三郎

間ノ町御池下ル町

藤屋忠兵衛

御奉行様

此度被仰渡候引下ケ直段書

一 武州・総州紅花五百目袋六拾四入

壹駄ニ付是迄売直段

此度引下ケ直段

上 五拾六兩

上 五拾五兩

中 四拾五兩

中 四拾四兩

下 三拾三兩式歩

下 三拾三兩

一 常州水戸

右同断

右同断

上 五拾九兩

中 四拾八兩

下 三拾八兩式歩

一 奥州郡山紅花

右同断

上 四拾九兩

中 四拾五兩

下 四拾壹兩

一 同州仙台紅花

右同断

上 六拾三兩

中 四拾九兩

下 三拾六兩式歩

一 羽州最上紅花

右同断

上 四拾九兩

上 五拾八兩

中 四拾七兩

下 三拾八兩

右同断

上 四拾八兩

中 四拾四兩

下 四拾兩

右同断

上 六拾貳兩

中 四拾八兩

下 三拾六兩

右同断

上 四拾八兩

中 四拾老兩

中 四拾兩

下 三拾貳兩貳步

下 三拾貳兩

一 同州莊内紅花

右同斷

右同斷

上 四拾三兩

上 四拾貳兩

中 三拾七兩貳步

中 三拾七兩

下 三拾貳兩貳步

下 三拾貳兩

右之通、直段引下ケ売出し候、尤品劣候儀者決而仕間鋪候、依之直段書奉差上候、以上

文政二年卯九月十二日

年行事

市村屋弥三郎

藤屋 忠兵衛

(京都府立総合資料館所蔵、「文化八年 大御奥

御用紅花売直段書上帳」による。)

(一〇) 以書付御届ケ申上候(紅花商売之事)

以書付御届ケ申上候

一 御広敷紅花御用ニ御用ひ被成候紅花商売仕来り候村山屋七兵衛儀、此度勝手ニ付商売打止メ候間、此代り烏丸三条下ル町渡会屋宗治郎売捌方仕候ニ付、此段以書付御届ケ申上候、以上

文政三辰年四月

紅花荷主行事

市村屋弥三郎

御広鋪御呉服師御年番

加賀屋善兵衛様

御頼申上候口上書

一 御本丸御広鋪紅染御用ニ御用ひ被成候紅花、先年方渡会屋善右衛門江被仰付、其後村山屋七兵衛相続仕来候処、此度商売相止メ候ニ付、私引請紅花取捌仕度候間、此段御頼申上候、尤去ル丑七月中、右七兵衛其外

之者、連印を以差上置候書付之趣、篤与承知相守可申候間、自今御用紅花不相變御買上ケ被下候様奉希上候、已上

文政三辰年四月

渡会屋宗治郎

御広鋪御具服飾

ご出入紅屋

御行事衆中

右宗治郎御頼申上候通、於私共二同様御頼申上候、已上

文政三辰年四月

市村屋弥三郎

御広鋪御具服飾

御出入紅屋

御行事衆中

渡会屋善右衛門江被仰付、売捌来候処、去文政六巳年私引請相續仕候処、此度勝手ニ付商売相止メ候間、渡会屋宗治郎江右業鉢相譲リ申度候、此段御頼申上候、已上

文政三年辰四月

村山屋七兵衛

御広敷御具服飾

御出入紅屋

御行司衆中

前書之通相違無御座候間、於私右之段御頼申上候、已上

文政三年四月

紅花荷主 年行事

市村屋弥三郎

御広敷御具服飾

御出入紅屋

御行事衆中

一 御本丸御大奥御広敷御用ニ御用被成候紅花、先年^b

御頼申上候口上書

御届ケ申上候口上書

(一一) 以書付御届申上候(紅屋商売之事)

一 御本丸大御與御広敷御呉服師方ニ付候紅花荷物売捌
来り候最上屋喜八義、当時無人ニ付登り荷物別捌方難
渋ニ御座候間、暫相続人出来候迄、近江屋佐助を以代
勤為致申度奉存候間、此段御届ケ申上候、宜敷御聞濟
被下度御頼申上候、已上

以書付御届申上候

文政五_{壬午}年正月十二日 紅花荷主

一 御広鋪紅染御用ニ御用被成候紅花売捌方、藤屋忠兵
衛相勤来候処、多病_ニ而難相勤候ニ付、紅花商売相止メ
申度趣申之候ニ付、此代リ蛸葉師通柳馬場東江入ル町、
近江屋佐助売捌方仕候ニ付、此段以書付御届申上候、
以上

最上屋 喜八

紅花荷主

御呉服師御出入紅屋

文政七_{甲申}年正月

年行事

御行事衆中

市村屋弥三郎

右之通相違無御座候間、宜敷御聞濟被下候様御頼申上候

御呉服師御年番

鱗形屋仁兵衛様

文政五_{壬午}年

年行事

正月十二日

市村屋弥三郎

御頼申上候口上書

一 御本丸御広鋪紅染御用ニ御用被成候紅花荷物売捌之
儀、従先年最上屋喜八江被仰付、相勤来候処、無人ニ付
近江屋佐助へ為致代勤置候処、此度売捌之儀佐助相止

又、喜八方相返し候ニ付、此段御届申上候、宜鋪御聞

御行事衆中

濟被成下候様奉願上候、以上

文政七年申年正月

紅花荷主

右佐助江被仰付候義、於私同様承知仕候、以上

年行事

市村屋弥三郎

市村屋弥三郎

御呉服師御出入紅屋

御行事衆中

以書付御届申上候

御頼申上候口上書

一 御本丸御広敷御用ニ御用被成候紅花、先年より藤屋

忠兵衛江被仰付売捌来り候処、右忠兵衛義御用難相難

候ニ付、紅花売捌之儀私へ被仰付、難有仕合承知仕候、

依之去ル丑七月中、右忠兵衛其外之者、連印を以差上

置候書付之趣、篤と承知仕相守リ可申候間、自今御用

紅花不相替御買上ケ被下候様奉希上候、以上

文政七年申年正月

御広敷御呉服師御年番
山田屋治兵衛様

近江屋 佐助

御呉服師御出入紅屋

一 御広鋪紅染御用ニ御用被成候紅花商売仕来候渡会屋
宗治郎死亡後、商売相止メ候間、此代り麩屋町通三条
上ル町西屋新蔵、同居嘉助売捌方仕候ニ付、此段以書
付御届申上候、以上

文政八乙酉年五月

紅花荷主

年行事

近江屋 佐助

御頼申上候口上書

一 御本丸御奥御広鋪御用ニ御用ヒ被成候紅花売捌之儀

先年_レ渡会屋善右衛門江被仰付候後、村山屋七兵衛義相勤来候処、商売相止メ相ニ付、分家渡会屋宗治郎江為相勤置候得共、右宗治郎死去仕候ニ付、諸事私方江引受預リ置候処、右御用難相勤候ニ付、右行跡西屋嘉助方江相讓リ申度候、此段御頼申上候、以上

文政八酉年五月

柴崎屋宗右衛門

御呉服師御出入紅屋

御行司衆中

前書之通相違無御座間、於私同様御頼申上候、以上

文政八酉年五月

紅花荷主

年行事

近江屋 佐助

御頼申上候口上書

一 御本丸御広敷紅染御用ニ御用ヒ被成候紅花売捌之儀
先年渡会屋善右衛門江被仰付候後、村山屋七兵衛相統仕、其後渡会屋宗活良相勤来リ相処、右宗治郎死去後難相勤候ニ付、私引請紅花売捌仕度候間、此段御頼申上候、尤去ル丑七月中、右七兵衛其外之者共、連印を以指上置候書付之趣、篤尋承知仕相守可申候間、自今紅花不相交御買上ケ被下候様奉希上候、以上

文政八酉年五月

西屋 新蔵

同居 嘉助 印

御呉服師方御出入紅屋

御行事衆中

右嘉助御頼申上候通、於私同様御頼申上候様、已上

文政八酉年五月

紅花荷主
年行事

近江屋 佐助

乍憚御頼申上候口上書

一 御広鋪御用ニ御用ひ被遊候紅花之儀者、年来私共被仰付、難有仕合ニ奉存候、然ル処此度紅屋久右衛門より申通書奉願上候ニ付、私共被召出御請書調印仕候段、御届不申上不行届之段奉恐入候、何卒格別之御隣敷を以、御了簡被成下、是迄之通不相替御用向被仰付被下度、偏ニ奉希上候、以上

天保三^辰年

紅花荷主

十一月廿八日

市村屋弥三郎

最上屋 喜八

近江屋 佐助

西屋 新藏

御呉服師

御年番

日野屋市左衛門様

一 札

一 御広鋪御用撰紅花、是迄私共御用向被仰付、難有仕合ニ奉存候、然ル上者国々紅花直御取引、都而何事ニよらず、毛頭違背申上候儀無御座候、尤從御公儀様是迄之通取引之儀、御尋御座候得共、差支等一切申上間敷候、依之連印如件

天保四^巳年

市村屋弥三郎

二月廿四日

最上屋 喜八

近江屋 佐助

西屋 新藏

御呉服師

御年番様

右一札三月十二日引替戻ル

当巳年松屋五兵衛殿相勤

下職紅染屋前名書

亀屋

忠兵衛殿

近江屋長右衛門殿

藤屋茂兵衛殿

花屋 彦兵衛殿	紅屋 ミツ殿	丸屋伊兵衛殿
木森屋権兵衛殿	小紅屋大治郎殿	和泉屋仁兵衛殿
俵屋 喜兵衛殿	松葉屋やち殿	龜屋喜兵衛殿
錦屋 徳兵衛殿	錢屋 治助殿	松屋伝右衛門殿
越後屋則右衛門殿	中村屋善兵衛殿	近江屋七兵衛殿
松葉屋清六兵衛	紅屋仁兵衛殿	田原屋宗兵衛殿
藤屋 弥兵衛殿	龜屋 利八殿	俵屋 藤七殿
俵屋 六兵衛殿	和泉屋六郎兵衛殿	龜屋仁兵衛殿
藤屋 佐兵衛殿	錦屋 和助殿	花屋 平助殿
龜屋 忠八殿	丸屋 宗七殿	紅屋平兵衛殿
錢屋 新助殿	三十四軒	巳三月改

(一一) 一札(紅花荷主株讓渡之事)

一 札

一 我等仲ヶ間、御広鋪御呉服師方ニ附ル紅花荷主株式之内、渡会屋善右衛門江被仰付候後、村山屋七兵衛相統仕、其後渡会屋宗二郎相動来候所、右宗治郎死去後難

相動候ニ付、右明株此度貴殿江譲リ渡、我等共仲ヶ間へ加入為致候、然ル上者巳後仲ヶ間仕来之通相守、御呉服師方ニ附ル紅花御壳捌可被成候
右之次第ニ付為樽代金子百貳拾兩被遣、慥ニ請取申候、為後日株譲リ一札、依而如件

近江屋 佐助
最上屋 喜八
市村屋弥三良

西弥新藏殿
同 嘉助殿

(一二) 定(紅花分散積入之事)

定

一 從莊内酒田積登之船、格別海上難波船有之節、積合紅花之外青苧ニ限り分散等一鉢ニ仕来候処、当子年秋より一統申合、已来別々分散可致候条相談取極申候、尤難波諸入用共紅苧別々ニ割付可被申越候条、是亦相

極申候事

右之通、酒田・敦賀積問屋衆兼御心得置、殿重ニ執量可被成候事

林 忠右衛門

大津

塩屋佐右衛門

白銀屋 陸助

敦賀

田保孫右衛門

丸屋 半助

細屋 傳兵衛

越後屋市右衛門

京都

紅花屋中

文政十一年子秋

大石田

設楽次郎右衛門

二藤部兵三郎

庄司 清次郎

加藤 甚内

酒田

大沼 平八

鏡屋惣右衛門

根上 善平

海津

磯野 殿兵衛

塩津

中村佐右衛門

西八月十七日、越後屋新七殿御出ニ而、大坂嶋屋店へ仲間中申合書懸合置セ可申候間、此段行司を差以聞無之哉之旨、御尋被成候、其写ニ曰

定

一 東国筋荷主方船廻シ紅花、是迄荷主勝手ニ向々江被相登候処、近来船中ニおひて被取目欠等夥敷有之候処、

成三月

取調不屈き二而、一統申合国方荷主中引合、当新花も其許江一ト手ニ着船之積リニ致シ、治定依之着船之節敵重ニ相改、疑敷荷物等在之者切解相改可被申、当着之上其許不吟味祓袋等有之候ハ、無用捨弁金請取之可申候、依之船掛リ江も得与其旨御懸合可被成候 右之通申渡し置候、以上

京都紅花仲間

年 行 司

文政八年酉八月

荷主方より来状之写

各様益御壯健ニ可被遊御座奉珍重候、然者昨年も申上候当年御下向之儀御指控可被下候、若是非御仕入思召ニ御座候ハ、最寄之方へ御注文可被下候、其節不取量之儀有之候ハ、私共登セ紅花ニ而御十分御引合可被下候、以上

(文政九年)

古河

山田五左衛門

八百屋義左衛門

日野屋重左衛門

日野屋平兵衛

西村 仁兵衛

戒子屋栄治郎

日野屋久兵衛

小林新右衛門

大坂屋久兵衛

和久井伊兵衛

奈良屋宗兵衛

若山屋喜右衛門様

伊勢屋 源助様

伊勢屋理右衛門様

吉文字屋彦市様

越後屋 新七様

近江屋 佐助様

柴崎屋宗右衛門様

山城屋武右衛門様

布屋 弥兵衛様

市村屋弥三郎様

西村屋清九郎様

綿屋 勇藏様

荷主へ返書

一 然ル處、其御地三月後出シ之御連名之御狀御延着ニ
而、五月四日当着仕候而恭拝見仕候、将又爰許も早庭年
ニ仕入ニ罷下り候儀、其御地御荷主方差支ニ相成候ニ
付、当年も相止メ候様委細ニ入割被仰下承知仕候、依之
当地名当之銘々早速打寄、度々及相談候處、右名当之
内着荷多分引請候族者、家業相勤相得共、着荷無数之者
共渡世出来かたく、無拠遠路之処心命ヲ投打罷下り候
義ニ御座候、併其向ニ買宿へ註文仕候而茂事足り候様
之御文面ニ候得共、此儀も先年御指支之趣被仰下候訳
者、当地より註文仕候得者、宿々之衆中早登リヲ專一二

いたし、相場高下不拘買進候故、自然与相庭均上り申候
由、此儀御尤ニ奉存候故差控直々罷下り候仕合ニ御座
候、何分右御狀今年度早着仕候者、如何様とも及御掛合
可申処、最早銘々其手当仕候事故、熟談出来兼候、依
而当秋御一統御上京之上、睨と御相談およひ可申候、先
当年之処者銘々任自慮可申候間、此段左様思召可被下
候、扱亦当地仲間之外衆中迄も罷下り候儀差留候而、承
引無之之衆中一統申合、爰許ニ而取引不仕候様被仰下
候得共、此義中々手輕キ懸合ニ而者無之候間、是又秋中
御相談およひ可申候、先者右御返書申上度如此御座候、
以上

(文政九年)

(柴崎屋宗右工門)

戊五月十一日

行事 柴 宗

(以上、京都府総合資料館所蔵、「文化八年、
撰方糸方紅花惣仲間帳」による。)

(一四) 為取替一札(紅花代金滯取引之亭)

御廣鋪荷主

年行事

御仲ケ間中

為取替一札

一 得意方紅花代金滯之節、売主之外仲ケ間一統相互ニ

取引致間敷旨、連印一札別紙ニ仕置候処実正也、然ル

上者双方仲ケ間違背仕候者在之候ハ、右一札ニ相記

候通相互ニ取引致間敷候儀堅規定仕候、猶亦得意方分

引売方之儀、決而致間敷様是又申合一札致置候、弥両様

とも連印之通相違無之候、依而為取替一札如件

(一五) 下職紅花染屋名前書

下職紅染屋名前書

龜谷忠兵衛 近江屋長右衛門

藤屋茂兵衛

花屋彦兵衛 紅屋 ミツ

丸屋伊兵衛

大森屋權兵衛 小紅屋大治郎

和泉屋仁兵衛

俵屋喜兵衛 松葉屋やち

龜屋喜兵衛

錦屋徳兵衛 錢屋 治助

松屋傳右衛門

越後屋則右衛門 中村屋喜兵衛

近江屋七兵衛

松葉屋清兵衛 紅屋仁兵衛

田原屋惣兵衛

布屋 弥兵衛 龜屋 利八

俵屋 藤七

吉文字屋彦市 和泉屋六郎兵衛

龜屋仁兵衛

越後屋 新七 錦屋 和助

華屋 平助

柴崎屋宗右衛門

文政十二年

丑二月

伊勢屋 源助

伊勢屋理右衛門

若山屋喜右衛門

西村屋清九郎

布屋 弥兵衛

吉文字屋彦市

越後屋 新七

龜屋 忠八

丸屋 宗七

紅屋平兵衛

十一月十三日

御兵服飾

錢屋 新助

三拾四軒 (天保四年) 巳三月改

紅花

荷主年番

年番

(一六) 尚々返答三輪方江可被申出候 (紅花買締之事)

尚々返答三輪方江可被申出候

一 昨日、書面を以相達候返答今日可有之候、且三條・

高倉和糸問屋之内岐阜屋八郎兵衛、右之者當地紅花過分買候由相聞へ候、此紅花當地者何方も買上候哉承り

度候、其仲ヶ間内ニ而諸事承知可有之候間、得与相糺今日返答可有之候

江州外村當秋以來、當地紅花百五六拾駄買之よし相聞江候、是も何方も買上候哉吟味可有之候、右外村當所

ハ何方ニ居候哉所書持參可有之候、是等之者共過分買候間、相場追々引上ケ、紅花拂底ニ相成、御用向御

指支ニ相成候、依之相手取願出可申間、右所書急々持參可有之候、書外其節万々可申述候、以上

其一統紅花取扱之儀者御用筋ニ而取扱出来、此方共下職紅屋之外江壳渡候事不相成儀ニ而、別而素人共へ壳渡之儀者尚以之儀ニ而候處、近来猥リニ相成素人ともへも取引之

一 申談度義有之間、今日三輪役所江罷越可被申候、以上

十一月十八日

御兵服飾

年番

紅華荷主

年番

申渡 覚

其一統紅花取扱之儀者御用筋ニ而取扱出来、此方共下職紅屋之外江壳渡候事不相成儀ニ而、別而素人共へ壳渡之儀者尚以之儀ニ而候處、近来猥リニ相成素人ともへも取引之

儀有之趣、就中大坂住柵屋佐兵衛与申素人江、於當地其一

統始和糸問屋・紅花屋一統致取引候趣、慥ニ相聞江不相濟

不埒之儀ニ而候、素人共へ取引いたし候時者、何之勘弁も

なく買入等之儀難斗、右鉢之儀有之候而者自然江華拂底ニ

相成、御用向御差支難斗不相濟候、去九月御触流ニ茂、素

人共附商売ニ紅花取扱候者增長いたし不埒之旨有之候、

畢竟是等之者共取扱候故之事与被存候、別而紅花屋杯素人

江致取引候而者、誠ニ以不相濟訳合ニ而候、其一統も同様之

筋合ニ而候、万一心得違之儀於有之者、其一統相手取御吟

味相願、依其品家名永統無覚束候、依之自今當地者勿論他

国ニ而も、素人共へ紅花取引之儀一切可為無用候、若聞入

無之、内々ニ而於致取引者、誰彼之無差別相手取可申条、

心得違無之様取扱可被申候、此段急度申渡候、以上

巳十一月

御呉服師 印

紅花荷主中江

(京都府立総合資料館所蔵、「天明四年、御呉服

師方並紅屋方諸用集」複写による。)

(二七) 乍恐以書付奉申上候(紅花直段之事)

乍恐以書付奉申上候

別紙紅花直段書附奉入御高覽候、然ル所近来山城・大和・

紀州ハ、追々紅花作出し候ニ付、此度直段書相認入申

候、此段御断奉申上候、以上

近江屋佐助

最上屋喜八

天保四年巳十二月廿三日

最上屋喜八

近江屋佐介

一 武州総州

六拾貳兩
五拾三兩
四拾四兩

一 羽州最上

六拾九兩
四拾九兩
三拾八兩

一 常州水戸

六拾兩
五拾貳兩
四拾四兩

一 羽州莊内

四拾四兩
三拾四兩
三拾四兩

一 奥州仙台 七拾五兩
四拾八兩
一 山城大和 五拾貳兩
三拾貳兩
一 奥州郡山 登り荷物 四拾八兩
無御座候 三拾四兩
一 紀州 四拾八兩
三拾四兩

天保五年九月廿三日

最上屋喜八
近江屋佐介

一 武州総州 七拾貳兩
六拾貳兩
一 羽州最上 六拾八兩
五拾六兩
一 常州水戸 登り荷物 五拾四兩
無御座候 四拾六兩
一 奥州仙台 七拾六兩
六拾七兩
一 山城大和 六拾貳兩
五拾六兩
一 奥州郡山 登り荷物 六拾四兩
無御座候 四拾八兩
一 紀州 六拾四兩
四拾八兩

(二八) 差入申規定一札之事 (素人へ売渡さざる事)

差入申規定一札之事

一 此度御呉服飾申渡書被差出、當地并二他国素人方江紅花売渡候而者、則素人附商売ニ相當候間、素人共取引差控可申、就中柀屋佐兵衛取引不相成旨、一統致承知候ニ付、御呉服飾申渡請書ニ、其許調印被成御差出之事故、向後仲ケ間嚴重ニ取引いたし、素人方江決而売渡申間鋪候、勿論柀屋佐兵衛売買取引一切致間鋪候、尤銘々手代ともへも申附、佐兵衛与懇意付合等も不相成候、自然手代とも付合居事見附候ハ、早速其主人江可申聞事

右之通、規定致候上者、万一前書之趣相背候ハ、為過料壹駄ニ付金拾兩差出、其上不附合ニ被成候とも一言之申分無之候、為後證連印一札、依而如件

右書付者、午四月廿七日、惣仲ケ間西村屋清九郎殿宅江寄合、御廣鋪荷主四人、撰方九人并二系問屋衆中共迄書付為取替可申答ニ而引取申候事

天保七申年氣配状江差込遣シ候書付之写

口上書

益御壯健被遊御座奉賀候、然者近来紅花取引甚六ヶ敷、依

口上書

之去冬御在京御荷主様方江御相談之上、治定左之通

一 去冬御在京御荷主方江御達シ申置候通、年々為御登

一 從當年每年新花入船、南海北海共一番船之分、時之

一 紅花御荷物之内、素人向江着仕候分も御座候、向後縱

相庭を以入札可致事、尤御差直売留等者相用ひ不申、高

令御懇意家ニ而茂、素人向へ御差向之義御断申上候、尚

下二不抱落札ニて売仕切差出し可申事、早庭急荷物走

又大津并ニ敦賀表ニ而御囲之向も御座候、向後御囲之

り之分、壹番船江相加入札可致事、尤落札之分早便を以

義御断申上候

為御知可申事

一 近来袋詰目欠多有之、取引六ヶ鋪仲ヶ間一統申合、

一 是迄為御登御荷物御支配之分、代金百兩ニ付壹兩貳

目欠之向者取引致間鋪相定、自然不足之分者、一統評義

分つゝ之割を以歩引致来候而、壹方為御任之向者、正味

之上残し置、急度及引合可申事

取引ニ御座候得共、相改當新花を為御任之向も、御支配

一 近来袋紙ニ土砂を入、又者手厚ニ拵、不実意之致方右

同様ニ歩引仕候間、此段御承知可被下候、以上

様之袋者御求被成間敷、尤前々も式拾目ニ限候得共相

改、式拾式勿限、其餘重目有之候ハ、取引遠慮致一

諸国紅花

統評儀ニ相懸可申事

御荷主中様

右之通、定法相立取引仕候、以上

天保八酉年正月八日参会之節取究申候事

京都

(以上、京都府総合資料館所蔵、「文化八年撰方

(天保七年)

紅花屋中

糸方紅花惣仲間帳」による。)

申四月

(一九) 口上書(塩津へ荷送之事)

口上書

一 近来御荷物多分塩津江相向、湖水船積混雜仕、自然与

大津着延引ニ相成候二付、前々之通左ニ

敦賀も塩津問屋江、是より船積

敦賀も山中伊原弥右衛門殿江、夫より

海津磯野源兵衛殿江、是も船積

右当方江御差向可被成遣候、尤運賃之義、大津迄両方と

も同様ニ引合取極置候間、御荷物平等ニ御差向に被成

遣候、此段御通達申上候、以上

丙申四月

(天保七)

諸国紅花

御荷主中様

京都
紅華屋中

一 是迄御指荷分、外方江御壳附被成候節者、藏敷等不
申請、其儘ニ而荷物御渡申上候得共、紅華屋一統難渋

仕候間、当春も紅華志袋二付、銀五分宛申受、荷物引

替御渡し申上候二付、此旨荷主方一統江、其時々引合

受払可仕候筈ニ治定仕候事

天保八酉年正月八日参会之節取究申候事

同様ニ引合取極置候間、御前物平等ニ御差向に被成遣

候、此段御通達申上候、以上

(天保七)

丙申四月

諸国紅華

御荷主中様

京都
紅華屋中

(二〇) 規定書之事(紅花仲間)

規定書之事

一 紅花壳渡候方ニ代金相滞候ハ、早速仲ケ間江致

披露、掛合中一統方決而致取引間敷候事

但、春秋初寄合之砌、懸方万端可致其沙汰事

一 国方荷主取引之義ニ付、故障有之仲間江申出候

ハ、掛合相济候迄一統其荷主へ致取引間敷事

一 大津止メ荷物買取候ハ、志袋ニ付銀五分ツ、仲間江差出シ可申候事

市村屋弥三郎
最上屋 喜八

一 仲間之内呉服飾并ニ紅屋方目損取引不致候事、有之候ハ、相互之事故俱々相詫、事済迄紅屋方へ一

近江屋 佐助
近江屋嘉兵衛

統取引相休候事

一 定目之通平生相心得、毎月寄合之節不寄何事仲間之為ニ相成候儀、心付候ハ、銘々無腹臆申出候事

伊勢屋理右衛門
伊勢屋 源助

右之條々堅相守可申候、尤売買先々江不寄何事決而致他言間敷候、万一申合相背候ハ、仲間評義之上急度可

三 若山屋喜右衛門
西村屋清九郎

及沙汰、其節違乱申間敷候、為其一統連印、依而如件

吉文字屋助左衛門

天保八丁酉年八月

吉文字屋彦市

連印名前

布屋 弥兵衛
越後屋 新七

美濃屋忠右衛門名代甚助

四 柴崎屋宗右衛門

一 井筒屋善右衛門名代傳右衛門

岐阜屋八郎兵衛

(以上、京都府総合資料館所蔵、「文化八年撰方糸方紅花惣仲間帳」による。)

(二二) 御蝕書之写 (紅花絞方染之事)

御蝕書之写

紅花絞り方染方之儀者、前々も紅屋仲ケ間百五拾四軒二相定有之、右仲ケ間外ニ而絞方不相成、心得違手絞等致シ候者有之候得者、吟味之上差留申渡之処、今以店ニ者外商売人躰ニ致シ内證ニ而絞り方渡世ニいたし候者有之、又者紅屋仲ケ間奉公人并日雇之者をたらし込、紅花持出セ買取、手絞或ハ仲ケ間外ニ而絞り方等致シ候者へ、売捌候者共有之趣相聞江不埒之事ニ候、向後紅屋仲ケ間外ニ而絞方染方致候義、亦者奉公人等たらし込、紅花買取、手絞或者仲ケ間外ニ而絞り方等致シ候者江売捌候義共堅致間敷候、兼々町役人共も心を付、右躰紛敷事致シ候者有之候ハ、早々差留可申候、若不相守もの於有之者、急度可申付候右之通、文政六未年十一月。為申通置候處、年数も相立忘却致候哉、又者紅屋仲間外ニ絞り方染方致シ候奉公人、

并ニ日雇之もの共を哆こみ、紅花持出させ、買取候者有之由、前以為申通置候趣不相守段、當人者勿論町役人共心落不埒之事ニ候、其上近来他国も紅花地類光リ紅堅紅等多分當地へ持登リ売捌候ニ付、呉服商売人其外素人ども買取、又者右之者共紅染地持登候者江染地相渡シ、紅染等詭遣シ候者共も有之、右ニ付紅屋仲ケ間追々渡世薄相成、衰微致難儀之趣相聞候、右者銘々勝手ニ相成候趣、他之渡世差支ニ相成候様不顧、前書之次第不埒之事ニ候条、前以為申通置候趣堅相守、向後他所他国も持登候紅染地光リ紅堅紅買取、又者染地等相渡シ紅染等詭遣シ候儀堅致間鋪候、猶此上右等之趣、兼々町役人共も心を付、右躰之義無之様可致様、右之趣他所他国も紅花染等持登リ候者共江者宿主も可申聞候、若此上不埒之者有之候ハ、當人ハ勿論町役人共迄も急度可申付候

右之趣、洛中洛外江不洩様可申通事

就御尋口上書

一 御納戸呉服御用元方三輪彦助義、下職紅染屋共江撰

方申付、紅花出生之因々又ハ當地ニ而紅花売買致候者

共も茂、相對を以上品為相調、御用相弁度旨願立候ニ

付、私共被召出差支有無之義御尋ニ御座候

此義、私共義者天明四辰年、後藤縫殿介外十三人義

ハ、紅屋久左衛門撰拔、殘花者御用ニ難相用国方直々

買入仕度段奉願上候ニ付、其節私共四人被召出、国

方直買荷主ニ被仰付候後、御用無滞相動來候間、何

卒御慈悲を以国方直買、并ニ御當地江相登リ候荷物

之分、三輪彦助も後藤縫殿介其十三人之者共同様、

是迄之通私共四人方調進仕候様被仰付被下候ハ、難

有可奉存候、就御尋此段奉申上候、以上

大御奥御廣鋪紅花荷主

市村屋弥三郎

天保八年

最上屋 喜八

西十二月廿六日

近江屋 佐助

代 伊助

近江屋嘉兵衛

代 太助

御奉行様

此書付差上置ニ相成ル

此書事(マ)差上候處、棚橋様被仰候ニ者、御尋之儀者差

支有無之儀返答可申上、尤後藤縫殿助名代是ニ參居

候、其方共義者縫殿助分ニ而者差構無之由申候、尚又

其方共義者下職紅屋共江壳渡義ニ而者無之哉、さすれ

者大御奥御召御用、前之書付ニ相印候義者筋違ニ可有

之、いつよ頃より(以下欠)

(以上、京都府立総合資料館所蔵「天明三年紅

花御触書、御請書留帳」複写による)

(三三) 口上覚(寺領取調図面之事)

口上覚

口上覚

一 今般御国絵図御改被仰出候ニ付、植村伊勢守殿役人

中も、別紙写之通当寺領分之義、百姓共江直々取調御座

候趣、書面到來仕候付、此段御断奉申上候、尤取調相

濟絵図面差出候ハ、尚又其段申上図面差上候様可仕候、御聞届被成下候ハ、難有奉存候、以上

天保八^丙未年二月十八日 法貴寺

実相院

御奉行所

法貴寺

御役者中

設楽 到

渡部 内藏允

岡野祖右衛門

以切紙致啓達候、然者甲斐守・伊勢守江大和国御絵図御改被仰候間、右調方之義二付、其都度々々不及御掛合、其御元様御寺領村々役人江直々可及掛合、勿論

右之通御奉行所江奉差上候付、写奉差上、此段御届奉申上候、右衛聞届被成下候ハ、難有奉存候、以上

川筋并往還其外新田村々相改候義も可有之候、此段被申付候条如斯御座候、以上

法貴寺 実相院 ㊦

植村伊勢守内

天保八^丙年二月十八日

二月八日

田塩市左衛門

(二三) 新規荷主名

脇坂 儀兵衛

宮川兵左衛門

新規分左二

松平甲斐守内

室町三条上ル町

鈴木為右衛門

布屋 彦太郎

志村 藤七

蛸薬師藍屋町東入町

近江屋 伊助

六角高倉東入町

丁子屋吟三郎

新町通西洞院之間

四条上ル崖之座町

近江屋 甚助

新町通出水下ル町

金屋喜八

大御御広敷

御吳服師

御年番様

御衆中様

(二四) 入申証札之事 (紅花仲間加入之事)

入申証札之事

右五人之者、此度荷主へ加入仕度由申候間、此段御届ケ申上候

右之通御座候間、宜敷奉頼上候

嘉永六丑ノ年十二月

紅花荷主

年番 最上屋喜八

近江屋佐助

一 私共義去ル丑年御改革後、紅花渡世相始罷在候処、

今般諸仲間御再興被渡仰候ニ付、紅花仲間有之候処、

私共其許殿御仲間、荷主方江加入仕度候儀、御頼申上

候処、御承知被下候段、千万難有仕合ニ奉存候、然ル

上者御吳服師様方之儀者不申及、其御仲間之御定法通急

度相寄可申候、尚又御仲間御寄合之節者、相互ニ談事

合、我儘成義決而間敷候、万ニ御仲間御定法背、又者自

儘勝手成儀申立候ハ、此以証札如何様之御取計ひ被

下候共、其時一言之申分無御座候、為後日仍而如件

嘉永七寅年十月

布屋 彦太郎 ㊦

代 市治郎 ⑩

近江屋 伊介 ⑩

丁子屋吟三郎 ⑩

近江屋 甚介 ⑩

中條对馬守内

内田万右衛門

畠山下総守内

寺井 勸兵衛

紅花荷主御仲間

最上屋 喜八殿

近江屋 佐助殿

松井 中将様

会門院伊予様

原 若狭守様

(二五) 書簡(御門主様御参向二付)

(二六) 廻状(拝借銀返納之事)

貴札致拜見候、御門主様御参向二付、鷹司前関白様御家

来様宮内太輔殿、御当地御宿坊ニ被差置度被思召候旨、

御誠意之趣、則下総守・对馬守・因播守江為申聞候処、此

度者少々子細有之、ケ様之類御宿坊ニ被差置候儀、不罷成

候、被致外宿候様ニ可被成候、委細御着府之節、可被申

達旨三人江申候、以上

廻状

廻状を以申達候、銘々村方拝借銀切月相過候得共、返土

茂無之一向否之儀、不申来、甚不埒之取計ニ候、如何相心

得候事ニ候哉、此廻状相廻り次第、急々返納可有之候、

尤廻状次第村方江相廻し、銘々村方廻状承知之印形相加、

廻り留之村方江廻状可被戻候、若於遲滞者、地頭表御役所

江相達候間、左様ニ可相心得候、以上、急々否可申出候、

九月七日

大宮因播守内
篠田権右衛門

以上

成十二月四日

大乘院御門主

御金方役所

葛下郡新在家付

庄屋 新右衛門 ㊦

年寄 五兵衛

同断 武右衛門 ㊦

組頭惣代 与平次 ㊦

(二七) 御口状覚 (御擇受候山林之事)

御口状覚

一 当御門主御先代後理趣院殿信尊御代、寛文九年御隱居所地和州漆山郡之内、佐保田山一万坪御擇受ニ成置候、今以御支配被成候得共、御薄祿之御家柄ニ而、御建物以自力難被成、当時山林ニ相成御座候、然ル所当御室ニ者余程道も隔たり、御不勝手ニ思召ニ付、何卒奈良町統之内ニ而、可然御地面を御替地ニ被成進候様被成度、自然御替地之儀御六ヶ敷為在候得者、右御地所可

被差上候間、金子三千兩無利足十五ヶ年割納之御約定

を以、御貸下ヶ被成進候様被成度、左候得者、御境内ニ而

御隱居之御場所、御造営被成度、何卒兩条之内出格之

思召を以、御許容被成進候様、偏御願被仰入候

大乘院御門主御使

(二八) 一札之事 (仲間再興之事)

一札之事

一 此度諸仲間御再興被仰出候ニ付、御召御用紅花取扱之儀、以前之通銘々共江被仰附、難有仕合承知仕候、然ル上者御式法書之通、急度相用ひ可申候、然、右御奉行所江私共名前御書上ヶ被成下候義、委細承知仕候、仍是御請印仕候、以上

最上屋 喜八

近江屋 佐助

布屋 彦太郎

近江屋 伊助

丁子屋吟三郎
近江屋 甚助

銀式匁八分卜壹厘 塩津取替引

同七匁七分也 大津取替引

同式匁八分也 伏見取替引

同壹匁四分八厘 八軒家^下庄迄取替引

拾四匁七分九厘

引^ノ金五拾七匁二步卜

銀壹匁式分九厘也

四九 仕切目録書

仕切目録書

一 香 上雨印 十九入三丸

廿 入壹丸

ノ七拾七品也

四拾八匁式步替

此御金五拾八匁壹步卜

六匁九厘也

内

金式步卜五匁壹厘也 歩引

引^ノ金五拾七匁三步卜壹匁八厘也

内

右之通、別紙金銀相渡、此表無出入相濟申候、尤違花目^②原^①等有之候ハハ、重而差引可仕候、以上

(弘化二年)

天保十六

巳正月

江浪半兵衛^④

柴崎善兵衛様

御支配人 十松兵衛様

五〇 上方諸用帳 (横帳)

(表紙)

弘化二年

上方諸用帳

九月吉日

美濃屋忠右衛門殿行

小泉買 十七入

△平 本紅花 五丸

添金三分式朱

紅花



美濃屋八郎



田代買

一△平 稀紅花 廿入式 三丸

添金式分式朱

伊勢屋利右衛門殿行

かに沢買 十七入式 十八入式 四丸

△平 極紅花

添金三分也

元上り / △



廿入式 廿卷入卷

同 得大 三丸

△平

同 紅大 十七入 卷丸

同店行

荷田上口 十八入

△平 小野紅花 六丸

添金卷両也

元上り /

伊勢屋源助殿行

谷地買 十七入

△平 大紅花 三丸

添金貳分貳朱

元上り〃〃

同店行

十七入三
十八入壹

△平 高紅花 四丸

添金三分也

元上り〃

金多屋佐右衛門殿行

かに沢買 十八入

△平 威緒 貳丸

元上り〃△

造

同 純威十三袋 十八入
花娘五袋 壹丸

合

△三丸 添金貳分貳朱也

同店行

△平 風谷 廿壹入
貳丸

添金壹分貳朱也

元上り△〃〃

西村清九郎殿行

寒河江買 十八入三
十九入貳

△平 小町 五丸

添金三分貳朱也

元上り□〃

井筒屋善右衛門殿行

荷田中 十八入

△平 光玉 三丸

元上り□

△平 小野 十袋 十八入
玉光 八袋 壹丸

△四丸 添金三分也

添金迄
合 代金六百貳拾六兩也

此売立

金六百拾壹兩貳朱ト拾壹匁三分六厘

差引金拾四兩三分 損毛

桜井源藏殿
仲間荷物

△ 傘 宮青亭 七丸
△ 白青亭

△ 同 同行 六丸

△ 同 宮青亭 壹丸

同 造青七ツ 壹丸
合白三ツ

△ 七駄片馬

口錢御役永大石田迄

此代金百八兩三分貳朱ト

六メ六百九十八文

伊勢屋利右衛門殿

十八入三ツ
十七入壹ツ

⊖ 丸印
紅印

四丸

手干

△

金多屋佐右衛門殿

十七入貳ツ
十八入貳ツ

⊖ 吉

四丸

岩木仁左衛門

△

西村清九郎殿

十八入

⊖ 旭印

四丸

百姓二人

十九入

廿入

鳳印

式丸

笹本



古手屋長右衛門殿

同 市兵衛殿

宗白印

△平 白苧

拾三丸

同 青苧

式丸

△ 拾五丸

此太七駄半

但シなら着極月金

正手取定、壹太二付拾八兩替

代金百三拾五兩也

此内

金百兩也

十月六日

表屋庄右衛門殿行

大坂銭清殿江ふり込

売付 岐阜屋八郎兵衛殿

△平 稀五十八袋 三丸

但シ六拾七兩かへ

代金六拾兩

永七匁式分

金多屋佐右衛門殿

同 風四拾式袋 式丸

三十九兩かへ

代金式拾五兩式分

永九匁四分六厘

近江屋佐助殿分

十月十九日

十八入三
十九入式

△平 町一 五丸

九十式袋口
代金八拾三兩壹分式朱ト

永壹匁

伊勢屋源助殿

十月十九日 十八入卷
十九入三

△平 高 谷 壹駄五袋 四丸

但シ六拾兩かへ

代金六拾四兩貳分式朱ト

永六匁貳分五厘

五四かへ 十七入

同 大 五十壹袋 三丸

代金四拾壹兩

永八十五分也

美のや又七殿

五式かへ 十八入
旭印 四丸

七十式袋

此代金五十八兩貳分

内金三分式朱ト壹分五厘 相对を以部引

同金壹兩貳朱ト五匁五厘 西清立替

×金貳兩五匁貳分

残金五拾六兩壹分式朱ト貳匁三分

内金五拾兩也 扇与相渡シ

残金六兩壹分式朱ト貳匁三分

伊勢屋利右衛門殿

十八入三ツ
十七入壹ツ

⊖ 紅丸 四丸

七十壹袋

代金五拾四兩壹分

銀六匁五分六厘

内金三分ト三匁九分式厘 部引

同 三分廿七匁八厘 手板

同 五拾兩也 扇与

殘金貳兩壹分四匁八分四厘

井筒屋善右衛門殿

五十五兩貳分かへ 十七入

△平 五丸
絛本

代金七拾三兩貳分貳朱卜

永八匁六分

五十八兩かへ 十八入

同野小 三丸

十袋

代金五拾八兩也

五三

廿八貳ッ

廿九入壹ッ

同得大

代金五拾貳兩壹分貳朱卜

永四匁六分九厘

同紅大 九兩三分 十七入
壹丸

四匁六分八厘

同吉九 十七入貳ッ
撰極 十八入貳ッ
四丸

代金六拾四兩貳分

永三匁分貳厘五

同五五 十八入
威絛 三丸

代金四拾六兩壹分貳朱卜

永三匁分貳厘五

同五貳 十八入
同光玉 三丸
同 八袋

代金五拾兩壹分貳朱

四八 十七入貳ッ

㊦ 紅青 十八入貳ッ 四丸

廿入

十九入

同 鳳 貳丸

ノ 四拾八兩かへ

代金八拾壹兩三分

内金壹兩貳朱ト六匁八分 部引

同金壹兩壹分貳朱ト廿八匁六分 手板不足

ノ 金貳兩貳分卅四匁壹分四厘

残 此金三兩四匁壹分四厘

ノ 金七拾八兩貳分貳朱ト

三匁三分六厘

右内

金七拾兩也 扇与殿相渡し

残 金八兩貳分貳朱ト

三匁三分六厘

買 方 覚

京都五条上り室町

金田屋傳兵衛殿分

△平 布段 六拾間

但シ廿七匁 銀壹匁五厘しかけ

代銀壹メ六百廿匁

同行

百六拾四匁の処江

同 夜着 拾通

金貳の仕掛

代銀壹メ六百四拾匁

大坂木町三丁目

扇屋与兵衛殿分

十月十二日

△平印 操錦 ④大入拾本

但シ直段ニメ三百匁かへ

十月卅日取引

十月十二日

⑤印 操錦 ④大入貳拾本

但シ三メ三百匁かへ

十月卅日取引

古手や長右衛門殿分

一 五拾匁

綿入巻つ

一 四拾匁

同 巻つ

一 廿匁

羽をり巻つ

一 廿八匁

茶しま詰羽をり

一 廿四匁

□巻つ

一 十貳匁

ちばん

一 四十匁

活巻つ

一 十七匁五分

水口屋分

一 十六匁

ゆかた巻丈

十一月七日定

⑥小 白玉 廿四本

巻メ八百匁かへ

鳥の屋小兵衛

大津 日高屋半兵衛殿

酒田 尾関 又平 殿

十一月十日

⑦金巻両也

かわ箇巻つ

美のや四郎兵衛殿

武兵衛殿

但シ巻疋ト三十八匁かへ

一 銀壹×百四十匁 三拾疋

六六銀

十月九日

内金拾兩也

相渡し

同

内金拾兩也

到着後相渡し

四匁七分かへ

一 四兩壹分

合羽四十

貳百文返り 魚 十三

又

ミのや四郎兵衛殿

相頼

奈良屋権兵衛殿

四月十八日

一小豆百五拾俵也

此石五拾七石 九斗かへ

代金六拾三兩

三拾三匁三分三厘

右江

金六拾兩

手形壹通

殘金三兩壹分貳朱ト也

貳百五十文 以上

覚

美濃屋忠右衛門殿

紅花 半兵衛殿

辰九月晦日受取申也 去年紅花

一金五拾八兩也

殘金

此利金六兩貳分

巳十月迄

合 金六拾四兩貳分也

内金貳拾九兩也

ミの忠殿より受取

殘金三拾五兩貳分

不足

巳十一月迄

覚

十月晦日渡り
一 金五拾両也 扇屋与兵衛相渡し

岐阜屋八郎殿渡り手形

日塔与右衛門殿

為替手形ニ而

十一月晦日渡り手形
一 金百両也 井善殿分

奈良屋権兵衛殿行

一同
一 金五拾両也 扇屋与兵衛殿相渡し

③印ミのや忠右衛門殿より

十二月晦日渡り手形
一 金百両也 伊勢利殿分

奈良屋権兵衛殿行

十一月晦日渡り

一 金五拾両也 同人行相渡し

伊勢屋利右衛門殿

十一月晦日渡り手形
一 金百両也 伊勢源助殿受取

奈良屋権兵衛殿行

十一月三日
入式百両也 森谷祐八殿受取

播州姫路

奈良屋権兵衛殿手代

極月廿日入

一 金百両也 古手や長右衛門殿受取

作五郎殿相渡し

表屋庄左衛門殿行

右金国元為替仕候処、預り為替手形森谷祐八殿江相渡し

大坂銭屋清吉殿ふり込

置、其外右金子并受取書共ニ相渡し置申候

十一月晦日渡り

一 金三百両也 井筒屋善右衛門殿より

大坂錢屋清右衛門殿江向

表屋庄左衛門殿行

右之通髓ニ請取申候、以上

十一月晦日渡り
一 金五拾兩 井筒屋善右衛門より

大坂扇屋与兵衛殿江

③古手注文金

十一月七日
一 金八拾兩也 奈良屋権兵衛代作五郎

手形十一月卅日

右之通髓受取也、已上

同日
入金四兩壹分五匁八分式厘 嶋八殿受取

同日
入金三兩貳朱卜四匁七厘 近佐殿受取

巳十一月十日
一 金拾兩 美濃屋四郎兵衛

十二月十日
一 金壹兩也 かわ箇代拂

十二月十二日渡り
一 金六兩壹歩 美のや受取

③ 同

近善殿相渡し

十二月十二日渡り
一 金貳拾九兩也 美のや受取

近善殿相渡し

十月十二日
一 金四兩壹分 合羽四十

十三拂

十一月晦日渡り
一 金貳拾兩也 ③分

扇与

井善より届ケ

同日
一 金九兩壹分貳朱 〆平分

扇与江

井善殿届ケ

同日
一 金拾兩也 ミの四郎殿江

井善殿届ケ

十一月十三日
一 金三拾三兩 源兵衛殿相渡し

綿代当

覚

表屋庄左衛門殿分

辰七月
差引残出し

一 銀壹メ七百六拾匁貳分壹厘

辰二月出し
入 貳貫拾壹匁貳分六厘 木綿貳箇

三月出し
同 壹メ三百七拾六匁分七厘 小着もの諸掛共

諸掛り共
同 貳拾八貫五拾八匁八分 秋古手四拾箇
元銀

〆三拾壹メ四百四拾六匁貳分三厘

右江

一 百兩也 美忠殿

紅半手形相渡し

一 三百兩也 同行庄相渡し

〆

巳ノ仕入

一 銀貳貫八百七拾九匁七分七厘 夏物貳箇分

一 同壹メ四百六拾匁三分七厘 木之目壹箇

一 同拾五貫五百九拾壹匁九分七厘 秋古手貳拾三箇也

〆正ミ拾九貫九百三拾貳匁七厘

右江

金百兩也 古手や長右衛門殿

十月廿日相渡し

金三兩也 十一月晦日相渡し

奈良屋権兵衛殿

一 正ミ拾七貫五百四拾貳匁老厘

卯六月廿六日

古手代

金五拾兩也 孫助殿

良助殿

辰四月中

金貳拾八兩壹分六匁八分七厘 伊勢源紅花代

辰九月晦日渡し

金五拾兩也 美の忠殿

辰十二月廿三日

金九拾兩也 新庄迄与八殿相渡し

辰三月三日辰古手前金

金貳拾兩也 源助相渡し

右任入之内作③奈良屋積出し荷、新潟辺りニ御役永三七
五相掛り、猶又□浦ニ早舟ニ多少入用相掛り、□□作五
郎殿江も申趣候間、委細奈良屋方引合□

分

拾五貫□五匁九分貳厘 廿老箇仕切高

實二百四拾二匁九分老厘 辰差引不足

拾九貫七百廿貳匁八分三厘

此利式メ七百六拾老匁貳分 五月より□□五月迄

十四ヶ月

合廿貳貫四百八拾四匁三厘

右江

一 金貳百八拾兩也 井善殿より相渡し

代拾七貫八百五拾

此り三メ貳百四拾九匁五分

一 金四拾貳兩貳分貳朱卜 美利殿入

銀貳匁九分貳厘

入

□廿壹貫八百三拾四匁六分□厘

差引

□百四拾九匁貳分五厘 不足

(六之)

〔裏表紙〕
〔羽州最上要害村

本木林兵衛〕

五一 午之紅花引当金借用申証文之事

午之紅花引当金借用申証文之事

一 金貳兩者 但し通用金也

右者当已之御物成米不足申二付、其段貴殿江達而御頼入、
右金只今髓ニ請取借用申所、実正明白ニ御座候、尤返濟
之義ハ来午之六月中、紅花摘立ヲ以月壹割五歩之利足を
加へ、元利急度返濟可申候、万一其節ニ到リ及遲滞候

八、請人之者引受、貴殿江御損毛御苦勞毛頭相掛申間敷
候、為後日紅花引当金借用証文仍而如件、

弘化二年

当村金借用人 今 藏[㊦]

已十二月

受人 半 助[㊦]

渡辺善次殿

五二 京都大坂諸用帳 (横帳)

(表紙)

弘化三年

京都 諸用帳
大坂

八月吉日

覚

京都 美濃屋忠右衛門殿分

平極撰紅花 十四入 四丸

八月三日出帆 吉津屋義助船

但し八拾式袋口

添金三分也

同 緋威 十九人 四丸

此内上印三袋百三十匁さし有

添金三分也

のと橋本屋乙吉船

◎松沢印

十八半入 卷つ
十九入 式つ
十八入 卷つ

四丸

金三分

吉津屋万助船

八月六日酒田出帆

✕

京都三条高泰

岐阜屋八郎兵衛殿分

七拾式袋口

△平紅花 新田 十八人 四丸

八月三日出帆

添金三分

錠屋清蔵船

七拾式袋

同 日之出紅花

四丸

添金三分

能登古手や八助船

✕

京都 伊勢屋源助殿分

七拾式袋口

△平新田撰

十八人 四丸

八月六日出帆

吉津屋義助船

同緋威

十八人 式丸

のと橋本屋乙吉船

✕

同丸彩

廿一人 式丸

のと橋本屋乙吉船

京都烏丸二条

井筒屋善右衛門殿分

九拾壹袋口

平高谷

十八入四
十九入壹つ 五丸

錠屋清藏船

八月十三日出帆

七拾三袋

平政紅印

十九入壹つ
十八入三つ 四丸

能登古手や八助船

ノ

京都四条烏丸東入

伊勢屋利右衛門殿分

五拾八袋口

平大力紅花

十八入 三丸

四拾壹袋口

同稀印紅花

式丸

大力四袋
同稀印五袋
極撰十袋

十九入 壹丸

ノ六丸

手板壹通

八月十一日出帆

但馬瀬戸 留田屋久右衛門船

同雨上

十七入 壹丸

九袋貳百五拾匁入

能登古手や八助船

㊦丸彩印

拾九入 五丸

金壹両也 添金

角屋栄三郎船

八月十一日酒田出帆

一 金貳拾両也

大坂小橋屋四郎右衛門殿

㊦丸彩引当分

渡り為替

西村清九郎殿行

古手や長右衛門殿

△平小町 五拾八口 十九入式つ三丸
式十八入巻つ三丸

仲間荷物寛分

添金式分

青葙

八月六日出帆

⊕山口ムクい印 拾箇 式連

吉津屋義助船

同

⊙彩梅印 十八入式つ四丸
拾七入式つ四丸

同山口ムクぬ印 八箇 四連

金三步 添金

同

同山口ムクち印 六丸 巻連

近江屋佐助殿分

同

同山口式番お印 式丸

△平小野 十八入三つ四丸
十九入巻つ四丸

△式拾六箇 七連

添金三分

此代金式百四拾兩三拾匁五分

但馬瀬戸留田屋久右衛門船

△吉

八月十一日出帆

⊕田代ムクる印青 六丸

同

同田代式番は印 壹丸

桜井源藏殿

△此金六拾四兩七拾五匁

同

同天飛青に印 貳丸

代金拾四兩三分

へ上

△平稀七夕ほ印 四丸

代金三拾八兩

へ上

⊕撰七夕へ印 貳丸 八連

代金貳拾六兩永貳拾貳匁五厘

へ上

⊕質白と印 六丸 七連

代金五拾兩八拾貳匁六分五厘

同

同天飛大白り印 拾丸

代金八拾五兩也

同

同岩根沢青る印 壹丸

代金八兩也

△金五百廿七兩八拾五匁六分五厘

一 金貳拾兩也 口錢諸掛り引受分

一 同三拾七匁五分 川渡し駄ちん

一 同金四兩壹分 庄内酒田迄運賃

三匁九分四厘

一 同金三分貳朱 合束まし

一 同三匁三分 小荷酒代

一 金貳兩九拾匁五分 御役永出判

△金貳拾八兩三拾壹匁四分

合金五百五拾六兩四拾六匁七分九厘

八月より利

本元五百三拾六兩壹分五百文

此手取売目録

金五百三拾五兩也

差引金壹兩壹分五百文 損毛

貳つ割 貳分貳朱ト貳百五拾文損

△平

青葺船割

㊥山口ムクイ印 四丸

同

同田代貳番 壹丸

同

同田代ムクロ印 貳丸

同

同天飛 に印 貳丸

同

△平稀七夕ほ印 貳丸

△拾三丸 能登橋野屋乙吉船

同

同山口ムクイ印 六丸

同

同田代ムクロ印 四丸

△拾丸 但馬セ戸留田屋錠助船

△上

△平稀七夕は印 貳丸

△上

㊥宮内と印 四丸

同

同山口ち印 四丸

△拾丸 能登古手や八助船

同

同撰七夕へ印 貳丸

同

同同七夕 壹丸

山口ぬ印造合

同

同宮内と印 貳丸

同

同天飛大白り印 四丸

同

同岩根沢る印 壹丸

ノ拾丸 越前三国戸田屋太三郎船

大坂日高屋半兵衛殿揚ケ

同

同山口ムクち印 式丸

同

同天飛大白り印 六丸

同

同付字七連入 式丸
同六連入

ノの登橋野や乙吉船

同

同山口ムクぬ印 八丸

同

同山口式番お印 式丸

ノ拾丸 加州坂切津や仁兵衛船

ノ合五拾丸小荷式つ

京都七条大川筋

古手や長右衛門殿行

覚

京都 美濃屋忠左衛門殿

紅屋 半兵衛殿分

古手紅花代不足

一 金五拾八兩也 辰九月晦日受取分不足

此り金六兩式分 巳十月迄

合金六拾四兩式分

内金式拾九兩也 三のや忠右衛門殿受取

殘金三拾五兩式分 不足巳十一月迄

覚

京着ノ〇

ノ平紅花新田 四丸

同 新撰 四丸

ノ百四拾四袋

代金百廿兩貳分貳朱

外二金貳分貳朱

袋代

同 金三分

肩ほし

同 金壹分

荷造

同 金壹兩貳分

添金

同 金壹分

畑前駄ちん

小以金三兩貳朱

合金百三拾兩三分也

京着ノ△

同極撰 四丸

八拾貳袋

代金七拾兩壹分貳朱

外二一 貳朱

駄ちん畑前

一 貳朱

荷造

一 金壹分貳朱

袋代

一 金貳分

肩ほし

一 壹貫文 むしろ代

一 金三分 添金

一 金貳朱ト貳百文 大石田迄

小以ノ金貳兩三朱也

金七拾貳兩貳分壹朱

京着ノ▽

△平高谷 九拾壹袋 五丸

代金七拾六兩貳朱

外二一 貳朱 駄ちん

一 金壹分 肩ほし

一 貳朱 荷造

一 金壹兩也 添金

一 金壹分 大石田迄駄ちん

一 金壹兩也 口銭

小以ノ金貳兩三分

合 七拾八兩三分貳朱

京着 / □ ×

△平大力 五拾八袋口 三丸

代金四拾七兩三分式朱卜百八十文

内式朱 荷造

同金壹分 袋代

同金貳朱 大石田迄見込實

同金三分 添見込

小以 / 金壹兩壹分

金四拾九兩貳朱百八十文

△△
△×

合 金四拾貳兩壹分

京着 / △ △

△平小町 五拾八袋 三丸

代金四十七兩壹分

此諸掛り物 金壹兩貳分

合金四拾八兩三分

京着 □ △ × 〓

同小野 七拾三袋 四丸

此代四拾七兩貳分

同金貳兩也 諸掛り

合四拾九兩貳分

△平稀印 四拾壹袋口 貳丸

代金四拾壹兩貳朱式メ三百六十七文

内壹朱 荷造

同壹朱卜貳百文 大石田迄見込割

同金貳朱 肩ほし

同金貳分也 添金

小以 三分貳百文

京着 / △ 〓 〓

△平政紅 七拾三袋 四丸

代金六拾兩也

外二 一 貳朱 荷造

一 添金 三分

一 卷×四百文 大石田迄見込

小以^ノ金老兩卷朱

合 六拾卷兩卷朱

ノノイ下

入合寛

十月晦日

入金五兩也

伊勢利殿受取

十月晦日

入金五兩也

岐阜八殿受取

十一月十三日

入金四拾兩也

岐阜八殿受取

受取手形通し

京着 ノノイ

△平日之出彩威 百八拾四袋 十九丸

代金百六拾卷兩也

此掛り 金四兩貳分

合 百六拾五兩貳分

京着 ノノイ

△平丸紅四拾貳袋 貳丸

代金三拾貳兩永八拾三匁貳分五厘

外ニ 三分 掛り物

合金三拾三兩貳分壹朱

ノノイ 八百四拾六袋

代金七百三拾卷兩九拾三匁七分五厘

手形控

十一月卅日渡り

一 金三拾兩也 奈良屋權兵衛殿行

小橋屋彦九郎殿^江

右之通此手形を以無相違御渡し可被下候、以上

京都 岐阜屋八郎兵衛殿

覚

十一月卅日渡り

一金百六拾両也

同断

右之通此手形を以無相違御渡し可被下候、以上

京都 ミの屋忠右衛門殿

壹月晦日渡り

一金百両也

奈良屋権兵衛殿江

右之通此手形を以無相違御渡し可被下候、以上

覚

十一月晦日

一金四拾両也

大坂本町扇屋金藏江

右之通此手形を以無相違御渡し可被下候、以上

京都 綿屋勇藏殿

十一月卅日

一金四拾両也

扇屋与藏殿行

右之通此手形を以無相違御渡し可被成下候、以上

京都 西村清九郎殿

十一月晦日

一金六拾両也

扇屋与三郎殿

右之通此手形を以無相違御渡し可被成下候、以上

京都 伊勢屋源助殿

覚

一金百両也

同断

同断

古長殿

十二月晦日切

一 金式拾六両式分銀壹分六厘 伊勢屋源助

源兵衛様江手形渡し置

十二月晦日

一 金拾八両壹分 京都ミのや四郎兵衛江直相出し

売立覚

岐阜屋八郎兵衛殿

△平新田 七拾貳袋也

代金六拾七兩貳分永貳拾三匁貳分

分引

△平日之出印 七拾貳袋也

代金六拾三兩也

×金百三拾兩貳分永貳拾三匁貳分

ミの屋忠右衛門殿分

△平極撰印 貳拾貳袋口

代金七拾四兩永三拾壹匁貳分五厘

△平飛威 百拾貳袋

代金九拾六兩壹分

合金百七拾兩貳分永六匁貳分五厘

西村清九郎殿分

△平小町 五拾八袋

代金四拾九兩壹分永六匁五分六厘

伊勢屋源助殿分

△平新田 七拾貳袋

代金六拾六兩三分永六匁貳分五厘

×

伊勢屋利右衛門殿分

△平高谷印 九拾壹袋

代金八拾八兩永廿五匁七分八厘

近江屋佐助殿分

△平小野 七拾三袋

代金五拾兩永拾八匁八分

綿屋勇藏殿分

△平稀印 四拾貳袋

代金四拾貳兩貳分永拾五匁六分貳厘

伊勢屋利右衛門殿分

△平大力 五拾八袋 三丸

代金五拾貳兩貳分永六匁貳分六厘

丸紅印 引而

但四拾五兩替

一 金四拾四兩貳分貳朱卜壹分八厘

十二月切

岐阜八殿分

岐阜八殿分

同政紅 七拾三袋 四丸

但五拾兩替

五拾八兩永拾四匁

紅梅印 引而

同丸彩 四拾貳袋 貳丸

一 金五拾三兩壹分貳朱卜銀五匁五分七厘

代金貳拾六兩拾九匁七分五厘

△金百六拾兩三分銀拾匁六分六厘

宇野与藏様

覚

紅花売仕切書

權門殿

伊勢利殿⁵

一 金拾貳兩貳朱卜六匁六分四厘

但金五拾七兩替

二月卅日切 紅花代

松印 引而

右金壹分貳朱卜七分三厘 酒田より敦賀迄運賃

一 金六拾貳兩三分卜銀四匁九分壹厘

同 三匁八分 塩津中村払

未正月卅日限

外二四匁五厘 大津払

伊勢利殿⁶

同 五百文 大石田迄駄ちん

同 四百文

酒田迄駄ちん見当

三百文

荷造なわむしろ

ノ金貳分貳朱ト五匁貳分八厘

差引金拾壹兩貳朱ト壹匁三分六厘

金貳分貳朱 算間違相渡

正月三日 相濟

覚

宇野与蔵殿

一 金貳兩也

伊勢利殿預り

内引拾三匁

判代

貳朱

西村屋巳年仕切

金貳分

戸田与殿壹月利足

貳朱

ミの忠殿蔵敷諸料

ノ金三分拾三匁

差引金壹兩ト貳匁 預り

覚

紅花代別

一 金貳兩貳分貳朱ト壹匁三分六厘

右之通髓ニ預り申候、此手形を以無相違御渡し可申上候、

以上

未二月三日

本木林兵衛

阿屋権内殿

覚

戸田屋与兵衛殿分

十月十二日相定

△平券印操綿 大入三拾本 十式口入

但十一月晦日切

代銀八貫六百拾貳匁貳分

十月中

池辺屋

一 金貳分五百文

五具足代

一 金貳朱

人形三組

但し銀八匁六分相渡し

操引仲間分

平兩印
上兩印

一 本白玉大入拾五本

但し正卅日切 五メ文かへ

代銀三メ六百匁

外ニ一 百廿匁 諸入用

三メ七百廿五匁

此金 金貳兩也 去年立合引

今田屋伝兵衛殿

新布段

一 元合八十間

新さるさ

但△×かへ 布段廿間

印分

九月朔日

正ミ一 三拾七匁 干筋綿入巻つ

正ミ一 卅八匁五分 干弁け綿入

正ミ一 三拾貳匁 相子筋綿入巻つ

正ミ一 三拾匁 天百登女帯巻つ

山田屋安兵衛殿分

十二月十八日 合羽しやうてん

一 百七拾五匁 三五かへ 五十

六六

金貳兩分式朱卜百七拾文

相渡し

右ハ会田屋伝兵衛殿預置

京都松原通あけす

美のや治兵衛殿分

一 金三分三匁 美兵衛殿分

一 金壹分三匁 三重座同巻本

ノ金壹兩ト六匁

右江金壹兩也 受取

外ニ諸掛リ

治郎兵衛殿分

一 金貳分貳朱ト三匁 五重座惣金

外ニ入用

内金壹分 受取

森谷祐八殿

十二月中

一 五匁貳分 足袋貳速

此内四匁 たはこ入式つ

八日

一 金壹分四百五十文 松惣殿立替分

八日

一 金壹分貳朱ト三匁五分 木津屋立替

十二月朔日 六六

一 銀貳百六拾五匁 亀甲屋半七殿立替

十二月中

一 金四兩貳分 四条合しやう立替

羽州屋久右衛門殿分

一 百廿匁 八箱入 線香拾箇

一 拾五匁 狭板代

又 拾三匁 運賃

四匁五分四厘 まし

一 九拾匁 三匁かへ本金茶わん三十

一 拾五匁 本金こつふり壹つ

一 拾六匁五分 円房つき大はち

ノ貳百七拾四匁四厘

右江金三兩也 相渡し

同 十二月廿日 金壹兩壹分京都より差送り

覚

金鳥屋伝兵衛殿分

一 四貫廿六匁 △殿分 貳匁仕掛分

正金六拾壹兩也

一 貳百拾六匁 △壹匁五分仕掛

正金三兩三分永五匁

一 七拾五匁 正ミ物分

一 貳百九匁五分六厘 荷造賃包廿匁

此金四兩永四拾四匁六分貳厘五

金六拾八兩三分

右江金七拾兩也 受取

差引金壹兩壹分 過上

内金五兩也

直相渡し

正月十七日

又金五兩也

与吉渡し

又金壹兩也

ふく屋割合分

又貳朱ト七百八文

新かき引

又貳拾貳匁

羽をり

二月五日

同金四兩也

上方不引殘分相渡し

四月朔日

同金三兩也

相渡し

同金壹分

油かす代

同金三分三朱

美子壹本

×拾九兩三分壹朱

差引金壹兩貳朱ト三百三拾文 不足

覚 岐八殿差引立合勘定

午正月改

入金拾八兩貳分貳朱ト四拾七文 改預り

正月七日

美濃屋四郎兵衛殿分

一 四貫廿六匁 森谷祐八分貳匁仕掛分

一 壹メ六百四拾匁 元木殿分貳匁仕掛

一 式百拾六匁 森谷殿分壹匁五分

一 壹×六百廿匁 元木殿分壹匁五分仕掛

一 七拾五匁 森谷殿分正ミ金物

ノ七貫五百七拾七匁

内五貫六百六拾六匁 式〇仕掛

同壹×八百卅六匁 壹五仕掛

同七拾五匁 正ミ金物

此所へ

金百拾五兩 相渡し

代七貫五百七拾三匁七分六厘

同八拾五兩三步式朱 式〇仕掛

代五貫六百六拾七匁七分五厘

又卅八兩 壹五仕掛

代壹貫八百卅四匁

又壹兩式朱 正ミ金

代七拾式匁

ノ七貫五百七拾三匁七分五厘

差引ノ三匁式分五厘 不足

一 壹貫百式匁 絹中担廿九疋

一 三拾式匁 相弁數万掛金

ノ 賣貫百三十四匁

内金拾兩六百卅八匁 相渡し

同 拾兩六百卅八匁 相渡し

前不足

差引ノ百三十八匁七分七厘 過上

外ニ金式兩式步式百四拾八文 金手付金

合テ金式兩式分百卅八匁七分五厘

式百四拾八文 相渡し分

一 式百式匁八分六 平印秋着荷物

中入引解入用迄

一 式百九匁五分六 △印同引

ノ 四百十式匁四分式厘

内江右過上金相渡し

金貳兩貳分

代百五拾九匁五分

百三十八匁七分五厘

貳百四十八文

差引ノ百拾壹匁六分九厘

一 壹貫四百廿七匁三分 夏物壹箇入用共

一 百拾壹匁六分九厘 右引残りかし分

ノ壹貫五百三拾八匁九分九厘

二月も五月晦迄 八朱 四ヶ月

四拾九匁貳分五厘

一 四貫百六拾貳匁九分六厘 秋古手代(平印)

一 百六拾八匁 拾八箇酒田迄實

ノ四貫三百卅匁九分六厘

合五貫九百十九匁貳分

一 銀拾三貫九百六拾七匁四分四厘

壹番より十五番迄仕切高

一 同式メ貳百目貳分七厘

十六番より十九番迄仕切高

ノ拾六貫百六拾七匁七分壹厘

此利 五月より

一 銀六百四拾九匁貳分七厘 巳差引錢不足

此利四拾五匁四分七厘 八月より

六百九拾四匁八分

内貳百三匁七分七厘 利足引

残四百九拾壹匁三厘

右江

同金六拾兩也 酒田ニ而小豆代金、午四月与利

同金貳拾兩也 辰年三月元

(朱書)「此分源助殿分」

同金七兩也 去辰年安浦早船分入用御使永引

同金貳兩也 去巳年夏物用諸引

同金 酒田ニ而焼失荷物分壹箇預事

播州姫路

奈良屋権兵衛殿

丙午

同金貳分銀貳匁五厘 金五拾兩登せ同運賃立替

一 金貳百兩也

古手や岐阜屋

同銀六百文 当所宿飛脚式人山形迄駄ちん共

十二月十一日

二

一 金三兩貳分

相渡し

同三百文

状賃

八日

同貳百文

船はし賃

同 卷メ百文

入金三分

道中預り

同

当仕入十卷番卷箇雨気時しめり

半金ニ相成候、御儀源助様御覽

入

為替差引寛

同銀九百八拾六匁

酒田ニ而作五郎ちりめん品々物

一 金三百兩也

大晦日相渡し

同四拾五匁引

相渡し

右江受取方

残九百四十一匁

午八月元

内七拾兩

高橋五右衛門殿

右所江

内三拾兩

御店義兵衛殿夫も高橋殿より

金拾卷兩也

手形酒田表ニ而八月晦日受取分

卷月五日

残

内金拾貳兩

新庄表より

九月九日

内金貳百兩

午正月入

一 金壹兩也

奈良屋作五郎殿かし

但し此分森谷祐八殿分御座候ハ、此過利

晦日渡し

金五兩也

相渡し、新庄飛脚通し

ノ金三両貳分

八両貳分

差引金三両貳分 預り

午差引寛

午五月元

一 銀拾六貫百六拾七匁七分壹厘 拾九通之仕切高ノ

此り壹貫四百五拾五匁九厘 五月も壹月迄

ノ九ヶ月分

午十一月九日

ノ拾七貫六百廿貳匁八分

内

一 金貳分銀貳匁五分

巳三月中山形高田弓

太郎殿渡り金為登ち

ん代

代三拾四匁五分

巳三月も午十二月迄

分

戻而七匁九分三厘

廿三ヶ月分

巳ノ八月晦日

一 同拾壹兩

作五郎入

代七百壹匁貳分五厘

戻而百拾九匁貳分壹厘

午四月八日

巳ノ九月分も午ノ壹月迄ノ十七ヶ月分

一 同六拾兩也

小豆代金入

代三貫八百五十八匁

戻而三百八拾五匁八分

四月も壹月迄

ノ十ヶ月分

一 同十壹兩也

京二而作五郎入

代六拾四匁壹分

戻而九分六厘

十一月半も十二月迄

一 銀拾壹匁

飛脚實并三状ちん

ノ五貫百八拾貳匁七分五厘

差引残而拾貳貫四百四拾匁五厘

此金凡百九拾四兩二朱計り

一 金拾兩貳分 為替差引不足分

一 銀四百九拾老匁三厘 巳ノ差引残

但し午老月分も十二月迄改メ

此金七兩六拾七匁貳分三厘

但シ右五

一 金百兩也 京岐阜八殿も入

一 同百兩也ハ 古長殿も相渡ス

一 貳百兩 十二月晦日渡ス 手形 二兩

十二月十六日

一 同三兩貳分 直キ渡シ分

其外二

一 金 去ル巳ノ夏もの直引并ニ当仕入之

十一番老丸中ニぬれ、亦々酒田宮

浦難船旁色々用捨為致候分

但シ国元ニ而応対ニ而相濟分、よく

承り申候、則此度代留達仕候、源

介

巳ノ為替差引

一 金貳百兩也 十一月七日渡シ

同四兩也

一 同百兩也永五拾匁 午ノ正月四日いせ利入

一 三百四兩五拾匁

内

十月晦日

一 金七拾兩 三郎も入

同三兩七十五匁

十一月廿日

一 同三拾兩 義兵衛殿も入

同六拾匁

右之通り皆濟候

十二月五日

一 同拾貳兩也 三郎ち入

同拾貳匁

一 同五拾兩也 源介殿ち入

同五拾匁

一 同百五拾兩也 右同人

同七拾五匁

↗ 三百拾五兩七拾貳匁

↗ 拾三兩貳拾貳匁

内

一 金三百五拾匁 替金相渡ス

↗ 七兩七拾貳匁

一 同拾兩五拾匁

差引残而貳兩七拾八匁 不足かし

大公

午ノ為替金差引

一 金貳百兩 十一月廿九日渡ス

百九拾五兩也

此し貳兩九拾貳匁五分

↗ 百九拾七兩九拾貳匁五分

此処へ

一 金貳百兩 未正月十七日

↗ 貳兩七匁五分

一 金壹兩 替金渡ス

↗ 壹兩七匁五分 過預り

大舌江

要助分

御本山上納

一 八百七拾匁 十二日講直納会合錢

一 四百匁 内仏參錢

一 四百文 長九郎大谷上納

一 七百三十八文 林兵衛分十二日講直納

金拾兩也 八月六日渡り

但し飛手形

金貳拾兩也 作兵衛殿渡り

九月朔日

金五拾兩也 畑中も証文入

金百四拾兩也 受取

九月十九日

同金五兩也 受取

八日

同金拾兩也 受取

金百五拾五兩也

外二

九月六日

金拾兩也 仁平二

外金壹分 久三郎為替所

不渡二付正金二兩渡

五分五厘 すみ壹丁

金百六拾五兩壹分五分五厘

谷地 桜井源兵衛殿分

仲間分

青芋貳拾九駄半、小花式箇分

一 金五百三拾四兩壹分 元

外二金壹兩五百文 御役永まし

又 金壹兩三分 蔵入算間違

(朱書)「五百三拾六兩壹分五百文」

右江

金三拾兩也 七月十九日受取

金拾兩也 同廿一日

金五兩也 廿四日

金拾兩也 八月三日

金五兩也 八月十九日

此内

金五拾五両壹分

古手や長右衛門

一 金壹両也

仁平ニ京都ニ而受取

六分五厘

古手代金

ノ 金拾貳両壹分貳朱

五月返り

金七拾六両也

古長殿より源藏殿渡り

右江六月五日

相渡し

金貳拾六両貳分

京都伊勢源殿渡り

金拾両也

金壹両壹分

畑中利足払

金貳分貳朱ト貳百廿文

貳ツ割損

(裏表紙)

「羽州最上要害

ノ 百五拾九両三分ト五拾五文

本木林兵衛」

差引金五両貳分

以上

金壹両

古手や長右衛門

古手代不足損

一 百四拾匁

八番袴布段綿壹箇

五三 紅花等仕入帳 (横帳)

此代り物 廿七匁七分七厘

一 百卅八匁七分貳厘

諸掛り物

四匁五分

諸掛り物

(表紙)

「弘化四年

ノ 三百拾壹匁壹分

仕入帳

此金四両三分貳朱

五月返り

未正月吉日」

表屋庄左衛門殿

古手注文書

巻番

△平草古手見買分

右之通り御座候、以上

一	拾六七匁	中上綿入	五束	一	札高合四百八十七匁八分	廿枚
一	拾三匁	中同	五束	壹		
一	八九匁	下同	五束	一	一札高合四百八十七匁八分	廿枚
一	拾五匁	形付同	三	貳		
一	五六匁	嶋半天	三	一	同	四百九十七匁四分
一	同	西才	三	三		
一	七八匁	中上浅キ	貳十五束	一	同	四百八十八匁四分
一	四匁五分	中同	十束	四		
一	三匁五分	下同	十	一	同	四百五十九匁
一	五六匁	中解	五	五		
一	三匁五分	下解	貳十	一	同	四百五十五匁七分
一	三屋	下々同	十五束	六		
一	下貫綿		五	一	同	五百七十四匁貳分
一	蒔解		三箇	七		
	正月十二日出し			一	同	五百四十四匁五分

のぼり五本

女帯巻筋

六本色そめ

七束入

裕式反、小くら帯

地之色

一 同 五百八拾九匁八分 布段十式

六 卷メ廿八匁四分 七束

平古手見買分

い印

一 札高合三百六拾匁六分 古手十

一 同 三百七拾六匁六分 同十

一 同 三百拾四匁式分 同十

一 同 三百三拾九匁式分 同十

一 同 三百三拾五匁 同十

一 同 百三拾三匁六分 女帯十一筋

六 卷メ八百五拾九匁式分

外ニ着用物入

六 三メ五百七匁

一 札高合六十一匁五分

平白木綿

一 銀五百式十式匁

一 同四百九十式匁

一 同四百六拾式匁

一 同式百拾六匁

一 同式百老匁

六 いろいろ印式箇

仁印六拾反

義印六拾反

礼印六拾反

知印三拾反

信印三十反

但六三掛売

平布段古手見買分

ろ印

一 札高合四百三拾八匁六分 古手拾三枚包巻つ

三十四印

高札表式百廿五匁

此王札

下解廿枚と印あり

八匁壹分 九匁

七匁五分 八匁壹分

九匁九分 八匁壹分

八匁壹分 九匁六分

八匁四分 九匁九分

九匁六分 六匁九分

八匁壹分 八匁四分

八匁壹分 八匁四分

六匁六分 七匁五分

九匁六分 六匁六分

〆百六拾六匁五分

差引五十八匁五分 間違

正ミ拾九匁五分間違

播州姫路
奈良屋権兵衛殿

古手注文書

一 平印

一 中上嶋綿入 拾束

一 中同 五

一 下同 拾

一 下西才 三

一 中上浅キ解 廿五

一 中同 五

一 下同 五

一 中解 五

一 下同 十

一 下々同 十五

一 下貫綿 五

一 中嶋布段 貳箇

一 屑解 三箇

〆右之通り御座候、以上

百老番

平夏物取合

は

一 式百六拾六匁四分
 一 三百三拾八匁壹分
 一 三百壹匁貳分
 一 貳百九十匁五分
 一 貳百七十九匁九分
 一 五百五拾九匁八分
 一 五百七拾三匁三分
 外に
 一 七十八匁 着用物入
 百六はん

八平手拭
 当着成り
 一 弘愼形 三拾反
 助会
 一 広打被 貳十四反
 廿廿
 一 顔中染 拾八反
 廿五
 一 桜水浅キ 三拾反
 丸キ
 一 満商玉 三拾反
 丸キ
 一 梅拔蔵綿 三拾反
 廿等
 一 明玉川晒 三拾反
 丸た
 一 十式匁 まき回式反
 外に
 百九十四反
 中解
 百三

廿貳匁五分 廿匁

廿匁 十八匁七分

廿七匁五分 十六匁五分

廿五匁 十六匁貳分

廿六匁貳分 十三匁七分

廿匁 十七匁五分

十八匁七分 廿壹匁貳分

廿匁 十三匁七分

十六匁三分 十六匁三分

十八匁七分 十八匁七分

〳三百八十七匁四分

百貳

廿匁 十三匁七分

十八匁貳分 十五匁

廿貳匁五分 十八匁七分

十八匁 十貳匁五分

十五匁 十三匁四分

廿五匁 十八匁九分

十八匁 十貳匁五分

廿貳匁五分 七匁五分

廿匁 廿一匁貳分

十八匁七分 十五匁五分

〳三百五十壹匁八分

百四 下

十一匁三分 九匁五分

十一匁七分 七匁

十七匁三分 十四匁三分

貳十匁 八匁七分

拾七匁五分 十一匁貳分

廿四匁五分 十匁

拾八匁七分 八匁貳分

十五匁 八匁七分

十五匁 七匁五分

十三匁七分 十一匁三分

ノ式百六拾匁七分

札三双入

下解

百五

但京入嶋無用

△平印

拾式匁五分

一中上嶋綿入 十

十三匁五分

一中同 五速

十五匁七分

一下同 十

十六匁七分

一木羽打 三

八匁七分

一下西才 三

十五匁

一中形付綿 五

十八匁八分

一中上浅キ解 廿五

十五匁

一中同 十

十三匁七分

一下同 五

十三匁七分

一中解 嶋 廿
浅キ十

ノ式百六十匁七分

一下同 十五

一下々同 十五

ならや仕入書控

一下無色同 五

↗

一 屑解 三箇

一 中嶋布段 三箇

但中綿悪共
うら表宜敷品御願申候

右之通り御座候

申正月廿二日

ならや殿

表庄殿仕入書控

札三双入 へ平

一 拾六七匁 中上嶋綿入十

一 十三匁 同 十

一 八九匁 下 十

一 十五匁 あい形付ニ而形付
岸小役形無用 十

一 五六匁 嶋半反 三

一 八九匁 中上嶋トキ三

一 同 西才 三

一 七八匁 但し色うすく共中上浅キ
地品宜敷品 式十五

一 四匁五分 中同 十五

一 三匁五分 下 十

一 五六匁 中解 十

一 三匁五分 下 式十

一 三匁 下々 十五

一 三匁五分 下無色 十

一 中女帯 五

↗

一 屑解 三箇

一 嶋布段 中下取合巻箇

但中綿悪く共うら表宜敷品御願申候

↗

「紅花仕入」

覚

畑中 与蔵殿

六月十五日

一 五メ六百目

一 五メ五百目

一 式メ貳百七十目

一 拾三メ三百七十目

内卷メ五十目 風代

正ミ拾貳メ貳百三十目

小町 代金拾三兩卷分式朱ト五百文

内金三兩卷分式朱ト五百文 相渡し

差引

六月廿六日

内拾兩 渡し

六月廿七日

百五文 渡し

此金貳兩卷分三百七十五文

七月四日

又金壹兩也 渡し

六月廿一日
一 八百目 与蔵殿かゝき満分

内百目 風代引

正ミ七百目

小町 代金三分也百文

七月五日

一 金三兩式分 相渡し

一 式メ五百匁 同人分らんか

内百六十匁 風代引

正ミ式メ三百四十匁

代金壹兩卷分

七月六日

内金五兩式朱ト五百六十文 相渡し

表向花代不残相濟申候、以上

高谷買

六月廿四日

一 七メ七百匁

新兵衛

代金拾壹兩也

外貳百文 刺花

一 八メ六百五拾匁 重三郎

代金拾貳兩三分卜四百文

外二百八十八文 刺花

一 五メ七百匁 新重郎

代金七兩壹分卜四百文

一 八メ八百五拾匁 重太郎

代金拾貳兩三分卜四百文

外四百五十文 刺花

一 貳メ百匁 平右衛門

代金三兩四百文

一 七百三十匁 庄兵衛

一 三メ六百八十匁

一 貳メ五百廿匁

六メ八百四拾匁

代金八兩卜壹メ三百六十文

一 四メ六百目 与右衛門

代金五兩三分貳朱卜四百文

一 三百八十目 三右衛門

代金壹分卜四百文

一 壹メ五百文 刺花

一 一百五十目 市藏

一 八百五十目

代金壹分貳朱卜壹メ八百文

一 三百七十目 久八

一 六十目

代金壹分貳朱卜壹メ文

一 四メ四百七十目 重兵衛

代金五兩三分貳朱卜七百四十文

一 五メ九百目 久兵衛

代七兩三分式朱ト三百三十文

一 式百五十目 四郎兵衛

代金壹分式百文

一 壹メ九十匁 久助

一 百七十匁

代金壹兩壹分式朱ト壹メ百五十文

一 三百六十五文 八兵衛

一 七匁文 おとめ

一 三メ百十目 元

代金三兩三分也

惣メ金八拾壹兩ト壹分

錢拾式メ三分八十壹文

三六式あり

右江

金拾五兩也 渡し

又五十文 渡し

七月朔日 渡し

金式拾兩也

七月三日 渡し
金式拾八兩也

谷地高関買

六月廿五日

一 式メ七百十匁 久助

代金三兩壹分式朱ト式百文

外七百文 刺花

一 式メ七百七目 長太郎

代金三兩壹分

一 式メ七百五十目 清四郎

代金三兩式分四百文

一 式メ九十匁 忠兵衛

代金式兩式分式朱

外二壹分也 刺花

メ金拾三兩式朱ト三百八十五文

内金式兩也 渡し

七月朔日
内金貳兩也 渡し

二日
同金貳分壹メ三百十文

外ニ貳百四拾文 酒代

あら町買

六月廿六日
一 壹メ三百七拾匁 与 吉

代壹兩貳分貳朱ト六百文

一 三メ八百目 小 助

代四兩貳分

一 壹メ七百目 与 蔵

代貳兩貳朱

一 壹メ貳十目 茂右衛門

代金壹兩壹分

一 壹メ三百五十目 重右衛門

代壹兩三分ト百文

一 壹メ三百七十目 四郎兵衛

代壹兩貳分貳朱ト六百文

一 四百五十目 権 助

代貳分壹百文

一 貳メ四百目 行 蔵

代三兩ト貳百文

一 五百八十目 藤右衛門

代三分百五十文

一 五百目 重右衛門

貳分ト七百文

メ金拾七兩貳分貳朱ト錢貳メ六百五十文

一 貳分ト五百文 まけの分

又メ金拾八兩貳朱ト三メ百五十文

右江

金四兩也 渡し

六月廿九日
又金拾兩也 渡し

又同四兩也 渡し

八月六日
又貳朱ト三メ百五十文 渡し

七月二日
一 正ミ九百九拾匁 じおんじ金蔵坊

代金壹兩百文 代金相渡し

稀印

覚

野田かへ

一 金六拾三兩三分三朱

式メ四百三十文

右江金拾兩也

年利相渡し

金七兩壹分貳朱 与七殿引

但し差引入分

拾七兩壹分貳朱也

残金四拾六兩貳分壹朱

出メ四百三十文
此金壹分貳朱

金四拾六兩三分三朱

右江金四拾五兩 証文相出し

残金壹兩三分三朱也

十二月五日

一 金四十九兩貳分 相渡し相済

一 金貳兩壹分 跡口染屋分

一 七百文 与七殿かし

一 四百文 与七分

一 貳百貳文 同断

内貳朱 七月四日渡し

政吉殿買

一 正ミ百目

代七百貳文

一 式メ六百目 善四郎

代金三兩ト壹メ貳百文

一 卷ノ貳百目 善蔵

代金壹兩貳分

一 百三十目

代貳朱也

一 五十目

代四百文

一 正ニ百三十匁

代貳朱ト貳百文

小町 金四兩三分ト貳メ五百貳十文

内四兩ト壹メ貳百文 相渡し

小町 七月十日

一 百七十目

仁平

代貳朱ト六百文 濟

小町

一 八百五十匁

嶋重

代三分貳朱ト八百八十文 代濟

政吉殿

七月七日 手丁

一 拾五メ五十目

内貳メ五百目 代引

正ニ拾貳メ五百五目

小町 代金拾五兩也

七月七日 稀印

一 九百五十目 ちをんじ買 彦松

代金壹分貳朱ト四百五十文 代濟

七月七日 稀印

一 貳百八十目 同断 七右衛門

代壹分ト五百五十文 代濟

金松沢口

一 五百三十匁 内分

代金貳分貳朱ト三百文

覚

藤助新田 伝蔵殿

新助殿

金貳拾五兩壹分貳朱ト四メ四百七拾文

紅花代

一 金九拾七兩〇貳百文 諸掛り共

此袋百五拾四袋

金壹兩壹分貳朱

金貳拾六兩三分四貫四百七拾文

此内 四つ 中花

い印赤 外ニ五百文 駄ちん

右江金九兩也

相渡し

同 金七兩也

奔六殿相渡し

七月九日 右江金三兩也 相渡し

同 拾兩也

相渡し

七月十一日 金三拾兩也 相渡し、新助

同 壹兩壹分壹メ文 相渡し

金拾兩也 相渡し

金五拾兩也 注文に而相渡し

金壹兩壹分五百文

袋代

右江壹兩壹分

相渡し

七月十九日

金四兩貳百文 相渡し

五百文

相渡し

五百文 新助

覚

ノ

谷地かへ

かに沢かへ

一 金貳兩貳分貳朱 門蔵・善右衛門直渡し

惣五郎殿分

其分

新田

一 金三兩貳分 長九郎

一 金七兩也 李兵衛
 一 五百六十文 小花代
 一 金貳朱 せんさん
 一 金貳分貳朱ト三百文 藤右衛門
 一 金壹兩三分貳朱 庄三郎
 一 内百文引
 一 金貳兩壹分貳朱 作助
 一 金貳分貳百文 幸作
 一 金三兩三分 小七
 一 金壹兩壹分三百文 市兵衛
 一 外二四百文 小花
 一 金貳分三朱 守
 一 金貳兩壹分 加右衛門
 一 外二貳百文
 一 金三兩壹分貳朱 幸四郎
 一 金貳兩三分四百文 万助
 一 内五十文
 一 代四百文 風代出目引

一 金貳分貳朱ト貳百文 権内
 一 金貳分壹メ三百文 万五郎
 一 金四兩三分 伊八
 一 金七兩壹分 忠右衛門
 一 金六兩也 万藏
 一 外二貳朱 酒代
 一 百六十文
 一 金三兩三分 与吉
 一 金五拾八兩壹朱ト三メ五百廿文
 一 右江金六兩貳分 手付相渡し
 一 金五兩也 相渡し
 一 金八兩貳分 相渡し
 一 金貳拾兩也 相渡し
 一 又金拾兩也 相渡し
 一 同三拾兩也 相渡し
 一 金六拾兩也 相渡し
 一 六月廿六日
 一 金貳兩壹朱 喜内

一 金四兩也 久作

一 貳朱 おもん

一 金壹兩三分 長六

一 金壹兩貳朱 庄藏

一 金五兩壹分四百文 伝右衛門

一 貳メ貳百四拾文 善右衛門

一 壹メ三百七拾五文 同人

一 壹メ五百廿文 喜四郎

〆金拾四兩壹分壹朱ト七メ五百三拾五文

八日 鳳凰

一 拾兩壹分貳朱ト貳百九十八文

長右衛門かへ

加に沢北口分

一 三百廿文 共同砂

一 金三兩三分三朱 勘七

一 金七兩貳朱 次郎助

一 金貳兩三分 茂吉

一 金五兩貳分 惣治郎

一 金五兩三分貳朱 茗藏

一 金四兩貳分 喜十郎

外 貳百文 目早や口銭

三百五十文 風代出目

一 金九兩貳分 長作

一 金貳分 惣吉

一 金貳分百文 長作

一 六百分 同人

一 四百五拾文 三四郎

一 貳百文 茂吉

一 貳百五十文 長五郎

一 金壹分貳百文 長松

一 金貳分四百文 万藏

〆金四拾兩三分三朱三メ七拾文

右江 金拾兩也 相渡し

かに沢 要助分

一 金拾壹兩也 権三郎

一 金壹兩壹分 三十郎

貳百文 小花

一 金四兩壹朱ト貳百五文

要助

一 金貳兩貳分四メ五十文

同断

ノ拾八兩三分壹朱四メ四百五拾五文

嶋分

新田

一 金拾六兩貳分貳朱 治兵衛殿分

一 金六兩三分四百五十文 和蔵

一 貳朱ト貳百文 次兵衛殿分

ノ金貳拾三兩貳分六百五拾文

右江 金五兩也

相渡し

一 壹メ貳百五十文 おもん

一 三百六拾文 同断

一 貳朱 同断

ノ貳朱ト壹メ六百十文

加に沢口

惣ノ金百六拾六兩貳朱ト貳拾メ百廿五文

右江

同金七拾五兩也 相渡し

七月十二日 同金貳拾兩也

相渡し、おもん

八日 同金拾兩也 東組庄助殿届け

七月六日 同金貳拾兩也 おもん

七月十三日 同金拾九兩也拾文 相渡し

七月十四日 同金五兩也 仁助持

ノ金百四拾九兩拾文

差引金拾七兩貳分拾メ百廿貳文

金壹兩 小七殿間違分

金壹朱 作分

ノ金拾八兩貳分拾メ五百廿貳文

大居入

此表不殘渡し申候

かへ羽書

七月十七日

一 紅花百四拾袋口

一 同四拾壹袋口

一 同八拾貳袋口

外に壹袋 かび

ノ貳百六拾四袋

但し壹駄に付四拾兩かへ

紅花貳拾三袋 正ミ貳百五十匁 長次郎

代金拾三兩壹分

内金壹分 手付

右之通当日□□り

内紅花貳拾三袋以上

代金拾三兩也

又金壹分 相渡し

同刻

又拾貳兩貳分 相渡し

右之通買定申所相違無御座、以上

年利金壹兩也 相渡し

六之助殿

政 吉殿

七月十一日
右金五拾兩也 渡し

七月十五日
又同三拾五兩 渡し

八月三日
又同五拾兩也 渡し

八月八日
又金三拾兩也 渡し

百六拾五兩也 皆濟

覚

七月十七日
一 紅花巻駄半 駄式儀

外正ミ式百四十五匁

三拾八兩かへ

代金五十八兩巻分式朱ト永五匁五分七厘

半金 当日贈

半金 八月五日

手附金巻兩也 相渡し

右之通買定申所、間違無御座候、以上

谷雨 伝 吉様

兼 治殿

勘兵衛殿

七月廿六日
内金三拾兩也 伝吉倅權吉髓ニ受取

八月廿二日
同金式拾兩也 同人請取

同金四兩式分式朱

九月十二日
同同式兩巻分三百五十文 買手願通り

田代買仁左エ門口

一 正味

稀印 代金七兩三分五メ七百文

外ニ三百文 酒代

稀印 兵吉口

一 金三兩三分ト式メ百三十五文

稀印 長作口

一 金九兩巻分六十文

稀印 幸生 庄次郎口

一 金貳兩貳分貳朱卜百文

七月十八日 最上雨 政吉

一 正ミ九百匁

代卷兩卜貳百文

十九日 最上雨 政吉

一 正ミ三百八十匁

代金壹分貳朱卜五百文 代濟

北口町 藤吉殿

取次人 兼次殿

八月十九日
一 五メ九百匁

内貳百五十匁

正ミ五メ六百五十匁

代金七兩壹分ト五百文

最上雨 内貳十匁 風代目引

代百七十文

差引金七兩壹分三百三十文

内卷兩也 渡し

九月卅日

又金六兩壹分ト三百三十文 渡し

此表出入なく相濟

覚

かに沢 彦市殿分

要助殿

一 紅花七拾八袋貳分

三拾八兩かへ

壹駄貳分貳厘八七五

代金四拾六兩壹分貳朱卜

永五匁六分貳厘七

右江 金拾六兩壹分貳朱卜

永五匁六分貳厘七

手付共ニ相渡し

殘金三拾兩也 十月贈切

内金五兩也 十月廿日渡し

内金十兩也 十一月三日おもん渡し

又金十五兩 十一月十二日要助渡し

此表皆濟渡し申候

永式匁五分

拾毫兩三分永式匁五分

差引金式拾貳兩永三拾五匁分四厘

一 金壹兩也 手金

みそ延 仁左衛門殿

八月三日 又同拾兩也 渡し

七月廿日 一 正ミ三メ貳百匁

代金三兩三分也

代差引成

外二正ミ三百六十五文 花

此代永四拾三匁八分九厘

又差引金拾毫兩三分〇式百五拾式文

八月拾日 此表不殘相濟申候

惣助殿分

三拾八兩貳分かへ

一 五拾六袋七分三厘

当村

代金三拾四兩永拾貳匁六分四厘

六月廿八日 一 正ミ式メ目 与太郎

内金貳分 大封分

代金貳兩貳分也

内金拾兩也 かし金引

一 同 式メ五十目 庄之助

此り金壹分

代金貳兩貳分ト六百分

内金壹兩也ハ

内壹兩貳分 渡し

一 卷×三百五十匁 又兵衛

代金卷兩三分也

内四百文 渡し

一 卷×五百五十匁 長之助

代金卷兩三分式朱ト四百文

一 卷×三百匁 仁兵衛

代金卷兩式分式朱五百文

一 三十五匁 清吉

代式百文

ノ拾兩卷分式朱

代金五兩也

善兵衛殿

八月六日

一 拾卷×八百目 三四かへ

一 拾三×目 同

ノ此三百廿四わ

代金九兩七百六十六文

一 拾四×目 三五束かへ

一 拾式×四百目

此わ百三拾式わ

代金九兩卷分式百九十文

外二四百文 駄賃

「青芋仕入」

蔵入覚

与右工門

七月朔日

一 正ニ三メ六百目

此わ六拾八わ

代金五兩也

善兵衛殿

八月六日

一 拾卷×八百目 三四かへ

一 拾三×目 同

ノ此三百廿四わ

代金九兩七百六十六文

一 拾四×目 三五束かへ

一 拾式×四百目

此わ百三拾式わ

代金九兩卷分式百九十文

外二四百文 駄賃

「青芋仕入」

蔵入覚

与右工門

七月朔日

一 正ニ三メ六百目

此わ六拾八わ

百六拾六把

一 拾五×六百匁

一 拾六×八百匁

ノ三拾式×四百匁

与右衛門分

百六拾貳把

代金拾壹兩卜五百文

外貳百文 駄賃

七百
一 四×貳百匁

此貳十一わ

代金壹兩三分也 代払

与右衛門

四百五拾三把半 八日

一 拾七×四百匁

一 拾七×四百匁

ノ 貳百文 駄ちん払

九百
一 拾九×匁

一 拾六×匁

一 拾八×八百匁

ノ 八拾八×六百匁

外八把

代金三拾三兩貳分壹朱三×八百四十文

貳百五十文 駄賃払

与右衛門殿

八月十四日

一 五把五厘

代壹分七百八十文

山口 善兵衛殿

一 拾貳×六百匁

一 拾×四百匁

一 拾壹×匁

一 拾貳×六百匁

ノ 四拾六×六百匁

貳百三拾三把

代拾七兩貳分四十六文

四百文 太ちん

覚

善兵衛殿分

八月十七日

一 拾貳メ八百匁

一 拾三メ貳百匁

一 拾四メ匁

〆 四拾メ匁

貳百把

八日 同人

一 拾四メ六百匁

〆 此わ七拾三わ

代金貳拾兩貳分六百七十文

外四百文 駄ちん

質物与右衛門分

十三日
一 貳拾貫匁

代金六兩三分貳朱ト壹メ五百文

外二三百文 駄ちん

一 拾九貫貳百匁

自□かへ

代金五兩壹分貳朱ト壹メ文

外二三百文 駄ちん

皆済

惣〆一 金百貳拾壹兩也

右江

一 金三分貳朱ト 御役永

銀貳匁五分

一 金壹兩壹分百文 大石田迄大積

一 金五兩貳分貳朱ト

銀貳匁五分

〆 金七兩三步銀六匁

合金百貳拾八兩三分ト銀六匁也

三ツ割方

一 金四拾貳兩三分貳朱ト銀四匁五分

谷桑村 庄助殿

六月六日

一 兩西 九反

代金貳兩壹分四百文

内壹分貳朱渡し

又七月廿三日不残相渡し

八月十一日

一 三拾九匁 うす色 三反

一 三拾六匁 形付 三反

代金壹兩壹分也 払

庄助殿

十二日

一 拾四匁五分 山形 くら 壹反

一 貳拾八匁 うす色 貳反

仕払

八月十二日

一 金壹分也 からきや 打色 壹反

一 金壹分百七十文 地役

一 金壹分貳百廿文 地僧

代八月廿二日 濟

湯村屋△

八月十九日

一 五十五匁 大かすり 壹疋

一 五十匁八分 同

一 五十貳匁五分 同

一 五十一匁 同

一 五十貳匁三分 同

一 五十匁 同

一 五十匁三分 同

引 三百六十一匁九分 正 百八十七引

引 貳百三十一匁

天童△

八月廿五日

一 銀四百五拾三匁六分 チクサ 三十六反

内此分流代ニ請取申候

九月卅日銀

たておか 茂七殿

八日 一 十貳匁八分 チクサ 壹反

一 十式匁四分 うす色 巻反

代渡し

九月二日 一 六拾式匁五分 チクサ 五反

此金巻匁ト式百五十文

内三分 相渡し

くらたや

九月二日 一 巻分百三十文 打色 巻反

濟

文銭店

九月二日 一 十巻匁四分 くろ 式反

内式分九十文 十日渡し

松田屋喜助殿

九月朔日 一 廿八匁 打色 式反

一 六十式匁五分 うす色 五反

文吉殿

九月四日 一 銀七拾巻匁 くろ 五反 十四式かへ

代濟

長町染屋

九月三日 一 銀三十式匁 組形 式反

代濟

九月十日 一 五十四匁四分 正王 四反

代

十月二日 一 三十式匁 たておか 茂七

内巻分 渡し

長町

十月五日 一 三十式匁 組形 式反

代濟

天童文銭店 十月六日 一 三十匁 反

青色 式

代濟

水口屋伝之助

十月十二日 一 三拾三匁 し羽り 巻反

十月廿六日 渡し

文吉殿

十一月十九日 銀三十七匁五分 正王 三反

代済

からきや勇吉殿

十一月廿日

一 八匁四分 たひ 三束

一 貳匁九分 壺束

一 九匁六分 白足袋代四束

一 貳十匁九分

文錢店

九月二日 一 三十匁四分 くら 貳反

内貳分也 相渡し

文錢店

十一月二日 一 三十三匁六分 くら 貳反

内壹分 渡し

十一月五日 一 四十七匁四分 くら 三反

内三分 相渡し

十一月廿二日 又貳分 相渡し

十一月廿六日 又三分 相渡し

文錢店

十一月廿六日 一 五十四匁 正王 四反

大卅日

金壹両貳朱ト錢四百三十文 渡し

但壹迄さし引不殘相渡し

皆済相成申候

水口屋伝之助

十月十六日 一 三拾三匁 しほり 三反

代十月廿二日渡し

一

文屋青野勝兵衛

十一月廿六日 一 三十九匁九分 くら 三反

たておか 茂七殿

九月廿六日

一 三十一匁 うす色 貳反

一 六十式匁五分 組形 五反

一 百六十八匁 チクサ十四反

外に巻分貳朱 弥四郎受取置

内三両也 相渡し

十二月十六日
又貳両也 相渡し

道四郎吉

天童 湯村店

十二月十七日

一 九匁貳分 元十一たび 三束

一 七匁八分 三束

一 六匁六分 三束

一 六匁九分 三束

〆三十匁五分

山形

一 巻分四百三十式文 元合 足袋八束

代済

たておか 茂七

但し是も申仕入帳写

正月廿二日 十一五かへ
チクサ 十五反

一 十二かへ
組形 貳反

〆内貳分也 相渡し

山形 文吉殿

正月朔日 十式五

一 巻分貳百十八文払 さなた十四丈八尺

二月朔日 同人

一 銀三十五匁七分 しほり 三反

二月七日 山形 佐々木作兵衛

一 銀七拾八匁 正王 六反

〆金代 請取

山形宮町 文吉殿

二月八日 六十巻匁 クロ 四反

一 廿式匁六分 正王 貳反

一 十三匁 正王 壹反

ノ九十六匁六分

内貳分也 二月十三日渡し

又壹兩也 二月十九日渡し

村岡茂七殿

二月廿二日 十一五
チクサ 十一反

十四

一 うす色 貳反

政吉殿

一 らん花 三拾貳袋代

代金七兩也 政吉殿出し分

同 壹兩壹分 与蔵分

ノ金八兩壹分

内金壹分 添金

同 六百分 大石田迄

同 四百文 荷造質

同 七百分 袋代

ノ八兩三分七拾文

此売立手取

銀七百五拾四匁三分四厘

此金拾壹兩三分

永三匁六分七厘貳百三十八文

此利金三兩百六拾七文

内金壹兩壹分 与蔵分引

又差引金貳兩三分

覚

百貳拾四袋 貳袋さし此内

△平極撰 十七入 四丸

六拾八袋

伊勢屋源助殿行

添金三分

七月五日出

△平極撰 十七入 老 四丸
十八入 三

五拾六袋

⊕ 外にさし式袋

此内 高谷十三袋入
極撰三袋

七月廿日出

△平高谷 十八入 四丸

百五拾七袋

⊕ 此内八拾五袋

美のや忠右衛門殿行

同

△平高谷 十八入 四丸

七拾貳袋

伊勢屋利右衛門殿行

同

△平鳳凰 十七入 貳丸
十六入 四つ 四丸

百三拾袋

此内七拾袋

岐阜屋八郎兵衛殿行

同

七月五日

△平鳳凰 十六入 四丸

六拾四袋

⊕ 美のや忠右衛門殿

同

△平大方 十九 貳 四丸
十八 貳

七拾四袋

西村清九郎殿行

同

△平新田 十七入 老 四丸
十八入 三

七拾壹袋

伊勢屋利右衛門殿行

添金三分

△平新田 十七入 卷 四丸
十八入 三

七拾巻袋

伊勢屋利右衛門殿行

添金三分

△平小町 十九入 三丸

五拾七袋

京都綿屋勇藏殿行

添金貳分

△平金松 十六入 貳 四丸
十七入 貳

百三拾巻袋

此内六拾五袋△成

京都岐阜屋八郎兵衛殿行

添金三分

七月五日出

△金松 十六 三 四丸
十七入 卷

六拾五袋

京都美のや忠右衛門殿行

添金三分

味△平らん花 十七入 卷 貳丸
十八入 卷

正味 五百匁入

大坂土生町近江屋太右衛門殿行

添金巻分

銀七百貳拾四匁三分四厘 未十二月切

△平稀印 十八入 四丸

七拾貳袋

此内さし巻袋

京都岐阜屋八郎兵衛殿行

△大堀 廿九入 卷 四丸
十九入 三つ

七拾七袋

京都美のや忠右衛門殿行

△綿紅 廿九入 三つ 四丸
十九入 卷

七拾九袋

京都美のや忠右衛門殿行

④谷紅 十七入 六丸

百貳袋口

美のや忠右衛門殿行

△平雨一 十七入 五丸

八拾五袋

京都伊勢屋源助殿行

△平最上一 十七入 貳 四丸
十八入 貳

京都伊勢屋利右衛門殿行

△平丸雨 十八入 三 四丸
十七入 卷

百四拾貳袋口

京都綿屋勇藏殿行

△平丸雨 十八入 三つ 四丸
十七入 卷つ

百四拾貳袋口

京都西村清九郎殿行

かに沢

同金光 廿入 三つ 四丸
廿卷入 卷つ

八拾壹袋口

京都西村清九郎殿行

同玉光 十七入 三丸
同玉紅 十七入 壹丸

七拾袋

八袋 さし巻袋

伊勢屋源助殿行

谷地 桜井源兵衛殿

京都 古手や長右衛門殿

△上④ 田代大白 四駄

△上同 矢飛大白 四駄

同 天飛 四連
田代 四連

登着用のミ入

へ

(裏表紙)
「下真木

本木要蔵」

五四 紅花等仕入帳 (横帳)

(表紙)
弘化五年

仕入帳

申正月吉日

京都新町六角下ル

伊勢屋兵五郎殿分

申二月
一 四百八拾匁
ホ廿丸 廿五反 納戸中形色合

縛印

一 八拾九匁 ホ助 五反 地白紺兼入中形

雖

一 百七拾五匁 ホ廿吉 拾反 地白二枚形

綺

一 三百三拾六匁 同断 ホ丸形 廿反 納戸二枚中形

一 三百五拾匁 同断 ナ廿吉 廿反 地白貳枚入

同断

七匁五分

拾貳匁 大坂迄荷造掛り

〆 壹メ四百九匁五分

番付 百五拾壹番

大坂宝屋彦四郎殿出し 案内来り

百五拾貳番

申二月廿七日 十七五
一 五百廿五匁 重白 三拾反 地白二枚重

開

一 百六拾八匁 十六八 拾反 納戸二枚中形

鬮

一 百七拾五匁 十七五 拾反 地白二枚重

冬埋

一 百五拾八匁 十五八 拾反 鈕法系操式品数

冬虹

一 三百五拾六匁 十七八 廿反 地白紺兼入中形

雖

一 七匁五分 包白卷反

一 拾式匁 荷造掛り物

一 卷メ四百卷匁五分

二口合一 式メ八百拾卷匁

正ミ式式仕掛

大坂日高屋半兵衛殿出し

播州姫路

奈良屋権兵衛殿分

一 鳳百八拾九匁 下々取合京物廿

に印

一 同百八十八匁四厘 同廿

よ印

一 同百八拾匁三厘 同廿

り

一 同式百七拾匁 下々廿

ろ

一 同式百七拾五匁四厘 同廿

ぬ

一 同四百廿式匁卷分 中上廿

を

一 同四百三十八匁三厘 廿

い印

一 同七百五拾匁三分 上々廿

メ

正月十一日出し

は印

五拾貳番

い印

一 鳳百八拾五匁七分 下々京物廿

ろ

一 同百八十五匁七分 同廿

ほ

一 同貳百七十式匁三分 同廿

へ

一 同貳百六拾三匁七分 廿

と

一 同貳百七拾七匁八分 廿

る

一 同四百廿九匁八分 廿

わ

一 同五百八十八匁六厘 廿

た

一 同貳百三十一匁六厘 廿

ぬ

正月十一日 出し

五拾三番

一 鳳六百三拾八匁七分 下々布段ぬ七七

四月七日着

五拾四番

△平

一 知刻白 木白 五十反

一 九分三分

一 岐同 木白 貳十反

一 八分七分

一 仁同 木白 三十反

一 九分三分

一 保 木白 貳十反

一 九分七分

一 奴搏萩 拾貳反

一 八分七分

一 光中染 十八反

七分五分

一 路打貫

六反

代

一流 芥子玉

六反

七分八分

一 耳

十式反

代

七刃五分

八分

一 奈玉川晒

十式反

一 和同

拾式反

一 六刃

まき沓反

代

七刃五分

ノ

間ノ百八十沓反

一 違 披菰

拾式反

外二 七嶋式枚

七分三分

代

四月十七日着

一部 刻白太 木白五拾反

五十五番

八分八分

△平

代

一 太 玉川晒

拾八反

一 以 堂嶋手拭

六反

六分三分

代

拾式刃

一 加 浅黄

三十六反

一 路 打貫同

拾式反

七分式分

七分二分

代

一 羽 半染 拾貳反

八分四分

代

一 耳 中染 拾貳反

八分

代

一 辺 惣形 拾貳反

十一分五分

一 六分 まき巻反

反百八十九反

外二七嶋貳枚

五拾六番

一 家葉玉便 拾貳反

七四 八拾八分

一 久 新萩同 拾貳反

七四 八拾八分

一 先 浅キ 四拾貳反

八八 三百六拾九分六分

一 卯 濃同 六反

七九 四拾七分四分

一 裕 同 三拾反

八五 貳百五拾五分

一 興 枝萩手拭 六反

九五 五拾七分

一 曾 希玉 七反

八七 六拾九分

一 知 打貫同 六反

七九 四拾七分四分

一 類 半満同 六反

八貳 四拾九分貳分

一 苦 玉川晒 六反

七四 四拾四分四分

七分三分 卷巻反

反壹百拾五分八分

五拾七番

ゆ 百拾九匁七分 屑下キ廿

め 百貳拾壹匁八分 同廿

み 百拾六匁四分 同廿

し 百拾八匁二分 同廿

ゑ 百貳拾三匁 同廿

ひ 貳百五拾貳匁九分 下ハキ

せ 貳百六拾四匁六分 同同

も 貳百五拾五匁九分 同同

メ 壹メ三百七拾貳匁五分

五拾八番

ね 三百三十四匁二分 下綿入十

な 四百貳拾九匁 中十

ら 五百七拾九匁 中上十

れ 百八拾八匁四分 下々下キ廿

そ 百九拾壹匁二分 同同

つ 貳百七拾貳匁四分 下下キ廿

メ 壹實九百九十四匁壹分

五拾九番

さ 貳百三十四匁六分 下々綿入

こ 三百廿九匁壹分 下々同

て 三百廿六匁四分 同十

あ 四百三拾九匁五分 中十

キ 五百七拾四匁二分 中上十

メ 壹實九百三匁八分 十五速入

六拾番

む 百六拾四匁七分 下々浅キ廿

う 百六拾九匁二分 同廿

の 貳百五拾八匁六分 下同廿

く 貳百四拾八匁七分 同

や 三百五拾三匁七分 中上廿

ま 四百六拾五匁三分 中上廿

け 五百六拾七匁 上廿包共

↗ 貳貫貳百廿七匁貳分

十 五百六拾貳匁 同 十

↗ 貳貫三百拾三匁

六拾老番

す 百六拾五匁 下々浅キ廿

京 貳百四拾三匁 下 同 廿

老 貳百四十三匁九分 同 廿

貳 三百六拾六匁 中 同 廿

三 四百五拾四匁五分 中上 同 廿

四 百七十老匁六分 下々無色 廿

五 貳百四十九匁 下 同 廿

↗ 札高老實八百九十六匁三分

六拾三番

十九 四百六拾貳匁六分 中綿入 十

十三 百拾六匁七分 くつトキ 廿

三十 百廿五匁老分 同 断

廿四 三百九拾匁九分 中上 廿

廿七 三百五拾七匁 中浅キ 廿

廿五 貳百七十六匁九分 下無色 廿

↗ 廿六 五百匁四分 上中無廿一包共

↗ 貳貫貳百廿九匁六分

六拾貳番

六 三百拾六匁五分 下綿入 十

七 三百三十六匁六分 下綿入 十

八 五百五十三匁貳分 中上綿入 十

九 五百三十八匁五分 同 十

六拾四番

十七 四百五拾四匁八分 中トキ 十

十貳 百貳拾九匁九分 屑トキ 廿

十四 百五拾九匁九分 下トキ 廿

十五 百八拾匁 同 廿

廿式 三百九拾九匁 中 廿

廿三 三百七拾八匁六分 同 廿

廿八 四百五十七匁八分 中上浅キ廿

ノ 貳貫百八拾匁七分

合拾六箇

札高合貳拾五メ三拾貳匁六分

板ノ千三百三十五匁

内拾六貫六百八拾八匁四分

ノ正ミ八貫三百四拾四匁貳分

一 銀四貫貳百三拾七匁四分

ノ拾貳貫五百八拾壹匁六分

三割引

木綿五百四反

六拾五番

十八 五百七十八匁壹分 中上綿人十

廿一 三百六十八匁四分 中下浅 十

廿 五百九十四匁 上中同廿一包共

十一 百廿三匁九分 くつトキ廿

十六 貳百六拾四匁 下トキ 廿

十九 四百六拾貳匁六分 中上浅キ廿

ノ 貳貫三百九拾壹匁

一 八拾壹匁四分四厘

但し木ニはなし

口銭

一 拾六匁五分 受荷五十五

一 拾五匁 七嶋六十分

一 四拾七匁六分 荷造賃

一 三十五匁 浜出し

一 百三十匁ハ 元船運賃

六拾六番

一 七百拾八匁五分 中下布段十

十七匁四分 包 三ツ

ノ 七百三十五匁九分

ノ 三百三十五匁四分

合 拾貳貫九百拾七匁三分四厘

此金

右江十一月晦日渡し

金貳百兩也 手形為替

但し京都古手や長右衛門殿分

七百貳番

一 札高四百七匁五分 下々時廿

一 同 四百九匁六分 同 廿

一 同 四百九匁六分

一 同 四百九匁八分

一 同 四百九匁九分

一 同 四百七匁九分

一 同 四百九匁四分

一 同 四百七匁七分

三メ貳百七拾壹匁貳分

貳箇メ五メ五百六拾六匁貳分

正ニ銀九百廿七匁七分

一 九匁 荷物入用

一 八匁 流ス四枚

一 拾五匁壹分貳厘 酒田迄運ちん

三割半まし共

△平

大坂本町三丁目

扇屋与兵衛殿

七百壹番

一 札高貳百八拾五匁六分 屑時廿

一 同 貳百八拾七匁七分 トキ廿

一 同 貳百八拾七匁九分 同 廿

一 同 貳百八十七匁六分 同 廿

一 同 貳百八十五匁九分 同 廿

一 同 貳百八十六匁四分 同 廿

一 同 貳百八十六匁八分 同 廿

一 同 貳百八拾七匁貳分 同 廿

貳メ貳百九拾五匁壹分

合銀九百五拾九匁八分貳厘

八掛正ミ百七拾壹匁六分

又四匁五分

諸入用

又六匁六分

大坂と酒田迄運賃まし

大坂古来そし西つめ

羽州屋久右衛門殿分

一 百貳拾匁

鳳凰示田十箇

一 拾五匁

挾板送り共

一 拾三匁

運賃

一 四匁五分四厘

同 まし

百五拾貳匁五分四厘

右江 札花 壹箇向

代金

京都古手や

長右衛門殿分

六百拾番

一 貳百拾七匁

布段九枚

又四匁五分

又六匁六分

又

京都 龜甲屋早七殿仕入

五月十七日着

山印

十八匁五分

一 三百十四匁五分

他国筋十七反

沢印

十八〇

一 貳百三十四匁

同 十三反

詔印

十八〇

一 貳百七十匁

貳枚他国十五反

大印

十八五

一 三百七十匁

同 貳十反

十七五

一 貳百六十匁五分

他国拾五反

八十反

一 同 四百九十七匁七分 同 廿
三貫四百八拾九匁九分

七速入

播州姫路

表屋庄右衛門殿分

八番

一 札高合五百拾三匁 中上中前物 廿

貳番

壹番

一 札高五百拾四匁五分 中上中前物 廿

貳ばん

一 同 四百八十七匁五分 同 廿

三はん

一 同 四百九十五匁六分 同 廿

四番

一 同 五百六匁四分 同 廿

五番

一 同 四百九十六匁五分 同 廿

六番

一 同 四百九拾壹匁七分 同 廿

七番

三貫五百廿六匁四分

七速入

札高合七貫拾六匁三分

小札掛引

正ミ貳メ三百三拾八匁七分六厘

一 銀六匁 荷作實

一 壹匁五分 浜出し

一 三匁 大坂迄登廻し

一 同拾八匁 運賃銀

銀廿八匁五分

合 貳貫三百六拾七匁貳分六厘

木綿三百反也

イ印 ロ印

九かく

一 銀貳百七拾匁 六回印三拾反

八三三かく

一 同五百拾匁 砂印六拾反

八かく

一 同九百六拾匁 相印百貳拾反

七五

一 同四百五拾匁 生印六拾反

七〇

一 同貳百拾匁 松印三拾反

貳貫四百匁

三拾八匁五分 諸掛り

貳貫四百三拾八匁五分

三番

三十五

一 札高合六百九拾四匁五分 中布段拾壹

四番

四番

三十三

一 札高合貳百八拾壹匁七分 下綿入 十

三十四

一 同 貳百七拾匁九分 同 拾反

十五

一 同 三百七拾八匁六分 中嶋女帯廿筋

十六

一 同 貳百九拾七匁六分 下蒲団 廿

十九

一 同 百五拾七匁八分 下々解 廿

廿

一同 百六拾三匁二分 同 廿

ノ 卷貫五百四拾九匁八分

ノ 六速入

五番

三十

一 札高合貳百九拾七匁六分 下嶋綿入十

三十一

一同 貳百九拾五匁五分 同 十

三十貳

一同 貳百七拾九匁六分 同 拾反

十七

一同 五百匁七分 中形付綿入十

十八

一同 四百八拾九匁九分 同 拾反

ノ 卷貫八百六拾三匁

ノ 五速入

六番

貳拾三

一 札高合百貳匁卷分 層解 廿

二十四

一同 百五匁四分 同 廿

廿五

一同 百六匁二分 同 廿反

廿六

一同 百五匁三分（ツ） 同 廿反

廿七

一同 百八匁三分 同 廿反

廿八

一同 貳百拾四匁五分 下無色解廿反

廿九

一同 貳百拾匁九分 同 廿反

三十

一同 同百五拾四匁八分 下々解 廿

ノ 卷メ百七匁五分

ノ 八束入

七番

三十六

一 札高合三百四拾弌弌分 中解 廿

三十七

一 同 三百三拾九弌三分 同 廿反

三十九

一 同 三百三拾弌弌七分 同 廿反

三十八

一 同 三百三拾弌三分 同 廿反

三十五

一 同 弌百八拾弌五分 下同 廿反

四十六

一 同 弌百七弌六分 同 廿反

四十七

一 同 弌百七弌九分 同 廿反

四十八

一 同 弌百七弌 同 廿反

一 同 弌百七弌 同 廿反

湯村藤藏殿行

八番

八束入

四十

一 札高合三百四拾弌八分 中卜キ廿反

四十卷

一 同 三百廿七反 同 反

四十弌

一 同 三百三拾弌九分 同 廿反

四十三

一 同 三百廿六弌弌分 同 廿反

四十九

一 同 弌百弌弌八分 下同 廿反

五十卷

一 同 弌百七弌 同 廿反

五十弌

一 同 弌百拾弌弌七分 同 廿反

五十

一 同 式百拾七匁二分 同 廿反

ノ 式ノ百六拾四匁五分

ノ 八束入

九番

四十四

一 札高合三百廿四匁三分 中解 廿反

五十三

一 同 式百拾六匁二分 同 廿反

五十四

一 同 式百拾式匁七分 同 廿反

五十五

一 同 百九匁五分 屑解 廿反

五十六

一 同 百五匁 同 廿反

五十八

一 同 四百六拾八匁三分 中上浅キ廿

廿一

一 同 百六拾式匁九分 下々トキ廿

五十七

一 同 百拾壹匁三分 屑トキ 廿

ノ 壹ノ七百九匁六分

ノ 八束入

湯村藤兵衛殿行

拾番

五十九

一 札高合式百四匁 下解 廿反

六十

一 同 式百三匁七分 同 廿反

六十一

一 同 百七拾式匁八分 下蒲団廿反

六十式

一 同 百七拾六匁四分 同 廿

六十三

一 同 百八拾三匁三分 同 廿

六十四

一 同 百七拾五匁八分 同 廿反

六十五

一 同 百七拾四匁四分 同 廿反

ノ 卷ノ式百九拾匁四分

ノ 七束入

一 同 四百七拾四匁六分 中上浅キ廿

七十式

一 同 五百三匁三分 中上解 廿

ノ 式實六百七拾六匁八分

ノ 七束入

六十六

一 札高合六百六拾七匁五分 中下布段拾卷

拾卷番

拾三番

七十三 一 札高合三百廿五匁式分 中浅キ解廿

拾式番

六十七

一 札高合四百式拾卷匁五分 中綿入拾反

七十四 一 同 三百廿四匁九分 同 廿

六十八

一 同 四百拾八匁八分 同 拾枚

七十五 一 同 三百廿七匁九分 同 廿反

六十九

一 同 四百廿九匁九分 同 拾反

七十六 一 同 百六拾三匁五分 下々解廿反

七十

一 同 四百廿八匁七分 同 拾反

七十七 一 同 百五拾九匁 同 廿反

七十一

一 同 百六拾八分 同 廿反

八十

一 同 百八拾九匁九分 下浅キ 廿

八十卷

一 同 百九拾六匁三分 同 廿

〆 卷×八百四拾七匁四分

〆 八束入

拾五番

八十九

一 札高合七百三拾六匁四分 中下布段十一

〆

拾六番

八十八

一 札高合百拾六匁五分 中上綿入拾反

九十卷

一 同 四百七拾七匁六分 中形付綿入十

九十三

一 同 四百六拾九匁五分 同 拾反

九十式

一 同 四百七拾九匁七分 同 拾反

九十

一 同 三百五拾八匁八分 下面才廿反

〆 式實三百式匁七分

〆 五束入

拾七番

九十四

一 札高合三百廿一匁三分 中浅キトキ廿

九十五

一 同 三百廿一匁六分 同 廿反

九十六

一 同 三百廿一匁六分 同 廿反

九十七

一 同 三百廿式匁八分 同 廿反

九十八

一 同 式百三匁七分 下浅キ 廿

九十九

一 同 三百五拾五匁五分 中無色トキ廿

百番

一同 三百四拾五匁六分 同 廿反

百老

一同 貳百拾四匁五分 下無色解廿反

〆 貳實四百六匁六分

〆 八束入

拾八番

百三

一 札高合貳百拾五匁七分 下無色卜キ廿

百四

一同 三百六拾八匁七分 同女帶廿筋

百五

一同 三百五拾七匁九分 同 廿筋

百六

一同 四百九拾壹匁四分 中上嶋綿入十

百七

一同 四百九拾九匁五分 同 十

〆 壹×九百三拾三匁貳分

〆 五束入

拾九番

百八

一 札高合三百匁六分 下綿入 十

百九

一同 三百九匁三分 同 十

百十

一同 三百六匁 同 十

百十一

一同 貳百九拾壹匁五分 同 十

百貳

一同 貳百七匁三分 下々無色廿反

〆 壹×四百拾四匁七分

〆 五束入

貳拾番

百拾貳

一 札高合四百九拾壹匁四分 中上淺キ廿

百拾六

一同 三百四拾貳匁三分 中同 廿反

百十七 一同 三百四拾三匁五分 同 廿

百十四 一同 四百拾九匁七分 中綿入十反

百十五 一同 四百拾壹匁三分 同 十

百廿八 一同 三百拾貳匁 下同 廿

百廿九 貳匁三百拾九匁九分 同 廿

百三十 貳匁三百拾九匁九分 同 廿

百三十一 貳匁三百拾九匁九分 同 廿

百三十二 貳匁三百拾九匁九分 同 廿

百三十三 貳匁三百拾九匁九分 同 廿

百三十四 貳匁三百拾九匁九分 同 廿

百三十五 貳匁三百拾九匁九分 同 廿

百三十六 貳匁三百拾九匁九分 同 廿

百三十七 貳匁三百拾九匁九分 同 廿

百三十八 貳匁三百拾九匁九分 同 廿

百三十九 貳匁三百拾九匁九分 同 廿

百四十 貳匁三百拾九匁九分 同 廿

百廿一 一 貳百拾三匁六分 同 廿

百廿二 一 貳百拾三匁六分 同 廿

百廿三 一 三百四拾三匁九分 中解 廿

百廿四 一 貳百拾貳匁四分 下同 廿

百廿五 一 貳百拾五匁壹分 同 廿

百廿六 一 貳百拾七匁六拾三匁 同 廿

百廿七 一 貳百拾四匁八分 下同 廿

百廿八 一 貳百九匁四分 同 廿

百廿九 一 貳百拾貳匁壹分 同 廿

百三十 一 貳百拾貳匁壹分 同 廿

百三十一 一 貳百拾貳匁壹分 同 廿

百三十二 一 貳百拾貳匁壹分 同 廿

百三十三 一 貳百拾貳匁壹分 同 廿

百三十四 一 貳百拾貳匁壹分 同 廿

百三十五 一 貳百拾貳匁壹分 同 廿

百三十六 一 貳百拾貳匁壹分 同 廿

百三十七 一 貳百拾貳匁壹分 同 廿

貳拾壹番

貳拾貳番

六速入

七速

一 百三十四匁四分 同 廿

ノ 卷ノ廿六匁

式拾五番

百四十六

一 四百六拾七匁分

中上浅キ廿

百四十五

一 四百五拾壹匁六分

同 廿

百五十式

一 式百七匁九分

下同

百五十卷

一 式百十三匁九分

下同

百四十八

一 三百式十八匁式分

中同 廿

百四十九

一 三百拾四匁四分

同 廿

百三十九

一 式百三匁分

下布段嶋廿

ノ 式貫式百六匁式分

式拾六番

百五十五

一 式百七匁

下無色解廿

百五十六

一 式百七匁

同 廿

百五十七

一 三百五十七匁六分

中同 廿

百五十

一 三百廿三匁卷分

中浅キ廿

百四十七

一 三百廿式匁八分

同 廿

百五十三

一 百五拾八匁四分

下々解廿

百五十四

一 百五拾六匁六分

同 廿

ノ 卷ノ七百三拾式匁五分

式拾七番

百五十八

一 四百七拾四匁六分 中浅キ廿

百五十九

一 百貳拾六匁 下布段嶋廿

百六十

一 百四拾四匁三分 同 廿

百六十壹

一 八拾三匁壹分 屑同 廿

百六十貳

一 百九拾三匁五分 下解 廿

百六十三

一 貳百貳匁貳分 同 廿

百六十四

一 貳百四匁六分 同 廿

↗ 壹貫四百廿八匁三分

↗ 七束入

貳拾八番

百六十八

一 百九拾六匁貳分 下嶋解廿反

百六十五

一 貳百七拾三匁九分 下綿入十

百七十

一 百九拾壹匁壹分 下解同

百六十九

一 百九拾八匁九分 同

百七十壹

一 百五拾九匁 下々同

百七十貳

一 百五拾四匁貳分 同

百七十三

一 百五十五匁四分 同

↗ 壹貫三百廿八匁七分

廿九番

百六十七

一 百八拾九匁 下嶋解廿

百六十六

一 貳百三匁壹分 同 廿

百七十四

一 百拾壹匁三分 屑解

百七十五

一 百八匁六分 同

百七十六

一 六百廿貳匁五分 上形付廿

百七十七

一 六百八匁九分 同 廿

百七十八

一 五百九十匁壹分 同 廿

ノ 貳貫四百三十三匁五分

ノ 七束入

三番ノ廿九番迄

廿七箇

札高合四拾五貫七百六拾三匁貳分

内札掛引

酒田 本間長三郎殿分

△平△印生蠟左入 五個

七拾匁 三メ九百廿匁カヘ

代金拾七兩六拾五匁七分壹厘

同中印 同 壹個

皆掛拾四メ五百匁

内七百匁引

正味拾三メ八百匁

四メ貳百五拾匁カヘ

代金三兩貳拾四匁七分壹厘

合金貳拾壹兩拾四分七厘

一 八拾壹匁七分八厘 御役口錢

一 貳拾壹匁壹分 造掛

一 五拾匁四分 運賃合力

ノ 金貳拾貳兩六拾五匁七分

十月廿八日

右ノ金貳拾五兩也 相渡し

飛脚三十郎相渡し

皆掛拾六メ百壹匁

生蠟六匁

上同印

十月廿一日入 中町甚吉船

一 同 三個

酒田十月廿三日入

皆掛拾六メ六百八拾匁

四匁 中袋小兵衛船

六百八拾匁かへ

差引過上金貳兩三拾四匁三分

拾六メ三百七拾匁

五百廿匁かへ

かし

へ小晒蠟 正味拾六メ匁入 壹箇

拾六メ四百匁

六百八拾匁かへ

三メ貳百匁かへ

⊕

代金五兩

一 同 壹箇

十九匁三分八厘 御役永口錢

皆掛拾六メ四百匁

三匁八分五厘 造掛り

六百五拾匁かへ

九匁六分五厘 運賃

正ミ七拾八貫七百廿匁

金五兩三拾貳匁八分八厘

四メ五十匁かへ

代拾九兩四拾三匁七分

上中又一印

七十五匁三分四厘 御役口錢

一 生蠟 壹箇

十九匁貳分五厘 造掛

四十八匁式分五厘 運賃

ノ 式拾兩八十六匁五分式厘

二口ノ 式拾六兩拾九匁四分

内式兩三十四匁三分 過引

殘金式拾三兩八十四匁七分

右江十一月廿三日

金式拾兩也 相渡し

三拾郎殿江

酉ノ御注文控

奈良屋権兵衛様

一 中夏物 地白形 老箇

一 下同 老箇

ノ 式箇

七匁五分

一 玉川 式拾反

六匁五分

一 同 五拾反

六匁

一 同 同 式拾反

ノ 九拾反

六匁五分

一 けし玉 式拾反

六匁五分

一 持物 拾反

一 惣形 拾反

一 打貫 式拾反

一 浅キ地 三拾式反

ノ

表屋庄右衛門殿江

一 中夏物 老箇

一 下同 老箇

ノ 式箇

一 七匁五分 百反

一 八匁 百反

一 七匁 五拾反

一 七匁

一 五匁六七分 五拾反
ノ 三百反

亀甲屋半七殿江

地白朱木綿

取合

都合 巻箇 注文

京都 伊勢屋兵五良様

注文書

六六金 十七匁詰 八卅 □

地白両面

△平 飛印

一 五反
五 五反
九 十反
三十式 十反
三十五 五反

三十八 五反
ノ 四十

国印

式 五反

十三 五反

三十式 五反

三十六 五反

ノ 三十九 五反

ノ 三十五反

鶴印

六 五反

廿一 五反

三十六 五反

三十七 五反

六十四 五反

六十七 五反

ノ 三十反

松与注文書

国印

式 式反

五 式反

拾三 同

式十一 同

式十八 同

廿九 同

卅式 同

卅四 同

卅五 同

卅九 同

四十三 同

↗ 式十式反

鶴印

四 式反

六 同

十一 同

廿三 同

廿九 同

三十六 同

三十七 同

四十七 同

↗ 拾六反

飛印 式反

五 同

九 同

十 同

十四 同

十六 同

式十一 同

卅式 同

卅五 同

三十八 同

↗ 拾八反

花印 同

壹 貳反

四 同

五 同

七 同

九 同

十七 同

廿五 同

廿九 同

一 中トキ 貳速

一 下トキ 八速

一 下々同 八速

一 くず同 八速

四箇

七匁八匁五分迄

一 切手掛 取合 壹箇

但むらくも 働連最上向

白地へ色々打貫、御揃可下候

表屋庄左衛門殿

三十 同

三十三 同

三十六 同

三十八 同

二十四反

大坂 扇与殿仕入

△平貳百ばんより

札六双入 四ヶ 錦綿入

一 十三匁位 貳速

一 下面才 貳速

一 中浅キ 貳速

壹番

△平札三双入 中上嶋綿入

一 拾六匁位 十速

一 拾貳匁位 同断十速

八九匆位

下同十五速

正ミ五分引

拾三匆位

あい形付綿入

一 鳴布段

中下取合三箇

但し鼠小紋無用

十速

同 同断

五六匆位

鳴半半天五速

八匆九匆

中上嶋解三速

七八匆位

小面才五速

七匆位

中上浅キ廿五速

四匆五分位

中同十五速

札三双入

一 中上嶋綿入

十速

三匆位

下同十五速

一 中同

五速

五匆五分位

中解十速

一 下同

十速

三匆貳分位

下解貳十速

一 中嶋羽打

三速

三匆五分位

下々同貳十速

一 下面才

五速

九匆位

中女帯五速

一 下形付綿入

五速

拾五匆

中嶋羽打三速

一 中上浅キ解

貳拾五速

但し札三双之内

くざトキ三拾速

一 下同

十速

拾五匆

鳴布段三箇

一 中解

拾速

但し札三双之内

鳴布段三箇

一 中解

拾速

△平印番附五十元⁵

奈良屋権兵衛殿分

一 下 同 式拾速

一 下々同 式拾速

一 中女帯 三速

一 下無色 五速

一 下半年 三速

一 くずトキ 三十速

一 中下布段 式箇

但し札三双之内

正ミ五分引

一 中嶋布段 式箇

同断

覚

幸吉殿

伝藏殿

吉兵衛殿

一 小豆三拾巻俵

大石田

仁左衛門船

一 同 式百俵 大石田 小吉船

一 同 式百巻俵 大石田 長八船

四百三拾式俵

内三俵 笹川文吉出合

内拾七俵 平吉分出合

式拾俵也

残四百拾式俵

代金百三両ト四拾巻メ式百文

此金六匁壹分五百文

合金百九両三分四百五拾文

十二月朔日

内金壹両也

相对相渡し

十二月八日

内金拾両也

相渡し

九日

内金拾五両也

つかへ庄兵衛

内金壹両式分

要助渡り手形

十一日

同金式拾両也

あらこやニ而龜吉殿江

十二日

同金拾兩也

吉兵衛持

同日

同金五兩也

工藤小路ニ而相渡し

同日

同金九兩也

新吉田

同日

同金九兩也

しま村江治助方船にて渡し

十二月十二日

同金拾兩也

安吉殿方へ

十三日

同金六兩也

治助殿方へ

ノ 金九拾六兩貳分

差引金拾貳兩三分四百五拾文

内金六兩三分 相かし

又差引金六兩卜四百文

一 小豆貳拾俵也 谷地高関ニ而受取分

代金五兩貳メ文 川出し迄

外ニ

八貫六百四拾文 口錢

百六拾文 酒代

百三拾貳文

新吉田

貳百文

酒代

五百文

あら小谷清助

ノ 九貫六百三拾文

惣ノ金拾壹兩

◎拾貳メ八拾文

右之通不殘髓ニ受取申候、以上

幸吉 印

申十二月十六日 伝藏 印

吉兵衛代印 印

林兵衛殿

田井村 三助殿

徳次殿

十二月二日

一 小豆百俵

但壹俵ニ付舟出し

金壹分ト百文ツ、

内五文 手付渡し

受次人 吉兵衛殿

十二月七日

又金三兩也 舟場ニ而渡し

十二月八日

又金三兩也 舟用惣注分相渡し

笹川 門吉殿

一 小豆三俵 請取

代金三分ト三百文

十二月廿一日

内金三分 相渡し

山口 滝田善兵衛殿

十二月

一 小豆百拾俵程入 惣注文

一同 百七拾俵 善兵衛へ治助置

十二月廿日

此内百四十壹俵 船入相成

二月十日 又大豆貳十俵

船入相成

十二月八日 出金拾五兩也

つかへ与太郎取持

九日 出金拾兩也

渡し

十二月 一 五文

使公渡し

十二月十五日 一 金拾五兩也

渡し

十二月十九日 一 金拾五兩也

渡し

十二月廿四日 一 金貳拾兩也

渡し

渡方 金七拾五兩ト五文

舟積 一 小豆五拾俵也 壹分貳百文直段

代金拾貳兩貳分ト十メ文

一 六拾俵 壹分百文直段

一 代金拾五兩六メ文 一 百四十壹俵 壹分百文直段

代三十五兩壹分拾四メ百文

一 大豆十三俵 同直段

代金三兩壹分壹メ三百文

代金六拾六兩ト三十壹メ四百文

差引残過四兩三分式朱ト四百九十文

此内五メ式百八十五文

引残過金四兩ト百十五文 かし

此分酉大帳写

弥右衛門殿分

一 米式拾俵也

但し三拾八俵直段

代金五兩式朱ト永拾式匁式分

外に駄ちん

一 五百文 内にて払 川出し

惣吉殿と

八日 長之助

一 米拾俵也

代金貳兩貳分三メ文

貳百五拾文

駄ちん 川出し

一 米式拾俵也

代金五兩永式拾二匁七分

二月十五日 相渡し

一 五百文 川出し払

谷地 平吉殿

一 小豆拾七俵

代金四兩貳分五十文

右江金壹分也

渡し

又同壹兩也

渡し

さし引金三兩壹分五十文 渡し

一 金式朱也

かし

与吉分

十二月十五日
一 小豆廿八俵

代

内巻両也

残不残相渡し

渡し

二月十五日
一 小豆四俵也 かに沢 要助氏

代

二月十五日
一 小豆三俵也 六工 幸吉

代金 駄ちん

不残渡し

酒田へ積下書

本長殿行

正

一 八メ三百匁 青苧

一 八メ六百匁 同

拾六メ六百匁

代金六匁式分永三匁九分

一 打綿五丸

代

是迄運賃

本長殿行

十二月十一日
一 小豆貳百俵 惣次舟積

但三斗八升六合入

金巻両也 運賃之内渡し

本長殿行

十二月十四日 大石田 又吉舟
一 小豆貳百俵

但三斗九升入

金三匁也 運賃之内渡し

本長殿行

十二月十四日 大石田 長八舟積

一 小豆貳百壹俵也

但三斗九升入

金三兩也 運賃之内渡し

本長殿行

十二月廿一日

一 小豆三十壹俵也

但三斗九升入

大石田 仁左之門舟積入

本長行

酉二月十一日 田甚船江

一 小豆百四拾壹俵

一 大豆貳拾俵也

又

尾関又平殿行

二月十五日

一 米五拾俵也

此升立四斗入

一 小豆五十八俵

此升立三斗五升入

又

内金貳分 渡し

大石田 与吉舟積

此内壹俵 積不足

最上屋三右衛門行

二月十五日 大石田 与吉舟

一 打綿 九十把 又壹箇

又

紅花仕入

高谷跡口

六月朔日分

一 正三、四、貳百四拾匁

清六殿

代金七兩卷分四百文

一 正ミ式メ三百八拾匁 平右衛門殿

代金四兩式朱

一 正ミ式拾四メ百六拾匁 新兵衛

代金三拾九兩也

一 六拾匁七百文 清 六

外二百五十文

一 六拾匁 松兵衛

代五百文

一 三百匁 重三郎

此代式分ト式匁

代金五拾兩三分式朱ト卷メ七百五拾文

右江六月朔日

金拾五兩也五文 相渡し

外二九百文 駄ちん払

七四四かへ

一 金三十七兩卷分卷文

口 金八十八兩式朱ト式メ七百五十文

六月廿六日
内拾兩也

手付渡し

七月四日
又三十兩也

定作殿渡し

七月朔日
又十五兩五文

七月七日
又十五兩

同人渡し

七月十日
又九兩ト五文

兄様へ渡し

未十二月申六月迄

渡方又金十兩ト

但未十二月証文かし

利分三分式朱

右証文ニ而渡し

此表出入なく相濟

此表出入なく相濟

六月二日
野田かへ

一 正ミ式メ百七十匁

文助

代四兩也

一 正ミ四メ六百匁 茂四郎

代六兩貳分貳朱

一 正ミ貳メ五百四十匁 十三郎

代三兩三分貳朱

一 正ミ四メ四百四十匁 和助

代六兩壹分貳朱

一 正ミ六メ貳百八十匁 吉藏

代八兩三分

一 正ミ四メ三百三十匁 藤右衛門

代六兩壹分貳朱

一 正ミ三メ百匁 庄八

代四兩貳朱

一 正ミ八メ百匁 宿

代十貳兩貳朱三百五十匁 風代出

メ五拾貳兩壹分三百五十匁

此わり

金廿六兩貳朱卜百七十匁 平分

金廿六兩貳朱卜百七十五匁 伝藏

元二合

七月二日 内金五兩也 相渡し

七月二日 内金拾五兩也 長七

七月二日 内金拾五兩也

吉田買

七月三日買

一 三メ匁 宇之助

内三百八十匁引

正ミ貳メ六百廿匁

代金三兩三分貳朱

一 三メ七百匁 善兵衛

内七百匁引

正ミ三メ匁

代金四兩壹分四百匁

一 貳メ百匁 幸助

内百七十匁引

正ミ壹メ九百卅匁

正ミ壹メ九百卅匁

代金貳兩三分四百文

一 七百五十匁 惣助

内六十匁引

正ミ六百九十匁

代金三分貳朱四百文

一 三メ五百匁 弥惣二

内三百三十匁引

正ミ三メ七十匁

代金四兩貳分四百文

一 貳メ三百匁 忠吉

内三百七十匁引

正ミ壹メ九百三十匁

代金貳兩三分也

一 壹メ貳百五十匁 善次郎

内百六十匁引

正ミ壹メ九十匁

代金壹兩貳分貳朱

一 壹メ四百匁 松四郎

内百八十五匁引

正ミ壹メ貳百十匁

代金壹兩壹分四百文

一 貳メ百匁 權藏

内百八十匁

正ミ壹メ九百廿匁

代金貳兩三分貳朱

内百廿文 ふ代出目引

一 三百匁 長作

代金壹分貳朱

一 貳メ五百六十匁 南藏院

正ミ貳メ三百匁

代金三百貳分四百文

一 壹メ貳百匁 栄次郎

内百六十匁引

正ミ壹メ四十匁

代金

一 三メ五百匁 与七

内金百七十引

正ミ三メ三十匁

外百卅匁

合代金四兩三分

一 四メ七百匁

藤兵衛

内式百引

正ミ四メ五百匁

代六兩三分式朱

ふ代出目内壹分百文引

一 式メ四百目 才三郎

内式百五十匁引

正ミ式メ百五十匁

代金三兩式朱ト四百文

買目ノ三十メ七百六十匁

ノ藏入三十卷メ四百匁

金四拾三兩式分式朱ト式メ三百八十文

右五金七兩相渡し

残金三拾六兩三分卷メ五百八十文

外二三百文 酒代

外二四百文 才三郎分

合金三拾六兩三分式メ式百八十文

右之通髓ニ受取申候、以上

吉田村 与七

才三郎

非 野田 与七殿

七月七日

一 百七拾五匁 喜代

代錢卷メ式百廿五文

非 正ミ式メ百三拾匁 金藏

代金三兩式分卷朱

正ミ式百匁 小作

代金卷分

正ミ卷メ六百七拾匁 源十郎

代金式兩ト式百文

正ミ卷メ匂 弥次郎

代金卷兩壹分

非メ金七兩壹朱ト貳百文

覚

正ミ卷メ三百九拾匂 喜八

代金卷兩貳分式朱

一 八百匂 清右衛門

鳳 京関

七月十日

一 拾三メ六百匂 新蔵

代金拾六兩貳分

内式朱也 相渡し

一 正ミ三百五拾文 新兵衛

代金卷分式朱ト百五拾文

内金卷分式朱也

一 正ミ卷メ匂 武八

代金卷兩壹分也

三百文 返り

差金三分也

内四百文 風代目引

七月十二日

内金五兩也 相渡し

七月十三日

又金拾兩也 相渡し

七月十七日

又金貳兩式朱ト四百文 相渡し

メ此表不殘相濟申候、以上

正ミ卷メ九拾匂 新太郎

五十文かり

一 小花式朱也 五郎兵衛

代金貳分式朱ト五百文

一 正ミ六百廿匂 弥吉

代金壹兩壹分

三百文 返り

貳百三十文 引

正ミ七百五拾匁

与兵衛

代金壹兩貳百文

三十匁

仙徳

代貳百六十文

かし

一 七百匁

あめ屋

代金壹兩也

正ミ八メ五拾匁

惣蔵

代金九兩三分

正ミ壹メ六百五拾匁

与吉

代金壹兩貳分貳朱ト貳百文

一 八百八十匁

与兵衛

代金壹兩也

一 七百四拾匁

加助

代金三分四百文

一 四百廿匁

宿

代金貳分

金貳拾壹兩貳分貳朱ト貳メ十文

此内金壹兩壹分貳百文

差引金拾九兩三分貳朱壹メ八百文

一 金壹兩貳分

仙徳

合金貳拾三兩貳朱ト貳メ十文

差引金貳拾壹兩壹分貳朱壹メ八百文

右江金六兩貳分貳朱 相渡し

差引金壹兩壹分貳百文 惣払

金拾四兩壹分壹メ八百十文

忠蔵殿

外ニ貳分 差引間違也

貳百七拾文 酒代

野田 与七殿分

非一 正ミ六百四拾匁

非一 貳メ五百六拾文

魚花

非一 百十匁

中花

代金七百七拾文

非一 正ミ百五拾匁 下魚花

代錢六百文

非七月廿日
一 卷メ五百匁 さかへ義助

内百三十匁引

正ミ卷メ三百七十匁

代金卷兩貳分五百文

小野七月廿二日
一 五百匁 日和田村与三郎

代金四分百文 相濟

小野廿一日買
一 八兩貳分 松沢たつ

不相濟

小野七月廿三日 よふかへ
一 正ミ三メ貳百匁 おさよ

代金三兩貳分式朱ト四百文

内金卷分式朱ト六百六十式文

利足分渡ス

又同式朱ト五百五十三文 渡し

又同卷兩三分 質物ニ而かし

正月十九日
式朱ト七百八十文 渡し

又卷兩也 渡し

三百四十文 渡し

廿七日
正ミ六百匁 道生市之丞

外ニ三百五匁

一 式百文 小花

道生かへ

小野 上ケ目

正ミ三貫メ八百五拾匁 政吉かへ

一 四兩式朱ト貳百文

寒川江かへ

玉光 上ケ目

正ミ拾式メ貳百匁 政吉かへ

一 金拾四兩三メ五百文

又五十八匁 不足

右江拾壹兩貳分貳釐五百拾文

代金貳十三兩也

相渡し

太七

小野七月廿八日

一 壹メ五百匁 船戸賀さわ

榎岡 彦三郎殿

代金貳兩也

一 六拾七匁也 紅花

小野

一 壹メ貳百八十匁 日和田与三郎

但し三拾壹兩貳百かへ

代金壹兩貳分貳釐五百文

内金貳分 相渡し

一 廿一匁 紅花

七月卅日 石川 綿屋善太郎殿

一 紅花四十匁

但し廿九兩かへ

但三十八兩三分かへ

外ニ金壹分貳釐 五箇荷造諸掛り

代 内貳分 手付渡し

右之通買定申候、以上

又金三兩也 八月朔日渡し

東町 七藏殿

右之通り買受

内三十九匁也

八月四日 乱花 一 九メ三百五十匁 式〇五かへ

小野 内三十八匁 請取

一 八メ匁

引而壹袋分

一 十七メ三百五十匁

内八百五十匁引

正ミ十六メ五百匁

代金八兩ト式百七十文

内金貳兩 相渡し

殘金八月十二日 差引不殘渡し

乱花

一 九メ貳百匁

正ミ八メ九百匁入

一 八メ貳百匁

八メ九百匁入

覚

山口かへ 善兵衛

一 金七拾兩三分式メ貳百文

右江金拾壹兩也 相渡し

金貳分 相渡し

七月十八日

又金三拾兩也錢廿文 相渡し

七月廿二日

又金拾貳兩貳分 渡し

青芋仕入覚

八月七日 宮の下

吉兵衛

一 四拾把

一 五拾把半

善吉

代金三兩三分也

代四兩三分也

蔵入九十九把

代八兩貳分也

外二三百文 駄ちん

内金貳兩也 渡し

八月廿二日 又五百文 渡し

買把貳百廿五わ 与右衛門

一 壹メ六百

一 十九メ六

一 十五メ四

一 九メ

ノ 四十五メ六百匁

蔵入此わ貳百廿八わ

代金貳十兩ト壹メ文

八月十日

一 八把 ねきわ弥五郎

代貳分貳朱ト五百文

内壹分 渡し

又壹分貳朱ト五百文

八月廿四日渡し

一 八把 小泉村五郎吉

代貳分貳朱ト五百五十文

ノ 内貳分 渡し

又壹分五百五十文 渡し

買把百七拾八把四分五厘

十一日
一 拾六メ四 与右衛門

貳拾壹メ匁

ノ 三拾七メ四百匁

百八拾七把

代金拾六兩貳朱ト五百文

外二貳百五十文 駄ちん

善蔵

一 拾六メ貳百匁

一 拾五メ八百匁

ノ 三十貳メ匁

二七 此わ百六十把

代五十九切四百文

一 拾メ匁

一 拾壹メ六百匁

ノ 貳壹メ六百匁

三〇 此わ百九わ

代三十六切五百貳十文

四百文 駄ちん

八月十六日 善兵衛
二九かへ

一 拾壹メ六百匁

五十八わ

代金貳十切

上 十六日 善兵衛殿
一 拾貳メ八百匁

一 拾三メ貳百匁

一 拾三メ匁

一 拾三メ八百匁

一 六メ六百匁

〆五拾九メ四百匁

二百九拾七把

百拾切

中 十六日

一 拾壹メ四百匁

一 拾貳メ四百匁

一 拾メ六百匁

〆三拾四メ四百匁

百七拾貳把

代五十七切五百貳十八文

〆百八十七切五百貳十八文

外二百八匁 駄ちん

内五十匁 渡し

十八日 与右衛門

一 六拾把

代金七兩壹分

外二百五拾文 駄ちん

覚

与右衛門殿分

三百五拾四把三分七厘

八月十八日

一 拾九メ八百匁

一 拾九メ貳百匁

一 十二メ四百匁

一 十八メ八百匁

ノ 七拾メ貳百匁

三百五拾壹把

代金三拾兩貳分三朱ト

四メ六百四十八文

八日 与右衛門

一 九メ八百匁

四拾九把

代金四兩貳分貳朱

百文 駄ちん

五十沢 青亭差引書

下五十沢代ノ高

一 金拾貳兩貳朱ト錢六メ七十文

外二百五十文 駄ちん

百五十文 酒代

三百文 茶代

ノ

右江金五兩也 渡し

さし引殘金七兩貳朱ト六メ七十文

一 金貳十貳兩三分三朱ト

錢十貳メ八百四十六文

外貳百八十文 酒代

貳百六十文 駄ちん

四百文 土生田より山口迄駄ちん

四十八文 酒代

ノ 拾三メ八百三十四文

右江内金三兩貳分 渡し

さし引殘金拾九兩壹分三朱ト

拾三メ八百三十四文

殘金ノ貳拾六兩貳分壹朱ト

錢十メ五百十八文

右江金拾三兩分

又五兩也 当面ニ而

又差引殘金拾壹兩貳朱三朱ト

五百十八文

右之通り不殘相渡し申上候、以上

外ニ貳朱 目早口錢

山口 善兵衛殿

八月廿一日

一 拾貳メ六

一 拾四メ貳

一 拾四メ

一 拾三メ四

〆五拾四メ貳 廿九かへ

貳百七拾壹把

代金貳拾三兩壹分七百分

五十沢かへ 土生田 八百善殿分

一 拾貳メ玖

一 拾メ玖

〆貳拾貳メ玖

此把百拾把

代金拾貳兩貳分貳朱ト五百文

外ニ三百文 肩礼

百五拾文 土生田迄駄ちん

一 貳百五拾文 山口迄

一 三百文 当所江

一 貳朱 口錢

〆 貳朱ト壹メ文

合金拾貳兩壹分壹メ五百文

一 五拾八把 仁平次

代金五兩也 清六

〆金貳百廿七兩三分貳朱ト

三拾貳メ三百廿七文

此金五兩三百廿七文

合貳百卅貳兩三分貳朱ト三百廿七文

此造拾三駄半貳包也

外二四メ匁 はね守

式つ割 式メ匁ツ、

後義殿江相かし

此諸掛り物

一 金拾兩也 口錢荷造川出し迄

一 永百五拾匁匁 御役永

八分七厘五

一 永百九拾六匁式分八厘 酒田迄運賃

一 永四拾四匁九分五厘 分小まし

一 金拾貳兩三分式朱ト五匁六分

合金貳百四拾五兩三分

永貳百七拾匁七分

此内も役過引

跡口かへ

一 金壹分五百文 清六

九月七日相渡し

十月朔日 白鳥村

一 金三分 善七殿相渡し

一

取替物書

一 紅花七拾貳袋

但し老駄二付 三拾九兩かへ

右五一 金九兩三分式朱 布段十五

一 金貳拾貳兩 生蠟四匁

一 金四兩也 帶四本

一 金三拾五兩三分式朱

残金当日預

取引十七日と十九日迄

楯岡 治 助殿

取次人 左久間殿

上り袋覚

大力印

一 金三分式朱ト六百文 当村新兵衛

一 同壹兩三分ト四百文 金 蔵

一 同壹兩貳朱ト貳百三十文 源 蔵

- 一 同壹兩ト六十文 与 太
- 一 同貳兩壹分六百文 庄之助
- 一 同貳兩三分
- 一 同貳兩貳分貳朱三百文 与 七
- 一 同壹兩三分ト四百文 松三郎
- 一 同壹兩貳分貳朱 久三郎
- 一 同三兩也 長之助
- 一 同三分貳朱ト三百文 又兵衛
- 一 十九兩貳分貳朱ト貳メ八百九十文
- 一 金四兩三分百五十文 仁田村買
- 一 金壹兩貳分貳朱ト四百文 仁左衛門
- 又一 金十貳兩壹分 高関買
- 一 金三十七兩三分ト三メ四百四十文

此袋七十袋有

△/

高谷印

- 一 金七兩三分 新十郎
- 一 同四兩三分貳朱ト四百文 伊三郎

- 一 同十四兩壹分貳朱 十三郎
 - 一 同十兩壹分ト六百文 松兵衛
 - 一 同五兩也三メ勿当 跡買分内
 - 一 四十貳兩壹分壹文 此袋六十五袋
- イ 鳳金印 のた買
- 一 金貳十六兩貳朱ト百六十文
 - 一 同十六兩貳分 高関買
 - 一 四十貳兩貳朱ト百六十文 此袋七十三袋
- △メ 撰印 吉田買
- 一 金四兩四分貳朱ト八十文 此袋七十袋
- イ
- 高谷雨印 新兵衛 弥(ヤ) 高谷買
 - 金五十兩貳分貳朱

内五兩也 高谷印へ入

さし引金四十五兩貳分貳朱

此袋六十八袋

□▽△

山口

袋 百五拾三袋

内七袋 さし

△貳拾三兩貳朱ト貳メ文 兩所かへ

四拾七袋

緋威

三拾六兩壹分也

七拾貳袋 外ニさし三袋

↗七拾五袋

紅花荷造

□イ

十七式 吉田かへ

公平一撰 七拾袋 四丸

三分

百姓かへ

同高谷 五拾五袋 十七入 十八入 壹三 四丸

同本紅 貳袋三分

同高谷雨 六拾八袋三分 十七入 四丸 新兵衛かへ

△石貳分五厘

高関野田

同鳳園印 七拾三袋三分 十八入 十九入 壹三 四丸

△

同大力 七拾袋三分 十八入 十七入 壹三 四丸

同緋威 七拾二袋 十八入 十九入 壹三 四丸

外ニさし三袋

↗七拾五袋三分

山口

同新場 百五十三 十九入 十八入 壹三 八丸

手板式通巻両式分

同小町 四十七 十八入 式丸

同新場 さし 巻袋十八入 壹丸
同小町 拾袋式分

三丸

京都 美濃屋忠右衛門殿行

△平国光 八拾四袋 廿入 四丸

右内江百拾式匁 芻花さし

京都 伊勢屋源助殿行

やさとの

⊕

△平小野 七十七袋 十九入三四丸
廿入 壹四丸

△×∟

京都 美濃屋忠右衛門殿行

△平乱花 正ミ六メ百匁

皆掛七メ三百匁

羽州屋久右衛門殿行

△イ∟ ⊕

△平金光 七十袋 十八入式つ
十七入壹つ 四丸

右内上花 式袋

さし 壹袋

封印 添金三分也

△平乱花 皆掛九メ八百匁

正ミ八メ九百匁入

皆掛九メ八百匁

正ミ八メ九百匁入

大坂 近江屋太右衛門殿行

⊕五十沢 四駄半 六連

同山口 四駄 壹連

同天飛大白 四駄半 六連

△ 此内 大石田 新五兵衛

㊦山口 式駄

同五十沢 式駄半

同天飛大白 式駄

↗ 六駄半 手板巻対

㊦山口 式駄

㊦五十沢大白 式駄

同天飛 式駄半

↗ 小荷 式丸

青芋 跡かへ分 本間長兵衛殿行

正ミ

一 八貫匁

一 八貫六百匁

↗ 拾六メ六百匁

巻九 八拾七把

式七 八拾七把

此代金八兩五三百廿文

外ニ式百文 運賃

右之通

本長殿

地物仕入方

たてをか 茂七殿

正月廿二日

一 十一五かへ チクサ 十五反

一 十二かへ 紺形 式反

↗ 右江内金式分 相渡し

山形 文吉殿

二月朔日

一 金巻両式百十式文 さなた

代済 十四丈八尺

山形 文吉殿

二月朔日

一 銀三十五匁七分 しほり 三反

山形 佐々木作兵衛殿

一 銀七拾八匁 正里 六反

差引 なる

山形宮町 文吉殿

二月八日

一 六十匁匁 クロ 四反

一 廿式匁六分 正里 貳反

一 十三匁 同 壹反

ノ九十六匁六分

内式分 二月十三日渡し

又壹両也 二月十九日渡し

又三分三厘壹匁三分 三月三日渡し

たておか 茂七殿

二月十二日

一 十一五 チクサ 十一反

一 十四 納戸 貳反

ノ

山形 佐々木屋作兵衛殿

二月十六日

一 銀十三匁 正里 壹反

三月十九日 同 七十式匁五分 クロ 五反

錢壹メ八文 さなた

壹分ト百文 地嶋壹反

壹分ト五十文 同 壹反

銀三十三匁 いちまち三反

ノ百三十五匁五分壹メ百五十八文

此金貳両壹分式朱ト三百九十四文

差引なる

山形六日町 稲村屋

正月廿八日 一 壹分五十文 いちまち

代濟

文錢店

四月二日 一 銀拾八匁 手拭 貳反

四月二日 一 銀拾七匁 青柳榮助

四月二日

一 銀拾七匁 天童 文錢店

天童 文錢店

四月二日
一 銀貳十七匁六分 両面 貳反

山形 佐々木屋作兵衛殿

四月六日
一 銀拾四匁 両面 壹反

差引 なる

山形 作兵衛殿

四月七日
金三兩ト貳百文 地嶋四反

銀十四匁 鼠地壹反

差引成る

山形宮町 文吉殿

四月八日
一 壹メ九十八文 さなた九丈五尺五寸

右品ニ而返し

山形 作兵衛殿

四月十八日
一 五拾四匁 両めん 四反

一 金壹分百廿文 地嶋 壹反

差引成ル

天童 青柳栄助

四月廿二日
一 四拾九匁六分 片面 四反

内金三分 相渡し

山形 作兵衛

五月四日
一 銀十五匁 両めん四反

差引成ル

長町 染屋

一 銀六十匁 しぬり五反

五月廿九日
山形 佐々木屋作兵衛殿

一 銀廿八匁 両面 貳反

山形御同人分

七月四日
一 壹メ七百貳文 十一五かへ

十四丈八尺

一 壹メ文 七五かへ

さなた十三丈四尺

メ式メ七百式文

内金式分也 七月十日渡し

当所 栄助

七月十一日 一 壹分四十文 折色 壹反

内金壹分 相渡し

唐木屋

八月十九日 一 壹メ式百七拾文 十丈六尺

水口屋伝之助

一 銀十五匁 クロ 壹反

代八月廿二日 濟

寺津 清助

一 三分 板メ書

一 三分 ちふ壹疋

メ壹百式分 八月廿二日渡し

宮町 文吉殿

一 三十匁匁四分 納戸 式反

内式分 渡し

九月 宮町 文吉 式分三百文 地嶋 式反

内式分式百 渡し

九月十六日 一 壹兩ト六百五十文 地嶋壹反

一 壹兩ト六百五十文 日出し壹反

九月十六日 山形 作兵衛

一 銀廿八匁 九月廿六日 同入分

一 銀廿八匁 九月廿六日 同入分

代九月廿八日 濟

十月二日 一 五十六匁 大和嶋式疋

一 五十六匁 大和嶋式疋

十月六日 一 廿三匁七分 正里 式反

一 廿三匁七分 正里 式反

右江内式分也 渡し

からきや

一 三十匁 クロ 式反

十一月卅日 山形 作兵衛殿

一 壹九百九文 さなた十六丈六尺

一 十匁 十五 紐足袋 四速

一 式十匁七分 一〇半 白足袋 九速

一 十匁五分 九五 白女 五速

一 十五匁 嶋 壹反

ノ 五十六匁式分

ノ 金壹両貳朱卜六百七十八文

右金壹両也 渡し

又同貳分 渡し

山形 文吉殿

正月十九日 銀五拾八匁 クロ 四反

一 十貳匁八分 正里 壹反

一 十五匁五分 紐 壹反

ノ 八十六匁三分

内金壹両壹分貳朱 渡し

五五 生花仕入日記帳(横帳)

(表紙) 嘉永四年

生花仕入日記帳

亥六月大吉祥日

六月廿日

一 正味三百三拾匁 同

代三百十三文 九五

同 一 同 三百匁 茂七

代貳百八十五文

内式百文 渡し

ノ 六百三十匁

同廿一日

一 同 六百匁 茂七

代四百九十八文 八三

(裏表紙) 「本木要蔵」

同日 同 五百九拾匁 藤五郎

代 四百九十文

内百文 渡ス

同日 一 同 貳百五拾匁 周吉

代 貳百四十壹文

同日 一 五百匁 庄太郎

代 四百十五文

右へ貳朱 渡ス

又 貳百七十五文 にしん代

同日 一 同 五百五拾匁 又次郎

代 四百五十六文

内百文 渡ス

又 貳百五十匁

同日 一 同 五百四拾匁 又次郎

代 六百四十八文 百廿

同日 一 同 壹々七拾匁 庄太郎

代 壹々貳百八十四文

同日 一 同 壹々四十匁 庄五郎

代 壹々三百三十式文

同日 一 同 貳百拾匁 周吉

代 貳百五十式文

右へ壹歩 渡ス

内 貳朱錢

同日 一 同 四百廿匁 藤五郎

代 五百四文

同日 一 同 五百廿匁 義七

代 六百廿四文

同日 一 同 九百八拾匁 同

代 壹々百七十六文

ノ四ノ八百五十匁

同廿三日

一 同 卷ノ四百五拾匁

庄五郎

代 卷ノ七百四十文

百廿

内式百文

渡ス

同日

一 同 五百三十匁

又次郎

代 六百廿六文

同日

一 同 卷ノ百六十匁

庄太郎

代 卷ノ三百九十式文

同日

一 同 卷ノ六百拾匁

周吉

代 卷ノ九百六十式文

同日

一 同 五百匁

藤五郎

代 六百文

同日

一 同 九百七拾匁

義七

代 卷ノ百六十四文

同日

一 同 四十匁

同

代 四十八文

ノ六ノ式百六十匁

同廿四日

一 同 四百三十五匁

藤五郎

代 五百五十七文

百廿式

同日

一 同 卷ノ八百三拾匁

同

代 式ノ三百四十式文

同日

一 同 式ノ九百廿匁

庄五郎

代 三ノ七百三十八文

同日

一 同 卷ノ式百六十匁

文治郎

代 卷ノ六百十三文

同日

一 同 七百四拾匁

文吉

代 九百四十七文

内 三百文

相渡シ

同廿四日
一 同 卷メ五百匁 平蔵

代卷メ九百廿文

内五百文 相渡し

同日
一 同 式メ三百匁 庄太郎

代式メ九百四十四文

同日
一 同 卷メ三百七十匁 義七

代卷メ七百五十四文

同日
一 同 式メ五百三十匁 周吉

代式メ式百三十八文

メ十四メ八百八十五匁

同廿五日

一 正メ八百六拾匁 同

代九百四十六文 百十

一 同 式メ六百六十匁 庄太郎

代式メ九百廿六匁

一 同 卷メ百廿匁 文吉

代卷メ式百三十式文

一 同 四メ七百十匁 庄五郎

代五メ百八十卷文

一 同 卷メ式百三拾匁 又治郎

代卷メ式百四十三文

一 同 式百四拾匁 藤五郎

代式百六十四文

一 同 式メ三百廿文 平蔵

代式メ五百五十式文

一 同 四メ百八拾匁 三五郎

代四メ五百九十八文

一 同 内三百文 相渡し

一 同 三メ式百八拾匁 周吉

代三メ六百八文

一 同 三メ八百六拾匁 善四郎

代四メ式百四十六文

一 同 式メ五百廿匁 義七

代式メ七百七十式文

一同 三メ四百十八匁 新太郎

代三メ七百五十匁文

内金壹分 相渡し

ノ三十メ三百九十匁

同廿六日

一同 九百廿匁 文吉

代壹メ百四文

同日

一同 壹メ六百十匁 又次郎

代壹メ九百三十式文

同日

一同 壹メ九百四十匁 同

代式メ三百廿八文

同日

一同 壹メ貳百七拾文 義七

代壹メ五百廿四文

内式朱 渡し

同日

一同 式メ五十匁 庄太郎

代式メ四百六十文

内四百文 わたし

同日

一同 四メ六百六拾匁 庄五郎

代五メ五百九十式文

同日

一同 四メ三百廿匁 周吉

代五メ百八十四文

同日

一同 式メ六百拾匁 平藏

代三メ百三十式文

同日

一同 壹メ五百廿匁 新太郎

代四メ貳百廿四文

ノ廿式メ九百匁

廿七日

一同 壹メ四百四拾匁 文吉

代壹メ七百廿八文 百廿

同日

一同 壹メ四百五拾匁 又次郎

代壹メ七百四十文

同日 一 同 式メ式百四拾匁 同 分

代式メ六百八十八文

一 同 五メ式百九拾匁 庄五郎

代六メ三百四十八文

一 同 壹メ七百八拾匁 義 七

代式百三十六文

一 同 式メ式百八拾匁 平 藏

代式メ七百三十六文

同日 一 同 壹メ九百匁 庄太郎

代式メ式百八十文

同日 一 同 三メ八百匁 周 吉

代四メ四百六十文

同日 一 同 三メ七百九十匁 新太郎

代四メ五百四十八文

同日 一 同 九百拾匁 岩治郎

代壹メ九十式文

内式百文 相渡し

メ廿四メ八百八十匁

同日 一 同 壹メ百四拾匁 文 吉

代壹メ三百六十八文 百廿

同日 一 同 五メ七百匁 庄五郎

代六メ八百四十文

同日 一 同 式メ百八十匁 義 七

代式實六百十六文

同日 一 同 壹メ六百九十匁 又次郎

代式メ廿八文

右へ金壹兩下式百文 七月十二日渡ス

一 同 式メ五百八十匁 平 藏

代三メ九十六文

同日 一 同 式メ式拾匁 庄太郎

代式×四百廿四文

同日
一 同 四×五百五十匁 新太郎

代式×四百六十文

同日
一 同 四×七百七十匁 周吉

代式×七百廿四文

廿八日
一 同 壹×四百六十匁 岩治郎

代式×七百五十式文

同日
一 同 壹×貳百九十匁 同

代式×五百四十式文

廿七×三百八十匁

同廿九日

一 同 壹×三百九十匁 文吉

代式×五百九十八文 百十五

一 同 貳×三百匁 同

代式×六百四十五文

同日

一 同 壹×三百廿匁 義七

代式×五百十八文

同日
一 同 壹×七百三十匁 庄太郎

代式×四百八十九匁

同日
一 同 五×貳百九拾匁 周吉

代式×八十三文

同日
一 同 六×貳百匁 庄五郎

代式×百三十文

同日
一 同 壹×九百七十匁 又治郎

代式×貳百六十五文

同日

一 同 貳百六十匁 藤五郎

他式百九十九文

右ニ式歩卜四百文 七月十二日渡ス

一 同 五×六百八拾匁 新太郎

代式×五百三十式文

同日 一 同 三ノ式百匁 平 蔵

代三ノ六百八十文

同日 一 同 卷ノ九百四十匁 岩次郎

代式ノ貳百三十卷文

ノ三十卷ノ貳百八十匁

七月一日 一 同 卷ノ七百七拾匁 文 吉

代卷ノ三百四十五文 百十五

同日 一 同 卷ノ七百七拾匁 同 分

代式ノ三十六文

同日 一 同 卷ノ八百十匁 庄太郎

代式ノ八十卷文

同日 一 同 四ノ七百六拾匁 庄五郎

代五ノ四百七十四文

同日 一 同 式ノ四百五拾匁 平 蔵

代式ノ八百十七文

同日 一 同 四ノ貳百八十匁 周 吉

代四ノ九百廿文

内六百文 渡し

同日 一 同 卷ノ七百廿匁 又次郎

代卷ノ九百七十八文

同日 一 同 卷ノ六百四拾匁 義 七

代卷ノ八百八十六文

同日 一 同 百六拾匁 藤五郎

代百八十四文

同日 一 同 四ノ四百四拾匁 新太郎

代五ノ百六文

同日 一 同 卷ノ五百匁 岩治郎

代卷ノ七百廿五文

ノ廿五メ七百匁

七月二日

一 正ミ式メ八百四拾匁 庄太郎

代式メ六百九十八文 九五

同日

一 同 六メ百匁 庄五郎

代五メ七百九十五文

同日

一 同 壹メ六百匁 文吉

代壹メ五百廿文

同日

一 同 式メ三百六拾匁 平藏

代式メ式百四十式文

同日

一 同 式メ式百四拾匁 又次郎

代式メ百廿八文

内式朱 錢ニ而七月十四日

同日

一 同 五メ式百拾匁 新太郎

代四メ九百四十九文

同日

一 同 壹メ七百六拾匁 義七

代壹メ六百七十式文

同日

一 同 四メ三百廿匁 周吉

代四メ百四文

同日

一 同 壹メ四百九十匁 岩治郎

代壹メ四百十五文

右へ式歩 七月十一日渡ス

同日

一 同 式メ七百匁 同分

代式メ五百六十五文

同日

一 同 百九拾匁 藤五郎

代百八十文

ノ三拾メ八百五十匁

同日

一 同 八百五拾匁 要藏

代九百三十五文 百十

同日
一 同 卷メ百九拾匁 文吉

代卷メ三百九文

同日
一 同 卷メ七拾匁 義七

代卷メ百七十七文

同日
一 同 五百匁 藤五郎

代五百五十文

同日
一 同 卷メ七百匁 庄太郎

代卷メ八百七十文

内巻歩式朱 七月十四日渡ス

又式朱 錢ニ而わたス 源蔵

同日
一 同 四メ三百式拾匁 庄五郎

代四メ七百五十式文

同日
一 同 卷メ六百匁 又次郎

代卷メ七百六十文

同日
一 同 卷メ五百五十匁 平蔵

代卷メ七百五文

同日
一 同 四メ五十匁 周吉

代四メ五百六十五文

同日
一 同 四メ三百五十匁 新太郎

代四メ七百八十五匁

内式朱 錢ニ而渡し

同日
一 同 五百三十匁 岩治郎

代五百八十三文

同日
一 同 卷メ式百五拾匁 同

代卷メ三百七十五文

メ廿三メ六拾匁

同日
一 同 七百廿匁 要蔵

代八百廿八文 百十五

同日 一 同 卷メ六百廿四 平藏

代卷メ八百六十三文

内五百文 渡ス

同日 一 同 卷メ貳百四 又次郎

代卷メ三百八十文

内貳步 渡ス

同日 一 同 式メ七百八十文 庄五郎

代三メ百九十七文

同日 一 同 卷メ百九拾文 義七

代卷メ三百六十八文

同日 一 同 三メ六百八拾文 周吉

代四メ貳百三十文

同日 一 同 七百文 文吉

代八百五文

同日 一 同 三メ五百八十文 新太郎

代四メ拾七文

同日 一 同 卷メ八百十文 庄太郎

代式メ八拾卷文

同日 一 同 卷メ三百九十文 同分

代卷メ五百九十八文

同日 一 同 三百九拾文 藤五郎

代四百四十八文

メ十九メ六十文

同日 一 同 卷メ文 庄五郎

代卷メ百五十文 百十五

一 同 五百九拾文 義七

代六百七十八文

一 同 五百拾文 要藏

代五百八十六文

一同 五百拾匁 文吉

代五百八十六文

同日 一同 七百匁 忠藏

代八百五匁

同日 一同 貳×五百五拾匁 周吉

代貳×九百三十貳文

内貳百文 渡ス

同日 一同 九百廿匁 又次郎

代壹×五十貳文

同日 一同 壹×百七十匁 平藏

代壹×三百四十五文

同日 一同 壹×七百五拾匁 庄太郎

代貳×拾貳文

同日 一同 三×百匁 新太郎

代三×五百六十五文

同日 一同 五百匁 藤五郎

代五百七十五文

一同 五百廿匁 同

代五百九十八文

同六日 一同 三百七拾匁 吉助

代三百七十文 百

同日 一同 九百八十匁 平藏

代九百八十文

同日 一同 壹×五百三十匁 庄五郎

代壹×五百三十匁

内貳歩 七月七日渡ス

同日 一同 四百匁 文吉

代四百文

同日 一 同 三百三十拾匁 義七

代三百三十文

同日 一 同 貳メ六百拾匁 周吉

代貳メ六百十文

内老兩 七月十二日渡し

同日 一 同 六百匁 又次郎

代六百文

内四百文 渡し

同日 一 同 老メ五百十匁 庄太郎

代老メ五百十文

内四百文 相渡ス

内老兩 七月十一日渡し

同日 一 同 老メ貳百三十拾匁 庄五郎

代老メ貳百三十文

同日

一 同 四百四十匁 忠藏

代四百四十文

同日 一 同 老メ八百六拾匁 新太郎

代老メ八百六十文

右へ式歩 七月十四日渡し

同日 一 同 老メ百匁 同

代老メ百文

同七日 一 同 貳百廿匁 文吉

代百廿匁文 五五

同日 一 同 三百拾匁 義七

代百七十文

同日 一 同 六百九十匁 藤五郎

代三百七十九文

同日 一 同 五百九十匁 同分

代三百廿五文

同日

一同 卷ノ四百六拾匁 平蔵

代八百三十文

内五百文

渡ス

内卷兩卷歩

七月十一日渡

同日

一同 卷ノ三百四十匁 庄太郎

代七百三十七文

右へ巻歩式朱 七月九日渡ス

同日

一同 式ノ百三十匁 周吉

代卷ノ百七十卷文

同日

一同 六百匁 又次郎

代三百三十文

右へ巻歩式朱 式朱ハ錢_二而

同日

一同 五百五十匁 義七

代三百式文

同日

一同 五百十匁

藤五郎

代式百八十文

ノ

同日

一同 六百三十匁

平蔵

代三百十五文

五

同日

一同 百五拾匁

義七

代七十五文

同日

一同 式百六拾匁

藤五郎

代百三十文

右へ三百文

渡ス

同日

一同 七百匁

周吉

代三百五十文

ノ

同日

一同 三百拾匁

義七

代六十七文

四五

一 同 貳百十匁

周吉

代九十四文

右へ金壹兩貳朱

貳朱ハ錢_二兩、七月十一日渡ス

義 七

一 生花_ノ貳拾メ五百七拾匁

代_ノ廿貳メ七百三十四文

此金三兩貳步六百十四文

内貳朱ト貳百文 通渡し

同壹兩 七月廿九日

同三拾文 酒手

同壹兩貳步壹メ百十貳文

立替かし元利

同貳朱ト六十七文 米代残

小以_ノ貳兩三步貳朱六百十九文

残 貳步ト七百八十六文

右へ貳步貳朱 八月六日渡し済

一 生花_ノ貳拾八メ百五拾匁

代_ノ三拾壹メ七百壹文

此金五兩百壹文

内壹兩三步貳朱 通渡し

六百七十五文通_二兩

同貳朱四百文 二度ニ

小以_ノ貳兩壹メ七十五文

同 貳兩壹メ四百八十三文

立替かし金元利

同壹メ六十八文 酒手

同壹兩貳朱百六十壹文 残助成代納

渡_ノ 五兩貳分貳朱六百廿七文

内貳百六十文 菜種代引

_ノ 五兩貳步貳朱三百六十七文

内五兩百壹文 生花代

過 貳分貳朱貳百六十六文

同大晦日かし二度ニ

右の内巻兩六百八十六文 米貳俵

同貳朱ト五十八文 亥三月かし

差引渡分巻歩貳朱ト四百廿文 間違分引

同巻歩九十三文 同四月かし二度ニ

右へ巻歩 七月廿九日渡ス

同百文 同斷

周吉

同巻三百七十五文 酒代

一 生花ノ五拾メ七百三十五匁

小以九兩巻歩六百四十八文

代ノ五拾四メ七百元

過 貳歩貳朱四百五十八文

此金八兩貳分貳朱ト百九十文

此分万円帳ニ付、七切之貸ニ成相渡

内金巻兩貳歩貳百文 通渡し

新太郎

同三步貳朱六百文 同斷 度々ニ

一 生花ノ四拾三メ四百九十匁

小以ノ貳兩巻歩貳朱八百文

代ノ四十八メ七百七十七文

同三分貳朱 菜種過金引

此金七兩貳歩貳朱ト五百八十七文

同巻兩 七月廿四日

内三步貳朱 通渡し

同貳兩ノ四百八十三文 去大晦日かし

同巻兩 七月廿四日渡

同貳歩三百七十文 同十一日かし

残 五兩三步五百八十七文

同三步五百五十六文 同廿九日かし

外ニ 八十七文 菜種代

同貳歩貳朱四百六十三文

ノ 五兩三步六百七十四文

内巻メ六十五文 御助成代納

ノ 五兩貳歩貳朱三百九十九文

内五兩貳歩貳朱 七月廿九日渡し

ノ 三百九十九文

外二巻メ六百廿四文 干花代

同 貳百六十文 菜大つ共に駄ちん

ノ

右へ壹歩貳朱 七月廿九日渡

六十八文 返り相濟

文 吉

一 生花メ拾貳メ四百四十匁

代メ十四メ六十四文

此金貳兩貳朱ト六百三十四文

内三百文 通渡し

同三歩貳百八十六文 米代金立替え分

同三歩貳百七十八文 大豆貳表九升代

ノ 貳歩ト百七十文

内貳歩 八月二日渡ス

ノ 百七十文 酒代ニ而九月七日渡

平 蔵

一 生花メ廿六メ七百十目

代メ廿九メ九百九十六文

此金四兩貳歩貳朱七百六十六文

内壹兩壹歩 通渡し

壹メ五百文

同壹歩貳百五十七文 種米差引過金引

引残貳兩三歩貳朱五百八十九文

内貳兩三歩貳朱 七月廿九日渡し

同五百八十九文 同日渡し相濟

又次郎

一 生花メ廿メ百十目

代メ廿巻メ七百八十三文

此金三兩壹分貳朱四百五十三文

内三歩式朱 通渡し

五百文 同断

同壹兩式朱ト式百文 度々二

小以ノ式兩ト七百文

内式歩 七月廿九日渡し

ノ 三歩ト五百四十三文

外ニ式歩ト八十三文 菜種代分

二口ノ壹兩壹歩六百廿六文

外ニ式百七十式文 戊生花代ノ

同 四百七十八文 かや代ノ

ノ 壹兩壹歩式朱ト五百九十八文

不残相渡

庄五郎

一 生花ノ五拾式メ五百三十匁

代ノ五十九メ七百九十九文

此金九兩壹歩式朱五百四十九文

内式歩式百文 通渡し

残 八兩三歩式朱三百四十九文

外ニ式兩壹歩 菜種代残

二口ノ拾壹兩式朱三百四十九文

内式歩式朱式拾八文

残 拾兩式歩三百廿壹文

内七百四拾壹文 三峯山御初尾

右ハ式朱 受取

三十四文返ス 相濟

藤五郎

一 生花ノ六メ三百六十五匁

代ノ六メ三百九十文

此金壹兩七十文

内式歩ト八百文 通渡し

残 壹歩式朱ト七十文

外ニ式朱ト五百拾三文 菜種代渡し残

ノ 式歩ト五百廿文

右ハ式歩式朱 七月晦日渡し

式百十七文返り

忠蔵

吉田 与蔵

一 生花ノ式メ八十匁

代ノ式メ三百四拾九文

此金壹分ト七百六十九文

岩治郎

一 生花ノ七メ八百三十匁

代ノ八メ七百九十八文

此金壹兩壹歩式朱百八文

内式歩式朱百文 通渡し

同式歩式朱百七十三文 種米差引過引

同壹歩 わたし

過 式朱ト式百六十三文 渡し越

千花代^二而濟

一 生花ノ壹メ百四十匁

代ノ壹メ式百四十五文

此金式朱ト四百五十五文

吉助

一 生花ノ三百七十匁

代ノ三百七十文

此金 八月廿九日年暮帳ニ付ル

手作

一 生花式拾壹メ百三十匁

代ノ廿三メ六百三十匁文

此金三兩式歩式朱七百壹文

善四郎

正味三メ八百六拾匁

代四メ式百四拾六文

此金貳步壹メ八十六文

内貳朱ト四百九拾貳文 菜種代差引過引

残 老步貳朱ト五百九拾四文

外貳百八十五文 菜種大つ駄ちん

ノ 老步貳朱ト八百七拾九文

右へ貳步ト八十九文 八月六日渡ス

同十四兩三步貳朱六百七拾文

八月五日吉田円藏より受取

同壹兩三步

同日受取

ノ 拾六兩貳步貳朱六百七拾文

覚

一 百貳拾八袋

新袋

一 四拾五袋

古袋

ノ 百七拾三袋

内六拾五袋

内分

一金

紅花売金

内五兩也

手付受取

同四拾三兩

八月四日受取

内三拾貳兩貳步貳朱

利助元利返金八月五日受取

ノ 十七袋

預り置

同拾貳兩壹步貳朱

壹袋ニ付三十文四分七リン

又兵衛六月借用分返金

内八十三袋 預ニ付老步ト四百文直段

右へ貳兩別金出し つり五厘

同 代貳メ四百六十八文

二口メ四拾三兩

元ニ合

同ニ付三十二文五分渡し

同七十三袋 同卷分六百文ツ、直段

代式メ四百五十式文

代メ四メ九百廿文

此金三步ト式百七拾文

内三步ト百七十文

八月廿三日渡ス

同百文 先ニかし

元ニ合 相渡

花袋貸方

一 十袋 善次郎

一 十卷袋 平助

外ニ式ツ四百三十七文

メ十三

一 六袋 又兵衛

一 十四袋 権太郎

一 十卷 武七

一 七 小走

一 六 三五郎

一 卷 新太郎

古

一 七 義助

一 十六 権治郎

五六 紅花仕送帳 (横帳)

(表紙) 紅花仕送

本木林兵衛

京都四条 伊勢屋利右衛門様

元仕切

△平△仙稀 六拾九袋

△平△仙紅 六拾卷袋

メ 百三拾袋

五十八兩かへ

元仕切

代金百七兩三分ト永六匁貳分九厘

金六拾兩三分三分七厘 貳つわり分

外二

代金百廿四兩三分三朱ト七分四厘

一 金貳兩也

口錢

内金百兩也

子二月四日受取分

一 同三朱ト銀七分五厘 御役永

金五兩也

子六月十七日

一 同壹兩貳分

添金

熊藏ち知積院為替分

代金三兩貳分三朱ト銀七分五厘

△二松沢 七拾貳匁

十八入 四丸

合金百廿壹兩貳分銀七分五厘

七十八兩かへ

丑三月卅日切売仕切

代金八拾七兩三分

六十四兩かへ

△一小時 四拾八匁

十七入 三丸

一 金百卅兩也

右六丸

さし 三袋

内金壹兩三分貳朱ト四匁五分 一半引

代金五拾四兩三朱

金壹分三朱貳匁 大浜ち京迄ちん

代金五拾四兩三朱

引而金百廿七兩貳分三朱ト銀壹匁

代金百四拾壹兩三分三朱

貳つわり金六十三兩三分一朱ト

外二一 銀三匁八分壹厘 御役永

銀貳匁三分七厘

一 金三分三朱ト

口錢

外二金壹分壹朱ト壹匁七分五厘

木□□ 不足わり

銀壹匁四分

代金六十四兩三朱ト三分七厘

一 金三分三朱ト

出先目早口錢

壹匁四分

一 金三分三朱卜 袋代

壹匁四分

一 金三朱卜貳匁 荷造入用

一 金壹分壹朱 大石田迄駄ちん

一 金壹兩壹分三朱 添金

ノ金四兩貳分三朱卜銀拾匁

合金百四拾六兩三分卜銀貳匁五分

右江十二月二日

金百五十兩也 姫路なら権行

大坂小彦殿へ向

差引金拾六兩貳分三朱卜三匁貳分五厘

かし

丑二月六日

入金貳百五拾兩也 大坂渡手形ニ而請取

金貳兩貳分 右金壹月利足

丑二月廿一日
入金三兩也

請取

此分跡出し

覚

△平緋王 廿入 四丸

ノ八十袋

三月卅日切 八十七兩かへ

代金百八兩三步 一半引

内金壹兩貳分貳朱卜三分七厘五

引而金百七兩壹朱卜三匁貳分七厘

△平緋司 十七入 貳丸

同稀印 十七入 貳丸

内緋司 三袋

ノ六十八袋

三月卅日切 九十兩かへ

代金九拾五兩貳分貳朱 一半引

内金壹兩壹分貳朱卜三匁五分六厘

一半引

引而金九拾四兩三朱卜壹分九厘

三月十三日

△平緋王 十九入 貳丸

同 同 廿入 三丸

ノ九十八袋

三月卅日切 九十老兩かへ

代金百卅九兩壹分ト五匁六分貳厘

内金貳兩ト五匁四分 一半引

引而金百三拾七兩壹分貳分貳厘

△平仙高 廿貳入 四丸

同仙紅 廿貳入 貳丸

廿三入 壹丸

同仙福 廿貳入 壹丸

同仙司 廿入 壹丸

同仙司 十九 壹丸

同仙福 十二袋 廿入 壹丸

同仙司 八袋

ノ貳百三拾六袋 三拾六分八七五

おし込三月卅日切、百五兩かへ

代金三百八拾七兩三朱

内金五百三分三匁四分六厘 一半引

引而金三百八拾壹兩壹分貳分九厘

△平極撰 十八 貳丸

外二十貳袋

ノ四十八袋

三月卅日 九十九兩かへ

代金七拾四兩壹分

内金壹兩壹朱ト貳匁四分七厘

引而金七拾三兩貳朱ト壹匁貳分七厘

ノ金七百九拾三兩ト五匁三分四厘

内田保仲村払

金壹兩貳分 △平仙高四丸

壹匁六分七厘 手板不足

同壹兩三朱ト 同仙高四丸

九厘 手板不足

同壹両貳朱ト

同緋王貳丸

同壹分貳朱

子三月二日払

貳匁貳分六厘

稀 貳丸

貳匁八分

△平仙光四丸

同三分三朱ト

同仙通三丸

同壹分貳朱

同仙稀四丸

壹匁四分五厘

手板不足

同壹分貳朱

同紅花四丸

同壹両壹分貳朱ト

同仙稀四丸

同壹分貳朱

△木津江払

三匁五分四厘

手板不足

同壹分貳朱

子三月廿三日払

同三分貳朱ト

同仙稀三丸

同壹分貳朱

△平仙福三丸

壹匁三分三厘

手板不足

同壹分貳朱

同籠田八丸

同壹両三朱ト

同仙紅三丸

同壹分貳朱

同仙紅三丸

壹匁五分九厘

詰 壹丸

同壹分貳朱

△下り川ちん

同壹両貳朱

同仙司貳丸

同壹分貳朱

△金拾三兩三分貳朱ト拾七匁貳分五厘

同貳両也

造合壹丸

同壹分貳朱

此金壹分ト貳匁貳分五厘

同貳両也

同緋王四丸

同壹分貳朱

引而金七百七拾九兩壹分ト貳匁四分四厘

同壹両貳分

手板不足

同壹分貳朱

差引金五百四拾三兩壹分三朱ト五匁七分三厘

貳匁五分貳厘

△平極撰三丸

同壹分貳朱

三月卅日渡り

松沢貳丸

手板不足

同壹分貳朱

一 金五百兩也

同壹分一朱

△平緋王せわ料

同壹分貳朱

預ヶ置金子、吉文字屋彦市殿、渡り手形ニ而相済し置

右江四月五日渡り

金貳百卅匁

姫路なら権殿江参着渡り差向置

金五百兩也

大坂大北屋又三郎殿江

三月十日渡りニ付

参着渡り差向置

此リ五兩也

但考ヶ月利

四月五日渡り
金三百兩

ならや差向置

三月卅日

金拾兩考分

〔平紅英代へ向

貳匁貳分三厘

金貳拾四兩

△加惣助差向置

三月卅日切
金拾兩也

ミの屋次兵衛殿差向

四月五日渡し案内有之候

三月十日

一 金貳拾五兩也

直々相渡し置

三月廿一日
一 金三兩也

預り分、常光院添金

一 金貳兩貳分

丑ノ三月も同十二月迄

同五月

一 金壹兩考分貳朱

寺町三好喜助殿まんなら考本、代

御取替分

差引金拾七兩貳分貳朱ト銀四匁

かり分

此利貳朱ト三匁考分五厘 四月考月利

五月六日

一 金百拾兩也

姫路奈良屋権兵衛殿

大坂小橋彦殿へ下し

五月四日

一 三百十六文

万長殿大坂飛脚ちん

取替分

五月廿四日

一 百文

御まんなら箱詰綿代

一 金壹朱貳百八十文

大小箱考、松六の板三兩、木手間

代

一 同考朱

十式尋統油紙考枚

一 ◎百七十文

洪紙壹枚

一 ◎貳百文

水繩五尋

五月卅日

一 金壹分三朱ト

大足屋庄四郎殿

貳十文

飛脚ちん取替分

金壹兩壹分

百廿七兩三分

壹匁六分貳厘

五月壹ヶ月利

メ金百廿九兩貳分三朱ト壹メ貳百十六文

此金三朱ト十六文

五月卅日

合金百廿九兩三分貳朱ト十六文

取替、かり

此分九月卅日切ニ而差引に相済

買入分

△平緋王 廿入 四丸

三月卅日切 九十五兩かへ

代金百拾八兩三分

同仙奧天 廿入 八丸 外に六袋

メ百六十六袋

三月卅日切 九十九兩かへ

代金貳百五拾六兩三分壹匁八分七厘

〔平最上一 廿入 四丸

三月卅日切 九十一兩貳分かへ

代金百拾四兩壹分貳朱

メ金四百八拾九兩三分貳朱ト壹匁八分七厘

内金七兩壹匁壹朱ト貳匁壹分七厘

一半引

引而金四百八拾貳兩貳歩ト銀三匁四分五厘

内三月卅日渡り

清右衛門殿渡り手形ニ而

相渡し

三月卅日渡り

金三百七拾貳兩壹分ト 清九郎殿渡り手形に而相渡し

壹匁貳分貳厘

三月卅日渡り

金拾兩壹分

△平紅花代、△ニと請取分の内にて
引、別相渡し分

貳匁貳分三厘

ノ

京都蛸屋錦通り

嶋屋利助様

百拾壹番

三十三七
一 八百四拾式匁五分

江戸花色
廿五反

槌

三十三式
一 八百卅式匁五分

同
廿五反

和

三十式七
一 八百拾七匁五分

同
廿五反

顔

三十式式
一 八百五匁

同
廿五反

松

一 式拾式匁

包白 壹反

一 廿式匁

荷掛入用

ノ三貫三百七拾四匁五分

内三百三匁

反二付三匁引

正三三又四拾壹匁五分

百拾貳番

三十式七
一 壹又百六拾五匁五分

江戸花色
卅五反

和

三十式式
一 九百六拾六匁

同
三十反

松

三十式七
顔

同
三十五反

一 廿五目

包白壹反

一 式拾五匁

荷掛り入用

ノ三貫三百廿三匁

内三百三匁

反二付三〇引

引而正三三又式拾匁

二口ノ六貫六拾壹匁五分

此利貳百四拾貳匁 子十月と二月卅迄五ヶ月分

四分六厘

ノ六貫三百三匁九分六厘

丑三月六日
金七拾兩也

相渡し

九〇三三
此銀六貫三百廿三匁壹分

京都 古手屋長右衛門様

子二月卅日差引
一 金九拾三兩壹歩ト六匁三分六厘

かし

此利金拾壹兩貳朱ト 子三月と丑二月迄十二ヶ月利

銀六匁七分八厘

内子五月十日

金拾兩壹分 沢屋吉兵衛殿と相渡し置分

此り金三部三朱ト 子五月半と丑二月迄九ヶ月半

貳匁九分 利

子二月廿七日
金廿九兩貳分貳朱ト 木綿卅疋

三匁九分

又同壹分壹朱 白包木綿壹反

又銀四匁五分 七戸老枚大坂迄入用

又銀六匁貳分 荷送入用

ノ廿九兩三分三朱ト十四匁五分

此り金三兩貳分三朱ト 子三月と丑二月迄十二ヶ月

四匁三分五厘 利

亥十二月廿五日
一 金壹兩也

嶋綿入壹つ

此り貳朱ト 子正月と丑二月迄十四ヶ月利

壹匁貳分

子十一月十二日
一 金百兩也

◎印吉内殿と請取

此り三兩貳分 子十一月半より丑二月迄利

子十二月十二日
一 金貳拾三兩

知積院御坊様へ為替分

此り貳分壹朱ト壹匁三分三厘

ノ金百七十八兩貳分貳朱ト廿七匁八分五厘

△平宮白白干芋 百廿四本入 六駄片馬

廿貳兩かへ

代金百四拾三也

同七夕芋ムク 百廿四本入 五駄片馬五連

同二番 壹箇

△六駄ト五連

廿五兩かへ

代金百五拾六兩壹分

同本畑ムク

壹駄片馬八連

同二番

貳連

△貳駄

廿五兩三分かへ

代金五拾壹兩貳分

△金三百五拾兩三分

外二

一 金九兩三分ト銀五匁 荷造口銭

一 金壹分壹朱ト銀貳匁 川出し駄ちん

一 同貳歩也

御役永

一 同三兩壹分貳朱ト 酒田迄運ちん

銀壹匁五厘

一 同三兩貳歩貳朱 送手板添金

△拾七兩貳分三朱ト銀五分五厘

合金三百六拾八兩壹分三朱ト永五分六厘

此り金四拾四兩三朱ト

子九月と丑七月卅日迄十二

ケ月利

永貳匁五分壹厘

△金四百拾貳兩貳分貳朱ト永三匁壹分一厘

売仕切

△平宮白 六駄片馬

丑二月卅日切 卅兩貳分かへ

代金百九拾八兩壹分 内金五兩三朱ト貳百六十三匁引

諸掛り不残△高

差引金百九拾三兩ト百三十六匁

此永式匁

此利金拾壹兩貳分 三月と七月卅日迄六ヶ月利

永八匁壹分貳厘

平本畑ムク 貳駄

内式連貳番有り

丑七月卅日切 卅六兩かへ

代金七拾貳兩也

同七夕ムク 五駄片馬五連

七月切 三十五兩かへ
代金貳百兩三分三朱ト永三匁壹分八厘

同貳番 片馬

丑七月切 三十壹兩かへ

代金拾五兩貳分

金貳百八拾八兩壹分三朱ト永三匁壹分八厘

内金拾八兩ト三百卅文 諸掛り不殘と高

差引金貳百六拾九兩三分三朱ト三百卅文

此永五匁五分

売と金四百七拾四兩貳分壹朱ト永三匁壹分八厘

差引金六拾壹兩三分三朱 利分

此分二つ割

平分

一 金三十兩三分三朱ト永三匁壹分貳厘

一 金三拾兩三分三朱ト永三匁壹分貳厘ツ、

江可渡分

子仕入

古手類

百壹番

一 札高合貳貫貳百廿貳匁七分 時半七束入

百貳番

一 札高合五貫貳百六拾八匁七分

上俗表取合 七束入

百三番

一 札高合四メ九百七拾七匁五分 同七束入

百四番

一 札高合壹メ九百四拾匁八分 時半七束入

百五番

一 札高合九百九拾八匁貳分 絹古手四速入

百六番

一 札高合五メ百八拾三匁壹分 同四束入

百七番

一 札高合五メ百五拾六匁九分 同四束入

百八番

一 札高合五實貳百九拾壹匁 上丸古手六束入

百九番

一 札高合壹メ四百八拾八匁八分 道層六束入

百拾番

一 札高合壹メ六百七匁壹分 同六束入

ノ三拾八實百卅四匁八分

四掛正ミ銀拾五メ貳百五拾三匁九分貳厘

外二

一 七拾匁 大坂迄送ちん共

一 六拾三匁 七嶋十四枚四五かへ

ノ拾五メ三百八拾六匁九分貳厘

五月卅日八式

此金百八拾七匁貳分貳朱ト壹匁六分七厘

此り拾六匁三分貳朱九分貳厘

子六月廿丑二月迄九ヶ月利

百拾壹番

一 札高合壹メ七百八拾八匁 中立小立代半取合

九分 六束入

百拾貳番

一 札高式メ三拾匁 中立小立安半矢六束入

百拾三番

一 札高合式メ五百九拾三匁 上表解嶋目羽後 五束入

九分

百十四番

一 札高合式メ八百廿八匁七分 同 五束入

百拾五番

一 札高合三實三百六拾五匁 中嶋貸

貳分 六束入

ノ拾貳實六百六匁七分

四掛正味五×四拾貳匁六分

外二

廿七匁

七嶋七枚

廿五匁

大坂迄入用

合五貫百四匁六分八厘

子七月切 八四四

此金六拾兩壹分三朱ト三匁七分五厘

此り金四兩三朱ト

子八月と丑二月迄七ヶ月分

三匁九分

一 拾七匁 百壹

木綿壹反

一 拾七匁 百壹

古手壹反

一 三十四匁 百貳三

古手貳反

一 十七匁 百四

同 壹反

一 五十四匁 百五六七

同 三反

一 十八匁 百八

同 壹反

一 百七十五匁

百九と十五迄

同 七反

三百卅貳匁 八四三

此金三兩三分貳朱ト五匁

此り壹分ト貳匁三分五厘

子八月と丑二月迄利

古手二口

金貳百七拾三兩壹分拾七匁三分九厘

入方 元利

金四百五拾壹兩三分貳朱ト四十九匁八分六厘

外二

金三朱ト壹匁貳分五厘

亥年組合式結利わけ

丑二月二日

差引金三百四拾七兩貳分三朱ト

預り分

三十三匁五分七厘

外三月卅日

金貳兩壹朱ト七分八厘

Ⓢ為替分取替

但此表丑秋帳写し

本木仁平

三月十日
一 金五百兩也
山形長谷川吉四郎殿

参着渡り
渡り手形

右手形壹通添状共、隨受取申候、以上

古手屋長右衛門様

⑤為替金

三月五日
一 金三百六拾兩六匁七分
相渡し

内五日、金拾兩六匁七厘
受取

三月卅日切
一 金百四拾七兩三步貳朱ト
いせ源渡り手形ニ而相渡

銀四匁八分四厘
し

三月卅日
一 金貳兩壹朱ト七分八厘
⑤可相渡分

×金五百兩也

三月廿八日
金五百兩也
手形引替受取

播州姫路 奈良屋権兵衛様

亥十一月卅日
一 銀三百卅壹匁壹分貳厘
亥古手代差引過

かし

成爲替金子正月卅日
一 金拾兩三朱ト壹匁四分
差引改かし

此利壹兩ト六匁
子十二月と十二月迄十一ヶ月分

亥十二月三十日 亥爲替分
一 金貳百兩也
京都ニ而相渡し

此利貳拾四兩也
子正月と十二月迄十二ヶ月分

子二月四日
一 金四百兩也
京都ニ而仁兵衛殿へ相渡し

此利四拾四兩也
子二月と十二月迄十一ヶ月分

×金六百七拾九兩三分貳朱ト三分

子二月七日
入金八拾五兩也
十兵衛様受取

此利九兩壹分六匁
二月と十二月迄

子三月廿四日
入金七拾兩也
慎兵衛様受取

此利六兩壹分三匁 四月^〆十二月迄

子四月十一日
入金貳百兩也

慎兵衛様^〆受取

此利拾七兩

四月半^〆十二月迄八ヶ月半分

子六月八日
入金五拾兩也

大石田兵衛殿^〆受取

此利三兩壹分

六月半^〆十二月迄六ヶ月半分

子六月廿六日
入金五兩也

新庄久左衛門^〆受取

此利壹歩卜三匁

七月^〆十二月迄

子十月卅日
入金七拾兩也

谷地五右衛門殿^〆受取

此利壹兩壹分貳朱卜壹分五厘

十一月^〆三月迄

子十一月五日
入金拾五兩也

同人^〆受取

此利壹分卜三匁

子十一月廿二日
入金八兩也

桜井源兵衛殿^〆受取

子十二月廿七日
入金百五拾兩也

新庄表^二而宇兵衛様^〆受取

入方^〆金六百九拾兩三分貳朱卜壹匁五分

差引過上子十二月卅日

金拾三兩卜永廿八匁貳分七厘

丑十一月

在京宇兵衛江相渡し

子仕入木綿古手類

駄 壹番

一 四百三匁貳分 十六八 廿四反

運 一 三百四拾五匁六分 十九式 拾八反

輿 一 四百廿匁 十七五 廿四反

泉 一 百拾壹匁 十八五 六反

包 一 三百七拾四匁四分 十五六 廿四反

礼 一 三百七拾四匁四分 十五六 廿四反

一 三百廿五匁八分 十八三 拾八反

曆 一 三百六十目 廿〇 十八反

離 一 三百六十目 十八反

動 一 三百六十目 十八反

一 式百四匁 十七五 十式反

枚 一 式百四匁 十七五 十式反

幸 一 百六匁式分 十七七 六反

一 百七匁四分 十七九 六反

荷 一 百拾壹匁 十八五 六反

一 拾六匁八分 包 壹反

ノ三貫貳百五拾壹匁四分

高 貳 番 一 三百五拾三匁 十七八 廿反

一 三百五拾三匁 十七八 廿反

壳 一 五百四拾六匁 十八式 三十反

磬 一 五百五十五匁 十八五 三十反

呂 一 五百六拾四匁 十八八 三十反

算 一 五百七拾六匁 十九式 三十反

用 一 三百九拾匁 十九五 廿反

益 一 三百八拾四匁 十九式 廿反

一 拾六匁八分 包 壹反

ノ三貫三百八拾七匁八分

式口ノ銀六貫六百廿九匁式分

ろ 三 番 一 五百七十九匁式分五厘 下草物 廿

一 五百七十九匁式分五厘 下草物 廿

は

一 九百四十四匁三分 中 廿

ち

一 卷メ四百四十六匁五分五厘 中上 廿

ま

一 式メ百五十四匁六分 上 廿

を

一 九百拾八匁五厘 中法在 廿

わ

一 卷メ貳百九拾八匁八分五厘 中上 廿

る

一 六百四拾匁壹分五厘 時半 三十

ノ 卷貳九百八十一匁七分五厘

い

四番

一 五百九十七匁八分 下草物 廿

に

一 九百八十四匁九分 中 廿

と

一 卷メ五百拾匁六分 中上 廿

り

一 卷メ四百七拾三匁五厘 同 廿

へ

一 式メ百四匁壹分五厘 上々 廿

か

一 五百八十三匁壹分 下浅草 廿

ぬ

一 六百八匁六分五厘 時半 三十

ノ 七メ八百六十四匁貳分五厘

式筒ノ 拾五貫八百四拾六匁八分五厘

三两半

正ミ銀四ノ 五百廿七匁八分

ノ 銀拾卷メ百六拾七匁

外二

一 四十五匁貳分五厘 口ちん

一 拾九匁五分 文庫代

一 八匁八分

七嶋代

一 貳拾匁

荷造ちん

一 拾六匁

浜出し

一 六拾匁

元舟賣

〆百六十九匁五分五厘

合銀拾毫メ三百六拾五匁八分

二月六日

一 金貳拾兩也

京にて仁兵衛殿江相渡し

此銀毫メ六百卅貳匁

二月九日

一 金五拾兩也

相渡し

此銀四貫百拾匁

〆銀五貫七百四拾貳匁

引而殘銀五貫六百廿三匁八分

此り七百卅壹匁九厘 子二月も丑二月迄十二ヶ月分

秋古手

五番

下綿入

な

一 七百九十四匁分五厘 下綿入 十

れ

一 毫メ百拾三匁三分五厘 中同 十

つ

一 毫メ四百九拾八匁 中上 十

む

一 毫メ四百九拾貳匁七分五厘 同 十

う

一 毫メ四百六十四匁七分五厘 同 十

〆六貫三百六拾三匁

た 六番

一 七百八十六匁四分五厘 下綿入 十

そ

一 毫メ百廿貳匁四分五厘 中同 十

ね

一 毫メ四百九十四匁五分 中上 十

な

一 壹×四百五十五匁五分 同 十

ら

一 壹×四百六十三匁 同 十

× 六貫三百廿貳匁五厘

七 番

松印 三卷

一 貳百拾七匁 九九 七十足

三式

一 四百八拾匁 九半百五十足

三三

一 三百三十匁 十 百足

三四

一 貳百三十八匁 十半 七十足

三五

一 一百五百 十一 三十足

松印 三七

一 貳百五十九匁 十かへ七十足

三八

一 三百四匁 十半 八十足

三九

一 百九十五匁 十一かへ五十足

四式 天印

一 百廿六匁 十半 三十足

× 貳×貳百五拾四匁 × 六百五十足

一 貳拾五匁 包 壹つ

一 拾匁 箱代

× 貳貫貳百八拾九匁

を 八 番

一 四百拾六匁五分 下々解 廿

わ 一 四百目五厘 同 廿

の 一 四百廿匁七分 同 廿

か 一 四百廿匁七分 同 廿

一 六百拾九匁五分 同 廿

な 一 九百廿貳匁貳分五厘 中浅草 廿

ノ四ノ百四拾八匁五分五厘

も 一 六百七匁九分五厘 下解 廿

拾巻番

ゑ 一 六百廿一匁九分五厘 同 廿

や 一 九百九十八匁九分 中嶋解 廿

京 一 九百四十五匁三分五厘 下解 廿

あ 一 四百廿壹匁四分 下々解 廿

一 四百廿五匁貳分五厘 下々解 廿

一 四百拾六匁分五厘 同 廿

ノ四ノ四ノ百三十六匁九分五厘

め 十貳番 一 四百拾七匁五分五厘 下々 廿

さ 一 四百十八匁九分五厘 同 廿

き 一 四百廿八匁七分五厘 同 廿

し 一 五百九十六匁四分 下解 廿

ひ 一 五百九十七匁四分五厘 同 廿

す 一 壹ノ貳十目九分五厘 中嶋 廿

は 一 壹ノ貳匁四分 同 廿

ノ四ノ四ノ百八拾貳匁四分五厘

八 拾三番

子十二月三日

一 金百五拾兩也

京いせ利殿分

九十九匁七分

大坂小彦殿江渡し

改九四七

拾四メ九百五十五匁

此利四百廿六匁壹分

三ヶ月分

丑二月十二日

一 金九拾兩也

羽久殿分小彦殿も渡し

九十式

此銀八貫式百八十四匁五分

此利四十一匁四分

半月利

メ廿式メ九百五十式匁五分五厘

差引銀六百七拾匁三分壹厘

此り六十七匁三厘

丑三月も十一月迄十ヶ月分利

メ七百卅七匁三分四厘

此金七兩式朱卜壹匁六分八厘

丑十一月廿七日 在京宇兵衛殿へ相渡し

丑春為替

正月廿三日

一 金拾兩也

平メ古手代メ高

一 金百兩也

刃封印ニ而請取

一 金百廿兩也

請取

メ金貳百三拾兩也

右代り金參着渡りニ而取組申候分

金貳百三拾兩也

在京仁平次、いせや利右衛門兩名

渡り

參着渡り手形ニ而相渡し置、右金參着手形引替、いせ

利殿も相渡し申候、以上

一 金拾兩也

正月切中山六之助殿も請取

一 金百兩也

三月切分渡辺喜助殿分

此内

一 金五拾兩也

二月十六日喜助殿持參ニ付受取置

一 金五拾兩也

二月廿二日同人持參故受取置

二月切分

一 金百兩也

富樫久兵衛殿二月廿五日持參故、

受取置

五月四日

一金百兩也

四月切分同人分請取

門差向置

四月朔日一 金百兩也

三月切分圖印分請取

吉文字屋彦市様

四月五日

一金三百兩也

京都いせや利右衛門殿と相渡し

二月十三日
△平松沢

十八入 三丸

五月二日

一金百拾兩也

京都いせや利右衛門殿と相渡し

△一ち出し

十九入 壹丸

丑秋為替分

七月卅日

入金拾兩也

榎岡喜平治殿請取置

同松沢

十八入 貳丸

同高谷

十八入 壹丸

八月十三日

入金七拾兩也

富樫久兵衛殿

△百四拾六袋

十九入 壹丸

八月八日

入金三拾兩也

同人分

三月卅日切 九拾七兩替
代金貳百拾四兩叁分三朱

内金三兩貳朱ト式匁四分九厘 一半引

引而金貳百拾壹兩壹步

八月六日

入金三拾兩也

喜早伊右衛門殿

銀壹匁貳分六厘

△平鳳凰 廿入 貳丸

八月七日

入金貳拾兩也

米沢次郎右衛門殿

外壹袋

一 金貳百兩也

八月卅日渡り、京トいせや利右衛

△四拾壹袋

三月卅日切 九十五兩かへ
代金六拾兩三步沓朱ト

銀式匁八分沓厘

内金三步式朱ト式匁分七厘 一半引

引而金五拾九兩三分三朱ト五分四厘

△平仙稀 廿八入 六丸

十九入 沓丸

〆百卅九袋

三月卅日切 九拾兩かへ
代金百九拾五兩沓分式朱ト

銀五匁六分式厘

内金式兩三分式朱ト

銀三匁四分式厘 一半引

引而金百九拾式兩式分

銀式匁式分

二月十七日

△二〇出

△平仙適 廿三入 式丸

廿四入 沓丸

〆七十袋

三月卅日切 九十五兩かへ
代金百三兩三分式朱ト沓匁八分四厘

内金沓兩式朱ト式匁五分四厘

五匁欠 沓分式式八

引而金百式兩式分三朱ト銀三匁五厘

内金沓兩式分式匁四分七厘 一半引

又引金百沓兩三朱ト五分八厘

〆金五百六拾四兩三步式朱ト

銀四匁五分八厘

内金三兩式分三厘 松沢四丸、高谷式丸

鳳凰式丸、手板不足

金三分沓朱 松沢式丸、仙稀七丸

仙適三丸、△せわ料

〆金三兩三分沓朱ト式分三厘

引而金五百六拾沓兩沓朱ト

銀四匁三分五厘

内三月卅日渡り
金五百兩也

手形ニ而請取

三月七日

金六拾兩壹分三朱卜

請取

式匁三分壹厘

金貳分

六十兩三分三朱、壹ヶ月利

五匁六分貳厘

〆八十袋

三月卅日切 百兩かへ

代金百廿五兩也

内金壹兩三步貳朱

一半引

引而金百廿三兩貳朱

△一匁出し 廿入 四丸

〆八十袋

三月卅日切 九十六兩かへ

代金百廿兩也

内金壹兩三分三匁

一半引

引而金百拾八兩三朱卜七分五厘

〆金三百七拾五兩貳分壹匁八分六厘

内金三分

右三口せわ料いせ利殿_右

金貳兩壹匁四分

〆平緋王五丸手板不足

引而金百三拾六兩壹分

内金貳兩卜式匁六分貳厘 一半引

又引金百卅四兩三朱卜壹匁壹分三厘

二月廿三日

△一匁出し

〆平緋頭

廿入 四丸

〆八十袋

三月卅日切 百兩かへ

代金百廿五兩也

内金壹兩三步貳朱

一半引

引而金百廿三兩貳朱

△一匁出し 廿入 四丸

〆八十袋

三月卅日切 九十六兩かへ

代金百廿兩也

内金壹兩三分三匁

一半引

引而金百拾八兩三朱卜七分五厘

〆金三百七拾五兩貳分壹匁八分六厘

内金三分

右三口せわ料いせ利殿_右

金貳兩壹匁四分

〆平緋王五丸手板不足

引而金百三拾六兩壹分

内金貳兩卜式匁六分貳厘 一半引

又引金百卅四兩三朱卜壹匁壹分三厘

二月廿三日

△一匁出し

〆平緋頭

廿入 四丸

最上屋喜八様

渡手形_二而受取

二月十八日
平鳳凰 十九入 四丸

内上花さし巻袋

七十六

三月卅日切 九十七両かへ

代金百拾五両貳朱ト銀三匁七分五厘 一半引

内金壹両貳分貳朱ト七匁六厘

引而金百拾三匁壹歩貳朱ト

銀四匁壹分九厘

二月十九日

一匁も出し

平日の出 十七入 四丸

内さし三袋

引而六十五袋

三月卅日切 百両かへ

代金百壹両貳分壹朱

さし花三袋 八十両かへ

代金三両三分

金百五両壹分壹朱

内金壹両貳分四匁七分八厘 一半引

引而金百三両貳分三朱ト銀貳匁七分貳厘

金貳百拾七両貳朱ト三匁壹分六厘

内金貳両壹分壹朱ト 平鳳凰四丸、田保仲村他助

三分 諸懸もの

金壹分

平日の出四丸、世話料近佐殿

へ

引而金貳百拾四両貳分壹朱ト三匁七分五厘

金壹両貳分三朱ト

同朱壹ヶ月利引

壹匁七分四厘

二月廿八日

金五十両也

受取

又引三月五日

金百六十匁兩三分貳朱貳匁

手形式通 封物

西村屋清左衛門様

二月十六日

平金紅

十九入 四丸

外二六袋 いせ利殿分相渡し

ノ八十式袋

三月卅日切 八十六兩貳分かへ

代金百六拾兩三分四匁六分八厘

内金壹兩貳分貳朱卜貳匁貳分八厘 一半引

引而金百九兩貳朱卜貳匁四分

二月廿六日

△る出

平仙奕天 廿八 八丸 外二六袋

ノ百六十六袋 貳駄五分九厘三七五

三月卅日切 百三兩かへ

代金貳百六拾七兩貳朱卜銀壹匁八分七厘

内金四兩卜四分 一半引

引而金貳百六拾三兩貳朱卜壹匁八分三厘

ノ金三百七拾貳兩壹分銀四匁貳分三厘

内金貳分 いせ利世わ料

金貳兩壹分貳朱卜 手板不足、酒田にて積戻し二

四匁九分四厘 付

引而金三百六拾九兩壹歩六分四分三厘

内貳兩貳朱卜壹匁七分三厘

貳百六十九兩壹分 利足

又引金三百六十七兩貳朱卜四匁七分

内金百兩也 三月卅日渡し手形立替請取

三月五日 金貳百六拾七兩貳朱四匁七分

正請取

伊勢屋源助様

二月十七日

平丸雨 十八 六丸

ノ百八袋

三月卅日切 九十壹兩かへ

代金百五拾三兩貳分壹朱

内壹兩貳分貳朱卜六匁壹分四厘 五匁欠引

引而金百五拾壹兩三分壹朱卜壹匁三分六厘

内金貳兩壹分壹匁七分壹厘 一半引

又引金百四拾九兩貳分三匁四分

内銀廿七匁 大津払

銀廿壹匁六分 塩津私

ノ四十八匁六分 此金三分ト三匁六分

差引金百四拾八兩貳分三朱ト三匁五分三厘

右五金百四拾七兩三分貳朱ト銀四匁八分四厘

三月卅日渡手形ニ而請取

大坂羽州屋久右衛門様

但子正之助殿、亥子春^る荷物渡り取替分

一金三分貳朱ト壹匁分五厘 かし分

△平高紅 十九入 貳丸

廿入 貳丸

ノ七十八袋 内さし式袋引

七十六袋

十二月卅日切 七十八兩かへ

代金九拾貳兩貳分貳朱

内壹兩壹分貳朱八分六厘 一半引

引而金九拾壹兩三朱ト貳匁八分九厘

内貳兩三朱ト 六丸分手板不足

四匁壹分七厘

同三朱 蔵敷

同壹朱ト八分七厘 積加送荷物わり

同壹匁五分 水揚

引而八十八兩貳分三朱ト貳匁分

△平高司 十九入 壹丸

外 拾袋

ノ廿九袋

三月二日切 七十六兩かへ

代金三拾四兩壹分貳朱ト銀三匁七分五厘

同稀上 拾袋

八十六兩かへ

代金拾三兩壹歩三朱

さし三袋

六十五兩かへ

ノ金五拾兩三分貳朱ト貳匁八分壹厘

内金三分ト壹分五厘 一半引

金三分四分 廿九袋十匁欠引

引而金四拾九兩壹分貳朱ト式匁四分九厘

ノ百卅八兩壹朱ト三匁三分四厘

外三分貳朱ト壹匁壹分五厘

子差引にてかし分

内二月十三日

金九拾兩也 なら権行、小彦殿分

三月一日

同五拾兩也 右同断

差引金三分三朱ト三匁壹分

右江金壹兩壹朱ト式匁分九厘

丑三月四日相渡し

又差引過金壹朱ト式匁八分四厘 かし

最上大石田 渡辺喜助殿

御支配人 在京土屋惣助殿

二月廿八日

一 金貳拾兩也 かし

二月廿九日

一 金貳百五拾兩也

かし

三月七日

一 金貳分

いせ屋兵七殿江

取替分かし

三月朔日

一 金壹分壹朱ト貳百文

△加大刀四丸大津他助殿へ取

替分かし

三月三日

一 金廿四兩也

いせ利殿渡り手形ニ而かし

三月九日

一 金四兩壹分

京都大仏浦門沢屋吉兵衛殿江取

替分かし

伊勢屋利右衛門様向

(朱)「上谷堅太郎船」

△平緋王

廿 四丸

添金三分

(朱)「但馬瀬戸神や利作船」

同緋司

十七入 貳丸

同

同稀印 十七入 貳丸

内緋司三袋さし

添金三分

酒屋亀二郎船

同極撰 十八入 三丸

内全紅六袋造合

同松沢 十八入 貳丸

添金三分貳朱

同仙高 廿一 貳丸

廿貳 貳丸

添金壹兩也

同仙高 廿一 貳丸

廿二 貳丸

添金壹兩也

同仙紅 廿二 貳丸

廿三 壹丸

同仙福 廿二 壹丸

添金壹兩也

同仙司 廿入 壹丸

十九 壹丸

同仙福 十式袋 廿入 壹丸

添金三分

同仙速 廿三 貳丸

廿四 壹丸

添金三分也

同仙稀 廿入 四丸

添金三分

同仙稀 廿入 三丸

添金三分

吉文字屋彦市様向

(朱)「上谷熊太郎船」

平松沢 十八入 三丸

十九入 壹丸

添金三分

(朱)「福嶋屋和市船」

同鳳凰 廿入 貳丸

同高谷 十九入 貳丸

内鳳凰老袋さし

添金三分

(朱)「枅や与三郎船」

平緋王 十九入 貳丸

廿入 三丸

添金三分貳朱

伊勢屋源助様向

(朱)「但馬米山豊後屋与右衛門船」

平丸雨 十八入 六丸

添金壹兩貳朱

近江屋佐助様向

(朱)「丹後間人上谷兵太郎船」

平日の出 十七入 四丸

内さし三袋

添金三分

最上屋喜八様向

(朱)「但嶋小しま米屋与助船」

平鳳凰 十九入 四丸

内上さし壹袋

添金三分

西村屋清左衛門様向

平金紅 十九入 四丸

添金三分

羽泉屋久右衛門様向

(朱)「酒田亀三郎船」

平高紅 十九入 貳丸

西村屋清九郎様向

廿入 貳丸

内さし貳袋

△平高司 廿入 壹丸

内さし壹袋

同高司 十袋
同稀上 十袋 廿入 壹丸

△ 添金壹兩壹分

伊勢屋利右衛門様分

△松沢 十八入 四丸

添金三分

△小町 十七入 三丸

内さし三袋

添金貳分貳朱

△

古手屋長右衛門様向

△平宮白帯 百廿四本入 七箇

添金三分貳朱

同宮白同 百廿四本入 六箇

添金三分也

同本畑 百廿四本入 貳箇

同七夕 同 三箇

△ 添金貳分貳朱

同七夕 百廿四本入 四箇

同二番 同 壹反

同七夕 六十式本入 小荷壹つ

添金貳分貳朱

同七夕 百廿四本入 四箇

同本畑 同 壹箇

同本畑 八連 造合 百廿四本入
同二番 貳連 壹箇

添金三步

伊勢屋利右衛門様向

子四月出し分
△平△仙稀 廿二入 三丸

添金三分

同同仙紅 廿卷入 貳丸

同仙稀三袋 廿二入 壹丸
同仙紅十九袋

添金三分

加州本吉村并屋忠兵衛船積入

大坂木屋市藏殿場

丸〇又
△平丸雨 百八袋

代金百貳兩貳分

丸助等

同高谷 三十七袋

代金三拾九兩貳分

助介
同緋司 三十七袋

代金五拾壹兩壹分貳朱

けた又
同鳳凰 百拾六袋

代金百卅五兩壹分壹朱

丸吉
同金紅 八拾貳袋

代金八拾三兩也

廿今今
同緋王 百七拾八

代金貳百壹兩貳分貳朱

廿〇又
同日之出 六十五袋

代金七拾壹兩三分

丸た
同小町 四十八袋

丸千今
同極撰 四十八袋

代金五拾貳兩壹分三朱

助又今今
同松沢 百八十一袋

代金貳百卅六兩貳分貳朱

廿又等
同稀 三十一袋

代金三拾五兩三分

甘〇

高紅

同高司

稀上

百拾八袋

代金百廿九兩

高

同仙高 百七拾貳袋

袋

同仙紅 六拾七袋

福田

同仙福

三十四袋

仲嶋口

同仙司

四拾七袋

ノ三百廿袋

ならし廿た今上り

代金三百七拾壹兩三分

吉キ今

同仙適

七拾袋

代金六拾五兩壹分

吉吉

同仙稀

百四十袋

代金百廿兩貳分三朱

五七 諸用帳 (横帳)

(表紙)

(嘉永六年)

諸用帳

正月

播州姫路 表屋庄左衛門様

子十一月二日改 子古手代差引通

一 銀三百五拾四匁三厘 かし

子六月

入金七兩貳分 「石」受取

子十一月

入金七兩貳分 「石」受取

右江寅二月十五日

一 金拾兩也

弥七様 江京都二而渡

子ノ囲荷之覚

式拾貳ばん

一 卷メ百七拾七匁五分

ノ五束入

式拾三ばん

一 卷メ六百九拾壹匁九分

ノ五束入

式拾四ばん

一 卷メ九百五拾三匁

ノ七束入

ノ三箇也

札高合四メ八百式拾式匁四分

内三双掛引

正ミ銀卷メ六百七匁三分

丑ノ古手仕切覚

卷番 単物

一 札高合三メ五百九拾四匁三分

ノ八束入

四番 同物

一同 三メ六百三拾壹匁五分

ノ八束入

ノ七貫貳百貳拾五匁八分

内三双掛引

残而正ミ銀貳貫四百八匁六分

外二 式拾八匁五分 運賃諸懸り

合銀 貳貫四百三拾七匁七分 三月₆利

イ印口印式箇

一 札高合八百六拾四匁 高印三拾反

一同 式メ四百三拾匁 砂印九拾反

一同 三メ式拾四匁 尾印百廿反

一同 卷メ四百四匁 上印六拾反

一同 五百四拾匁 鐘印廿五反

ノ八貫貳百六拾式匁 ノ三百廿五反

三双内札掛引

残而正ミ銀貳貫七百五拾四匁

外二 運ちん諸懸り

ノ三拾八匁五分

合銀貳貫七百九拾式匁五分 五月₆利足

貳番

一 卷×貳百四拾貳文 中布段十五

三番

一 卷×貳百拾三匁五文 同 十五

五番

一 卷×百廿匁七分 古手ノ六束入

六番

一 卷×百八拾匁三分 同 ノ六束入

七番

一 卷×九拾匁四分 ノ六束入

八番

一 卷×貳百九拾五匁 ノ六束入

九番

一 卷×百九拾六匁八分 ノ六束入

拾番

一 卷×八拾壹匁七分 ノ七束入

拾壹番

一 卷×貳百八拾九匁九分 ノ七束入

拾四番

一 卷×三百三拾五匁三分 ノ六束入

拾五番

一 卷×貳百五拾四匁五分 ノ七束入

十六

一 卷×貳百六拾七匁七分 ノ七束入

十七

一 卷×三百六拾五匁三分 ノ六束入

十八

一 卷×三百九拾九匁七分 ノ六束入

十九

一 卷×四百七拾八匁四分 ノ六束入

貳拾番

一 卷×七百三拾貳匁八分 ノ六束入

貳十一

一 卷×七百三拾八匁貳分 ノ六束入

貳十二

- 一 卷メ九百六拾六匁三分 〆七束入
- 式十三
- 一 卷メ九百七拾壹匁六分 〆七束入
- 式十四
- 一 式メ式百廿式匁三分 〆七束入
- 式十五
- 一 式實式百八拾匁九分 〆七束入
- 式十六
- 一 式メ七拾壹匁八分 〆七束入
- 式十七
- 一 卷メ八百八拾式匁八分 〆六束入
- 式十九
- 一 式實八拾壹匁七分 〆七束入
- 三十
- 一 式實百六匁 〆七束入
- 式二十一
- 一 式實七拾八匁七分 〆七束入
- 式二十二
- 一 卷メ四百六拾壹匁 〆七束入
- 式二十三
- 一 卷メ七百四拾式匁七分 〆七束入
- 式二十四
- 一 卷メ五百七拾六匁五分 〆七束入
- 式二十五
- 一 卷メ九百八匁六分 〆七束入
- 式二十六
- 一 式實六拾壹匁六分 〆七束入
- 式二十七
- 一 式メ式百八拾九匁 〆七束入
- 式二十八
- 一 卷メ六百八拾六匁三分 〆六束入
- 式二十九
- 一 卷メ式百拾九匁八分 〆八束入
- 式三十
- 一 札高合 古手三拾式箇 〆高
- 式三十一
- 一 三双掛引
- 式三十二
- 正ニ銀式拾實四百八拾壹匁三分三厘

式番

一 卷メ式百四拾式匁

中布段十五

三番

一 卷メ式百拾三匁五分

中布段十五

拾式

一 七百八拾五匁壹分

下布段十五

拾三

一 卷メ百三拾壹匁

中布段十五

式拾八

一 七百拾式匁五分

下布段十式

一 五貫八拾四匁壹分

三双之内巻割引

銀ニ而六拾九匁四分残

正ニ銀卷メ五百式拾五匁式分残

外ニ 秋物三十七匁 諸懸り

一 銀五百廿七匁式分五厘

内九十五匁 十一日木一払運ちん引

残 正四百廿八匁四分五厘

子丑ノ銀式拾九貫式百七十一匁七分 残

十一月四日

相渡し

六九銀

十二月卅日切

京宝町西清殿

渡り手形ニ而相渡し

正月卅

一 同五拾両也

いせ茂殿ハ小橋彦殿ヘ向

三月十五日 三月五日切

一 同三拾両也

いせ茂殿ハ渡り手形にて

弥七殿ニ渡し

革細工仕切

い

一 銀拾五匁

五番形 五寸 五

三〇

ろ

一 同拾七匁 狸印伝 五寸 五

三四

は

一 同貳拾八匁 木印打□六寸 五

五六

に

一 同五拾八匁 箱打□ 五寸 貳十

貳丸

へ

一 同拾六匁五分 鹿前 四五 十

十六五

ほ

一 同三拾壹匁五分 横長打□ 十

三卷五

と

一 同三拾壹匁 打□ 五寸五分 十

三卷

一 同貳匁五分 箱代巻つ

ノ百九拾九匁五分

七式金

播州姫路
奈良屋権兵衛様

古手仕切

△平 老番

一 札高合三貫百拾五匁貳分 夏物ノ八束入

式番

一 同 三貫八拾八匁八分 同ノ八束入

三番

一 同 三貫七拾五匁六分 同 八束入

四番

一 同 三貫百拾三匁四分 同 八束入

十四ぼん

一 同 貳メ七百廿貳匁貳分 頭物五束入

十五

一	同	三實百八匁三分	同七束入	一	同	九百七拾九匁五分	同七束入
		十六				三十一	
一	同	貳實三拾毫匁	同五束入	一	同	毫×四百六拾八匁貳分	同七束入
		十七				三十貳	
一	同	貳實五拾貳匁三分	同五束入	一	同	毫×七拾毫匁八分	同七束入
		十八				三十三	
一	同	貳×毫匁六分	同五束入	一	同	貳實九百三拾三匁四分	同七束入
		十九				三十四	
一	同	毫×九百八拾六匁九分	同五束入	一	同	貳×四百六拾八匁毫分	同五束入
		貳十				三十五	
一	同	貳實五拾九匁五分	同五束入	一	同	貳×四百七拾毫匁七分	同五束入
		貳十一				三十六	
一	同	貳實五百七拾八匁八分	同七束入	一	同	貳×四百三拾五匁四分	同五束入
		貳十貳				三十七	
一	同	貳×貳百五拾毫匁五分	同六束入	一	同	貳×四百九拾三匁三分	同五束入
		貳十三				三十八	
一	同	貳×九百六拾八匁貳分	同七束入	一	同	貳×四百四拾九匁八分	同五束入
		三十				三十九	

一	同	三貫百五拾三匁	同六束入	一	同	貳×四拾六匁九分	同七束入
		四十				四十九	
一	同	三貫百拾三匁七分	同六束入	一	同	貳×八百六匁九分	同七束入
		四十一				五十	
一	同	貳×拾四匁八分	同七束入	一	同	壹×百廿八匁六分	同六束入
		四十貳				五十一	
一	同	三貫七拾五匁六分	同七束入	一	同	三×百八拾三匁六分	同八束入
		四十三				五十貳	
一	同	三貫貳拾七匁九分	同七束入	一	同	三貫四百九拾三匁貳分	同八束入
		四十四				五十七	
一	同	貳×六百四拾四匁八分	同五束入	一	同	貳×九百三拾七匁	同五束入
		四十五				五十八	
一	同	貳貫六拾四匁六分	同七束入	一	同	三貫四百七拾四匁六分	同七束入
		四十六				五十九	
一	同	壹×四百八拾九匁八分	同七束入	一	同	三貫四百七拾五匁五分	同七束入
		四十七				六十	
一	同	九百四拾貳匁九分	同七束入	一	同	貳×八百四拾九匁壹分	同七束入
		四十八				六十一	

一同 卷メ九百七拾弍弍分 同七束入

六十弍

一同 三貫三百四拾五匁 同八束入

六十三

一同 三貫弍百三拾弍匁五分 同八束入

六十四

一同 卷メ七百拾七匁弍分 同五束入

六十五

一同 卷メ八百七拾五匁八分 同六束入

六十六

一同 卷メ七百九拾匁三分 同六束入

六十七

一同 四貫百七拾三匁九分 同七束入

七十

一同 三貫九百六拾四匁八分 同七束入

七十一

一同 弍貫百六拾卷匁五分 同七束入

入

札高合百弍拾九貫百匁五分 五拾五箇

三双引残而

正銀四拾三貫三拾三匁五分

平 六番

一 銀 卷貫五百三拾四匁八分 木綿百八十一反

七番

一 同 卷メ弍百八拾四匁六分 同 百八十弍反

八番

一 同 卷メ四百拾九匁四分 同 百七十八反

九番

一 同 卷メ八拾三匁 同 百五十反

拾番

一 同 卷メ四百六匁 同 百六十反

銀六貫七百廿七匁 八百卷反廿五疋

外 運賃諸懸り

正ミ卷メ弍百五拾九匁六分八厘

合正ミ銀

△平 五番

一 札高卷×八百九拾卷×八分 上巾上夜着十 一同 卷×貳百六拾八分 同 十五

拾卷番 五十五

一 同 卷×貳百四拾卷×貳分 下布段十八 一同 卷×四百拾卷×貳分 巾中上十五

拾卷 五十六

一 同 卷貫三百九拾貳卷×三分 巾上布段十五 一同 卷×四百拾八分 同 十五

拾三 五十三

一 同 卷×三百九拾卷×三分 同 十五 一同 卷×四百五拾八分×三分 同 十五

廿四 五十四

一 同 卷×六百目×三分 上夜着 八 一同 卷×四百五拾貳卷×六分 同 十五

廿五 六十八

一 同 九百八拾貳卷×五分 下布段十五 一同 卷×三百九拾八分×九分 中上 十五

廿六 六十九

一 同 九百八拾卷×三分 同 十五 一同 卷×八拾貳卷×三分 中布段三十

廿七 合 貳拾三貫三百五拾七卷×三分 三双引 銀七貫百拾九卷×三分

一 同 卷×百八拾九卷×八分 巾下布十五

廿八 銀七貫百拾九卷×三分

内七百拾七匁九分壹厘 壹利方引

差引

正ミ銀六貫四百七匁壹分九厘

一 同 八百廿式匁 足袋貳百七拾足

入

一 同 三百拾六匁貳分九厘 運賃諸懸り

合銀七貫五百四拾五匁四分八厘

△ 百壹番

一 札高合壹匁百貳匁八分 中下布段十五

百貳番

一 同 壹匁八百七拾三匁貳分 中上同十五

百三番

一 同 壹匁三拾四匁四分 下布段十五

入 四匁拾匁四分

三双

銀 壹匁三百三拾六匁八分

内 百三拾三匁六分八厘 壹利方引

引残り

正銀 壹匁貳百三匁壹分貳厘

同 五拾七匁七分八厘 運賃諸懸り

合銀 壹貫貳百六拾匁九分

入 五拾壹番

一 壹匁貳百拾七匁壹分 中下敷布段三十五

五拾貳番

一 八百五拾貳匁九分 下布段十五

一 壹匁貳百三拾壹匁貳分 中同 十五

札高合三貫三百壹反貳分

三双引

銀 壹匁百目四分

内百拾匁四厘 壹割方引

差引

正ミ銀九百九拾目三分六厘

外二

銀五拾五匁六分五厘 運賃諸懸り

合銀壹メ四拾六匁老厘

四点惣銀高

合六拾貫八百七拾三匁三分七厘

三月廿日切
一 同百五拾兩也 いせ茂殿も小橋彦殿向下し

紅花金花山小野新山旭山老袋

右仕切為金也

十一月二日
一 金貳百兩也

伊勢屋源助様も受取金三兩

いせ茂殿も渡し

四月卅日切
一 金百四拾兩貳分貳朱卜

銀四匁九分九厘

内百兩也 為替にいたし

子ノ年為替差引

正月卅日
一 金拾兩也

羽泉屋久右衛門殿

小橋彦殿へ向

十月十五日
一 金百五拾兩也

いせ源殿も渡し

此利三兩三分也 二ヶ月半

正月卅日
一 同四拾兩也

いせ茂殿も小橋彦殿へ向

内金七拾兩也

十二月廿三日三次郎様も受取

正月卅日
一 同拾五兩也

岐阜屋八郎衛殿も御同人様向

同八拾兩也

十二月廿八日源助様も受取

正月卅日
一 同拾兩也

いせ茂殿も御同人様向

此り貳兩也

十二月四日
一 金百兩也

いせ茂殿も渡し

二月六日
一 同貳拾五兩也

いせ利殿も、いせ茂殿も入

内金百兩也

丑正月廿日三次郎様

小橋彦殿向下し

内貳分半利引

差引利金壹兩壹歩 残り

二月二日
入金四拾五兩也

三次郎も預り

此り卷兩卷分六匁

三ヶ月利

三月四日
入金三拾五兩也

尾花沢松茂殿も受取

此り式分拾貳匁

二ヶ月分

外金八拾兩ト

外ニ金貳兩ト三匁

内五月廿日

金八拾兩也

伊藤仁八殿へ渡し

惣高差引

残金三兩拾貳分

かし

外

一金貳分

丑為替半引

金三兩貳分拾貳匁

丑古手代入

百五拾卷番

一 札高合卷メ六百九拾九匁五分 掛り物共

百五拾貳番

一 同 卷メ七百九拾七匁 掛り物共

百五拾三番

一 同 卷メ五百貳拾四匁五分 掛り物共

百五拾四番

一 同 卷メ八百貳拾貳匁五分 掛り物共

百五拾五番

一 同 卷メ三百七拾七匁五分 掛り物共

百五拾六番

一 同 卷メ貳百五拾五匁五分 掛り物共

九貫四百七拾六匁五分

平百五拾六

十月十三日毎

一 五百七匁五分 納戸三拾五反

京都 嶋屋利助様

木綿仕切

新印

一 四百九拾匁 十四 同 三拾五反

釜印

一 四百七拾貳匁五分 十三五 同 三拾五反

衣印

一 貳百六拾匁 十三〇 同 貳拾反

宝印

一 九匁也 包木綿壹反

一 拾貳匁五分 懸りもの

〆 壹メ七百四拾九匁五分

同百五拾八番

一 六百貳拾匁 十五五 納戸四拾反

鏡印

一 九百目 十五 同 六拾反

楠印

一 九匁 包木綿壹反

一 拾貳匁五分 懸りもの

〆 壹メ五百三拾九匁五分

〆 拾貳メ七百六十五匁五分

六月三日 金百両也 いせ利様も入

(貼紙)

〆 此銀六貫六百匁 納戸跡出し貳向へ

一 銀九拾匁 三分方直行

差引銀六貫六拾六匁五分 貳向方

内三メ貳百八拾九匁 本月切分引

引残貳メ七百七十七匁五分

此利五十五匁五分五厘 六七二ヶ月利足

六月三日

金百両也 △一様も渡し

此銀六貫六百匁

八月五日

金百壹兩三分貳朱ト七匁五分 △一様も

六貫七百卅貳匁貳分 渡し

三拾八匁九厘 子年不足

〆 銀六貫百六拾匁壹分 残

右五 一 金百老兩三步式朱卜七匁五分

此銀六貫七百卅貳匁

差引過銀五百七拾壹匁八分六厘

又 拾七匁壹分五厘 三ヶ月利足

銀五百八拾九匁壹厘 殘

右十月廿日
金五兩也

預り

此銀三百三拾匁

此利老匁六分五厘 半月利

惣差引十月卅日改

過銀貳百五拾七匁三分六厘 かし

京都日野屋徳右衛門様

千百番

十六五 改島

一 四百九拾五匁 納戸形三十

鷺 十六

一 四百目

□ 染 廿五

十七三 鴨印

一 四百卅貳匁五分 組形 廿五

一 八匁 包

一 拾貳匁貳分 諸懸り物

銀 老メ三百四拾七匁七分

千百老番

鶴十八式

一 三百六拾四匁 殊羅仙廿反

鶉印 十七三

一 貳百五拾九匁五分 地白鳴海十五反

鴨印 十八三

一 四百五十七匁五分 地白鳴海廿五反

鷺印 十八五

一 三百七拾匁 殊中形式拾反

一 八匁 包

一 拾貳匁貳分 諸懸り

銀 老メ四百七拾壹匁五分

式口ノ式メ八百拾八匁九分

子十一月卅日
金三拾兩也

古手殿も渡し

此銀壹メ九百八拾匁

返り同百拾八匁八分

六ヶ月分利足

ノ式メ九拾八匁八分

差引 七百式拾匁壹分

不足

此利卅五匁四分三厘

六七八九十、五ヶ月利

十一月二日
内金五兩也

仙助様へ渡し

十一月五日
又同五兩也

渡し

正月十八日

又同壹兩壹分式朱

渡し

此表出入なく相済

京都 古手屋長右衛門様

老番 布段

一 九拾四匁五分

一 八拾式匁

一 八拾五匁三分

ノ 式百六拾壹匁八分

八懸

正ニ式百九匁四分四厘

同 百五拾匁

上威式本

同 五拾五匁

花色繻子女帯

ノ 四百拾四匁四分四厘

又四匁五分

大坂迄入用

合 四百拾八匁九分四厘

丑ノ

十一月五日

一 金拾兩也

受取

白干苧

△平五十沢

老駄三連

同 式ばん

三連

〆 老駄六連 出荷

大坂 伊宮屋伊兵衛様

百老番

一 札高合六貫九百廿八匁七分 古手老箇七重入

六双割

正 老メ百五拾四匁七分八厘

正ミ四匁六分 古手式枚

正ミ二匁五分 荷作入用

正ミ八匁四分 運ちん

〆 金老メ百七拾老匁式分八厘

一 四拾八匁 花色繻子女帯老筋

〆 老メ式百拾九匁式分八厘

正月卅渡手形
一 金拾八兩也

羽州屋久右衛門様
渡り手形ニ而相渡し

寅五月六日
一 金老兩式分式朱 手形引残而

田中次郎左衛門渡し

京都 伊勢屋利右衛門様

丑七月勘定通かし

一 金四兩三步式朱卜

六匁四分四厘

子ノ紅花代組合分かし

△一緋司印紅花 十八入 四丸

此袋 七拾式袋

代金六拾兩卜永七拾五匁

同丸兩印同 十七入 四丸

此袋 六拾八袋

内さし 三袋

代金五拾三兩卜永拾式匁五分

同新紅印同 十七入 四丸

此袋 六拾八

代金五拾五兩卜永廿五匁

同雨紅印同 十七入 四丸

内刺花三袋

代金五拾三兩卜永拾貳文五分

外二一 永百貳拾八匁八分 袋代

一 同百九拾七匁六分貳厘 口錢

一 同拾八匁 御役永

一 同百九拾七匁六分六厘 口錢

一 同五拾匁 荷造入用

一 同三百目 添金

一 同八拾貳匁八分 大石田迄駄ちん掛り

ノ 金九兩貳分永廿四匁八分八厘

合金貳百三拾壹兩貳分永四拾九匁九分四厘

内金三拾兩 長願寺為替

五月卅日

内同百兩也

引残八月五日

金百壹兩貳分永四拾九匁九分四厘

△二花之山印紅花 十九入 三丸

此袋 五十七

代金三拾七兩卜永四拾匁六厘

外二一 永廿六匁八分 袋代

一 永四拾四匁四分 口錢

一 永四匁五分 御役永

一 永四拾四匁四分 目早口錢

一 永六拾貳匁五分 添金

一 永九匁三分壹厘 荷造

一 永拾七匁壹分 大石田迄駄ちん

ノ 貳百九匁壹厘

合金三拾九兩永四拾九匁壹分壹厘

右金 姫路表庄殿向

此分花之山(平待二仕候)

三月二日切

△二花ノ山紅花 十九入 三丸

代金貳拾四兩三步貳朱 廿日たかく

三匁七分五厘 手板不足

内壹分貳朱ト四匁四分六厘

内壹分貳朱 鳥引

差引貳拾四兩貳朱ト三匁七分五厘

正月卅日

入金五拾兩也

受取

二月六日

入同廿五兩也

受取

此り壹分也

正月切 添金三分也
△平鳳凰印 十九入 四丸

四貳かへ 此袋七拾六袋

代金四拾九兩三分貳朱 分引

内貳歩貳朱ト七匁三分 利

添壹兩貳朱
△平雨綿印

貳丸

此袋三十貳

添壹兩貳朱
同雨上印

貳丸

此袋三十七 六十九袋

二口ノ四〇かへ

代金四拾三番六匁

内貳分貳朱壹分五厘 分引

添壹兩貳朱
同金山印

廿三入 貳丸

此袋 四十六

羽久方へ出し

内貳分ト四匁七分三厘 鳳凰手板不足

同壹分貳朱ト五分七厘 金山四丸同

同貳歩ト壹匁三分七厘 雨上雨錦四丸手板不足

同貳朱ト貳匁六分六厘 金山せわ料

同五匁 大坂下簀

三口仕切高

惣差引金百拾四兩ト壹匁八分 残

三月二日切 手板ニ而受取
入金百四拾八兩三分式朱卜 此手形いせ茂渡し置

式拾匁八分五厘

二月
入金式兩壹分ト七匁式分四厘 正金受取

三月二日切 添金壹歩也
△加最上兩印 十九入 四丸

此袋 七十六

三十六兩五分かへ

代金四拾貳兩三分也

内式歩式朱ト九分七五 分引

同壹分式朱ト壹匁六分七厘 手板不足

差引金四拾壹兩貳分式朱卜 印向分最上兩

四匁八分五厘 十九入四丸

△加 金四拾壹兩壹分式朱ト三匁五分八厘

添金三歩也

△平△西龜印 十六入 四丸

此袋 六十四

三月二日切
代金式拾五兩式分

内壹分式朱ト四分五厘 壹半引

内式分ト式匁六分六厘 手板不足

差引ノ金式拾四兩式分ト四匁三分九厘

差引残ノ金式百貳拾六兩壹分式朱ト廿八匁九厘

入金ノ式百廿六兩壹分式朱ト廿八匁九厘

子差引残ノ丑紅花差引相濟

二月十七日書出し

五月卅日切 鳴利殿ニ渡り手形ニ而入

一 金百兩也 高ハ紅花仕入金

京都 伊勢屋源助様

新田印紅花 十八入 十九入 四 五丸

此袋 九拾四袋

代金 八拾兩下永七拾八匁壹分貳厘

同丸雨印同 十七入 四丸

内刺花貳袋

此袋六十八

代金五拾三兩下永拾貳匁五分

同新紅印 十七入 四丸

内刺花五袋

此袋六十八

代金五拾五兩下永廿五匁

同玉紅印 十七 三 十八 壹 四丸

此袋 六拾九

代金四拾八兩下永五拾壹匁五分六厘

同雨紅印 十七入 四丸

内三袋刺花

此袋六十八

代金五拾三兩下拾貳匁五厘

三百六十七

代金貳百八拾九兩下永百七拾九匁六分八厘

外二

一 永百七拾壹匁貳分六厘 袋代

一 同貳百八拾八匁九厘 口錢

一 同貳百八拾八匁九厘 目早口錢

一 同貳拾貳匁五分 御役永

一 同六拾貳匁五分 荷造掛り

一 同百拾匁壹厘 大石田迄駄ちん

一 同三百八拾七匁五分 添金

代金拾兩壹分永四匁九分五厘

合金三百四兩下永八匁七分八厘

内金三拾兩也 為替ニ而受取

内金百五拾兩也 山形佐藤氏ニ受取

引残り金 姫路ならや権兵衛殿向

寅ノ三月五日御手形ニ而受取

一 金八拾兩也

添金壹兩貳朱

△平高谷印紅花 十八四 六丸
十七貳

正月切此袋百六袋

代金六拾四兩貳分卜

銀五匁八分貳厘

内三分貳朱卜五匁六分三厘 壹半引

差引金六拾三兩貳分貳朱卜壹分九厘

添金貳分

△平旭山印同 十八入貳 三丸
十七入壹

外二七袋

三月二日切貳八カへ此袋六十袋

代金貳拾六兩壹分

内壹分貳朱卜壹匁壹分貳厘五 壹半引

差引貳拾六兩三分六匁壹分九厘

同旭山七ツ 造合 十七入壹

添金貳分

△平谷風印紅花 十七入壹袋

此袋廿七袋

羽久様渡し

添金三分也

△平小町印紅花 十八入貳 四丸
十九入貳

此袋七十四

内壹袋さし

△上店渡し

高谷印

旭山印

△金八拾九兩壹分貳朱卜銀六匁五分七厘

内貳兩貳朱卜三匁四分九厘

京谷印・小町・旭山・谷風△四口手板不足

差引

殘金八拾七兩壹分銀三匁八厘

添金壹兩也

△加最上雨印紅花 十九入 四丸

此袋 七十六

△二様へ出し売付

三月二日切 三十六両かへ

代金四拾貳兩三步

内貳分貳朱ト貳分七厘 分行

内壹分也 内せわ料

内壹分貳朱ト貳分九分五厘 手板不足取替

差引金四拾壹兩貳分貳朱ト三匁五分八厘

添金壹兩也

△平小柳印 七十九之内 十七入 貳 四丸

此袋 七十袋

内五袋 さし

添金三步也

△平太刀印 三十九之内 十七入 貳丸

造

同太刀 五つ 十八入 壹丸

合 〆

〆金百四拾九兩三分貳朱ト七匁九分三厘

差引書

丑十一月二日 一 金貳百兩也

此利金八兩也 寅二月迄四ヶ月分

〆金貳百八兩也

内正月卅日 金百兩也

手形にて渡し

此利壹兩也

一 金六拾兩三分 高谷印仕切金

銀壹匁分四厘

此利金貳分ト六匁四分五厘

大刀小柳旭山

一 金八拾九兩貳朱ト 〆三口仕切金

銀貳匁五分九厘

〆金貳百五拾壹兩貳分貳朱ト

銀拾匁分八厘

差引金四拾三兩壹分式朱卜

拾匁壹分八厘

此金手形ニ而いせ茂も入ル

売代金 三拾貳兩かへ
一 金三拾九兩也 小柳印壹駄拾四袋

一 同貳兩貳朱卜 同さし 五袋

銀三匁七分五厘

一 同貳拾三兩貳朱卜 大刀印 三十九袋

銀壹匁八分七厘

三月二日切
ノ金六拾四兩壹分

銀五匁六分貳厘

右之内

一 金三分式朱卜銀五匁四分 壹半引

一 同銀六匁三分 大刀印手板不足

一 同五匁四分 ツルカ払

一 同五匁四分 塩津大津払

一 銀八匁八分七厘 小柳印手板不足

一 同七匁貳分 ツルカ払

一 同七匁貳分 塩津大津払

ノ金三分式朱卜銀四拾五匁七分五厘

差引金六拾貳兩貳分式朱卜

銀四匁八分五厘

京都 岐阜屋八郎兵衛様

添金壹歩也

△平錦山印 十七 三 十八 壹 四 丸

正月切三十八兩かへ

此袋六十九

代金四拾兩三分式朱卜

銀七匁貳分式厘

内式分卜六匁八分七厘 分引

差引四拾兩壹分六匁貳分五厘

内三分式朱ト三匁四厘 手板不足

十二月廿四日
内五兩也

受取

正月廿九日
内拾五兩也

受取

ノ式拾兩三分式朱ト壹匁四厘

差引ノ金拾九兩壹分式朱ト

銀五匁式分七厘

受取

添金壹兩也

ノ加玉光

十七匁 四丸

三月二日切 内さし壹匁

三十式兩かへ 但三式かへの内金高も金壹分引

代金三拾三兩三分也

内式分ト銀三分七厘

壹半引

又壹分ト六匁八分四厘 手板不足取替分

ノ 差引金三拾貳兩三分式朱ト銀貳分九厘

内三拾兩

手形ニ而受取

同式兩三分式朱ト貳分九厘 正金受取

京都 西村屋清九郎様

十二月切

添金三歩也

ノ平緋司印紅花

十八匁 四丸

此袋七十式

代金四拾貳兩三分

内式分式朱ト九分七厘

壹半引

内式分ト三匁四分七厘

手板不足

差引金四拾壹兩貳分ト三匁六厘

正月卅日切

ノ平四拾七兩三分

十七匁極撰 五丸

銀三匁七分五厘

内式分式朱ト五匁五分三厘

壹半引

差引四拾七兩ト銀五匁七分式厘

ノ金八拾八兩貳分式朱ト壹匁貳分八厘

十二月卅日

内金四拾四兩

表庄向受取

正月卅日
内金四拾兩也
ならやへ向受取

正月卅日
内金四拾兩也
宮文も受取

又壹分
極撰式袋さし花直引

正月切
添金壹兩也
△加玉光印
十七入 四丸

此袋 六十八

代金三拾貳兩三分式朱ト銀三匁七分五厘

内壹分式朱ト七匁分四厘 壹半引

同銀拾四匁四分 塩津天津諸懸取替

一 差引金三拾貳兩式朱ト銀四匁七分壹厘

惣差引金三兩壹分式朱ト壹匁五分壹厘

二月十五日 相渡し

京都 綿屋勇藏様

添金壹分式朱
△平稀印 十九入 貳丸

内式つ刻ミ花

此袋三十八

式十七かへ
代金貳拾壹兩三分式朱ト五匁六分式厘

添金壹兩也

△平金花山 十九 四 五丸
廿入 壹

此袋 九十六

此分なら権殿売付

内金壹分四匁七分七厘 分引

内同壹兩ト五匁六分九厘 金花山稀印

内同壹分四匁 金花山五丸せわ料

△ 壹兩式步拾四匁四分六厘

差引金廿兩式朱ト五匁式分六厘

美濃屋忠右衛門様

子紅花代差引
一 金五兩壹分式朱ト式匁七厘 預り

此り金三分ト三匁三分

五十一月十三日

一 金貳步貳朱ト六百五拾文

極撰五丸田保払取替

一 金壹分四匁

右五丸せわ料

〆金七兩ト拾五匁八分七厘

此金壹分也

嘉永七寅正月不殘相渡

四郎兵衛様立合ニ而、出入なく相濟申候、以上

添金壹兩也

〆平極撰印紅花 十七入 五丸

此袋八十五袋

内貳つさし

十一月廿二日

銀拾匁貳分五厘

塩津仲村佐右衛門殿取替分

代重右衛門殿直渡し

此袋 八十袋

此荷外 店立出し

正月二日切

〆平小町 十八貳 十九貳 四丸

三十七兩かへ

代金四拾貳兩三步壹匁八分七厘

内貳分貳朱ト壹分 壹半引

壹分也 いせ利殿世話料

差引四拾壹兩三分貳朱八分七厘

〆平新山印 四丸

内貳分貳朱ト七匁五分 手板不足

内五匁貳分 伏見払

内壹分 世話料

〆壹兩ト四朱七分

又差引金四拾兩三分三匁六分七厘

三月二日切

内四拾兩 手形ニ而入

此手形いせ茂殿渡し

又三分三匁三分七厘 直受取

京都 最上屋喜八様

添金三步也

〆平新山印紅花 廿入 四丸

西村屋清左衛門様

添金三步

平小野印 十八入 式
十九入 式 四丸

此分姫路奈良権売付

正月十六日渡し

一 金三分ト五匁式分 大手板不足

せわ料共

大坂 羽州屋久左衛門殿

正月十八日売付

平谷風紅花 廿七

内式袋さし花

廿八兩替

代金拾壹兩三分ト銀三匁七分五厘

内銀七匁九厘 壹分引

内金貳朱 さし式袋直引

内銀四匁 京大坂迄駄ちん

同金山 四十六

代式拾貳兩壹分ト壹匁八分七厘

内金貳朱ト五匁八分七厘 壹分引

代々金三拾三兩貳分三匁六分六厘

内二月朔入

金拾八兩也

近宮屋伊勢殿方手形向

金拾兩也 大坂橋町三丁目小橋彦殿向

ならや権兵衛殿行

差引殘金五兩貳分式朱ト七匁六分六厘

かし

丑二月

一 百拾匁

檜棒代

一 四百廿九匁六分六厘 丑正月 六月迄運賃取替

内三十五匁九分壹厘 子ノ乱花代差引過上分

引々五百三匁七分五厘

六三七

此金七兩三步式朱ト式匁分式厘

又金貳歩ト四匁四分貳厘 丑五月もたら正月迄九ヶ月

十八才壹分八厘

利

三月五日 同人殿も

ノ金八兩壹歩貳朱六匁五分四厘 丑紅花代

内五兩貳分七匁六分六厘 差引過入

一 同三拾兩也 岐阜屋殿も

又引ノ金貳兩三分

正月五日 内百五拾兩也 ならや行

つり壹匁壹分貳厘

同 厘下し 内百兩也 小判壹分判

二月十七日 京日野屋徳右衛門殿

差引貳兩三分 代仙助殿江渡し置候間かし

同 厘下し 内四拾兩也

引残壹匁壹分貳厘

三月二日 内貳拾兩也 日野屋行

いせ屋茂兵衛様

三月五日 内三拾兩也 表屋行

三月二日 いせ利殿も

一 金百四拾八兩三分貳朱ト

銀十匁八分五厘

表屋庄左衛門様

三月同 もかみや殿も

一 同四拾兩也

注文書

三月二日 いせ源殿も

一 四拾三兩壹分貳朱

寅ノ二月十六日 一 下解 三反

一 下無色解 壹反

一 下々解 三反

一 くつつ同 三反

拾反

右之通り御注文御願申候、尤昨年と極下直ニも御座候ハ、御仕入申候、又は不安相場ならハ、御見合可申候、以上

紅花送状

△平小野紅花 十九入 壹 四丸
十八入 三

右之通り播州姫路迄差下し申候間、其意御改御請取、濡等能々御改御受取可申候、尤駄ちん之義ハ大坂迄当地払、大坂も先は荷泊りも御請取可成下候、為其送状仍而如件

京都ニ而 本木林兵衛

寅正月廿日

京 万屋長兵衛殿

大坂 木屋市郎兵衛殿

播州姫路 ならや権兵衛殿

正月廿日

一 △平新山紅花 廿入 三 四丸
十九入

右同断

大坂 万屋長兵衛殿

木屋市郎兵衛殿向

ヒメシ ならや権兵衛殿行

正月廿三日
△平金花山 十九入 五丸

右同断

京 万屋長兵衛殿

大坂 木屋市郎兵衛殿向

姫路 ならや権兵衛殿行

金子出入

十月廿五日
入金五両也 鳴屋利助様

十一月二日
出金五両也 日野屋徳右衛門様

木綿代不足之所江

十一月二日
入金貳百兩也
いせ屋源助様

紅花引当ニいせ屋茂治殿より入

十一月二日
出金貳百兩也
ならや権兵衛様

古手仕切金引渡し

此金いせ茂殿より渡し

十一月六日
入金拾兩也
古手屋長右衛門様

十一月六日
出金五兩也
日野屋徳右衛門様江

木綿代之内

十一月十二日
出貳朱也
みのひ殿いはい代

十一月十四日
出金五兩也
天堂善行寺様

証文入かし

十一月廿二日
出金貳朱ト貳百廿五文
塩津仲村佐右衛門殿

極撰紅花、荷物掛り渡し

十二月一日
出金貳分也
ならや宇兵衛様

かし

十二月十二日
出金貳朱也
法名新茶ちん払

十一月四日分
入金八拾兩也
宇野武兵衛殿受取

十一月四日
出金八拾兩也
表屋庄左衛門殿相渡し

十二月廿四日
入金五兩也
岐阜屋八郎兵衛殿

紅花代之内

十二月廿四日
出金五兩也
表屋庄左衛門殿、代弥七殿渡し

十二月卅日
入金四拾兩也
西村屋清九郎殿

花代之内

出金四拾兩也
姫路表屋庄左衛門殿、弥七殿

西村屋清九郎殿渡り手形ニテ相渡し

十二月卅日
入金四兩也
西村屋清九郎殿と

十二月卅日切
出金四兩也
綿屋善兵衛殿

西村屋清九郎殿渡り手形ニ而渡し

正月十七日
出金壹分貳十文 大坂日半屋木綿式つ運ちん払

正月十八日
出金壹分五百文 松や源助かんさつ代渡し

正月廿日
出四百七十文 坂本屋扇子代払

正月卅日
入金百兩也 宮地文吉殿

為替金

正月卅日
出金百兩也 いせ源様

かり金之内渡し

正月卅日
入金五拾兩也 いせ利様

紅花仕金之内、いせ茂様へ入

正月卅
出金五拾兩也 姫路表屋庄左衛門

古手代之内、いせ茂様向

正月卅日
入金四拾兩也 西村屋清九郎様

紅花代向、いせ茂様入

正月卅
出金四拾兩也 ならや権兵衛様

古手代之内、いせ茂様向、小橋彦様下し

廿九日
入金拾九兩壹分貳朱卜 錦山印仕切

五匁式分 岐阜屋八郎兵衛殿

廿九日
出金七兩貳分 みのや忠右衛門

子ノ紅花代差引、外二

丑ノ極極紅花懸り共

正月卅日
出金拾兩也 いせ茂様ち入

ならや行、小橋彦殿向

正月四日手形出し

正月卅日分
入金四拾兩也 西村屋清九郎殿、宮文殿江

紅花代之内

正月卅日
出金四拾壹兩貳朱卜 宮地文吉殿

四匁五分 為替金差引分

二月十三日 出金六兩也 国元白山堂組久太郎 かし金

二月十四日入 入金四拾兩三分 最上屋喜八様、万長兵衛殿渡り、

三匁六分四厘 三月二日手形_三而入

紅花仕切差引分

二月十五日 入金四拾三兩壹分式朱卜 伊勢屋源助様

銀拾匁壹分八厘 三月六日切手形_二入

紅花仕切差引殘金

二月十五日 入金百四拾八兩三分式朱卜 伊勢屋利右衛門様

銀拾匁八分五厘 正月二日切手形_二入

紅花代差引金

二月十六日 入金五兩也 表屋弥七様

かし分濟金

二月十六日 入金三拾三兩式朱卜 岐阜屋八郎兵衛

七分式厘 三月二日渡り手形_三而入

紅花代

十六日 出金三兩壹分式朱卜 西清九郎殿

壹匁五分壹厘 紅花差引過渡し

十六日 入金八拾兩也 いせ源様受取

内金紅代当三月五日渡手形_三而入

十六日 出金三分 西村清左衛門運賃取替

五匁式分 小野せわ料

十六日 入式拾兩式朱卜 綿屋勇藏

五匁三分 三月二日切手形_二入

紅花代

十七日 出卷分式朱卜五百五十文 大庄賃払

十七日 出金式分 万長払

出卷分式朱卜五匁三分 旭山印卷袋代

出卷分式朱卜四匁五分 宿払

出卷兩式分九百文 下女

十七日
出貳兩三分

仙助殿渡し、賃引

出拾兩也

引取立金

嘉永六丑十月廿三日

本木林兵衛

伊勢屋茂兵衛殿

為替金手形之事

一 金貳百兩也 十一月二日切

右之通り慥ニ受取申所実也、此手形を以、播州姫路なら
や権兵衛殿請取向候ハ、手形引替無相違御渡し可被成
下候、為後日為替手形仍而如件

嘉永六丑十月廿三日

本木林兵衛

代仁平次

京都 伊勢屋茂兵衛殿

為替金手形之事

一 金百兩也 十一月三日切

右之通り慥受取申所実正也、此手形を以播州ならや権兵
衛殿受取向候ハ、手形引替無相違御渡し可被下候、為
後日為替手形仍而如件

式通十月廿三日源助様相渡し

寛 本木林兵衛

十二月卅日切 代仁平次

一 金四拾兩也 紅花代

右之通り慥ニ受取申所実正也、此手形を以無相違御渡し
可被下候、以上

丑年十二月廿四日 表庄殿渡し

京室町

西村屋清九郎殿

寛

十二月卅日切

一 金四兩也 紅花代

右之通り隨受取申所実正也、此手形を以無相違御渡し可

下候、以上

十二月廿九日

西村屋清九郎殿

播州姫路 奈良屋権兵衛殿

紅花仕切

正月十日

△平新山 八十袋 壹駄貳分五厘

三十兩かへ

代金三拾七兩貳分

同小野 七十四袋 壹駄壹分五厘

三十七兩かへ

代金四拾貳兩三分

六式五

永三匁壹分貳厘

同金花山 九拾六袋 三駄半

四拾兩かへ

代金六拾兩也

同旭山 三袋

式十七兩かへ
代壹分貳朱ト永五匁三分九厘七

四月卅日切

△金百四拾兩貳分貳朱ト

銀四匁九分九厘

大坂渡し 右手代二入

京着上り

元口

△平鳳凰 七十六袋

代金六拾四兩也

同壹兩壹分

添金見込

同壹分

荷造、大石田迄掛り

同壹分四百文

袋代

同三兩貳分

六月も十一月迄利

△金六拾九兩

元

△平辨司 七十式袋

代五拾八兩卜永四十一匁五分三厘

吉 壹兩壹分 添金見込

吉 貳兩三分貳朱 七月より十一月利

貳分三百文 袋代外駄ちん掛り

金六拾壹兩貳分三百文

元口

△平極撰 八十三

代金六拾貳兩貳分

吉 三兩貳朱 七月より十一月迄利

今 壹兩壹分 添金

ホ 壹分也 荷造駄ちん

今 壹分五百文 袋代

金六拾七兩貳歩

△平錦山 六十九

代金四拾七兩三分

た 貳兩壹分貳朱 七月より十一月迄利

助 壹兩壹分 添金

壹分貳百文 袋代

金五拾壹兩壹分貳朱

元口

△平高谷 百六袋

代金七拾八兩壹分貳朱

ホ 貳兩也 添金

イ 三兩三分貳朱 七月より十一月迄利

壹分貳朱 荷造駄ちん

△金八拾四兩貳分貳朱

元/イ△

△平雨錦 三十式

代式拾五兩三分貳朱

吉丸 添金貳分貳朱

同 壹分 荷造駄ちん

同 壹兩壹分 利足七月より十一月迄

ノ式拾八両也

元ノ□イ のよ

△平雨上 三十七

代金貳拾九兩三百七十文

吉 貳分貳朱 添金

た 壹兩貳分 利足七月ノ十二迄

壹分 荷造駄ちん

ノ金三拾壹兩貳分貳朱三百七十文

元口

△平稀印 三十八

代金貳拾八兩壹分

吉 貳分貳朱 添金

壹分 荷造駄ちん

壹兩壹分貳朱 利足七月ノ十二月迄

ノ金三拾兩貳分

元△□

△平金花山 九十六

代金五拾八兩貳分

た 壹兩貳分貳十文 添金

ホ 貳兩壹分貳朱ト壹匁 利九ノ正月迄

壹分三百文 荷造駄ちん

金六拾貳兩三分

元△イ

△平旭山 六十

代金貳拾九兩

又 壹兩貳朱 添金

壹兩貳分 利、八ノ十二月迄

壹分 懸り

金三十一兩三分貳朱

△平小町 七十四

代金 四拾九兩ト五百文

た 壹兩壹分 添金

吉 貳兩貳分 利、八ノ十二月迄

懸り

金五拾三兩五百文

元△イ△

△平小野 七十四

代金四拾貳兩貳分貳朱

た 貳兩貳朱 利足八^月十二月迄

壹兩壹分 添金

壹分 懸り

金四拾六兩壹分

元△イ

△平新山 八十

代三拾九兩貳朱ト貳百四十文

た 貳兩也 利足八^月十二月迄

ホ 壹兩壹分 添金

今 壹歩 懸り

壹歩貳朱 袋代

金四拾三兩也

元△

△平金山 四拾六

代式拾壹兩壹分

又 壹兩也 利、八^月十二月迄

今 貳分貳朱 添金

貳朱 懸り

金貳拾三兩也

宮地文七様

為替差引書

一 金百兩也

右書為替取組之節、十月卅日国元ニ而相渡し積り、右代り金百兩江壹ヶ月利金を以、京都ニ而十月卅日ニ金百壹兩也、受取積り之約定ニ而取組申候、以上

一 金百兩也 十一月十二日国元ニ而渡し

此利金三兩也 寅正月迄三ヶ月利足

外二同壹兩也 約定之利金

又 同壹分也 為替延引ニ付十二月四日出し

駄ちん取替

〆金百四兩壹分也 かし

右江

内金百兩也 文吉様も正月卅日入ル

又金四拾五兩也 国元ニ而正月四日迄入

此返り壹分貳朱ト四匁九分

壹ヶ月利足

入方〆金百四拾五兩壹分貳朱ト四匁五分

元利差引過金四拾壹兩貳朱ト四匁五分

右之通り京都ニ而文吉様江、正月卅日無

相違相渡し申候、以上

五八 (紅花仕入金借用ニ付) 差入申証文之事

差入申証文之事

一 紅花荷物取合五拾貳箇

但

五百目袋廿一入四拾九箇

同 廿二入 壹箇

同 廿八入 貳箇

此引当金五百九拾六兩貳分也

当十一月晦日限り相定 夫迄利足相済

右著此度紅花仕入金不足ニ付、右紅花貴殿之御荷物ニい

たし、京都伊勢屋源助殿方江為御登被下、右引当金借用仕

度趣達て御頼申入、右金只今儘ニ請取申処実正ニ御座候、

尤返金之儀著、京都表ニ而右日限不殘返金仕、右紅花請取

可申候、尤海上陸道ニ而如何様之難事出来候共、貴殿方江

聊御損御苦勞之筋、少茂相掛申間敷候、若又右紅花十一月

晦日限り迄、返金相成兼候節著、貴殿方ニ而御勝手次第御

売払被成候而も、聊巨障等無御座候、尚又右売代金ニ而引

当金江都合ニ相成不申候節、当地ニ而元利取揃差金いたし、聊御損毛相掛申間敷候、為後日加判証文而如件

為替組主

嘉永七寅年九月

寒河江

石川村

善太郎

㊦

同村

請人

三次

㊦

前小路村

請人

久右衛門

前小路村

石川長吉殿

内金壹兩ト五匁八厘

三匁七分五厘

△錦紅

拾八入四
拾七入壹

五丸

金貳步貳朱ト四匁五分壹厘

手板不足

引而金七拾兩貳步ト壹匁六分六厘

右貳ツ割

金三拾五兩壹步ト八分三厘

右之通買請紅花代金、此度不殘相渡シ、此表無出入相濟候所、相違等之儀有之候ハ、重而御互ニ差引可仕候、為後日依而如件

嘉永七年寅十月卅日

伊勢屋理右衛門

㊦

元木林兵衛殿

上京 仁平次殿

五九 紅花仕切

仕切

一 金七拾貳兩壹步ト

十月限

金五拾貳兩替

六〇 紅花仕切

仕切

十一月七日現金

一 金七拾七兩貳分貳朱也

金六拾九兩替
平高谷拾八入四丸

〆 壹駄八袋

一 金壹兩貳朱と貳匁三分六厘 壹分半前引

一 金壹歩也 綿屋勇藏殿江世話料渡

指引

〆 金七拾六兩貳朱と五匁壹分四厘

右之通御相對を以買請、書面之金高不殘相渡、此表無出入相濟申候、万一箇荷物ノ内、拔袋違花濡痛又者算用違等も有之候ハ、重而指引可被成下候、為其仕切状依而如件

嘉永七甲寅十一月

西村屋清九郎 印

本木林兵衛殿

六一 京坂萬覺帳 (横帳)

(表紙)

「乙 安政二年

京坂 萬覺帳

外 九月吉日

覚

十月十九日 伊勢屋
一 金四兩也 利右衛門殿

手形入預り

十九日 秋田久保田

一 金四兩壹分 敬相寺扣

證文受取分 受人利兵衛殿

廿二日 金三両也 久七殿

預り

此金三両也、十一月朔日渡し

廿二日 金三両也 姫路ならや 十兵衛殿

久次郎殿

かし

十一月朔日 古手屋 長右衛門殿

預り 遣武兵衛殿

受取

十二月六日 伊勢屋 源助殿

預り

六日 日野屋 徳右衛門殿

い七茂殿渡り手形二兩渡し

万足屋 文六殿

十一月六日

一 八拾匁 紺縞ふり袖 かつき

一 七拾匁 同 結袖 同

一 九拾匁 紺羽二重 同

一 九拾八匁 同

一 七拾三匁 同

一 百五匁 ふり袖 同

一 百拾五匁 染地 沓反

一 七拾五匁 茶かつき 沓つ

七百六匁

河原町

右江金貳兩也渡し

七毫七 百四十三匁四分

七〇五 百七十四匁三分

金貳兩壹分三朱ト 十二月朔日

貳匁四分六厘 渡し

十二月廿六日 伊三郎分

一 三十貳匁貳分 縮面八尺

一 十八匁八分 女帯巻筋

十二月朔日

金三分 内貳百五十九文渡し

同日 伊助殿

一 百十五匁 かつき壳

正し六十三匁貳分八厘

此金三兩貳朱九分 受取

貳匁六厘

十二月廿八日

十二月廿九日 山中

一 金壹朱ト三十六文 伊原弥右衛門殿

最上や行分 新飛駄ちん立替分

相渡し

十一月廿五日 鳴屋

一 金貳兩也 利助殿

預り

二月七日返済仕候

十五日 下人 義助

一 金三兩也

伊勢参り国帰りに付渡し

廿五日 最上下高谷 伊三郎殿

一 金壹兩貳分

伊勢参りに付かし

廿九日 伊原

一 金壹朱ト三十六文 弥右衛門殿

新飛駄ちん最上や行相渡し

十一月卅日 古手屋

一 金拾五兩也 長右衛門殿

預り

十二月朔日
一 金貳百兩也 いせ屋 利右衛門殿

預り

十二月朔日 いせ屋
一 金百廿兩也 源助殿

預り

十二月朔日 ならや
一 金貳百兩也 権兵衛殿

七〇五七 古手代入

小橋庄殿下し

十二月朔日 嶋屋
一 金百兩也 利助殿

木綿代渡し

十二月朔日 ならや
一 金六拾兩也 権兵衛殿

七〇五七 古手代入 三四郎殿江

相渡し

越中福陶
嶋倉屋吉左衛門殿

十二月三日 いせ茂り入
一 金拾九兩壹分 かし

但京六角さかへ町西江入

万甚殿 江為替二而渡

伊勢屋利右衛門殿

覚

十二月十一日
一 八平緋司 十八貳丸
十八壹丸

此袋五十五袋

此分八分五厘九三七五

十二月切六十兩貳分かへ
代金五拾壹兩三分三朱卜

銀三匁貳分三厘

内金三分 壹半引

壹匁七分九厘

引而

金五拾壹兩三朱卜

壹匁四分九厘

内壹兩貳朱 高谷セわ料

大坂下しちん

又引

金五拾兩三分

五匁貳分四厘

大坂
羽州屋久右衛門殿

十二月十九日
△印と下し

十九入

△平高谷紅花 四丸

袋七十六

此分巻駄巻分八厘五

十二月切六十一兩かへ
代金七拾貳兩巻分

貳匁巻分

内金貳分三朱ト 分引

巻匁六分貳厘

引而

大坂

羽州屋久右衛門殿

十二月十九日
□印と下し

十八入

△平緋司紅花 四丸

袋七十貳

此分巻駄巻分貳厘五

十二月切六十一兩かへ
代金六拾八兩貳分貳朱

内金貳分貳朱ト 分引

三匁六分七厘

引而

伊勢屋源助殿

十二月十七日 十八
十九

△平鳳凰紅花 四丸

袋七十五

此分巻駄巻分七厘巻八七五

十二月切五十八兩かへ
代金六十七兩三分三朱卜

壹匁八分七厘五

内金壹兩卜 壹半引

三匁壹分二厘

引而
金六十六兩三分貳朱卜

四匁四分五厘

岐阜屋八郎兵衛殿

十二月十八日 十八入
一へ平錦山同 四丸

袋七十貳

此分壹駄壹分貳厘五

三月二日切六十兩かへ
代金六拾七兩貳分

内金壹兩卜 壹半引

七分五厘

借用申金子之事

一 金三百兩也 一分銀二而

右者此度私要用之義二付、其段貴殿方江達而相頼申入、書
面之金子今般髓二借用申所実正也、尤返濟之義ハ、来辰
ノ正月卅日相定之利足加へ、急度返濟可仕候、為後日之
金子借用證文、仍而如件

寛政貳年 最上要書 林兵衛

卯十二月廿二日 代仁平次

京都 伊勢屋茂平殿

最上屋喜八殿

へ平雨錦紅花 十八 壹丸

十九 三丸

袋七拾五袋

此分壹駄壹分七厘壹八七五

十二月切五十八兩かへ
代金六拾七兩三分三朱卜

三匁八分七厘五

内巻兩ト 壹半引

壹匁壹分七厘

又壹分三朱ト 手板不足

七匁貳厘

三兩壹分三朱ト

八匁壹分九厘

引而

金六十三兩壹分貳朱ト

壹匁壹分三厘

十二月卅日受取

大坂

羽州屋久右衛門殿

拾五番手形

一 金百四拾兩也 紅花代之内

ならや権兵衛殿受取

内四拾兩 不渡

右之通り慥ニ受取申所、此手形を以無相違御渡し可被下候、以上

十二月廿二日

鳴屋利助殿

十二月廿二日

一 金四兩也 預り

二月廿日濟

差引置

姫路

ならや権兵衛殿

十二月廿二日夕 いせ茂殿

一 金三百兩也 下し金

為替入 小橋屋彦九郎殿向下し

十二月朔日利足付

十二月廿三日渡り

一 金百四拾兩也 羽州屋久右衛門殿

新庄行古手代入、渡り手形^ニ而相渡し

内四拾兩 不渡り

九十四預り

外二

十二月廿九日
一 金五拾兩也 伊勢屋源助殿

借用金之内

いせ茂殿^も渡し

十二月廿二日
一 金五兩也 弥兵衛殿

新庄行古手代二入 渡し

廿九日
一 四百四十文 萬屋長之助へ

大坂駄ちん払

十二月廿九日
一 金壹兩也 りん庵茶代

かし出し

廿九日
一 金壹分貳朱 風合羽代払
廿九日
一 金壹分壹朱 美濃屋次兵衛殿

大神宮様代払

表屋庄左衛門殿

十二月廿九日
一 金拾四兩也 高橋五右衛門殿分

渡し

十二月廿九日
一 金四匁卜四百文 綿所^江拂

十月十二日初
一 金壹朱也 扇子甘本

一 同壹朱也 まき紙代

一 同壹朱也 母さまはつこつ納代

一 同貳朱卜貳匁 たばこ入壹ツ

十月十日
一 同壹朱也 まき紙代

廿二日

一 同式朱也 御せん幸二付弁当代

一 同式分五匁 しばい割 \triangle \square \ominus 全へキ

一 同式朱也 ひら二掛代

一 同式朱也 りん庵二付大白代

一 五百文 セきた巻速

一 式百文 羽打ひぼ代

一 百文 朱すミ代

一 式メ七百文 たばこ九百め

一 式メ式百文 せんたく物
半り巻ツ

一 五百十式文 かみゆへ

一 式百文 年始状紙
筆代共

一 四十二文 せき代直し

一 百文 神仏参詣

メ 金巻両三朱ト

五メ五十八文 但十月十二日

十二月卅日諸掛りメ高

正月十九日 一 金四拾両也 古手屋長右衛門殿

預り

正月廿日

一 金式拾九兩式朱ト 岐阜屋八郎兵衛殿

五匁七分式厘 五右衛門殿分

三丸雨紅花売代差引残り 受取

正月廿日

一 金五拾両也 姫路 ならや権兵衛殿渡し

為替二入 但京地亀甲半殿江為替ニ而

手形引替相渡し

正月廿日

一 金式拾両也 ならや権兵衛殿

為替二入 升や新六殿を為替手形ニ而渡し

岐阜屋八郎兵衛殿

正月十九日分

一 平新飛紅花 四丸

六十八袋

此分老駄六厘式五

三月二日切五八かへ

代金六拾壹兩貳分貳朱

内三分式朱 分引

式刃九分六厘

正月十九日

最上慈恩寺

一 金貳分也 福次郎

参宮二付かし

岐阜屋八郎兵衛殿

二月二日

一 金三拾兩也 預り

紅花代之内

二月二日

一 金三拾兩也 近江屋新兵衛殿へ

六九五古手代入 渡し

為替手形表

二月七日

一 金拾兩也 伊勢源助殿

預り

二月七日

一 金九兩三分式朱ト 嶋屋利助殿

六匁式分五厘

木綿代差引残済

二月九日

一 金三分也 ならや源助殿

相渡し

△二御店へ渡し

正月渡し

一 六百七十式文 三天下一四丸

千原屋三右衛門舟難事入用

一 三百三十六文 平国雨式丸

同断入用

西村屋清九郎殿

二月九日 十九入卷
十八入三外十一

一 平高紅 四丸余

八十四袋

此分卷駄三分壹厘弍五

現金六十三兩かへ

代金八拾弍兩弍歩三朱

一 同本緋 八袋

此分卷分弍五

四十五兩かへ

代金五兩弍分弍朱

金八拾八兩壹分壹朱

内卷兩壹分 壹半引

四匁四分三厘

引残ル

西村屋清九郎殿

二月九日 十八入

平鳳凰 四丸

七十式袋

此分卷駄分弍厘五

二月二日切五十六兩弍分かへ

代金六拾三兩弍分壹朱

内三分三朱卜

九分九厘 壹半引

引残ル

伊勢屋源助殿

二月十一日

平鳳凰 十八入 五丸

九十袋

此分卷駄四分〇六二五

三月二日切五七かへ

代金八拾兩弍朱卜

八分七厘五

内金卷兩三朱卜 壹半引

八分九厘

引而

十一日
△平高谷 十八入 四丸

七十式

此分考駄壹分式厘五

三月二日切五九かへ

代金六拾六兩壹分式朱

内三分三朱卜 壹半引

三匁四分式厘

引而

二月十二日
一 金八拾八兩也 西村屋清九郎殿

紅花代之内受取

最上十郎屋

青柳清兵衛殿分

大坂播磨屋彦三郎殿_江

二月十二日
一 金五拾兩也 為替金

当地兩替屋万次殿_{江渡}し

二月十三日 姫路
一 金拾兩也 表屋庄左衛門殿

返二古手仕入前金二渡し

二月十六日

内金五兩也 請取

差引 金五兩也 相渡し

伊勢屋利右衛門殿

二月十三日

△平新田 十七入 四丸

六十八

此分考駄六厘式五

三月二日切五十八兩式かへ
代金六拾貳兩式朱卜

壹匁八分七厘

内金三分式朱卜 壹半引

三匁四分四厘

引残ル

室町
金田屋傳兵衛殿

二月五日

一 金三拾兩也 いせ茂殿渡り

六九九

手形^三而相渡し

美濃屋忠右衛門殿

二月十六日

金平極撰 十七入 四丸

六十八

此分考駄六厘式五

代金五拾六兩考分壹朱

内金三分

壹半引

五匁六分七厘

西村屋清左衛門殿

二月十七日

金平新飛 十七入 四丸

六十八

此分考駄六厘式五

三月二日切五六かへ

代金五拾九兩式分

内金三分式朱卜 壹半引

壹匁五厘

又金式分 手板不足

式匁三分七厘

引而金五拾八兩卜四匁八厘

三月六日 受取

室町三條上ル

総屋久三郎殿

二月廿二日

金平大刀 十八入 四丸
十九入 式丸

此袋百十袋

此分考駄七分一八七五

五十兩かへ

代金八拾五兩三分三朱

内卷兩卷分 卷半引

式匁三分四厘

九月九日切
引而

総屋久三郎殿

二月廿三日
平白雨 十八入 式丸

同金光 十七入 六丸

ノ百三十八

此分式駄卷分五六式五

五十兩式分かへ
代金百八兩三分式朱ト九分三厘

内卷兩式分式朱ト 卷半引

五分

引而

伊勢屋利右衛門殿

二月廿五日

平鳳凰 十八入 五丸

九十袋

此分式駄四分〇六式五

五十六兩式分かへ

三月卅日切

代金七拾九兩卷分式朱ト

四匁六分四厘七

内金卷兩式朱ト 卷半引

四匁

近江屋佐助殿

二月廿五日

平新飛 十七入式 四丸
十八入式

七十袋

此分式駄〇九厘三七五

二月卅日切五十九兩かへ
代金六拾兩式朱ト

卷匁八分七厘五

内三分式朱ト 卷半引

卷刃六分式厘

又金卷兩二朱卜 へ平新飛四丸

式刃四分六厘同鳳凰五丸

手板不足

又同式朱卜 新飛印

五刃四分四厘 難事入用

又同卷分 せわ料

へ取替

引而

金五拾七兩式分

七刃三分四厘

此り式分四刃五分 卷月利

惣引残

金五拾七兩

式刃八分四厘

三月二日 受取

亀甲屋半七殿

二月廿五日

百十七かへ 野印 本緋縮面

一 五百八拾五刃 百廿五刃 五疋

百十七かへ 伊印

一 五百八拾五刃 同 五疋

百拾六刃

正 又銀卷へ百七拾刃

外二 松板へ

一 銀五百卅式刃 十九疋

へ卷へ七百式刃 三月卅日切 嶋利殿か

内五百五十一刃 渡り手形二而相渡し置

引而

銀卷へ百五十一刃

六九八

此金拾六兩卷分式朱卜

八刃〇式厘五

三月二日 渡し

亀甲屋半七殿

二月卅四日

今助殿

一 五百三拾貳匁

寿板 拾九疋

〆 老〇掛

三月卅日切

伊勢屋兵七殿

正月卅日分写

△平△三五掛

小袖絹

四百反入老固

直段九五かへ

代三百八拾匁

一 同三〇掛 同

四百反入老固

直段八匁五分かへ

〆 七百廿匁

外二廿三匁 右貳固 荷造諸入用

合七百四拾三匁

六九八此金拾貳兩貳朱卜

老匁三分七厘

二月二日渡し

大坂日半殿へ向

本長殿向下し

古手屋長右衛門殿

二月卅日

一 金貳拾兩也

受取

〆

正月と二月二日迄

一 金貳兩貳分

綿所江拂

老匁九分

泊り懸り共

総屋久三郎殿

二月廿九日

△平極撰 十七入

四丸

六十八

此分老駄六厘貳五

五月五日切五十四兩かへ
代金五拾七兩壹分貳朱

内金三歩 壹半引

六匁六分三厘

引而

金五拾六兩貳分

八分七厘

總屋久三郎殿

二月廿九日

△平吉紅 十八入 三丸
十九入 壹丸

七十三

此分考駄壹分四厘〇六二五

五月五日切五十六兩貳分かへ
代金六拾四兩壹分貳朱卜

四匁貳分五厘

内金三分貳朱卜 壹半引

五匁九分

引而

金六拾三兩壹分三朱卜

貳匁九分

總屋久三郎殿

二月廿九日

三天下一 十八入 四丸

七十貳

此分考駄壹分貳厘五

五月節旬切五十兩かへ
代金五拾六兩壹分

内金三分 壹半引

五匁六分貳厘五

引而

金五拾五兩壹分貳朱卜

壹匁八分七厘

岐阜屋八郎兵衛殿

二月廿二日分

三稀物 十八入 貳丸
十九入 壹丸

七十四

此分卷駄卷分五厘六式五

五十四兩かへ

代金六拾貳兩卷分式朱ト

三匁七分五厘

二月廿八日分

同新円 十六入 卷丸
十七入 式丸

五十袋

此分七分三厘卷式五

五十一兩かへ

代金三拾九兩三分

五匁六分式厘五

五月四日切

金百貳兩卷分

銀卷匁八分七厘

亀甲屋半七殿

三月二日
一 金拾六兩卷分式朱ト
ちり面代

八匁式厘 渡し

三月二日

一 金八兩也 嶋屋利助殿

板代 渡し

嶋屋利助殿

三月二日

一 拾匁九分 浅き反物切

一 六匁六分五厘 切三尺五寸

一 卷匁 同仕立質

一 卷匁 墨袖口

一 六匁八分 きし嶋式尺五寸、袖口共

一 四匁七分 きし嶋卷尺七寸

一 卷匁九分 仕立質

一 三十一匁九分五厘

一 金八兩也 本板代廿卷疋

三月二日

右金八兩 相渡し

伊勢屋利右衛門殿

△平緋袴 十八入 四丸

七十式

此分袴駄袴分式厘五

三月卅日切五六かへ
代金六拾三兩也

内金三步弍朱卜 袴半引

四匁弍分

引而 金六拾弍兩卜三匁二分

伊勢屋利右衛門殿

△平緋成 十八入 弍丸

同同 十九入 三丸

九十三

此分袴駄四分五厘三弍式五

三月卅日切五十四兩弍分替
代金七拾九兩三朱卜

四分六厘八

内金卷兩三朱卜六厘 袴半引

引而 金七拾八兩卜四分八厘

伊勢屋利右衛門殿

三緋袴 十八入 四丸

七十式

此分袴駄袴分式厘五

三月卅日切五十兩かへ
代金五拾六兩弍分

内金三分卜九匁六分二厘五 袴半引

引而 金五拾五兩弍分弍朱卜袴匁八分七厘

内十三匁五分九厘

引而 金五十五兩弍朱卜三匁二分四厘

服沙屋勘兵衛殿

一 銀四十一匁 瀧門上下巻反

外弍弍分 紋代

代三月廿日 拂

三月四日 ならや権兵衛殿

一金三百兩也

小橋屋彦五郎殿向

いせ茂ら下し

三月卅日 ならや權分
一 金貳百八十兩也

川村代

万次殿渡

三月四日 嶋利殿
一 金一兩卜 平七殿

八十四匁六分

三月六日 嶋屋和助殿
一 金百兩也

いせ利殿渡り

手形二而相渡し

五月卅日切

三月六日 日の屋徳右衛門殿
一 金四拾兩也

いせ利殿渡り

手形二而相渡し

三月廿日 いせ茂殿ら

一 金八拾五兩也 ならや權兵衛

五右衛門殿分渡し

三月六日 いせ屋

一 金壹兩六分 源助殿 受取

總屋久三郎殿

二月廿二日
△平金光 十七人 六丸

此分壹駄五分九厘三七五

四十八兩かへ
代金七拾六兩貳分

内金壹兩貳朱ト壹匁三分五厘 壹半引

又金三分ト貳匁貳分七厘 手板不足

又金壹分貳朱 △一世話料

△金貳兩壹分三匁六分

引而 金七拾四兩貳朱ト三匁九分

近江屋大左衛門殿

△平沢浮 貳拾貳箇

改實目

ノ四百八十九貫百目

内廿六ノ四百目 風代引

又三十九ノ百五十匁 八の入

差引

此計千六百九十四計弍九

老匁弍分五厘かへ

代弍實百拾七匁七分五厘

内一四匁四分 水揚

一 六匁六分 蔵敷

一 四拾弍匁弍分九厘 弍分引

ノ五十三匁三分九厘

引残り

九月九日切

銀弍實六拾四匁四分

此り六拾弍匁弍分

ノ銀弍ノ百廿六匁六分

内金拾兩也 〽五〽平

ノ四十四反

〽平

永六十五貫八分

六七八

此銀七百九十匁四分老厘 運賃取替

此利三十四匁九分九厘 六ヶ月五日八朱利

九月八日 山形大坂お

一 金三拾兩也 次右衛門殿

参置為替

六六六

此銀老ノ九百九十八匁

此り六十匁弍分 三ヶ月廿三日利

十一月廿七日

一 銀三拾四匁三分 夜月買物

ノ銀弍ノ九百廿一匁九分

一 銀老ノ八百七匁五分七厘 〽五〽平仕切書付

又差引

銀老ノ拾弍匁弍分七厘

外 廿七匁 三十兩不渡り二付

十二正半引

銀壹匁三百九十式匁七分

卯正月十日 ならや

内拾六匁也 権兵衛殿も受取

懸五ハリ

金三分 辰十一月廿一日渡し

伊勢屋利右衛門様

辰年分

△一兩丸 紅花 十七入 四丸

此内別花壹袋さし

六十兩かへ
代金六拾三兩三分

同 鳳 同 十八入 三丸
十九入 壹丸

五十九兩かへ
代金六拾七兩貳朱ト銀三匁

同 同 同 十七入 四丸

四十九兩かへ
代金五拾壹兩と九十匁五分四厘

同 玉 同 一八入 貳丸
十九入 三丸

四十九兩かへ
代金七拾壹兩と廿匁三分壹厘

外掛り物

一 金壹兩壹朱 御役

一 金貳分壹朱 荷造

一 金四兩壹分 口銭

一 金貳兩ト廿九匁五分貳厘 目早口銭

一 金四兩壹分 添金

一 金壹兩壹朱 大石田送ちん

一 金貳兩也 在方宿礼

銀拾六兩三分三朱

合金貳百七拾壹兩壹朱ト銀壹匁三分八厘

五月卅日

内金百兩也 受取

差引

残金百七拾壹兩壹朱卜銀壹匁三分八厘

此り 六月五

伊勢屋源助様

十月十二日国元五案内

平仙一 四丸

同仙雨

八十三兩かへ

代

十月卅日切

平緋司 四丸

七十貳兩かへ

代

十月卅日切

平吉紅 五丸

七十六兩かへ

代

十月卅日切

伊勢屋利右衛門様

十月二日国元案内分

平仙稀 四丸

代八十四兩かへ

十月卅日切

平仙雨 四丸

代八十兩かへ

十月卅日切

平小町 四丸

代七十兩かへ

十月廿日切

古手屋長右衛門様

買

平印

一 光雨 七十一袋

一 極雨 六十九

一 常雨 六十七

式百七袋

式百七袋

此分三駄式分三厘四三七五

十一月卅日切五十三兩かへ

代金百七拾壹兩壹分式朱卜

銀式匁八分壹厘

内金貳兩貳分四匁貳分八厘 一半引

壹々三十九め 壹袋二付五百欠

此袋分 式袋三分五厘式貳五欠

代金壹兩三分三朱卜

銀六分壹厘

金四兩貳分壹匁三分四厘

差引

金百六拾貳兩三分式朱卜

銀六分七厘

近江屋佐助様

買

引稀紅 十九入 四丸
廿八入 式丸

式百十六袋

此分壹駄八分壹厘式五

十一月卅日切

五十兩貳分かへ

代金九拾壹兩貳分

壹匁八分七厘

内壹兩壹分七匁三分八厘 一半引

引而

金九拾兩貳朱卜壹匁九分九厘

内壹分式朱 七八料 引

内

十二月朔日

又金八拾八兩三分 渡し

姫路奈良屋権兵衛殿

十一月朔日

一金七百三拾五兩 小橋彦殿下し

卅日分

六〇銀百貳拾匁八分

此金壹兩貳分三朱卜銀壹匁六分五厘

壹袋五分〇厘五欠代

一 金七兩也 卯兵衛様渡し

金三兩三分貳朱卜

此分 金壹兩貳分三朱卜 同分金

貳匁九分四厘

壹匁六分五厘

引而 金百七拾七兩三朱卜

十五ばん

又 金五兩壹分貳匁壹分 手形^ニ而渡し

八分壹厘

七兩都合 いせ茂^よ

美濃屋忠右衛門様

岐阜屋八郎兵衛門様

〔大〕稀紅 十九入 四丸廿入 貳丸

一 光雨 七十一

此分壹駄八分壹厘五

一 極雨 六十九

十一月卅日切五十三兩かへ

一 常雨 六十七

代金九拾六兩壹朱

〆貳百七袋

内壹兩一分貳朱卜 一半引

〆此分三拾貳分三厘四三七五

三匁九分五厘六

十一月切五十六兩かへ

引而金九拾四兩貳分

代金百八拾壹兩貳朱

七匁三分

内金貳兩貳分貳主卜 一半引

五匁九分壹厘貳

近江屋佐助様

一 金壹兩壹分 常雨六十七袋分、壹袋^ニ而五百欠

買

團緋頭 廿入 六丸

此分壹駄八分七厘五

十二月卅日切五十八兩かへ

代金百八兩三分

内金壹兩貳分貳朱ト 一半引

三分七厘五

引而金百七兩ト

七匁壹分貳厘五

總屋久三郎殿

團緋頭 廿入 六丸

此分壹駄八分七厘五

十二月卅日切

代金百拾三兩壹分三朱ト

内金壹兩貳分貳朱ト 一半引

四匁五分五厘

差引金百拾壹兩貳分三朱ト

貳匁九分壹厘

ならや行

小豆積入

本長殿向

弁助船

一 小豆百俵

升三斗八升五九入

此運ちん

金貳兩貳分ト永拾匁

内貳分 相渡し

金作船

一 同 拾俵也

升三斗八升九合

運ちん 先拂

源四郎船

源四郎船

一 同 五拾俵

運ちん 先拂

仁兵衛船

一 同 百四拾五俵

三斗八升 （マ）合

運ちん 先拂

甚四郎船

一 同 貳拾壹俵

運ちん 先拂

一 同 船

一 同 拾壹俵

一 同 三拾貳俵

一 同 大豆廿貳俵

一 同 運ちん 先拂

庄太郎船

一 小豆貳拾壹俵

一 小つ三百九十俵

大つ廿貳俵也

新庄河内屋久左衛門殿

寅六月
銀貳メ六拾壹匁 木綿代

此金三拾四兩貳分六匁

七月廿四日

内金九兩也 受取

七月十七日

内同拾八兩也 受取

八月廿日

内同六兩三分貳朱百文 受取

同

内同三兩貳朱卜四百九十文 受取

一 金三拾三兩五百九十文

正月十日

内同三拾兩屋 へメも受取

二月廿二日

内同廿五兩也 受取

内同貳分 廿三丸駄ちん

六百九十五文

内 壹兩貳分六百六文 廿三丸御役

四月八日

内拾兩也 受取

金百廿四兩 中

卷ノ三百十文

辰四月廿四日

一金拾五兩也 受取

一三拾六匁 御役永

一四拾貳匁 口 錢

壹兩壹分三匁

差引貳分五匁九分

夏秋古手類

一正ニ八貫六百五十八匁四分

十月十八日

内金貳拾貳兩也 受取

十二月四日

内同拾五兩也 平山ト受取

十一月十九日分

内同貳拾兩也 受取

卯秋古手 廿四箇

一拾高合八拾六貫九百廿貳匁

数ノ 千四百八十三反

道屑 拾貳速

羽屑 六速

格双引残而

正ニ八貫六百九拾貳匁貳分

此金百四拾四兩三步卜

銀七匁貳分

十月廿日

内金拾兩也 受取

十二月四日

内同拾五兩也 受取

十二月廿五日

内同廿三兩下貳分 受取

三月二日

内同三拾三兩貳分 受取

正月十日分

内同三拾兩也 受取

金百拾貳兩也

一 銀百匁八分 廿四個御役永

一 三メ七百八十 本合海も駄ちん分

認久殿

高瑞屋五右衛門殿分

一 金五拾六兩壹分 五十兩かへ 三天下一 十八入 四丸

五十四兩かへ

内三分卜五匁六分三厘 壹半引

一 金六拾貳兩壹分貳朱卜 三稀物

十九入 十八入

貳貳

差引金五五兩壹分貳朱卜 四月卅日切

壹匁八分七厘

五十一兩かへ

内金貳分卜三匁貳分四厘 右壹ヶ月利足

一 同三拾九兩三分

三新田 (附)

十七入 十六入

壹貳

又壹分貳朱卜五匁五分九厘 手板不足

五匁六分貳厘

△一江世話料共

百貳兩貳朱卜九匁三分七厘

差引

内金壹兩貳分

壹半引

壹匁九分貳厘

三月卅日切
金五拾四兩壹分貳朱卜五分四厘

いセ利殿

同壹兩貳朱卜六匁壹分 手板不足

内三拾六匁四厘

勘三郎船難事入用共

一 金五拾六兩壹分 五十兩かへ 三緋袴 十八入 四丸

内金三分卜五匁六分二厘 壹半引

五月五日切
差引金九拾九兩貳分卜一匁三分五厘

又拾三匁五分 右手板不足

差引金五拾五兩貳朱ト三匁七分九厘

岐卓屋ら

正月廿日受取
一 金貳拾九兩貳朱ト 三丸兩 四丸

五匁七分貳厘 破舟入札売金

十二月卅日

内金拾四兩 表庄殿ら相渡し

此り四匁貳分 半月利息

〆金拾五兩貳分壹匁五分五厘

惣合

金貳百廿四兩貳分ト七匁貳分三厘

三月卅日

内金八拾兩也 ならや権兵衛殿渡し

又金百兩也 同人殿ら辰古手仕入前金ニ相渡し

〆

差引金四拾四兩貳分

七匁貳分三厘

内六匁貳分貳厘 千原屋船難事入用

引金四拾四兩貳分壹匁壹厘

内金四拾兩也 四月卅日

内金四兩貳分壹匁壹厘 渡り手形ニ而相渡し 正金渡し

〆

右通り此表相済申候、以上

十月十二日

金三兩貳朱ト貳百六十五文 道中過金有り

十二日

出金壹朱也 扇子代拂

出金壹朱也 半紙代拂

十三日

出 五匁 セキ代拂

出 貳百文 羽打ひほ

出 壹匁 朱すみ壹丁

十四日

出金壹朱也 大谷山納

十九日

入金四兩也 いせや利右衛門殿

手形入預り

十九日
出金四両壹分 秋田久保田敬相寺様

かし共

廿二日
入金三両也 久七殿

預り

廿二日
出金三両也 姫路ならや十兵衛殿

かし金

久四郎殿

十一月朔日
入金三両也 古手屋長右衛門殿

預り金 遣 武兵衛殿

朔日
出金三両也 久七殿

十月廿二日預り分済金

六日
入金拾五両也 いせ屋源助殿

預り

同日
出金拾五両也 日野屋徳右衛門殿

木綿代を渡し

出金三両也 義助

いせ参宮并二下り金

廿五日
入金貳両也 嶋屋利助殿

かり

廿五日
出金壹両貳分 最上宮宿伊三郎殿

伊勢参宮二付京都三而かし

廿九日
出金壹朱ト三十九文 山中伊原儀右衛門

新飛駄ちん拂

十一月卅日
入金拾五両也 古手屋長右衛門殿

預り

十一月朔日
入金貳百両也 いせ屋利右衛門殿

預り

同日
入金百廿両也 いせ屋源助殿

預り

同日

出金貳兩也 嶋屋利助殿

十一月十五日預り金渡し

同日 出金貳百兩也 ならや権兵衛殿

小橋彦殿を下し

同日 出金百兩也 嶋屋利助殿

木綿代渡し

同日 出金三兩三朱ト貳匁 万足屋文六

仕入物代

同日 入 三分貳百五十匁 伊三郎

ちりめん代、帯代

三月三日 出金拾九兩壹分 越中福岡吉左衛門殿

十二月朔日分 入金六拾兩也 いせ屋茂兵衛殿

預り

十一月朔日分 出金六拾兩也 ならや権兵衛殿

古手代

十二月廿二日 入金三百兩也 いせ屋茂平殿

預り

十二月廿二日 出金三百兩屋 ならや権兵衛殿

古手代

同日 入金四兩也 嶋屋利助殿

預り

同日 出金五兩也 ならや弥兵衛殿

かし

十九日 入金六拾六兩壹分貳朱ト 最上や岳八殿

壹匁八分五厘

雨錦紅花仕切 銀

廿九日 出金壹分壹朱 美濃や次兵衛殿

大神宮様代

廿九日

出金四兩ト四百文 宿善兵衛泊りちん

廿九日

出金四百八文

萬長拂

状ちん

廿九日

出金六拾六兩老刃八分九厘

いせ茂

廿九日

入金六兩也

いせ茂殿受取

廿九日

出金拾兩也

表庄殿

高橋殿分

弥七殿渡

廿九日

入金五十一匁七分五厘

かつき売

廿九日

出金五拾兩也

いせ屋源助

借用金之内

廿九日

出金老兩也

りん病薬外ニかし料拂

廿九日

出金壹分貳朱

風合羽代拂

二月卅日

入金貳拾兩也

古手屋長右衛

青芋苗受取

(安政三年)
辰正月出入覚

正月十九日

入金四拾兩屋

古手や長右衛門殿

預り

廿日

入金貳拾九兩貳朱ト

岐阜屋八郎兵衛殿

五匁七分八厘

三印紅花代

廿日

出金五拾兩也

ならや権兵衛殿分

為質金

京龜甲屋半七殿渡し

廿日

出金廿兩也

ならや権兵衛殿分

近江屋新六殿ら渡し

二月二日

入金三拾兩也

岐阜屋八郎兵衛殿

紅花代之内

二月一日

出金三拾兩也

ならや権兵衛殿分

為質金 近江屋新兵衛殿へ

正月十九日 出金貳分也 最上福四郎

参宮二付かし

七日 入金拾兩也 伊勢源殿

預り

七日 出金九兩三分貳朱ト 嶋利殿

六匁貳分五厘

差引金

九日 出金三分 ならや源助殿相渡し

十二日 入金八拾八兩也 西村屋清九郎殿

紅花代之内

十二日 出金五拾兩也 三殿分、播磨屋彦二郎殿分

参宮為替金 万次殿江渡

十二日 入金拾兩也 表屋庄左衛門殿

辰古手仕入前金

十六日 入金五兩也 御同人方

二月十五日 出金三拾兩也 金田屋傳兵衛殿

渡し金

正月分 出金貳朱ト貳百文 △一御店も渡し

千原殿入用

二月卅日 入金貳拾兩也 古手屋長右衛門

三月二日 入金五拾七兩貳匁八分四厘 近江屋佐助殿

紅花代

二日 入金五拾九兩三分 西村屋清九郎殿

六匁八分三厘

同 断

二日 出金拾兩貳分貳朱ト 伊勢屋兵七殿

壹匁三分七厘

小袖綿代

二日 出金拾六兩壹分式朱ト 亀甲屋半七殿江

八匁二厘

二日 出金八兩也 鳴屋利助殿

板代

二日 入金百拾壹兩壹分式朱ト いセや源助殿

銀四匁七分式厘

紅花代差引表

二日 入金九拾三兩式朱ト 岐阜屋八郎兵衛殿

式匁五分九厘

紅花代

三日 入金五拾八兩 西村屋清左衛門殿

四匁八厘

紅花代

四日 入金五拾四兩壹分式朱ト 美濃屋忠右衛門殿

式匁五分七厘

紅花代

四日 出金貳分壹朱ト壹匁壹厘 服沙屋勘兵衛

貳拾門上下代拂

三月四日 入金百九拾兩也 伊勢屋利右衛門殿

三月四日 入金三百六拾兩也 かセや久三郎殿

三月卅日切手形二而

三月四日 出金三百兩也 ならや権兵衛殿

小橋彦殿下し

入金九拾九兩貳分 岐阜屋八郎兵衛殿

銀壹匁三分五厘

三月卅日切手形二而

五日 出金七兩壹分 日野徳殿相渡し

四匁三分四厘

差引金

(以下、白紙三枚入る)

伊勢屋茂兵衛様

卯正月六日迄さし引残

一 銀五拾三匁九分八厘 預ケ置分

十一月六日

一 金拾五両也 いせ源殿と

預ケ置 出し手形ニ而渡し

十一月六日十ばん

入金拾五両也㊦ 日野屋徳右衛門殿と

請取

十一月卅日

一 金廿五両也 古長殿と

出手形ニ而渡し

同日
入金五両也

正金受取

十一月朔日

一 金百廿両也 いせ源殿と
出手形ニ而渡し

同日

一 金貳百両也 いせ利殿と
出手形ニ而渡し

同日 十壹ばん

入金百両也㊦ 鳴利殿と受取

同日
入金拾五両也

正金受取

同日 十貳ばん
入金六拾両也㊦

ならや権兵衛殿受取

三日 十三ばん
入金拾九両壹分㊦

義甚殿受取

十二月廿九日

一 金六拾六両

最上屋手形ニ而渡し

壹匁八分五厘

渡し

廿九日

入金六両也

正金受取

廿九日 十四ばん
入金拾四両也㊦

表庄殿と

手形ニ而受取

廿九日 十五ばん
入金五拾両也㊦

伊勢源助殿と

手形ニ而受取

正月廿日

一 金四拾両也

古手殿と

手形ニ而渡し

正月廿日

一 金貳拾九兩貳朱ト 岐阜八殿カ

五匁七分貳厘 手形ニ而渡し

正月廿日 十六番
入金五拾兩也㊦

龜甲半殿カ

渡り手形ニ而受取

同廿一日 十七番
入金貳拾兩也㊦

升新殿カ

渡り手形ニ而受取

二月二日
一 金三拾兩也

正金渡し

二月三日 十八番
入金三拾兩也㊦

近新殿カ

渡り手形ニ而受取

二月十二日
一 金六拾八兩也

西村屋清九郎殿

手形ニ而渡し

二月十二日 十九番
入金五拾兩也㊦

万也次兵衛カ

渡り手形ニ而受取

二月十三日 廿番
入金八兩也㊦

表庄殿カ

二月十五日 廿一ばん
入金三拾兩也㊦

金傳殿カ

渡り手形ニ而受取

三月二日
一 金貳拾兩也

古手屋長右衛門殿

出手形ニ而渡し

三月二日
一 金五拾九兩三分

西村屋清九郎殿

六匁八分三厘 手形ニ而渡し

三月二日
一 金五拾七兩

近江屋佐助殿

貳匁八分四厘 渡り手形ニ而渡し

三月二日 廿二ばん
入金拾兩貳分貳朱ト㊦

いせ兵衛カ

壹匁三分七厘 渡り手形ニ而受取

三月二日 廿三ばん
入金拾六兩壹分貳朱ト㊦

龜甲屋半七殿カ

八匁貳厘 渡り手形ニ而受取

三月二日 廿四ばん
入金八兩也㊦

嶋屋利助殿カ

渡り手形ニ而受取

三日 金百拾壹兩壹分貳朱ト いセ源殿カ

四匁七分二厘 渡り手形ニ而渡し

三日 一 金九拾三兩貳朱ト 岐阜屋八郎兵衛殿

貳匁五分九厘 手形ニ而渡し

三日 一 金五拾八兩ト 西村屋清左衛門殿

四匁八厘 手形ニ而渡し

四日 一 金五拾貳兩也 美濃屋忠右衛門殿

手形ニ而渡し

三月四日 一 金百九拾兩也 伊勢屋利右衛門殿

手形ニ而渡し

三月四日 入金二百兩也 ならや権兵衛殿分

小橋彦殿行

四日 廿五ばん 日野徳殿
入金六兩壹分貳朱㊦

渡り手形ニ而受取

三月卅日 入金八拾五兩也 ならや行

小橋彦下し

同 入同拾三兩也 大坂 羽久殿行

同 百老番 ならや 川村為替

入同貳百八拾兩也㊦ 万次殿

入同三兩壹朱 正受取

同 入同九兩也㊦ 金傳殿

ノ

(裏表紙)

羽州最上

本木林兵衛

仁平次

六二 上方諸用扣帳(横帳)

(表紙) 乙 安政貳年

上方 諸用 扣帳

卯 九月吉日

伊勢屋利右衛門様

組合荷

正月廿八日

△二兩錦 紅花 六拾貳袋

四拾九兩替

代金四拾七兩壹分貳朱卜

永八匁七分七厘

同金時 同 百貳袋

四拾八兩替

代金七拾六兩貳步也

ノ金百貳拾三兩三分貳朱卜

永八匁七分七厘

外二

一 永百廿五匁 口錢

一 同貳拾八匁壹分 荷造

一 同八匁三分三厘 役永

一 同百廿五匁 目早口錢

一 同七拾五匁 當所酒田迄ちん

一 同百匁 添金

ノ四百六拾壹匁四分五厘(43)

此金四兩貳分

永拾壹匁七分五厘

合金百廿七兩貳分卜

永七匁七分貳厘

(貼紙) 此売仕切正味 七月卅日切

一 金百三拾壹兩貳朱卜

壹匁七分貳厘

右二ツ割 組合二ツ割

一 金六拾五兩貳歩 〆平分売金

銀四匁六分壹厘

此り金三兩壹分ト 八月⁶

壹匁五分 十二月迄利

〆平六拾四兩壹分ト 組合元金

貳匁三分一厘 二ツ割△一分

〆金百三拾三兩貳朱ト

九分貳厘

卯正月廿九日

一 金百五拾兩

なら権兵衛殿⁶

差向^{ニ而} 受取

此利拾六兩貳分 二月⁶十二月迄利足

卯正月三日

一 金三兩也

富藏参宮ニ付

為替^{ニ而}受取

寅十一月十九日

一 金五兩也

村吉参宮ニ付為替金^{ニ而}受取

一 金三拾四兩貳朱ト五匁三厘

寅年紅花仕入、弥紅印ニツ割、代金過上分

〆金貳百八兩貳分貳朱ト五匁三厘

差引

過金七拾五兩貳分、四匁壹分一厘

六月廿八日

十七入 十八入 三

△^極撰紅花

七十一 四丸

五拾三兩上り

代金五拾八兩ト

永七拾九匁六分四厘

十八入 壹 十九入 四

同^辨同

九十四 五丸

五十三兩上り

代金七拾七兩ト

永七拾六匁九厘

十六入 三 十九入 貳

同^玉同

八十式 五丸

四十八兩上り

代金六拾壹兩ト

永五十匁

十八入

同辨同 七十式 四丸

五十六兩上り

代金六拾三兩也

メ三百十九袋

メ金貳百六拾壹兩ト

永五匁七分七厘

一 永五十六匁貳分七厘

一 同六匁五分一厘

一 同八匁九匁九分五厘

一 金壹兩ト五十五匁六分七厘

一 同貳兩ト四十八匁六分七厘

一 同貳兩ト四十八匁六分七厘

一 同三兩也

メ拾壹兩ト拾四匁七分九厘

合金貳百七拾貳兩ト廿匁五分六厘

五月卅日

内金百兩也 鳴利殿

五月卅日

同三拾兩也 日野任殿

メ

差引

殘金百四拾貳兩貳朱ト拾匁三分四厘

此り金八兩貳分ト壹匁六分五厘

七月 十二月迄利

合金百五十兩三分四匁四分九厘

右

右

一 金貳兩也 常光院

懸金寅十二月

卯六月迄

八月十二日 野田村

添金

一 金貳拾兩也 正福寺殿受取

八月廿三日

一 金五兩也

仁八殿入

一 金貳兩也

長命寺殿入

此り壹分ト壹匁八分

九月
十二月迄 利

十月十三日

一 金三拾兩也

敬正寺殿入

一 金四兩也

仁平次入

此り壹兩ト壹匁貳分

十月
十二月迄 利

一 金壹兩也

常光院

懸金 七月
十月迄

十二月朔日

一 金貳百兩也

仁平次入

此り金貳兩也

入方 金貳百六拾七兩壹分三匁

十二月切

六拾兩貳分かへ

一 金五拾兩三分

平辨司 十八入

壹丸

五匁貳分四厘

売仕切正味金

是迄

惣差引

十二月卅日改

一 金百四拾壹兩貳朱ト

預り

四匁貳分四厘

正三三四

此利四兩貳朱ト六匁五分五厘

利足

三月二日

合百四拾五兩壹分貳朱ト三匁八分九厘

覚

十二月十一日

平辨司

十八入

貳丸

此分八分五厘九三七五

十二月切六拾兩貳分かへ

代金五拾壹兩三分三朱ト

三匁二分三厘

内金三分壹匁七分九厘 壹半引

又同壹分貳朱卜 高谷せわ料

大坂と下ちん

引而金五拾兩三分卜

五匁貳分四厘

一 平新田 十七入 四丸

此分壹駄六厘貳五

三月二日切五十八兩貳分替

代金六拾貳兩貳朱卜

壹匁八分七厘

内金三分貳朱卜 壹半引

三匁四分四厘

引而金六拾壹兩貳朱卜

五匁九分三厘

此り金貳分卜六匁六分四厘

二月廿五日
平鳳凰 十八入 五丸

此分壹駄四分〇六貳五

三月卅日切五十六兩貳分替

代金七拾九兩壹分貳朱卜

四匁六分八厘七

平緋袴 十八入 四丸

此分壹駄壹分貳厘五

三月卅日切五十六兩かへ

代金六拾三兩也

平緋緘 十八入 貳丸
十九入 三丸

此分壹駄四分五厘三

三月卅日切五十四兩貳分かへ

代金七拾九兩三朱卜四分六厘八

内三分壹朱卜貳匁三分四厘 四百六十目欠代

差引金七拾八兩壹分五匁六分貳厘

金 内金貳兩貳朱卜四匁六厘 壹半引

内金三兩壹分三匁七分貳厘 一半引

内卷分ト三匁 緋緘壹丸増弁金引

同壹両壹分貳匁六分四厘 緋緘五丸手板不足

同貳步壹朱 右九丸せわ料㊦

同三朱ト十六匁八分七厘 高谷四丸

同壹分ト十七匁三分四厘 新田四丸

同貳朱ト十八匁三分貳厘 緋司三丸

同壹分三朱ト十七匁三分九厘 鳳凰五丸

引残り

金貳百拾三両貳朱ト貳匁貳分四厘

又金貳百七拾四両三分十四匁八分九厘

又金五拾五両貳朱ト三匁七分九厘 三ヶ分仕切

合金三百三拾貳貳朱ト三匁六分八厘

内金百四十五両壹分貳朱ト 十二月差引残り三月二日

三匁八分九厘 迄金高

三月四日

金百九拾兩也

受取

此利壹兩三分貳朱壹匁九分

金三兩也

常光院懸金、

卯十一月 辰十月迄

惣差引金三百四拾兩壹分五匁三分九厘

過金拾兩貳朱ト壹匁七分三厘 預り

三緋袴 十八入 四丸

此分壹貳壹分貳厘五

三月卅日切五十兩かへ

代金五拾六兩壹分

内金三分ト五匁六分貳厘五 壹半引

内拾三匁五分三厘 手板不足

差引五拾五兩貳朱ト三匁三分四厘

伊勢屋源助様

六月廿八日

新田紅花 六十八 十七入四丸

内さし三袋

五十五兩上り

代金五拾八兩卜

永四拾三匁七分五厘

同日

十七入
十八入
貳

同撰雨同 七十袋

四丸

五十匁兩上り

代金五拾五兩卜

永七拾八匁貳分貳厘五

三百八袋

金百拾四兩卜廿匁匁八分七厘

一 永貳拾五匁

荷造懸り

一 同六匁貳分五厘

役永

一 同六拾七匁三分五厘

袋代

一 同三拾八匁六分四厘

大石田迄駄ちん

一 金壹兩卜七匁九分五厘

口錢

一 金壹兩卜七匁九分壹厘

目早口錢

一 金壹兩貳分

添金

五兩貳歩卜永貳百匁七分

合金百拾九兩卜廿四匁五分七厘

内

六月廿二日

金百兩也

山形へ十殿へ受取

七月三日

同拾九兩壹分

同 断

金百廿九兩壹分

一 金五兩也

畑中村三右衛門參宮二付

為替手形ニ而受取

一 金三兩也

長願寺様へ為替ニ而受取

此分先ニ而差引仕候

十二月十七日

平鳳凰

十八入

壹丸

此分壹駄壹分七厘八七

十二月切五十八兩替

代金六拾七兩三分三朱卜

壹匁八分五厘

内金壹兩壹匁分七厘 壹半引

引而金六拾六兩三分式朱卜四匁四分五厘

此利壹兩壹分五匁式分五厘 右正二分利足

△平鳳凰 十八入 五丸

此分壹駄四分〇六式五

三月二日切

代金八拾兩式朱卜壹匁八分七厘

△平高谷 十八入 四丸

此分壹駄壹分式厘五

三月二日切

代金六拾六兩壹分式朱

二口

△金百四拾六兩式分壹匁四分七厘

内金貳兩式朱卜四匁三分八厘 壹半引

同壹分四匁 鳳凰(三)せわ料

同三拾壹匁四分 高谷積合勘三郎船入用

同拾三匁七分 吉紅印積合八九郎船入用

△金貳兩壹分式朱卜

五十三匁四分四厘

差引金百四拾三兩壹分

八分九厘

十二月卅日

一 金五拾兩也

相渡し

此り壹兩也 右正二分利足

△金貳百六拾貳兩壹分式朱卜

銀拾匁五分九厘

内

一 金百廿兩也 十二月朔日預り

此り三兩式分六匁 二ヶ月利

一 同拾五兩也 十一月六日

此利式分六匁 四ヶ月利

一 同拾兩也 二月七日

此り六匁 壹ケ月利

入方

金百四拾九兩拾八匁

一 金壹兩三分

差荷四丸

式匁四分七厘

手板不足

差引金百拾壹兩壹分貳朱卜

銀四匁七分貳厘

三月二日受取

一 金三兩也 長願寺殿為替ニ而受取

此利金貳朱卜 辰二迄

六匁九分 八ケ月利

辰正月九日 大坂

一 金四拾兩也 近江屋太右衛門殿

為替受取

此利金三歩と銀三匁 正二分利足

三月六日

一 金壹分ト六分 仁平次受取

合

金五拾兩也 預り

辰新花仕入前金

寛

卯正月八日

畑中村

一 金五兩也

三右衛門殿を為替ニ而受取

此利金貳歩貳朱卜 辰二月迄

銀四匁五分

十四ケ月分

卯六月廿五日

谷地

一 金三兩也 長願寺殿為替ニ而受取

此利金貳朱卜 辰二迄

六匁九分 八ケ月利

辰正月九日 大坂

一 金四拾兩也 近江屋太右衛門殿

為替受取

此利金三歩と銀三匁 正二分利足

三月六日

一 金壹分ト六分 仁平次受取

合

金五拾兩也 預り

辰新花仕入前金

嶋屋利助殿

木綿仕入

百壹番 十七式

竟印 納戸縮面形

一 五百拾六匁	三十反	一 貳百目	納戸嶋海
春印	十七式		拾反
一 四百三拾匁	同 廿五反		ノ八十反
霞印	十六七	一 九匁五分	包老反
一 四百拾七匁五分	同 廿五反	一 拾式匁五分	入用
	ノ八十反	ノ老×四百匁	
一 九匁五分	包老反	百三番	甘〇
一 十式匁五分	諸入用	鳴印	納戸鳴海
ノ老×三百八拾五匁五分		一 四百匁	廿反
百式番	十七式	龜印	十九五
道印	納戸縮面形	一 三百九拾匁	同 廿反
一 五百拾六匁	三十反	宝印	廿一
露印	十六七	一 五百廿五匁	紺無双廿五反
一 三百三拾四匁	同 廿反	定印	甘〇三
條印	十六四	一 三百四匁五分	紺中形十五反
一 三百廿八匁	同 廿反		ノ八十反
鳴印	甘〇	一 九匁	包老反

一 十式匁八分 入用

ノ 卷メ六百四拾匁匁

百五匁ん

十六三

摩印

薄花色

百四匁ん

廿一式

一 四百七匁五分

廿五反

庄印

紺中形

慶印

十六三

一 三百拾八匁

十九反

一 四百八十三匁

同卅反

易印

廿一

孝印

十五八

一 五百廿五匁

同廿五反

一 三百九拾五匁

同廿五反

定

廿〇三

裏

十五八

一 貳百三目

同拾反

一 三百拾匁

同廿反

鹿印

廿一

梅

十五四

一 四百廿匁

同廿反

一 三百八拾匁

同廿五反

鳴印

廿〇

ノ 百廿五

一 貳百目

納戸鳴海十反

一 九匁

包卷反

ノ 八十反

一 十式匁五分

入用

一 八匁五分

包卷反

ノ 卷メ九百九十七匁

一 十式匁五分

入用

ノ 卷メ六百八十七匁

百六番

廿一

静	一 三百拾五匁	紺中形	一 式百六十式匁五分	同十五反	十七五
華	一 五百廿五匁	十九反	華	十五五	
寿	一 貳百五匁	同廿五反	一 三百八拾七匁五分	同廿五反	
桂	一 貳百五匁	廿〇五	梅	十五八	
慮	一 五百廿五匁	同拾反	一 三百九拾五匁	同廿五反	
一 九十目	十八	廿一	一 八匁五分	包卷反	
一 九匁	けん坊五反	同廿五反	一 拾式匁五分	入用	
一 十式匁五分	ノ八十反	十八	ノ卷メ七百十三匁五分		
ノ卷メ六百八拾壹匁五分	包卷反	十八	百八番	十七	
百七ぼん	入用	十八五	桜	薄花色	
萩印	薄花色	三十五反	一 八百五拾匁	五十反	
一 六百四拾七匁五分			桃	十六五	
			一 五百七拾七匁五分	同三十五反	
			椿	十六	
			一 貳百四拾匁	同十五反	

百反

一 八匁五分

包卷反

一 拾貳匁五分

入用

百壹メ六百八拾八匁五分

百壹メ八百六十式匁五分

百廿反

一 八匁五分

包卷反

一 拾貳匁五分

入用

百九ばん

十五

宝印

十七五

柳

薄花色

兼堅又烈

一 三百七拾五匁

廿五反

一 三百五拾匁

廿反

椿

十六

惠印

十七

一 百六十匁

同十反

一 四百廿五匁

廿五反

桐

十四五

芸印

十七

一 貳百八十四匁

廿反

一 四百廿五匁

廿五反

何

十五五

藤印

十六五

一 三百八十七匁五分

廿五反

一 四百拾貳匁五分

廿五反

平

十五五

口印

十六五

一 三百八十七匁五分

廿五反

一 四百拾貳匁五分

廿五反

春

十六五

一 八匁五分

包卷反

一 貳百四拾七匁五分

十五反

一 拾貳匁五分

入用

百廿反

外二金巻両也 十一月巻ヶ月利足

ノ式メ四拾六匁

合金九両三分式朱ト六匁式分五厘 二月七日渡し

惣ノ拾七貫百式匁五分 数九百六十五反

三〇ツ、

内式メ八百九十五匁引

本板ノ

引而拾四貫式百七匁五分

一 金八両也

廿巻疋

廿〇金

右ノ金八両也

三月二日渡し

右ノ六月朔日

浅き

一 金百両也

いセ利殿ノ相渡し

一 拾匁五分

文羽切

一 金百両也
十二月朔日

いセ茂殿ノ相渡し

一 六匁六分五厘

切三尺五寸

ノ銀拾四貫

一 壹匁

仕立ちん

差引而 銀式百七匁五分

一 壹匁

袖口代

此金式両三分式朱ト六匁式分五厘

一 六匁八分

きし鳴切

一 金式両也

十一月廿五日かり

一 四匁五分

同

一 金四両也

十二月廿二日かり

一 壹匁五分

仕立ちん

ノ金八両三分式朱ト六匁式分五厘

ノ三拾壹匁九分五厘

右の三月四日

金巻向ト八十八匁六分 相渡し

ノ巻メ四百九十七匁

六百巻番

十八

鶴印

納戸鳴海

一 百八拾匁

拾反

鶴印

廿〇五

一 五百拾式匁五分

廿五反

鳥印

納戸念双

一 四百五十匁

廿五反

鷺印

廿〇七

一 四百拾四匁

紺無双形

一 四百九十式匁五分

廿五反

一 八匁

ノ八十反

一 拾壹匁五分

包巻反

一 拾壹匁五分

入用

ノ巻メ五百七拾六匁

一 八匁

包巻反

一 拾壹匁五分

入用

京鏡（記）通り

日野屋徳右衛門殿分

六百番

十七八

鵬印

納戸縮面形

一 四百四十五匁

廿五反

鵠印

十九七

紺済染

一 四百九十式匁五分

廿五反

鶴印

十八

納戸鳴海

一 五百四十匁

三十反

ノ八十反

一 八匁

包巻反

一 拾壹匁五分

入用

一 百八拾匁

鶴印

一 五百拾式匁五分

鳥印

一 四百五十匁

鷺印

一 四百拾四匁

一 四百九十式匁五分

一 八匁

一 拾壹匁五分

一 拾壹匁五分

ノ巻メ五百七拾六匁

一 八匁

一 拾壹匁五分

拾反

廿〇五

廿五反

納戸念双

廿五反

廿〇七

紺無双形

廿五反

ノ八十反

包巻反

入用

ノ八十反

包巻反

入用

鷺印

紺中形

七百廿匁 引

一 五百拾七匁五分

廿五反

引而三貫九百六十三匁五分

鷺印

十八

内寅十月三日 差引返シ

納戸中形

銀三百六十八匁五分六厘

一 四百五十匁

廿五反

此り拾八匁四分貳厘 正月も五月卅迄利

鷺印

廿〇八

紺中形

卯五月卅日

一 五百廿匁

廿五反

一 金三十拾兩也

伊勢利殿入

鷺印

廿〇七

紺無双形

此銀貳メ百匁

五反

差引而

八十反

卷メ四百七拾匁五分貳厘

一 八匁

包卷反

此り五十九匁六厘

六月も八朱利
十月迄

一 拾卷匁五分

入用

合金メ五百卅五匁五分三厘

一 卷メ六百拾匁五分

右も 十一月五日

金拾五兩也 渡し

一 四貫六百八拾三匁五分

銀卷メ五十匁

内札も三〇引

又引而銀四百八十五匁五分三厘

外

卯十月

一 拾六匁五分

納戸老反

一 三百八十六文

一 三百八十文

右拂不足

一 三百五十文

箱代

ノ 拾六匁五分老ノ百十六文

又ノ 五百拾三匁二分四厘

三月五日

此金七兩老分四匁三分四厘 渡し

奈良屋権兵衛様

木綿老番

一 八百三拾九匁二分

反ノ 百廿老反

式番

一 七百七拾九匁二分

反ノ 百廿一反

三番

一 老ノ 六拾七匁二分

反ノ 百廿一反

四番

一 老ノ 五百五拾三匁二分

反ノ 百八十一反

五番

一 老ノ 四百八拾六匁八分

反ノ 百八十一反

ノ 銀五貫七百廿四匁八分

古手六番

一 式ノ 九百九拾式匁八分

単物八速入

七番

一 三ノ 四拾匁五分

単物八速入

八番

一 式ノ 四百廿五匁五分

秋五速入

九番

一 式ノ 三百七拾三匁九分

五速入

拾番

- | | | | |
|--------------|-----|--------------|-----|
| 一 壹×六百三匁貳分 | 七速入 | 一 貳×三百卅匁七分 | 七速入 |
| 拾壹番 | | 貳拾番 | |
| 一 壹×六百拾七匁三分 | 七速入 | 一 壹×九百六十一匁七分 | 五速入 |
| 拾貳番 | | 廿壹番 | |
| 一 壹×五百九拾三匁六分 | 七速入 | 一 壹×九百三匁貳分 | 七速入 |
| 拾三番 | | 廿貳番 | |
| 一 壹×八百九拾三匁九分 | 五速入 | 一 壹×九百八十三匁六分 | 五速入 |
| 拾四番 | | 廿三番 | |
| 一 壹×八百六拾四匁五分 | 五速入 | 一 壹×九百九十三匁八分 | 五速入 |
| 拾五番 | | 廿四番 | |
| 一 壹×八百八拾八匁八分 | 五速入 | 一 壹×拾三匁貳分 | 七速入 |
| 拾六番 | | 四拾×貳百拾三匁八分 | |
| 一 壹×九百拾四匁三分 | 五速入 | 三双引 | |
| 拾七番 | | 正味拾三×四百四匁六分 | |
| 一 壹×五百廿七匁八分 | 七速入 | 合拾九貫百廿九匁四分 | |
| 拾八番 | | 外二 | |
| 一 壹×四百九拾壹匁五分 | 七速入 | 一 百三拾四匁五厘 | 口錢 |
| 拾九番 | | 一 三十三匁六分 | 文庫代 |

一 拾匁 七嶋五反

一 六十九匁九分 荷造懸り

一 五十一匁七分五厘 浜出し山廻し

一 貳百三十匁 元船運賃

一 五百廿九匁三分

合銀拾九貫六百五十八匁七分

此り壹メ三百七拾六匁壹分 十二月迄利足

一 貳拾壹メ三十四匁八分

外二百九十六匁五分七厘 三ヶ月利まし

右

七〇五七 金貳兩也

一 拾四メ百拾四匁 十二月着

三次郎様渡し

此り百四十一匁壹分四厘 壹ヶ月り

一

七〇五七 金六拾兩也

一 四貫貳百三十四匁壹分 十二月着渡し

御同人様

此り四拾貳匁三分四厘 壹ヶ月利

一 拾八貫五百三十一匁六分四厘

辰二月二日

一 金三拾兩也 近新殿

六九五 貳貫八十五匁 為替ニ而渡し

内廿匁八分五厘 壹ヶ月利引

卯正月朔日改 寅為替金

一 金六兩三步三朱ト 差引返

此り三步壹朱ト壹匁壹分三厘 十二ヶ月分

一 金七兩三分ト壹匁壹分六厘

七〇 此銀五百拾貳匁五分

二月九日 源助殿相渡し

一 金三步

七〇 此銀五十貳匁五分

渡方

一 銀貳拾壹貫百六十匁八分三厘

差引銀百廿六匁三厘 かし

内金壹分 卯為替差引ニ而かり分引

惣差引 辰正月改

銀五十七匁五分四厘 かり

此分辰年差引ニ入

十二月廿二日分
一 同五兩也
弥平様を渡し
七〇九
銀三百五十四匁五分
銀七メ四百四拾四匁五分
差引十二月改
殘金三百九拾六匁七分 不足

新庄

河内屋久左衛門行

卯年 古手廿四丸 銀入高

一 七メ三百六拾五匁三分三厘

此利銀四百七拾八匁七分四厘 十二月半迄

十二月半迄改
銀七メ八百四拾四匁壹分貳厘

右

十二月廿三日

一 金百兩也

七〇九

銀七メ九十匁

大坂 羽久殿を渡し

弥兵衛様を

一 金拾兩也 十月七日入
此り壹分三匁 三ヶ月利
一 金拾五兩也 十二月四日入
此り貳朱ト壹匁五分 壹ヶ月利
一 金廿三兩貳分 十二月廿四日入
一 金三拾兩也 たつ正月十日入
一 金三拾三兩貳分 たつ三月三日入
一 金拾四兩也 たつ四月廿四日入
銀百廿六兩也 売代
外ニ壹歩貳朱ト四匁五分 利金

内金三兩貳分 廿四反分酒田送り

金貳分 清川まし

金壹兩三分ト銀三匁 御役

金貳分七百八十文 駄ちん

金壹兩貳分 渡し入用

金貳兩貳分壹匁貳分 河内屋口銭

金拾兩壹分貳朱ト貳匁七分

外

一 金貳朱ト壹分九厘 廿兩ト半月

一 金貳分貳朱ト貳匁七分 卅三兩貳分ト二ヶ月

利

一 金壹分貳朱ト壹匁五分 拾兩ト四ヶ月利

金壹兩貳朱ト五匁七分

引而金百拾四兩三分 壹匁七分

十二月朔日 一 金三百兩也 此り拾貳兩也

正月廿日 一 金五拾兩也 此り壹兩壹分

正月廿日 一 金貳拾兩也 此り貳分也

三月四日 一 金三百兩也 此り金三兩也

三月卅日 一 金貳百八拾兩也 三月卅日

三月卅日 一 金九十五兩也 古手仕入前々引

三月卅日 一 金百八十五兩也

いセ茂殿ら 小端彦殿ら 立下し

いセ茂殿ら 川村氏ら 為替ニ而 渡し

いセ茂殿ら 京万次殿ら 江渡し

いセ茂殿ら 五右衛門殿ら 返し

いセ茂殿ら 古手仕入前々引

いセ茂殿ら 古手仕入前々引

いセ茂殿ら 古手仕入前々引

差引 三月卅日

卯秋ら 辰為替金渡方

金百八十五兩也

金八百七十壹兩ト三分

卯為替金

十二月五日

入金貳百兩也

此り八兩也

十二月廿五日

入金百兩也

此り三兩也

辰月十日

入金三百兩也

此り七兩貳分

辰二月朔日

入金貳百兩也

此り金四兩也

金八百廿貳兩分也

差引 三月卅日改

金四十九兩壹分

此り貳分也

表屋

伊右衛門殿

三月卅日迄四ヶ月分

表屋

伊右衛門殿

三ヶ月分

御同人

御同人

二ヶ月分

かし

壹ヶ月

右 四月廿一日

本間長三郎殿

金五拾兩也

河内屋殿行金子ニ而受取

但四月廿日受取候得共、四月卅日差引之誤リニ而入

為替金差引

金壹分

五月二日 かり

此分卯古手代と差引仕候

三月卅日

一 金八拾五兩也

高橋五右衛門殿分

同

一 同九拾五兩也

同 断

金百八拾兩也

相渡し

此内八拾兩也

卯古手代と渡し

内百兩也

辰古手代仕入前金ニ

相渡し

金

表屋庄左衛門様

壹番

一 四百九十三匁五分 単古手物

一 四百八十三匁六分

一 五百九匁壹分

一 四百八十六匁

一 四百九十匁八分

一 四百九十四匁壹分

一 五百匁匁

一 四百九十七匁七分 八速入

一 三貫九百五十五匁八分

三双引

正ミ銀壹メ三百拾八匁六分

外 拾四匁貳分五厘 荷造懸り運賃入用

一 壹メ三百卅貳匁八分五厘

此り百三十三匁貳分八厘 十二月卅日迄

右卅日改

一 壹メ四百六十六匁壹分三厘

一 金拾兩也 寅十二月五日前金渡し

六八七

此銀六百八十匁

此り八十九匁三分七厘 十三ヶ月

十二月卅日

金拾五兩也

大坂羽久殿

六九三 壹メ三十九匁五分

一 壹メ八百拾五匁八分七厘

差引

過銀三百四拾九匁六分八厘

十二月十五日

内金五兩貳分 野村屋文藏殿

年賦金取替引

此銀三百四拾六匁五分

又差引

銀三匁分八厘過

かし

内式百四十三匁六分 操綿卅本

運賃濟之處引

辰二月十三日

京都_ニ而

引而式百九十四匁四分三厘

一金五兩也

辰古手仕入前金ニ相渡し

此金四兩壹分ト三匁四分三厘

ノ金拾三兩壹朱ト拾匁匁式分三厘

大坂高来橋

羽州屋久右衛門様

玉砂糖代

寅差引残り

酒田_ニ而拂分

一金壹分三朱ト六匁五分四厘 預り

四八

卯仕入

一金拾七兩式分式朱ト四百六文 拾掇売高

一金五兩壹分ト

たこふ代

四式 廿四掇

百拾七匁六分 外ニ諸仕切入高

一金五拾五兩式朱ト六匁七分八厘 売高

此金壹兩式分式朱ト七匁式分六厘

四三五

一 九拾六匁

桂捧代ノ高

一金七兩ト六匁九分 三掇同断

六八

四式

四月中書出表写し

正月_ノ四月迄

一同五兩ト式匁壹分七厘 式掇同断

一 五百三拾七匁九分九厘

運賃

四式大目切

一同四兩式分式朱ト式匁五分壹厘 式掇同断

ノ金七拾壹兩三步拾八匁三分貳厘

内諸懸り六匁三分貳朱卜銀貳匁貳分貳厘

引而

金六拾五兩貳朱卜壹匁七分

合金八拾貳兩三步四匁七分七厘

右も

七月廿日

金七拾兩也

七月廿六日

同廿五兩也

渡し

渡し

砂糖

貳百六番

一 廿四メ目

貳百八ばん

一 廿四メ九

貳百十貳

一 廿三メ八

貳百十五

一 廿壹メ百 此樽封印無事補無事、乍去なかみ大手付

貳百卅貳 有之^二而、売^レ五百目切

一 廿四メ四

貳百廿九

一 廿四メ六 此分封印無事ニ候得共、売^レ目切

貳百四十一

一 廿三メ百

一 廿四メ百

一 廿四メ五 此分いたみ無之候得共、売^レめ切

ノ貳百拾四メ五百目

内三メ五百目 切

内三拾六メ目 風袋引

ノ

正^ニ百七拾五貫目

此斤八百七拾五斤

九月卅日 切四三かへ

代金貳拾兩壹分五匁九分貳厘

卯正月送り

服部

一 七百八十九匁五分

舞頭

七〇銀

煙草代

此金拾壹兩壹步ト式匁

一 銀貳百五十匁

油屋弥之吉船

八分五厘

荷手配當

此金三兩貳分式朱ト四匁三分五厘

〆金百三拾兩三分三朱ト

銀廿八匁式分七厘

六月此金壹分式朱ト式五匁五分三厘

十月と十二月迄

一 金三分也

玉砂糖代、油屋雜事御取替金利足

〆金百三拾貳兩壹朱ト式匁五分三厘

差引

殘金三拾七兩壹朱ト銀式匁五分三厘

十二月廿三日
一 金百兩也 ならや權兵衛殿受取

此利式步也 右半月利足

十二月廿六日
一 金拾五兩也 彦七殿為替受取

惣合

〆金百五拾貳兩貳分壹朱ト

銀式匁五分三厘

右は紅花代

平高谷 十九入 四丸

此分壹駄壹分八厘五

十二月切六拾壹兩かへ

代金七拾貳兩壹分式匁壹分

平緋司 十八入 四丸

此分壹駄壹分式厘五

十二月切六十一兩かへ

代金六拾八兩貳分式朱

ノ金百四拾兩三分式朱ト式匁壹分

内卷兩壹分式朱ト式匁九厘 卷分引

引而

金百三十九兩貳分式朱ト壹匁六分壹厘

又差引

殘金拾貳兩三分三朱ト銀九分式厘

右

金拾三兩也三月卅日

京いせ茂殿相渡し

越中福岡

嶋倉屋吉左衛門様

寅青芋代笠代差引残り

一 金拾六兩三分式朱ト かし

銀五匁四分

此り金三分式朱ト三匁三分六厘

合金拾七兩三分式朱ト壹匁三分六厘

内正月十三日 山形鈴木彦太郎殿

金拾兩也 受取

差引

殘金七兩三分式朱ト壹匁三分六厘

此り此(ノ)式分五匁四分 正平と八月卅日迄

卯仕入

團印 百五十番

京錦 百四十

壹壹五 代百六十壹匁

百五十一番

雲錦 七十

壹三五 代九十四匁五分

京柳 六十

ノ百三十

壹三五 代八十一匁

ノ百七十五匁五分

百五十式番

金天山 百三十

卷三五 代百七十五匁五分

百五十三ばん

京錦 百かい

卷卷五 代百十五匁

京桜 四十

卷卷 代四十四匁

百五十九匁

百五十四番

善田 百三十

卷〇五 代百三十六匁五分

ノ

百五十五番

錦石 百かい

卷式五 代百廿五匁

一花見 三十

卷卷五 代三十四匁五分

百五十九匁五分

百五十六番

金天山 百三十

卷式五 代百六十式匁五分

ノ

百五十七番

日本一 式十

卷七五 代三十五匁

雲多 八十

卷五 代百廿匁

市川 式十

卷四五 代廿五匁

今川 十

卷三五 代拾三匁五分

百九十七匁五分

百五十八ばん

三朝一 廿三

壹四五 代三十三匁五分

雲錦 五十

壹貳五 代六十貳匁五分

金錦 三十

壹壹五 代三拾四匁五分

百三十四匁五分

百五十九匁

天上御召 六十

壹七 代百貳匁

天上 三十

壹四 代四十四匁

京桜 五かい

壹五 代七匁五分

百五十一匁五分

百六十番

京柳 十

壹〇三 代拾匁三分

極天 七十

壹三 代九十一匁

京錦 廿

壹〇三 代廿匁六分

百廿壹匁九分

惣

銀壹メ七百廿九匁九分

内

一 金壹分貳メ六百六十一文 清川立替

一 壹メ五百五十一文 同断

一 五百七拾六文 同断

壹分

四メ七百八十八文

此金貳分貳朱ト七百三十八文

合金三分貳朱ト七百三十八文

外百四十七文 平替

金壹兩ト八十五文 替り

引金貳拾七兩三分四匁壹分

惣差引 八月卅日改

殘金拾九兩壹分四匁八分四厘

右金十二月三日

京都六角堺町西二入

万甚殿^も為替^二而渡し

西村屋清九郎殿

十九入 壹丸

十八入 三丸

△平高谷

ノ八十四 卯十一袋

此分壹駄三分壹厘貳五

○金六三かへ

代金八拾貳兩貳分三朱

一 日本緋 八袋

此分壹分貳五

同 四五かへ

代五兩貳分貳朱

ノ金八拾八兩壹分壹朱

一 △平鳳凰 十八入 四丸

此分壹駄壹分貳厘五

三月二日切五六貳かへ

代金六拾三兩貳分壹朱

ノ金百五十一兩三分貳朱

内金貳兩壹分壹匁六分八厘 壹半引

内 壹分壹朱 高紅五丸せわ料

内 壹分壹朱ト 鳳凰手板不足分

六匁四分六厘

内 三分貳朱 去冬差引元替

七匁五分 雜事入用

ノ金三兩三分拾五匁六分七厘

差引

金百四十七兩三分六匁八分三厘

二月十二日

内金八拾八兩也

受取

又引而

金五拾九兩三分下 三月二日受取

六匁八分三厘

西村屋清右衛門殿

一 平新飛 十七入 四丸

此分巻駄〇六厘式五

三月二日切五六かへ
代金五拾九兩式分

内金三分式朱ト 壹匁五厘 壹半引

内金式歩式匁三分七厘 手板不足

引而金五拾八兩下四匁八厘

三月二日 受取

岐阜屋八郎兵衛殿

十二月十八日
一 平錦山 十八入 四丸

此分巻駄壹分式厘五

三月二日切六十兩かへ
代金六拾七兩式歩

一 平新飛 十七入 四丸

此分巻駄〇六厘式五

三月二日切五八かへ
代金六拾壹兩式分式朱

金百廿九兩式朱

内金壹兩三分式朱ト三匁七分一厘 壹半引

引而金百廿七兩式朱ト三匁七分九厘

内金三拾兩也 二月二日受取

此り壹分ト三匁 一ヶ月利

内金式兩壹分壹朱三匁八分五厘 手板不足

内 九匁 雜事入用

内金壹兩式朱ト六匁壹分 三印手板不足

引而金九拾三兩式朱ト式匁五分九厘

三月二日 受取

三稀物 十八入 貳丸

同 同 十九入 貳丸

ノ

此分壹駄壹分五厘六

五十四兩かへ

代金六拾貳兩壹分貳朱卜三匁七分五厘

三新田 十六入 壹丸

同 同 十七入 貳丸

ノ

此分七分八厘壹分五

五十一兩かへ

代金三拾五兩三分五匁六分貳厘

ノ 代金百貳兩壹分壹匁八分七厘

内金壹兩貳分貳匁五厘 壹半引

内金壹兩貳朱卜六匁壹分 手板不足

ノ

差引金九拾九兩貳分壹匁貳分貳厘

右金子三月卅日渡し手形^二而受取

総屋久三郎殿

二月廿二日

代金百八兩三分貳朱卜五分三厘

ノ 平極撰

此分壹駄〇六厘貳五

五月五日切五十四兩かへ

代金五拾七兩壹分貳朱卜

ノ 平吉紅

十八入 三丸

十九入 壹丸

此分壹駄壹分四厘〇六分五

五月五日切五十六兩貳分かへ

代金六拾四兩壹分貳朱卜四匁貳分五厘

ノ 代金三百拾六兩貳分貳朱卜壹匁四分八厘 壹半引

ノ 差引

金三百拾壹兩三分貳朱卜壹匁五分

内金三兩卜七匁壹分貳厘 右卷ヶ月利足引

又金壹兩壹分貳朱ト

又金貳分ト三匁貳分四厘 右壹ヶ月利足

セわ料

又金壹分貳朱ト

手板不足

四匁五分四厘

五匁五分九厘

△一江セわ料共

又金貳歩也

△平極撰印、吉紅印、田殿一江セわ料

差引

又金壹分貳朱ト九分

△平玉雨印手板不足并△一殿一江

金五拾四兩壹分貳朱ト五分四厘

セわ料

又金壹兩貳朱ト

△平金光印手板不足

貳匁貳分七厘

△一江セわ料共

三月四日
入金三百六拾兩也

三月卅日切手形ニ而受取

ノ金六兩壹分貳朱ト拾四匁八分三厘

内五匁貳分九厘

返し

差引金三百五兩壹歩ト

銀壹匁六分七厘

金田屋傳兵衛殿

覚

二月廿九日
三天下一

十八入 四丸

一 百四拾三匁

別御誂萌き、表紺地、御紋柏たば

此分壹駄壹分貳厘五

ねのし付、裏萌黄、くり綿式メ式

五月五日切五十兩かへ

代金五拾六兩壹分

匁入

一 四百八拾匁

八〇、布領、五布五布、六帖、表

内金三分五匁分貳厘五 壹半引

引而

紺地文ケ、四尺九寸、紋丸之内ニ

一 四百九拾五匁
三ツ柏付、萌黄裏、綿巻メ百匁入
四五かへ、敷布領、三布三布、両

寅之年新庄行

古手代差引

面引返し、裏表のそき地紺形付、

一 銀七貫弍百九十八匁九分

廿三箇、掛り共、

丸中ニ菊之模様、綿八百匁入

六八七

ノ拾巻

此金百六匁と

十二月四日相渡し

右細與殿分

永廿四匁三分老厘

一 七百五拾匁

百四十三かへ、夜着五つ、表紺た

右売代金

け、四尺七寸、ふき七寸、都合五

十月十八日

一 金弍拾弍匁也

尺四寸、紋違鷺の羽、すみことよ

十二月四日

一 金拾四兩三分

ふ唐草、裏薄花色、綿弍メ式匁め

同 十九日

一 金弍拾兩也

入

一 四百匁

布領五五、紋違鷺羽、表紺地唐草、

同 十九日

一 金弍拾五兩也

裏薄花色

同 二月十日

一 金三拾兩也

一 四百五拾匁

敷布領、三三、拾帖、丈ケ四尺七

同 四月十日

一 金拾兩也

寸、尤両面引返し也

同 四月十日

一 金百廿匁兩三分也

ならや権兵衛殿

内金三兩と三十八匁九分三厘 酒田懸り

辰十一月十五日渡し

内金貳分六百九十五文 駄ちん

又金壹兩貳分六百六文 御役

又金貳分 清川立替

又金壹兩貳分 新庄行折々入用

又金貳兩壹分 河内屋口銭

古手屋長右衛門様

寅青芋代差引返分

〆金九兩三分壹朱

④一 金拾貳兩壹分貳朱ト三匁六分

差引

卯二月卅日元かし

金百拾壹兩三分三朱也

此利金壹兩と 卯十一月卅日迄

内銀六匁 廿兩利半月分

銀七匁壹分九厘 九ヶ月利

金壹分貳朱 廿五兩利壹ヶ月半

④〆金拾三兩貳分ト貳匁五分

金貳分貳朱ト貳匁九分 卅兩利二ヶ月半

金壹分貳朱ト四匁九分 十兩利四ヶ月半

引而

金百拾兩壹分壹朱ト貳匁

三月十日 布領八状
入銀百九十一匁七分

元金と引残り

一 金四兩と貳匁

十月十四日 綿入壹つ
入 卅三匁

此返り差引書

銀貳百四十一匁九分五厘
此金三兩壹分貳朱ト三匁八分四厘

十月廿四日
一 金三兩也

正金預り

此り壹匁八分

壹ケ月り

十一月卅日
一 金拾五兩也

正金預り

△金廿壹兩壹分貳朱ト五匁六分四厘

差引面

十一月卅日改面

金七兩三分貳朱ト三匁壹分四厘 預り

此り金貳分貳朱ト五分 卯十二月も辰七

月迄八ケ月分

辰正月十九日

一 金四拾兩也

預り

此利金貳兩貳分六匁

六ケ月半利足

同二月二十九日
一 金貳拾兩也

預り

此利壹兩也

五ケ月利

同三月九日

一 貳百四拾五匁七分

布領十帖

此り拾貳匁四分八厘

五ケ月利

△貳百五十七匁九分八厘

一 金壹兩三分三朱ト

△平五十沢五反

壹匁五分六厘

同造合 壹反

一 金壹兩壹分

手板不足

一 金壹兩壹分

△平七夕 四反

七匁六分貳厘

手板不足

一 三拾六匁

右拾反、右御拂

△金七拾五兩三朱ト

銀三百拾貳匁八分

此金四兩貳分

合金七拾九兩貳分三朱

青芋仕切

△平七夕ムク

貳駄

辰七月卅日切十七兩貳分かへ

代金卅五兩也

同七夕貳番

四速

同五十沢

式駄片馬

伊勢屋利右衛門様

六速四本

△平鳳凰 十八入 五丸

ノ三駄

添金三分也

辰七月卅日切十五兩式分かへ

同新田 十七入 四丸

代金四拾六兩式分

添金三分也

二口合金八拾毫兩式歩

同大刀 十九入 式

内五匁

切口外引

十八入 四丸

内十四匁五分

伏見より木津迄夕(駄)ちん

添金三分也

又十九匁五分

木津ちなら迄夕ちん

同緋司 十八入 壹丸

ノ三十九匁

十九入 式丸

此金式歩壹朱

添金式分也

差引八拾兩三步壹朱

同高谷 十九入 四丸

惣差引

添金三分也

辰七月卅日改

同玉雨 十八入 式丸

金壹兩壹分

かし

添金式分也

同金光 十七入 六丸

添金壹兩也

△一極撰 十七入 壹丸

十八入 三丸

添金三分也

同緋緘 十八入 壹丸

十九入 四丸

添金三分也

同玉光 十六入 三丸

十七入 貳丸

添金三分也

同緋司 十八入 四丸

添金三分也



伊勢屋源助様

△平鳳凰 十八入 壹丸

十九入 三丸

添金三分也

同極撰 十七入 四丸

添金三分也

同吉紅 十九入 壹丸

十八入 三丸

添金三分也

同高谷 十八入 四丸

添金三分也



△新田 十七入 四丸

添金三分也

同撰雨 十七入 貳丸

十八入 貳丸

添金三分也



岐阜屋八郎兵衛様

△平錦山 十八入 四丸

添金三分也

同新飛 十七入 四丸

添金三分也

添金三分也

同高紅 十八人 三丸

十九人 壹丸

同高紅造合 十卷
本紅 八袋 壹丸

添金三分也

吉文字屋彦市様

△平鳳凰 十八人 五丸

添金三分也

同新飛 十八人式 四丸

添金三分也 十七人式

錦屋勇藏様

△平緋緘 十八人 貳丸

十九人 三丸

添金三分也

美濃屋忠右衛門様

△平極撰 十七人 四丸

添金三分也

西村屋清九郎様

△平鳳凰 十八人 四丸

添金三分也

同緋司 十八人 四丸

添金三分也

西村屋清左衛門様

△平新飛 十七人 貳丸

十八人 貳丸

添金三分也

最上屋喜八様

平雨錦 十八入 壹丸
十九入 三丸

添金三分也

古手屋長右衛門殿行

平五十沢 白苧 五丸

六速

同七夕 白干苧 四丸

式番 四速

五駄 酒田迄駄運ちん濟

覚

紅花元上り

平錦山 七十式

五拾貳兩貳朱替

代金五拾八兩貳分壹朱卜三百五十文

同雨錦 七十五

五拾貳兩三分貳朱替

代金六拾貳兩卜貳百文

同高谷 百四十八

五拾六兩貳朱替

代金百貳拾九兩三分五匁五分八厘

同鳳凰 三百廿七

五拾三兩三分三朱替

代金貳百七拾五兩壹朱卜貳百文

同新田 百三十式

五十七兩三分替

代金百廿兩貳朱卜百文

同高紅 八十四

五拾七兩貳分替

代金七拾五兩壹分三朱卜百九十文

同極撰 貳百七

五拾壹貳分壹朱替

代金百六拾六兩三分貳匁四分五厘

同緋司 貳百袋

五十五替

代金百七拾壹兩三分貳朱卜百文

同新飛 貳百六

五十三兩壹分壹朱替

代金百七拾壹兩貳分三朱也

同緋緘 百八十七

五十三兩壹分三朱替

代金百五拾三兩貳分三朱

同吉紅 七拾三

五拾三兩壹分三朱替

代金五拾九兩壹分貳百文

同大刀 百十袋

五拾壹兩替

代金八拾七兩貳分三朱

同撰雨 七十

四十九兩壹分貳朱替

△平大刀 十八入 四丸

十九入 貳丸

△

此分壹駄七分壹厘八七五

四月世日切五十兩かへ

代金八拾五兩三分三朱

二月廿三日

△平玉南 十八入 貳丸

同金光 十七入 六丸

此分武駄壹分五十式五

四勝世日切 五十兩貳分かへ

代金五拾四兩壹分 八十式

同玉光 八十式

四十八兩三分壹朱替

代金六十式兩貳分貳朱也

同玉雨 三十六

四十兩貳分壹朱替

代金貳拾三兩三朱卜貳百四十文

同緋袴 七十式

五十四兩三分貳朱替

代金六拾壹兩貳分式朱卜六匁三分

青芋上り

△平五十沢 式駄片馬

六速

代金四拾四兩也

同七夕 式駄四速

代金廿九兩壹朱

△金七拾三兩壹朱

(裏表紙)

「羽州最上要害

本 木 林 兵 衛

仁 平 次 』

六三 紅芋扣覚帳 (小横帳)

(表紙)

「乙 安政貳年

紅芋扣覚帳

卯 九月吉日 』

丹後湊

小西十蔵船

七月十日出帆

本

△金鳳凰 十八入 四丸

尾

△同鳳凰 十八入 五丸

△

但馬□□

福嶋屋和一郎船

七月十日出帆

尾

△同鳳凰 十八入 壹丸

本

△同雨錦 十八入 壹丸

十九入 三丸

ノ

加州米夕崎
板屋弥三郎船

本

同鳳凰 十八入 五丸

ノ

但馬□□

福鳴屋和一郎船

尾

㊦撰雨 十七入 武丸
十八入 武丸

尾

△二極撰 十七入 老丸
十八入 三丸

ノ

能州川尻
橋本六兵衛船

本

△平極撰 十七入 四丸

本

同新田 十七入 四丸

本

同新飛 十七入 四丸

本

同雨光 十八入 武丸

尾

同緋袴 十八入 四丸

尾

△一緋咸(ツ) 十八入 老丸
十九入 四丸

ノ

六渡寺
神徳丸八五郎船

本

△平新飛 十七入 四丸

本

同吉紅 十八入 三丸
十九入 老丸

本

同緋司 十八入 四丸

尾

同新飛 十七入 貳丸
十八入 貳丸

尾

△玉光 十六入 三丸
十七入 貳丸

尾

⊕新田 十七人 四丸

ノ

鳴屋政兵衛船

本

△平錦山 十八入 四丸

本

△平大刀 十八入 四丸
十九入 貳丸

本

同緋司 十八入 貳丸
十九入 壹丸

尾

同高谷 十九入 四丸

尾

△緋司 十八入 四丸

ノ

大家屋勘三郎船

本

△平高紅 十九入 壹丸
十八入 三丸

本

同造合 十九入 壹丸

本

同高谷 十八入 四丸

ノ

神徳丸八五郎船

越

△平緋威 十八入 貳丸
十九入 三丸

ノ

越中神鳴浦

細矢九左衛門船

越

△平極撰 十七入 四丸

↙

但馬

千原屋三右衛門船

根

△平玉雨 十八入 貳丸

能州腰細

中屋次郎左衛門船

根

同金光 十七入 六丸

↙百廿三丸

△平五十沢 五丸

同五十沢 六速 壹丸
同七夕二 四速 壹丸

同七夕芋 四丸

但馬瀬戸

木屋丹五郎船

八月七日出帆

三丸雨 十九入 四丸

尾

大坂

大泉勘三郎船

八月七日出帆

同稀物 十八入 貳丸
十九入 貳丸

尾

越中明神浦

網屋九右衛門船

八月三日出帆

同新田 十六入 三丸
十七入 貳丸

尾

能州川尻

橋本六兵衛船

七月廿五日出帆

同緋袴 十八入 四丸

尾

但馬

千原屋三右衛門船

八月十九日出帆

同天下一 十八入 四丸

尾

ノ

京四條

伊勢屋利右衛門様

公平鳳凰 十八入 五丸

同新田 十七入 四丸

同大刀 十八入 四丸

同大刀 十九入 貳丸

同緋司 十八入 壹丸

同緋司 十九入 貳丸

同高谷 十九入 四丸

同玉雨 十八入 貳丸

同金光 十七入 六丸

△一極撰 十八入 三丸

△一極撰 十七入 壹丸

同緋緘 十九入 四丸

同 同 十八入 壹丸

同玉光 十六入 三丸

同 同 十七入 貳丸

同緋司 十八入 四丸

二緋司 十八入 四丸

同天下一 十八入 四丸

京室町

伊勢屋源助様

公平鳳凰 十八入 壹丸

同鳳凰 十九入 三丸

△平極撰 十七入 四丸

△平吉紅 十九入 壹丸

△同吉紅 十八入 三丸

△平高谷 十八入 四丸

△同撰雨 十七入 四丸

△同撰雨 十七入 四丸

△同撰雨 十七入 四丸

△同撰雨 十七入 四丸

△同撰雨 十七入 四丸

京 吉文字屋彦市様

△平鳳凰 十八入 五丸

△平新飛 十八入 貳丸

△平新飛 十八入 貳丸

京三條 岐阜屋八郎兵衛様

△平錦山 十八入 四丸

△平新飛 十七入 四丸

△平高紅 十八入 三丸

△同 十九入 壹丸

△同 十九入 壹丸

△同 十九入 壹丸

△同 十九入 壹丸

△同 十九入 壹丸

△同 十九入 壹丸

△同 十九入 壹丸

京室町 西村屋清九郎様

△平鳳凰 十八入 四丸

△平鳳凰 十八入 四丸

△平鳳凰 十八入 四丸

西村屋清左衛門様

△平緋司 十八入 四丸

△平緋司 十八入 四丸

△平新飛 十七入 四丸

京

綿屋勇藏様

△平緋緘 十八入 貳丸

同緋威 十九入 三丸

△平緋袴 十八入 四丸

御地

美濃屋忠右衛門様

△平極撰 十七入 四丸

京

最上屋喜八様

△平雨錦 十八入 壹丸

同雨錦 十九入 三丸

△▽□

△平鳳凰 四丸

△▽△

同雨錦 四丸

△▽□

同鳳凰 四丸

△▽吉ホ今

同極撰 四丸

△▽吉た

△平鳳凰 四丸

△▽吉吉

同緋司 三丸

△△吉又ホ

同新飛 四丸

△□吉丸○今

同高谷 四丸

△▽吉た

△平鳳凰 四丸

△▽□○

同錦山 四丸

△▽吉イ

同極撰 四丸

△□▽△

同新田 四丸

△△吉又ホ

同新飛 四丸

△▽吉ホ

同大刀 六丸

△▽吉又今

同吉紅 四丸

△吉又今

同緋緘 五丸

△▽吉吉

同緋司 四丸

△□吉丸○今

同高谷 四丸

△吉又ホ

同新飛 四丸

ノ口吉丸〇今

同高谷 四丸

同

同^{高紅十一}本紅八 卷丸

ノ口吉

同金光 六丸

ノ吉又今

同緋緘 五丸

ノ吉吉

同緋司 四丸

ノイ「たキ今

同撰雨 四丸

ノ

同丸雨 四丸

ノ△

ノ口吉た又今

同緋袴 四丸

ノ吉サ今

同高紅 四丸

ノた〇今今

同玉雨 貳丸

ノイ「吉ホ今

△極撰 四丸

ノた助又ホ

同玉光 五丸

ノ口「吉丸〇今

同新田 四丸

ノ

三稀物 四丸

ノ

同新田 三丸

ノ

同緋袴 四丸 同天下一 四丸

西村屋清九郎殿

十月十九日 入△平鳳凰十三 壹袋

入同緋司十貳 壹袋

岐阜屋八郎兵衛殿

十月廿一日 入錦山 貳三 貳つ

三月二日渡 入高紅 貳三 貳つ

入新飛 貳三 貳つ

三月二日渡 入本緋 貳三 貳つ

廿六日 金田屋殿

出新飛 三 壹袋

いセ屋利右衛門殿 十月廿六日

入へ平高谷^{十二} 式つ

内巻つ十二月十九日渡し

入同新田^{十一} 式つ

二月廿九日渡し

入同金光^{十一} 式つ

入同玉雨^{十一} 式つ

内巻つ二月廿六日渡し

入同大刀^{十一} 式つ

入同鳳凰^{十二} 式つ

二月廿九日渡し

入同緋司^{十一} 式つ

十二月廿五日渡し

入三天下^{十一} 式つ

入三緋袴^{十一} 式つ

ノ十七袋

大阪

羽州屋久右衛門殿行

十二月廿六日下し
出へ平高谷 壱袋

出同緋司 壱袋

出同大刀 壱袋

出同金光 壱袋

ノ四袋

最上屋喜八殿

十一月廿五日

入へ平雨錦^九 式つ

ノ返し

吉文字屋彦市殿

十一月卅日

入へ平鳳凰^式 壱つ

入同 新飛^式 壱つ

ノ

ならや行

美濃屋太郎兵衛殿

四日

出へ平新飛 壱つ

七十五両かへ

出全大刀 壹つ

六十八両かへ

十二月切

いせ源殿

十二月八日
入平鳳凰

壹袋

二月朔日返し

同
入同吉紅 貳袋

同
入極撰 貳袋

同
入同高谷 貳袋

内巻つ二月十一日渡し

メ

金平高紅 五丸 同緋司 七丸

同高谷 八丸 同錦山 四丸

同鳳凰 拾貳丸 同極撰 八丸

同雨錦 四丸 同吉紅 四丸

同新田 四丸 同新飛 拾貳丸

同緋袴 四丸 同緋緘 五丸

同大刀 六丸 同金光 六丸

同玉雨 貳丸 三稀物 四丸

同新田 三丸 同緋袴 四丸

同天下一 四丸

岐阜屋八郎兵衛殿

十二月十四日
入三稀物 貳 壹袋

入同新田 貳 壹袋

メ

美濃屋忠右衛門殿

十七日
入平極撰 壹つ

二月廿七日渡し

メ

十九日 最上や喜八殿
出平緋袴 壹つ

出同鳳凰 沓つ
二月廿九日受取

十九日 匣殿
出金緋威 沓つ
二月廿五日入

廿九日 吉文字や
入平鳳凰 沓袋

廿二日 最上や
出平高紅 沓袋
二月十七日受取

綿勇殿

十二月廿四日
出平鳳凰 沓袋

出同高谷 沓袋
二月九日入

出同高紅 沓袋
二月八日入

出同金光 沓袋
二月廿三日入

正月九日 羽九様行
出同新飛 沓袋
二月廿四日入

出同極撰 沓袋

羽久殿

十三日 木綿屋殿行
出同極撰 沓袋

同
羽久殿

出同大刀 沓袋
二月廿四日入

大坂鳴屋清兵衛殿行

正月十八日
出平鳳凰 沓袋
二月廿五日入

出同玉雨 沓袋
二月廿五日入

岐阜八殿

二月朔日
出平鳳凰 巻つ

二月廿四日入

出同高谷 巻つ

二月十一日入

八日

西村清九郎殿

出平高紅 巻つ

出平新飛 巻つ

三月二日受取

九日

出同高谷 巻つ

九日

西村屋清九郎

出平本緋 巻つ

十六日

西村屋清九郎殿

出平緋威 巻つ

同

山平緋袴 巻つ

三月四日入

十七日 西清殿

出高紅 巻つ

出本緋 巻つ

十八日

西村清左衛門殿

出吉紅 巻つ

廿日

近屋佐助殿

出平新飛 巻つ

出同極撰

三月四日受取

山同玉雨 巻つ

廿六日受取

廿二日 △一印様 巻つ

入金大刀 巻つ

廿二日 吉文字や

入平新飛 巻つ

廿二日 近佐殿

出平新飛 巻つ

廿二日 かせ久殿

出平大刀 巻つ

廿四日分 同人分
出平極撰 巻つ

出同吉紅 巻つ

✂

第三日分 同人分

出平金光 巻つ

出平玉雨 巻つ

✂

廿四日 いせ源殿

出平鳳凰 巻つ

✂

出平極撰

廿五日 近佐殿

出平鳳凰 巻つ

✂ 廿六日入

廿五日 総屋久三郎殿

出平新田 巻つ

此分受取

出平天下一 巻つ

✂

廿六日 近佐殿

出平緋威 巻つ

✂ 廿七日入

廿六日 綿勇殿

入平緋威 巻つ

廿七日 いせ利

出平緋威 巻つ

✂ 「緋袴」
(加筆)

廿六日 かせ久殿

出平緋威 巻つ

廿九日 いせ源殿

出平鳳凰 巻つ

✂

三月四日 かせ屋久兵衛殿

出平天下一 巻つ

出平大刀 式つ

出平金光 巻つ

✂

出平稀撰 巻つ

出平吉紅 巻つ

ノ

善太郎

百廿四 〆六

吉左分

七十六 〆六

吉吉分

吉田

六十八

吉吉

六十七

吉分

清助口

式百四十 吉九

六十九 吉又

九十八 吉左

三十三 吉吉

ノ

吉助

玉紅 〆上

緋司

吉左

一百廿四 〆六

吉又

一七十六 〆六

吉分

一百廿 〆五

吉丸

一 〆十

吉今

一九十九 〆三

吉今

一八十五 〆三

かし茂殿△

伊勢兵殿△

綿屋善兵衛 (合)

室町四條上ル 義 助様

大坂屋小八殿 (合)

伊勢屋源 助様 (合)

比屋嘉助様 (合)

茂兵衛様 (合)

木嶋屋勝助様 (合)

常 七様 (合)

ミのや次兵衛様 (合)

孝 七様 (合)

沢屋吉兵衛様 (合)

室町御池上ル 平 七様 (合)

布屋彦太郎 (合) △

西村屋清九郎様 (合) △

京御池烏丸東二入

御池烏丸下ル 茂兵衛様

美濃屋忠右衛門様 △

〃 四郎兵衛様 ○

西村屋清左衛門様 △ (合)

四條烏丸東二入

〃 夏 七様

伊勢屋利右衛門様 △

〃 乙 七様

〃 和 七様

東 東院御池下ル (合)

〃 喜 七様

綿屋勇蔵様 (合)

〃 藤助様

三條高倉西角

○岐阜屋八郎兵衛様①

〃 由兵衛様

〃 文兵衛様

富小路姉小路上ル

○ 最上屋喜八様△

嘉助様

烏丸四條上ル

吉文字屋彦市様①△

〃 義七様

〃 定七様

〃 庄七様

京七條大川

古手屋長右衛門様△

市兵衛様

与兵衛様

与助様

蛸薬師ふや丁西二入

○ 嶋屋 利助様 ①△

錦高倉西二入

○ 日野屋徳右衛門様 ①△

仙 助様

錦室町西二入

○ 亀甲屋半七様 ①△

京錦高倉西二入

○ 近江屋佐助様 ①△

安助様

京烏丸錦上ル

若松屋喜十郎様

又兵衛様

京室町五條上ル

○ 金田屋傳兵衛様 ①△

烏丸六角下ル

福草屋勘兵衛様 ○

弥 助様

縮面方

さかへ町六角上ル

近江屋忠七様

木綿仕入所

升屋

万寿寺室町上ル

美濃屋清助様

上下仕入

大坂塩町三丁目

小橋屋彦九郎様 △

ならや権兵衛殿行金子振込所

大坂本町三丁目

扇屋与兵衛様 ○△

〃 勘兵衛様

〃 伊兵衛様

大坂嶋之内

今宮屋伊兵衛様 ○△

〃 与七様

〃 太助様

大坂

淀屋多兵衛様 ○△

大坂高来はし

羽州屋久右衛門様 ○△

〃 善助様

〃 和助様

大坂天神はし

大鶴屋九蔵様 ○△

大坂天神前

桜井庄兵衛様 ○△

大坂

河内屋小兵衛様 ○△

大坂南本町三丁目

木綿屋嘉兵衛様 ○△

喜七様

源助様

大坂さかへ筋安土町

河内屋藤兵衛様 ○

大坂道生町

近江屋太右衛門様

〃 義兵衛様 ①

〃 藤兵衛様

大坂塩町四丁目

菱屋吉兵衛様 ○

仁兵衛様

大坂本掘安土町

丹場⁽²⁾屋作兵衛様 ○

源 助様

大坂本町二丁目

姫路屋惣左衛門様 ○

木錦店

大坂塩町三丁目

中井屋藤之助様

古手店

大坂北掘⁽²⁾四丁目

木屋市兵衛様 ①

〃 太兵衛様

〃 清 七様

大坂長堀高はし

日高屋半兵衛様 ○

〃 庄兵衛様

大坂上堀⁽²⁾道

越後屋武助様 ○

〃 孫助様

大坂

嶋屋清兵衛様○

〃 常 七様

〃 勘 七様

大坂安土町式丁目

銭屋清左衛門様

表屋庄左衛門殿行金子振込所

姫路

ならや権兵衛様○

三次郎様

卯兵衛様

弥兵衛様

姫路

○ 表屋庄左衛門様○

弥 七様

越中とほるき

桜井屋伊右衛門様

〃 次 助様

〃 久 七様

同所

富山屋小兵衛様

越中福岡

嶋倉屋吉左衛門様

〃 伊兵衛様

越中木町

鷺塚屋十右衛門様

又右衛門様

同所

鷺塚屋善右衛門様

大坂丸町塩筋

桜井屋甚三郎様

玉仕入所

大坂かわら町さかへ筋

桜井屋甚三郎様

玉仕入所

京室町三條上ル

総屋久三郎様

次兵衛様

清兵衛様

大津

池田屋勘兵衛

大津

油屋作兵衛

塩津

仲村佐右衛門

(敦賀)

つるか

田保孫右衛門

(海)

磯野源兵衛

山中

伊原弥右衛門

元治二丑 池勘二向

(裏表紙)
「本木仁平次」

六四 京坂萬覺帳(横帳)

(表紙)

「丙安政三年

京 萬 覺 帳

坂 辰九月吉日」

覚

一 金貳兩ト卷メ文 登り之砌預り

一 金三分式朱ト 九月廿二日より十月十一日迄道中

百廿五文 入用金

一 五百九十五文 まき紙式状、半紙三状

一 七十文 半紙式状

一 五百文 扇子十組

一 六百六十文 せきた巻束

一 四百五十文 下女共手拭巻木ツ、お土産仕候

代

一 百文 印にく巻つ

一 三匁五分 山本煙草巻把

一 五匁六分 足袋式束

一 七匁 五状トち帳面巻札

二月八日と廿二日明日迄

一 金巻分巻朱ト五十文 大坂姫路上下入用

十一月廿一日

一 金式分也 羽久殿茶代

一 同巻朱 女衆くれ

ノ

一 六匁 山本たはこ式百目

△平小町 十七入 巻丸
十八入 三丸

ノ七十一袋

此分巻駄巻分〇九三七五

十一月七日切七拾兩かへ

合代金七拾七兩式分式朱ト銀巻匁八分七厘五

内巻両式朱ト式匁二分九厘 一半引

引而

金七拾六兩巻歩式朱ト銀三匁式分三厘

近江屋佐助様

△平国稀 十八入 三丸
十九入 巻丸

ノ七十三袋

此分巻駄巻分四厘〇六式五

十一月七日切六十五兩かへ

代金七拾四兩式朱と九分三厘七

内金巻両と銀六匁七分式厘 一半引

伊勢屋利右衛門様

引而

金七拾三兩と壹匁七分壹厘

内金貳分と貳分五厘 右手板不足取かへ分

又引

金^〆 七拾貳兩貳分壹匁四分六厘

西村屋清九郎様

△平小野 十八入 四丸
十九入 壹丸

〆九十一袋

此分壹駄四分貳厘壹八七五

十一月七日切六十九兩貳分かへ

代金九拾八兩三分と銀四匁貳分壹厘

合内金壹兩壹分貳朱と銀六匁四分三厘 一半引

引而

合金九拾七兩壹分銀五匁貳分八厘

合 内金三分卜壹匁四分八厘 手板不足御取替

又引而

合金九拾六兩貳分銀三匁八分

十一月朔日

合 内金九拾五兩也 受取

美濃屋忠右衛門様

△平極撰 十七入 貳丸
十八入 貳丸

〆七十袋

此分壹駄〇九厘三七五

十月卅日切六十八兩かへ

代金七拾四兩壹分貳朱

内金壹兩と銀六匁九分三厘七

引而

合金七拾三兩壹分五分六厘三

姫路奈良屋権兵衛殿

十月卅日

一 金貳百五拾兩也 為替

小橋彦殿方下し

十一月朔日

一 金貳百五拾兩也 為替

小橋彦殿方下し

ノ

十一月二日

一 金貳百三拾五兩也

古手代入

小橋彦殿方下し

此内三十兩也 高橋分二入

十一月二日 代

一 金七兩也 卯兵衛殿相渡し

古手代入

引而

金貳百拾貳兩也

岐阜屋八郎兵衛様

△平鳳凰 十九入 四丸

此分壹駄壹分八厘七五

十一月七日切七十三兩かへ

代金八拾六兩貳步三朱

内金壹兩壹分三匁壹厘 一半引

引而

合金八拾五兩壹分貳朱ト七分四厘

伊勢屋源助様

△平緋威 十七入 貳丸

十八入 貳丸

ノ七十

此分壹駄九厘三七五

十一月七日切

代金七拾八兩三分

内金壹兩貳朱ト三匁三分七厘

引而

金七拾七兩貳分壹朱ト三分八厘

伊勢屋源助様

同仙一 廿壹入 貳丸

同仙雨 十一袋 廿貳 壹丸

此壹駄

十一月七日切

代金八拾三両也

内壹両朱卜七匁貳分 一半引

引而

金八拾壹両三分銀三分

伊勢屋利右衛門様

△平高紅印 十九入 貳丸

外二西清殿も六袋

ノ四十四

此分六分八厘七五

十一月七日切七十三両かへ

合代金五拾両貳朱卜三匁壹分五厘

内金三分六匁壹分五厘 一半引

引而

金四拾九両壹分壹朱銀七分五厘

伊勢屋利右衛門様

△平仙稀 廿入 貳丸

此分壹駄

十一月七日切八十貳両かへ

代金八拾貳両也

内金壹両三分五匁六分七厘 目欠代引

引而

合金八拾両貳朱卜壹匁八分七厘

伊勢屋利右衛門様

△平仙雨 廿一入 四丸

ノ八十四

此分壹駄三分壹貳五

代金九拾九兩三分

内卷兩貳分貳朱卜七匁貳分七厘 一半引

伊勢屋源助様

△平吉紅 十九入 四九丸
廿入 壹丸

△九十六袋

此分卷駄片馬

代金百兩貳分

内卷兩貳分四分五厘 一半引

引而

九十九兩三分貳朱卜七匁壹厘

綿屋勇藏様

△平金紅 十九入 貳丸
廿入 貳丸

△七十八

此分卷駄貳分壹厘八七五

十一月卅日切六十八兩かへ

代金八拾貳兩三分貳朱

内金壹兩貳朱卜七匁八厘七

引而

金八拾壹兩貳分貳朱卜四分壹厘三

吉文字屋彦市様

△平新田 十七入 五丸

八十五

此分卷駄三分貳厘八一貳五

十一月卅日切七十五兩かへ

代金九拾九兩貳分と銀六匁五分六厘

内金壹兩貳朱卜七匁壹分四厘 一半引

引而

金九拾八兩六匁九分貳厘

内三分卜壹分四厘 右手板不足

又引而

合 金九十七兩壹分六匁七分七厘

十一月卅日 受取

綿屋勇藏様

平新飛 十七入 式丸
十八入 三丸

ノ 八十八

此分考駄三分七厘五

十一月卅日切

代金九拾八両考分考朱

内金壹両考分式朱卜五匁五分八厘 一半引

引而

金九拾六両三分考朱卜五分式厘

西村屋清左衛門様

平極撰 十八入 三丸

外三袋

ノ 五十七

此分八分九厘〇六式五

十一月卅日切

代金六拾壹両三步式朱卜銀壹匁七分

内三分式朱卜三匁式分 一半引

引而

金六拾両三步式朱卜五匁七分

内式歩卜七分七厘 手板不足

又引而

合 金六十両考分式朱卜四匁九分三厘

総屋久三郎様

平丸雨 十七入 四丸

ノ 六十八

此分考駄〇六厘式五

十一月七日切七十兩かへ

代金七拾四両考分式朱

内壹両卜六匁九分三厘 一半引

引而

合 金七拾三両考分五分七厘

十一月卅日切七十六兩貳分かへ

代金百兩壹分貳朱ト壹匁八分七厘五

合 内壹兩貳步三分六厘五 一半引

引而

合金九拾八兩三分貳朱ト銀壹匁五分壹厘

総屋久三郎様

平玉一 十八入 三丸

外十貳袋

ノ六十六

此分壹駄〇三厘壹貳

十一月卅日切

代金六拾八兩と壹朱

内壹兩と壹匁貳分五厘 一半引

引而

合金六拾七兩と貳匁五分

古手屋長右衛門様

⑤七夕白干芋 三駄六束

十五兩かへ

代金四拾九兩貳分

同天白 壹駄片馬

拾兩貳分かへ

代金拾五兩三分

ノ金六拾五兩壹分

外二

一 金三兩貳朱ト永七匁壹分八厘荷造口銭

一 永七匁八厘三 天白御役

一 永三十三匁 七夕御役

一 永八匁 川出し

一 永三十九匁三分六厘 酒田迄運ちん

一 永十三匁六分八厘 合力まし

ノ金四兩三朱ト銀壹匁貳分三厘

合金六拾九兩壹分三朱ト銀壹匁貳分三厘

一 (24) 九月と利

伊勢屋源助様

十月卅日

一 金貳百五拾兩也

紅花代金之内 受取

美濃屋忠右衛門様

十一月朔日

一 金七拾五兩也

合 紅花代受取

西村屋清九郎様

十一月朔日

一 金九拾五兩也

紅花代之内受取

近江屋佐助様

十一月朔日

一 金七拾貳兩貳分壹匁四分六厘

合 紅花代受取

ならや権兵衛殿

十一朔日

一 金五百兩也 為替金

大坂小橋彦殿向下し

伊勢屋利右衛門様

十一月朔日

一 金貳百五拾兩也

紅花代之内

ならや権兵衛殿

十一月二日

一 金百三十五兩也

小彦殿向下し

同日 同人様分

一 金百兩也

小彦殿向下し

紅花内受取
(代之)

同日 同人様分

一 金七兩也 宇兵衛殿様渡し

一 金貳百四十貳兩

内三十兩也高橋を為替引

引而ル

金貳百拾貳兩也 古手代

十一月七日

ならや権兵衛殿

總屋久三郎殿

一 金百三拾兩也

十一月七日

古手代二渡し

一 金七拾三兩壹分五分三厘

小彦殿向下し

紅花代之内受取

美濃屋次兵衛殿

布屋彦太郎殿

十一月七日

十一月七日

一 金三兩也 渡し

一 金六拾六兩貳分貳朱ト壹匁八分五厘

嶋屋利助殿

七日

一金五拾五兩也

相渡し

嶋屋利助様

十一月七日

一金 廿八兩三分

辰木綿代其外取替代共渡し

岐阜屋八郎兵衛殿

十一月七日

一金八拾兩也

合 紅花代之内受取

ならや権兵衛殿

十一月七日

一金五拾五兩也

古手代二渡し

小彦殿下し

十一月廿一日 大坂

一金三分 近江屋太右衛門殿

寅沢浮代差引残相渡し

山中

伊原弥右衛門殿

いせ利殿行

△丸雨 四丸 十七入 四匁三分

同大刀 四丸 十七入 四匁三分

同行

△平仙雨 四丸 廿一入 五匁六分

かせ久行

同丸雨 四丸 十七入 四匁三分

みのせい行

同極撰 四丸 十七入 四匁三分

十八入

ノ廿式匁五分

此金巻分一朱卜式匁五分

十一月廿七日渡し

ちりめん

一 廿五反 大形

一 五十 同中

一 廿五 紺新チャ

嶋利殿

納戸

納戸

一 廿五 しるり形

一 四十反 縮緬筋

納戸地色入

一 廿五反 大形

同

西村屋清右衛門殿

一 廿五反 本形

納戸

十一月卅日

一 金六拾両壹分式朱卜四匁九分三厘

一 廿五反 色入

同生表

ノ 十一月卅日 西村屋清九郎殿 受取

一 廿五反 色入

同入

ノ 一 金壹両壹分式匁七厘 受取

一 廿五反 生表

卅日 最上屋喜八殿

一 廿五反 紺大形

一 金七拾九両貳分式朱と式匁四分六厘

受取

十一月卅日 総屋久三郎殿

同日 綿屋勇蔵殿

一 金六拾貳両貳朱ト七分六厘 受取

一 金百両也 受取

二日

十一月卅日 吉文字屋彦市様

一 金七拾両也 ならや兵衛殿

一 金九拾七両壹分六匁七分七厘 受取

手代上京弥兵衛殿 渡し

三日

十二月朔日 ミのや忠右衛門

一 金八拾両也 いせ屋利右衛門殿 受取

一 金九拾壹両三分 受取

大口

五日 岐屋八郎兵衛殿

一 金七拾八両三分貳朱ト七匁 受取

十二月朔日 近江や佐助殿

一 金八拾八両三分

服砂や勤兵衛殿

大口代渡し

十二月三日 栄 助殿

百卅五かへ

日 田保孫右衛門

一 五百四拾匁 紺縮緬 四足

一 金三分三朱ト 伊勢利江向荷物立替

一 三百四十五匁 緋板 三尺

壹匁貳分四厘

渡し

八百八十五匁

此金拾貳兩壹分

十二月卅日渡り手形相渡し申候

十二月三日

一 金壹朱ト五分 錢入壹ツ

一 七匁五分 きんちやく

一 三匁五分 紋代

一 七匁五分 きんちやく

一 三匁五分 濡子へり手間代

一 金壹分 羅しや煙草入

ノ 金壹分壹朱ト廿貳匁貳分

ならや権兵衛殿

十二月五日 上京代弥兵衛殿

一 金貳百兩也 渡し

ならや権兵衛殿

十二月五日 上京代弥兵衛殿

一 金百兩也

十二月卅日渡り手形ニ而渡し

十二月五日

一 金百兩也 ならや権兵衛行

大坂小彦殿と下し

十二月七日

一 金貳百兩也 岐阜屋八郎兵衛殿

十二月卅日渡り手形ニ而受取

十二月五日 綿屋勇藏殿

一 金七拾五兩也

外二十二月卅日渡り手形ニ而取

一 金壹兩三分貳匁三厘

十二月六日 総屋久三郎殿

一 金百拾兩三分貳式朱ト三匁九分三厘

十二月卅日渡り手形ニ而受取

十二月六日 同人分

一 金四兩貳朱ト五匁六分四厘 受取

十二月七日 いせ屋源助殿

一金拾五兩三分式朱ト 受取

九匁九分八厘

差引金ノ高

一 拾式匁四分 六反 一 拾壹匁四分 六反

三十 廿

一 拾式匁四分 六反 一 拾壹匁四分 六反

七五

生日 百反

七五

入吟 廿

六五

玉氏晒 十八反

加嶋屋清助殿

三十六番

一 拾壹匁 十八反 一 拾匁七分 十八反

四十一番 十八番

一 拾匁七分 十八反 一 拾壹匁四分 六匁

四十四 廿式

一 拾匁七分 八反 一 拾三匁 六反

拾五 五十式

一 拾式匁三分 六分 一 拾式匁四分 六反

五十一 廿六

十二月八日 いせ利殿

一 金拾五兩壹分 紅花代其外差引受取

拾四匁四分式厘

十二月八日 ミの次殿

一 拾匁四分 八のまき四かん渡し

一 貳分 (地藏文珠)

一 壹分 居拜まし

一 五匁 ○代

十二月八日 鳴利殿 平七殿

一 金壹兩貳朱ト卅貳匁九分 渡し

十二月八日 万足屋店

一 金壹分一朱ト百文 もゝ引代拂

十二月八日 まつや

一 金壹分貳朱ト七百八十文 嘉兵衛

色々品代、綿入貳品仕立ちん

十二月八日

一 金貳分 ひら二拂

内貳百八十 返り

十二月八日

一 金貳分壹朱 松よね拂

十二月九日

一 金壹兩三分 宿代

一 金三分 茶代

一 金三朱 下女三人

一 手拭壹つ 男衆

万長殿

九日

一 貳百七十文 拂

九日

一 六百卅文 天付合羽壹つ拂

九日

一 金貳分 大津ニ而ひき返し

鳴屋利助殿

巳三月十七日

一 金貳拾兩也

いせ茂渡し手形^{ニ而}、木綿代^{ニ而}かし

巳三月十七日 大坂羽州屋

金拾五兩也 久右衛門殿

右者去辰紅花仕入代^{ニ而}受取

三月十七日 嶋屋

一 金拾五兩也 利助

木綿代^{ニ而}渡し

三月廿三日 最上谷地

一 金五兩也 榎藤右衛門殿

かし

三月廿六日 日野屋

一 金貳拾兩也 徳右衛門殿

古長殿渡り手形^{ニ而}渡し

五月切

三月廿六日 七條古手屋

一 金貳拾兩也 長右衛門

五月卅日切手形^{ニ而}相返し、尤

日野徳殿^カ渡し

金銀出入

十月卅日 伊勢屋源平様

入金 貳百五拾兩也

十月卅日 伊勢屋茂平様

出金 貳百五拾兩也

十一月朔日 美濃屋忠右衛門様

入金七拾五兩也

十一月朔日 西村屋清九郎様

入金九拾五兩也

十一月朔日 近江屋佐助殿様

入金 七拾貳兩貳分壹匁四分六厘

十一月朔日 いせ屋茂平様

出金 貳百四拾貳兩貳分壹匁四分六厘

十一月二日 伊勢屋利右衛門様

入金 貳百五拾兩也

十一月二日 伊勢屋茂平様

出金 貳百五拾兩也

十一月七日 ミの屋次兵衛殿

出金三兩也

七日 いせ屋茂平殿

入金三兩也

七日 総屋久三郎様

入金七拾三兩壹分五分三厘

七日 布屋彦太郎様

入金 六拾六兩貳分貳朱ト壹匁八分五厘

七日 いせ屋利右衛門様

入金四拾六兩壹分八匁五分五厘

七日 いせ茂平殿

入金七拾三兩壹分五分三厘

七日 いせ屋茂平殿

出金六拾六兩貳分貳朱ト三匁八分五厘

七日 いせ屋茂平殿

出金四拾六兩壹分八匁五分五厘

七日 いせ屋茂平殿

入金五拾五兩也

十八ばん

七日 いせ屋茂平殿

入金廿八兩三分

十九ばん

七日 いせ屋茂平殿

出金八拾兩也

卅日 西村屋清右衛門様

入金 六拾兩壹分貳朱四匁九分三厘

卅日 西村屋清九郎殿

入金壹兩壹分貳匁七厘

卅日 最上屋喜八殿

入金 七拾九兩貳分貳朱ト貳匁四分六厘

卅日 総屋久三郎殿

入金六拾貳兩貳朱ト七分六厘

卅日 いせ茂平殿

出金 六拾兩壹分貳朱ト四匁九分三厘

卅日 いせ屋茂平殿

出金 七拾九兩貳分貳朱ト貳匁四分六厘

卅日 いせ屋茂平殿

出金 六拾貳兩貳朱ト七分六厘

卅日 いせ屋茂平殿

入金拾兩也 正^二而受取

十二月朔日 いせ屋茂兵衛殿

出金九拾七兩壹分六匁七分七厘 渡し

朔日 同人^と

入金八拾八兩三分 近佐殿分

廿ばん

同日 同人^と

出金 九拾兩也 渡し

同日 ミのや志右衛門

入金九拾壹兩三分

同日 近江や佐助殿

出金 八拾八兩三分

同日 田保孫右衛門

出金 三分三朱ト壹匁貳分九厘

紅花荷物立替拂

朔日 綿屋勇藏殿

入金 百兩也

朔日 いせ屋茂兵衛殿

出金 百兩也 正^二而入

二日 廿一番 同人^と

入金 七拾兩也 ならや渡し

三日 いせ屋利右衛門殿

入金 八拾兩也

三日 いせ屋茂平次

出金 八拾兩也

卅日分 吉文字や彦市殿

入金 九拾七兩壹分

銀六匁七分七厘

卅日分 伊原弥右衛門

出壹分壹朱ト式匁五分

荷物取替

十一月廿日分 大坂近江や

出金三分 太右衛門

たくしや差引預り渡し

十二月五日 岐阜屋八郎兵衛殿

入金 七拾八兩三分式朱ト七匁

五日 いせ屋茂平殿

出金 七拾八兩三分七匁

ならや権兵衛殿渡し分

十一月朔日分 ならや

出金 五百兩也 権兵衛

十一月二日分 ならや

出金百三十五兩也 権兵衛

同日 ならや同人分

出金 七兩也 宇兵衛

十一月七日 ならや

出金 百卅兩也 権兵衛

十一月八日 ならや

出金 五拾五兩也 権兵衛

十二月朔日 ならや

出金 貳百兩也 権兵衛

十二月五日 ならや

出金 七拾兩也 弥兵衛

十二月 綿や勇蔵

入金 七拾五兩 手形壹通

正式兩式分式匁三厘 受取

十二月五日 ミのや

入 拾壹匁九分七厘 忠右衛門

五日

入金 貳百兩也 いせ屋茂平殿

五日 ならや

出金 貳百兩也 権兵衛殿

弥兵衛殿

五日 古彦江下し

出金 百兩也 同人分

五日 いせ屋

入金 百兩也 茂兵衛

十二月六日 かせ屋

入金 四兩貳朱卜 久三郎殿

五匁六分四厘 受取

十二月七日 いせ源殿

入金 拾五兩三分貳朱卜 受取

九匁九分八厘

七日 いせ茂殿

出金 拾五兩三分貳朱卜 渡し

九匁九分八厘

七日 同人

出 七兩三分

四匁貳分四厘

同 同人

出 廿壹匁貳分

三月十七日 いせ屋

入金 貳拾兩也 茂平殿

廿貳ばん 鳴利殿渡し

巳三月十七日 大坂羽州屋

入金 拾五兩也 久右衛門殿

去辰紅花代之内

十七日 鳴屋

出金 三拾五兩也 利助

巳木綿代之内

三月廿三日 いせ屋

入金 五兩也 茂平殿

廿三ばん 谷地藤左衛門殿に手形ニ而渡し分

三月廿三日 谷地

出金 五兩也 榎藤左衛門殿

かし

(裏表紙)

「羽州最上

本木林兵衛

仁平次

代金五拾三兩貳朱卜

銀壹匁八分七厘

同丸雨紅花

六十七袋

さし壹袋

五十七兩かへ

代金六拾兩貳分壹朱

同国一紅花

三十四袋

五十一兩貳分かへ

代金廿七兩壹分

銀六匁五分七厘

金百四拾壹兩壹朱卜九分四厘

六五 上方諸用扣覚帳 (横帳)

(表紙)

「庚 万延元年

上方諸用扣覚帳

申 八月吉日

京都四條

伊勢屋利右衛門殿

△一緋紅花 四拾九袋

福雨 五 袋

六十三兩かへ

一 同三分貳朱卜 袋代

一 同壹兩貳朱卜 出先目早
五匁六分貳厘 口錢

一 銀五匁七分 御役永
一 金壹兩貳朱卜 口錢

五匁六分貳厘

式匁分

未差引

一 同匁分式朱卜 大石田迄

申正月卅日改

式匁分式五厘 駄ちん

一金拾七兩匁分式朱卜式匁五分 かり

一 同匁兩式分 手板式通添金

此り匁兩式分式朱卜 十月迄利足

ノ金五兩匁分と銀六匁式分九厘

六匁三分七厘

又ノ金百四拾六兩匁分式朱卜銀三匁四分八厘

ノ拾八兩三分三朱卜八匁八分七厘

外二匁分式朱卜式匁四分七厘 仕切ノ違

残ノ拾九兩式分一朱卜十三匁匁分八厘

内又式分卜五匁

下し金ちん

末ノ小町代金ニ而引

一 金拾三兩

手形為登置候

△平鳳凰

十七 三丸
十八 匁丸

六月十四日

一 金百兩也

山形京屋^ち相届き

九月十日

一 金三十五兩

宇右衛門殿為替之内入

ノ百四十八兩也

引而 金七拾四兩匁分式朱卜式匁八分三厘

差引而

金式分式朱卜四匁式分五厘

同緋司 十七入 四丸

十一月七日切七十四兩かへ

代金七拾八兩貳分四朱

内卷兩貳朱卜三匁貳分六厘

引而

金七拾七兩壹分貳朱卜四匁貳分四厘

ノ金百五十卷兩貳分三朱卜七匁七厘

右

十一月朔日

金百五十兩也

受取

又壹兩三分貳匁文 十一月卅日 受取

ノ 相濟

平小町 十八 三丸

四袋

外二古今 貳袋

十一月切六十七兩かへ
代金六拾貳兩三分と三匁七分五厘

内三分貳朱卜四匁貳厘 一半引

又壹分三朱卜貳匁四分八厘 手板不足

又壹分

□せわ料

引残

金六十一兩壹朱卜四匁七分五厘

内拾九兩貳分一朱卜 先差引返引

十三匁壹分八厘

ノ

引残 十一月卅日 受取

金四拾壹兩壹分一朱卜貳匁八分七厘

吉文字屋彦市殿

◎鳳凰紅花 六拾四袋

副花 四 袋

六十一兩上り

代金六拾四兩三分壹朱

同新飛紅花 七拾五袋

五十五兩貳分上り

代金六拾五兩卜銀貳匁三分四厘

金百廿九兩三分壹朱ト銀貳匁三分四厘

殘金三拾兩三分貳朱ト銀貳匁五分九厘

一 銀五匁 御役永

一 壹分ト銀七匁 口錢目早

一 壹分ト銀七匁 内口錢

一 三分ト銀五匁 袋代

一 壹分 荷造駄ちん

一 壹分ト七匁 大石田迄送駄ちん

一 壹兩貳分 手板添金

金五兩壹分銀七匁

合金百三拾五兩壹朱ト銀三匁三分四厘

内金百兩也 在京伊平次受取分

此利七朱

金四兩三朱ト 正月も壬有り五月迄

七分五厘 六ヶ月分

差引

◎緋王紅花 百三十七袋

五十九兩貳分かへ
代金百廿七兩壹分ト銀七匁三厘

同玉光紅花 九拾八袋

同雨上同 六拾七袋

同雨司同 三十四袋

玉紅 五袋さし

金百四兩
貳百四袋

五十四兩貳分かへ

代金百七拾三兩貳分貳朱ト銀五匁五分四厘

同金紅紅花 七拾五袋

五十三兩貳分かへ
代金六拾貳兩貳分貳朱ト銀三匁六分貳厘

金三百六拾三兩三分ト壹匁八分七厘

一 壹分ト壹匁貳分五厘 御役永

一 三兩壹分 口 錢

一 三兩壹分 目早口錢

一 貳兩三朱 荷造入用

一 壹兩ト壹匁 大石田迄駄ちん

一 四兩貳朱 手板添金

ノ 金拾貳兩貳分壹朱ト銀貳匁貳分五厘

合金三百七拾六兩壹分貳朱ト銀三分七厘

内 六月卅日

金百五拾兩也 入

差引

殘金貳百貳拾六兩壹分貳朱ト三分七厘

二口ノ

金貳百五十七兩三分三朱ト三匁七分壹厘

此り三兩貳分六匁三分七厘 利

七月廿九日

金百五兩也

此り貳分貳朱ト六匁六分 壹ヶ月利

八月廿二日 山形ノ十様ノ
同百兩也 受取

貳百五兩貳分貳朱ト六匁六分

差引

殘金五拾五兩三分壹朱ト銀三匁四分壹厘

一 金四拾八兩壹分壹朱ト ③印差引残り

三匁壹分四厘

八月卅日改

又ノ百四兩三朱ト

かし

銀貳匁八分四厘

内 三兩壹分

出先口錢引

壹分貳朱

添金付違

一 貳分三朱ト

当兩壬月利違

七分五厘

一 一分

算違③分差引

一 銀三匁貳分六厘 残りノ高内利足引

ノ四兩壹分貳朱ト七分六厘

引残り 八月卅日改

金九拾九兩三分一朱ト式匁四厘 かし

此り壹兩三分三朱ト 二ヶ月利

三匁四分五分^(厘)

右

金八拾兩也 村田氏より金十一月三日国元⁶

入

差引

金貳兩三分五匁四分七厘

覚

十月八日
△平日之土 十七入 四丸

十一月七日切六十三兩貳分^{かへ}
代金六拾七兩壹分三朱ト銀壹匁八分七厘

内金壹兩ト七分貳厘 一半引

又金壹分貳朱ト式匁八分 手板不足

引⁶金六拾六兩と銀貳匁壹分

十一月朔日 受取

十一月三日 十一月卅日切

一 金百兩也 證文入預り

此壹兩也 一ヶ月利

一 金壹兩也 白川書物代

百貳兩也 右證文受取

△平松沢 十八 四丸

七十九兩^{かへ}

代金八拾八兩三分貳朱

内壹兩壹分ト四匁九分八厘 一半引

引而

金八拾七兩貳分ト式匁五分貳厘

内三分貳朱 一ヶ月利引

又引

八十六兩貳分貳朱ト式匁五分貳厘 ㊦㊧仕入

貳兩三分五匁四分七厘 差引不足

六匁四分

中村弘分

八十九兩壹分貳朱ト十四匁三分九厘

惣差引

金拾貳兩壹分貳朱ト銀六分九厘

十二月朔日差引ニ而相渡し

十二月朔日
一金五拾兩也

来西新花仕入前金請取、書入預り置候

江戸御傳馬町三丁目

村田 久藏殿

(朱書)

〔八月十七日出帆

田中屋儀右衛門船〕

七月廿二日出
③国稀紅花

百六袋

六十一兩かへ

代金百兩壹兩と銀壹匁八分七厘

(朱書)

〔右同人船積入〕

同高谷 同 九十袋

さし 四 袋

六十貳兩かへ
代金九拾壹兩ト壹朱

金百九拾貳兩壹朱ト銀壹匁八分七厘

一 壹兩貳分壹朱 口錢

一 壹兩貳分壹朱 目早口錢

一 貳朱也 御役永

一 貳分壹朱 荷造

一 壹分貳朱ト五匁 大石田迄駄ちん

一 貳兩也 手板添金

金六兩ト壹分ト銀壹匁貳分五厘

合金百九拾八兩壹步壹朱ト銀三匁壹分貳厘

内七月十九日 山形三浦屋

金百五十兩也 権四郎殿入

引残り

金四拾八兩壹分壹朱ト三匁壹分貳厘

差引成ル

京都

古手屋長右衛門様

十月二日
一金貳兩也 預り分渡し

右金十一月廿日

仕切書扣

百壹番 楓合 四百九拾壹匁六分 羽屑五十品 五速入

百貳番 同 四百八拾七匁五分 同 五速入

百三番 同 八百七拾六匁四分 津半卅入 七速入

百四番 同 貳貫三拾九匁八分 絹もの四十 四速入

百五番 同 貳貫四拾六匁九分 同 三速入

五貫九百四拾貳匁貳分

五掛正ミ

貳貫九百七拾壹匁壹分

又廿貳匁五分 大坂造荷入用

又廿八匁 酒田迄うんちん

又拾四匁 まし

正ミ 三貫廿五匁六分

此り貳百四十貳匁八分四厘 申九月と十二月迄

百六番 楓合 五百七拾九匁 下布段 十五

百七はん 同 五百六拾九匁七分 同 十五

百八番 同 七百貳拾三匁六分 上中下取合 十五

百九番 同 七百六拾五匁六分 上中下 十五

百拾番 同 布段上中下取合 十五

百十一番 同 中下 五百六拾四匁貳分 十五

百拾貳番 同 中下 五百七拾八匁 十五

百拾三番	同	六百廿三匁六分	同中下	十五
百拾四番	同	六百貳拾八匁六分	同中下	十五
百十五番	同	四百八拾匁五分	下	十五
百十六番	同	三百三拾六匁三分	布段絹	廿入
百十七番	同	三百卅五匁五分	布段絹	廿入
百十八番	同	三百卅貳匁	同	廿入
百拾九番	同	三百卅九匁五分	同	廿入
百廿番	同	三百六拾五匁五分	同	廿入
百廿一番	同	四百四拾四匁九分	上中同	廿入
百廿貳はん	同	三百七拾匁	中同	廿入
百廿三はん	同	三百六拾六匁六分	中同	廿入

百廿四番	同	三百六拾四匁四分	中同	廿入
百廿五番	同	三百六拾六匁貳分	中同	廿入
〆九貫八百三拾六匁貳分	四掛	正ニ三貫九百三拾四匁四分八厘		
百廿六番	一	百四拾五匁五分	道層	廿五
百廿七はん	一	百四拾四匁六分	同	同
楓合	一	百四拾五匁三分	同	同
〆八百七拾匁貳分	一	百四拾四匁七分	同	同
〆八百七拾匁貳分	一	百四拾四匁七分	同	同
百廿七はん	一	八百六拾八匁七分	同	六速入
百廿八はん	一	百三拾三匁七分	中下半天	十五入

一 式百十七匁八分 安無じ小紋古手十

〆七百四十六匁三分

百卅四はん

一 楓合 八百六拾六匁三分 六速入

百卅五はん

一 同 八百六拾六匁 六速入

百卅六番

一 同 六百八拾七匁九分 廿八七速入

百卅七はん

一 同 八百三匁壹分 七速入

百卅八はん

一 同 八百廿三匁三分 五速入

百卅九はん

一 式百匁九分 廿 安解

一 式百三匁四分 同

一 式百壹匁三分 同

一 式百匁三分 同

一 式百三匁三分 同

一 式百壹匁六分 同

一 式百壹匁壹分 同

〆壹×四百拾式匁九分

百四十番

一 三百拾式匁八分

一 三百五匁三分

一 三百四匁五分

一 三百拾匁五分

一 式百七十七匁八分

一 式百廿三匁

〆壹×七百卅三匁八分

百四十一番

一 四百八拾三匁三分

一 三百五匁壹分

一 三百九匁

一 三百七匁八分

一 三百七匁七分

一 式百七拾四匁三分

〆壹×九百八拾七匁

百四十式はん

一 式百廿六匁

糸嶋古手十

中丸古手十

同

同

中無地小紋古手十

中羽打十五

上丸古手十

中丸古手十

同

同

同

中無地小紋古手十

中達小達三十

一 百七拾七匁七分 安日かた廿
 一 百六拾三匁三分 小間物五十
 一 百四匁八分 羽屑四十
 一 百四匁九分 同 四十
 〆七百七拾五匁七分
 百四十三はん
 一 式百九十式匁八分 中嶋解廿
 一 式百九十四匁三分 同
 一 式百九十三匁六分 同
 一 式百九十四匁六分 同
 一 式百九十式匁四分 同
 一 式百九十三匁八分 同
 一 式百九十壹匁八分 同
 一 六匁八分 包
 〆式貫六拾匁
 百四十四はん
 一 式百五拾六匁六分 花色解廿
 一 式百五拾八匁三分 同
 一 式百五十七匁四分 同

一 式百五十五匁九分 同
 一 式百五十八匁四分 同
 一 式百五十八匁 同
 一 式百五十七匁八分 同
 九匁六分 包
 〆壹メ八百拾式匁七分
 〆式拾貫式百七拾四匁三分
 正ニ銀拾貫百三拾七匁七分
 古手卅九反卜
 百六番と百四十四迄
 〆銀拾四メ七拾壹匁五分八厘 右卅九反〆高
 又九匁三分 添添四枚、百四十番、百四十
 一番
 又百七十五匁五分 荷造入用、大坂廻入用
 又式百拾八匁四分 大坂と酒田迄諸入用
 又六十匁 森田宗吉、百卅四、百卅八ま
 し
 又四十三匁六分 米屋喜助、嶋口徳平まし

〆拾四メ五百七拾八匁貳分八厘

此り八百七十四匁 申七月も十二月迄六

六分九厘 ヶ月分

惣任切

元利〆拾八貫七百卅壹匁四分壹厘

外二

一 金貳分貳朱 へ平稀七夕廿七わ

□目半差引^ニ而^ニ壹兩壹分ニツ割損

毛

一 三十四匁八分 熊田屋吉五郎百四十三、百四十

四メ貳反まし

一 七十八匁四分 廿八反分五割まし

一 十匁六分 三の法出し佛入貳反まし廿取替

十月朔日 和藏分 綿入壹つ

一 三十匁 綿入壹つ

十五日 綿入壹つ

一 四十五匁 春□綿入壹つ

一 四十匁

一 金三朱ト永五分四厘 山本長兵衛左沢印四丸為

替取替分

御筆水上

大坂も市中迄ちん

一 金壹分ト貳百七十三文 へ平緋司四丸田保払

一 十七匁五分 半天壹つ

一 六匁八分 □作拂

小以〆金壹兩壹朱

此銀七十五匁九分五厘

銀貳百七十八匁貳分五厘

合〆銀三百五十四匁貳分

又惣〆高銀拾九貫八十五匁六分壹厘

十一月七日 ミの忠殿渡り手形^ニ而 相渡し

一 金五拾七兩三分 近佐殿渡り手形^ニ而 相渡し

一 同 八拾九兩貳朱ト三匁八分七厘 相渡し

〆金百四拾六兩三分貳朱ト三匁八分七厘

七二卷

此銀拾貫五百九十三匁壹分五厘

此り式百拾匁匁八分六厘 二ヶ月利分

ノ拾メ八百五匁壹厘

組合仕切

九月

△平七夕
本撰

白干苧

式駄ト七速

同二番

五速

ノ式駄片馬式速

廿六兩かへ

代金六拾七兩式分九分六毛

同七夕
ムク

壹駄片馬九速

同二番

七速

ノ式駄六速

廿五兩かへ

代金五拾七兩壹分四分八厘

ノ百廿四兩三分壹匁三分八厘

外

一 金三兩壹分五匁

荷造入用、口銭

一 銀拾式匁五分

御役永

一 同五匁

川出し

一 金三分式朱ト壹匁式分五厘

酒田迄運ちん

一 同壹兩

手板添金

ノ金五兩式分壹匁式分五厘

又合金百卅兩壹分と銀式匁四分三厘

此り五兩三朱ト 申五月も十二月迄四ヶ月分

壹匁七分式厘

元利 十二月改

ノ金百卅五兩壹分三朱ト四匁壹分五厘

売仕切

△平本撰
夕七

式駄七速四本

同式番

五速

ノ式駄片馬ト式速

十二月切押込廿九兩替

代金七拾五兩壹分ト永五匁六分九厘

同七夕ムク 壹駄片馬九速四本

同貳番 七速

ノ貳駄ト六速

同切廿八兩かへ

代金六拾四兩貳朱ト永五分五厘

ノ金百卅九兩壹分貳朱ト永六匁貳分四厘

内 此り四匁五分

銀五匁 口切貳つ引

金壹兩三分一朱ト 右九反小荷

壹匁五分貳厘 酒田も手板不足

銀十貳匁 木市水上口錢

同十六匁八分 大坂もふしミ迄ちん

同十七匁九分 伏見も木津迄ちん

同廿貳匁五分 木津もなら迄ちん

ノ金壹兩三分壹朱ト七十五匁貳厘

此金壹歩ト三匁貳厘

合金貳兩三分壹朱ト三匁貳厘

引而

金百卅六兩貳分一朱ト壹匁四分八厘

壹分

元分差引

金壹兩壹朱ト七匁八分三厘 利分

式ツ割金貳分ト

三匁壹分六厘 ㊦利分引

又引

金百卅六兩ト貳匁八分貳厘

代銀九メ七百廿六匁八分四厘

渡し方

ノ銀貳拾貫五百卅壹匁九分

差引十二月卅日改

壹メ四百四十五匁七分三厘 かし

此り廿八匁九分壹厘 酉正月と二月迄二ヶ月分

合壹メ四百七十四匁六分四厘 包

酉二月卅 七二九此金廿兩三朱ト三匁九分七厘

酒田ニ而売分

此所^も

正ミ貳貫七百八十七匁五分 仲繼

廿五反^ノ高

酉二月卅 此金卅九兩三分毫朱 酉二月卅日預り分

ト六分三厘

此り老兩三分毫朱ト 三月^も十二月迄七ヶ月分

老匁四分

^ノ金廿毫兩貳分式朱ト式匁四分三厘 預り成ル

此分酉十二月改

但酉古手代差引之所^も入ル

京ト

嶋屋利助殿

納戸縮緬形

一 三百九拾匁 十九五 廿反

仰 同

一 百九十匁 十九 拾反

代

一 四百九拾五匁 十九八 廿五反

恭 一 貳百目 納戸鳴海拾反

斗 廿〇

一 貳百五匁

穩 廿〇五 拾反

一 貳百拾五匁

賑 廿一五 拾反

九匁 包白

十式匁八分 入用

^ノ毫^ノ七百廿六匁八分 札^も三分引

銀毫^ノ四百六十一匁八分

此り五十八匁四分七厘 五ヶ月分

^ノ毫^ノ五百廿匁貳分八厘

金拾九兩 十一月七日吉次^も渡し

此銀毫^ノ三百六十八匁

引而百五十式匁貳分三厘

一 式匁 足袋

一 廿七匁五分 かね□巻反

一 廿貳匁 嶋惣メ高□□出し

メ貳百四匁七分貳厘

七貳五

此金貳両三分壹朱ト八分

十二月二日 利七殿相渡し

播州姫路

奈良屋権兵衛殿

午古手仕返上

一 銀五百拾五匁五分 かし

未古手仕返上

一 同貳百廿八匁貳分五厘 かし

メ七百四十三匁七分五厘

新瀧行ニ相成

一 銀九貫拾貳匁五分五厘 同荷之分メ高

右申正月四日大坂小彦も五十兩也下し金

銀三メ九百八十七匁五分

七貳五

引而銀五貫廿五匁五分

又引銀四貫貳百八十一匁三分

右申十二月卅日

金五拾兩也

上京十兵衛様相渡し

酉二月十六日

金拾五兩也

宇兵衛様相渡し

此分ニ而午未迄古手代此度惣立金勘定相済相成候

仕切書

巻ばん

一 貳百廿一匁壹分 下々解 廿

一 貳百十三匁三分 同

一 貳百拾四匁五分 同

一 貳百十五匁壹分 同

一 貳百廿貳匁 同

一 貳百十八匁四分 同

一 貳百十五匁七分 同

メ巻メ五百廿匁壹分 七速入

巻ばん

一 式百九拾匁七分 下解廿
 一 三百九匁三分 同
 一 三百十式匁三分 同
 一 式百九十一匁六分 同
 一 三百三目 同
 一 式百九十五匁五分 同
 一 式百九十五匁八分 同
 一 式實九十八匁五分 七速入
 三はん
 一 四百六十九匁式分 中綿入十
 一 四百六十五匁九分 同 十
 一 五百九十三匁壹分 中上綿入十
 一 五百八十一匁四分 同 十
 一 五百七十三匁九分 同 十
 一 式實六百八十三匁五分
 四番
 一 李印晒足袋 九文 式百足
 一 式 代式百四拾匁 十文 式百足

一 式四 代式百八十匁 十半 式百足
 一 同 同
 一 式五 代三百匁 六六百足
 一 式八百式拾匁
 一 九匁 つゝみ三つ
 一 四匁五分 茶代
 一 五はん
 一 李印晒足袋 九半 三百足
 一 式三 代三百九十匁
 一 李印紺 十文 三十足
 一 式七 代五十一匁 十半 五十足
 一 同 同
 一 式九 代五十七匁 九半 式十足
 一 飛切白雪竹
 一 式四 代六十四匁 十文 式十足
 一 同 同
 一 式三五 代六十七匁 十半 三十足
 一 同 同
 一 式五 代百五十匁 十一文 十足
 一 同 同
 一 式六五 代三十六匁五分

- | | | | | | | | |
|---|-----------|-------|---|---|----------|------|---|
| 一 | 極上白雪竹 | 貳反 | | 一 | 四百八十三匁四分 | 中上浅き | 廿 |
| 一 | 三七五 代七十五匁 | | | 一 | 四百五十三匁九分 | 同 | 廿 |
| 一 | 同 紺 | 貳反 | | 一 | 貳百八十八匁九分 | 下色なし | 廿 |
| | 四六五 代九十三匁 | | | 一 | 貳百五十六匁五分 | 同 | 廿 |
| | 貳百八十八匁五分 | | | 一 | 四百十九匁五分 | 中上 | 廿 |
| 一 | 九匁貳分 | つゝみ三つ | | | 貳百八十八匁五分 | | |
| 一 | 四匁五分 | 茶代 | | | 貳百八十八匁五分 | | |
| | 貳百八十八匁五分 | | | | 貳百八十八匁五分 | | |
| | 六はん | | | | 貳百八十八匁五分 | | |
| 一 | 貳百七拾九匁三分 | 下色なし | 廿 | | 四百四十五匁五分 | 中トキ | 廿 |
| 一 | 四百廿匁九分 | 中同 | 廿 | 一 | 四百五十匁九分 | 中上浅き | 廿 |
| 一 | 四百三匁五分 | 同 | 廿 | 一 | 三百十九匁五分 | 黒トキ | 廿 |
| 一 | 四百四匁壹分 | 同 | 廿 | 一 | 貳百六十八匁貳分 | 下色なし | 廿 |
| 一 | 貳百八十四匁七分 | 下同 | 廿 | 一 | 貳百七十五匁七分 | 同 | 廿 |
| 一 | 四百五十七匁五分 | 中上浅き | 廿 | 一 | 貳百五十五匁九分 | 同 | 廿 |
| 一 | 四百六十五匁九分 | 同 | 廿 | 一 | 四百廿一匁八分 | 中同 | 廿 |
| | 貳百七十九匁九分 | | | | 貳百七十九匁九分 | | |
| | 七番 | | | | 九番 | | |
| 一 | 五百三十八匁貳分 | 中上トキ | 廿 | 一 | 百五十匁三分 | 層解 | 廿 |
| 一 | 四百五十九匁六分 | 中上浅き | 廿 | 一 | 百五十匁 | 同 | 廿 |
| | | | | 一 | 百五十三匁九分 | 同 | 廿 |

一 四百廿七匁八分	中同	廿
一 四百卅八匁三分	同	廿
一 四百廿八匁四分	同	廿
一 五百六十匁八分	中上	廿
ノ貳貫三百十一匁五分		
拾番		
一 百五十四匁貳分	くつとぎ	廿
一 百五十六匁三分	同	廿
一 百五十匁六分	同	廿
一 百四十九匁七分	同	廿
一 四百三十六匁三分	中解	廿
一 四百廿六匁六分	同	廿
一 五百四十四匁三分	中上	廿
ノ貳貫十七匁八分		
十一番		
一 五百卅六匁叁分	中上トキ	廿
一 五百七十八匁七分	同	廿
一 五百九十一匁三分	同	廿
一 貳百六十五匁八分	下色なし	廿

一 貳百五十匁八分	同	廿
一 貳百四十九匁	同	廿
一 四百六十四匁四分	中中上	廿
ノ貳貫九百卅六匁叁分		
十貳番		
一 五百四十一匁八分	中上解	廿
一 五百五十五匁六分	同	廿
一 四百八十四匁三分	中上浅き	廿
一 五百八十五匁九分	中上解	廿
一 五百八十八匁九分	同	廿
一 貳百五十九匁五分	下色なし	廿
一 四百六十六匁五分	中中上解	廿
ノ三貫四百八十匁四分		
十三番		
一 四百目八分	中トキ	廿
一 五百九十四匁	中上	廿
一 五百九十一匁三分	同	廿
一 三百四匁五分	中下黒	廿
一 四百五十四匁三分	中色なし	廿

一 三百八匁四分 下同 廿

一 三百拾匁二分 下同 廿

ノ式實九百六十三匁四分

十三反 數ノ千四百五反

ノ式拾八貫廿式匁四分

三双掛引残而

正ニ銀九貫三百四十匁八分

銀壹メ八百七拾五匁七分 足袋雪竹四反

ノ拾壹メ貳百拾六匁五分

此り六百七拾式匁九分 六ヶ月利

一 一百十式匁壹分六厘 口せん

一 三十九匁 荷造ちん

一 廿九匁貳分五厘 濱出小返

一 一百三十匁 元ふね運ちん

ノ三百拾匁四分壹厘

ノ拾壹メ百九十九匁五分

七式五五

此金百六十八兩壹分

右ノ式百拾兩也 十二月二日相渡し

差引十一月二日分

追金四拾壹兩三分

十一月卅日 上京十兵衛様方

又金八兩壹分 相渡し

ノ五拾兩也 二印為替金当

八十

七月卅日

一 式拾兩也 二印受取

此り永八十匁

八月廿五日

一 三拾五兩 二印受取

此り壹兩五匁

ノ五十六兩ト永八十五匁

右ノ 十一月卅日

一 五拾兩也 十兵衛様相渡し

差引残り 二月十六日

六十兩八十五匁 宇兵衛様相渡し

又三十匁 元金当利足

七兩ト拾五匁 差引ニ而相渡し

十一月朔日下し 伊勢屋茂平殿カ
一金式百拾兩也 大坂小彦殿カ下し

二日相場

七式五五

為替金

十一月三日下し 同断
一同百兩也 同断

四日相場 此り金五兩也 三月迄

七式五

十一月卅日 川村喜右衛門殿
一金式百兩也 為替手形表引替相渡し

十一月卅日 上京
一金式百兩也 十兵衛様カ相渡し

此り拾六兩也 酉三月迄利

合五百廿壹兩也

十二月三日
入金 百兩也 宇兵衛様カ受取

此り四兩也 四月分

十二月廿八日
入金 五拾兩也 一白カ受取

此り壹兩貳分 三月分

酉正月六日
入金 七拾兩也 同断受取

此り貳兩ト永拾匁

二月六日
入金 百兩也 へメカ受取

此り三兩也

二月二日
入金 八拾兩也 へメカ受取

此り壹兩永六十匁

入金 四百拾壹兩貳分永七十匁

引残而

金百八兩ト永八十匁

此所カ

三月卅切 五右衛門殿

一 金百兩也 渡り手形_ニ而受取置

残而八兩ト八十匁

内金七兩拾五匁 二為替差引不足人

又引残り

二月十六日

金壹兩六十五匁 入

京都

伊勢屋茂平殿

十一月朔日

一 金六拾六兩ト 但吉彦殿出し いせ藤渡り手形_ニ而

貳匁壹分 相渡し

一 同 但伊勢利殿出し 金百五拾兩也 万治渡り手形_ニ而

相渡し

入 金貳百拾六兩ト 姫路なら権殿行

貳匁壹分

内金貳百拾兩也 大坂小彦殿も下し金

相頼置候

引殘金

六兩ト錢百八十式文 正_ニ而請取

十一月三日

一 金百兩也 但吉彦殿出し 伊勢藤渡り手形_ニ而相渡し置

右代り

金百兩也 なら権殿行

大坂小彦殿も下し相頼申置候

十一月卅日

一 金四拾壹兩壹分一朱ト 但いせ利殿出し 手板_ニ而相渡し

四匁八分七厘

一 同五百卅五兩三分ト いせ源殿出し

七匁貳分壹厘 手形_ニ而相渡し

入 五百七拾七兩壹朱ト拾匁八厘

卅日

入 金五拾兩也 正 受取

卅日

入 金貳百兩也 手形_ニ而受取

十二月朔日

一 金三拾七兩貳分壹朱ト 吉彦殿出し 手形_ニ而相渡し

三匁壹分四厘

朔日

入 貳百兩也 大坂羽久殿下し金

同

入 百兩也 手形^ニ而受取

同

入 三十兩也 手形^ニ而受取

同

入 廿兩也 手形^ニ而受取

十二月朔日

入 拾四兩貳分式朱卜拾三匁貳分式厘

又

伊勢屋源助殿

△平丸兩 十七入 四丸

同緋王 十八入 四丸

同緋頭 十八入 四丸

同極撰 十七入 四丸

同錦山 十八入 四丸 外九袋

又五口 又三百六十一

十一月切六十五兩かへ

代金三百六拾六兩貳分八匁四分三厘

内三分ト三匁貳分壹厘 緋頭五欠引

金三百六拾五兩三分五匁貳分式厘

内五兩壹分式朱六匁四分五厘 一半引

△仁

壹分一朱ト三匁七分 極撰手板不足 世わ料

△上 壹分式朱ト六匁六厘 緋王印手板不足 世わ料共

一冊 壹分 緋王世わ料

△一 壹分 錦山世わ料

□半 壹分ト四匁五分九厘 玉紅手板不足

木 一三朱ト三匁六分 丸雨手板不足

一 廿匁八分 玉紅丸兩大坂ちん

又 貳兩貳分六分

又引

金三百五十七兩三分一朱ト壹匁六分式厘

一 平玉紅 十九入 六丸

十一月切五十六兩かへ 三袋
代金百貳兩貳分貳朱下

内卷兩貳朱下 五欠引

卷兩貳分卷匆三分七厘 一半引

引而

金九拾九兩貳分貳朱下

銀六匆三分三厘

同 錦山 十八入 四丸

十一月切六十六兩かへ
代金七拾四兩壹分

内卷兩下六匆八分 一半引

引而

金七拾三兩貳分下七分

金五百卅兩貳分貳朱下 卷匆壹分六厘

内十一月廿八日 請取
金拾兩也

十一月卅日

又金五百卅五兩三分 受取

七匆貳分壹厘

十二月朔日 御手代

一 金五兩也 孝七様と相渡し

一 同拾貳兩壹分三朱

拾七兩壹分三朱

覚

尾濱(小)弘

巳年

一 金三兩也

京都

いせ屋利右衛門

一 同壹兩也

同 和七

一 同壹兩也

同 喜七

一 同三兩也

同 源助

一 同壹兩也

同 常七

一 同壹兩也

同 孝七

一 同壹兩也

同 平七

一同式兩也 古手屋長右衛門

一同壹兩也 日野屋徳右衛門

一同壹兩也 龜屋半七

一同壹兩也 吉文字屋彦市

一同壹兩也 ミのや忠右衛門

一壹兩也 近江屋佐助

一壹兩也 最上屋喜八

一壹兩也 西村清九郎

一壹兩也 西村徳右衛門

一壹兩也 鳴屋利助

一貳分也 鳴屋平七

金貳拾貳兩貳分

ミのや次兵衛殿

出来相頼

一 日准瀆仏 三拾躰

代拾八兩三分

右

金貳拾兩也 相頼二付相渡し

差引

残金壹兩壹分 かし

一同 宇野 申付出来候分 廿躰

代拾貳兩貳分

午十二月

金五兩也

ミのや 次兵衛様相渡し

京都

西仕入 古手屋長右衛門殿

百壹

一 三百廿五匁八分

布段残

壹反

百貳

一 三百廿貳匁貳分

同

壹反

百三

一 三百廿一匁四分

同

壹反

百四

一 三百廿六匁貳分

同

壹反

百五

一 三百廿四匁四分

同

壹反

百六 一 三百廿九匁四分 同 壹反
 百七 一 式メ九百九十三匁八分 夏物 壹反
 百八 一 三メ百廿一匁三分 夏物 壹反
 百九 一 式メ七百九十四匁 上夏物 壹反
 百十 一 卷メ百八拾三匁三分 濡半 壹反
 百十一 一 式メ七百廿五匁三分 絹もの 壹反
 拾四 拾四 七百六十九匁七分 四掛
 正メ銀五貫九百七匁八分四厘
 又 五十五匁 右大坂迄入用
 又 六十七匁七分六厘 大坂も酒田迄
 合六貫卅匁六分四厘
 百十式 中布段綿
 一 四百四十九匁三分 壹反

百十三 一 四百五十八匁八分 同 壹反
 百十四 一 三百八十五匁六分 同 壹反
 百十五 一 三百九十匁九分 同 壹反
 百十六 一 三百九十五匁六分 同 壹反
 百十七 一 三百九十式匁九分 同 壹反
 百十八 一 三百九十八匁八分 同 壹反
 百十九 一 三百九十式匁 同 壹反
 内又五十七匁壹分 セきた
 又式分式朱 毛せん壹枚
 百廿はん 一 三百九十五匁四分 同 壹反
 百廿壹 一 三百八十八匁八分 同 壹反

ノ四メ四十八匁六分

四掛

正ミ壹メ六百拾九匁四分四厘

又五十七匁四分 セきた分

ノ壹メ六百七拾六匁四分四厘

又五十匁 荷造、大坂迄入用

又六十匁六分 大坂も酒田迄運ちん

ノ壹メ七百八十八匁四厘

百廿貳番

一 六百卅貳匁

中布段
壹反

百廿三

一 四百六十五匁

下布段
壹反

百廿四

一 四百七拾七匁六分

下同
壹反

百廿五

一 壹メ九十九匁六分

濡半
壹反

百廿六

一 貳メ四百四十八匁四分

丸もの
壹反

百廿七

同

一 貳メ四百五十五匁八分 壹反

百廿八 同

一 貳メ貳百六十一匁貳分 壹反

百廿九 道曆

一 壹メ五十八匁九分 壹反

百卅 同

一 壹メ四十七匁六分 壹反

百卅貳 同

一 壹メ五十匁九分 壹反

百卅三 同

一 壹メ五十三匁五分 壹反

百卅四 同

一 壹メ五十七匁六分 壹反

百卅五 同

一 壹メ五十七匁四分 壹反

百卅六 小間もの

一 壹メ三十六匁叁分 五十八入 壹反

百卅七 同

一 壹メ卅五匁八分 壹反

百卅八 同

一 壹メ四十匁八分 壹反

百卅九 安トキ、下トキ

一 卷メ四百六十四匁二分 卷反

百四十 安トキ、下トキ

一 卷メ四百六十式匁八分 卷反

百四十一 安トキ、下トキ

一 卷メ三百七十匁八分 卷反

百四十式

一 卷メ三百五十匁 卷反

百四十三 丸古手、半天

一 卷メ百八拾匁七分 卷反

百四十四 取合

一 卷メ九十六匁七分 卷反

百四十五 布段後

一 卷メ七拾六匁七分 卷反

百四十六 上嶋トキ

一 三メ拾八匁五分 卷反

百四十七 うら解

一 式メ四百八十三匁 卷反

百四十八 絹もの取合

一 式メ六百卅九匁五分 卷反

百四十九 同 卷反

百五十 布段

一 五百廿五匁五分 卷反

廿九反分

メ 四十メ七百廿九匁九分

四掛

正メ拾六貫式百九十一匁九分六厘

一 百四十五匁 荷造大坂迄入用

一 百七十八匁六分四厘 右酒田迄ちん、わりま

し共

一 拾三匁八分 添添六枚、三反分

一 百四十七匁八分四厘 平廿四反、五わまし

一 八匁九分六厘 平八入卷反

一 四百八十九匁八分四厘 油屋佐七郎

のトや長右衛門

伊三郎、勘助

卷反ニ廿五匁ツ、ニ拾

□ニ付ちんまし

メ

古手メ高諸懸り共

惣ノ廿五貫九十五匁七分貳厘早口ニ兩かし共

貳匁七厘 差引預り

此り卷メ七百五十六匁七分午五月卅日也十二月迄

七ヶ月分

白干芋仕切

ノ廿六メ八百五十式匁四分貳厘

△平印組合荷物

七一九

一 撰芋 三駄片馬 卷連

此金三百七拾三兩壹分三朱ト

一 二番 六連ト四本

貳匁貳分三厘

ノ三駄片馬ト七連四本

外かしつき代差引預り分

代金百拾九兩貳分

廿卷兩貳分貳朱ト

一 稀芋 貳駄ト四連

貳匁四分三厘

一 二番 五連ト三本

二口ノ

ノ貳駄九連三本

金三百九十四兩三分三朱ト

代金七拾八兩壹分永七匁貳分三厘

四匁六分九厘

一 一つ撰 貳駄

此所也

一 二番 五連貳本

金貳百九十兩壹分

組合代十一月切

貳匁六分貳厘 仕切金

ノ貳駄五連貳本

差引

代金六拾七兩貳分

金百四兩貳分五朱ト

西十二月卅日迄

一 本畑 貳駄片馬六連

一 二番 八連ト六本

ノ三駄四連式本

代金九拾貳両三分永九匁六分六厘

一 宮白 四駄片馬三連

一 大白 片馬四連

一 二番 老連式本

ノ五駄八連式本

代金百廿九兩貳分

合金四百八拾七兩貳分

永十六匁八分九厘

外ニ掛り

一 金拾壹兩壹分貳朱ト 荷造入用

銀三匁五分

一 同貳分貳朱ト 御役永

銀貳匁五分

一 銀九匁五分 撰芋、宮白、大白ノ五駄余、川

下しちん

一 金壹兩貳分 右荷、酒田迄運ちん

銀十一匁六分貳厘

外ニ貳分まし合力

一 金貳兩也 右荷ニ添金、手板四枚

一 金壹兩壹分 稀芋・一つ撰・本畑

右大石田迄品送りちん

一 金壹兩貳分 右荷江大石田より酒田迄

わいまし共 掛り

右ノ拾九兩貳朱ト

銀四匁六分貳厘

ノ金五百六兩三分

銀七匁分五厘

外ニ 上麻五メ四百目

一 金三兩貳分貳朱ト銀六匁

ノ金五百拾兩壹分貳朱ト 小荷共卅六反

銀拾三匁分五厘

此り金六十六兩壹分 西九月も戌壬八月

銀八匁八分 迄三ヶ月利

ノ金五百七拾六兩貳分貳朱ト

銀廿貳匁五厘

此所江戌二月切

金貳百九十兩壹分 仕切金

貳匁六分貳厘

此り金廿兩壹分一朱ト 戌三月も壬八月

三分六厘 迄、七ヶ月分

又 戌壬八月切

金貳百六十八兩壹分一朱 仕切金

金五百七十八兩三分貳朱ト

貳匁九分八厘 兩上

差引

金壹兩三分三朱ト

三匁四分三厘

貳つわり

金三分三朱ト

壹人分利分

三匁九分六厘

此分差引未ニ而仕候、以上

売仕切

戌二月卅日切

△平撰七夕

三駄片馬 壹連

同 貳番

六連四本

△三駄片馬七連四本

卅六兩かへ

代金百卅八兩三分永貳匁六分五厘

同切

同 宮白

四駄片馬 三連

同 太白

片馬 五連 貳本

△五拾八連貳本

廿九兩かへ

代金百五十六兩ト永四十六匁壹分七厘

△金貳百九十五兩ト永廿三匁八分三厘

正三十七匁壹分五厘

内

一 七匁八分

切口三つ引

一 金三兩貳匁壹分

手板四通不足

一 廿貳匁八分

木市水上

一 卅三匁分九厘 大坂_と伏見迄ちん

一 四十匁分七分五厘 木津_とちん、なら迄

一 卅匁分三分五厘 伏見_と木津ちん

ノ三兩_と百四十匁五分三厘

此金壹兩分三朱_と拾九匁三厘

合金四兩分三朱_と九分三厘

差引

金貳百九十兩壹分貳匁六分貳厘

戌二月廿日切

西古手代ニ入ル

戌壬八月卅日切

ノ平稀苧 貳駄_と四連

同一つ撰 貳駄

ノ四駄_と四連

卅五兩分_{かへ}

代金百四十八兩三分貳朱_と

永壹匁三分

同切

同本畑 貳駄片馬 六連 四本

卅四兩_{かへ}

代金九十五兩壹分貳朱

永四匁六分貳厘

同切

同稀苧二番 五連三本

同一つ撰二番 五連貳本

同本畑二番 八連

ノ片馬八連壹本

卅壹兩分_{かへ}

代金廿八兩_と永七匁分八厘

ノ金貳百七十匁分貳朱_と永七分

外ニ金三兩也 麻三連

又_マ

ノ金貳百七拾五兩壹分貳朱_と五分

内

一 拾匁 切口四つ引

一 金五兩三朱_と 酒田_と為替分

貳匁七分九厘

一 廿五匁五分 大坂^も伏見迄ちん

一 廿目四分 日半
木一水上

一 廿九匁七分五厘 伏見^も木津迄ちん

一 卅七匁式分五厘 同前^もなら迄ちん

一 五兩三朱卜百卅五匁六分九厘

此金^も壹兩三分式朱卜六分九厘

合七兩壹朱卜六分九厘

差引

金式百六十八兩壹分壹朱

嶋屋利助様

千七百壹はん

一 拾匁

包永^も壹反

一 拾七匁 荷造入用、銀紙^も渋紙、里しきう

一 式拾七匁

千七百式番

一 仁 四百六十匁 廿三新形
廿反

一 歳 百拾式匁五分 廿式入同
五反

一 酉 六百廿匁 廿四八た白入
廿五反

一 正 三百卅匁 廿二ちり面
拾五反

一月 式百拾五匁 廿一五同
拾反

一大 百拾七匁五分 廿三入同
五反

拾匁

拾四匁

一 卷^も八百七拾九匁

千七百三番

一 拾三匁五分 紺二巾 のふれん

一 九匁五分

一 拾四匁 荷造入用、七嶋式枚

一 七匁三分 運五日市半^もゑり

一 四十四匁三分

大 千七百四番 廿三五納戸嶋海

一 氣 廿反

四百五十匆

然 廿二式同

一 四百四十四匆 廿反

費 廿一八同

一 一百九匆五分 五反

捌 廿一七同

一 一百八匆五分 五反

改 廿二式同

一 貳百廿匆 拾匆

一 拾匆 白老反

一 拾四匆 荷造入用

ノ式又貳百十匆

惣八貫三拾五匆八分

内貳百四十匆 千七百貳はん引

貳百四十匆 千七百四はん引

貳百四十匆 千七百五はん引

三百目 千七百六はん引

引而ノ七貫拾五匆八分

員 薄花色

一 五百廿貳匆五分 廿〇九 廿五反

数 一 七百十七匆五分 廿〇五 卅五反

一 六百六匆 廿〇貳 三十反

一 九十九匆五分 十九九 五反

稀 一 八十五匆 十七 五反

拾匆 老反

拾四匆 入用

ノ式又五十四匆五分

内三百目 引

引卷又七百五十四匆五分

又八貫七百七十匆五分

此り四百廿匁九分六厘 六ヶ月分

酉七月卅日
金五拾兩也

吉文字屋彦市殿

三メ六百め

相渡し

此り百十五匁式分

四ヶ月分

十二月十五日
同七拾兩也

同店も相渡し

銀五メ四十め

戌正月卅日

同三兩也

在京

銀式百十六匁

次兵衛も相渡し

銀八貫九百七十一匁式分

差引銀式百廿匁六厘

日野屋徳右衛門殿

酉仕切

八平十卷番

廿三五

納戸鳴海

一 五百八十七匁五分 廿五反

廿式五 同

一 五百六十式匁五分 廿五反

廿一式 同

一 五百卅匁 廿五反

廿〇五 同

一 五百十式匁五分 廿五反

一 十式匁五分 入用

銀式百五匁三分

内三百目 引

三〇引

正ミ卷メ九百五匁三分

銀相場も式百仕掛

十一月卅日

一 金廿兩也 吉彦殿も相渡し

戌正月卅日

一 同七兩也 在京次郎兵衛相渡し

京都

伊勢屋利右衛門殿

△一鳳凰 五十四さし三つ

代金八拾五兩貳分

同高谷 四十貳

代金六十四兩壹分

銀三匁七分五厘

同緋司 六十四

代百兩也

△金貳百四拾九兩三分壹朱ト

一 金壹兩壹分 口錢

銀三匁三分六厘

一 同壹兩壹分 目早口錢

壹匁三分六厘

一 同壹分ト 荷造入用

壹匁八分

一 銀五匁六分貳厘 御役永

一 壹兩壹分 袋代

銀壹匁五分

一 壹兩三分貳朱 添金

一 壹兩貳朱ト貳匁八分 大石田迄ちん

△六兩壹分三朱ト

銀貳匁九分九厘

外貳分 百兩也下し金

福嶋ちん

△金貳百五十六兩三分ト

銀貳匁九分九厘

内四月二日渡り

金四拾兩也

新藏を為替手形

同 同拾兩也 利兵衛為替手形

四月二日渡り

同四拾五兩也

次兵衛を為替手形

六月十三日

金百兩也

下り金相届き

四月 金五十兩

在京中

要蔵預分

△此り三兩貳分貳朱 四五六半

又二ヶ月半利

入方内金貳百四八兩卜

貳分貳朱

引而殘金八兩貳朱卜

銀貳匁九分九厘

右も八月渡し

金拾兩也 円満寺為替分

差引過金壹兩三分

銀四匁五分壹厘

戌(平紅花代)而差引勘定仕候

姫路

奈良屋権兵衛殿

一 銀貳拾九貫六十九匁七分三厘

外二

一 百八拾九匁壹分壹厘 口錢

一 三十壹匁五厘 文庫代

一 拾六匁八分 七嶋八枚

一 九十壹匁五分 荷造入用

一 八十壹匁 濱出し小廻し

一 三百六十匁 元船運ちん

△七百七拾匁三厘

合銀貳拾九貫八百卅九匁七分六厘

此り貳貫三百八十七匁壹分貳厘

五月も十二月迄八ヶ月利

元利

合銀三拾貳貫貳百廿六匁八分八厘

京

十二月三日 一 金貳百兩也 いせ利殿を相渡し

七二八 此銀十四メ五百六十匁

十二月二日 一 同百兩也 吉彦殿を相渡し

七二八五 此銀七メ貳百八十五匁

銀貳拾壹貫八百四十五匁

此り貳百拾八匁四分五厘 壹ヶ月分

十二月卅日

一 金百兩也

いせ源殿も相渡し

此銀七メ貳百四十三匁

渡り

銀貳拾九貫三百八匁四分五厘

引残り

銀貳貫九百拾八匁三分五厘

相場凡七七式

此金四拾兩貳分銀式匁三分五

此分為替金内江入

為替差引

酉十月卅日

一 金廿三兩

五右衛門殿も請取

此り永九十式匁 戌二月迄四ヶ月分

十二月十四日

一 同百五十兩也

十兵衛様も直受取

此り永三百七十五匁 二月迄二ヶ月半分

戌正月六日

八日

一 同貳百五十兩也

へより受取

此り永五百匁

二ヶ月分

銀四百廿三兩と永九百六十七匁

此金九兩貳分永十一匁三分七厘

戌二月五日

在京

一 金五百兩也

次郎兵衛も相渡し

此り金五兩也

壹ヶ月分

差引

過金七拾貳兩貳分 かし

永十一匁三分七厘

右江

金四拾兩貳分 古手代差引不足見込三而入

銀式匁三分五厘

此永三匁貳分五厘

又差引

成二月卅日改

金三十拾貳兩下永八匁九厘 かし

代金六拾九兩貳分貳朱

同女紅 九十三

代金八拾四兩壹分一朱貳匁五厘

同錦山 百五十三

代金百卅九兩貳朱下五匁

同玉紅 百十七

代金百兩三分貳朱

同紅司 六十七

代金五拾九兩

同小町 五十八

代金五拾五兩壹分貳匁五分

同緋三 七十貳

代金六拾七兩壹朱

代金九百五拾兩三分三朱

(裏表紙)
一 羽州最上

本木林兵衛

仁平次

平丸雨 六十八

代金五拾四兩壹分貳朱

同鳳凰 六十九

代金六拾八兩貳分三朱壹匁五分

同緋司 六十八

代金六拾四兩三分三朱

同極撰 六十七
七十壹

代金五拾六兩壹分

同日之出 六十八

代金五拾八兩三朱

同松沢 七十貳

代金七拾三兩壹朱

同緋頭 七十貳

六六 紅花送手板

伊勢屋源助殿行

△平錦朗紅花 廿卷入三丸

印

同龍田紅花 廿卷入七丸

印

右卷月道中 二而

同 同 小々濡いたみ 廿卷入壹丸

内さし四袋

同心暉紅花 廿入壹反

△拾貳丸 江戸先

金壹兩貳分 添金

封印三ヶ所

山形横町

嶋屋佐右衛門殿

江戸傳馬 (マ) 丁三丁目

村田久藏殿

江戸日本橋大坂荷物積拂所

利倉屋金兵衛殿

大坂今さし

松坂屋小八殿

京都

伊勢屋源助殿

行

六七 紅花御注文仕切目録

文久二戌七月仕入

京都富小路

最上屋喜八様

紅花御注文仕切目録扣

(朱筆)

酒田本間長三郎横出

八月二日出帆 加州安宅

会津屋長助船

つるが田保殿上り

上松尾紅花 拾九入四丸

二代金百拾四両ト永八拾匁三分六厘六毛

外二

永四匁七分六厘六毛 御役永

永六拾匁匁分七厘五毛 袋七拾六代

永拾匁匁分六厘 荷造質繩延

金壹両也 買口銭諸掛り

永拾七匁三厘 當所大石田迄陸送り駄賃并ニ

材料共掛りとも

永貳拾八匁匁分貳厘三毛 大石田と酒田迄川船運

質ましとも

之金貳両ト永貳拾貳匁分五厘四毛

金百拾七両ト永貳匁六分貳厘

但酒田着、九十八両永五十四匁七

分八厘上り

六八 万覚帳(横帳)

(表紙) 文久二年

万 覚 帳

戌 十月吉日

九月十一日

一 金四両也

国元と請取

内

一 三百五十文 たばこ代百目
 一 三百文 赤玉代
 一 百卅文 渋紙代
 一 貳百文 下女貳人
 一 金巻両ト 九月十一日より
 貳百九十貳文 同廿九日迄道入用
 一 五百文 扇子廿本
 一 五百文 まき紙
 一 三百文 半紙
 一 壹朱也 嶋利殿悔
 一 壹朱也 いせ屋孝七殿悔
 一 壹朱 羽織ひぼ代
 十月十四日
 一 貳朱ト五十文 たはこ貳つ
 廿二日
 一 貳朱也 帳面巻札
 一 百文 たひあらへ
 一 百文 せきたなおし
 一 三十四文 へちま代

十一月五日 西六條御殿
 一 三百文 案内ちん
 一 五百文 飯料代
 一 三百文 風茶代
 十四日
 一 金巻朱 羽久殿
 十七日 大坂三而
 一 金巻朱ト百文 たはこ
 一 三百文 たひ巻足
 廿六日、廿八日迄
 一 壹朱 御本山
 一 壹朱 宿懸り
 一 三百文 風茶代
 一 四十八文 あした羽入
 一 貳朱ト貳匁 大坂上下入用
 十二月五日
 一 壹朱 吉文屋香代
 一 金五両壹分壹朱ト貳百文 綿善払
 七十口

四百八十文つゝ

御客様夕飯三

同 貳つ

熊吉分三夜泊り

引而

金百六十八両貳分貳朱ト

銀五匁貳分貳厘

十一月廿日

内卷分三朱ト

田保殿より直払

卷匁八分五厘

一 卷朱 下女まつ

一 卷朱 同まつ

一 手拭卷 長場祐助

一 貳分也 茶代

近江屋佐助様

十月六日

△平玉紅 十九入卷丸

廿入 卷丸

伊勢屋利右衛門様

△平緋壬 十九入四丸

外二十一袋 吉彦殿より相渡し

△八十七袋

同玉紅 十貳袋 卷丸

△五十九袋

十一月七日切百五両かへ
代金九拾六兩三分

銀式匁八分卷厘

内金卷兩卷分貳朱ト 卷半引

十一月七日百廿六兩替
代金百七拾卷兩卷分ト

銀卷匁八分七厘五

内金貳兩貳分 卷半引

銀四匁卷分五厘

銀四匁六分卷厘

又三百六拾文 伏見と駄ちん桑かゝ渡し分

差引

金九拾五兩壹分

銀貳匁壹分

十一月七日

竹原孫兵衛殿

渡り手形ニ而受取

十一月十七日

一 金壹分貳朱卜 大坂廻り

三百八十文 木市殿江平弘

西村屋清九郎様

十月八日 十八入

平小町 四丸

七十式

十一月七日切百十兩かへ

代金百廿三兩三分

内金壹兩三分 壹半引

銀六匁三分八厘

又金三分壹朱卜 手板不足

引而

壹匁貳分七厘

金百廿壹兩卜三匁七分五厘

十一月七日

万屋次兵衛殿

渡り手形ニ而受取

伊勢屋源助様

十月十二日 十七入

平松沢 四九

六十八

十一月七日切百廿貳兩かへ

代金百廿九兩貳分貳朱

内金壹兩三分貳朱卜 一半引

銀四匁壹分六厘

引而

金百廿七兩貳分貳朱卜

銀三匁三分四厘

万屋次兵衛殿渡り手形ニ而受取

西村屋清左衛門様

十月十二日 十九入
公平緋頭 三丸

外二九袋

六十六

十一月七日切百廿兩かへ
代金百廿三兩三分

内金壹兩三分 一半引

銀六匁三分七厘

引而

金百廿壹兩三分貳朱ト壹匁壹分貳厘

内十月十六日

金百兩也 受取

十一月七日

同拾九兩貳分 万屋次兵衛殿

壹匁四分四厘 渡り手形^{ニ而}受取

同金壹分 吉彦世わ料

同 貳分 百兩利

十月十三日 伊勢屋
一 金拾兩也 利右衛門様

紅花代之内 受取

十月十三日 御同人様江
一 金六兩也 常光院

月掛金^ノ高

申十一十二酉正二三四五六七八九十

十一十二戌正二三四五六七八九十

^ノ廿四ヶ月分相渡し

十二月十五日

一 金壹兩貳分 講懸相渡し

十一十二正二三四

^ノ

十月二日分 国元伊助俸
一 金貳兩貳分貳朱 熊吉

伊勢参りニ付かし

古手屋長右衛門様

十月朔日分 柳蔵殿分

一 正四十匁 羽をり壹枚

一 正四十匁 嶋綿入壹枚

此金壹兩 相渡し

日和田藤蔵殿

十月朔日分 羽をり

一 銀八拾八匁 綿入壹枚

内壹兩也 十一月廿五日□□殿と受取

引而

五匁七分

此銀四百八十四文

一 金壹分 大坂下り之節かし

一 貳百文 案内ちん

此金壹分ト六百八十四文

内四百文 引

引而壹分ト貳百八十四文

十二月十五日

一 金壹兩壹分貳朱 かし、帯代

十二月十六日 受取

十月十六日 西村屋

一 金百兩也 清左衛門殿

紅花代之内受取

但、緋頭印十一月七日切之分

十月十六日より十一月七日迄、金貳分之利是定

伊勢屋茂平様

十月十六日 金百兩也 相渡し

但、大坂小幡屋彦九郎殿方へ下し、姫路なら權殿引

二差下し申候

ならや權兵衛様行

十月十六日

一 金百兩也 大坂彦九郎殿へ相渡し、以上

鳴屋内出入

惣七様

十月十七日

銀四百卅匁

緋縮緬壹疋

同 一 同貳百八十匁 白日壹疋

同 一 同貳百八十匁 同 壹疋

又 同百廿匁三分 縮壹丈貳尺五寸

一 同四十式匁七分 縮面七尺下し以上

一 同九十八匁 羽二重壹反

× 卷×貳百五十一匁

此金廿兩壹分相渡し

伊勢屋利右衛門様

十月十七日

△平日の出 十八 貳丸
十九 貳丸

七十四

十一月七日切百十三番かへ
代金百三拾兩貳分貳朱卜

銀壹匁九分三厘

内金壹兩三分貳朱卜 壹半引

銀五匁九厘

銀五匁六分六厘 さし壹袋六兩かへ差引

金壹分 西清左衛門殿世わ料

引

金百廿八兩壹分

銀六匁壹分八厘

西村屋清九郎様

十月十八日

△平松沢 十七入貳丸
十八入貳丸

×七十

十一月卅日切百廿三兩かへ

代金百卅四兩貳分

銀壹匁九分七厘

内金貳兩卜壹匁貳分八厘 一半引

内壹分 最岳屋世わ料

引而

百卅貳兩壹分六分九厘

伊勢屋利右衛門様

十月十七日
加

△平無題 十八三丸
十七壹丸

△七十一

十一月卅日切九十貳兩かへ
代金百貳兩ト

銀三匁七分壹厘

内金壹兩貳分 一半引

銀壹匁八分六厘

引而

金百兩貳分銀壹匁八分九厘

十一月十七日

一 金三朱ト

大坂木市懸り

三百四十六文 △平小町払

一 四百文

大坂方ふしみ迄ちん

最上屋喜八様

十月廿日

△平仙高 廿貳丸
廿一壹丸

六十五

十一月卅日切百三十兩かへ
代金百三拾貳兩ト銀壹匁八分七厘五

内金八兩貳朱ト 廿七匁貳分ツ、欠

貳匁四厘 此袋四袋分〇壹分六厘八

引而

金百廿三兩三分ト銀七匁三分三厘

内金壹兩三分 一半引

六匁四分五厘

又金三分貳朱 △平仙高三九

貳分壹厘 松沢四丸手板不足

又引十二月朔日

金百廿壹兩貳朱六分三厘 受取

伊勢屋利右衛門様

十月廿一日改

平仙高印

廿二卷つ三丸
廿二式つ三丸

六十四

十一月卅日切

代金百廿六兩也

内七兩ト永七匁八分六厘 廿五欠引

引而

金百拾八兩三分式朱ト式匁七分三厘

内壹兩三分式匁三厘 一半引

三朱 いせ源世わ料

引而

金百拾六兩三分三朱ト七分五厘

十一月卅日請取

十一月十七日 大坂木市殿

金三朱ト三百十式文 懸りの分平払

西村屋清九郎様

十月廿四日

平高印

廿二式
廿一卷三丸

六十五 圓ち出し荷

十一月卅日切百廿九兩かへ

代金百卅壹兩銀九分三厘

内七兩壹分 廿五匁欠

六匁六分三厘 引

引而 金百廿三兩式分式朱ト

銀壹匁七分七厘

内壹兩三分六匁式分八厘 一半引

又引又式分壹朱ト三匁三分七厘 手板不足

世わ料

金百廿壹兩式朱ト三匁三分六厘

十一月卅日 請取

十一月廿八日

一金三朱ト

大坂日半殿懸り

永壹匁壹分八厘 伏見迄ちん共

日半殿江直払

一 銀壹匁貳分

懸り

一 百廿貳文

伏見迄

西村屋清九郎様

十月廿六日

西村屋清九郎様

△平天下

廿二壹丸
廿二貳丸

十月廿六日

廿二入

△平高印

三丸

六十六

△仁右出し

同 天下一 十八 廿二

飛切 貳袋

さし 貳袋 △壹丸

十二月卅日切百三十兩かへ
代金百三十四兩

△ 八十六

銀三匁七分五厘

十二月切百三十兩かへ
代百七十四兩貳分貳朱卜

内金七兩貳分壹匁八分五厘 廿五匁欠引

銀四匁三分七厘四

引而

金百廿六兩貳分壹匁八分六厘

内壹兩三分貳朱卜 一半引

壹匁六分七厘

十一月十七日

大坂木市懸り

一 金三分壹朱卜 錢十文 △平直払

十二月三日

大坂ち

一 四百文 伏見迄ちん払

引而

金百廿四兩貳分貳朱卜 壹分九厘

古手屋長右衛門様

十一月卅日請取

十月

天鶴羅

一 銀百匁 納戸けきらす 帯巻本

一 金巻両也 道着巻つ

一 金巻両也 花色天鶴羅 帯巻本

一 金巻両式分三朱 茶地掛物 女帯

古手屋長右衛門様

一 百五匁 小紋中形 夜着巻

一 百卅匁 同 巻

一 百卅五匁 萌黄 大嶋巻つ

一 百六十五匁 紺紋付巻、同布段巻

一 貳百匁 大嶋巻、布段巻

一 百八十五匁 萌黄大嶋巻、布段巻

一 百四拾匁 草三筋 夜着巻

一 百廿匁 地紺柄模様

一 百卅匁 萌黄嶋巻

右正ミ七三定

十一月三日

一 八十五匁 紺縮緬 小袖巻

一 百廿五匁 黒口田模様廿小袖にて

一 六十五匁 本結城 男小袖巻

一 十四匁 帛紗表解

式百八十九匁

七三定

一 金式分式匁 岸場解

一 又式匁 綿巻つ

十一月五日 六條近江屋太郎兵衛

一 六百文 ちゆら徳式つ

代済

十一月五日 あん内ちん

一 四百文 柳蔵

熊吉

最上や置

大帳上

十一月七日

一 金式両也

美濃屋次兵衛殿

白山様代

白蠟代 相渡し

一 金壹両也 白山様

一 同壹両也 御前机

一 同三分也 白扇

△

差引 十二月十六日
残金三分 相渡し

十二月十八日

魚川釜座江入神 源四郎

一 金壹分貳朱ト貳式匁 壹メ貳百目

はかり 壹丁

大帳上

十一月十三日

嶋屋利助様

兩替手形^{ニ而} 西清右衛門出し

一 金拾九両貳分 相渡し

壹匁四分四厘

内九両貳分 請取

△

大帳上

十一月十七日 木屋市郎兵衛様

一 金壹両三分壹朱ト貳匁九分五厘

但平仙高 三丸 いせ源

玉紅 三丸 近佐

天下一 四丸 いせ利

無題 四丸 同断

△諸懸り物

申年

一 金壹分 運ちん取替分

替金入分 相渡し

△金貳両壹朱ト貳匁九分五厘

大帳上

大坂瓦町渡辺筋

中村庸助殿

一 金貳両壹分三朱

中風茶白服代相渡し

大帳上

増助安堂寺町

一 金壹両也 帯屋和兵衛殿

茶屋赤服払

一 壹朱ト式匁八分 大坂も包ちん取替

日富屋半兵衛殿

九月六日 福嶋屋和市郎船
金壹分式朱ト 平紅花三丸

永壹匁四分七厘 いせ利行

(朱書)「稀印」

同日 右同船
同壹分式朱ト 平紅花三丸

永壹匁四分六厘 いせ源行

(朱書)「稀印」

九月十八日 木屋久次船
同三朱ト 平紅花三丸

永壹匁壹分一厘 吉彦殿行

(朱書)「仙窟」

同壹分ト 米屋吉兵衛船

永三匁四分五厘 平紅花壹丸

(朱書)

「金紅」 いせ利行

金壹兩三朱ト永七匁九分

代壹朱ト

銀壹匁三分式厘

一 拾式匁 懸りもの

一 壹メ式百八文 伏見迄三十屋船ちん

此銀拾六匁九分式厘

惣金壹兩三朱ト

銀三十匁式分四厘

此金金壹兩式分三朱 相渡し

田保孫右衛門殿

十一月廿日

一 三朱ト式匁三分九厘 平小野 式丸

一 壹分三朱ト壹匁一分五厘 同小町緋王 四丸

一 式分式朱ト三匁五十一文 相渡し

羽州屋久右衛門殿

十一月廿日 一角
一 九匁貳分五厘 壹つ

一 八匁四分 壹つ

〆十八匁五厘

代金壹両壹分三朱 相渡し

羽州屋久右衛門様

十一月廿日
金拾五両也

天つる

代内相渡し

大津

池田屋勘兵衛殿

大帳上

十一月

一 十匁八分

平緋王
まし共 四丸

いせ利向分

一 八匁八分

〆平松沢四丸

いせ源向分

(朱書)
「此分西清様ニ而も払二重ニなり」

一 八匁八分 〆平小町四丸

西清九郎向分

一 十匁三分 〆平日の出

まし共

西清左衛門向分

一 五匁四分 〆平小野弐丸

いせ利殿向

〆四十四匁壹分

六六金定

此金貳分貳朱ト貳百七十五文

伊勢屋利右衛門様

十一月廿七日

〆平小野 廿八弐丸

同 金紅 十六壹丸

〆五十六

十一月卅日切百両かへ
代金八十七両貳分

内式分ト式匁九分 金紅十欠引

引而

八十六兩三分式朱ト四匁六分

内老兩壹分三匁式分七厘 一半引

又引

金八十五兩式分式朱ト壹匁三分式厘

△平稀もの

廿八式丸
十九壹丸

△五十九

代金九十式匁

永十八匁七分五

内式兩ト永七匁壹分六厘 十文欠引

引而

金九十兩ト

銀六匁九分五厘

内老兩壹分六匁壹分

引而

金八十八兩三分八分五厘

さかへ町

近江屋茂十郎様

十二月朔日

一 金式百八十兩也 万次渡り手形式通

一 同百十三兩壹朱六分三厘 万忠渡り手形ニテ

一 同六兩三分三朱 正渡し

△四百兩也

但なら権方川林喜右衛門為替金相渡し

伊勢屋兵七様

十月廿九日

大帳上

△平小町△ 三五掛小袖綿 壹反

直段十八かへ

代七百廿匁

同

△

三〇掛

四百五十反
壹反

代七百六十八匁

ノ 壹メ四百八十八匁

外二拾六匁九分 四百八十反 壹反掛り

拾五匁 四百反入 壹反掛り

又ノ 壹メ五百拾九匁九分

十二月十日

金拾九匁貳分 代嘉助殿江相渡し

但十五日迄内高相払役定

京卜天秤座

中堀与市郎殿

十一月卅日渡し
一 七十八匁

皿付□

釘口壹丁

一 貳百八十 箱 代

一 金壹兩壹分 五百目ノ 壹匁迄

ノ 数十四

ノ 金貳兩壹分貳百文 相渡し

△平稀物

廿八式 十九卷 三丸

ノ 五十九

十二月切九十七兩かへ

代八十九兩

永四十貳匁八分七厘五

内壹兩卜永四分七厘 五欠引

引而金八十八兩

永四十貳匁四分

内壹兩壹分 一半引

永七匁六分三厘六

又引金八十七兩

永五匁八分五厘

大坂各田屋

伊右衛門殿払

大帳上 大坂木市殿出し荷物

十二月三日 玉紅三丸

一 三百文 近佐殿向分

一 八百文 いせ利殿向分

天下一 四丸

無題 四丸

大坂^と伏見^と迄^{ちん} 相渡し

ノ

大嶮上

十二月四日

塩津仲村佐右衛門
いせ利行分

一 拾匁貳分 平緋王 四丸

いせ利行分

一 四匁七分 同 小野 貳丸

ノ 壹分相渡し

つり百十文受取

十二月六日

古手屋

一 金百両也 長右衛門様

但なら権殿行

大坂小橋屋彦九郎殿江

古長殿^と下し金二相成候

鳥丸六角下ル

服砂屋勘兵衛様

代惣助様

十二月六日

無事^地

一 貳百八十匁 緋縮緬壹疋

一 貳百三十四匁 中もみ三疋

一 八四 白無伏貳疋

ノ

一 百六十八匁

松源[⊕]店

覚

十二月七日

一 八拾貳匁五分 ひ麻子壹文

一 廿九匁七分五厘 同 三尺五寸

一 廿貳匁八分 浅き縮緬四尺

ノ 百卅五匁五分

此金壹両三分

つり十七文

大津大橋

池田屋勘兵衛殿

十二月七日
すほふ綿秤袋入 老挺

一 金壹分一朱ト

銀百五拾文 相届ぎ

十二月四日 ならや権兵衛
一 拾三匁四分 小指袋式つ

西村屋清九郎殿

△平仙稀物 廿入 四丸
十九入式丸

△百十八

代金百七拾五兩

銀九匁三分七厘五

内金五兩三分 十五目欠引

九匁式分四厘

引而

金百六十九兩壹分

壹分三厘五

内金貳兩貳分 一半引

銀貳匁三分貳厘

同壹分貳朱 △一世わ料

長沢村

福昌寺注文

十二月十二日

一 五百五十文 経式包

一 一百五十文 安楽同壹つ

△七百文

十二月十二日 神鳩店

一 匏頂石 式つ

代三匁

七條

十二月十二日 左京殿

一 金拾兩壹分壹朱

十二月十三日

一 同三分

為替分相渡し

福井

十二月十二日 弥右衛門
惣金拾五兩三分三朱

為替分

十三日 及びや代

一 壹分 壹本

一 壹分貳百文 壹本

一 五百五十文 壹本

一 六百五十文 壹本

貳分三朱 相渡し

惣七様

十二月十四日

一 金壹兩三分 ぬへちん

一 四メ五百文 松葉色染ちん

一 三メ七百文 納戸染ちん

一 四メ八百文 のし茶染ちん

一 壹メ貳百文 紹羽打壹反

一 壹メ貳百文 ちりめん羽打ちん

一 壹メ九百文 羽二重ちん

一 貳百五十文 紋切手外

十七メ五百五十文

此金貳兩貳分壹朱ト百廿九文

又金四兩壹分一朱ト百廿九文

銀壹メ四百五十一匁 ちりめん羽二重紹

此金拾六兩也

高

廿兩壹分 相渡し

服砂屋勘兵衛

十二月十四日

一 貳百七十匁 緋縮緬壹疋

拾四匁貳分

一 三百七十匁 同山舞壹疋

一 貳百卅七匁 中紅結三疋

一 百六十八匁 白芋貳疋

田保掛

一 十七匁 九〇〇多り貳本

一 金壹分貳朱卜 平松沢 四丸

一 金三兩三分三朱卜 黒本天帯

三匁七分

一 八匁六分 塩津払

貳百文 壹筋

〆壹分貳朱卜十貳匁三分

〆金三兩三分三朱卜

此金三朱卜四文

銀壹メ五十四匁八分

一 四匁五分 平仙高 三丸

七九一 此金拾三兩三朱

下川入用

十五日 〆拾七兩貳朱 相渡し

一 四匁五分 同 稀物 三丸

下川入用

一 四匁八分 平高印 三丸

十二月十五日 奈らや 一 金壹兩貳朱 庄次郎

伏見ちん

下し惣ちん相渡し

一 五匁三分 同 稀物 三丸

伏見ちん

十二月十六日 万屋 一 四百八十八文 長兵衛

〆十九匁壹分

大垣行状ちん相渡し

右江金三分貳朱相渡し

いせ屋源助殿

いせや利右衛門殿

△平小野印 廿入式丸

十二月卅日切百兩かへ
代金六十式兩式分

内金三分式朱ト 一半引

銀三匁七分五厘

同三朱ト式匁三分九厘

田保払

銀四匁七分

塩津払

銀五匁四分

大津払

△金壹兩壹分一朱ト

銀壹匁式分四厘

差引

金六拾壹兩式朱ト

式匁五分壹厘

仲間差引 万五六殿遣分

一 紅花 三拾八袋ト

皆掛三百目

代金五拾貳兩式朱ト式百五十文

右在 金五拾兩 △平より相渡し置

林兵衛出分

一 正ミ式百七十五め 上花

代金三分ト五百文

△四十袋都合代金

一 金五拾貳兩三分式朱ト

七百五十文

外 △平出し分

一 銀壹匁式分五厘 役永

一 銀五匁 荷造入用

一 銀五匁九分 大石田迄見込駄ちん

一 金壹匁三朱 添金

△金式分式朱ト銀九分

元上り

金五十三兩式分ト八百四十七文

外二 公平分

一 金三兩也 五十兩分六ヶ月利足

又 金五十六兩式分ト八百四十七文

元金

売金

差引

金四兩式分ト式匁五分壹厘 利分

二ツ割

式兩壹分

壹人利分

壹匁式分

相見申候

小野印紅花四十袋売金
一 金六十壹兩式朱ト

式匁五分壹厘

内 万五六殿

金式兩式朱ト 元出し置之分

式百五十文

外二

金式兩壹分壹匁式分 利足分

八月 金五拾兩也 林兵衛元出し置分

此り三兩也 十二月卅日迄利金

金三分五百文 紅花代 式百七十五反

金式分式朱ト九分 色々掛り出し置分

金五十四兩壹分式朱ト六百文

外金式兩壹分 利足分

壹匁式分

惣差引

金四兩壹分式朱ト 可渡し分

三百八文

右

去々酉正月五日

一 錢拾四メ八百文 大豆代不足出し分引

差引

殘金式兩式朱ト式百廿五文

三月三日 相渡し

金出入

十月十三日 入金拾兩也 利右衛門受取

出金六兩也 講懸金 同人

十六日 西村

入金百兩也 清右衛門受取

十五日 出金百兩也 權兵衛

ならや

大坂常江いせ茂も下し

十一月七日 出金貳兩也 次兵衛

仏具代

十一月七日 西村
入金百廿壹兩 清九郎

八匁六分壹厘

万治手形

十一月七日 近江屋
入金九十五兩壹分 佐助

伊源手形 貳匁壹分

十一月八日 入金三百九十七兩貳分 イセヤ 利右衛門

万治手形 五匁八分五厘

十一月八日 西村
入金拾九兩貳分 清左衛門

万治手形 壹匁四分四厘

十一月八日 イセヤ
入金百廿七兩貳分貳朱卜 源助殿

万治手形 三匁三分四厘

十一月七日 ならや
出金四百拾兩也 權兵衛殿

為替金かし

十一月七日 同人
出金三百兩也

仕切金渡し

十一月九日 ならや
出金五兩也 卯兵衛殿

弥兵衛殿

各斗惣差引取極メニ付

五兩預り手形出し置候分

此度相渡し申候

十一月九日
出金拾兩也

卯兵衛様

相渡しかし

十二日

出金壹分貳朱

はかり代

十三日

出金拾九兩貳分

利助

鷹匁四分四厘

十七日

出金貳兩三分貳朱

木屋 市郎兵衛

紅花懸り

十八日

出金貳兩壹分三朱

中風茶代

十八日

出金壹兩也

草屋茶代

十八日

出金壹兩壹分三朱

日半殿行

紅花十九懸りちん

廿日

出貳分三朱ト

田保孫右衛門

荷懸り

廿日

出壹兩壹分三朱

一角代

廿日

出金拾五兩也

羽久殿

弓つる代渡し

廿九日

出金貳分三朱

池田屋

勘兵衛殿

荷掛り

卅日

入金百拾六兩三分三朱ト

いせ屋 利右衛門

銀七分五厘

卅日

入金貳百四十五兩 一吋殿入

三分ト三匁

十一月朔日

入金百拾三兩壹朱ト

へ上殿

六分二厘

十二月朔日

入金八兩壹朱

へ上殿

十二月朔日

出金四百兩也

近江屋

茂十郎殿
ならや為替川村喜右衛門江渡し

十二月卅日分

出金貳兩壹分壹朱

天秤分銅代

十二月六日
入金百兩也
古手屋
長左衛門殿

かり

六日
出金百兩也
ならや行

古長殿の小常殿下し

七日
出金壹兩三分
ちりめん小買分

九日
出金拾五兩也
福井弥右衛門

十日
出金壹兩三分
伊セや孝七殿

十日
出金壹兩三分
千切や

十日
出拾兩壹分壹朱
七条左京

十日
出金拾九兩貳分
兵七殿

十一日
出金三分三朱
福井弥右衛門

十一日
出金拾壹兩也
沢屋吉兵衛

瀬戸もの代

十二日
出金三分
七條
左京

十二日
出金貳分三朱
四本代

十三日
出三朱ト三百二文
日半殿
紅花懸り

十四日
出金廿兩壹分
鳴屋
惣七殿

色々代

十四日
出金百兩也
長右衛門

十五日
出金拾貳兩也
羽州屋
久右衛門

十五日
出金壹兩貳分
利右衛門

講懸金

十五日
出金拾七兩貳朱
服砂屋
勘兵衛殿

十五日
出金三分
谷地
利兵衛

十五日
出壹兩貳朱
大庄弘

下し物

出式朱 万長状ちん

十二月十六日 みのや

出金三分 次兵衛

十六日 いせ屋

出金三分式朱 源助殿

荷掛取替分

十六日 出金六両也 論善入用

(裏表紙) 本木

仁平次

六九 紅花仕切

㊦

仕切 十一月七日限
金百拾兩替

十月八日

一 金百九拾三兩三步也 平小町拾八入四丸

〆七拾式袋

㊦一 金壹兩三步 右金高

六匁三分七厘 壹部半引

㊦一 金三步壹朱 手板不足

壹匁式分七厘 式取替

引而

㊦金百貳拾壹兩卜

三匁六分壹厘

右之通、御相對を以買請、書面之金高不殘相渡申候、万
一箇荷物之内抜袋違花濡痛又者算用違等在之候ハ、重而
差引可被成候、為後日仕切状仍而如件

文久二壬戌年十一月七日 西村屋清九郎 ㊦

本木林兵衛殿

仁平次殿

七〇 紅花仕切

仕切

十一月七日限

百五兩替

一 金九拾六兩三步

△平玉紅

式匁八分壹厘

十九入一三丸
廿入二

〆 五十九

但さし花とも

内金壹兩壹分貳朱

一半引

四匁六分壹厘

内 三百六拾文

伏見_と駄賃

桑かへ渡

差引

金九拾五兩壹歩与

式匁壹分也

右之通相對を以買請金不殘相渡、此表無出入相濟候、万
一箇荷之内拔袋違花又ハ算用違方も有之、御早刻二重而
御差引被仕候、為後日依而如件

文久貳年

戌十一月七日

近江屋佐助^印

元木林 平殿

仁平次殿

七一 紅花仕切

仕切

十一月晦限り

金百三十兩替

一 金百貳拾三兩貳步

△平仙高 廿貳入貳
廿一入一三丸

文久貳年

最上屋喜八^印

七匁三分貳厘

さしはなニ付廿七匁五分欠

戌十一月晦日

ノ巻ノ七百八十七匁五分 ○一六八六

元木林兵衛殿

此分四袋

在京仁兵二殿

金壹兩三步

歩引

六匁四分八厘

金三步貳朱

△平沢高三丸

貳分一厘

同松沢四丸

一 金貳兩貳分貳朱

手板不足

七二 紅花仕切

六匁六分九厘

差引

仕切

金百貳拾一兩貳朱

十一月卅日限

六分三厘

金百貳拾六兩替

一 金百拾八兩

△平仙高 廿叁入貳丸
廿貳入壹丸

右之通相對を以買請代金不殘慥受取、此表無出入相濟申

三步貳朱卜

候、万一花荷之内抜袋違花又者算用違等有之候ハ、重而

貳匁七分八リン

廿五匁宛欠引

御差引可仕候、為後日仍而如件

引而六十袋ト

十一月卅日

伊勢屋理右衛門^④

百八拾目

袋四〇四四九

本木林兵衛殿

仁平次殿

内金卷両三歩ト

式匆三リン

卷半引

内金三朱也

右三丸世話料

伊勢源殿へ渡

七三 紅花仕切

引而金百拾六両三歩三朱ト

銀七分五リン

仕切

十一月晦日限

金百廿九両替

右之通御相對を以買請候紅花代金 此度不殘相渡、此表
無出入相濟申候、若相違之儀有之候ハ、重而御互ニ差引可
仕候、為後日仍而如件

一 金百三拾卷両ト

△平高式十貳入式丸ト

九分三厘

式十卷入卷丸

一 金七両卷歩ト

尤卷袋ニ付廿五匆ツ、目欠

六匆六分三厘

文久式壬戌年

△卷メ六百廿五匆相對引

一 金百三拾四兩卜 右同限
金百三十匁替

三匁七分五厘 平仙高廿式入三丸

一 金七兩貳步卜 右考袋二付式十五匁ツ、目欠

考匁八分九厘

ノ考メ六百五拾匁

引而 相對引

金貳百五拾兩貳朱卜

三匁六分六厘

一 金三兩三歩卜 右金高

考分七厘 考歩半引

一 金貳歩考朱卜 世話料手板不足

三匁三分七厘 吉文字屋彦市殿

相渡

七四 紅花仕切

引

ノ金貳百四拾五兩三歩卜

三匁八分七厘

仕切

十二月限

金百兩替へ

右之通御相對を以買請書面^ニ而金高不殘相渡、此表無出入

相濟申候、万一箇荷物之内拔袋違花濡痛又者算用違等も有

之候ハ、重而差引可被成下候、為其仕切状仍如件

文久二壬戌年十一月晦日 西村屋清九郎 印

本木林兵衛殿

仁平次殿

一 金八拾六兩三歩貳朱ト

四匁五分三リン

同金紅 十六入壹丸

此分斗 さし共

拾匁宛欠引

引而五拾五袋ト

貳百九十五匁

袋六四八三五

内金壹兩壹歩ト

壹半引

三匁貳分五リン

内貳匁七分五リン

△平金紅壹丸

下川舟質

淀₆駄質

引而

金八拾五兩貳歩ト

銀六匁三リン

右之通御相對を以買請候紅花代金此度不殘相渡、

此表無出入相濟申候、若相違之義有之候ハ、重而

御互ニ差引可仕候、為後日仍而如件

文久貳_{壬戌}年

十二月晦日

伊勢屋理右衛門^①

本木林兵衛殿

仁平次殿

七五 万覚帳 (横帳)

(表紙)

慶応元年

万 覚 帳

丑十月吉日

一 廿四文 せきた直し

一 廿三日 宇どん代

一 式百文

一 同 壹分ト百文 たはこ式包代

覚

一 金拾両ト壹メ文 持出し

一 卅日 百拾文 せきた直し

内

一 金壹両三分壹朱 京着送道中入用

一 風茶五

一 百八拾文 腰まき御座代

風茶式

一 百八拾文 飯入もの代

一 十一月廿四日 大坂お たひ式束・まわし

一 三百拾文 麻袋壹つ

一 式朱ト百五十文 算老丁

一 百六十文 あらいちん相渡し

一 式百文 赤玉薬代神散丸

一 金壹両也 △一清助丸

一 三百六拾文 扇子廿本

一 料理屋張込 喜助丸

一 三百六拾文 半紙五状

一 町源兵衛丸

一 壹朱ト百文 半切紙式状

一 壹両壹朱 △二耐しばいわり入用

一 壹朱ト式百五十文 あした壹足

一 式分式朱 京叶

一 壹朱也 大はんにや経壹かん△一出し

一 壹分一朱式百文 たはこ代、文助

一 三百卅五文 綿入直し

一金壹分

△一店^{二而}春分張込

一 壹朱

扇子代

一 壹朱

白砂糖半斤

十二月十三日

大坂^{二而}

一金貳朱

たはこ代

十月七日

伊勢屋

一金百兩也

利右衛門様も請取分

なら権殿行

大坂小橋屋彦九郎殿江下し分

右相頼申置候

十月七日

姫路

一金百兩也

ならや権兵衛殿へ

いせ利殿も

小彦殿も

下し金^{二而}相渡し

但シ丑古手代江差向置候

伊勢屋利右衛門様

古
金 仙高紅花 廿式入四丸

古
同 仙高 同 廿壹入六丸

ノ 拾丸

此袋貳百拾四袋

九月卅日切百拾兩替

代金三百六拾七兩三分壹朱

内

金八兩壹分 壹袋二付拾匁欠引

九分

引而金三百五拾九兩貳分一朱ト

式匁八分五厘

内金五兩壹分貳朱ト 一半引

壹匁壹分五厘

引而金三百五拾四兩三朱ト

壹匁七分

十月十六日
一 金貳両也 伊勢屋利右衛門様江相渡し

常光院講掛金也

丑ノ三四五六七

八九十ノ八ヶ月分 元利七拾分

引受返□分

木屋市蔵様

十月廿日

一 六拾匁貳分 <平日の出 四丸

一 八百文 大坂掛りもの

ノ金貳分三朱ト 平七様江相渡し

三十六文

應喜殿行荷物分

△一文助殿

十月廿三日
一 山本露葉

たはこ貳包

代巻分ト百文 十一月七日相渡し

伊勢屋利右衛門様

十月十日

<平 緋王 十九入 四丸
廿入 貳丸

ノ百拾六袋

十一月卅日切百三十五両かへ
代金貳百四拾四兩貳分三朱

内金三兩貳分貳朱ト 一半引

銀貳匁七分三厘

引而

金貳百四拾壹兩壹匁四分

伊勢屋利右衛門様

十月卅日

一 金百両也 紅花代之内

右之通り請取申置候

十月卅日

姫路ならや権兵衛殿江

一 金百兩也 相渡し

但シ江州川村喜右衛門殿へ

為替ニ相成手形

京都境町近江屋茂十郎殿江

差向ニ相成、右手形引替無相

違相渡し申候、以上

伊勢屋源助様

十一月四日

平雨錦 廿八 四丸

十一月卅日切百七兩かへ

代金百三拾三兩三分

内金壹兩壹分三朱卜 五匁欠引

壹匁九分四厘

引而金百卅貳兩壹分

銀壹匁八分三厘

内金壹兩三分三朱卜 一半引

貳匁八分

又引金百三拾兩壹分

銀貳匁八分九厘

十二月七日

内金百廿五兩

請取

近江屋佐助様

十一月五日

平雨司 十八八 四丸

十一月卅日切百廿兩かへ

代金百三拾五兩也

内金貳兩卜壹匁五分 一半引

引而金百卅貳兩三分三朱卜

貳匁貳分五厘

内壹兩壹分貳朱卜 手板不足取替分

壹匁壹分三厘

又引金百卅壹兩貳分

貳匁八分七厘

十一月卅日手板^ニ請取

(數)

十一月七日 宿鶴賀や 彦三郎様

相渡し

十一月七日 い勢屋

一 金拾両也 利右衛門様

請取

西村屋清九郎様

△平緋緘 廿入 四丸

(朱書)

「△」も出し

同 緋緘 廿入 壹丸

(朱書)

「△」も出し

同 同 四袋

△百四袋

百廿六両かへ

代金貳百四兩三分ト 壹匁貳分

内四兩貳分 拾匁欠引

引而金貳百兩壹分

内金三兩ト貳分貳厘 一半引

又引百九十七兩壹分三朱ト

三匁九分三厘

伊勢屋利右衛門様

十一月九日

△平金紅 廿入 三丸ト

八袋

△六十八袋

十一月卅日切百廿九兩かへ

代金百卅七兩壹朱

内金貳兩ト 一半引

三匁三分五厘

引而金百卅五兩ト四分

近江屋佐助様

十一月十一日

(朱書)

「△」も出し

△平玉雨 廿入 三丸ト八袋

(朱書)
「同 断」

同 天一 四袋

ノ七十式袋

十二月卅日切百廿八兩式分かへ
代金百四拾四兩下式分壹朱

内金貳兩式朱下 一半引

式匁六分

同壹分 △二世わ料渡し分

引而金百四拾貳兩式朱下

壹匁壹分五厘

内金壹兩壹分式朱下 一ヶ月利足引

式匁七分七厘

又引金百四拾兩式分三朱下

式匁壹分三厘

十一月卅日受取

大坂羽州屋久右衛門

△平雨司 十八 四丸

ノ七十式袋

十一月卅日切百廿兩かへ
代金百卅五兩

内金貳兩下壹匁五分 一半引

引而金百三拾貳兩三步三朱

式匁式分五厘

伊勢屋利右衛門様

十一月十二日

△平丸雨 廿入 式丸下拾三袋

(朱書)
「△」出し

同 丸雨 廿入 四丸

ノ百卅三袋

十二月卅日切百三十五兩かへ

代金貳百八拾兩式分

式匁八分壹厘

内金四兩式朱下 一半引

四匁九分九厘

引而金貳百七拾六兩壹分一朱下

壹匁五分七厘

吉文字屋彦市様

十一月十五日

△平小町 十九入 三丸ト十一袋

△六十八袋

十二月卅日切百卅五兩かへ

代金百四拾三兩壹分三朱

内金貳兩貳朱ト 一半引

壹匁九分九厘

引而金百四拾壹兩壹分

銀貳匁壹分六厘

西村屋清九郎様

十一月十五日

△平緋頭

十九入 三丸
十八入 壹丸

△七十五袋

十二月卅日切百四十兩かへ
代金百六拾四兩壹朱

内金五兩壹分貳朱 壹袋二付

貳匁壹分 十五匁欠引

引而金百五十八兩貳分貳朱ト

壹匁六分五厘

内金貳兩壹分貳朱ト 一半引

貳匁八分七厘

又引金百五拾六兩三朱ト

壹匁五分壹厘

伊勢屋利右衛門様

十一月十七日

(朱書)

「町の出し」

△平極雨 廿入 四丸

(朱書)

「△二有分」

同極雨 五袋

△八十五袋

十二月切百卅兩かへ
代金百七拾貳兩貳分貳朱ト

壹匁八分七厘

内金七兩貳分壹朱ト 壹袋ニ付

壹匁六分 廿目欠引

引而金百六拾五兩壹朱ト

貳分七厘

内金貳兩壹分三朱ト 一半引

貳匁八分五厘

又引金百六拾貳兩貳分壹朱ト

壹匁壹分七厘

吉文字屋彦市様

十一月十九日

金平雨上 廿入 三丸

同 雨上 十九入 壹丸

ノ七十五袋

十二月卅日切百廿八兩かへ
代金百五拾八兩也

内金壹兩貳分貳朱ト 壹袋ニ付

六匁六分七厘 五匁欠引

引而金百五拾六兩壹分ト八分貳厘

内金貳兩壹分 一半引

五匁六分三厘

又引金百五拾三兩三分貳朱ト

貳匁六分九厘

羽州屋久右衛門様

大坂貴町御藏跡

錢屋小八殿

金平生蠟(⊕) 廿五丸

拾五メ七入

壹メ〇七十匁かへ

ノ三百九拾貳メ五百目

代銀拾八メ四百七十一匁九分六厘

一 三百六十九匁四分三厘 (分) 貳部さし

一 百六十貳匁五分 荷造り

ノ拾九貫三匁八分九厘

百式匁九分五厘

此金百八十四兩式分

銀九匁六分式厘

吉文字屋彦市様

十一月廿日

△平鳳凰 十九入 式丸

同 同 廿入 式丸

ノ七十八袋

十二月卅日切百四十七兩かへ

代金百七拾九兩式朱卜

銀壹匁八分七厘

内金貳兩貳分式朱卜

三匁七分四厘

引而金百七拾六兩壹分式朱卜

銀五匁六分三厘

伊勢屋利右衛門様

十一月廿日
△平大刀 十九入式丸卜七袋

ノ四十五袋

十二月卅日切百廿五兩式分かへ

代金八拾八兩式朱卜

銀七匁三厘

内金三分三朱卜 拾匁欠引

銀七分三厘

引而金八拾七兩壹分卜

銀式匁五分五厘

内壹兩壹分三匁五分六厘 一半引

引而金八拾五兩三分三朱卜

式匁七分四厘

西村屋清九郎様

十二月廿一日

(朱書) 「△一ち出し」

△平新飛 十九入四丸

ノ七十六袋

十二月卅日切百四十兩かへ
代金百六拾六兩壹谷

内金貳分壹分貳朱卜

七匁壹分貳厘五

引而金百六拾三兩三分卜

三分七厘

伊勢屋利右衛門様

十一月廿一日

平高紅 十九入四丸

(朱書)

「(印)の出し」

同 高紅

九袋

八十五袋

十一月切百卅八兩かへ

代金百八拾三兩壹分卜

銀壹匁八分七厘

内金貳兩貳分三朱卜 一半引

三匁七分

引而金百八拾兩貳分

壹匁九分貳厘

吉文字屋彦市様

十一月廿五日

(朱書)

「(△)の出し」

平仙稀

十八入 貳丸
廿一入 貳丸

外二十貳袋

九十四袋

十二月切百廿八兩かへ

代金百八拾六兩貳分三朱卜

壹匁九分五厘

内金貳兩三分三匁四厘 一半引

引而金百八十三兩三分貳朱卜

貳匁六分壹厘

最上屋喜八様

十一月廿六日

平日之出

廿入三丸卜
拾五袋

ノ七十五袋

十二月卅日切百四十兩かへ
代金百六拾四兩壹朱

内金五兩壹匁貳朱ト 拾五匁欠引

貳匁壹厘

引而金百五拾八兩貳分貳朱ト

銀壹匁七分四厘

内金貳兩壹分貳朱ト 一半引

貳匁六分五厘

又引金百五拾六兩三朱ト

銀貳匁九分四厘

いせや利右衛門様

十一月廿七日

一金貳拾兩也

受取

ノ

六條花屋町

鎰屋権右衛門

十二月廿七日

一 すみけさ

吉掛

代金三分壹朱

代相濟

大坂羽州屋

十一月廿六日 久右衛門様

(朱書)

「印も出し」

平高谷 廿入 四丸

ノ八十袋

十二月卅日切百四十五兩かへ

代金百八拾壹兩壹分

内金貳兩貳分三朱ト 一半引

銀壹匁八分七厘

引而金百七拾八兩貳分

銀壹匁八分八厘

伊勢屋利右衛門様

平仙高 廿式入 四丸

同 仙高 廿一入 五丸ト十八袋

ノ式百拾壹袋

同 仙撰 廿一入 壹丸

廿式入 壹丸

ノ四拾三袋

同 仙光 廿式入三丸卜八袋

ノ七十四袋

同 仙紅 廿式入式丸卜三袋

ノ四十七袋

ノ三百七拾五袋

押込

十二月卅日切

百八拾兩がへ

代金千五拾四兩式分式朱卜

銀三匁七分五厘

内金式拾三兩式分式朱卜 壹袋二付

銀六匁式分三厘 拾匁欠引

引而金千卅兩三分三朱卜

壹匁九分七厘

内金拾五兩壹分三朱卜 一半引

壹匁六分三厘

又引而金千拾五兩式分

伊勢屋利右衛門様

十一月廿八日

公平稀紅 廿入 式丸卜拾壹袋

ノ五十一袋

十二月卅日切百四十五兩がへ

代金百拾五兩式分卜

式匁八分三厘

内金式兩式分 拾匁欠引

式匁三分六厘

引而金百拾三兩と四分五厘

内金壹兩式分三朱卜 一半引

四分五厘

引而金百拾壹兩壹分壹朱

伊勢屋利右衛門様

十一月廿八日

平朝日 十六 壹丸卜拾四袋

ノ三十袋

十二月切百卅兩かへ

代金六拾兩三分貳朱卜

銀三匁七分五厘

内金壹兩壹分一朱卜 拾匁欠引

壹匁三分

引而金五十九兩貳分壹朱卜

銀貳匁四分五厘

内金三分貳朱卜

壹匁貳分

引而金五拾八兩貳分三朱卜

銀壹匁貳分五厘

近江屋佐助殿

十一月卅日

一 金百兩也 手形壹枚

一 同四拾兩貳分三朱卜 手形壹枚

貳匁壹分七厘

一 同百卅兩貳分 手形壹枚

貳匁八分七厘

ノ金貳百七拾四兩三朱卜 請取

銀五匁三厘

十一月卅日

一 金百兩也 權兵衛殿分

近江屋茂十郎様

手形引替相渡し

伊勢屋利右衛門様

(朱書)
「X仁も出し」

平緋王 十九入 貳丸
廿入 貳丸

ノ七十八

十二月切百四拾五兩かへ

代金百七拾六兩貳分三朱卜

壹匁八分七厘

内金貳兩貳分貳朱卜

壹匁五分四厘

引而金百七拾四兩壹朱卜

貳分三厘

伊勢屋利右衛門様

十二月二日

△平 適 廿壹入 五丸
廿入 壹丸

(朱書)
「△△出し」

同 適 廿入 三丸
廿入 壹丸

△貳百六袋

正月卅日切百四拾八兩かへ

代金四百七拾六兩壹分貳朱

内金拾兩貳分三朱 壹袋ニ付拾匁欠引

壹匁五厘

引而金四百六拾五兩貳分貳朱卜

貳匁七分

内金六兩三分三朱卜 一半引

貳匁八分五厘

引而金四百五拾八兩貳分三朱

仲村佐右衛門様

△平 仙稀 壹丸

仙光

同 仙高 三丸

同 玉雨 三丸

同 造合 壹丸

同 雨司 四丸 近仕

塩津

中村佐右衛門

十二月四日

一 金四兩壹分貳朱卜 荷物連ちん

貳百四十文 取替分相渡し

△平 緋頭 四丸 同仙紅 壹丸

同仙高

仲仁田仙玉 貳袋

古同 仙上 老袋

さし 老袋

ノ七袋

現金押込

代金拾三両也 請取

ノ

十二月七日

羽州屋

一 金百廿両也 久右衛門様

相渡し

内金拾両也 十二月十四日受取

金七拾両也 十二月十六日受取

金拾両也 十二月廿日受取

大坂

柏屋太良兵衛殿

十二月五日分

△平印肥改生蠟

拾五メ七百目入 拾丸

ノ百五拾七メ目

代老メ百目かへ

銀七メ百卅六匁三分六厘

一 百四拾貳匁 貳分さし

七分貳厘

一 六十五匁 造入用

十二月十六日

百貳匁七分相定

金七拾両也 相渡し

此銀七メ百八十九匁

大坂 木屋市兵衛殿向

庄内酒田 本間長三郎殿揚

最上要かへ 本木林兵衛行

羽州屋久右衛門様

十二月八日

(朱書)

「△」出し

⊕高谷 十八入四丸

〆七十式

寅正月卅日切百廿四両かへ
代金百卅九両貳分

内金貳両貳分 一半引

五匁五分五厘

引而金 百卅七兩壹分

貳匁四分五厘

百卅七兩壹分貳朱

壹匁九分五厘

十二月十一日分 大坂羽子板橋南□西入
一 金貳兩貳分 山田屋嘉右衛門殿

五十嵐庄次郎届ヶ金

相渡し

大坂南本町八百町

播磨屋伊八殿

十二月九日 傘壹本
一 金三朱内

百文返り 此分相済

△平印 七八かへ
一 百拾七匁 印付十五本

一 六十三匁 無印拾本
六三

〆百八拾匁

外二

三百五十文 かこ造ちん

七四

代金貳兩壹分三朱下

三百十一文

大坂 木市殿向

酒田 根上善助揚

最上 本木林兵衛行

高麗はし

能登屋三治郎殿

十二月十三日
一 金四兩壹分壹朱 絞四本

十四相渡し

十二月十三日 仏足屋
一 金三兩三分 菊りん燈

代相渡し 壹組

為替金

最上かに沢村

十二月十三日
一 金四兩也 密蔵院

手形之内 国為替之内相渡し

十二月廿一日
一 金拾六兩也 相渡し

ノ金廿兩也

十二月十四日 日の下
一 金壹分 主税

きつ薬類抜代済

十二月十五日 和泉屋
一 金四兩三分 源助

印ろふ壹つ

代十一日相渡し

十二月廿日分 近江屋
一 神瘡丸 太右衛門

半料十包

代貳分貳朱代済

大坂

柏屋太良兵衛様

十二月十六日
△平印匣改蠟 拾丸

正三十五メ七百匁入

ノ 壹メ百五十匁かへ

ノ 高百五拾七メ目

代銀六貫八百廿六匁

一 百卅六匁五分式厘 式分口せん

一 六十五匁 荷造

十二月卅日 羽州屋
一 金七拾兩也 久右衛門殿

百四匁五厘 相渡し

此銀七メ式百八十三匁五分

尾州屋宿

丸屋長右衛門様

十二月廿二日 嶋木綿 五拾六反

反二付四十匁かへ 代金式メ式百四拾匁

此金三拾七両壹分壹朱ト

壹匁九分五厘

右之通り不残相渡し申候

京都

嶋屋利助殿

十二月廿二日 千砂上黒 一 金式兩壹分三朱 十徳壹つ

外式朱ト百文 綿入仕立也

右仕立ちん共

十二月卅日渡し

月岡注文分

十二月廿四日出し

大黒屋庄治郎殿

稻荷福住六躰

外けさ 壹つ

十徳 壹つ

かんのふ丸 八つ

きつ薬 九つ

十日切 赤玉 十

壹メ七百五十め 皆掛り

一

一 五十文 なわ代

一 式百文 あつ紙代

一 壹朱 油紙代

買 伊勢屋利右衛門様

⊕高名 十八入四丸

正月切百十八兩かへ

代金百卅貳兩三分

内金壹兩三分三朱卜

三匁貳分貳厘

引而金百卅兩三分ト五分三厘

伊勢屋兵七殿

十二月廿八日

△平△小袖綿

三〇掛五百把

四二かへ

代銀貳メ百匁

十二月卅日朝

一 金廿壹兩也 相渡し

九八五定

此金貳メ六十八匁五分

近江屋

茂十郎殿

十二月卅日

一 金百兩也 百三十六△
手形壹枚

一 金百兩也 百三十七△
手形壹枚

一 金貳百兩也 百四十四△
手形壹枚

△金四百兩也遣

伊兵殿相渡し

同日
百卅八はん

一 金百兩也 △
手形壹枚

同日
百四十五はん

一 金百五十兩也 △
手形壹枚

△貳百五十兩也 遣弁吉殿相渡し

卅日 百四十八はん △
一 金三百五十兩也 手形

直相渡し

△金千兩也

十一月廿七日相渡し置、十二月卅日切

手形、京都近江屋茂十郎殿へ相廻り候二

付、日限無相違相渡し申候、以上

十二月廿九日
一 金五百兩也 九永分

但帶屋嘉兵衛殿

手形壹枚

右手形弘 万屋治兵衛殿相渡し

百四十三はん

一 金三百兩也 手形△一出

百四十はん

一 金百兩也 手形△一出

百三十九

一 金百兩也 手形△一出

一 金五百兩也

十二月卅日帶屋嘉兵衛殿

請取書京都万屋治兵衛殿江

相廻り、右請取書引替無相違

相渡し申候

十二月卅日

一 金百兩也

利助殿 嶋屋

△一手形百四十九はん相渡し

十二月卅日 古手屋
一 金百兩也 長右衛門殿

△一手形百五十はん壹枚

相渡し

十二月卅日 柳馬場
万屋長兵衛殿

一 六百貳拾文

右江式朱相渡し

貳百五十匁つり相渡し

寅正月二日

一 金壹分壹朱 ふち頭買入代

正月二日

一 金五百兩也 上京支配人

村居清七殿 忠七殿江かし

正月七日 大坂二而

一 金貳朱 たはこ壹包

代済

正月八日

一 七きた四壺 三利

代三分巻朱ト

式百八十 濟

近江屋安五郎殿

正月八日

一 百五十五匁 セラシイキ 拾斤

一 八十一匁九分 一角 七双十一匁七分

一 式百九十七匁五分 但三メ五百匁直段

宇 十三匁六分

ノ五百卅四匁四分

和泉屋安兵衛

正月九日
一 金式朱ト百五十 戸石代

代濟

一 百文 みかん箱 箱老つ

覚

一 大坂造生蠟 三拾丸

但巻丸ニ付 要害村庭渡し定

代金九兩かへ 山形迄駄ちん売主持

来寅四月卅日 本紙

同 六月卅日 取引

右、大坂表ニ而売定、翌年金拾五兩之内

内金五兩也髓ニ受取申候、残金引替右日

限本紙相渡し可申候、日限過候ハ、此手

形相用ひ不申候、以上

丑十二月廿一日 本木仁平次

伊東忠七殿

会田久助殿

取次

野田屋茂兵衛殿

正月十四日

一 九拾匁 生かす拾斤

一 八匁 箱式つ

ノ九十八文

代巻両也、渡し

正月十六日 羽州屋
金七両也 忠助殿

かし

日塔与右衛門渡り手形受取

大黒屋庄次郎殿払

十月五日
一 五百四十八文 正六

十二日
一 三百四十八文 六助

廿二日
一 五百四十八文 正六

十一月二日
一 三百四十八文 六助

十二日
一 五百四十八文 正六

廿五日
一 五百四十八文 正六

十二月二日
一 五百四十八文 正六

十二月廿二日
一 三百四十八文 六助

十二月廿四日
一 五×七十五文 稻荷様

目方巻×七百五十め

正月五日
一 五百卅弍文 さし七本

百卅め

正月五日
一 五百四十八文 正六

ノ九貫三百九十一文

丑二月十二日百分
一 五百四十八文 正六

二月十五日
一 五百四十八文 正六

二月廿二日
一 五百四十八文 正六

ノ拾巻×九百十一文

此金巻両弍分三朱ト三百六十一文

相渡し

ミのや治兵衛殿

正月廿一日

一 金三兩三分式朱

金白代相渡し

京都

伊勢屋利右衛門様

金銀取引覚

十一月卅日差引^{ニ而}かし

一 金貳拾六兩壹朱

一 銀廿四匁九分三厘 かり

十二月朔日

出金百七拾貳兩三朱ト銀五匁

十二月二日

出金百廿五兩也

十二月四日

入金貳百兩也 手形^{ニ而}受取

十二月五日

入金百廿兩也 手形^{ニ而}受取

十二月廿一日 蟹沢村密藏院
入金拾六兩也 為替^{ニ而}受取

十二月廿二日

入金三拾五兩也 手形^{ニ而}受取

十二月卅日

出金貳百兩也

⊕手形^{ニ而}相渡し

同 入金百兩也 百三十六手形受取

同 入金百兩也 百卅七手形受取

同 入金百兩也 百卅八手形受取

同 入金百兩也 百卅九手形受取

同 入金百兩也 百四十手形受取

同 入金廿一兩也 百四十一手形受取

同 入金三百兩也 百四十三手形受取

同 入金貳百兩也 百四十四手形受取

十二月卅一 百四十五手形
入金百五拾兩也 受取

同
入金五兩也 正受取

十二月卅日
出金百五十五兩三分式下 最喜手形ニ而

銀三匁六分 相渡し

十二月卅日
出金五百拾貳兩三分式朱 相渡し
[同]手形ニ而

銀四分九厘

卅日 百四十九
入金百兩也 手形ニ而受取

卅日 百四十八はん
入金三百五十兩 手形ニ而受取

卅日 百五十番
入金百兩也 手形ニ而受取

十二月廿九日 ㊦手形ニ而
出金四百五拾壹兩貳朱下 相渡し

銀貳匁八分式厘

正月二日 第二番手形ニ而
入金五百兩也 受取

同 △二仕切

出金貳千八百八拾壹兩 高

貳分壹朱下

銀壹匁六分九厘

渡方

金三千八百廿五兩壹朱下

銀八匁六分

入方

式千五百九十七兩

差引

金千貳百廿八兩壹朱 かし

銀六匁三分三厘 かり

正月四日

入金廿八兩 正受取

正月四日 △一なら権分

入金貳百兩也 小彦殿下し

金銀出入覚

九月十一日

入金拾兩ト吉貫文 持出し

出金壹兩三分三朱 道中入用

十月七日 いせや 利右衛門殿へ
入金百兩也

但なら権行小彦殿江下し金

十月七日 ならや 権兵衛殿江
出金百兩也

但いせ利も小彦江下し金ニ而

十月十六日
出金貳兩也 △一文助殿立相渡し

但常光院講代金

十月廿日

出金三分三朱ト三十六文 木市殿へ
荷物掛り

十月卅日

入金百兩也 いせや 利右衛門殿へ

十月卅日 ならや 権兵衛殿へ
出金百兩也

但川村喜右衛門殿江為替手形金

十一月七日

出金五兩也 彦三郎殿

十二月七日

入金拾兩也 いせや 利右衛門様

七日
出金壹分七朱 △一文助様

たはこ代

七日
出金壹兩壹分 △清助様

七日 はりまや 松四郎殿
出金貳兩也

十一月廿七日 いせや 利右衛門様
入金貳拾兩也

十一月廿七日 ならや 宇兵衛殿
出金廿兩壹分貳朱

廿四日 かき けさ代
出金三分七朱

十一月卅日 一〇 佐助殿
入金百兩也

同 一〇 佐助殿
入金四拾兩ト

貳分三朱ト

式匁壹分七厘

十一月卅日 ならや

出金百兩也 権兵衛殿

但近茂江渡し分

手形引替

十二月一日
出金百七拾貳両三朱ト五匁 いせや 利右衛門様へ

十二月二日 いせや
入金百廿五両也 源助殿

花代

十二月一日 いせや
出金百廿五両也 利右衛門様

十二月四日 中村左衛門様
出金四両壹分貳朱 運賃掛り相渡し

貳百四十文

十二月五日
入金貳百両也 いせ利殿

十二月四日 ならや
出金貳百両也 権兵衛殿為替金

近江屋茂十郎殿江相渡し

四日
出金壹分三朱 もゝ引代

十二月五日 いせ利殿
入金百廿両也 大坂渡手形ニ而

十二月七日 羽州屋
出金百廿両也 久右衛門様

十二月十一日 山田屋
出金貳両貳分 嘉右衛門

五十嵐屈ケ金

十二月十三日
出金三両貳分 りんとふ代

十二月十四日 羽州屋
入金拾両也 久右衛門

十二月十三日 密藏院
出金四両也 国為替金

十二月五日分
入金拾三両也 いせ利殿

さし花代

十二月十四日 能登や
出金四両壹分壹朱 三治郎

十四日
出金壹分 きつ茶

十六日 羽州屋
入金七拾両也 久右衛門様

十六日 柏屋
出金七拾両也 太郎兵衛殿

蠟代

十七日 和泉屋
出金四兩三分 源助

印籠代

廿日
出金貳分貳朱 近太殿

かんのふ丸代

十二月廿一日
入金拾六兩也 △一様も

十二月廿二日
入金三拾五兩也 △一様も

十二月廿一日 蟹沢村
出金拾六兩也 密藏院

為替金

十二月廿二日 丸屋
出金三拾七兩壹分一朱 長左衛門

城経嶋代

十二月卅日 吉文し屋
入金貳百兩也 彦市殿

十二月卅日 嶋利
出金貳兩貳分壹朱ト百文 惣助殿

十二月卅日 いせや
出金廿壹兩也 兵七殿

卅日 最上屋
入金百五拾五兩三分貳朱ト 喜八殿

銀三匁六分

卅日 西村屋
入金五百拾貳兩三分貳朱ト 清九郎殿

四分九厘

卅日 近江屋
出金四百兩也 茂十郎殿

伊吉渡し

卅日 近江屋
出金貳百五十兩也 茂十郎殿

弁吉渡し

卅日 京下万屋
出金五百兩也 次兵衛殿

卅日 嶋屋
出金百兩也 利助殿

卅日
出金三百五十兩 茂十郎殿

卅日 吉文し屋
入金四百五十一兩貳分ト 彦市様

式匁八分式厘

卅日 古手屋

出金百兩也 長右衛門殿

卅日 [△]

出金貳分貳百文 文助

出金三分壹朱 セキ代

出金壹兩也 生かす

出金貳朱 たほこ

出金 ^(下)

正月十四日 羽州屋

入金七拾六兩也 久右衛門様

入金三拾八兩也 丸屋永治殿

木綿代

出金七拾六兩三分壹朱ト 逸兵衛殿

三百文

木綿代

正月十四日 羽州屋

出金拾兩也 久右衛門

寅運ちん見込

正月十四日 羽州屋

出金壹兩壹分 久右衛門

さし引表

出金 ^(下)

正月九日 いせ源殿 受取

入金貳兩ト百十八文

正月十九日 兵七殿

出金三分壹朱

正月十九日 大黒屋 庄次郎

出金壹兩貳分壹朱ト

三百六十一文 払

覚

十月三日着 休の分 十日。夜飯 十一日。昼飯 十六日。昼飯

十一月十五日

廿日。夜 廿一日。昼 廿四日。夜 昼○ 昼○ 十一月十五日 昼○

十一月十五日

夜○

羽州屋久右衛門殿行

十月十日

一 竹多平吉船無事入津仕、水上いたし候所、差向紅花

雨司印四丸之内壹丸、仙中 ^(總) 大瀧ニ付木市殿江揚ニ相

成候様奉仰候、右ニ付御立合日改御掛合可被成下揚被成下恭奉存候、右荷最上極上もの故左様思召船頭江御掛合可被成下候様御願申上候

一 其外六丸者いセ利殿行^{ニ而}、仙台仲新田花ニ御座候、右之内沓丸濡ニ相成候様子被仰下恭奉存候、右之分も御吟味御掛合被成下度御願申上候、右ニ付私立会可申様被仰候得^者下坂可仕候、宜敷御願申上候

十月七日 木市殿行

一 竹多平吉船無事入津仕候様羽州殿ら案内申来候、水上いたし候所、手印羽久殿行四丸之内沓丸船中^{ニ而}大濡ニ相成候よし、右ニ付同人立合可申旨申来り、外ニ手印六丸之内沓丸濡荷有之様子、右荷仙台^{ニ而}極上之物ニ御座候、定^而御承知も御座候事と奉存候、其思召^{ニ而}船頭江御吟味御掛合可被成下候、別^而今年ハ高金之もの故驚入申候、猶亦跡荷能々御吟味之上御請取可被下候、猶先使聞合船□前入津相成候ハ、被仰下度御願申候

十一月十六日 羽久殿行

一 生蠟直段被仰下恭奉存候、沓メ〇五十匁内式分口錢付^{ニ而}商内出来候様ニ被仰下承知仕候、此節買間と被仰候ニ付廿五匁、猶相成丈ヶ下直ニ買方御願申上候、殊ニ品ものハ定^{ニ而}御吟味可被成下与恭奉存候、何分手なれぬ事故御引立与思召精々如此ニ買入被下候

(裏表紙)

羽州最上西里

〈平 仁平次 〉

七六 紅花仕切

(端裏書) 「平御印」

仕切

十一月卅日限

金百三拾五兩替

一 金貳百四拾四兩

平緋王 十九入四丸

貳步貳朱卜

廿 入貳丸

三匁七分五厘也

ノ

内金三兩貳步貳朱

卷半引

④ 貳匁七分卷厘也

内金卷兩卷步貳朱

平緋王四丸

④ 三匁七分四厘也

手板不足

田保中村池勘払

内金卷兩卷步三朱

平緋王貳丸

④ 三匁四分三厘也

同 丸兩貳丸

手板不足

田保中村池勘払

④

金六兩卷步三朱卜

九匁八分八厘也

引而金貳百三拾八兩卷朱卜

銀卷兩三分七厘也

右之通御相對ヲ以買請候紅花代金、此度不殘相渡此表無
出入相濟申候、若相違之義有之候ハ、重而御互ニ差引可
仕候、為後日依而如件

慶応元年

丑十一月卅日

伊勢屋理右衛門④

(甲子十一月改△伊理)

本木林兵衛殿

仁平次殿

七七 紅花仕切

(端裏書)「平御印」

仕切

正月晦日限

金百六拾兩替

一金百九拾七兩貳步也

△平緋袴 廿 入三丸

十九入壹丸

△ 金百四拾八兩かへ

一金四百六拾五兩

同 仙適 廿壹入六丸

貳步貳朱卜

貳十入四丸

貳匁六分九厘也

さし共

拾兩花欠引

此欠目貳メ六拾匁

但四袋ト貳百八拾匁

引而貳百壹袋ト

百六十五匁

此部三七〇七八

△ 金六百六拾三兩貳朱卜

貳匁六分九厘也

④

内金九兩三步貳朱卜

四匁三分五厘也

④ 内金壹步也

④ 内金壹兩貳步ト

百八十七文

④ 内金壹兩貳步ト

三拾文

④ 内金三步ト

三百文

△ 金拾三兩三步貳朱卜

九匁五分貳厘也

引而金六百四拾九兩貳朱卜

壹半引

△ 平仙適四丸

△ 世話料成仁殿渡

右御印四丸

諸掛り入用

△ 成仁殿渡ス

△ 平仙適六丸

△ 田保池勘手板不足取替

同緋袴四丸

下川カ入用

△ 高瀬鳥羽嘉殿払

銀六分七厘也

右之通御相對ヲ以買請候紅花代金、此度不残相渡此表無
出入相濟申候、若相違之義有之候ハ、重而御互ニ差引可
仕候、為後日依而如件

慶応式丙寅年

正月晦日

伊勢屋理右衛門^④

本木林兵衛殿
仁平次殿

七八 萬覚帳 (横帳)

(表紙)
「慶応式年

萬覚帳

寅十二月吉日

覚

- 十一月四日五日
- 一 金壹兩三分百七十文 上ノ山ニ而入用
- 一 同壹分壹朱三百五十文 色々買もの代
- 一 同四兩貳分三朱七十文 道中入用
- 土産のし 敦彦殿
- 一 同壹分也 おゑ津殿
- 一 同貳朱也 おとく殿
- 一 同壹朱也 おまさ殿
- 一 同貳朱ト貳百文 たはこ代
- 一 同三朱也 たはこ代
- 一 同三朱ト五十 伊東氏江扇子六貫文相濟
- 一 四十文 午始紙二枚
- 一 金壹朱二百文 きせる巻本
- 一 金貳分貳朱ト三百文 たはこ入代

近江屋佐助殿

十二月十二日

△平刀紅 十九入 三丸

△平刀紅 廿入 壹丸

△

△₁△₂出し

同刀紅 十六袋

△九拾三袋 五三壹式五

十二月切 百廿式刃かへ

代金百九拾壹兩三分三刃七分五厘

壹半引

内金貳兩三分貳朱卜壹刃二分壹厘

引而金百八拾八兩三分貳朱卜貳刃四分四厘

手板不足

内金三兩壹朱卜九分九厘

又引百八拾五兩三分壹朱卜壹刃四分五厘

十二月卅日受取

伊勢屋利右衛門様

十二月十二日

△平丸物 廿入 三丸

十九 壹丸

同 同 拾四袋

△九十三 壹四五三壹式五

十二月切

代金貳百三兩壹分貳朱卜銀三刃七分五厘

内金三兩卜三刃九厘 壹半引

引殘金貳百兩壹分貳朱卜六分五厘

吉文字屋彦市様

十二月十二日

△平鳳凰 廿入 四丸

八十

代金百八拾三兩三分

内金貳兩三分三分七厘五 一半引

引而金百八拾壹兩

内三分七厘五 返り

伊勢屋利右衛門様

十二月十三日

△平鳳凰 廿八 四丸

外二拾貳袋

百五十兩かへ

代金貳百拾五兩貳分貳朱

内金三兩貳朱卜六匁五分三厘 壹半引

引而金貳百拾貳兩壹分貳朱卜九分七厘

西村屋清九郎様

十二月十五日

△平緋織 十八入 四丸

同日

外拾貳袋

△九十貳袋

百四十五兩かへ

代金貳百八兩壹分貳朱卜三匁七分五厘

内金三兩貳朱卜九分三厘 壹半引

引而金貳百五兩壹分貳朱八分貳厘

最上屋喜八殿

十二月十六日

△平鳳凰 廿八 四丸

百八十 壹貳五分

十二月切 百四十六匁かへ

代金百八十貳兩貳分

内金貳兩貳分貳朱卜六匁七分五厘 壹半引

引而金百七拾九兩三分卜七分五厘

伊勢屋利右衛門様

十二月十七日

△平高司 四丸

三月二日切

代金百五拾五兩かへ

△代金百九拾三兩三分

内金貳兩三分貳朱卜壹匁七分五厘 一半引

引而金百九拾兩三分五匁七分五厘

伊勢屋利右衛門様

△平高谷印 廿八 四丸

外 五袋

八十五 卷三式八卷五五

三月切 百五拾兩かへ

代金百九拾九兩貳朱卜五匁六分貳厘

内金貳兩三分貳朱卜六匁七分五厘 一半引

引而金百九拾六兩貳朱卜六匁三分七厘

伊勢屋利右衛門様

△平高司 廿八 四丸

外二 四袋

内卷袋 羽久殿使二相成

八十三

代金百九拾四兩貳分壹匁九分七厘

内金貳兩貳朱卜七分五厘 五免引

引而金百九拾貳兩壹分貳朱卜壹匁貳分貳厘

又金貳兩三分貳朱卜六分五厘 一半引

又引金百八拾九兩貳分四分七厘

最上屋喜八殿

十二月廿三日

△平日之出 廿八 三丸

十九入 卷丸

七十九袋

十二月切 百四十四兩かへ

代金百七拾七兩三分

卷袋二付七五分欠

内金貳兩三分貳朱卜四匁四分八厘

引而金百七拾四兩三分三匁貳厘

内金貳兩貳分七匁三分貳厘 一半引

又引金百七拾貳兩貳朱卜三匁貳分

西村屋清左衛門様

△平緋頃

廿八 四丸

廿八 卷丸

内玉改 壹袋引

九拾九袋

三月二日切 百五十兩かへ

代金貳百卅貳兩壹匁八分七厘

内金三兩壹分貳朱卜六匁三分貳厘 一半引

引而金貳百廿八匁貳分三匁五厘

吉文字屋彦市殿

十二月廿四日

△平小町 十九入 三丸

外二 十六袋

△七十三 三一四〇六貳五

三月二日切 百五十一兩かへ

代金百七拾貳兩壹匁銀五匁六厘

内金貳兩貳分五匁壹厘 一半引

引而金百六拾九兩三分壹厘

伊勢屋利右衛門様

△平緋司 廿八 四丸

△

来三月二日切 百六十兩かへ

代金貳百兩也

内金三兩也 一半引

引而金百九拾七兩

伊勢屋利右衛門殿

△平緋王 廿八 四丸

外二五袋

来三月二日切 百五十四兩かへ

代金貳百四兩貳分壹匁五分七厘

内金三兩四匁七厘 一半引

引而金貳百壹兩壹分貳朱卜五匁三分

伊勢屋利右衛門様

△平緋袴 十九入 三丸

外 十四袋

七十卷

来三月二日切 百六十両かへ

代金百七拾兩式分

内金貳兩貳朱卜式弍式分五厘 一半引

引而金百七拾四兩三分五弍式分五厘

伊勢屋利右衛門様

△平新飛 十八入 四丸

同 同 六袋

七十八

来三月二日切 百五十八両かへ

代金百九拾貳兩貳分壹朱

内金貳兩三分式朱卜四分 壹半引

引而金百八拾九兩貳分式朱卜式弍九分五厘

伊勢屋利右衛門様

△平緋司 廿入 四丸

外二 七袋

八十七

来三月二日切 百六十両かへ

代金貳百拾七兩貳分

内金三兩壹分七分五厘 壹半引

引而金貳百拾四兩貳朱卜六弍七分五厘

伊勢屋利右衛門様

△平松沢 廿入 四丸

外二拾九袋

九拾九袋

来三月二日切 百五十九両かへ

代金貳百四拾四兩壹分式朱卜壹弍八分七厘

内金三兩貳分式朱卜式弍四分六厘 一半引

引而金貳百四拾兩貳分式朱卜六弍九分壹厘

伊勢屋利右衛門様

十二月廿四日

△平玉紅 廿入 壹丸

外二五袋

又老袋 清左衛門殿と出し分

武拾六袋

三月二日切 百廿兩かへ

代金四拾八兩三分

内金貳分貳朱ト六匁三分七厘 一半引

引而金四拾八兩ト老刃老分三厘

十二月廿七日

一金五兩也 安孫子兵庫殿相渡し

十二月廿七日

一金三兩也 近江屋定藏殿預り

廿九日 相濟

十二月廿八日

一金拾兩也 利右衛門様預り

烏丸通松原上ル

野田吉兵衛殿

十二月廿八日

一八寸かゞみ 老枚

代金三步也 直相濟

大坂堀筋 帶屋加兵衛様

十二月卅日渡手形伊勢利と 直板帶加へ下し

一金百兩也

京伊勢利殿と為替ニ而、大坂嶋屋清兵衛殿渡り手形

ニ而相渡し

十二月廿一日

一金七兩也 宿彦三郎殿相濟し

廿九日

一金三兩也 伊東忠七様預り

大卅日相渡し

十二月廿九日

一金五兩也 三の屋治兵衛殿相渡し

十二月卅日

一金三百四拾五兩也 最上屋喜八殿受取

卅日

一金三百四拾五兩也 伊勢屋利右衛門様

最上や手形相渡し

卅日

同入様 金百八拾五兩三分一朱ト老刃四分五厘

近佐殿手形ニテ相濟

一同 金貳百兩也 同人様

万治殿渡り手形ニ而入

一同 金四拾兩也 同人様

万治殿渡り手形ニ而入

一同 拾兩也 同人様

正二直入

大卅日 一 金貳百兩也 長右衛門殿 相渡し

大卅日 一 金四拾兩也 利助殿 相渡し

一 金四兩

大卅日 一 金三兩貳分貳朱 古長殿江稻荷講 相渡し

十二月廿七日 一 金百兩也 大坂帯屋加兵衛殿

但京伊勢利ニ而大坂鳴清殿を受取分、金為替取組

大卅日渡り手形ニ而相渡し

正月四日 一 金貳百五拾兩也 姫路ならや権兵衛殿行

大坂小彦殿へ、京いせ利殿を相渡し下し

正月四日 一 金貳百五拾兩也 いせ屋利右衛門

なら権殿江下し金受取分

正月四日 一 金三拾兩也 同店を正請取

正月六日 一 金五拾兩也 大坂羽州屋久右衛門様預置申候

内金八兩也 正月十八日受取

伊勢屋兵七様

一 書画山水画替り 卅間

式八 代廿八匁 十

一 申引 同

四〇 代四拾匁 十

一 嵐雪月花 同

三三 代三拾三匁 十

一 目七星 同

一 壽蛤笑	同	十	四〇 代四十匁	同	十
一 松川柳月	同	十	一 相雪こかふし	同	十
一 松川柳月	同	十	一 月かふもの	同	十
一 細金三匁水引	同	十	一 天相月鳥	同	十
一 黒冒清海	同	十五	一 嵐山	同	十五
一 梅の木	同	十	一 道中記	同	十五
一 紅そき雪	同	十五	一 京名所	同	十五
一 干切	同	十	一 高砂松葉	同	十五
一 月すっほん	同	十	一 金不分タスキ	同	十
一 細金三筋	同	五本			

一 上稀分金 五十

百十 代五拾五匁

一 初分金 百五十

四十式 代六十三匁

一 都巖 百本

四十七三 代四十七匁三分

一 稀金 百本

六十式五 代六十式匁五分

一 稀分金 百本

六〇八 代六十匁八分

一 福寿丸 百本

六老五 代六十老匁五分

ノ 老メ五百八十七匁老分

内七分引

残老メ四百七拾六匁

金拾兩 相渡し

代八百め

差引六百七十六匁

正月二日分

一 金三朱ト式百八十文 廿六本箱式つ

一 金式分式朱ト老メ九百文 箱代荷造用大坂迄運ちん

ノ 金三分老朱ト銀六百七十六分

○ 式メ百八十文

二月三日 一 廿三匁式分五厘 繰わた百目

一 廿三匁式分五厘 百目

ノ 四十六匁五分

高らいはし能登屋三治郎殿

正月十八日

一 金老兩也 老本

一 同三分三朱 老本

一 同式分式朱 老本

一 同式分式朱 老本

ノ 金三兩三朱

一 金六兩老分 廿本

ノ 九兩老分三朱

金八兩也 相渡し

正月十九日 帶屋加兵衛殿
一 金貳兩貳分壹朱ト七十文 相渡し

寅差引残り分

正月十九日 大坂屋久右衛門
一 持物釜 拾六冊

代金三分貳

但谷鍛村与兵衛様注文

正月十九日 羽州屋久右衛門様
一 金貳分貳朱 十

一 同貳分貳朱 持物釜十六冊

一 拾四匁八分 上目六百四十目

六四三四 嶋屋出し常便ちん

姫路行壹通ちん

正月廿日 近江屋太郎兵衛

一 貳朱ト三百文 壹つ

一 四百五十文 ひさ

一 三百文 ひさ

一 貳朱也 壹つ

一 壹分貳朱 相渡し

廿一日 鳩羽屋 石三つ

一 金貳朱 濟

在京近江屋定藏殿

卯正月廿四日 式分金三兩かし

卅日 受取

大坂羽州屋久右衛門殿

正月分 百四十八兩かへ へ平高司

一 金貳兩壹分三匁七分五厘 壹袋

内貳匁八厘 壹半引

又金三兩壹分三朱ト壹匁五分三厘 手板不足

差引金三兩三朱

内壹分貳厘引

△一儀助様

正月廿五日

一 銀六拾匁

茶嶋巻反

一 銀七拾四匁七分

単嶋巻反

ノ金百卅四匁七分

此金貳両壹分

内三分 返り

野村屋留蔵殿

正月廿五日

一 金六拾兩也

但いせ利殿渡り

三月二日渡り手形ニ而かし

一 金三拾五兩也

但いせ利殿渡りニ而

三月二日渡り手形ニ而かし

△一儀助様

二月朔日分

一 五拾六匁貳分五厘

嶋巻反

此代金三分三朱

桐山勝八殿

正月廿六日

御文章

巻

代金貳分壹朱ト貳百五十文

御和讃

巻部

代金貳分貳朱ト貳十文

箱代 貳分貳朱

ノ壹兩三分貳朱ト貳百七十文

代相濟

廿八日 内壹兩貳朱 請取

内貳百七十文 返し

△一御店御主人様

正月廿七日

百卅貳匁

巻反

内四匁引

正ニ百廿八匁

一 七十六匁七分

巻反

一 七十五匁五分 壹反

ノ 百五十式匁式分

内四匁 引

正ミ百四十八匁二分

ノ 銀式百七十六匁式分

代金四兩式分壹朱ト式匁四分五厘

清助様

一 七十六匁 壹反

内式匁引

正ミ七十四匁

代金壹兩壹分

ノ 金五兩三分壹朱ト式匁四分五厘

嶋屋利助様御預申候

△平嶋木綿 六十反入

吉 百壹番

△平嶋木綿 七十二反入

百式番

△平嶋木綿 七十式反入

百三番

丸屋長左衛門様

正月卅日 五十五かへ

一 三×三百目 取合六十反

一 百四匁 五十式 式反

近定殿分 受取

ノ 三×四百四匁

此金五拾六兩式分三朱ト式匁五分七厘

尾州起宿在京五城付

丸屋長左衛門殿

一 三×目 嶋取合六拾反、壹反売

一 九十五匁

七十四〇 相京入五ばん

一 貳百九十六匁	四反	一 貳百廿六匁五分	三反
七十五	京入大嶋	七十四五	相中こほし
一 貳百廿五匁	三反	一 四百四十七匁	六反
七十六五	立京入むらさき	七十六	茶か
一 四百五十九匁	六反	一 貳百廿八匁	三反
七十六八	き京不入嶋	七十四五	相ちやか
一 六百九十一匁貳分	九反	一 貳百九十八匁	四反
八十貳	上相ちやか	七十五	相上筋
一 百六十四匁	貳反	一 五百廿五匁	七反
七十五	相まん	七十六	寅京入むらさき
一 三百匁	四反	一 三百八十匁	五反
七十六	茶ちやか	七十五	相ちやか
一 三百四匁	四反	一 貳百廿五匁	三反
七十六	京入相大五ばん	五×五百廿壹匁七分	
一 貳百廿八匁	三反	七十六八	相まん筋
七十五	京入むらさき中五ばん	一 七百六十八匁	拾反
一 五百廿五匁	七反	七十五五	茶こふし
七十五五	茶小こほし		

一 貳百廿六匁五分	三反	一 三百七十七匁五分	五反
七十〇五	京入相中立	七十三五	単中立
一 三百五十貳匁五分	五反	一 四百四十一匁	六反
七十三五	相ちやか	六十八〇	相立
一 貳百九十四匁	四反	一 貳百四匁	三反
七十六〇	京入むらさき	七十貳五	相越し
一 四百五十六匁	六反	一 四百三十五匁	六反
七十五	茶か	七十壹五	相立
一 貳百廿五匁	三反	一 貳百八十六匁	四反
七十六五	立京入むらさき	七十五五	単ハク
一 百五十三匁	貳反	一 百五十一匁	貳反
八十五	上相ちやか		内巻反売
一 三百四十匁	四反	七十七	単相立越し
七十壹	相五ぼん	一 三百八匁	四反
一 貳百八十四匁	四反		内巻反売
七十六	茶か	七十六七	単三八し
一 貳百廿八匁	三反	一 貳百卅匁	三反
七十五五	単ちやか		内貳反売

百三十式 李目

一 百卅式文 卷反

ノ 七十八反

ノ 五貫八百九十卷匆六分

二口

ノ 拾卷メ四百拾三匆三分

百五十一反

内三メ百七十一匆引

引而銀八貫式百四十式匆三分

拾卷メ三百三十七匆三分

一 五十一匆五分 嶋卷反

△一義助殿へ売

外二

一 四十五匆 古油紙三枚

古漆紙三枚

一 九匆 古細引三本

ノ 五十四匆

半直引

正ミ廿七匆

惣ノ 拾卷メ四百拾五匆八分

此金百九拾兩卷分八分

二月朔日 相渡し

稻荷控掛り

二月朔日 一 卷朱 漆紙代

一 式百文 包紙代

一 四百文 しろふなわ代

一 四メ九百三文 上目卷メ九百目

上目式百卅目

沢屋吉兵衛殿

二月朔日 一 金式朱 大帳

一 銀六百卷匆九分二厘 平仕切ノ高

一 銀貳貫四百五十式匁三分五厘

〔勾印仕切〕高

銀三貫五十四式分四厘

此金四拾貳兩壹分貳朱三匁貳分八厘

金四拾貳兩貳分

二月三日 △一渡り手形^ニ而相濟

野村屋富藏殿 沢吉仕切^ノ高

一 式×四百五十式匁三分五厘

七式 此金三十四兩卜四匁三分

内金廿五兩 受取

引而金九兩卜四匁二分

二月二日

一 金老兩也 安孫子兵庫殿かし

但市兵衛様帰り迄

二月三日 一 金老分二朱卜貳百五十文

御和講一部

ノ百廿め 正^ニ

惣ニメ式百五十め

大こくや庄次郎殿

亥十二月二日

一 五百文

△平司正六

同 十一日

一 五百九十文

△平司正六

同 廿二日

一 五百文

△平正六

正月二日

一 壹×百五十文

〔匁分油紙包〕

正月二日

一 七百十文

△平司正六

十二月十二日

一 六百八十文

△万分

正月十九日

一 五百文

△丸分

正月廿二日

一 五百文

△二分

二月二日

一 四メ九百三文 〈平分〉

△一た分巻箱

一 拾巻メ式百五十 上目四メ五百目

一 四匁三分

二月二日切

いちはん

一 金拾兩

三四治

(裏表紙)

羽州村山郡

〔平仁平次〕

七九 松橋村産物去寅出高凡調小前帳

慶応三卯年

藏半紙之帳ニ認メ

当村産物去寅出高凡調小前帳

二月

松橋村上組

名主 堀米四郎兵衛組

一 生花五メ三百目

此千上り四百式拾四目 但百目ニ付り 堀米四郎兵衛

一 青苧巻メ三百目

メ

一 生花四メ八百目

此千上り四百三拾式目但百目ニ付り 久五郎

一 青苧五百式拾目

メ

一 生花式メ三百目

此千上り百八拾四目 但百目ニ付り 徳三

一 生花四メ百五拾目

万次郎

此千上り三百三拾式目 但右同断

メ

一 生花式メ式百目

直藏

一 此干上り百七拾六目 但右同断
青苧巻メ五百式拾目

一 生花八メ五百目 利助
此干上り六百八拾目 但右同断

一 生花拾式メ五百目 四郎次
此干上り巻メ目 但右同断

一 青苧巻メ百目

一 生花拾巻メ式百目 重五郎
此干上り八百九拾六目 但右同断

一 生花式メ三百目 卯右衛門
此干上り百八拾四目 但右同断

一 青苧巻メ三百目

一 生花拾五メ三百目 万次郎

一 此干上り巻メ三百七拾七目 但百目ニ付
青苧三メ五百目 九目ニ上り

一 生花三メ百三拾目 重助
此干上り式百八拾式目 但右同断

一 生花式メ式百目 作兵衛
此干上り百九拾八目 但右同断

一 生花六メ八百目 長太郎
此干上り六百拾式目 但右同断

一 生花五メ三百目 新藏
此干上り四百七拾七目 但右同断

一 青苧巻メ四百目

一 生花式メ三百目 矢次郎

此干上り百八拾四目 但百目ニ付
八目ニ上り

一 青苧五百八拾目

一 生花拾卷メ貳百目

此干上り八百九拾六目 但右同断

長七

一 苧苧卷メ七百目

一 生花三メ六百目

此干上り貳百八拾八目 但右同断

作助

一 生花卷メ八百目

此干上り百四拾四目 但右同断

三右衛門

一 青苧六百貳拾目

一 生花卷メ三百目

此干上り百四目 但右同断

小助

一 青苧三百目

一 生花八百目

此干上り六拾四目 但右同断

与吉

一 生花四百五拾目

此干上り三百六拾目 但右同断

八兵衛

一 生花九百八拾目

此干上り七百八拾四目 但右同断

○ 勘十郎

一 生花卷メ九百目

此干上り百五拾貳目 但右同断

弥兵衛

一 生花貳メ四百目

此干上り百六拾八目 但百目ニ付
七目ニ上り

清五郎

一 生花三メ百目

伝五郎

此干上り貳百拾七目 但右同断

一 生花壹メ八百目 勘太郎

此干上り百貳拾六目 但右同断

一 生花五メ三百目 庄助

此干上り四百七拾七目 但百目ニ付九目ニ上り

一 生花三メ百七拾目 伊兵衛

此干上り貳百八拾五目 但右同断

一 生花八百目 長助

此干上り七拾貳目 但右同断

一 生花七百八拾目 太郎兵衛

此干上り六拾貳目 但百目ニ付八目ニ上り

一 生花貳メ百目 伊七

此干上り百六拾八目 但右同断

一 生花壹メ八百目 左助

此干上り百四拾四目 但右同断

生花百三拾壹メ五百六拾目

合 此干上り紅花拾壹貫九百四拾九目

青芋拾貳貫八百四拾目

生漆 無御座候

蠟 無御座候

葉煙草 無御座候

刻煙草 無御座候

右著去寅産出小前老人別凡取調奉書上候処、書面之通ニ

御座候、以上

卯二月 松橋村上組

百姓代 万次郎

組頭 久五郎

同 徳三

名主 晋

堀米 要之助

名主

堀米四郎兵衛

山田佐金二様

柴橋

御役所

亀屋金右衛門様

覚

高関買

一 式拾八メ式百匁

権吉

林蔵

代金七拾八両式歩也

内楯買

一 三メ三百七拾文

常次

代金九両壹歩式朱也

岩木買

一 四メ廿匁

吉蔵

代金拾壹両式分也

新吉田買

一 拾七メ九百廿匁

庄七

代金四拾五兩也

大原買

一 三メ四百匁

清之助

八〇 へカ紅花荷造帳 (横帳・コピー)

(表紙)

明治三年

沢畑

卯七月廿六日 宇野与蔵

へカ 紅花荷造帳

上ノ山

代金九兩壹步也

吉田買

代金四拾兩三步也

下工藤小路買

一 五×七百七拾匁

庄七

一 四×八百匁

同人

代金拾六兩三分三朱也

横町買

代金拾三兩貳步三朱卜貳百文

大久保買

一 貳拾壹×貳百五拾匁

同人

一 三拾七×四百文

清之助

代金五拾貳兩三分貳朱也

權吉

代金百四兩三分也

久藏

沢畑買

北口町買

一 七百匁

㊦ 手法

一 七×六百五拾匁

權吉

代金貳兩也

内楯買

林藏

一 拾×八百匁

庄七

代金廿壹兩三分壹朱也

吉田買

常次

一 貳拾壹×匁

庄七

代金廿七兩三步壹朱也

長表買

仁平治

一 拾五×五百五拾匁

庄七

代金五拾八兩貳分

沢畑買

權吉

一 百八拾五匁

同人

代金壹步貳朱也

沢畑

一 壹×貳百五拾匁

五兵衛

代金貳兩三步也

大久保

一 四百三拾五匁

清之助

代金壹兩三朱也

清之助

一 壹×貳百匁

手花

代金三兩壹步貳朱也

荒小屋買

一 四×百六拾匁

權吉

代金九兩三步貳朱

谷地買

一 五拾五×八百四拾匁

庄七

代金百五拾七兩壹步貳朱也

岩木買

一 五×四百廿匁

久藏

代金拾五兩三步三朱卜八百文

吉田

一 貳×六百廿匁

仁平治

代金七兩壹步三朱也

沢畑

一 貳×四百四拾匁

四郎次

代金六兩貳分卜六百文

手花

一 貳百五拾五×九百八拾匁

代金六百九拾貳兩貳分壹朱卜

壹×六百文

吉田買

一 拾×百六拾匁

庄七

代金貳拾七兩貳分貳朱卜五百文

五吉

一 拾×百六拾匁

代金貳拾七兩貳分貳朱卜五百文

一 五メ六百廿匁 内買

代金拾六兩壹朱三百文

松沢買

一 貳メ五百匁 庄七

代金八兩貳朱也

ノ 貳百七拾四メ貳百五拾匁

代金七百四拾四兩壹分貳朱ト貳メ四百文

此袋五百九拾九袋

九駄三分六厘

壹駄ニ付七拾九兩貳分ト 上り

永四匁八分

内 訳

光 林谷 貳百四袋
地 十七入 拾貳箇也

吉 田 貳百袋

二十入 拾箇也

錦 大

光 久 百拾八袋
保

二十入 五箇也

十八入 壹箇也

吉 紅 七拾七袋

二十入 壹箇也

十九入 三箇也

ノ 諸掛り

金拾五兩也 茶袋拾駄分代

金九兩壹分四朱 買先口錢也

金九兩壹分四朱 雜入用見^{ウツ}込^コり

外ニ

一 金五兩也 宿口錢也

ノ 三拾八兩三分

荷造駄賃

一 三分

拾七メ八百六拾文 荷造入用

一 壹分三朱ト 才領

壹メ七百拾六文 道中入用

一 三兩ト 沢畑ろ

五拾七メ三拾七文 上ノ山まで駄ちん

ノ金四兩三朱ト

七拾六メ六百六拾三文

外二

壹分一朱 九駄三分六厘出判料

又貳兩貳分 百兩二ヶ月利足

ノ金七兩ト七拾六メ六百六拾三文

惣

ノ金七百九拾兩貳朱ト

七拾九メ〇六拾三文

此金七兩三分四朱ト三百拾三文

八一 平丑春一番積目録

〔表紙〕 嶋屋理介印

平丑春一番積目録

本木林平殿

仁平次殿

平百五拾壹番

一 三百九拾五匁 十五入 進条中形

竹 百五反

一 三百九拾五匁 十五入 同

鬻 百五反

一 貳百七拾匁 十入 紺絞り

歳 十五反

一 百七拾五匁 十七入 同

則 十反

一 式百七拾匁 十入 同

良 拾五反

一 百七拾五匁 十七入 同

萬 拾反

一 九匁 白木綿 壹反

一 拾匁五分 懸りもの

メ 壹メ六百九拾九匁五分

△平百五拾貳番

一 百八拾匁 十入地白筋

仲 山日入 拾反

一 貳百五拾九匁五分 十七入 同

丸 十五反

一 四百三十七匁五分 十七入納鳴海

宝印 百五反

一 四百五十匁 十入 紺絞り

勝 十入 花筋まし

一 四百五十匁 十入 花筋まし

武 鳴海入百五反

一 九匁五分 白木綿 壹反

一 拾匁五分 懸りもの

メ 壹メ七百九拾七匁

△平百五拾三番

一 三百八拾七匁五分 十五入進条中形

遮 百五反

一 貳百四十七匁五分 十六入兼房

守 滝 十五反

一 三百六拾貳匁五分 十四入兼法

岩 代小紋百五反

一 三百六拾貳匁五分 十四入同

蠟 百五反

一 百四拾五匁 十四入同

筭 さるへ 拾反

一 九匁 白木綿 壹反

一 拾匁五分 諸懸りもの

ノ巻メ五百式拾四匁五分

野 十反

△平百五拾四番

一 七拾式匁五分 十四入兼法
さるへ 五反

一 式百六拾式匁五分 十七入地白閑分

一 九匁五分 白木綿巻反

嵐 鳴海入十五反

一 拾匁五分 懸りもの

一 百七拾目 十七 同

ノ巻メ八百式拾式匁五分

山 拾反

一 百六拾五匁 十六入納舎廻し入

△平百五拾五番 十八紺大名

叩印

一 三百六拾匁 小紋入 廿反

一 式百四拾匁 十六 同

蟹 十四入兼房

宝 十五反

一 式百十七匁五分 筋通 廿反

一 三百六十匁 十八 紺小形

宝 十四入納戸中形

鞍 式拾反

一 三百七拾匁 百五反

一 八拾七匁五分 十七入 同

虎 十七 幾代

馬 五反

一 式百五十五匁 上紋十五反

一 式百七拾匁 十八 同

感 十五入 同

平 十五反

一 百五十五匁 納戸中形十反

一 百七拾五匁 十七入 同

線

一 九匁五分 白木綿老反

一 拾匁五分 懸りもの

一 老×三百七拾七匁五分

△平百五拾六番

一 百六拾五匁 十六入幾代

鮮 小紋 十反

一 三百七拾匁 十四入納戸中形

精 百五反

一 九拾匁 十八紺百合

蟹 小紋 五反

一 七十七匁五分 十五入納戸中形

緑 五反

一 百五拾目 十入 同

鑄印 十反

一 貳百三十貳匁五分 十五入 同

蟻 十五反

一 百五十匁 十五 同

鯨 拾反

一 拾反 白木綿小もの老反

一 拾匁五分 懸りもの

一 老×貳百五十五匁五分

惣合△九貫四百七拾六匁五分

右之通御座候、御引合被成度奉願候、以上

八二 覚（水花仕入金借用書）

覚

一 金三拾両也

右著水花仕入金ニ髓ニ請取申候所実正ニ御座候、追而

目録ニ御勘定ニ相立可申候、右金請取手形仍而如件

山のへ武田庄吉印

丑六月廿一日

榎藤左衛門様

八四 紅花売買会所世話料取極寛

八三（紅花売買会所取立二付）乍恐奉願上候口上
乍恐奉願上候口上

一 御当地江諸国^レ為指登候紅花売買会所私ニ被為仰付

被為下度奉願上候、取捌之義者売人荷主買人紅染屋双方会所江為立会売買無滯明白ニ取引為致度、尤会所世話料売代銀高^レ三分通取之候様仕度奉願上候、右為御冥加一ヶ年ニ金三百兩ツ、御上納可仕候、御尋之義有之候ハ、奉申上度候

御慈悲之上被為聞召分会所御免被成下候ハ、難有可奉存候、已上

卯

四月廿七日

一 当朔日被召出先達而奉願上候紅花売買会所之義、問屋仲買方而相障候由、猶又荷主共^レ世話料何程取候哉、前銀之義いか様取計候哉、御尋被為遊乍恐左ニ奉申上候

一 問屋仲間共之義、是迄者荷主共方^レ買請置、紅染屋共入用次第ニ売付申義ニ御座候、此度会所御免被為仰付候上者、問屋仲買共自分ニ買請候義自今相止メ、紅染屋共紅花入用聞立、肝煎セ候様仕度奉存候、尤会所世話料之内^レ紅花壹駄ニ付、銀拾匁ツ、相渡候様仕度奉存候、乍恐問屋仲買共会所肝煎ニ被為仰付被下置候様奉願上候御事

一 世話料之義是迄紅花売代銀高^レ三步通取来候ニ付、前格を以、会所御免被為成下候上ハ、荷主共江対談仕無滯様取計ひ可仕御事

一 前銀之義越前・敦賀・大津着仕候上、相好候荷

主共江相對仕、無滯様ニ作略可仕候御事

一 会所被為仰付候上、会所売買帳面差出置、紅染
ヤ荷主露顯致させ意論無之不益ニ取計仕度奉存候
御事

辰

二月七日

八五 紅花売買会所二付郡中願案

卷

此段紅花之儀、百姓手前者日々水花ニ而商人共江売渡候
得者、於京都世話料相建候而も、直段高下様答者百姓手
前少々之義ニ而、商人共勝手之義奉存候、併商人共勝手
ニ相成候得ハ、自然与百姓方潤ニ相成可申与奉存候

式

此段近年紅花直段下直ニ而弥増及困窮候得共、世話所相

建候逆も直段相定候義も無御座候得共、右世話所方歩
安金子相下候ハ、壳急ニ無之自然与直段引上、併百姓
方ニ而ハ聊之義ニ奉存候、尤拾ケ年程以来、紅花直段書
上候様被仰付候、五ケ年程以来ニ者、水花百目ニ七八拾
文位迄致候処、近年ハ段々引下ケ式三拾文位迄売買仕
候、併紅花之義ハ雨統御座候得ハ、紅多ク相成候事故、
直段も夫丈宜御座候物ニ御座候、尤雨統無之日照花ニ而
紅薄ク御座候故欵、其年々雨統次第直段高下御座候、
勿論拾ケ年以來直段巨細ニ覚無御座候得者、巷ケ年限
書上兼申候、右申上候通世話所相建候而、紅花直段引上
候与申義の中并相定等無御座候

三

此段金子歩安ニ貸付候与申之ニ付、餘方ハ格別之利安
之金子借請候得者、百姓勝手ニ相成候ニ付、此義を重ニ
存印形仕候、右借付金当国之利合之義ハ、巷ケ月ニ金
拾五兩巷歩之利足並合ニ候間、世話所方貸付候金子者三
拾兩巷歩之利足ニ而貸付候様過ヲキ、右歩安之金子借付

無之候ハ、京都世話所相建候而も百姓方勝手与申義、曾而無御座候、勿論議定所宛所之義ハ、江戸表忠左衛門・当国左五兵衛・五平次へ相渡候得共、金主何人二御座候哉不奉存、勿論村方書付等取置候義ニ者無御座候

四

此段先年も米穀下直二相成候与申義ハ無御座、近年打続凶作仕米不足ニ合セ候而者直段下直二御座候、勿論夏中ニ至り候得者、例年直段引上候得共、春中石代上納被仰付候節も步安之金子借請候得者、諸穀物安売不仕、夏至り直段宜節米相払申候得者、勝手ニ相成申候

五

此段先年紅花間屋拾四軒相潰、其後直売買相対次第第二相成、京都も直買之者、年々相下り勝手宜敷方二御座候、此度世話所之義問屋同様之事ニ御座候得者、強而御願申上候義ニも無御座候、併議定書を以利安之金子借請度存寄而已ニ御座候処、世話所相建不申候得者、利安之金子借請兼候二付、印形仕候

六

此段世話所相建候義、私共村々心付候義ニ者無御座候処、去々寅十一月も去卯春迄、五平次・左五兵衛別紙写

差上候儀定書持参村々江相廻り、此義承知二候ハ、見届印形可致旨申之、勿論高摘村・谷地荒町村其村村々得心印形いたし相見へ、右儀定書見届ケ候処、差而障り二相成候義無之候二付、印形仕候義ニ御座候、依而書付私共村々ニ而認、兩人江相渡候義ニ者惣而無御座候、勿論何方ニ而認候哉、其義も不奉存、右之通二付五平次・左五兵衛を、私共村方も心付、達而惣代ニ相頼、江戸御奉行所江為願与申義ニハ無御座候、且又餘国之者願人ニ相加り候様、右兩人申聞候得共一度も対面不仕、右兩人之者之儀定書表を以、步安之金子借請度候而已を百姓方勝手ニ存、潤ニも可相成哉与奉存候間、外ニ差障りも有之間敷与奉存候、不弁前後步安之金子借請申候ハ、御上納金難渋仕候節、差支有之間敷与奉存印形仕候、併右步安之金子貸渡候由、引当テ之紅花下直二被買請候而者、却而村方難義至極ニ奉存候、尤右之趣御支配御役所江不奉願、并儀定書連印仕候趣、御届不申段、

御差当請候而者、一言之申披無御座不調法成義、何様之御咎メ被仰付候、たにも御願ケ間敷義申上間敷候

- 一 蠟荷四拾貫目壹駄二付 同 銀七百文ツ、
- 一 荏菥石五斗二付 同 銀七拾文ツ、
- 一 青苧四拾貫目壹駄二付 同 金壹分

七
此段郡中一同之文言ニ御座候所、不心付外村々も不承合、郡中一統之義与奉存一村限印形仕候
右御答申上候通相違無御座候、以上

辰正月

野田弥市衛門様

御役所

右御尋ニ付書上申候、以上

辰

楯南村名主

三月

八左衛門印

寒河江

御役所

八六 諸荷物御役覚

諸荷物御役覚

- 一 真綿三拾貳貫目壹駄二付 御役金貳分宛
- 一 馬形錢金壹両二付 同 銀八拾文ツ、

八七 紅花売買会所取極書

一 先達而奉願上候紅花売買会所之義二付、当七日紅染屋行事問屋行事并私被召出対決被為仰付、其旨以書付奉申上候様被為仰渡、左二奉申上候

一 問屋仲買共、会所相立候而ハ是迄家業相離候旨奉申上候、此義ハ問屋仲買共肝煎二仕候上、駄別歩銀相渡申候得共、全家業二相離候筋二てハ無之御義二奉存候御事

一 紅染屋共御御用等差障二相成候様奉申上候段、此義八年來之家職^三、紅花製地絹色品染分、是迄紅染屋共紅花善悪目利仕、買請候義御座候得ハ、差支可申筋無御座候様奉存候、前々^者直買等仕候節、御用無滞相動來候御義御座候御事

一 此度会所御免之上、紅染之目利行届不申義有之候ハ、私手寄二目利^{功者}成者共御座候、度々目利致させ候様二可仕候、紅花種々雨花照花仕入花買集花之類、

紅花善悪ハ国々土地二不限、摘取候時節天性^三而上中下

之品有之候、猶又紅染屋手支仕候而ハ、指当会所差支二相成候二付、聊龜略取扱仕候義二てハ無御座候

辰三月十二日

八八 覚（最上紅花蔵入二付）

八月 覚

一 七匁八分

田松 沢四丸

井善殿入

一 六匁六分

十村 雨四丸

しま清殿

一 五匁七厘

同増 雨四丸

同

一 四匁五分五厘

同鬼腕 四丸

吉彦殿

一	五勿七分八厘	同紅司四丸	一	六勿八分	同紅輪四丸	金田屋殿
一	八勿壹分八厘	同華粧六丸	一	四勿五分四厘	ミの忠殿	
一	五勿四分九厘	同吉水四丸	一	壹勿七分六厘	同金鱈四丸	
一	六勿九分	同紅寺四丸	一	七勿八分	同花光四丸	最上ヤ殿
一	拾勿貳分	同緋寺六丸	一	七勿六分	同非四丸	吉彦殿
一	六勿四分	同吉水四丸	一	七勿六分	同吉の四丸	同非四丸
一	此分いせ源御払	いせ源殿	一	七勿六分	いせ源殿	
一	六勿四分	同鴨川四丸	一	七勿六分	同極非四丸	
一	四勿八分九厘	同出羽七丸	一	八勿	同華飛四丸	ミの忠殿
一	九勿六分	同金鏢六丸			同七利殿	

一 四匁三分 同日 七丸

ミの忠殿

一 四匁五分六厘

同金 鯨四丸

いせ源殿

一 壹分

同白椿八分亭

壹匁三分

同清白式^⑤ 油作殿入

〆壹歩

貳百五十八匁八分九厘 取之

此金四兩、貳匁八分九厘

〆四兩壹歩

貳匁八分九厘

いせ源殿江引 一 六匁七分八厘

⑤花 扇四丸

こしせ殿入

辰十一月

塩津

中村佐右衛門^⑥

佐藤利兵衛殿

八九 紅花仕切覚

仕切覚

一 金百廿八兩貳朱

①十紅[□]

五拾貳兩替

十八入五丸

⑤買留

廿入四丸

〆百七十

内金貳兩

四匁三分壹厘

壹半引

又銀四拾四匁

田松沢

八分五厘

同大將

⑤買留

〆手板登

〆金貳兩

四拾九匁分六厘

此金三歩

四匁壹分六厘

合金貳兩三歩

四匁壹分六厘

差引金百卅五兩壹歩

三匁三分四厘

右十一月卅日仕切分

惣ノ金三百七拾壹兩壹歩

拾貳匁貳分五厘

内十一月朔日

金貳百八拾兩也

大坂平徳殿差下ス

かし

又金五兩貳分

二ヶ月分

六匁

右利足

内金壹兩壹分

十一月卅日限

一 金六拾四兩貳分貳朱

田大将

三匁七分五厘 十八入四丸

差引 金四兩貳朱

七匁三分貳厘

五十七兩貳歩

右十二月朔日仕切分

ノ金貳百八拾四兩貳朱

七匁三分貳厘

ノ金百九拾九兩三分貳朱

七匁九百文

差引

又金百七拾兩三分

阿部長次郎殿分

金八拾七兩貳朱

五匁壹分六百分別紙仕切書付

四匁九分三厘

又金貳歩貳朱

ノ十仙稀花八袋代金難事花

此錢四百九十三文

大きくさり

右之通相對を以買請代金不殘相渡候、

此表無出入相濟申候、以上

辰十二月廿日

井筒屋

善左衛門[㊦]

佐藤利衛門殿

保五郎殿

松之助殿

九月十四日

小林 養助[㊦]

加判檢断

加藤作兵衛[㊦]

(裏書)

表書之通無相違可相通者也

町奉行[㊦]

松原御関所 改中

九〇 紅花通行切手

一 紅花五拾七箇

右者荷主土屋采女正様御領分落合村兵左衛門之所^ニ而相調、江戸表江為差登申度由、則北目御陣屋^ニ通状參申候、依之松原口出御判可被下候、以上

宿問屋

辰

九一 (京都紅花屋) 口上書 (版刻)

口上書

一 去冬御在京御荷主方へ御達し申置候通、年々為御登紅花御荷物之内、素人向へ着仕候分も御座候、向後縱令御懇意家^ニ而茂、素人向へ御差向之義御断申上候、猶又大津并敦賀表^ニ而御困ひ之向も御座候、向後右御困ひ之儀御断申上候

一 是迄為御登御荷物御支配付之分、代金百兩ニ付壹兩

貳步ツ、之割を以步引致來候而、売方為御任之向ハ正

味取引ニ御座候へ共相改、当新花_と為御任之向も御支

配付同様歩引仕候間、此段御承知可被下候、以上

丙申四月

京都

諸国紅花

紅花屋中

御荷主中様

尚々御家内様江よろしく

御伝達奉希上候、以上

其後者久々不得貴顔候、折柄未夕残暑之砌ニ候処、愈御

全家様御揃益御清福被成御座候、珍喜不斜奉寿候、隨

而尚当地家族一同無異罷有候条、乍憚御休意可被下置

候

先者、先達_而いろくニ御頼申上候金子之義、最早此

節紅花も売払ニ相成、依之御工面被成下、一先元利共

御返済被成下度奉頼上候、是迄も追々延引ニ相成、何

分ニも手支ニ而迷惑ニ奉存候、是非此節_者上納金并種々

金子差語り居候間、此段御賢察被成下、乍操言右金子

一兩日中御返済可成下候、先者右御頼申上度如斯ニ御

座候、早々謹言

戊七月四日

(表書)
大堀ニ而

嶋大寺様

雄吉

御宣下

無事

九三 覚（紅花荷物蔵入通知書）

覚

一 八極 一 貳丸 廿八卷 紅花
十八入卷

一 手板 壹通

一 通り判 壹通

一 添金貳分

右之通り隨ニ請取蔵入仕候、為念如此御座候、以上

亥七月十三日

設樂次郎右衛門^印

(印文、最上大石臣)

細矢與左衛門殿

九四 覚（紅花集荷）

覚

一 三百四十八駄

内三十卷駄仙表

右之通り御座候

亥七月十三日 次郎右衛門^印 (印文、同前)

与左衛門様

九五 紅花通行切手（九六の複写につき省略）

九六 紅花通行切手

紅花片馬、但四箇附、荷主北口村與左衛門當領^二而相調、北国通上方江為差登候条、御改所無相違御通可被下候、以上

戸沢上総介内

正月五日

近江屋

安次郎[㊦]

勝治郎

亥

八月廿八日

津田宗助[㊦]

堀米四郎兵衛様

御店中様

大石田

御役所

参人御中

九七 書簡(改年挨拶、紅花相場)

改年之御吉慶不可有尽期御座、重畳目出度申納候、先以其御地御家内様御揃、益御勇建^二可被遊御越年珍重

追啓上仕候、旧冬之萬端御十分^二御取納被遊候而御同悦仕候、次^二当方相応之取引仕候間御休意被下候、尚又、別紙諸相場入御覽^二候間、当年も不相変御用向被仰付被下候様奉願上候、已上

紅花相庭

吉駄二付

- 一 山形紅花 五拾五六兩と九拾兩迄
 - 一 仙台南花 同 八拾兩と百拾兩迄
 - 一 同 奧花 同 右同断
 - 一 庄内ウト 同 六拾兩と八拾兩迄
 - 一 秋田はな 同 六拾五兩と九拾五兩迄
 - 一 水戸 同 八拾五兩と百廿兩迄
 - 一 早庭 同 同 右同断
- 右之通ニ御座候、以上

大坂道修町東堀

近江屋安治郎

九八 書簡(改年挨拶、紅花相場)

尚々

御当地相応之御用向等、不相替被仰付被下度奉願

上候、以上

改春之御慶不可有休期目出度申納候、先以其御地御家内様益御勇剛可被遊、御迎年珍重奉恐賀候、当方無異加年仕候、乍憚御休意可被下候、先者右年始御祝詞申上度如此御座候、猶期永日之時候、恐々謹言

正月五日

伊勢屋源助^①

今田弥吉様

孝七

貴下

平七

爰許紅花之儀去秋已来、存外之不入氣統三而、潰方一向尺取不申候故、自然卜追々下落仕、旧冬おし詰左略見込直段遣候

- 一 早庭 三十三五兩
五十兩前後
- 一 水戸 四十四五兩
六十三四兩
- 一 南仙 六十兩前後
七十兩位

一 奥南部 四十兩
五十二三兩

一 最上 三十三四兩
五十四五兩

一 紀大和 式十四五兩
四十式三兩

凡殘華千式三百駄斗

右之通御座候、宜御勘考可被成候、以上

九九 書簡（紅花相場景況案内）

一 筆啓上仕候、大暑ニ御座候所、先以其御地御家内様御揃ニ而益御勇建被遊御座、珍重御儀与奉存候、随而当方無異儀罷有候、乍憚御安意可被下候

一 其御地紅花之義、五月廿三日頃と天候待候段、当年草生見事ニ御座候由、追々承知仕候、此節專干花御仕入被遊哉ニ奉存候、近年高値ニ御座候所、当年ハ格別下

落可仕哉ニ奉存候、何卒雨都合能上花草好之御仕入被遊候、尚又紅花不相替下居候、御差向被下度格別入情御仕切り上候間、くれぐれも御差荷之段奉願上候、且亦当地氣配之儀、絹布其外花美之品々御停止ニ付、何ニ不寄不捌、甚以諸商内陰氣ニ御座候、紅花之義近年高直ニ御座候所、前書之通絹布御法度ニ相成候故、紅花一切売買無御座候、當時亥相庭相立不申、尤近国大和紅花ハ此節雨花出来、百匁ニ付六兩と八兩位商内御座候所、是以買人無之、誠ニ絹布類・紅花之儀やみの夜ニ火の消行御座候、依而当年御地御仕入之下直ニ出来可申候得共、京坂相庭之所如何之直立可申哉、御勘考可被下候、尚近々御案内可申上候、御仕入之節下居候、御出荷之段奉願上候、先者右御願旁申上度如斯御座候、恐々謹言

近江屋

六月廿二日

安次郎[㊦]

堀米四郎兵衛様

勝二郎

御店中様

一〇〇 書簡（紅花相場景況案内）

一筆啓上仕候、景氣御座候処、先以御家内様御揃、益御
勇建ニ可被遊御座、珍重御儀奉存候、然者当地先月廿五
日出を以諸相場御案内いたし、御出荷御願申上候得者、
定而相違し御披見可被下旨忝奉存候、其後当地諸相場、
差而相変不申候得共、別紙入御覽申候間、御引合之品御
注文被仰付被下候、尚又紅花相庭之儀者、未夕諸方豊凶
不明ニ御座候間、双方共白眼合ニ御座候、此度東西之
模様ニ随ひ高下可成候、何卒新華御仕入不相替御差向
可被下様頼上候、先者右紅花御出荷御願申上度如此御
座候、恐惶謹言

六月廿五日

近江屋

安治郎[㊦]

勝次郎

堀米四郎兵衛様

一〇一（紅花輸送路二付）乍恐以書付御内意奉申
上候

乍恐以書付御内意奉申上候

東通り六田村^ハ土生田村迄五ヶ宿問屋共^ハ申懸候、去子
年御料荒町村巳之助^ト申者、紅花荷物被押候ニ付、江戸
出訴ニ罷成候所、此度相濟候由^ニ而、濟口証文持參致披
見印形致異候様ニ申懸り候、然ル処此方村々右出入一
件ニ付、相拘候儀無之事ニ御座候得者、趣意違之様ニ奉
存候間、印形可仕筋無之事^ト奉存候、右証文江披見印形
致候得者、此以後御百姓共手作之産物手荷物等附送り
候儀も六ヶ敷相成可申^ト奉存候、左候得ハ村々甚不益
ニ罷成敷ヶ敷奉存候間、此段御窺申上度乍恐御届奉申
上候、則濟口証文之写奉差上候、以上

九月

吉田村庄屋 渡辺良助

岩木村庄屋 安達東次郎

湯野沢村庄屋 海老名權藏

樽石村庄屋 齋藤久次

長善寺村庄屋 笹原祐助

大久保村庄屋 井沢庄右衛門

新吉田村庄屋 鹿野武左衛門

小野宗右衛門様

一〇二 諸国産物見立相撲 (口絵写真参照)

一〇三 古文書解読講座資料 (複写)

(一)

紀花荷物送利手板

一八極上拾八袋入 壹丸
式拾袋入

封印

金貳分也 大石田先添金

御出判 老通相添

右者北国通京都江為指登申候間、其着濡摺貫目封印等、能々御改御請取、早々先々江送り届可被下候、尤駄賃之儀ハ、右添金之内も御引取可被成候、若過不足之儀者、京都伊勢屋理右衛門殿江、御差引可被成候、為其紅花荷物送利手板、仍而如件

文政十三年七月

最上谷地

細矢与左衛門[㊦]

金壹兩貳分 江戸花添金
封印三ヶ所

大石田 設楽治郎右衛門殿

酒田 越後屋 長治郎殿

敦賀 田保 孫右衛門殿

塩津 仲村 佐右衛門殿

大津 川口 弥 藏殿

京都 伊勢屋理右衛門殿

行

(二)

伊勢屋源助殿行

△平錦朗紅花 廿壹入 三丸

同龍田紅花 廿三入 七丸

大石田道中ニテ少々濡いたみ

同 同 廿壹入 壹丸

内さし四袋

同紅暉紅花 廿入 壹箇

△拾貳丸

(三)

覚

一金三拾兩ト へや仕入上印 最上紅花拾八入貳丸

銀拾四匁六厘 同 印 九袋

△片馬 拾三袋

現金四拾三兩替

一金七拾八兩ト へや女川印 庄内紅花拾八入壹丸

式刃八分巻厘 同印 拾巻袋

同印 拾八入四丸

同印〇附 拾袋

〆 巻駄片馬拾五袋

現金四拾五兩替

一 金拾巻兩三步 〆 正紅印最上紅花拾九入巻丸

銀七匁五分

〆 金百拾九兩三步下

銀貳拾四匁三分七厘

右之通相對を以買請代金不殘相渡、此表無出入相濟申候、
若算用違或者荷物拔袋等御座候ハ、御互二重而差引可仕
候、已上

天明貳年寅五月十六日 近江屋九郎兵衛印

柴田弥之助殿

一〇四 覚 (北口町外二ヶ村々柄)

覚

一 北口町御札場と吉田村御札場迄拾丁

一家数百拾五軒

一 高千四百八拾石九升九合

一家数貳軒 同町押切舟場守家

一 工藤小路村御札場と北口町御札場迄貳丁三拾間

一家数七拾巻軒

一 高七百四拾六石三斗八升七合 工藤小路本郷

一 工藤小路御札場(我力)持郷弥勤寺村入口迄拾丁拾五間

一 高九拾七石七斗五升四合 持郷弥勤寺

一家数拾七軒同村

一〇五 長明灯 (口絵写真参照)

編 集

河北町誌編纂委員会

委員長 檜 清 哉

副委員長 北 島 教 爾

委 員 鈴 木 勲

委 員 矢 作 春 樹

委 員 渡 辺 禮 次 郎

編 集 事 務 局

河北町企画情報課

河北町谷地戊八一番地

電話 〇三七—三—二一一—

千 九 九 九 — 三 五

平成五年二月十日 印刷
平成五年二月二十日 発行

最上紅花史料 I

河北町誌編纂史料

編纂者 河北町誌編纂委員会

発行者 河 北 町

印刷所 藤 庄 印 刷 株式会社